

学問と社会：大学での学びと、成年としての社会との関わりを考える

共同

前期 木曜日 3時限 大教室
(講堂)

大学で学ぶ「学問」は、それぞれの専門分野を超えて応用可能であることを知り、自身が主体的に学ぶための指針を設定する能力を身につける。併せて、社会の様々な場面で成年として生活の知識を持ち、自身の意思で適切に判断し、行動できる能力を身につける。(学問＝一定の理論に基づいて体系化された知識と方法)



「答えを出す以前に何が問題かもわからない」ような課題について、一定の理論に基づいて体系化された知識と方法を身につけ探究し、問題を発見して答えを導き出す営みを、毎回異なる講師が自身の専門分野の方法論や知見をもとに、学生のみなさんに伝えます。

併せて、成年となったばかりで、まだ十分な社会経験がない学生のみなさんに、自分の意志で適切な判断を行い、社会で一人の大人として生きていく力を身に付けられるよう、第3回から第9回ではさまざまな分野から外部講師を招いて授業を実施します。それにより、トラブルを未然に防ぎ、豊かな大学生活を送っていく方法を一緒に考えていきたいと思います。

15回の授業で、毎回時数400字程度までの小レポートを課す。各教員は提出されたレポートをA・B・C・Dの4段階で評価し、15回分の評価を総合して各学生の評点とする。なお、毎回のレポート提出を原則とするので、提出が10回未満の場合は、出席不足とみなして評価の対象外とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111007001&opi=se0020&syw=1

教科書

基礎演習I(一)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 丸田 健
滑に適應しよう。

前期 木曜日 1時限 C402

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。



授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111011101&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5

基礎演習I(二)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 大西 英人
滑に適應しよう。

前期 木曜日 1時限 C403

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。



授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111011102&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5

基礎演習II(一)：国文学科で学ぶための基礎的能力の獲得

金岡 直子

後期 火曜日 2時限 B224

①国文学科で学ぶための基礎的な知識を獲得することができる。②大学生として備えるべきリテラシー(読む／書く／発表する)を獲得することができる。

この講義は、基礎演習Iで学んだ大学生としての学びの基礎を土台に、国文学科で学ぶための基礎的なスキルを身に着けることを目標とする。国文学科の専門科目で実践する調査やレポートの書き方を習得するのはもちろん、共同研究とその成果のプレゼンテーションを行うことに比重をかける。そのため講義の最初にチーム分けと研究テーマの設定を行い、以後の授業はそのテーマを深める形で行う。なお最終的に各チームごとにプレゼンテーションを実施し、優秀チームには学年全体のまえて代表発表を行ってもらう計画である。



▼平常点80% (出席はもちろん、発表や授業への積極性・取り組みを総合的に評価する)

▼期末課題20% (未提出の場合は単位が付かない)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111011201&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022年. 978-4-9904606-5-5 プレミアムカラー国語便覧 / 森田貴之ほか・数研出版, 2017年. 9784410339127

基礎演習Ⅱ(二) : 国文学科で学ぶための基礎的能力の獲得

木田 隆文

後期 火曜日 2時限 C
206

①国文学科で学ぶための基礎的な知識を獲得することができる。②大学生として備えるべきリテラシー(読む／書く／発表する)を獲得することができる。

この講義は、基礎演習Ⅰで学んだ大学生としての学びの基礎を土台に、国文学科で学ぶための基礎的なスキルを身に着けることを目標とする。国文学科の専門科目で実践する調査やレポートの書き方を習得するのはもちろん、共同研究とその成果のプレゼンテーションを行うことに比重をかける。そのため講義の最初にチーム分けと研究テーマの設定を行い、以後の授業はそのテーマを深める形で行う。なお最終的に各チームごとにプレゼンテーションを実施し、優秀チームには学年全体のまゝで代表発表を行ってもらう計画である。

▼平常点80% (出席はもちろん、発表や授業への積極性・取り組みを総合的に評価する)

▼期末課題20% (未提出の場合は単位が付かない)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111011202&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022年・978-4-9904606-5-5 プレミアムカラー国語便覧 / 森田貴之ほか・数研出版, 2017年・9784410339127



基礎演習Ⅱ(三) : 国文学科で学ぶための基礎的能力の獲得

渋谷 勝己

後期 火曜日 2時限 A207

①国文学科で学ぶための基礎的な知識を獲得することができる。②大学生として備えるべきリテラシー(読む／書く／発表する)を獲得することができる。

この講義は、基礎演習Ⅰで学んだ大学生としての学びの基礎を土台に、国文学科で学ぶための基礎的なスキルを身に着けることを目標とする。国文学科の専門科目で実践する調査やレポートの書き方を習得するのはもちろん、共同研究とその成果のプレゼンテーションを行うことに比重をかける。そのため講義の最初にチーム分けと研究テーマの設定を行い、以後の授業はそのテーマを深める形で行う。なお最終的に各チームごとにプレゼンテーションを実施し、優秀チームには学年全体のまゝで代表発表を行ってもらう計画である。

平常点80%(出席はもちろん、発表や授業への積極性・取り組みを総合的に評価する)、期末課題20%(未提出の場合は単位が付かない)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111011203&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022年・9784990460655 プレミアムカラー国語便覧 / 森田貴之ほか・数研出版, 2017年・9784410339127



国文学の世界 : 国文学の学問領域を幅広く知る

共同.中尾 和昇.山田
昇平.鈴木 喬

前期 火曜日 2時限 C101

①国文学の各分野における基礎知識を習得する。②自身の興味・関心の幅を広げ、今後の研究の土台とする。

この授業では、古典文学(上代～近世)・近現代文学・国語学・日本語学の各分野についての全体像や諸問題、そして現在研究されているテーマなどを幅広く知るところを目的とする。具体的には各分野の基礎的な知識をリレー形式で聞き、関心を深める。また同時に国語・国文学に関する基礎知識を高めるために、国語常識に関する小テストも実施する

平常点100%(各回ごとの課題レポート・小テスト・授業への取り組みを総合的に評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141000500&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂版 プレミアムカラー国語便覧 / 森田貴之ほか・数研出版, 2024・9784410339134



言語文学Ⅰ(一) : 万葉集を歌人を通して読む

鈴木 喬

前期 火曜日 1時限 A207

- ・上代文学作品に関する基礎知識を習得する。
- ・上代文学作品の分析方法を習得する。
- ・古典文学研究の基本的な手法を習得する。

『万葉集』は現存する最古の歌集である。またすべて漢字で記されている。本演習では、歌人ごとに二首選び、それらへの注釈をつづいて、用例や表現類例の検索方法および読み解くうえでの勘所をおさえ、古典文学研究の基礎的な手法を身につけることを目標としている。

発表70%(用例を適切に検索出来ているか、分析方法や根拠・論理展開は妥当か、など)、授業中の発言30%(積極的に議論に参加し、理解を深めているか)。授業中での発言・質疑応答を重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001101&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



言語文学Ⅰ(二) : 平安時代文学への導入 一『伊勢物語』で和歌に親しむ一

穴井 潤

前期 火曜日 1時限 B224

①『伊勢物語』各章段について、従来どのように読まれてきたのかを理解し、自分の見解を述べられるようになる。②共同研究室や図書館を利用して調査し、提示した形式で発表資料を作成できるようになる。

平安時代の歌物語『伊勢物語』を輪読する。『伊勢物語』は「男」の一代記の体裁を取る。各章段は短く、読みやすい上に面白い。後世の文学に大きな影響を及ぼした作品であり、一度は触れておきたい名作である。前半では高校の検定教科書に収録されている、有名な章段を読解する。後半では事前に指定した章段について発表を行う(※受講人数によって変動あり)。各種注釈書・辞典類の使用法についてなど、大学で日本文学(古典)を勉強する上で必要な基礎的な知識について説明する。

積極的な質問など授業への参加度(40%)、資料作成および発表内容(30%)、発表レジュメの再検討(30%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001102&opi=se0020&syw=1

教科書 学びを深めるヒントシリーズ 伊勢物語 / 早稲田久喜の会(編著)・明治書院, 2018・978-4-625-62451-3



言語文学I(三) : 黄表紙『見徳一炊夢』をよむ

中尾 和昇

前期 火曜日 1時限 C
206

①近世文学に関する基礎知識を習得する。②近世文学の基礎的な読解方法を習得する。③黄表紙の特性を理解する。

近世中後期に流行した絵本型小説「草双紙」は、子供向けの「赤本」からはじまり、内容の変化にともなって、「黒本」「青本」「黄表紙」「合巻」へと発展した娯楽小説である。そのひとつ「黄表紙」は、荒唐無稽な物語世界でありながらも、江戸の社会風俗を巧みに描き、その落差によって「笑い」を生み出している。この授業では、朋誠堂喜三二作『見徳一炊夢』(天明元年[1781]刊)を精読することで、江戸戯作の魅力に迫りたい。

平常点30%(授業への積極性を評価する)、口頭発表40%(資料の完成度・基礎的な読解力を評価する)、レポート30%(精確性・客観性・論理性・独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001103&opi=se0020&syw=1

教科書 なし(コピーして配布する)



言語文学II(一) : 日本語研究入門

山田 昇平

後期 火曜日 1時限 A207

- ・ことばに対する疑問を立てることができる
- ・ことばに対する専門的な考え方に馴染む
- ・ことばの研究がどのようなものかを知る

この授業では日本語(ことば)に対する研究がどのようなものか知ることとする。授業では、まず国語学(日本語学)がどのような学問かについての概説を行い、国立国語研究所編『日本語の大疑問:眠れなくなるほど面白いことばの世界』幻冬舎新書の講読を行う。講読では1人が本書で提示される疑問と、その回答の要約に自己調査加え、資料にまとめて発表を行う。そしてその内容に対して、参加者全員で議論・調査を行う。発表箇所はシラバスでは便宜的に振り当てが、各自の興味に応じて選択してよい。

- ・発表内容(内容を的確にまとめているか、議論を導いたか):40%
- ・質疑(積極的に議論に参加したか)40%
- ・レポート(発表や質疑の内容を踏まえた内容になっているか)20%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001201&opi=se0020&syw=1

教科書 『日本語の大疑問:眠れなくなるほど面白いことばの世界』/ 国立国語研究所編・幻冬舎新書, 2021. 978-4-344-98637-4



言語文学II(二) : 教科書掲載作品を再読する

金岡 直子

後期 火曜日 1時限 B224

作品を読む力を養う
要点を理解し、簡潔にまとめる
プレゼンテーションの基礎を身につける
ディスカッション、グループでの話し合いのなかでの役割を知る
文学研究の面白さを理解する

小学校から高校までの国語教科書の掲載作品を読みながら、大学生に必要な読解力と発信力を養います。前半は教員による講義形式のなかで、グループワークを行います。その後、レジュメ作成のための準備を共同で行い、後半はペアワークで作品についてのプレゼンテーションをします。グループ内での活動に参加しながら、作品を読む力を養っていきます。

平常点(授業参加度、発言、課題)50%、グループワーク20%、発表30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001202&opi=se0020&syw=1

教科書



言語文学II(三) : 芥川龍之介の短編小説を読む

木田 隆文

後期 火曜日 1時限 C
206

- (1) 近現代文学研究の基本的な視点と方法を身につける。
- (2) 自らの意見を論理的に説明する能力を養う。
- (3) 高校までの〈現代国語〉と、大学の〈文学研究〉の違いを理解する。

この授業では、芥川龍之介の小説作品を例に、近代文学研究に必要な基本的知識と手法を学ぶとともに、レポートや発表のために必要なスキルも身につけることを目指している。具体的にはまず「羅生門」を例に、講義形式で小説作品の分析方法を学ぶ。その後、指定された芥川龍之介の短編小説について、受講生自身が研究発表を行う。

平常点(10%)、課題(20%)、発表(30%)、期末レポート(40%)。

平常は講義態度を重視する。レポート・課題・発表は、理解度や視点の独創性、論証の実証性を中心に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141001203&opi=se0020&syw=1

教科書 羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八編 / 芥川龍之介・文春文庫, 1997. 978-4167113056



国文学講読I(一) : 「文学」という観点から『古事記』神話を読み解く。

鈴木 喬

前期 月曜日 1時限 A207

『古事記』について理解できる。注釈作業の具体的な方法を学び、諸注を批判的に検証しながら、新見を導き出す方法を身につけることができる。

古典文学研究の基礎知識や方法(索引の使い方、どのような研究方法があるのか)を学んだうえ、『古事記』上巻に収載される「神話」を考察する。ただ鑑賞するのではなく、一字一字、一語一語、丁寧に注釈を行い、『日本書紀』の比較を行う。また作品は作品だけで成立しているものではない。歴史的、社会的背景をもっている。社会背景や、具体的な事象を踏まえながら、現存最古の「文学作品」として読み解く。

平常点20%(積極的に議論に参加し、理解を深めているか。毎回のコメントシートの取り組み状況)。

発表40%(レジュメの内容、課題に対する取り組み)。

レポート40%(問題発見と問題解決への取り組み)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003101&opi=se0020&syw=1

教科書 古事記は写本のプリントを配布する



国文学講読I(三)：平安末～鎌倉初期女房の文学 一『建礼門院右京大夫 穴井 潤

前期 水曜日 3時限 B305

①『建礼門院右京大夫集』各章段について、従来どのように読まれてきたのかを理解し、自分の見解を述べられるようになる。②図書館を利用して調査し、提示した形式で発表資料を作成できるようになる。

鎌倉時代の日記的私家集『建礼門院右京大夫集』を講読する。治承寿永の乱(源平合戦)に翻弄された女性が自分の人生を作品化したもので、平家との輝かしかった日々(前半)や都落ち以後の絶望の日々(後半)が語られている。作者にとって、忘れられない、記さずにはいられない思い出が精選された作品なのである。残された思い出をたどり、彼女の人生を追体験しよう。初回に発表順を決め、発表者のいない回は講義+実習形式で進める。

積極的な質問など授業への参加度(40%)、資料作成および発表内容(30%)、発表レジュメの再検討(30%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_141003103&opi=se0020&syw=1

教科書 『建礼門院右京大夫集』/ 糸賀きみ江(全訳注)・講談社学術文庫, 2009. 978-4-06-291967-8



国文学講読I(四)：曲亭馬琴の読本『椿説弓張月』をよむ1

中尾 和昇

前期 水曜日 2時限 M
101.前期 水曜日 2時限
M102

①近世小説の読解方法を習得する。②後期読本の特徴である〈稗史(はいし)〉の手法を理解する。③曲亭馬琴の表現・文体の特徴を理解する。

曲亭馬琴の代表作『椿説弓張月』(文化4年～8年[1807-11]刊)は、悲運の英雄・源為朝の「外伝」を、〈勧善懲悪〉〈因果応報〉の思想でまとめた伝奇小説である。とくに前編においては、保元の乱の始末が記された『参考保元物語』(元禄6年[1692]刊)を主要典拠とする。この授業では、前編・第1回から第3回までを精読することで、悲運の英雄・源為朝の「外伝」に迫りたい。

平常点30%(授業への積極性を評価する)、口頭発表40%(発表資料の完成度・総合的な読解力を評価する)、レポート30%(精確性・客観性・論理性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_141003104&opi=se0020&syw=1

教科書 なし(コピーして配布する)



国文学講読I(五)：現代小説の面白さを学ぶ

金岡 直子

前期 月曜日 3時限 M105

小説作品を精読する力を養う
要点を理解し、簡潔にまとめる情報処理能力を養う
伝わりやすいプレゼンテーションを身につける
ディスカッションを通じて共通認識を深める
文学研究の面白さを理解する

文学研究を通して、読む力、調べる力、まとめる力、考える力、話す力、交渉する力を養っていきます。現代の小説をグループに分けて読解、調査、考察、プレゼンテーションという手順を踏み、次年度の卒業論文作成のための準備運動をしていきます。

平常点(授業内の参加態度、発言を重視する)50%、発表内容(調査、問いと考察、要点の整理、到達度、グループへの貢献度)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_141003105&opi=se0020&syw=1

教科書 ツナグ / 辻村深月・新潮社, 2012年. 978-4101388816



国文学講読I(六)：キリシタン版『エソポのハbras』を国語学的に読む

山田 昇平

前期 水曜日 4時限 B224

①古典文学を注釈的に読むことが出来る。②ことばや文献に対する問題意識を持つ。③自らの考えを論理的に説明し、それに対して生産的な議論ができる。

キリシタン・ローマ字資料である『エソポのハbras』(天草版伊曾保物語)を扱う。当該資料は、いわゆる『イソップ寓話集』を室町時代末期の日本語に翻訳したもので、日本布教を行ったキリシタン宣教師たちが、日本語学習の教科書として出版したとされる。この演習では、先行する注釈書を参考にしつつ各寓話を読解する。Iでは、主に注釈的に読む作業を中心とし、キリシタン資料や室町時代の日本語に習熟する。また、注釈作業を通して、論理的思考力や自らの判断に対する説明能力を身に着ける。

- ・発表とそれを踏まえたレポート60%(形式・問題設定・考察を総合的に評価)
- ・議論40%(生産的発言・積極的態度などを評価)
- ・出席は加点対象としなが、欠席は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_141003106&opi=se0020&syw=1

教科書 キリシタン語学入門 / 岸本恵実・白井純・八木書店, 2022. 978-4-8406-2245-5



国文学講読I(七)：基礎を学ぶ。視野が広がる。世界が近づく。

河崎 絵美

前期 金曜日 2時限 A207

日本語教育の基礎を理解し、多様な学習者と世界を視野に入れて考え、行動への第一歩を踏み出せるようになる。

日本語教育の基礎知識を学びます。日本語教育の歴史とその変遷から現代まで教科書を用いて理解を深めます。また、日本語教育の現状と課題についてはアフリカ、東南アジア、オセアニアなどの事例を紹介します。それらを通し、日本語教師が国家資格となった現状と、これからの日本語教師の役割やあり方について自分なりの意見や考えを持てるよう授業を展開していきます。毎時間、ペアやグループで活動を行いますので欠席や遅刻には注意が必要です。

中間試験50%
定期試験(レポート)30%
授業内課題20%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_141003107&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂版 超基礎日本語教育 / 森篤嗣・くろしお出版, 2025. 978-4-8011-1001-4 C1081



国文学講読I(八)：注釈の試み ― 川端康成「掌の小説」を精読する 木田 隆文 前期 火曜日 4時限 B305

(1)川端康成の文学世界を知る。(2)文学研究の基礎的手法の習得を目指す。(3)近代の文化状況を知る。(4)文献の探索・読解に慣れる。

川端康成の短編小説集「掌の小説」を〈注釈〉によって読み進める。注釈は作品の中に描かれた事物や出来事の実際を資料によって確認し、それに基づいて作品を解釈する方法である。そのため、この授業は、受講生自身が創作の背景にある大正・昭和期の文献を探索し・読み解くことを中心に行う。授業ではまず講義形式で注釈の方法を学ぶ。その後「掌の小説」の作品注釈をグループで発表する形で進める。

授業への取組(10%)発表(30%)レポート(60%)の総合評価。

レポート・発表は、理解度や視点の独創性、分析の実証的手法を中心に評価する。また積極的な授業参加を高く評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003108&opi=se0020&syw=1

教科書 掌の小説 / 川端康成・新潮文庫, 2022. 978-4-10-100241-5



国文学講読I(九)：現代日本語研究入門(1)：研究文献講読 渋谷 勝己 前期 月曜日 2時限 C106

・自分がおもしろいと思える現代日本語の問題を探す(複数可)。

・その問題をめぐってなされた研究文献を読む。

・研究文献の内容を要約できるようになる。

・日本語を分析する方法を(少しだけ)身につける。

・以下のいずれかの方法で選択した日本語研究文献を読み、その内容を簡潔に要約して発表する。

1. 初回の授業で配布する文献リストから興味のもてそうなものを選ぶ。

2. 参考URLにあげるサイトで自分の読みたいテーマの文献を探す(推奨)。

・研究文献(最低2本)を読み、その内容をまとめた発表を2回行う(予定)。

・平常点60%(授業への積極的な参加)

・発表 40%(20%×2回)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003109&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学講読II(一)：『万葉集』における基礎的読解 鈴木 喬 後期 月曜日 1時限 A207

『万葉集』を読むための基礎的知識や方法論を身に付け、一つのテーマに基づいて歌を読む力を身に付けることを目標とする。

『万葉集』の基礎知識(そもそも『万葉集』とは何か)や研究における方法論(索引の使い方、どのような研究方法があるのか)の講義を行い、そののち「旅」に関する歌を各グループに配当し、その担当歌について発表をしてゆく。

平常点20%(積極的に議論に参加し、理解を深めているか)。発表40%(レジュメの内容、課題に対する取り組み)。レポート40%(問題発見と問題解決への取り組み)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003201&opi=se0020&syw=1

教科書 万葉集 訳文篇 / 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之共著・塙書房, 1972年。

国文学講読II(三)：平安末～鎌倉初期女房の文学 ―『建礼門院右京大夫 穴井 潤 後期 水曜日 3時限 B305
集』を読む―

①『建礼門院右京大夫集』各章段について、従来どのように読まれてきたのかを理解し、自分の見解を述べられるようになる。②図書館を利用して調査し、提示した形式で発表資料を作成できるようになる。

鎌倉時代の日記的私家集『建礼門院右京大夫集』を講読する。治承寿永の乱(源平合戦)に翻弄された女性が自分の人生を作品化したもので、平家との輝かしかった日々(前半)や都落ち以後の絶望の日々(後半)が語られている。作者にとって、忘れられない、記さずにはいられない思い出が精選された作品なのである。残された思い出をたどり、彼女の人生を追体験しよう。初回に発表順を決め、発表者のいない回は講義+実習形式で進める。

積極的な質問など授業への参加度(40%)、資料作成および発表内容(30%)、発表レジュメの再検討(30%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003203&opi=se0020&syw=1

教科書 『建礼門院右京大夫集』(講談社学術文庫) / 糸賀きみ江(全訳注)・講談社, 2009. 978-4-06-291967-8

国文学講読II(四)：曲亭馬琴の読本『椿説弓張月』をよむ2 中尾 和昇 後期 水曜日 2時限 M
101.後期 水曜日 2時限
M102

①近世小説の読解方法を習得する。②後期読本の特徴である〈稗史(はいし)〉の手法を理解する。③曲亭馬琴の表現・文体の特徴を理解する。

曲亭馬琴の代表作『椿説弓張月』(文化4年～8年[1807-11]刊)は、悲運の英雄・源為朝の「外伝」を、〈勸善懲惡〉〈因果応報〉の思想でまとめた伝奇小説である。とくに前編においては、保元の乱の始末が記された『参考保元物語』(元禄6年[1692]刊)を主要典拠とする。この授業では、前編・第4回から第7回までを精読することで、悲運の英雄・源為朝の「外伝」に迫りたい。

平常点30%(授業への積極性を評価する)、口頭発表40%(発表資料の完成度・総合的な読解力を評価する)、レポート30%(精確性・客観性・論理性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003204&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学講読Ⅱ(五)：現代小説の面白さを学ぶ

金岡 直子

後期 月曜日 3時限 M105

小説作品を精読する力を養う
要点を理解し、簡潔にまとめる情報処理能力を養う
伝わりやすいプレゼンテーションを身につける
ディスカッションを通じて共通認識を深める
文学研究の面白さを理解する

文学研究を通して、読む力、調べる力、まとめる力、考える力、話す力、交渉する力を養っていきます。現代の小説をグループに分けて読解、調査、考察、プレゼンテーションという手順を踏み、次年度の卒業論文作成のための準備運動をしていきます。

平常点(授業内の参加態度、発言を重視する)50%、発表内容(調査、問いと考察、要点の整理、到達度、グループへの貢献度)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003205&opi=se0020&syw=1

教科書 ヘヴン / 川上未映子・講談社, 2012年・978-4062772464



国文学講読Ⅱ(六)：中世日本語の国語学的研究

山田 昇平

後期 水曜日 4時限 B224

①古典文学を注釈的に読むことが出来る。②ことばや文献に対する問題意識を持つ。③自らの考えを論理的に説明し、それに対して生産的な議論ができる。

授業前半では前期Ⅰに引き続き、読解作業を行う。後半では読解を通して得た知見や疑問をもとに、中世日本語や中世資料に関する問題を設定する。その上で調査・考察を行い、資料を作成し、「問題編」として発表する。

- ・発表とそれを踏まえたレポート60%(形式・問題設定・考察を総合的に評価)
- ・議論40%(生産的発言・積極的姿勢などを評価)
- ・出席は加点対象としないが、欠席は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003206&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する



国文学講読Ⅱ(七)：模擬授業を通して学ぶ日本語教育

河崎 絵美

後期 金曜日 2時限 A207

日本語教育における教授法の知識を確実にする。
初級日本語教材を分析し、教案を作成する。
作成した教案で模擬授業を実施する。

国家資格となった登録日本語教員試験においても教授法の知識は重要度の高いものです。本授業では前期に扱った教授法を教科書を用いて更に知識を深めます。その上で初級日本語教材を分析し、教案を作成します。作成した教案をもとに模擬授業を実施します。

中間試験50%
模擬授業20%
授業内課題30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003207&opi=se0020&syw=1

教科書 スモールステップで学ぶ教授法 / 久保田美子・スリーエーネットワーク, 2024・9784883199532



国文学講読Ⅱ(八)：川端康成「古都」を精読する 注釈的手法を軸に

木田 隆文

後期 火曜日 4時限 B305

(1)川端康成の文学世界を知る。(2)文学研究の基礎的手法の習得を目指す。(3)近代の文化状況を知る。(4)文献の探索・読解に慣れる。

川端康成の中編小説「古都」を〈注釈〉によって読み進める。注釈は作品の中に描かれた事物や出来事の実態を資料によって確認し、それに基づいて作品を解釈する方法である。そこでこの授業では、受講生自身が創作の背景にある大正・昭和期の文献を探索し、読み解くことを中心に行う。またその際、作品各章ごとに担当者を設定し、リレー形式で作品を検討していく。なお本講義は国文学講読Ⅰ(八)との連続で行う。受講生は同授業を先修しておくこと。

授業への取組(10%)発表(30%)レポート(60%)の総合評価。
レポート・発表は、課題の理解度や視点の独創性、作品分析の実証的手法を中心に評価する。また積極的な発言や授業参加を高く評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003208&opi=se0020&syw=1

教科書 古都 / 川端康成・新潮文庫, 2022・978-4-10-100243-9



国文学講読Ⅱ(九)：現代日本語研究入門(2)：研究実践

渋谷 勝己

後期 月曜日 2時限 C106

- ・自分がおもしろいと思える現代日本語の問題を探す(複数可)。
- ・その問題に関するデータを予備的に収集し、分析する。
- ・日本語を分析する方法を(少しだけ)身につける。
- ・以下のいずれかの方法で取り組む問題を設定し、データを集めて分析する。
 1. 初回に提示する研究テーマからひとつを選ぶ。
 2. 自身が興味をもっている事象について問題を設定する(推奨)。
- ・その分析結果をまとめた発表を2回行う(予定)。

・平常点60%(授業への積極的な参加)
・発表 40%(20%×2回)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141003209&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習I(一) : 「文学」という観点から『古事記』神話を読み解く。 鈴木 喬 前期 火曜日 4時限 A207

『古事記』について理解できる。注釈作業の具体的な方法を学び、諸注を批判的に検証しながら、新見を導き出す方法を身につけることができる。

古典文学研究の基礎知識や方法(索引の使い方、どのような研究方法があるのか)を学んだうえ、『古事記』上巻に収載される「神話」を考察する。ただ鑑賞するのではなく、一字一字、一語一語、丁寧に注釈を行い、『日本書紀』の比較を行う。また作品は作品だけで成立しているものではない。歴史的、社会的背景をもっている。社会背景や、具体的な事象を踏まえながら、現存最古の「文学作品」として読み解く。

平常点20%(積極的に議論に参加し、理解を深めているか。毎回のコメントシートの取り組み状況)。

発表40%(レジュメの内容、課題に対する取り組み)。

レポート40%(問題発見と問題解決への取り組み)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007101&opi=se0020&syw=1

教科書 古事記は写本のプリントを配布する



国文学演習I(三) : 勅撰和歌集の読解方法 一歌の解釈と配列・構成一 穴井 潤 前期 月曜日 2時限 B305

①『千載和歌集』入集歌について、従来どのように読まれてきたのかを理解し、自分の見解を述べられるようになる。②図書館を利用して調査し、提示した形式で発表資料を作成できるようになる。

この授業では藤原俊成撰『千載和歌集』(以下、『千載集』)を輪読する。和歌は日本古典文学の歴史において中心的な作品ジャンルであり、その中でも勅撰和歌集は平安中期から室町後期にかけてもっとも権威ある作品群と言える。『千載集』は治承・寿永の乱の終結直後に完成した勅撰集で、戦禍の傷を色濃く反映している点にも注意したい。一首の歌の読解方法を学ぶとともに、配列・構成についても考察してもらう(※受講人数によって変動あり)。

積極的な質問など授業への参加度(40%)、資料作成および発表内容(30%)、発表レジュメの再検討(30%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007103&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



国文学演習I(四) : 世界を知り、日本語を知る 河崎 絵美 前期 金曜日 1時限 A207

この授業では、世界の様々な文化・社会・価値観を知ることを通して、日本社会や日本人の特徴を相対化し、以下を目指す。

1. 世界のさまざまな国・地域の文化や社会の違いを説明できる
2. 日本の文化・社会の特徴を「当たり前」ではなく説明できる
3. 異文化に対して批判的かつ柔軟に考える姿勢を身に着ける
4. 自分自身の価値観や考え方を言語化できるようになる

ニュース、映像資料、体験談、簡単なリサーチ活動を用いながら「世界ではどうか」「日本ではどうか」を常に比較しながら考える授業である。知識の暗記ではなく、考える・話す・書くことを重視する。

授業内課題30%

定期試験50%

発表20%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007104&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学演習I(五) : 山東京伝の読本『桜姫全伝曙草紙』をよむ 中尾 和昇 前期 火曜日 3時限 A207

①典拠の利用方法を把握する。②京伝読本の様式的特徴を理解する。③作品研究における独自の視点を獲得する。

長編読本『忠臣水滸伝』の成功を機に、山東京伝は読本著述を本格化していく。その一つ『桜姫全伝曙草紙』(文化2年[1805]刊)は、長編仏教説話『勧善桜姫伝』を主要典拠とする怪異譚で、京伝読本の代表作に位置づけられている。この授業では、『桜姫全伝曙草紙』を精読することで、典拠の利用方法を確認しつつ、京伝読本の様式に対する理解を深めたい。そのうえで、作品研究における独自の視点を獲得を目指す。

平常点20%(授業への積極性を評価する)、口頭発表40%(資料の完成度・総合的な読解力・研究史に対する理解を評価する)、レポート40%(精確性・客観性・論理性・独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007105&opi=se0020&syw=1

教科書 なし(コピーして配布する)



国文学演習I(六) : 戦後の短編小説の面白さを学ぶ 金岡 直子 前期 水曜日 4時限 A207

小説作品を精読する力を養う
要点を理解し、簡潔にまとめる情報処理能力を養う
伝わりやすいプレゼンテーションを身につける
ディスカッションを通じて共通認識を深める
文学研究の面白さを理解する

文学研究を通して、読む力、調べる力、まとめる力、考える力、話す力、交渉する力を養っていきます。テキストに掲載された短編小説をグループに分けて読解、調査、考察、プレゼンテーションという手順を踏み、次年度の卒業論文作成のための準備運動をしていきます。

平常点(授業内の参加態度、発言を重視する)50%、発表内容(調査、問いと考察、要点の整理、到達度、グループへの貢献度)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007106&opi=se0020&syw=1

教科書 若い読者のための短編小説案内 / 村上春樹・文芸春秋、2004年・978-4167502072



国文学演習I(七)：『さんげろく』を国語学的に読む

山田 昇平

前期 金曜日 2時限 B305

- ・中世日本語資料に習熟する
- ・国語学的な問題意識を学ぶ
- ・国語学的な考察力を身に着ける



『さんげろく』はドミニコ会宣教師、D.コリヤードの手による、講義のキリシタン版であり、中世末期近世初期の日本人の懺悔の内容が口語体で述べられる。本演習では、本書を国語学的観点から読むことで、室町時代の日本語及びキリシタン版の出版など文献学的な問題意識などを学ぶ。具体的には、一回に約1ページを2～3人で分担担当し、担当箇所を諸資料に基づいて読解し、発表する。

- ・発表とそれを踏まえた最終レポート70%（内容の充実度・日本語に対する独自性のある問題設定・問題に対する適切な回答を総合的に判断する）
- ・議論30%（生産性のある質問や意見・積極的な参加などを評価する）
- ・出席は加点対象としないが、欠席は減点対象とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007107&opi=se0020&syw=1

教科書 キリシタン語学入門 / 岸本恵実・白井純・八木書店, 2022. 978-4-8406-2245-5

国文学演習I(八)：太宰治から現代作家へ— 近現代文学研究の視点と方法 木田 隆文

前期 月曜日 4時限 A207

- (1) 太宰治の短編小説を例に、文学作品の読解の方法を身に着ける。
- (2) 文献探索・読解の方法など、論文作成に必要な基礎的技能を習得する。



本講義の目標は、近現代文学分野の論文を書くために必要なスキルを、太宰治の作品研究を通じて身に着けることにある。

論文は〈エッセイ〉ではないため、資料的な裏付けや研究史を踏まえておく必要がある。しかし現代作家を研究対象とする場合、指針となる先行研究や基礎情報すら整理されていないことがほとんどである。そこで前期は、研究が整備された太宰治を例に、卒業論文を作成するために必要な研究手法と視点を学ぶ。
(なお後期は各自が関心を持った研究対象を取り上げ、卒論を見据えた研究を行う。)

平常(10%)、小課題(20%)、発表(30%)、期末レポート(40%)。
平常は授業への積極性を見る。レポート・発表・小課題は独創性と実証性のあるものを高く評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007108&opi=se0020&syw=1

教科書 走れメロス / 太宰治・新潮文庫, . 978-4-10-100606-2 晩年 / 太宰治・新潮文庫, . 978-4-10-100601-7

国文学演習I(十)：現代日本語の諸問題(1)

渋谷 勝己

前期 月曜日 3時限 C106

- ・現代日本語をめぐる研究課題が設定できる。
- ・その研究課題について、自然談話や小説、既存のコーパス、ネット上のデータなどを用いて簡単な分析できる。
- ・分析内容をハンドアウトにまとめ、発表できるようになる。
- ・自身で調べてみたいと思う現代日本語の事象を選ぶ。
- ・その事象に関するデータを自然談話や小説、既存のコーパス、ネット上のデータ、言語地図などのなかから抜き出し、整理、分析を加えてプレゼンを行う(2回)。そのプロセスのなかで、自身の取り組む研究課題を明確化する。
- ・平常点40点(積極的・建設的な発言・質問等を重視する)
- ・達成点60点(先行研究の読み込み、問題設定、調査、分析への積極的な取り組み、ハンドアウトやレポートの充実度を重視する)



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007110&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

国文学演習II(一)：「文学」という観点から『古事記』神話を読み解く。

鈴木 喬

後期 火曜日 4時限 A207

『古事記』について理解できる。注釈作業の具体的な方法を学び、諸注を批判的に検証しながら、新見を導き出す方法を身につけることができる。



古典文学研究の基礎知識や方法(索引の使い方、どのような研究方法があるのか)を学んだうえ、『古事記』上巻に収載される「神話」を考察する。ただ鑑賞するのではなく、一字一字、一語一語、丁寧に注釈を行い、『日本書紀』の比較を行う。また作品は作品だけで成立しているものではない。歴史的、社会的背景をもっている。社会背景や、具体的な事象を踏まえながら、現存最古の「文学作品」として読み解く。

平常点20%(積極的に議論に参加し、理解を深めているか。毎回のコメントシートの取り組み状況)。
発表40%(レジュメの内容、課題に対する取り組み)。
レポート40%(問題発見と問題解決への取り組み)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007201&opi=se0020&syw=1

教科書 古事記は写本のプリントを配布する

国文学演習II(三)：勅撰和歌集の読解方法 一歌の解釈と配列・構成一

穴井 潤

後期 月曜日 2時限 B305

- ①『千載和歌集』入集歌について、従来どのように読まれてきたのかを理解し、自分の見解を述べられるようになる。②図書館を利用して調査し、提示した形式で発表資料を作成できるようになる。



この授業では藤原俊成撰『千載和歌集』(以下、『千載集』)を輪読する。和歌は日本古典文学の歴史において中心的な作品ジャンルであり、その中でも勅撰和歌集は平安中期から室町後期にかけてもっとも権威ある作品群と言える。『千載集』は治承・寿永の乱の終結直後に完成した勅撰集で、戦禍の傷を色濃く反映している点にも注意したい。一首の歌の読解方法を学ぶとともに、配列・構成についても考察してもらう(※受講人数によって変動あり)。

積極的な質問など授業への参加度(40%)、資料作成および発表内容(30%)、発表レジュメの再検討(30%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007203&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する

国文学演習Ⅱ(四) : 日本は本当に生きづらいのか—世界と比べて見える「違和感」 河崎 絵美

後期 金曜日 1時限 A207

この授業では「世界を知る」と自体が目的ではない。日本で生きる自分の息苦しさ・違和感の正体を知ることが目的とする。

1. 自分がしんどくなる場面を言葉にできる
2. それが「個人の性格」ではなく「社会の構造」だと理解できる
3. 他者の違和感を想像できる
4. 世界の中での「別の選択肢」を考えられる

履修上の注意点をよく読むこと。世界を広く捉え、日本をしり、日本を理解することを目指します。当たり前が当たり前でないことに物おせず、様々な角度から自身の考え方、価値観を言葉にすることが重要です。

授業中課題50%

定期試験50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007204&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学演習Ⅱ(五) : 近世小説研究の基礎的方法

中尾 和昇

後期 火曜日 3時限 A207

①作品を精確に読解する。②先行研究(研究史)を整理・把握・分析する。③新たな研究の可能性を追究する。

近世小説を研究するには、まず自らの力で作品を精確に読解しなければならない。そのうえで、対象とする作品の研究動向(先行研究)を探索・分析することが求められる。そして、これらの作業を経て、新たな研究の可能性を追究する必要がある。この授業では、そういった基礎的な研究手法を身につけることを目標に、近世小説の諸作品を俎上に載せて調査・分析していく。

平常点30%(授業への積極性を評価する)、口頭発表40%(資料の完成度・研究史に対する理解・研究の独自性を評価する)、レポート30%(精確性・客観性・論理性・独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007205&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅱ(六) : 現代作家による短編小説の面白さを学ぶ

金岡 直子

後期 水曜日 4時限 A207

小説作品を精読する力を養う

要点を理解し、簡潔にまとめる情報処理能力を養う

伝わりやすいプレゼンテーションを身につける

ディスカッションを通じて共通認識を深める

文学研究を通して、読む力、調べる力、まとめる力、考える力、話す力、交渉する力を養っていきます。テキストに掲載された短編小説をグループに分けて読解、調査、考察、プレゼンテーションという手順を踏み、次年度の卒業論文作成のための準備運動をしてもらいます。

平常点(授業内の参加態度、発言を重視する)50%、発表内容(調査、問いと考察、要点の整理、到達度)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007206&opi=se0020&syw=1

教科書 1日10分のごほうび NHK国際放送が選んだ日本の名作 / 赤川次郎ほか・双葉社、2020年・978-4575523287



国文学演習Ⅱ(七) : 日本語史研究の基礎

山田 昇平

後期 金曜日 2時限 B305

1. 日本語史・文献学研究の方法を習得する。2. 日本語史・文献学上の問題を発見し、自ら調査・考察を行える。

前期Ⅰの発表内容や各参加者の関心に応じて、日本語史や日本語史資料に関する問題を設定する。その上で調査・考察を行い、資料を作成し、「問題編」として発表する。

・発表とそれを踏まえたレポート60%(形式・問題設定・考察を総合的に評価)

・議論40%(生産的発言・積極的態度などを評価)

・出席は加点対象としないが、欠席は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007207&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する



国文学演習Ⅱ(八) : 太宰治から現代作家へ— 研究論文作成の実践 —

木田 隆文

後期 月曜日 4時限 A207

(1)論文作成に必要な基礎的技能を習得し、4回生時点で独力で卒業論文を仕上げるができるようにする。

(2)多様な文学作品とその研究方法に触れることで、文学研究の視点を広げる。

本講義は、前期の演習を通じて学んだ近現代文学分野の研究スキルを具体的に運用し、4回生での卒論執筆に向けた基礎固めを行うことを目標とする。

具体的には受講生自身が卒論で取り上げてみたい研究対象を提案し、先行研究の問題を乗り越えた研究報告を行ってもらう。

そのため授業で取り上げる作品は、受講生各自に選んでもらうことになる。毎時間取り上げる対象は変わるが、それによって多くの近現代作品とその研究方法に触れ、多様な研究の視点を獲得することを目指したい。

平常(10%)、小課題(20%)、発表(30%)、期末レポート(40%)。

平常は授業への積極性を見る。レポート・発表・小課題は独創性と実証性のあるものを高く評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007208&opi=se0020&syw=1

教科書 随時指示する



国文学演習Ⅱ(十)：現代日本語の諸問題(2)

渋谷 勝己

後期 月曜日 3時限 C106

- ・現代日本語をめぐる研究課題が設定できる。
- ・その研究課題について、自然談話や小説、既存のコーパス、ネット上のデータなどを用いてある程度深めた分析ができる。
- ・分析内容をハンドアウトにまとめ、発表できるようになる。
- ・自身で調べてみたいと思う現代日本語の事象を選ぶ。前期と同じものでもよいし、変更してもよい。
- ・その事象に関するデータを自然談話や小説、既存のコーパス、ネット上のデータ、言語地図などのなかから抜き出し、整理、分析を加えてプレゼンを行う(2回)。そのプロセスのなかで、自身の取り組む研究課題を明確化する。
- ・平常点40点(積極的・建設的な発言・質問等を重視する)
- ・達成点60点(先行研究の読み込み、問題設定、調査、分析への積極的な取り組み、ハンドアウトやレポートの充実度を重視する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007210&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

国文学演習Ⅲ(一)：上代文学について自分の関心にそって問題点を見つけ、鈴木 喬
考察し、卒業論文を作成する。

前期 金曜日 5時限 B317

卒業論文を作成するとともに、研究課題を発見し、答えを論理的に導出する力を養う。卒業論文作成のために研究方法の総括を行ない、その研究方法を実践するための応用力を身につける。

各自の選んだテーマや研究の方法論に従いながら個人で発表を行い、卒業論文を作成していく。前期においては卒業論文の柱となるテーマや研究課題を見つけることを目的とする。後期からはより絞り込んだテーマ設定で発表を行い、卒業論文の執筆を進めていく。個別指導において、各自のテーマに必要な指導を行う。また他者の発表を聞くことにより、他者の研究(「問い」と「答え」の導出)を観察し、自身の研究テーマに還元する。

平常点30%(授業中の質疑応答による積極性)。

発表70%(問題発見と問題解決への取り組み、発表に対する取り組み、等)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007301&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅲ(三)：中古・中世文学を対象とした卒業論文の準備

穴井 潤

前期 水曜日 5時限 B305

自分が卒業論文で扱いたい作品を決め、テーマを決定することができる。また、その作品にどのような(どれほどの)先行研究が存在しているのか把握し、必要な論点を抽出できる。

この授業は、卒業論文執筆の準備を目的とする。受講者は論文テーマを具体的なかたちにすべく、授業を軸にしつつ各人で作業に取り組んでもらう。スケジュールは、授業外の時間も含めて「相談→実習→経過報告」のサイクルを意識しながら進行する予定である(後期も同様)。経過報告会には必ず参加して、現状を報告してもらう。

発表を中心とした授業参加度(75%)、第14回に提出する目次案(25%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007303&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



国文学演習Ⅲ(四)：近世文学に関する卒業論文作成のための演習(準備編) 中尾 和昇

前期 金曜日 5時限 B316

卒業論文を完成させるための準備として、研究史を分析したうえで、テーマ(タイトル)および全体構成を決定する。

全体指導・個人指導・個人発表を通して、卒業論文を完成させるための準備をおこなう。全体指導では、論文作成の手順について講義し、個人指導では、各人のテーマに沿った指導を行う。個人発表では、受講生全員が討議に参加し、意見交換を行う。

平常点60%(論文執筆に対する取り組み方を評価する)、構想発表40%(テーマ設定・論旨の妥当性・研究の独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007304&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅲ(五)：日本近代／現代文学を中心とする卒業論文作成のための演習 金岡 直子

前期 水曜日 5時限 A207

各自設定したテーマにむけての読解、調査、考察、分析、執筆を行う
規定字数に充足し、説得力のある文章力を身につける
データ管理、研究倫理についても理解を深める
卒業研究を完成させ、論文を提出する

卒業研究の実践のための演習です。各自テーマに沿って、読解・調査・考察・分析・執筆を行います。個人指導、および報告会を適宜実施します。

平常点(授業中の質問、参加態度)70%、課題点(レポート)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007305&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学演習Ⅲ(六)：国語学に関する卒業論文作成のための演習

山田 昇平

前期 水曜日 5時限 B224

- ・各自の設定したテーマに応じて卒業論文を完成させる
- ・卒業論文の執筆を通して、高度な発想力、調査能力、論理的思考を身につける

各自テーマを設定し、全体指導・個別指導・発表を行い、卒業論文を完成させる。全体指導では作成に必要な基本的な調査や執筆の方法・手順などを確認する。個別指導では各自のテーマに必要な指導を行う。発表では進展状況を受講者全員に報告し、全体で討議を行う。

- ・「発表」に対する姿勢50%(積極性が窺えるか・問題点が修正されているか・着実な進展がみられるか)
- ・「発表」内容に対する総合評価50%(独自性があるか・調査は適切か・論理的か)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007306&opi=se0020&syw=1

教科書 最新版 大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜義・講談社現代新書、2018。



国文学演習Ⅲ(七)：近現代文学およびその隣接領域に関する卒業論文の作成 木田 隆文

前期 金曜日 5時限 B305

論文の作成を通じて

- (1) 4年間の学習・研究の成果をまとめ上げる。
- (2) 社会で通用する客観的な論理性や文章作成能力を身につける。

論文のテーマは受講生それぞれ違うので、基本的には研究室での個別指導を中心とする。ただし、他人のものの見方や考え方からは、研究の大きなヒントが得られるので、それを知るために、全員を集めて中間報告会を実施する(不定期に数回実施)。なお個別指導の時間は教員と受講生の都合を相談して決定する。また報告会の日時と課題はGoogleClassroomを通じて知らせる。

中間報告と個別指導への取り組み、卒業論文の完成度による総合評価。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007307&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅲ(八)：国語学分野の卒業論文作成演習(1)

渋谷 勝己

前期 水曜日 5時限 C404

- ・自身で設定したテーマについて、調査をデザインしてデータを収集することができる。
- ・データを分析して結果をハンドアウトにまとめることができる。

毎回担当者を決め、当該担当者がデザインした調査概要、取りまとめた先行研究、収集したデータ、分析結果などに基づいて、参加者全員で建設的に議論する。

- ・平常点40点(積極的・建設的な発言・質問等を重視する)
- ・達成点60点(先行研究の読み込み、問題設定、調査、分析への積極的な取り組み、ハンドアウトの充実度を重視する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007308&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅳ(一)：身に着けた研究の基礎知識、考察力を駆使し、卒業論文 鈴木 喬

後期 金曜日 5時限 B317

卒業論文を作成するとともに、研究課題を発見し、自身の考えを論理的に導出する力を養う。卒業論文作成のために研究方法の総括を行ない、その研究方法を実践するための応用力を身につける。

各自の選んだテーマや研究の方法論に従いながら個人で発表を行い、卒業論文を作成していく。前期においては卒業論文の柱となるテーマや研究課題を見つけることを目的とする。後期からはより絞り込んだテーマ設定で発表を行い、卒業論文の執筆を進めていく。個別指導において、各自のテーマに必要な指導を行う。また他者の発表を聞くことにより、他者の研究(「問い」と「答え」の導出)を観察し、自身の研究テーマに還元する。

- 平常点30%(授業中の質疑応答による積極性)。
- 発表70%(問題発見と問題解決への取り組み、発表に対する取り組み、等)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007401&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅳ(三)：中世文学を対象とした卒業論文の完成

穴井 潤

後期 水曜日 5時限 B305

卒業論文を完成することができる。前期の準備に基づき、目次案に沿って各章を執筆することができる。

この授業は、卒業論文執筆の完成を目的とする。受講者は前期に決定した論文テーマに沿って執筆するために、授業を軸にしつつ各人で作業に取り組んでもらう(便宜上「第〇章」と書いているが各人の目次によって変更可)。授業外の時間も含めて「執筆→経過報告→修正」のサイクルを意識しながら進行する予定である。経過報告会には必ず参加して、現状を報告してもらう。十二月上旬の完成を目標にしてほしい。

報告を中心とした授業参加度(50%)、提出された卒業論文本体(50%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007403&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



国文学演習Ⅳ(四)：近世文学に関する卒業論文作成のための演習(作成編) 中尾 和昇

後期 金曜日 5時限 B316

設定したテーマ(タイトル)・全体構成に基づき、卒業論文を完成させる。

個人指導・個人発表を通して、卒業論文を完成させる。個人指導では、各人のテーマに沿った指導を行う。個人発表では、受講生全員が討議に参加し、意見交換を行う。

- 平常点60%(論文執筆に対する取り組み方を評価する)、中間発表40%(テーマ設定・論旨の妥当性・研究の独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007404&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅳ(五)：日本近代／現代文学を中心とする卒業論文作成のための演習 金岡 直子

後期 水曜日 5時限 A207

各自設定したテーマにむけての読解、調査、考察、分析、執筆を行う
規定字数に充足し、説得力のある文章力を身につける
データ管理、研究倫理についても理解を深める
卒業研究を完成させ、論文を提出する

卒業研究の実践のための演習です。各自テーマに沿って、読解・調査・考察・分析・執筆を行います。個人指導、および報告会を適宜実施します。

- 平常点(授業中の質問、参加態度)70%、課題点(レポート)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007405&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学演習Ⅳ(六)：国語学に関する卒業論文作成のための演習

山田 昇平

後期 水曜日 5時限 B224

- ・各自の設定したテーマに応じて卒業論文を完成させる
- ・卒業論文の執筆を通して、高度な発想力、調査能力、論理的思考を身に着ける

各自テーマを設定し、全体指導・個別指導・発表を行い、卒業論文を完成させる。全体指導では作成に必要な基本的な調査や執筆の方法・手順などを確認する。個別指導では各自のテーマに必要な指導を行う。発表では進展状況を受講者全員に報告し、全体で討議を行う。

- ・「発表」に対する姿勢50%（積極性が窺えるか・問題点が修正されているか・着実な進展がみられるか）
- ・「発表」内容に対する総合評価50%（独自性があるか・調査は適切か・論理的か）

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007406&opi=se0020&syw=1

教科書 最新版 大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜義・講談社現代新書, 2018.



国文学演習Ⅳ(七)：近現代文学およびその隣接領域に関する卒業論文の作成

後期 金曜日 5時限 B305

論文の作成を通じて

- (1) 4年間の学習・研究の成果をまとめ上げる。
- (2) 社会で通用する客観的な論理性や文章作成能力を身につける。

論文のテーマは受講生それぞれ違うので、基本的には研究室での個別指導を中心とする。ただし、他人のものの見方や考え方からは、研究の大きなヒントが得られるので、それを知るために、全員を集めて中間報告会を実施する（不定期に数回実施）。なお個別指導の時間は教員と受講生の都合を相談して決定する。また報告会の日時と課題はGoogleClassroomを通じて知らせる。

中間報告と個別指導への取り組み、卒業論文の完成度による総合評価。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007407&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学演習Ⅳ(八)：国語学分野の卒業論文作成演習(2)

渋谷 勝己

後期 水曜日 5時限 C404

- ・自身で設定したテーマについて、調査をデザインし、データを収集することができる。
- ・データを分析して結果を論文にまとめることができる。

毎回担当者を決め、当該担当者がデザインした調査概要、取りまとめた先行研究、収集したデータ、分析結果などに基づいて、参加者全員で建設的に議論する。

- ・平常点40点（積極的・建設的な発言・質問等を重視する）
- ・達成点60点（先行研究の読み込み、問題設定、調査、分析への積極的な取り組み、ハンドアウト・論文の充実度を重視する）

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141007408&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



卒業論文：大学における講義やその他の活動で修得した知見に基づき卒業論文を完成させる。 共同

通年 その他 その他 その他

大学における講義やその他の活動で修得した知見を活用して、自身が選択した研究課題を分析・考察し、論理的な文章を執筆できるようになる。

卒業論文の執筆・提出を目的とし、各々の学生が選択したテーマに応じて、演習などにおいて指導する。

卒業論文および口述試問の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142090000&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学史Ⅰ：平安文学の流れ

溝端 悠朗

後期 金曜日 4時限 C101

平安時代の文学史について、作品とその時代背景とをあわせて理解する。それぞれの作品についての知識を深める。

平安時代の文学の流れを、政治や社会の状況といった時代背景とともに学ぶ。その際、暗記事項の羅列に終始するのではなく、できるだけ作品本文を読むように努める。授業では毎回小テストを行うとともに、コメントシートの提出を求める。

小テスト50%（基本知識の習得度を評価する）＋学習到達度確認テスト30%（最終授業時に行い、授業の理解度を評価する）＋平常点20%（コメントシートにより、授業への積極性を評価する）

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141012100&opi=se0020&syw=1

教科書



国文学史Ⅱ：中世文学史における〈平家〉—軍記を中心に—

穴井 潤

前期 月曜日 4時限 C101

①鎌倉時代の文学作品について理解する。②軍記についての基本的な事項について理解する。③実在の人物が文学作品中に現れる時、それが〈歴史的事実〉と異なったものになっている点を理解する。

『平家物語』を中心に平家とその文化圏に関する文学作品について講義する。軍記は、実際に起こった戦争を題材とする、中世文学を代表するジャンルの一つである。そこに描かれるのは、激動の世に流されながら死んでいく人々のドラマと、登場人物の人となりや浮かび上がるエピソードの数々である。授業では、人物に焦点をあてながら、『平家物語』およびその周辺作品からエピソードを紹介しつつ、いくつかの章段を読解する。『平家物語』がどのような力学によってストーリー展開しているのかを把握すると同時に、中世文学史の中での位置を理解してほしい。

コメントペーパーの内容を含めた授業態度(40%)・到達度確認試験の内容(60%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141012200&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



国文学史Ⅲ：日本近世文学史

野澤 真樹

後期 月曜日 3時限 C101

①、日本近世文学に関する基礎知識を身につけ、その特色を理解する。②、日本近世文学史の流れを説明できるようになる。③、主要な文学ジャンル、作品、作者の概要を理解する。

近世の文学は、中世以前に比べ様々な変化が認められる。文学の担い手(作者、読者、その他作品に関わる人)が拡大したこと、印刷技術が発達して作品の製作・流布の方法が変化したこと、また、これらのことに関連して作品の性格や内容が多様化したことなどが挙げられよう。また、上方、江戸など地域の別や、年代ごとに流行した小説ジャンルの変遷などを理解することも重要である。これらのことに留意しながら、各ジャンル・作品・作者の文学史的な位置づけを辿るとともに、作品そのものを楽しむ読解へのアクセスを目指す。

授業各回の小課題45%、小テスト25%(授業内容の復習)、期末レポート30%(授業に関連した課題を受講者自身が設定し、客観的に論じる)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141013100&opi=se0020&syw=1

教科書 授業にて資料を配付する。



国文学史Ⅳ：近代文学の流れと、各作家・作品の特色を理解する

金岡 直子

前期 火曜日 4時限 C301

近代文学に関する基礎的な知識を得る

近代文学史と社会状況の密接な関係に注意する

近代文学史のなかでひとときわ輝く作家たちの来歴や作品に親しむ

文壇・作家集団・派閥などのグループの特色について学ぶ

近代文学には、特色のある作家たちが多く存在します。その作家たちを点ではなく線でつなぎ、やがて面で理解できるようになれば、あなたも立派な文学通です。その準備のために、この授業では明治から現代までの文学史の流れを概観するとともに、その時代を代表する作品を読み、鑑賞していきます。彼らの作品がなぜ生まれたのか、どのように世の中に求められたのかなどを考えるヒントにしていきたいと思います。

平常点50%(毎回の小レポートの提出状況、内容を重視)、期末試験50%(文学史の流れを正しく理解しているかどうか、テキストの内容を正しく理解しているかどうかを問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141013200&opi=se0020&syw=1

教科書 プレミアムカラー国語便覧(改訂版)/森田貴之ほか・数研出版、2017年・978-4-410-33913-4



国語学概論Ⅰ：国語学入門(1)

渋谷 勝己

前期 水曜日 2時限 C101

・日本語に関する基本的な知識を身につける。

・日本語の諸側面について他の人(とくに中高生)に説明できる。

日本語の音声・音韻、アクセント、文法について体系的に概説すると同時に、他言語(とくに英語)と日本語の異同について確認する。

・平常点55点(積極性を重視する)

・達成点45点(理解確認のための小テスト。毎回実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141014100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国語学概論Ⅱ：国語学入門(2)

渋谷 勝己

後期 水曜日 2時限 C101

・日本語に関する基本的な知識を身につける。

・日本語の諸側面について他の人(とくに中高生)に説明できる。

・国語教育に関わる日本の言語政策について理解する。

国語学概論Ⅰに続き、表記、標準語、敬語、語彙など、日本語の基本的な特徴について概説する。

・平常点55点(積極性を重視する)

・達成点45点(理解確認のための小テスト。毎回実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141014200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



古典文学概論Ⅰ：『百人一首』で和歌史をたどる

穴井 潤

前期 火曜日 3時限 C301

①和歌の技法・語法を踏まえた上で鑑賞できる。②和歌を読んで感性や習俗を学び、古典文学に親しむことができる。

③平安時代の和歌史について、大まかな流れを把握することができる。

『百人一首』を教材として和歌文学について講義する。上代～中世の和歌を取り上げ、読み解いていく。和歌は千年を優に超える歴史を持つ、日本古典文学の核となる文学ジャンルである。和歌にこめられたイメージや、それを表現するために用いられた技法に注目する。一首の歌を読むという行為を通じて、複雑な感情や豊かな世界を思い描く想像力を養ってほしい。

コメントペーパーの内容を含めた授業態度(40%)・到達度確認試験の内容(60%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141017100&opi=se0020&syw=1

教科書 百人一首解剖図鑑/谷知子・エクスナレッジ、2020・978-4-767-82837-4



古典文学概論II：日本文化の根幹を学ぶ 一『古今和歌集』の達成とその享 穴井 潤

後期 火曜日 3時限 C301

『古今集』についての基礎知識を理解できるようになる。また、『古今集』の世界観や享受のあり方を通じて、日本文化への興味を深めることができる。

『古今和歌集』(以下、古今集)について講義する。今でこそピンとこないかもしれないが、約千年もの間、日本文化の根幹には『古今集』があった。時間の認識や花鳥風月に対する意識などの美的感覚は長い年月をかけて形成されていったのだが、その感覚の源流は『古今集』にあるといっても過言ではない。『古今集』的美意識は(近現代文学も含め)数多の日本文学に影響を及ぼしているため、日本文化を学ぶ第一歩とするために基礎的事項から享受のあり方まで幅広く説明する。

コメントペーパーの内容を含めた授業態度(40%)・到達度確認試験の内容(60%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141017200&opi=se0020&syw=1

教科書 新版 古今和歌集 現代語訳付き / 高田祐彦(訳注)・KADOKAWA, 2009. 978-4-044-00105-6



近代文学概論I：近代文学、特に明治・大正期の文学の展開

池田 啓悟

前期 月曜日 2時限 C101

- ・文学作品について、資料に基づいて論理的に思考できるようになる。
- ・文学の表現と作品内容の関係について理解できるようになる。
- ・近代文学作品について自分なりの考えをまとめることができる。

この講義では、明治から大正までの日本文学を取り扱います。近代文学の物語、評論を中心としつつ、エッセイ、詩歌などにも注目しながら、表現の変化や歴史的事項との関係性をさぐります。「写実主義」「自然主義」「ロマン主義」などといった、ジャンルの名称を暗記するための文学史ではなく、具体的な作品の「表現」を読み解く力をみがきます。

平常点60%(講義内容にかかわる感想、質問など)+試験に替わるレポート40%(講義内容に基づく作品読解)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141018100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



近代文学概論II：昭和文学の特質とその展開

木田 隆文

後期 金曜日 2時限 C301

- (1) 昭和期の文学の特質と展開を理解することができる。
- (2) 文学表現の多様性を知ることができる。
- (3) 文学表現と歴史的・社会的要因の関係性を理解することができる。
- (4) 文学作品の解釈に必要な視点を身に付けることができる。

昭和期は戦争への傾斜と敗戦、そして復興と、日本の歴史の中でも大きな変動を経験した時期である。そのため、この時期に生み出された文学には様々な歴史的課題や表現上の試みが刻印されている。

本講義はまず、それら昭和文学の課題や表現・ジャンルの理解と、それらの変遷を文学史的にとらえる。その過程で、作家、作品、文学史の流れ、メディアなど、基本的な知識を身につけ、作家や作品が、時代状況、文化状況の中にもどのように位置づけられているのかを考えてゆく。

平常(20%)、小課題(20%)、課題試験(60%)の総合評価。

平常態度は授業の参加程度で判断。小課題・課題試験は知識の獲得度と作品分析の独自性を判断して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141018200&opi=se0020&syw=1

教科書 Webで提示



現代文化論：文学を中心とした現代文化の諸相

池田 啓悟

前期 月曜日 3時限 C101

- (1) モチーフという観点から様々なジャンルを横断的に考察できるようになる。
- (2) 近現代の文化を多角的に捉える視座を獲得する。

本講義では、モチーフという観点から、文学を中心とした近現代の文化を考察します。最初にモチーフについて説明し、その後現代の置かれている文化状況を解説した後、様々な文化事象に共通するモチーフを見ていきます。

平常点60%(講義内容にかかわる感想、質問など)+試験に替わるレポート40%(講義内容に基づく作品読解)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141018500&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



中国文学概論I：中国古典文学作品の精読と鑑賞を通して中国文学史を概観 西尾 和子

前期 金曜日 2時限 C201

先秦から六朝にかけての代表的な詩歌や文章にたいする基礎的知識を身につけ、中国文学の歴史を体系的に理解し、それを説明することができる。

前期は、先秦から六朝における代表的な作品をテキストから選び、精読・鑑賞しながら、作品にたいする特徴や文化的背景への理解を深めることを目的に、中国文学史を概観する。また、日本文学における中国文学の受容という観点から作品を検討することによって、日中両国の古代文化交流について理解を深めるとともに、比較文学の研究方法を修得する。

定期試験60%：基礎的知識(訓読・現代語訳等)が身についているかなど到達目標の達成度を確認し評価する。

平常点40%：平素の質疑・発表および課題の準備度などによって総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141019100&opi=se0020&syw=1

教科書 『新選 中国詩文』/ 中国詩文研究会・東方書店, 2026年. 978-4-497-22606-8



中国文学概論II：中国古典文学作品の精読と鑑賞を通して中国文学史を概観 西尾 和子
する。併せて日本文学への影響を考察する。

後期 金曜日 2時限 C201

唐代の代表的な詩歌や文章にたいする基礎的知識を身につけ、中国文学の歴史を体系的に理解し、それを説明することができる。

後期は、唐代の代表的な作品をテキストから選び、精読・鑑賞しながら、作品にたいする特徴や文化的背景への理解を深めることを目的に、中国文学史を概観する。また、日本文学における中国文学の受容という観点から作品を検討することによって、日中両国の古代文化交流について理解を深めるとともに、比較文学の研究方法を修得する。

定期試験60%：基礎的知識（訓読・現代語訳等）が身についているかなど到達目標の達成度を確認し評価する。
平常点40%：平素の質疑・発表および課題の準備度などによって総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141019200&opi=se0020&syw=1

教科書 『新選 中国詩文』 / 中国詩文研究会・東方書店、2026年・978-4-497-22606-8



日本語の歴史I：日本語表記史・音韻史

山田 昇平

前期 火曜日 3時限 C201

1. 日本語史の基本的な知識を習得する。
2. 言語史の方法論を習得する

言語は絶えず変化をしている。それでは、かつての言語はどのような姿で、今に至るまでにどのように変化をしてきたか。また、どのような方法でそれは知られるのか。この授業では、そのような疑問の答えを考えることを目的に、日本語の歴史を扱う。具体的なテーマには表記史(2～5回)・音韻史(6～15回)を扱う。各回では、日本語史の主なトピックをひとつ取り上げつつ、「トピックの確認」・「トピックが明らかにされる過程」・「トピックの日本語史上における位置づけ」、といった点を中心に議論を行う。

- ・コメントカードの質20%(毎回、授業内容の理解を確認する。出席点ではない)
- ・最終試験80%(日本語史の基本的知識の有無、日本語史の問題に対する適切な考察力を問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141020100&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する



日本語の歴史II：日本語語彙史・文法史

山田 昇平

後期 火曜日 3時限 C201

1. 日本語史の基本的な知識を習得する。
2. 言語史の方法論を習得する。
3. 1・2に基づきつつ、日本語史上に生じた事象について説明できる。

言語は絶えず変化をしている。それでは、かつての言語はどのような姿で、今に至るまでにどのように変化をしてきたか。また、どのような方法でそれは知られるのか。この授業では、そのような疑問の答えを考えることを目的に、日本語の歴史を扱う。具体的なテーマには語彙史(2～4回)・文法史(5～14回)を扱う。各回では、日本語史の主なトピックをひとつ取り上げつつ、「トピックの確認」・「トピックが明らかにされる過程」・「トピックの日本語史上における位置づけ」、といった点を中心に議論を行う。

- ・コメントカードの質20%(毎回、授業内容の理解を確認する。出席点ではない)
- ・最終試験80%(日本語史の基本的知識の有無、日本語史の問題に対する適切な考察力を問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141020200&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する



神話伝承論：古代日本神話の特性や神話の伝承というものが如何になされて 鈴木 喬
きたのか、『古事記』を通じて考えてゆく。

前期 金曜日 3時限 C301

受講生が『古事記』の神話を通じて、日本文化、日本人について個別に考える力を身に付けることができる。

「神」や「神話」とはなにか、「伝承」とはなにか。そのような概念規定をもとに『古事記』序文、上巻(天地初発～イザナキ・イザナミ)を読み解く。また現代の我々にとって「神話」とは「古事記」とは何かを考えてゆく。

平常点20%(毎回行うコメントシートや作業等の取り組み)、最終授業時に実施する学習到達度確認(筆記による学力確認)80%による。授業内容の理解度、その理解を踏まえた応用力を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141022000&opi=se0020&syw=1

教科書 神話伝承論ノート / 神話伝承論学習の会・書肆アルス、2013。



平安文学論：平安和歌を読む

溝端 悠朗

前期 金曜日 4時限 C101

古典文学、特に和歌文学を読むための基礎知識と研究方法を理解する。古典についての理解を深め、文学研究にあたっての基本的な作業を習得する。

前近代、文学の中心は和歌であったが、その意識が生まれ定着したのは主に平安時代においてであった。本講義では、和歌文学について基本的な知識と研究方法を学ぶとともに、代表的な歌人とその和歌を取り上げて、平安和歌史を通覧しつつ読解する。これらを通じて、文学作品の表現を精読する研究方法を身につける。授業では毎回コメントシートの提出を求める。

学習到達度確認テスト80%(最終授業時に行い、授業内容を理解できているかを評価する)＋平常点20%(コメントシートの内容により、授業に対して積極的に取り組んでいるかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141024100&opi=se0020&syw=1

教科書



中世文学論：新古今時代への道のり 一中世和歌の様式と歌人たち 穴井 潤 後期 月曜日 3時限 C201

①中世和歌を理解するための三つの要素を理解できる。②著名な歌人とその歌について理解できる。③平安後期～鎌倉初期の和歌史について理解できる。

新古今歌人を中心に、中世和歌について講義する。和歌には、①コミュニケーションツール、②文芸的な作品、という二つの側面があり、一二世紀(1100年代)ごろからは文芸性の高い作品が多く詠まれるようになる。そして、それを読解するためにはいくつかの約束ごとを理解しなければならない。

授業の前半では、そうした約束ごとの説明を行う。後半では、知っておきたい有名な歌人について概説し、その作品を見ていく。王朝文化が衰退していく中で生きた人々がどのような思いをもって和歌を詠んだのか、理解してほしい。

コメントペーパーの内容を含めた授業態度(20%)・レポートの内容(80%)によって判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141025200&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



近世文学論：近世後期小説と演劇 中尾 和昇 前期 水曜日 1時限 C201

①近世後期小説の作品構造を把握する。②近世後期小説と演劇の関係性について理解する。

浄瑠璃・歌舞伎といった演劇作品が、古典文学と双方向の関係にあることはよく知られている。とりわけ近世後期小説(草双紙・読本)においては、演劇の筋や趣向が用いられることが多い。また、挿絵に役者似顔が用いられるほか、舞台を紙上で再現するような作品もあらわれる。この授業では、近世後期小説と演劇がどのような関係にあったのかを、曲亭馬琴・山東京伝・十返舎一九の作品を中心に読み解いてみたい。

平常点30%(授業への積極性を評価する)、授業コメント30%(独自性を評価する)、学習到達度確認40%(精確性・客観性・論理性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141026500&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



書物論：書物を「モノ」としての側面からとらえ、書物の形態、様式、その生産、槻本 正行 後期 木曜日 4時限 C201

(1) 書物の部位、名称を理解し、各部位の機能を説明できるようになる。
(2) 書物の物理的側面とその表象といった観点から書物について考えることができるようになる。

書物を「書き物」と解するなら、書かれた内容とその内容を定着させる支持体(紙などの記録メディア)としての「モノ」という面がある。この「モノ」としての書物は、内容を規定したり、内容・ジャンルを表したり、内容とは別に重視されるといった振る舞いをする。また、一方で「モノ」としての規範性を負うものでもある。そのようなことを書誌学の基礎的知識の習得と併せて考える。

授業時の発言等の授業参画度、コメントシート(20%)、ミニ・レポート(20%)、課題レポート(60%)によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141031400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



メディア文化論：歴史資料としての漫画—生活文化史の観点から 木田 隆文 前期 月曜日 3時限 C104

(1) 漫画の持つ歴史・文化資料としての可能性を考えることができる
(2) 文化研究の基礎的な方法を学ぶことができる
(3) 戦後日本の生活史を理解することができる

本講義は、歴史資料としての漫画の可能性を考察するものである。具体的には長谷川町子「サザエさん」を事例に、毎時作品内に現れる歴史的事象(特に生活史)を1つとりあげ、その表現方法について歴史的背景とともに考察する。こうした事例研究を積み重ねることで、漫画を歴史資料としてとらえなおす視点や手法、問題点を確認してゆきたい。

平常点(10%)、小課題(30%)、期末試験(60%)の総合評価。
平常は毎時の授業参加度を、小課題・期末試験は講義内容の理解度と、独自の解釈の有無を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141031700&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントで配布



比較交流論：平安文学における漢詩文の受容 北井 佑実子 後期 金曜日 4時限 C201

平安朝の古典文学作品を正しく読み、漢詩文の受容を考えながら、日本文学と中国文学の関係を理解する。

平安朝の古典文学作品を読み、中国文学から受けた影響と、そこから作り上げられた独自の日本文学・日本文化の世界について考える。

講義内容は以下の通りであるが、受講生の理解度や興味によって、どこに重点を置くかを決めるので、以下の予定は目安と考えてほしい。

第15回には、到達度確認テストを行う。

平常点10%(授業への参加度)
小レポート40%(授業中の課題)
第15回到達度確認テスト50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141038400&opi=se0020&syw=1

教科書



和歌歌謡論：『古今和歌集』を読む

北井 佑実子

前期 金曜日 4時限 C201

『古今和歌集』の和歌を部立ごとに読み、平安時代の和歌について考える。

『古今和歌集』の和歌を部立ごとに読み、和歌の特徴や歌集全体の構成について考える。

講義内容は以下の通りであるが、受講生の理解度や興味によって、どこに重点を置くかを決めるので、以下の予定は目安と考えてほしい。

第15回には、到達度確認テストを行う。

平常点10%(授業への参加度)

小レポート40%(授業中の課題)

第15回到達度確認テスト50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141023000&opi=se0020&syw=1

教科書 古今和歌集 / 佐伯梅友校注・岩波文庫, 1981. 4-00-300121-4



近代小説論：キャリア×仕事×文学を考える

金岡 直子

後期 月曜日 4時限 C203

近代／現代文学特有の空気感、作家の観察眼、文化的背景を読解する力、考察する力 以上の力を身につけるとともに、自らの意見を他者に伝えることができること

「文学は役に立たない」という社会通念を考えるために、文学におけるキャリアを探る作品を読んでいます。私たちの生きる時代は変化に富んでいます。そんなとき、生き方の指南書として文学は役に立つのではないかと考えることも一助となるはずです。その答えがどんなものか、いっしょに見つめていきましょう。

授業中の小レポート50%(課題の完成度、授業内容の理解度を重視)、授業に対する積極性20%(授業中の質問、アクティブラーニングへの参加度を重視)、期末レポート20%(参考文献を用いて、論理的に自分の考えを伝えられるかを評価)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141028000&opi=se0020&syw=1

教科書



近代詩歌論：日本近代詩歌の読解と調査

牧 千夏

前期 木曜日 2時限 C301

1日本近代詩歌の読解をする 2日本近代詩歌に関わる資料調査の方法を学ぶ

日本近代詩歌の代表的な作品を読解する。同時代の周辺資料を調査し、史的な位置づけを試みる。

授業内で提示する小課題 60% 最終レポート40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141029000&opi=se0020&syw=1

教科書



現代文学論：エッセイ／随筆とは何か

金岡 直子

前期 火曜日 2時限 C201

日本におけるエッセイ／随筆を追いかけて、現代文学の幅広さを学ぶ。エッセイ

執筆・講評も行う。

エッセイに含まれる観察眼や文化的背景を読解する力、考察する力

以上の力を身につけるとともに、自らの考えを他者に伝えることができること

文学の楽しみは奇想天外なフィクションの物語だけにあるのでしょうか。この疑問を解消すべく、エッセイ／随筆から、作家の観察眼と筆力によって日常が全く違うものに変化することを学んでいきます。明治時代から戦後、現代のエッセイを幅広く扱い、作家たちの工夫や苦心を感じつつ、自分自身でもエッセイを書いてもらいます。アカデミックライティングとは違った文章を書いてみて、書く楽しさにも触れていきます。

授業中のエッセイ60%(エッセイの完成度、授業内容の理解度を重視)

授業に対する積極性40%(授業中の質問、アクティブラーニングへの参加度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141031300&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配付



古典日本語論：キリシタン語学の研究

山田 昇平

前期 金曜日 1時限 C201

・キリシタン語学に関する基礎的知識を身に着ける

・文献学に対する理解を深める

中世後期に来日したキリスト教宣教師たちが残した文献群をキリシタン文献といい、この文献群を資料に用いた語学研究をキリシタン語学と呼ぶ。本講義では、キリシタン語学について多角的に論じ、日本語史研究のみならず広義の文献学に対する知見を深めることを目的とする。

・コメントカードの質20%(毎回、授業内容の理解を確認する。出席点ではない)

・最終レポート80%(キリシタン語学に対する理解、適切な考察力・論理力・文章力を問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141030100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



現代日本語論：社会言語学概説

渋谷 勝己

後期 火曜日 4時限 C101

・言語の多様性とは何か、どのようにして生じるのかが説明できる。

・日本語の多様性を指摘できる。

①話し手の属性による日本語の多様性(前半)と、②同じ話し手が使い分ける多様性(後半)に分けて、日本語のもつ多様性を整理する。

・平常点55点(積極性を重視する)

・達成点45点(理解確認のための小テスト。毎回実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141031100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国文学特殊講義：『和泉式部日記』を読む～「一途」か「奔放」か 無自覚な 櫻井 清華

前期 木曜日 3時限 C201

『和泉式部日記』を読み込むことで、平安時代の一般的な基礎知識と社会構造をまなぶ。また筆者を通じて平安時代の男女関係や婚姻の諸相を知る。これらの成果を通じて最終的には受講者自身が問題意識を持って作品と向き合えるようになることを目指す。

講義形式で指定テキストの『和泉式部日記』を読み解く。当時の女性のライフサイクルやジェンダーバイアスについても同時に解説する。

到達度確認テストと出席状況、授業態度などで総合的に判断します

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141032000&opi=se0020&syw=1

教科書 和泉式部日記 / 近藤みゆき 訳註・角川ソフィア文庫、2003年(平成15年)・4-04-369901-8



国語学特殊講義：方言学の展開

渋谷 勝己

前期 火曜日 4時限 C101

- ・方言学の各分野がどのような分野か説明できる。
- ・方言学の各分野がどのように、なぜ発展してきたか説明できる。

明治以前から現代に至るまでに発展してきた方言学の各分野を、そのような研究がなぜ必要だったのか、具体的にどのような方法で研究しようとしたのかなどに注意しつつ概説する。

- ・平常点55点(積極性を重視する)
- ・達成点45点(理解確認のための小テスト。毎回実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141035000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



日本語教育論：第二言語習得論、外国語教授法・コースデザインの基礎を学 芹澤 剛

後期 月曜日 2時限 C201

- (1) 第二言語習得論の基礎的な事項を理解し、解説できる。
- (2) 外国語教授法・コースデザインの基礎的な事項を理解し、解説できる。

日本語教育に必要な第二言語習得論の基礎的な知識と代表的な外国語教授法の特徴、コースデザインの基礎的な知識について理解を深める。

学習の柱の一つ目は、中間言語、学習者母語の影響、インプット・アウトプット、習得順序、教室での指導、学習開始年齢などの基礎的な事項を理解することである。

二つ目は、外国語教授法の変遷と代表的なものの特徴及びコースデザインの基礎について理解し、問題演習をつうじて理解を深めることである。

授業は指定したテキスト及び配付プリントを用いて講義形式で進めていく。

【総合評価】

- ・学習到達度確認(筆記)90%(第2～13回の学習内容の理解の正確さ)
- ・平常点10%(授業参加の積極性)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141037300&opi=se0020&syw=1

教科書 日本語を教えるための第二言語習得論入門 / 大関浩美・くろしお出版、2010・9784874244807



言語情報処理論：日本語データ処理(基礎)

岸江 信介

前期 月曜日 2時限 I105

日本語データ処理の基礎を学び、言語データの処理法、簡単なコーパスデータの分析、テキストマイニングによるデータ分析を通じてレポートや卒論が作成できる力を身につける。

国語学の分野においてコンピュータを利用した研究について基礎を学び、自分で収集したデータを整理し、分析する方法を身につける。ウェブ上での文献資料探索やデータ収集、レポートや論文の作成、発表資料作成など活用方法はさまざまであるが、コーパスの扱い方や、KH-Coderを利用しながらデータ分析の手法を身につける。

平常点50%(講義中の質問など、積極的な態度、課題の提出状況と発表内容を重視)、学習到達度確認50%(レポートの内容、Excel操作によるデータ分析ができること、さらにはウェブ上でのデータ収集、コーパスデータの利用の割合)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141037500&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストマイニング入門: ExcelとKH Coderでわかるデータ分析 / 末吉美喜・オーム社、2019・978-4274222856



中国文学講読I：漢文の読解能力の育成。教職課程科目を履修する学生に 西尾 和子

前期 金曜日 3時限 C201

いは、中学校・高等学校における漢文の授業に必要な説明能力の育成。

漢文読解に必要な基礎的な知識・技能を習得し、それを説明することができる。

中国古典文学のさまざまなジャンルの作品を精読しながら、漢文の基本的な構文や助字の用法、訓読の法則などを習得するとともに、作品にたいする特徴や文化的背景への理解を深める。

授業では、作品の訓読および現代語訳のほか、作品ごとに練習問題を解いて理解度を確認する。

定期試験60%: 漢文読解に必要な基礎的な知識が身についているかなど到達目標の達成度を確認し評価する。

平常点40%: 平素の質疑・発表および課題の準備度などによって総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141040100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布



中国文学講読II：漢文の読解能力の育成。教職課程科目を履修する学生につ 西尾 和子
いては、中学校・高等学校における漢文の授業に必要な説明能力の育成。

後期 金曜日 3時限 C201

漢文読解に必要な基礎的知識・技能を習得し、それを説明することができる。

中国古典文学のさまざまなジャンルの作品を精読しながら、漢文の基本的な構文や助字の用法、訓読の法則などを習得するとともに、作品にたいする特徴や文化的背景への理解を深める。
後期の授業では、少し難易度の高い練習問題にも取り組む。授業の進め方は前期と同様、作品の訓読および現代語訳のほか、作品ごとに練習問題を解いて理解度を確認する。

定期試験60%：漢文読解に必要な基礎的知識が身についているかなど到達目標の達成度を確認し評価する。
平常点40%：平素の質疑・発表および課題の準備度などによって総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141040200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布



書道I：本講座は中学校国語科書写の学習内容、技能そして指導法を学んで 喜多 徹
いく。

前期 月曜日 1時限 C201

教育の現場において、必要とされる技法の習得、書写指導の考え方や知識、さらに授業の展開[示範・添削・評価]等を身につけ、生徒たちに支援できる力を養う。

高等学校の芸術科書道の教員としての実務経験を生かして、中学校国語科書写の実技指導や授業計画等について学習していく。国語科書写の取り扱いは『文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること』『硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の基礎を養うようにすること』となっている。とくに書写の指導にあたるという観点から、毛筆・硬筆の実技中心に授業を展開していく。

* 課題作品を50%、リポート30%、関心・意欲・態度・努力そして知識度を20%として評価する。

【評価基準】関心、意欲、技能の習得度合、知識、表現向上の努力を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141047000&opi=se0020&syw=1

教科書 国語科書写の理論と実践 / 全国大学書写書道教育学会[編]・萱原書房、令和8年・978-4-86012-142-6



書道II：本講座は中学校国語科書写の学習内容、技能そして指導法を学んで 喜多 徹
いく。本講座は中学校国語科書写の学習内容、技能そして指導法を学んでい

後期 月曜日 1時限 C201

教育の現場において、必要とされる技法の習得、書写指導の考え方や知識、さらに授業の展開[示範・添削・評価]等を身につけ、生徒たちに支援できる力を養う。

高等学校の芸術科書道の教員としての実務経験を生かして、中学校国語科書写の実技指導や授業計画等について学習していく。国語科書写の取り扱いは『文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること』『硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の基礎を養うようにすること』となっている。とくに書写の指導にあたるという観点から、毛筆・硬筆の実技中心に授業を展開していく。

* 課題作品を50%、リポート30%、関心・意欲・態度・努力そして知識度を20%として評価する。

【評価基準】関心、意欲、技能の習得度合、知識、表現向上の努力を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141049000&opi=se0020&syw=1

教科書 国語科書写の理論と実践 / 全国大学書写書道教育学会[編]・萱原書房、令和8年・978-4-86012-142-6



実地見学踏査I：実地の体感を通して、日本文学や日本文化に対する理解を 鈴木 喬
深める。

通年 その他 その他 その他

奈良の故地を訪ね、歩く・見る・聞く・食べるなどの身体感覚(体感)を通じ、文学作品への理解を深めると同時に、客観的に表現することができる。

この授業は、奈良各地に残る古典や近・現代文学にあらわれる故地を実際に訪ね、文学や芸術・芸能に関する鑑賞眼を養い、感性を研ぐことを目的として、創設された。教室で学んだ知識を実地の見学・踏査でさらに深め、学習を進める。

評価：踏査における取り組み方(平常点)や、踏査実施後のレポートによって行なう。平常点20%、提出物80%
評価基準：踏査で学んだこと、調べた内容を客観的に報告できるかという点。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141053100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



実地見学踏査II：国文学における踏査の方法について学び、日本文学や日本 鈴木 喬
文化に対する理解を深める。

通年 その他 その他 その他

方法、手順を考え、踏査を実施し、そこから得た知識を整理する力を身につける。身につけた力によって、個々人が目的に応じた踏査ができるようにする。

この授業は、古典や近・現代文学にあらわれる故地を実際に訪ね、文学や芸術・芸能に関する鑑賞眼を養い、感性を研ぐことを目的として、創設された。教室で学んだ知識を実地の見学・踏査でさらに深め、学習を進めるのが特徴である。

評価：踏査における取り組み方(平常点)や、踏査実施後のレポートによって行なう。平常点20%、提出物80%
評価基準：踏査で学んだこと、調べた内容を客観的に報告できるかという点。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141053200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



伝統芸能鑑賞：日本の伝統芸能(歌舞伎・浄瑠璃)を鑑賞する

中尾 和昇

通年 その他 その他 その他

①伝統芸能の基礎的知識を習得する。②伝統芸能と古典文学の双方向性を理解する。

江戸時代にはじまる浄瑠璃・歌舞伎は、古典文学との結びつきが強く、それらは双方向の関係を持っている。また、世界的に見ても、独特の世界観を有している。しかし、伝統という枠組のせいか、「敷居の高いもの」という認識が根強いことも否めない。この授業では、日本の伝統芸能に親しみ、その魅力を発信するための教養を身に付けたい。なお、下記の授業内容は、あくまで予定であり、変更する場合がある。

平常点40%(授業への取り組み方を総合的に評価する)、鑑賞レポート60%(精確性・客観性・論理性・独自性を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141043100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



身体表現実習：尺八の実演。日本文化の特殊性ならびに普遍性を尺八の吹奏を通して学ぶ。

通年 金曜日 3時限 A207.
通年 金曜日 3時限 和室
(F203)

学生が一年を通じて基本の呼吸法を修得し、かごめかごめ、桜、越天楽などの簡単な曲を吹奏出来るようになる事。

邦楽演奏家として研究してきた事を基に 1 姿勢 2 呼吸 3 心法(心の持ち方) 4 所作(立つ、座る、礼法) を指導。この科目を選択するにあたり、特別な音楽的知識は必要ありません。

楽譜が正しく読める事、吹奏技術、所作の美しさ、他に、自習の量、質問数などの積極性を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141044100&opi=se0020&syw=1

教科書 尺八入門 / 菅原邦仁義 . . .



資料調査実習：版本を用いた基礎的な文献調査に関する実習

中尾 和昇

後期 金曜日 4時限 A207

①江戸時代の出版に関する基礎知識を習得する。②基礎的な文献調査の方法を身につける。

江戸時代に入ると、印刷技術の発展とともに、数多くの書物が「版本」として出版され、商品となって広く社会に流通していった。現代の書籍がそうであるように、版本には個性が存在する。内容はもちろんのこと、大きさ(書型)、摺り方(版式)、綴じ方(装訂)などに違いがあり、実に多様である。この授業では、版本調査を通して、さまざまな情報(書誌)をデータとして収集し、その特徴を分析する。これらの実践を通して、出版に関する基礎知識を習得するとともに、基礎的な文献調査の方法を身につける。

平常点40%(授業への積極性を評価する)、文献調査・発表60%(文献調査・発表の内容を評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141054000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし(コピーして配布する)



文芸創作実習：オリジナルの文芸作品を創作する

横田 理恵

前期 土曜日 1時限 A207

1.様々な文芸作品に触れて、自身の表現したいものに合った形を見つける。 2.自らテーマを決めて作品を創作し完成させる。

【Zoomを使用したりリモート授業となります】

様々な文章に触れ、作り手としての表現方法を学びます。そして、実際に小説・エッセイ・詩の創作を行います。その中で自身に合った表現方法を見つけ、最終作品に繋がります。また、作品の発表(匿名)・感想を伝え合うことによって客観的な視点を身につけ、創作に活かします。

授業内での発表、授業に関するレポート・創作物を学習到達度に鑑みて総合的に評価します。※出席点という形はなく、授業内容を踏まえたレポート・創作課題の提出を重視します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141054500&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



書物出版学実習：近代文芸図書の書誌的調査と分析

木田 隆文

後期 月曜日 2時限 A207

(1) 明治から昭和期にかけて刊行された文芸図書・資料について理解を深める。

(2) 近代の印刷出版に関する基本的な知識を理解する。

(3) 図書資料の調査・保存方法を身につける。

この授業では、明治から昭和戦前期にかけて刊行された文芸図書と関連資料をとりあげ、それらについて書誌的に調査分析する技術を身につけることを目的とする。

授業では、毎時具体的な図書資料が提示され、それを教員の指示に従って分析し、書誌解題を作成してゆく。その訓練を重ねながら、図書を調査する際の手法と視点を身につけ、あわせて印刷出版や保存方法に関する知識も理解する。

本科目は実習科目であり、実際の調査や分析報告を課す。毎時間のように課題提出があるので、そのつもりで受講すること。

課題・報告(50%) 実技試験(20%) 平常点(30%)

▼課題は授業内容に基づいて作成するため、欠席すると提出できず単位に大きく響く。

▼試験は実技で行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141050100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント等で配布



編集実習：編集とはどんな技術なのか、どんなことに役立つのか？を編集者 倉橋 みどりの立場から具体的に伝えとともに、基礎的な編集の技術について実践的に学ぶ。

後期 水曜日 2時限 A207

身近な出版物などを題材に、編集の基本的なスタンスを理解するとともに、小冊子の作成を通じ、基礎的な編集の技術について実践的に理解する。

編集について、出版物を中心に、取材、執筆、デザイン、校正といった基礎的な編集スキルとプロセスについて、理論だけでなく実践的に理解する。編集の作業を通じ、コンセプトの大切さやチームワークについても学ぶ。

①レポートの提出(授業の理解度を採点基準とする)②編集作業に積極的に参加したかどうか③意見交換の場で積極的に発言したか。以上三点を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141055000&opi=se0020&syw=1

教科書



基礎演習I(一)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 横山 香滑に適応しよう。

前期 木曜日 1時限 C305

大学での学びのスタイルに適応すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適応するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012101&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(二)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 中戸 義雄滑に適応しよう。

前期 木曜日 2時限 C304

大学での学びのスタイルに適応すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適応するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012102&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(三)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 横田 浩滑に適応しよう。

前期 木曜日 1時限 C306

大学での学びのスタイルに適応すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適応するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012103&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(四)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 高島 葉子滑に適応しよう。

前期 木曜日 2時限 C305

大学での学びのスタイルに適応すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適応するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012104&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習Ⅰ(五)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 岩崎 敬二
滑に適應しよう。

前期 木曜日 1時限 C404

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012105&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5

基礎演習Ⅱ：歴史学研究への入門

共同・森川 正則・山崎
岳・高橋 博子・奥本
武裕

後期 月曜日 5時限 C101.
後期 月曜日 5時限 C102.
後期 月曜日 5時限 C103.
後期 月曜日 5時限 C201.
後期 月曜日 5時限 C202

史学研究法で身につけたアカデミックスキルをふまえ、文献収集、史料読解の基礎といった大学で歴史学の専門的な学習をするために必要な基本的なスキルを身につける。

歴史学という学問の特徴、研究手法を習得する。

4分割したクラスで日本現代史・東洋史・環太平洋世界史・日本近代史を担当する本学教員が輪番で講義をおこなう。それを通して受講生が各分野の基礎的な知識を身につける。学外研究者の講演、各種のガイダンスもおこなうことがあるので掲示に注意しておくこと。

各回実施の小レポート(100%)日本現代史・東洋史・西洋史・日本近代史の基本事項と方法論の理解度を重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111012200&opi=se0020&syw=1

教科書 用いない。各担当者が配布、指示する。

史学研究法：歴史学研究への入門

共同・足立 広明・渡辺
晃宏・宮本 亮一・海
津 一朗

前期 月曜日 5時限 C101.
前期 月曜日 5時限 C102.
前期 月曜日 5時限 C103.
前期 月曜日 5時限 C201.
前期 月曜日 5時限 C202

歴史学という学問の特徴、研究手法を習得する。

4分割したクラスで、日本史と世界史の史学科教員が輪番で講義をおこなう。それを通して各分野の基礎的な知識を身につける。学外研究者の講演、各種のガイダンスもおこなうことがあるので掲示に注意しておくこと。履修登録者を4教室に割り振るので、間違えないようにすること。

平常の授業態度と各担当者のレポート等課題の総計による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142001500&opi=se0020&syw=1

教科書

日本史概論Ⅰ：日本の古代・中世の歴史をどのように理解するか。

河内 将芳

前期 火曜日 3時限 C102

わが国の古代から中世の歴史をみるなかで、歴史とはなにか、歴史からなにをまなぶかを考える。

古代・中世がどのような時代であったのか、その歴史を知るためのもっとも有力な手がかりである古文書や古記録など文献史料をとらえて、具体的に考える。

授業中の課題(50%、毎回提示される史料を読解作業した小レポート)、レポート(50%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142025000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

日本史概論Ⅱ：庶民文化から見た日本史の流れの基本的理解

村上 紀夫

後期 火曜日 3時限 C102

日本の近世から近現代までの流れを庶民の暮らしや文化に注目して理解し、歴史研究の手法や視点を学ぶ。

高等学校日本史探究の学習指導要領にも準拠したうえで、主要なテーマを時代順ではなく、身近なトピックスのなかに落とし込んで、近世・近現代のできごとについて学ぶ。教科書的な通史ではないのは、身近なテーマを入り口とした歴史学の視点も学ぶことで、現代のわたしたちの暮らしと「歴史」が無関係でなく地続きであることを感じてほしいという意図による。授業後には各自で高校の教科書などで、それぞれの項目にかかる時代背景などを確認しておけば理解はより深まると思う。なお、各回で学ぶことになる主要なキーワードは授業計画に付記している。

レポート(100%)

評価にあたっては、①内容については、講義内容と歴史学の方法論や研究史を理解したうえで、授業からどのような“主体的な学び”につなげていくかを重視して採点する。また、②形式面で、アカデミックライティングの手法をふまえた文章が書けているかを加味したうえで、③総合的に評価する(添付ファイル参照のこと)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142026000&opi=se0020&syw=1

教科書 特に使用しない

東洋史概論I：東アジア通史

山崎 岳

前期 月曜日 4時限 C102

東アジア通史の大まかな全体像をつかむ。

東洋諸国、とくに東アジアの歴史について概説する。中国史を基軸とし、日本、朝鮮、ベトナム、モンゴル、中央アジア、東南アジアなど、その他の地域との関係も交えながら多角的に学ぶ。高校世界史の内容を基礎に、原史料および関係学説を紹介しながら、より深い理解への糸口を提供する。

平常時および学期末の課題による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142027000&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史概論II：シルクロード史概論

宮本 亮一

後期 月曜日 4時限 C102

シルクロードの歴史の概要を理解する

「シルクロード」という言葉は近代に作られた学術用語で、過去に生きていた人々がユーラシア大陸の各地を結んだ交易路をそのように呼んだわけではありません。しかし、この言葉を出発点として、ユーラシア各地の歴史を理解しようとすることは問題ではありません。

この授業では、中央アジアを中心に、シルクロード上に展開した様々な政治勢力、およびそれらに支配された社会の歴史を解説します。

授業は担当教員が講義形式で行い、必要に応じて映像資料なども視聴します。

第15回に実施する学習到達度確認、および3回ほど提出してもらう映像資料の感想レポートから総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142028000&opi=se0020&syw=1

教科書



西洋史概論I：イギリス史を通して見る西洋世界の歴史

山口 育人

前期 月曜日 3時限 C102

①中世末から現代にいたる西洋世界の歴史的展開のながれを説明できる ②中世末から現代にいたる西洋史における諸問題を、講義内容に基づいてまとめることができる

中世末から現代にいたるまでのイギリス(連合王国)・ブリテン諸島およびイギリス帝国の歴史を概観する。ただし単なるイギリス史の授業ではない。西洋世界の歴史的展開における諸問題(政治、経済、社会、文化、思想、ヨーロッパ外世界との関係)を考察する材料としてイギリス帝国に着目する。

最終回授業において実施する学習到達度確認では、講義で取り上げた歴史事象を適切に説明できているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142029000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



西洋史概論II：信仰の海—地中海世界

足立 広明

後期 月曜日 3時限 C102

地中海世界の諸宗教の歴史を、それを生み出した社会に注目しつつ理解する。

中東やヨーロッパの民族・宗教問題に関するニュースは、毎日のようにメディアで流されている。しかし、背景となる歴史的知識が少なく複雑に感じるといえる人は現在でも多いようである。この授業では、地中海世界周辺で生じた諸宗教の対立と共存の歴史について概観する。本年度はとくに中世に焦点を当てる。

授業内の小レポート(50%)と到達度確認(50%)により判断する。授業内容の理解の度合い、論理的な文章が書けているかどうか基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142030000&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに用いない



史料講読I(一)：日本古代史の基本的な史料の講読

渡辺 晃宏

前期 火曜日 4時限 A315

日本古代史を考えるための基礎的な史料に慣れ、その読解力を身に付けることをめざす。

日本古代史の基本的な史料を読みながら、日本古代史の研究法の基礎を学びます。日本古代のさまざまな制度や歴史事象についても併せて紹介し、理解を深めます。文献史料としての『日本書紀』・『続日本紀』・『養老令』・『類聚三代格』・『延喜式』・平安時代の古記録(貴族の日記)、出土文字資料としての平城宮・京跡出土木簡、伝世史料としての正倉院文書などを取り上げます。

原則として事前に資料を配付して調べてきてもらい、交替で音読と説明をしてもらいます。評価は平常点(授業に対する積極性)・学習到達度確認(史料の読解力)に基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101101&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読I(二)：日本中世史、社会史をかんがえる基本史料として『太平記(西源院本)』を講読する。「逃げ若」や石ノ森コミ併用して用いて現代的観点から読む。亀田俊和による全訳本も出ておりレポートにはありがたい。歴史の世界にいざなう初歩編

海津 一朗

前期 水曜日 3時限 A314

複数の天皇家が分裂して全国的な内乱を引き起こしたという日本史上最大の内戦の時代「南北朝時代」を、史料『太平記』に即して理解できたか。また『太平記』という史料はどのような史料の特性と限界を持っていたのかを、全回あきらめずに読解し続ける努力をできたかを見る。

近年刊行された良質な文庫サイズ史料集、兵頭版注釈書を使って、軍記物語という説話系史料の扱い方と史料解読の基本を学ぶ。使用する工具類(読めるようになるためのアイテム類)について、講義の進行のなかで提示する。受講生の関心にしたがって『太平記』のなかの注目場面を選んで読解と説明を行いたい。

全訳本の軍記物語を糸口にして中世社会の用語や慣習について理解ができたか。その深淺について毎回の講読におけるリプライ(感想文など)から判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101102&opi=se0020&syw=1

教科書 『太平記』1巻 / 兵藤裕巳監修・岩波文庫 全6巻中の1冊目、2020.



史料講読I(三) : 近世古文書の読解

木下 光生

前期 水曜日 3時限 A312

近世古文書の文章表現を理解し、当時のくずし字を読めるようになる。

近世史を理解するためには、まず何よりも当時の古文書を読めるようにならなければならない。そこで本講読では、最初に活字史料を用いて、近世人の文章表現に慣れてもらったうえで、実際の古文書をテキストに、くずし字が読めるようひたすら反復練習をおこなっていく。

平素の受講態度と学習到達度確認

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101103&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなど配布



史料講読I(四) : いろいろなタイプの史料(資料)に触れ、読む

森川 正則

前期 水曜日 3時限 C106

現代史(日本と東アジア・太平洋地域、世界)のテーマを調査・研究する上で欠かせない「史料」について、「いろいろなタイプ」に触れ、それぞれの特徴を理解し、読む作法を身につける。あわせて、日本現代史の大きな流れと基礎的事項を理解する。

この授業では、1910年代～30年代初め(大正期・昭和戦前期)に焦点を当て、①統計、②当時を生きた人びとの回想・回顧、③当時に出版された書籍、④当時の新聞と雑誌、⑤公文書史料、⑥個人の文書史料、⑦非文字資料(絵図・写真など)を取り扱う。

質疑応答への参加度40%、学期末レポート60%を総合して評価する。レポートは「授業内容すべてに目配りして論じているか」「史料の読解が正確であるか」「導き出した気づき・問いの的確さやユニークさ」を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101104&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する史料プリント



史料講読I(五) : 前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解と研究

前期 水曜日 3時限 A421

前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解力と研究力を身につける。

第1回～15回: 史料(古文書・古記録)のプリントを配布し、受講生各人の担当と担当日を決め、担当者は史料を読み下し・読解し、必要なことがらについて研究し、レジュメ資料を作成し受講生全員に配布したうえで発表。

平常点(50%、毎回提出しなければならない予習の成果)、発表内容(50%)などを総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101105&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読I(六) : 日本幕末・維新时期文化に関する史料読解

村上 紀夫

前期 火曜日 4時限 C106

幕末～近代文化史にかかわる史料読解に必要な基本的な力を身につけることをめざす。日本史の史料読解に必須となる和風漢文体の文章を読みこなし、内容を理解できるようになること。また、幅広い分野にわたる基本的な史料を読んでいくなかで、背景となる幕末から近代の社会を理解する。

授業で扱う幕末維新时期の宗教史、文化・生活に関する基本的な史料を指定し、受講生全員が予習をしたうえで受講生が発表し、全体で討論をする。

講義時の報告(50%) : 内容、史料の理解度と予習の質で評価

受講態度(10%) : 討論参加の積極性重視

小テスト(20%)、まとめテスト(20%) : 和風漢文体・基本語彙の習熟度で評価

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101106&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者がプリント配布



史料講読I(七) : 漢文読解の基礎

山崎 岳

前期 水曜日 3時限 A315

漢文読解の基礎能力を身につける。

中国の古典語である漢文は、中国史はもとより、朝鮮・越南・琉球、それに日本、さらには北アジア・中央アジア・東南アジアなど、近代以前の東洋の歴史・文化を探る手がかりとして不可欠の言語である。この授業では、まったくの初心者も漢文訓読の基礎的な素養を身につけられるよう、文法解説と返り点のついた教科書によって読解の訓練を積む。

平時の授業への取り組み、授業期間中に行う小試験による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101107&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読I(八) : 中央・西南アジア史研究のための史料入門

宮本 亮一

前期 火曜日 5時限 A314

歴史研究に必要な史料をどのように読み、理解するか、その方法を身につける

この授業では、イスラーム時代以前の中央アジアに暮らしていた人々の生の声が反映された現地語(ソグド語、バクトリア語)の文書史料を扱います。

予習の状況、史料の理解度、積極的な授業への参加姿勢が見られるかどうかなどを判断基準にし、授業への取り組みから判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101108&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読I(九)：先行研究と史料に基づいて過去を読み解く

足立 広明

前期 火曜日 4時限 M
103.前期 火曜日 4時限
M104

史料研究 I および II では、西洋古代中世の原典史料に慣れ、それを先行研究や英訳などを参考に、どのように読み解いていくか、その技法を習得する。その作業を通じて、ほかの時代や地域に関しても、史料を問題意識を持って読み解くことで歴史を研究することができることに気づきを持つ。

本授業では古代末期の皇妃エウドキアが5世紀に執筆したとされる史料『殉教者キュプリアノス伝』を取り上げ、最新の研究書に基づいて読み進む。執筆者のエウドキアはアテナイの哲学者の娘として生まれ、コンスタンティノープルで妃となり、エルサレムで巡礼として生涯を終えた。その生涯は多神教からキリスト教に移行する時代を体現しており、彼女の作品にもそれが色濃く反映されている。史料を読み進むなかでそのことを問題意識的に実感してもらいたい。また、本授業では、次年度の演習に向けて後半に各人の自由研究発表も予定している。

平常点50%。到達度確認50%。平常点はよく予習し、大きな声で自信をもって訳文を読み上げ、説明できるかどうか、また指摘された間違いを理解して修正できるか、テストは正確な訳読かできるかどうかの評価のポイントになる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101109&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読I(十)：西洋近現代史理解のための文献・史料講読

山口 育人

前期 火曜日 4時限 C201

西洋近現代史を理解するための英文文献および史料の基礎的な読解力をもつ。

西洋近現代史の研究を進めるうえで必要となる、英語で書かれた基本的文献・史料を理解できるよう、テキストを和訳しながら読み進めることが授業の中心となる。また、教材で登場する重要な歴史事項に関連する史料を紹介し、3年生以降の演習科目に備えてもらう。

- ・平常点は、テキストの事前予習の取りくみ度合いと読解の適切さで評価する。
- ・学習到達度確認は、テキストの訳出の正確さで評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101110&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読I(十二)：幕末から明治・大正初期にわたる、主として地域の史料を 奥本 武裕

前期 火曜日 4時限 M105

読み、近代の社会変化を考える。

史料解読に必要な基本的な力をつけるため、史料の内容を正確に理解し、時代背景と関連づけて考察する力を養う。さらに次年度以降の専門的な研究のための問題意識を育むことを目標とする。

幕末から明治・大正初期の民衆の生活、文化、運動などにかかわる史料を選定し配付するので、これを受講生全員で読む。あらかじめ担当者を決めておくので、担当した史料について、読みや意味、時代背景などについて調べておく。担当者の発表を受けて受講生全員で討論し、理解を深める。

授業中の報告内容(40%)と積極的な発言(30%)。毎時間授業の最後に200字程度のコメントシートの提出を求める(30%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101112&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する。



史料講読I(十三)：西洋現代史に関する英文講読

高橋 博子

前期 火曜日 5時限 B305

西洋現代史に関する英文の読解力をつける。

市民、反核活動の視点から書かれた英文を講読し、市民・被災者・学生の視点で、戦争・核問題について議論する。

予習したうえで授業に参加しているかどうか(40%)、確認テスト・レポート(60%)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101113&opi=se0020&syw=1

教科書 Peace Talk / 前川智子・開文社出版、2011・978-4-87571-153-7



史料講読II(一)：日本古代史の基本的な史料の講読

渡辺 晃宏

後期 火曜日 4時限 A315

日本古代史を考えるための基礎的な史料に慣れ、その読解力を身に付けることをめざす。

日本古代史の基本的な史料を読みながら、日本古代史の研究法の基礎を学びます。日本古代のさまざまな制度や歴史事象についても併せて紹介し、理解を深めます。文献史料としての『日本書紀』・『続日本紀』・『養老令』・『類聚三代格』・『延喜式』・平安時代の古記録(貴族の日記)、出土文字資料としての平城宮・京跡出土木簡、伝世史料としての正倉院文書などを取り上げます。

原則として事前に資料を配付して調べてきてもらい、交替で音読と説明をしてもらいます。評価は平常点(授業に対する積極性)・学習到達度確認(史料の読解力)に基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101201&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅱ(二)：日本中世史、社会史をかんがえる基本史料として『太平記 海津 一朗
(西源院本)』を講読する。「逃げ若」や石ノ森コミックを併用して現代的観点から
読む。亀田俊和による全訳本も出ておりレポーターにはありがたい。歴史の世
界にいざなう初歩編

後期 水曜日 3時限 A314

複数の天皇家が分裂して全国的な内乱を引き起こしたという日本史上最大の内戦の時代「南北朝時代」を、史料『太平記』に即して理解できたか。また『太平記』という史料はどのような史料の特性と限界を持っていたのかを、全回あきらめずに解説し続ける努力をできたか見る。

近年刊行された良質な文庫サイズ史料集、兵頭版注釈書を使って、軍記物語という説話系史料の扱い方と史料解説の基本を学ぶ。使用する工具類(読めるようになるためのアイテム類)について、講義の進行のなかで提示する。受講生の関心にしたがって『太平記』のなかの注目場面を選んで解説と説明を行いたい。

全訳本の軍記物語を糸口にして中世社会の用語や慣習について理解ができたか。その深淺について毎回の講読におけるリプライ(感想文など)から判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101202&opi=se0020&syw=1

教科書 『太平記』1巻
／兵藤裕巳監修
・岩波文庫 全6巻中の1冊目
・2020
・978-4-00-301431-8



史料講読Ⅱ(三)：近世古文書の読解

木下 光生

後期 水曜日 3時限 A312

近世古文書の文章表現を理解し、当時のくずし字を読めるようになる。

近世史を理解するためには、まず何よりも当時の古文書を読めるようにならなければならない。そこで本講読では、最初に活字史料を用いて、近世人の文章表現に慣れてもらったうえで、実際の古文書をテキストに、くずし字が読めるようひたすら反復練習をおこなっていく。

平素の受講態度と学習到達度確認

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101203&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなど配布



史料講読Ⅱ(四)：いろいろなタイプの史料(資料)に触れ、読む

森川 正則

後期 水曜日 3時限 C106

現代史(日本、東アジア・太平洋地域、世界)のテーマを調査・研究する上で欠かせない「いろいろなタイプの史料」について、それぞれの特徴を理解し、読む作法を身につける。

この授業では、1910年代～30年代初め(大正期・昭和戦前期)に焦点を当てて、①統計、②当時を生きた人びとの回想・回顧、③当時に出版された書籍、④当時の新聞と雑誌、⑤公文書史料、⑥個人の文書史料、⑦非文字資料(絵図・写真など)を取り扱う。

質疑応答への参加度40%、学期末レポート60%を総合して評価する。レポートは「授業内容すべてに目配りして論じているか」「史料の読解が正確であるか」「導き出した気づき・問いの的確さやユニークさ」を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101204&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する史料プリント



史料講読Ⅱ(五)：前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解と研究

河内 将芳

後期 水曜日 3時限 A421

前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解力と研究力を身につける。

第1回～15回：史料(古文書・古記録)のプリントを配布し、受講生各人の担当と担当日を決め、担当者は史料を読み下し・読解し、必要なことがらについて研究し、レジュメ資料を作成し受講生全員に配布したうえで発表。

平常点(50%、毎回提出しなければならない予習の成果)、発表内容(50%)などを総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101205&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅱ(六)：日本幕末・維新期文化に関する史料読解

村上 紀夫

後期 火曜日 4時限 C106

幕末～近代文化史にかかわる史料読解に必要な基本的な力を身につけることをめざす。日本史の史料読解に必須となる和風漢文体の文章を読みこなし、内容を理解できるようになること。また、幅広い分野にわたる基本的な史料を読んでいくなかで、背景となる幕末から近代の社会を理解する。

授業で扱う幕末維新期の宗教史、文化・生活に関する基本的な史料を指定し、受講生全員が予習をしたうえで受講生が発表し、全体で討論をする。

講義時の報告(50%)：内容、史料の理解度と予習の質で評価

受講態度(10%)：討論参加の積極性重視

小テスト(20%)、まとめテスト(20%)：和風漢文体・基本語彙の習熟度で評価

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101206&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者がプリント配布



史料講読Ⅱ(七)：漢文読解の基礎

山崎 岳

後期 水曜日 3時限 A315

漢文読解の基礎能力を身につける。

中国の古典語である漢文は、中国史はもとより、朝鮮・越南・琉球、それに日本、さらには北アジア・中央アジア・東南アジアなど、近代以前の東洋の歴史・文化を探る手がかりとして不可欠の言語である。この授業では、まったくの初心者が漢文訓読の基礎的な素養を身につけられるよう、文法解説と返り点のついた教科書によって読解の訓練を積む。

平時の授業への取り組み、授業期間中に行う小試験による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101207&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅱ(八)：中央・西南アジア史研究のための史料入門

宮本 亮一

後期 火曜日 5時限 A314

歴史研究に必要な史料をどのように読み、理解するか、その方法を身につける

この授業では、イスラーム時代以前の中央アジアに暮らしていた人々の生の声が反映された現地語(ソグド語、バクトリア語)の文書史料を扱います。

予習の状況、史料の理解度、積極的な授業への参加姿勢が見られるかどうかなどを判断基準にし、授業への取り組みから判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101208&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅱ(九)：先行研究と史料に基づいて過去を読み解く

足立 広明

後期 火曜日 4時限 M103
後期 火曜日 4時限 M104

史料研究ⅠおよびⅡでは、西洋古代中世の原典史料に慣れ、それを先行研究や英訳などを参考に、どのように読み解いていくか、その技法を習得する。その作業を通じて、ほかの時代や地域に関しても、史料を問題意識を持って読み解くことで歴史を研究することができることに気づきを持つ。

本授業では古代末期の皇妃エウドキアが5世紀に執筆したとされる史料『殉教者キュプリアノス伝』を取り上げ、最新の研究書に基づいて読み進む。執筆者のエウドキアはアテナイの哲学者の娘として生まれ、コンスタンティノープルで妃となり、エルサレムで巡礼として生涯を終えた。その生涯は多神教からキリスト教に移行する時代を体現しており、彼女の作品にもそれが色濃く反映されている。史料を読み進むなかでそのことを問題意識的に実感してもらいたい。また、本授業では、次年度の演習に向けて後半に各人の自由研究発表も予定している。

平常点50%。到達度確認50%。平常点はよく予習し、大きな声で自信をもって訳文を読み上げ、説明できるかどうか、また指摘された間違いを理解して修正できるか、テストは正確な訳読ができるかどうかの評価のポイントになる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101209&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅱ(十)：西洋近現代史理解のための文献・史料講読

山口 育人

後期 火曜日 4時限 C201

西洋近現代史を理解するための英文文献および史料の基礎的な読解力をもつ。

西洋近現代史の研究を進めるうえで必要となる、英語で書かれた基本的文献・史料を理解できるよう、テキストを和訳しながら読み進めることが授業の中心となる。また、教材で登場する重要な歴史事項に関連する史料を紹介し、3年生以降の演習科目に備えてもらう。

- ・平常点は、テキストの事前予習の取りくみ度合いと読解の適切さで評価する。
- ・学習到達度確認では、テキストの訳出の正確さで評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101210&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅱ(十二)：明治中期から大正初期にかけての重要史料の研究

奥本 武裕

後期 火曜日 4時限 M105

史料解読に必要な基本的な力をつけるため、史料の内容を正確に理解し、時代背景と関連づけて考察する力を養う。さらに次年度以降の専門的な研究のための問題意識を育むことを目標とする。

明治中期から大正初期の民衆の生活、文化、運動などにかかわる史料を選定し配付するので、これを受講生全員で読む。あらかじめ担当を決めておくので、担当した史料について、読みや意味、時代背景などについて調べておく。担当者の発表を受けて受講生全員で討論し、理解を深める。

授業中の報告内容(40%)と積極的な発言(30%)。毎時間授業の最後に200字程度のコメントシートの提出を求める(30%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101212&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史料講読Ⅱ(十三)：西洋現代史に関する英文講読

高橋 博子

後期 火曜日 5時限 B305

西洋現代史に関する英文の読解力をつける。

市民、反核活動の視点から書かれた英文を講読し、市民・被災者・学生の視点で、戦争・核問題について議論する。

予習したうえで授業に参加しているかどうか(40%)、確認テスト・レポート(60%)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101213&opi=se0020&syw=1

教科書 Peace Talk / 前川智子・開文社出版、2011・978-4-87571-153-7



史料講読Ⅲ(一)：『養老令』を中心とする日本古代史の史料講読

渡辺 晃宏

前期 火曜日 2時限 B317

『養老令』の読解を進めることで、日本古代史のさまざまな事象について学習しながら、古代史の史料に習熟し、史料の読解力の向上をめざす。

律令格式と総称される法制史料のうち、養老令を篇目順に読んでいきます。Ⅲ(一)・Ⅳ(一)で官位令を除く全篇を読破します。各篇目3条程度ずつの代表的な条文を読み進めることで、古代法や律令制の基礎を体得してもらいます。宋天聖令の発見による新たな研究の展開についても学びます。

条文ごとに担当を決め、書きだし文の音読、及び条文の概要について報告してもらいます。その後、関連史料を紹介し、日本古代史のさまざまな史料を概観できるようにする予定です。

平常点(授業に対する積極性)・学習到達度確認(史料の読解力)などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101301&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅲ(二) : いろいろなタイプの史料を読む 去年は新発見のカタカナ書 海津 一郎

前期 火曜日 1時限 A314

在地の視点から歴史を読み解く、という現代歴史学の基本を習得する。中世では野生が支配しておりコミュニケーションは肉体言語表現だった。人間関係よりも動物(神)との関係が重要だった。こうした社会を理解するための史料学を考える。ところで、カタカナ申状は「阿テ河荘片仮名書き訴状」の名で小中高3回の日本史授業でくりかえし学ぶ唯一の重要史料であり、その意味を深く理解することが学校教員に求められる。



中級クラスの古文書入門授業。初級では軍記物語だったので、ここでは民衆世界の在地文書のうちもっとも有名なカタカナ訴状を扱う。前半はよく知られた阿テ河荘上村の13箇条を、後半は新発見の(今後教科書に載ることになる)官省府荘の45か条を。訴状が単なる農民の一揆とは言えない恐るべき性格をもつことがあきらかになる。スリリングな材料だが、あくまでも古文書読解という地味で地道な作業なので受講生は要注意を。

毎回テキスト(コピー配布)の該当箇所を示すので次回までに予習してくること(方法はそのつど指示する)。受講生の人数をみてグループ分けなどして報告させる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101302&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

史料講読Ⅲ(三) : 近世古文書の分析と考察

木下 光生

前期 火曜日 2時限 A312

近世古文書を読み解き、それが語る世界を考える。

近世文書を理解するためには、くずし字が「読める」だけではなく、史料の背景を「考察」できるようにならなければならない。そこで本講読では、受講生のくずし字読解能力の向上のみならず、分析と考察能力の向上も目指して、近世古文書の読解を進めていく。

平素の受講態度と学習到達度確認



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101303&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示

史料講読Ⅲ(四) : いろいろなタイプの史料(資料)に触れ、読む

森川 正則

前期 火曜日 1時限 地理実験室(A129)

現代史(おもに日本と東アジア・太平洋地域、世界)の学びと調査・研究で欠かせない「史料」について、「いろいろなタイプ」に触れ、それぞれの特徴を理解し、読む作法を身につける。

①統計、②当時を生きた人びとの回想・回顧、③当時に出版された書籍、④当時の新聞および雑誌、⑤国(中央政府)または地方自治体(都道府県・市町村)の公文書史料、⑥個人または家の文書史料、⑦非文字史料(絵図・写真など)を取り扱う。

質疑への参加度40%、学期末レポート60%を総合して評価。レポートは「授業内容すべてに目配りして論じているか」「史料の読解が正確か」「導き出した気づき・問いの的確さ」を基準とする。



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101304&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に配布する史料プリント

史料講読Ⅲ(五) : 前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解と研究

河内 将芳

前期 火曜日 2時限 A421

前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解力と研究力を身につける。

第1回～15回:史料(古文書・古記録)のプリントを配布し、受講生各人の担当と担当日を決め、担当者は史料を読み下し・読解し、必要なことがらについて研究し、レジメ資料を作成し受講生全員に配布したうえで発表。

平常点(40%、毎回提出しなければならない予習の成果)、発表内容(40%)、年度末のレポート(20%)などを総合して評価する。



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101305&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

史料講読Ⅲ(六) : 日本幕末・維新期の史料読解

村上 紀夫

前期 火曜日 2時限 C106

近世・近代文化史にかかわる史料読解に必要な基本的な力を身につけることをめざす。

授業では畿内における幕末維新期の庶民の日記(活字史料)を指定し、受講生全員が予習をしたうえ受講生が発表し、全体で討論をする。庶民の暮らしの実態を史料を通して理解する。

講義における報告内容(70%)…報告内容の充実度、和風漢文体史料の読解力がどれだけ身につく、自分で史料を読める力をつけたかで評価する

討論内容(30%)…史料内容を理解し質問に適切に答えられるかで評価

無断遅刻・欠席は厳禁とする。



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101306&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者がプリント配布

史料講読Ⅲ(七) : 漢文読解の応用

山崎 岳

前期 水曜日 1時限 A315

漢文読解の応用能力を身につける。漢文で書かれた本や石碑が、自分の力で読めるようになる。

明清中国あるいは朝鮮王朝の歴史文献を会読する予定。漢文読解と文献調査という、東洋史の研究に必要な二つの基礎的技術の習得をめざす。

平時の授業への取り組み、および学期中に行う小試験による。



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101307&opi=se0020&syw=1

教科書

史料講読Ⅲ(八)：中央・西南アジア史関係の史料

宮本 亮一

前期 火曜日 2時限 M105

先行研究を理解し、史料を自分で扱えるようになる

シルクロードの交易商人として活動したソグド人は、教科書にも記されているほど有名で、近年多くの研究が行われています。

この授業では、現在の中央アジア史研究をリードする第一人者であるエチエンヌ・ドゥ・ラ・ヴェシエールが、ソグド人の歴史についてまとめた研究書『ソグド商人の歴史』(英語版)を読み進め、そこに部分的に引用されている様々なソグド人関係の史料について掘り下げて検討します。また、最新の研究成果などについても、必要に応じて解説します。ただし、受講生の興味・関心によっては、講読文献を変更する可能性があります。

授業への取り組みから判断します(予習の状況、テキストの理解度、積極的な授業への参加姿勢が見られるかどうか、などを判断基準とします)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101308&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅲ(九)：現代の問題意識と先行研究に基づいて過去の史料を読み解く 足立 広明

前期 火曜日 2時限 A315

ギリシア語やラテン語の史料を先行研究の解説や英訳を参考にしながら読み解くことで、現代の研究最前線で何が問われているかを理解し、ほかの時代や地域にも応用できる横断的な視点を養う。具体的には古代末期の西ローマ帝国で活躍した女性詩人プロバの『ウェルギリウス風聖書物語』を読解しながら、多神教から一神教のキリスト教に移り変わる時代に女性がどのように主体的に関与したかを史料から読み取っていく。

「目標」でも示したように、古代末期の女性詩人プロバのCento文学作品である『ウェルギリウス風聖書物語』を読解しながら、多神教から一神教のキリスト教に移り変わる時代に女性がどのように主体的に関与したかを史料から読み取っていく。

Cento文学とは、過去の作品をつぎはぎしながら全く別ジャンルの物語としたもののことを指し、古代末期にはホメロスやウェルギリウスの作品を用いて聖書物語を書く慣習が生まれた。プロバはそのなかで西方ラテン語圏を代表するCento詩人であり、亡国の受難を経てイタリアに建国する英雄アエネアスとトロイアの遺民に、それぞれイエスとキリスト教徒の運命を読み込み、二つの文化伝統を融合させて中世西欧社会に手渡す重要な役割を果たした。またその作品内では悲運のカルタゴ女王デイドを肯定的に読み替えるなど、随所に女性的視点が読みとれる。

授業では英訳や担当者の解説を交えつつ、このプロバのCento作品を読解していく。

平常点50%。到達度確認50%。平常点はよく予習し、大きな声で自信をもって訳文を読み上げ、説明できるかどうか、また指摘された間違いを理解して修正できるか、テストは正確な訳読ができるかどうかの評価のポイントになる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101309&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅲ(十)：西洋近現代史理解のための文献・史料講読

山口 育人

前期 火曜日 2時限 A314

西洋近現代史を理解するための英文文献および史料の読解力を確立する。

西洋近現代史の研究を進めるうえで必要となる、英語で書かれた基本的文献・史料を理解できるよう、テキストを和訳しながら読み進めることが授業の中心となる。また、教材で登場する重要な歴史事項に関連する史料を紹介してもらう。

- ・平常点は、テキスト予習への取り組みの度合いと読解の適切さで評価する。
- ・学習到達度確認は、テキストの訳出の正確さを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101310&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅲ(十二)：幕末・維新时期から大正初期にかけての重要史料の研究 奥本 武裕

前期 火曜日 1時限 A312

史料にアクセスする方法を習得するとともに、入手した史料を正確に読みこなす力をつける。

まず既刊の史料集についての知識を獲得し、その利用方法について理解する。続いて、幕末・維新时期から大正初期にかけての重要史料を順次取り上げ、受講者からの報告と討論をおこなう。

各回の授業における報告や議論の発言内容などから総合的に評価する(30%)。期末に前期に学んだ史料について、さらに各自が深く調べたレポートの提出を求め評価する(70%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101312&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史料講読Ⅲ(十三)：西洋現代史を理解するための文献・史料講読

高橋 博子

前期 火曜日 2時限 B305

米公文書等の翻訳・解説を行うことで、原典にあたる意義や時代背景を理解する。自身の問題意識に沿って史料収集、翻訳・解説を行い、卒業論文など、今後の調査に生かす。

本授業では、前半は米国立公文書館などで所蔵する核時代に関連する米公文書を講読する。また後半は、米大統領選挙に関連する文書を講読する。さらに受講者が関心のある英文文書を入手し、翻訳を行い、時代背景も報告する。

辞書や関連情報を調査し、事前に準備したうえで授業に参加しているかを評価する(30%)。さらに、前期に取り上げた史料を一つ選び、翻訳・解説レポートを提出すること(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101313&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅳ(一)：『養老令』を中心とする日本古代史の史料講読 渡辺 晃宏 後期 火曜日 2時限 B317

『養老令』の読解を進めることで、日本古代史のさまざまな事象について学習しながら、古代史の史料に習熟し、史料の読解力の向上をめざす。

律令格式と総称される法制史料のうち、養老令を篇目順に読んでいきます。史料講読Ⅲ(一)に引き続き全篇を読破します。各篇目の代表的な条文を3条程度ずつ読み進めることで、古代法や律令制の基礎を体得してもらいます。宋天聖令の発見による新たな研究の展開についても学びます。

条文ごとに担当者を決め、条文の書きだし文の音読、及び条文の概要について報告してもらいます。その後、関連史料を紹介し、日本古代史のさまざまな史料を概観できるようにする予定です。

平常点(授業に対する積極性)・学習到達度確認(史料の読解力)などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101401&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅳ(二)：いろいろなタイプの史料を読む 去年は落書を 海津 一朗 後期 火曜日 1時限 A314

在地の視点から歴史を読み解く、という現代歴史学の基本を習得する。中世では野生が支配しておりコミュニケーションツールは肉体言語表現だった。人間関係よりも動物(神)との関係が重要だった。こうした社会を理解するための史料学を考える。前期はカタカナで書くことの意味を考えた。後期はその発展で起請文・牛玉宝印・落書を読んでいく。予定牛玉宝印で読めるか？

上級クラスの古文書入門授業。ここでは民衆世界の在地文書のうちもっとも謎にあふれる起請文を扱う。百姓の訴状も国衆談合盟約書も役所欠席届も婚姻届けも、中世ではすべて牛玉宝印を使って起請文で書かれた。起請文は焼かれて灰にして酒に溶いて飲んでしまう。これによって呪いは体内から発生して全身が… おそろべき中世社会を体感しよう。毎回テキスト(コピー配布)の該当箇所を示すので次回までに予習してくること(方法はそのつど指示する)。受講生の人数をみてグループ分けなどして報告させる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101402&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅳ(三)：近世古文書の分析と考察 木下 光生 後期 火曜日 2時限 A312

近世古文書を読み解き、それが語る世界を考える。

近世文書を理解するためには、くずし字が「読める」だけではなく、史料の背景を「考察」できるようにならなければならない。そこで本講読では、受講生のくずし字読解能力の向上のみならず、分析と考察能力の向上も目指して、近世古文書の読解を進めていく。

平素の受講態度と学習到達度確認

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101403&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史料講読Ⅳ(四)：いろいろなタイプの史料からたどる大正期・昭和期・平成期の日本 森川 正則 後期 火曜日 1時限 地理実験室(A129)

いろいろなタイプの史料を組み合わせる使う作法、史料にもとづいて歴史を叙述・考察する作法を身につける。そして、4年次の卒業論文に向けて、自分が調査・研究したい時期・分野・題材について、問題関心の絞りこみ・明確化をはかる。

履修者が深く探求したい年代・分野・題材(テーマ)について、各自で史料を探して読み、その内容を紹介・解説する発表をする。その発表をうけて全員で討議する。

質疑への参加度30%、発表内容30%、学期末レポート40%を総合して評価。発表とレポートについては「史料の読解が正確であるか」「導き出した気づき・問いの的確さ」を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101404&opi=se0020&syw=1

教科書 授業で配布する史料プリントおよび受講者の史料紹介・解説プリント



史料講読Ⅳ(五)：前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解と研究 河内 将芳 後期 火曜日 2時限 A421

前近代(中世・近世)文化史にかかわる文献史料(古文書・古記録)の読解力と研究力を身につける。

第1回～15回：史料(古文書・古記録)のプリントを配布し、受講生各人の担当と担当日を決め、担当者は史料を読み下し・読解し、必要なことがらについて研究し、レジュメ資料を作成し受講生全員に配布したうえで発表。

平常点(40%、毎回提出しなければならない予習の成果)、発表内容(40%)、年度末のレポート(20%)などを総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101405&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅳ(六)：日本幕末・維新期の史料読解 村上 紀夫 後期 火曜日 2時限 C106

近世・近代文化史にかかわる史料読解に必要な基本的な力を身につけることをめざす。

授業では畿内における幕末維新期の庶民・女性の日記(活字史料)を指定し、受講生全員が予習をしたうえで受講生が発表し、全体で討論をする。庶民の暮らしの実態を史料を通して理解する。

講義における報告内容(70%)…報告内容の充実度、和風漢文体史料の読解力がどれだけ身につく、自分で史料を読める力をつけたかで評価する

討論内容(30%)…史料内容を理解し質問に適切に答えられるかで評価。

無断遅刻・欠席は厳禁とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101406&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者がプリント配布



史料講読Ⅳ(七)：漢文読解の応用

山崎 岳

後期 水曜日 1時限 A315

漢文読解の応用能力を身につける。漢文で書かれた本や石碑が、自分の力で読めるようになる。

明清中国あるいは朝鮮王朝の歴史文献を会読する予定。漢文読解と文献調査という、東洋史の研究に必要な二つの基礎的技術の習得をめざす。

平常の授業への取り組み、および学期中に行う小試験による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101407&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅳ(八)：中央・西南アジア史関係の史料(史料講読Ⅲ(八)の続き)

宮本 亮一

後期 火曜日 2時限 M105

先行研究を理解し、史料を自分で扱えるようになる

シルクロードの交易商人として活動したソグド人は、教科書にも記されているほど有名で、近年多くの研究が行われています。

この授業では、現在の中央アジア史研究をリードする第一人者であるエチエンヌ・ドゥ・ラ・ヴェシエールが、ソグド人の歴史についてまとめた研究書『ソグド商人の歴史』(英語版)を読み進め、そこに部分的に引用されている様々な関係史料について掘り下げて検討します。また、最新の研究成果などについても、必要に応じて解説します。ただし、受講生の興味・関心によっては、講読文献を変更する可能性があります。

授業への取り組みから判断します(予習の状況、テキストの理解度、積極的な授業への参加姿勢が見られるかどうか、などを判断基準とします)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101408&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅳ(九)：現代の問題意識と先行研究に基づいて過去の史料を読み解く

足立 広明

後期 火曜日 2時限 A315

ギリシア語やラテン語の史料を先行研究の解説や英訳を参考にしながら読み解くことで、現代の研究最前線で何が問われているかを理解し、ほかの時代や地域にも応用できる横断的な視点を養う。具体的には古代末期の西ローマ帝国で活躍した女性詩人プロバの『ウェルギリウス風聖書物語』を読解しながら、多神教から一神教のキリスト教に移り変わる時代に女性がどのように主体的に関与したかを史料から読み取っていく。

「目標」でも示したように、古代末期の女性詩人プロバのCento文学作品である『ウェルギリウス風聖書物語』を読解しながら、多神教から一神教のキリスト教に移り変わる時代に女性がどのように主体的に関与したかを史料から読み取っていく。

Cento文学とは、過去の作品をつぎはぎしながら全く別ジャンルの物語としたもののことを指し、古代末期にはホメロスやウェルギリウスの作品を用いて聖書物語を書く慣習が生まれた。プロバはそのなかで西方ラテン語圏を代表するCento詩人であり、亡国の受難を経てイタリアに建国する英雄アエネアスとトロイアの遺民に、それぞれイエスとキリスト教徒の運命を読み込み、二つの文化伝統を融合させて中世西欧社会に手渡す重要な役割を果たした。またその作品内では悲運のカルタゴ女王デイドを肯定的に読み替えるなど、随所に女性的視点が読みとれる。

授業では英訳や担当者の解説を交えつつ、このプロバのCento作品を読解していく。

平常点50%。到達度確認50%。平常点はよく予習し、大きな声で自信をもって訳文を読み上げ、説明できるかどうか、また指摘された間違いを理解して修正できるか、テストは正確な訳読ができるかどうかの評価のポイントになる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101409&opi=se0020&syw=1

教科書



史料講読Ⅳ(十)：西洋近現代史理解のための文献・史料講読

山口 育人

後期 火曜日 2時限 A314

西洋近現代史を理解するための英文文献および史料の読解力を確立する。

西洋近現代史の研究を進めるうえで必要となる、英語で書かれた基本的文献・史料を理解できるよう、テキストを和訳しながら読み進めることが授業の中心となる。また、教材で登場する重要な歴史事項に関連する史料を紹介してもらう。

- ・平常点は、テキスト予習への取り組みの度合いと読解の適切さで評価する。
- ・学習到達度確認は、テキストの訳出の正確さを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101410&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料講読Ⅳ(十二)：幕末・維新时期から大正初期にかけての重要史料の研究(Ⅱ)

奥本 武裕

後期 火曜日 1時限 A312

入手した史料を正確に読みこなす力をつけるとともに、そこから得られた歴史像について明確に表現するスキルを身につける。

受講者各人が自らの卒論計画を考えながら関心のある史料を選び、その読み方や史料の背景などについて報告し、全体で討論する。

各回の授業における報告や議論の発言内容などから総合的に評価する(30%)。期末に各自が選んだ任意の史料について、これを紹介するレポートの提出を求め評価する(70%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101412&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史料講読Ⅳ(十三)：西洋現代史を理解するための文献・史料講読 高橋 博子 後期 火曜日 2時限 B305

米公文書等の翻訳・解説を行うことで、原典にあたる意義や時代背景を理解する。自身の問題意識に沿って史料収集、翻訳・解説を行い、卒業論文など、今後の調査に生かす。

本授業では、核兵器禁止条約などの文書を講読する。さらに受講者が関心のある英文文書を手し、翻訳を行い、時代背景も報告する。

辞書や関連情報を調査し、事前に準備したうえで授業に参加しているかを評価する(30%)。自分自身が関心ある資料を手し、翻訳・解説レポートを提出すること(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142101413&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅰ(一)：日本古代史の諸問題 渡辺 晃宏 前期 水曜日 4時限 C305

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容をふまえて出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前期は早川庄八『律令国家』(日本の歴史4。小学館、1974年)をテキストに用い、分担して読み進めていきます。当日はレジュメをもとに、内容要約・検討結果の報告(主として3回生)と、関連報告(主として4回生)を分担して行います。また、期末の数回は、1回に2、3人ずつ、4回生の卒論中間発表に充て、全員で課題を共有して検討・議論を行います。なお、ゼミ生の人数によっては、報告の分担方法を変更する場合があります。

夏休みに古代史の定評のある論文を読解するレポートを1回課す予定です(詳細は第15回で説明)。その内容は後期の報告に生かしてもらいます。成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102101&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅰ(二)：日本古代史の諸問題 渡辺 晃宏 前期 水曜日 2時限 A312

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容をふまえて出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前期は早川庄八『律令国家』(日本の歴史4。小学館、1974年)をテキストに用い、分担して読み進めていきます。当日はレジュメをもとに、内容要約・検討結果の報告(主として3回生)と、関連報告(主として4回生)を分担して行います。また、期末の数回は、1回に2、3人ずつ、4回生の卒論中間発表に充て、全員で課題を共有して検討・議論を行います。なお、ゼミ生の人数によっては、報告の分担方法を変更する場合があります。

夏休みに古代史の定評のある論文を読解するレポートを1回課す予定です(詳細は第15回で説明)。その内容は後期の報告に生かしてもらいます。成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102102&opi=se0020&syw=1

教科書

史学演習Ⅰ(三)：日本中世の戦争について 一揆・民衆運動(宗教)・降伏祈禱 海津 一朗 前期 水曜日 2時限 B305
(神戦)・自力救済・城誘

陣取りゲーム・「戦争ごっこ」のような戦国時代・戦国武将のイメージを転換すること。現代と全く異なる中世に固有の戦争のありかた、とくに自力救済を正しく理解する。

日本の中世は戦争の時代だった。現代世界の地域紛争を考える上で戦争の研究は重要であろう。藤木久志の自力救済JK研究(豊臣平和令)以後、中世社会における戦闘行為の基本が生存をかけたナワバリ争いであることが明らかになった。歴史関係教科書にも自力救済理論が明記されているものが増えていた(また最近の教科書検定で減ってきた)。この演習では、中世の戦争について毎回異なる主題を読み解いていく。(回数ごとのテーマは世界情勢等に則して前後する可能性がある)

各回の授業における発言やリプライの適格性。予習のとりくみなど熱意や小レポートから判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102103&opi=se0020&syw=1

教科書

史学演習Ⅰ(四)：日本中世の戦争について 一揆・民衆運動(宗教)・降伏祈禱 海津 一朗 前期 水曜日 4時限 A314
(神戦)・自力救済・城誘

陣取りゲーム・「戦争ごっこ」のような戦国時代・戦国武将のイメージを転換すること。現代と全く異なる中世に固有の戦争のありかた、とくに自力救済を正しく理解する。

日本の中世は戦争の時代だった。現代世界の地域紛争を考える上で戦争の研究は重要であろう。藤木久志の自力救済JK研究(豊臣平和令)以後、中世社会における戦闘行為の基本が生存をかけたナワバリ争いであることが明らかになった。歴史関係教科書にも自力救済理論が明記されているものが増えていた(また最近の教科書検定で減ってきた)。この演習では、中世の戦争について毎回異なる主題を読み解いていく。(回数ごとのテーマは世界情勢等に則して前後する可能性がある)

各回の授業における発言やリプライの適格性。予習のとりくみなど熱意や小レポートから判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102104&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習I(五) : 卒論提出に向けて、近世史の諸問題を考える

木下 光生

前期 火曜日 4時限 A312

卒論のテーマを絞り込んでいくとともに、研究史の整理を進めていく。

卒論を書くためには、自分が関心をもっていることを調べてきて、まとめるだけでは不十分で、先行研究を整理し、残された課題を発見していく、という研究史整理が不可欠である。3回生を終える頃には、研究史整理があらかた済んでいることを目指して各自報告をおこない、討論を通して皆でそれぞれの研究を支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102105&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習I(六) : 卒論提出に向けて、近世史の諸問題を考える

木下 光生

前期 水曜日 4時限 A312

卒論のテーマを絞り込んでいくとともに、研究史の整理を進めていく。

卒論を書くためには、自分が関心をもっていることを調べてきて、まとめるだけでは不十分で、先行研究を整理し、残された課題を発見していく、という研究史整理が不可欠である。3回生を終える頃には、研究史整理があらかた済んでいることを目指して各自報告をおこない、討論を通して皆でそれぞれの研究を支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102106&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習I(七) : 幕末・維新时期から大正初期にかけての研究状況と課題の確認(I)

奥本 武裕

前期 水曜日 4時限 M106

研究論文を読みこなす力をつける。各テーマの研究状況と今後の課題について理解する。

まず膨大な研究成果へアクセスする方法を学ぶ。次いで幕末・維新时期から大正初期にかけての重要な論文について、担当者を決めて報告を受け、討論して理解を深める。

授業中の報告や議論の内容から総合的に評価する(30%)。期末にレポートの提出を求め評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102107&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習I(八) : 幕末・維新时期から大正初期にかけての研究状況と課題の確認(I)

奥本 武裕

前期 水曜日 2時限 M106

研究論文を読みこなす力をつける。各テーマの研究状況と今後の課題について理解する。

まず膨大な研究成果へアクセスする方法を学ぶ。次いで幕末・維新时期から大正初期にかけての重要な論文について、担当者を決めて報告を受け、討論して理解を深める。

授業中の報告や議論の内容から総合的に評価する(30%)。期末にレポートの提出を求め評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102108&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習I(九) : 「20世紀・21世紀の世界と日本」に関わる図書や学術雑誌論文を読む

森川 正則

前期 水曜日 2時限 地理実
験室(A129)

先行研究に謙虚に学びつつ、自分なりの問いや切り口を発見する力を養う。また、4年次の卒業論文を見すえて、学術論文の執筆スタイル・技法の習得を目指す。

履修者各自の関心にも配慮しつつ、図書の一部または学術雑誌論文を選定し、輪読・討議する。毎回の授業では発表担当者とコメンテーターを割り当てる。発表担当者にはレジュメを作成・配布の上、発表してもらう。続いて、コメンテーターからの発言をふまえて、全員で討議する。

質疑への参加度30%、発表30%、学期末レポート40%を総合評価。「指定された様式・注意点にしたがっているか」「輪読物の内容を理解しているか」「導き出した問いの的確さ」が基準。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102109&opi=se0020&syw=1

教科書 授業で取り上げる図書の一部または学術雑誌論文



史学演習I(十) : 「20世紀・21世紀の世界と日本」に関わる図書や学術雑誌論文を読む

森川 正則

前期 水曜日 4時限 B216

先行研究に謙虚に学びつつ、自分なりの問いや切り口を発見する力を養う。また、4年次の卒業論文を見すえて、学術論文の執筆スタイル・技法の習得を目指す。

履修者各自の関心にも配慮しつつ、図書の一部または学術雑誌論文を選定し、輪読・討議する。毎回の授業では発表担当者とコメンテーターを割り当てる。発表担当者にはレジュメを作成・配布の上、発表してもらう。続いて、コメンテーターからの発言をふまえて、全員で討議する。

質疑への参加度30%、発表30%、学期末レポート40%を総合評価。「指定された様式・注意点にしたがっているか」「輪読物の内容を理解しているか」「導き出した問いの的確さ」が基準。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102110&opi=se0020&syw=1

教科書 授業で取り上げる図書の一部または学術雑誌論文



史学演習I(十一)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

前期 火曜日 4時限 A314

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%) (講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%) (報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102111&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習I(十二)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

前期 水曜日 2時限 A421

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%) (講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%) (報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102112&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習I(十三)：日本近世・近代文化史の研究手法を学ぶ

村上 紀夫

前期 金曜日 3時限 A314

日本近世・近代文化史に関する先行研究を理解し、問題関心を深めるとともに、卒業論文執筆にむけての準備をする。

『岩波講座日本歴史』などから各自が卒論で取り上げたいテーマに近い論文を指定し、受講生全員が予習をしたうえで受講生が発表し、全員が討論する。報告者はレジメを作成し発表。登録人数により、進め方は若干の変更をする場合がある。また受講者の関心や卒業論文のテーマにより、とりあげる論文を変更する可能性がある。

講義における報告内容(50%) 報告の充実度を重視する

討論内容(30%)…授業参加への積極性と討論参加への積極性、その内容で評価する

レポート(20%)…内容の充実度に加え、演習での討論をふまえて内容が改善されているかで評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102113&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習I(十四)：日本近世・近代文化史の研究手法を学ぶ

村上 紀夫

前期 金曜日 4時限 A314

日本近世・近代文化史に関する先行研究を理解し、問題関心を深めるとともに、卒業論文執筆にむけての準備をする。

『岩波講座日本歴史』などから各自が卒論で取り上げたいテーマに近い論文を指定し、受講生全員が予習をしたうえで受講生が発表し、全員が討論する。報告者はレジメを作成し発表。登録人数により、進め方は若干の変更をする場合がある。また受講者の関心や卒業論文のテーマにより、とりあげる論文を変更する可能性がある。

講義における報告内容(50%) 報告の充実度を重視する

討論内容(30%)…授業参加への積極性と討論参加への積極性、その内容で評価する

レポート(20%)…内容の充実度に加え、演習での討論をふまえて内容が改善されているかで評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102114&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習I(十五)：東洋史学演習

山崎 岳

前期 水曜日 2時限 A315

東洋史の文献を、自分の関心にしたがって網羅的に収集・読解し、卒業論文作成の基礎を築く。

卒業論文の執筆を見すえ、以下の三点について、議論を通じて理解を深める。一、特定の研究主題を選んで発表する。二、東洋史の文献を輪読する。三、研究の前提となる技術的な事項を講義する。

発表内容、および平時の授業への取り組みによる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102115&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習I(十六)：中央・西南アジア史の諸問題

宮本 亮一

前期 水曜日 2時限 A314

卒業論文で取り組むテーマ・問題を見つけ、問題解決のために必要な史料・文献を収集し、それらの内容を理解する

以下の3つの作業を中心に行い、上記の目標の達成を目指します：

- ①受講者による研究発表
- ②研究発表を踏まえた議論
- ③関連する史料・文献の講読

関連する史料・文献については、受講者の希望、語学力などを考慮に入れて決定します。

発表内容、授業への取り組みから判断します

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102116&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習I(十八)：西洋古代中世史の研究

足立 広明

前期 金曜日 3時限 A312

文献収集とその読解の基本を学ぶ。各人の自由テーマで研究を深める。

西洋古代中世史を学ぶ人のための演習。範囲は古代オリエントからルネサンス。オスマン朝初期までとする。三回生の目標は、①必要な文献にアクセスできる、②その文献を読みこんで人前で発表できる、③その発表を文章化できる、以上三つの力を身につけることである。

発表・レポートと、授業関与度(積極的な質疑応答、コメント作成)により総合的に判断する。発表とレポートは先行研究や史料をよく取り入れているか、論理的な構成でわかりやすくまとめられたかが基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102118&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに用いない。



史学演習I(十九)：西洋近現代史の諸問題

山口 育人

前期 金曜日 3時限 A315

西洋近現代史の諸問題について、基礎的な文献を理解し、まとめることができる。

授業では主に次の学習活動を行う。

西洋近現代史(主な対象時期は15世紀末から20世紀)にかかわる諸問題について、①基本文献を読み、まとめる ②関連文献を見つけ、それらを書評する。

・平常点については、報告内容の適切さと質疑応答への参加度合で評価する。

・レポートは、文献を的確に調査し、その内容を論理的にまとめているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102119&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習I(二十)：西洋現代史をめぐる諸問題

高橋 博子

前期 金曜日 3時限 B305

卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作る。

卒業論文作成のためには、作成者の問題意識・視点・構想、先行研究の把握、文献・史料収集、文献・史料分析、そして、先行研究を適切に参照し、適切に引用しつつ、論文を完成させる総合的な能力が必要である。また、ほかの受講者の報告や意見を聴いたうえで、建設的な議論を行うことは、論文の質を高めてゆくことにつながる。本演習はこうした卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作ることを目的とする。

研究構想と文献・論文リストについてまとめたレポートによって評価する(70%)。演習での報告とほかの報告者に適切にコメントできるかどうかを評価する(30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102120&opi=se0020&syw=1

教科書 歴史学で卒業論文を書くために / 村上紀夫・創元社、2019・978-4-422-80041-7



史学演習II(一)：日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

後期 水曜日 4時限 C305

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容に対して出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前半は、日本古代史の定評のある論文を読みます。1回に2本ずつ、事前に担当を割り当て、レジュメをもとに、内容の要約・検討結果の報告を行います。その後、3回生向けの卒論の書き方、4回生の卒論要旨発表を行い、全員で課題を共有して検討・議論を行います。最後の数回は、3回生の卒論構想発表を行う予定です。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。なお、報告が回りきらなかった場合は、レポートの提出で報告に替えます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102201&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習II(二)：日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

後期 水曜日 2時限 A312

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容に対して出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前半は、日本古代史の定評のある論文を読みます。1回に2本ずつ、事前に担当を割り当て、レジュメをもとに、内容の要約・検討結果の報告を行います。その後、3回生向けの卒論の書き方、4回生の卒論要旨発表を行い、全員で課題を共有して検討・議論を行います。最後の数回は、3回生の卒論構想発表を行う予定です。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。なお、報告が回りきらなかった場合は、レポートの提出で報告に替えます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102202&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習II(三)：悪党 歴史のなかのアウトロー集団

海津 一朗

後期 水曜日 2時限 B305

日本史における変革の要因について、員外者の視点を身につけることを目標とする 鎌倉時代の史料を読みそれに即して思考することができたか?

洋の東西を問わず、歴史を動かす変革主体はアウトロー、すなわち国家の外にある員外集団である。日本史を学ぶと、このような世界の常識を見失いがちである(島国・革命ない単一王権・鎖国などの偏見)。この演習では、日本史上最大の謎のアウトロー、13・14世紀の悪党を解明する。悪党は、全国に全階層から発生して鎌倉幕府を滅ぼし、室町時代になると消滅する不思議な集団である。日本近代の歴史学がこの謎にどのように挑んできたのか? 追体験しつつ、現代奈良の視座から真相を解明したい。

講義の各回での報告準備および前回課題の発表 取り組みの熱心さと正確さ

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102203&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅱ(四)：悪党 歴史のなかのアウトロー集団

海津 一朗

後期 水曜日 4時限 A314

日本史における変革の要因について、員外者の視点を身につけることを目標とする 鎌倉時代の史料を読みそれに即して思考することができたか？

洋の東西を問わず、歴史を動かす変革主体はアウトロー、すなわち国家の外にある員外集団である。日本史を学ぶと、このような世界の常識を見失いがちである(島国・革命ない単一王権・鎖国などの偏見)。この演習では、日本史上最大の謎のアウトロー、13・14世紀の悪党を解明する。悪党は、全国に全階層から発生して鎌倉幕府を滅ぼし、室町時代になると消滅する不思議な集団である。日本近代の歴史学がこの謎にどのように挑んできたのか？追体験しつつ、現代奈良の視座から真相を解明したい。

講義の各回での報告準備および前回課題の発表 取り組みの熱心さと正確さ

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102204&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅱ(五)：卒論提出に向けて、近世史の諸問題を考える

木下 光生

後期 火曜日 4時限 A312

卒論のテーマを絞り込んでいくとともに、研究史の整理を進めていく。

卒論を書くためには、自分が関心をもっていることを調べてきて、まとめるだけでは不十分で、先行研究を整理し、残された課題を発見していく、という研究史整理が不可欠である。3回生を終える頃には、研究史整理があらたに済んでいることを目指して各自報告をおこない、討論を通して皆でそれぞれの研究を支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102205&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅱ(六)：卒論提出に向けて、近世史の諸問題を考える

木下 光生

後期 水曜日 4時限 A312

卒論のテーマを絞り込んでいくとともに、研究史の整理を進めていく。

卒論を書くためには、自分が関心をもっていることを調べてきて、まとめるだけでは不十分で、先行研究を整理し、残された課題を発見していく、という研究史整理が不可欠である。3回生を終える頃には、研究史整理があらたに済んでいることを目指して各自報告をおこない、討論を通して皆でそれぞれの研究を支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102206&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅱ(七)：幕末・維新时期から大正初期にかけての研究状況と課題の確 奥本 武裕 認(Ⅱ)

後期 水曜日 4時限 M106

研究論文を読みこなす力をつける。各テーマの研究状況と今後の課題について理解する。

幕末・維新时期から大正初期にかけての重要な論文について、担当者を決めて報告を受け、討論して理解を深める。

授業中の報告や議論の内容から総合的に評価する(30%)。期末にレポートの提出を求め評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102207&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅱ(八)：幕末・維新时期から大正初期にかけての研究状況と課題の確 奥本 武裕 認(Ⅱ)

後期 水曜日 2時限 M106

研究論文を読みこなす力をつける。各テーマの研究状況と今後の課題について理解する。

幕末・維新时期から大正初期にかけての重要な論文について、担当者を決めて報告を受け、討論して理解を深める。

授業中の報告や議論の内容から総合的に評価する(30%)。期末にレポートの提出を求め評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102208&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅱ(九)：「20世紀・21世紀の世界と日本」に関わる図書や学術雑誌論文 森川 正則 文を読む

後期 水曜日 2時限 地理実
験室(A129)

先行研究に謙虚に学びつつ、自分なりの問いや切り口を発見する力を養う。また、4年次の卒業論文を見すえて、学術論文の執筆スタイル・技法の習得を目指す。

履修者各自の関心にも配慮しつつ、図書の一部または学術雑誌論文を選定し、輪読・討議する。毎回の授業では発表担当者とコメンテーターを割り当てる。発表担当者にはレジュメを作成・配布の上、発表してもらう。続いて、コメンテーターからの発言をふまえて、全員で討議する。

質疑への参加度30%、発表30%、学期末レポート40%を総合評価。「指定された様式・注意点にしたがっているか」「輪読物の内容を理解しているか」「導き出した問いの的確さ」が基準。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102209&opi=se0020&syw=1

教科書 授業で取り上げる図書の一部または学術雑誌論文



史学演習Ⅱ(十) : 「20世紀・21世紀の世界と日本」に関わる図書や学術雑誌論文 森川 正則

後期 水曜日 4時限 B216

先行研究に謙虚に学びつつ、自分なりの問いや切り口を発見する力を養う。また、4年次の卒業論文を見すえて、学術論文の執筆スタイル・技法の習得を目指す。

履修者各自の関心にも配慮しつつ、図書の一部または学術雑誌論文を選定し、輪読・討議する。毎回の授業では発表担当者とコメンテーターを割り当てる。発表担当者にはレジュメを作成・配布の上、発表してもらう。続いて、コメンテーターからの発言をふまえて、全員で討議する。

質疑への参加度30%、発表30%、学期末レポート40%を総合評価。「指定された様式・注意点にしたがっているか」「輪読物の内容を理解しているか」「導き出した問いの的確さ」が基準。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102210&opi=se0020&syw=1

教科書 授業で取り上げる図書の一部または学術雑誌論文



史学演習Ⅱ(十一) : 日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

後期 火曜日 4時限 A314

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジュメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102211&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅱ(十二) : 日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

後期 水曜日 2時限 A421

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジュメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102212&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅱ(十三) : 日本近世・近代文化史の研究手法を学ぶ

村上 紀夫

後期 金曜日 3時限 A314

日本近世・近代文化史に関する先行研究を理解し、問題関心を深めるとともに、卒業論文執筆にむけての準備をする。担当日を決めて、それぞれが関心のあるテーマについてレジュメを作成し発表。進め方は登録人数によって若干の変更をする場合がある。

講義における報告内容(50%)報告の充実度を重視する
討論内容(30%)…授業参加への積極性と討論参加への積極性、その内容で評価する
レポート(20%)…内容の充実度に加え、演習での討論をふまえて内容が改善されているかで評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102213&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅱ(十四) : 日本近世・近代文化史の研究手法を学ぶ

村上 紀夫

後期 金曜日 4時限 A314

日本近世・近代文化史に関する先行研究を理解し、問題関心を深めるとともに、卒業論文執筆にむけての準備をする。担当日を決めて、それぞれが関心のあるテーマについてレジュメを作成し発表。進め方は登録人数によって若干の変更をする場合がある。

講義における報告内容(50%)報告の充実度を重視する
討論内容(30%)…授業参加への積極性と討論参加への積極性、その内容で評価する
レポート(20%)…内容の充実度に加え、演習での討論をふまえて内容が改善されているかで評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102214&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅱ(十五) : 東洋史学演習

山崎 岳

後期 水曜日 2時限 A315

東洋史の文献を、自分の関心にしたがって網羅的に収集・読解し、卒業論文作成の基礎を築く。

卒業論文の執筆を見すえ、以下の三点について、議論を通じて理解を深める。一、特定の研究主題を選んで発表する。二、東洋史の文献を輪読する。三、研究の前提となる技術的な事項を講義する。

発表内容、および平時授業への取り組みによる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102215&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅱ(十六)：中央・西南アジア史の諸問題

宮本 亮一

後期 水曜日 2時限 A314

卒業論文で取り組むテーマ・問題を見つけ、問題解決のために必要な史料・文献を収集し、それらの内容を理解する以下の3つの作業を中心に行い、上記の目標の達成を目指します：

- ①受講者による研究発表
- ②研究発表を踏まえた議論
- ③関連する史料・文献の講読

関連する史料・文献については、受講者の希望、語学力などを考慮に入れて決定します。

発表内容、授業への取り組みから判断します

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102216&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅱ(十八)：西洋古代中世史の研究

足立 広明

後期 金曜日 3時限 A312

次年度の卒論に向けて各人の自由テーマで研究を深める。

西洋古代中世史を学ぶ人のための演習。範囲は古代オリエントからルネサンス。オスマン朝初期までとする。三回生の目標は、①必要な文献にアクセスできる、②その文献を読みこんで人前で発表できる、③その発表を文章化できる、以上三つの力を身につけることである。

発表・レポートと、授業関与度(積極的な質疑応答、コメント作成)により総合的に判断する。発表とレポートは先行研究や史料をよく取り入れているか、論理的な構成でわかりやすくまとめられたかが基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102218&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに用いない。



史学演習Ⅱ(十九)：西洋近現代史の諸問題

山口 育人

後期 金曜日 3時限 A315

西洋近現代史の諸問題に関わる研究テーマを設定し、プレゼンテーション・レポートによってそのテーマについて報告できる。

授業では主に、次の学習活動を行う。

西洋近現代史(主な対象時期は15世紀末から20世紀)にかかわる諸問題について、研究するテーマを設定し、報告する。

- ・平常点については、報告内容の適切さと質疑応答への参加度合で評価する。
- ・レポートは、文献を的確に集め、それらの内容を論理的にまとめているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102219&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅱ(二十)：西洋現代史をめぐる諸問題

高橋 博子

後期 金曜日 3時限 B305

卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作る。

卒業論文作成のためには、作成者の問題意識・視点・構想、先行研究の把握、文献・史料収集、文献・史料分析、そして、先行研究を適切に参照し、適切に引用しつつ、論文を完成させる総合的な能力が必要である。また、ほかの受講者の報告や意見を聴いたうえで、建設的な議論を行うことは、論文の質を高めてゆくことにつながる。本演習はこうした卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作ることを目的とする。

研究構想と文献・論文リストについてまとめたレポートによって評価する(70%)。演習での報告とほかの報告者に適切にコメントできるかどうかを評価する(30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102220&opi=se0020&syw=1

教科書 歴史学で卒業論文を書くために / 村上紀夫・創元社、2019・978-4-422-80041-7



史学演習Ⅲ(一)：日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

前期 水曜日 4時限 C305

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容をふまえて出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前期は早川庄八『律令国家』(日本の歴史4。小学館、1974年)をテキストに用い、分担して読み進めていきます。当日はレジュメをもとに、内容要約・検討結果の報告(主として3回生)と、関連報告(主として4回生)を分担して行います。また、期末の数回は、1回に2、3人ずつ、4回生の卒論中間発表に充て、全員で課題を共有して検討・議論を行います。なお、ゼミ生の人数によっては、報告の分担方法を変更する場合があります。

夏休みに古代史の定評のある論文を読解するレポートを1回課す予定です(詳細は第15回で説明)。その内容は後期の報告に生かしてもらいます。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102301&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅲ(二) : 日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

前期 水曜日 2時限 A312

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容をふまえて出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前期は早川庄八『律令国家』(日本の歴史4。小学館、1974年)をテキストに用い、分担して読み進めていきます。当日はレジュメをもとに、内容要約・検討結果の報告(主として3回生)と、関連報告(主として4回生)を分担して行います。また、期末の数回は、1回に2、3人ずつ、4回生の卒論中間発表に充て、全員で課題を共有して検討・議論を行います。なお、ゼミ生の人数によっては、報告の分担方法を変更する場合があります。

夏休みに古代史の定評のある論文を読解するレポートを1回課す予定です(詳細は第15回で説明)。その内容は後期の報告に生かしてもらいます。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102302&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅲ(三) : 日本中世の戦争について 一揆・民衆運動(宗教)・降伏祈 海津 一朗

前期 水曜日 2時限 B305

陣取りゲーム・「戦争ごっこ」のような戦国時代・戦国武将のイメージを転換すること。現代と全く異なる中世に固有の戦争のありかた、とくに自力救済を正しく理解する。

日本の中世は戦争の時代だった。現代世界の地域紛争を考える上で戦争の研究は重要であろう。藤木久志の自力救済JK研究(豊臣平和令)以後、中世社会における戦闘行為の基本が生存をかけたナワバリ争いであることが明らかになった。歴史関係教科書にも自力救済理論が明記されているものが増えていた(また最近の教科書検定で減ってきた)。この演習では、中世の戦争について毎回異なる主題を読み解いていく。(回数ごとのテーマは世界情勢等に則して前後する可能性がある)

各回の授業における発言やリプライの適格性。予習のとりくみなど熱意や小レポートから判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102303&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅲ(四) : 日本中世の戦争について 一揆・民衆運動(宗教)・降伏祈 海津 一朗

前期 水曜日 4時限 A314

陣取りゲーム・「戦争ごっこ」のような戦国時代・戦国武将のイメージを転換すること。現代と全く異なる中世に固有の戦争のありかた、とくに自力救済を正しく理解する。

日本の中世は戦争の時代だった。現代世界の地域紛争を考える上で戦争の研究は重要であろう。藤木久志の自力救済JK研究(豊臣平和令)以後、中世社会における戦闘行為の基本が生存をかけたナワバリ争いであることが明らかになった。歴史関係教科書にも自力救済理論が明記されているものが増えていた(また最近の教科書検定で減ってきた)。この演習では、中世の戦争について毎回異なる主題を読み解いていく。(回数ごとのテーマは世界情勢等に則して前後する可能性がある)

各回の授業における発言やリプライの適格性。予習のとりくみなど熱意や小レポートから判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102304&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅲ(五) : 卒論の提出に向け、具体的内容を詰める

木下 光生

前期 火曜日 4時限 A312

具体的な史料分析を精緻化させ、卒論を仕上げる。

3回生の間におおよそ整理した研究史上の課題をもとに、今度はその課題に応えるための史料収集と分析にあたる。その分析内容を各自報告し、討論をふまえて、よりいい卒論に仕上がるよう、皆で支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102305&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅲ(六) : 卒論の提出に向け、具体的内容を詰める

木下 光生

前期 水曜日 4時限 A312

具体的な史料分析を精緻化させ、卒論を仕上げる。

3回生の間におおよそ整理した研究史上の課題をもとに、今度はその課題に応えるための史料収集と分析にあたる。その分析内容を各自報告し、討論をふまえて、よりいい卒論に仕上がるよう、皆で支え合っていきたい。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102306&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅲ(七) : 日本近代史上の重要課題についての研究ー卒論の完成に 奥本 武裕

前期 水曜日 4時限 M106

先行研究と関連史料を確実に読み込む力をつけ、社会的意義に富み、質の高い卒論を完成させる。

卒論の完成に向けて、先行研究の調査、関連史料の収集などに遺漏がないか、相互の議論を通じて確認する。

報告と議論の内容を総合的に評価する(30%)。夏休み期間中にレポートを作成する(70%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102307&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅲ(八)：日本近代史上の重要課題についての研究－卒論の完成に 奥本 武裕
向けて－(Ⅰ)

前期 水曜日 2時限 M106

先行研究と関連史料を確実に読み込む力をつけ、社会的意義に富み、質の高い卒論を完成させる。
卒論の完成に向けて、先行研究の調査、関連史料の収集などに遺漏がないか、相互の議論を通じて確認する。
報告と議論の内容を総合的に評価する(30%)。夏休み期間中にレポートを作成する(70%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102308&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅲ(九)：学びの集大成としての卒業論文に向けた調査・研究発表 森川 正則

前期 水曜日 2時限 地理実験室(A129)

先行研究の理解、史料の調査・収集を進めつつ、卒業論文題目の提出に向けて、目を向ける年代・時期、手がけるテーマ、探求したい問いを明確にしぼりこむ。

日本現代史(またはアジア・太平洋現代史、日本と諸外国の関係史・比較史)を専門的に学んできた履修者各自が、対象とする《時期》《題材》《問い》を設定した上で調査・研究を進め、途中経過を発表していく。その内容について、教員を含む全員で討議する。

討議への参加度40%、計2回の発表内容60%を総合して評価する。評価基準は「先行研究の理解度」「史料の調査・収集状況」「史料の読解・利用の適切さ」「質問・コメントへの応答」である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102309&opi=se0020&syw=1

教科書 授業の性格上、テキストはない



史学演習Ⅲ(十)：学びの集大成としての卒業論文に向けた調査・研究発表 森川 正則

前期 水曜日 4時限 B216

先行研究の理解、史料の調査・収集を進めつつ、卒業論文題目の提出に向けて、目を向ける年代・時期、手がけるテーマ、探求したい問いを明確にしぼりこむ。

日本現代史(またはアジア・太平洋現代史、日本と諸外国の関係史・比較史)を専門的に学んできた履修者各自が、対象とする《時期》《題材》《問い》を設定した上で調査・研究を進め、途中経過を発表していく。その内容について、教員を含む全員で討議する。

討議への参加度40%、計2回の発表内容60%を総合して評価する。評価基準は「先行研究の理解度」「史料の調査・収集状況」「史料の読解・利用の適切さ」「質問・コメントへの応答」である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102310&opi=se0020&syw=1

教科書 授業の性格上、テキストはない



史学演習Ⅲ(十一)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

前期 火曜日 4時限 A314

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102311&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(十二)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

前期 水曜日 2時限 A421

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102312&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(十三)：日本近世・近代文化史の研究を深め、卒業論文を作成す 村上 紀夫

前期 金曜日 3時限 A314

各自の問題関心にに基づき、日本近世・近代文化史の研究を深め、成果を卒業論文としてまとめる。

各自、関心のあるテーマについて研究し、レジメを作成して報告し、全体で討論を行うなかで研究を深めていく。成果を卒業論文として完成させる。

報告内容(70%)報告内容の充実度、独創性、歴史学の方法論の習得度合いで評価する。

討論内容(20%)討論参加の積極性と討論の内容で評価する。

レポート(10%)卒業論文を念頭に作成したレポートの充実度、基本的なアカデミックライティングのスキルが身につけていない場合、大きく減点する。

無断遅刻・欠席は厳禁。特に報告予定者の無断欠席、やむをえない事情以外の当日欠席は決して認めない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102313&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(十四)：日本近世・近代文化史の研究を深め、卒業論文を作成す 村上 紀夫

前期 金曜日 4時限 A314

各自の問題関心にに基づき、日本近世・近代文化史の研究を深め、成果を卒業論文としてまとめる。

各自、関心のあるテーマについて研究し、レジュメを作成して報告し、全体で討論を行うなかで研究を深めていく。成果を卒業論文として完成させる。

報告内容(70%)報告内容の充実度、独創性、歴史学の方法論の習得度合いで評価する。

討論内容(20%)討論参加の積極性と討論の内容で評価する。

レポート(10%)卒業論文を念頭に作成したレポートの充実度、基本的なアカデミックライティングのスキルが身についている場合、大きく減点する。

無断遅刻・欠席は厳禁。特に報告予定者の無断欠席、やむをえない事情以外の当日欠席は決して認めない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102314&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(十五)：東洋史卒業論文作成

山崎 岳

前期 金曜日 3時限 B216

東洋史の卒業論文を作成する。

卒業論文の完成を見すえ、以下の三点について、議論を通じて理解を深める。一、特定の研究主題を選んで発表する。二、東洋史の文献を輪読する。三、研究の前提となる技術的な事項を講義する。

発表内容、および平時の授業への取り組みによる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102315&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(十六)：中央・西南アジア史の諸問題

宮本 亮一

前期 水曜日 4時限 B316

卒業論文の執筆にむけた史料・文献の収集を終わらせる

以下の3つの作業を中心にを行い、上記の目標の達成を目指します：

- ①受講者による研究発表
- ②研究発表を踏まえた議論
- ③関連する史料・文献の講読

関連する史料・文献については、受講者の希望、語学力などを考慮に入れて決定します。

発表内容、授業への取り組みから判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102316&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅲ(十八)：西洋古代中世史の研究

足立 広明

前期 金曜日 4時限 A312

各人の設定したテーマに関して、国内の邦語文献を完全に消化して他の人に伝えることができるようになるのが第一目標。これがクリアできる人は、海外の研究文献や原史料を用いた研究論文の水準を目指す。

西洋古代中世史を卒論テーマとする人の演習。卒論作成のための発表とレポート作成を行う。授業は毎回の発表と質疑応答が中心となる。質問などで明らかとなった不十分な点を次回発表までに補強し、先行研究や史料に基づいた歴史研究と呼べるものに近づけていく。

発表とレポート、それに他の人の発表回における質疑応答、コメント記入などにより総合的に判断する。発表とレポートは先行研究と史料をどれだけ取り入れられているか、論理的な構成でわかりやすくまとめられているかが基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102318&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに用いない。



史学演習Ⅲ(十九)：西洋近現代史の諸問題

山口 育人

前期 金曜日 4時限 A315

西洋近現代史にかかわる研究テーマを設定し、卒業論文の作成ができる。

西洋の歴史における諸問題について研究し、卒業論文を執筆することを目指す受講生を中心とする演習である。対象とするおもな時代は15世紀末から近世、近代、現代である。各回の授業では、受講生それぞれの研究構想、テーマと論点、卒論作成について報告してもらい、全体で報告について討論を行う。

報告内容の適切さと質疑応答への参加度合で評価する。
(進捗レポートは評価対象としない)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102319&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅲ(二十)：西洋現代史をめぐる諸問題

高橋 博子

前期 金曜日 4時限 B305

卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作る。

卒業論文作成のためには、作成者の問題意識・視点・構想、先行研究の把握、文献・史料収集、文献・史料分析、そして、先行研究を適切に参照し、適切に引用しつつ、論文を完成させる総合的な能力が必要である。また、ほかの受講者の報告や意見を聴いたうえで、建設的な議論を行うことは、論文の質を高めてゆくことにつながる。本演習はこうした卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作ることを目的とする。

研究構想と文献・論文リストについてまとめたレポートによって評価する(70%)。演習での報告とほかの報告者に適切にコメントできるかどうか評価する(30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102320&opi=se0020&syw=1

教科書 歴史学で卒業論文を書くために / 村上紀夫・創元社、2019・978-4-422-80041-7



史学演習Ⅳ(一)：日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

後期 水曜日 4時限 C305

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容に対して出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前半は、日本古代史の定評のある論文を読みます。1回に2本ずつ、事前に担当を割り当て、レジュメをもとに、内容の要約・検討結果の報告を行います。その後、3回生向けの卒論の書き方、4回生の卒論要旨発表を行い、全員で課題を共有して検討・議論を行います。最後の数回は、3回生の卒論構想発表を行う予定です。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。なお、報告が回りきらなかった場合は、レポートの提出で報告に替えます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102401&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(二)：日本古代史の諸問題

渡辺 晃宏

後期 水曜日 2時限 A312

日本古代史の研究書・論文などを読み解くことで、日本古代史に関する理解を深めるとともに研究方法を学び、卒業論文作成の基礎的な能力を身に付ける。

ゼミ形式で行い担当者の報告内容に対して出席者全員で討論を行い理解を深めます。

前半は、日本古代史の定評のある論文を読みます。1回に2本ずつ、事前に担当を割り当て、レジュメをもとに、内容の要約・検討結果の報告を行います。その後、3回生向けの卒論の書き方、4回生の卒論要旨発表を行い、全員で課題を共有して検討・議論を行います。最後の数回は、3回生の卒論構想発表を行う予定です。

成績は、平常点(授業に対する積極性など)、授業における報告内容、レポート内容などに基づいて総合的に判断します。なお、報告が回りきらなかった場合は、レポートの提出で報告に替えます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102402&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(三)：悪党 歴史のなかのアウトロー集団

海津 一朗

後期 水曜日 2時限 B305

日本史における変革の要因について、員外者の視点を身につけることを目標とする 鎌倉時代の史料を読みそれに即して思考することができたか？

洋の東西を問わず、歴史を動かす変革主体はアウトロー、すなわち国家の外にある員外集団である。日本史を学ぶと、このような世界の常識を見失いがちである(島国・革命ない単一王権・鎖国などの偏見)。この演習では、日本史上最大の謎のアウトロー、13・14世紀の悪党を解明する。悪党は、全国に全階層から発生して鎌倉幕府を滅ぼし、室町時代になると消滅する不思議な集団である。日本近代の歴史学がこの謎にどのように挑んできたのか？追体験しつつ、現代奈良の視座から真相を解明したい。

講義の各回での報告準備および前回課題の発表 取り組みの熱心さと正確さ

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102403&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(四)：悪党 歴史のなかのアウトロー集団

海津 一朗

後期 水曜日 4時限 A314

日本史における変革の要因について、員外者の視点を身につけることを目標とする 鎌倉時代の史料を読みそれに即して思考することができたか？

洋の東西を問わず、歴史を動かす変革主体はアウトロー、すなわち国家の外にある員外集団である。日本史を学ぶと、このような世界の常識を見失いがちである(島国・革命ない単一王権・鎖国などの偏見)。この演習では、日本史上最大の謎のアウトロー、13・14世紀の悪党を解明する。悪党は、全国に全階層から発生して鎌倉幕府を滅ぼし、室町時代になると消滅する不思議な集団である。日本近代の歴史学がこの謎にどのように挑んできたのか？追体験しつつ、現代奈良の視座から真相を解明したい。

講義の各回での報告準備および前回課題の発表 取り組みの熱心さと正確さ

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102404&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(五)：卒論の提出に向け、具体的内容を詰める

木下 光生

後期 火曜日 4時限 A312

具体的な史料分析を精緻化させ、卒論を仕上げる。

夏休みに収集した史料の分析を精緻化し、卒論の執筆に取り掛かる。そのステップアップとして、卒論の最終構成をゼミで報告し、そこでの討論を通して、お互いの卒論がよいものとなるよう、支え合っていく。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート、卒論

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102405&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅳ(六)：卒論の提出に向け、具体的内容を詰める

木下 光生

後期 水曜日 4時限 A312

具体的な史料分析を精緻化させ、卒論を仕上げる。

夏休みに収集した史料の分析を精緻化し、卒論の執筆に取り掛かる。そのステップアップとして、卒論の最終構成をゼミで報告し、そこでの討論を通して、お互いの卒論がよいものとなるよう、支え合っていく。

平素の受講態度(報告内容と討論への参加姿勢)と期末レポート、卒論

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102406&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に指示



史学演習Ⅳ(七)：日本近代史上の重要課題についての研究－卒論の完成に 奥本 武裕
向けて－(Ⅱ)

後期 水曜日 4時限 M106

先行研究と関連史料を確実に読み込む力をつけ、社会的意義に富み、質の高い卒論を完成させる。

各自から卒論の目次を示し、構成に問題がないか、相互の議論を通じて確認し、互いに協力し合って卒論の完成をめざす。

報告と議論の内容を総合的に評価する(100%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102407&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅳ(八)：日本近代史上の重要課題についての研究－卒論の完成に 奥本 武裕
向けて－(Ⅱ)

後期 水曜日 2時限 M106

先行研究と関連史料を確実に読み込む力をつけ、社会的意義に富み、質の高い卒論を完成させる。

各自から卒論の目次を示し、構成に問題がないか、相互の議論を通じて確認し、互いに協力し合って卒論の完成をめざす。

報告と議論の内容を総合的に評価する(100%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102408&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



史学演習Ⅳ(九)：学びの集大成としての卒業研究の経過報告、論文の執筆・ 森川 正則
完成

後期 水曜日 2時限 地理実験室(A129)

卒業論文執筆に向けた調査・研究の途中経過を発表し、論文完成・提出を目指す。

日本現代史(またはアジア・太平洋現代史、日本と諸外国の関係史・比較史)を専門的に学んできた履修者各自が、対象とする《時期》《題材》《問い》を設定した上で調査・研究を進め、途中経過を発表していく。その内容について、教員を含む全員で討議する。

討議への参加度40%、計2回の発表内容60%を総合して評価する。評価基準は「先行研究の理解度」「史料の調査・収集状況」「史料の読解・利用の適切さ」「質問・コメントへの応答」である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102409&opi=se0020&syw=1

教科書 授業の性格上、テキストはない。



史学演習Ⅳ(十)：学びの集大成としての卒業研究の経過報告、論文の執筆・ 森川 正則
完成

後期 水曜日 4時限 B216

卒業論文執筆に向けた調査・研究の途中経過を発表し、論文完成・提出を目指す。

日本現代史(またはアジア・太平洋現代史、日本と諸外国の関係史・比較史)を専門的に学んできた履修者各自が、対象とする《時期》《題材》《問い》を設定した上で調査・研究を進め、途中経過を発表していく。その内容について、教員を含む全員で討議する。

討議への参加度40%、計2回の発表内容60%を総合して評価する。評価基準は「先行研究の理解度」「史料の調査・収集状況」「史料の読解・利用の適切さ」「質問・コメントへの応答」である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102410&opi=se0020&syw=1

教科書 授業の性格上、テキストはない。



史学演習Ⅳ(十一)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

後期 火曜日 4時限 A314

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102411&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅳ(十二)：日本中世・近世文化史の諸問題

河内 将芳

後期 水曜日 2時限 A421

日本中世・近世文化史の諸問題を理解し、関心のあるテーマを見つけだし研究していくための専門的な能力を身につける。

①最初に各講時担当の報告者を決める。1講時に4人。通年で受講生1人が4回報告を行う。②報告者は報告したいテーマを見つけだし、そのテーマにかかわる報告を行う。報告をする際にはレジメ資料も作成、受講生全員に配布。③報告を聞いた受講生と教員との質疑応答を繰り返すなかで報告内容をより深め卒業論文の完成をめざす。

平常点(50%)(講義中の質疑応答、積極的な態度を重視する)と報告内容(50%)(報告内容の充実度を重視する)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102412&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅳ(十三)：日本近世・近代文化史の研究を深め、卒業論文を作成す 村上 紀夫

後期 金曜日 3時限 A314

各自の問題関心にに基づき、日本近世・近代文化史の研究を深め、成果を卒業論文としてまとめる。

各自、関心のあるテーマについて研究し、レジュメを作成して報告し、全体で討論を行うなかで研究を深めていく。成果を卒業論文として完成させる。

報告内容(70%)報告内容の充実度、独創性、歴史学の方法論の習得度合いで評価する。

討論内容(20%)討論参加の積極性と討論の内容で評価する。

レポート(10%)卒業論文を念頭に作成したレポートの充実度で判断。卒論提出を控える4回生に相応しくないと見なしうるような基本的なアカデミックライティングのスキルが身につけていないレポートは大きく減点する。無断遅刻・欠席は厳禁。特に報告予定者の無断欠席、やむをえない事情以外の当日欠席は決して認めない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102413&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅳ(十四)：日本近世・近代文化史の研究を深め、卒業論文を作成す 村上 紀夫

後期 金曜日 4時限 A314

各自の問題関心にに基づき、日本近世・近代文化史の研究を深め、成果を卒業論文としてまとめる。

各自、関心のあるテーマについて研究し、レジュメを作成して報告し、全体で討論を行うなかで研究を深めていく。成果を卒業論文として完成させる。

報告内容(70%)報告内容の充実度、独創性、歴史学の方法論の習得度合いで評価する。

討論内容(20%)討論参加の積極性と討論の内容で評価する。

レポート(10%)卒業論文を念頭に作成したレポートの充実度で判断。卒論提出を控える4回生に相応しくないと見なしうるような基本的なアカデミックライティングのスキルが身につけていないレポートは大きく減点する。無断遅刻・欠席は厳禁。特に報告予定者の無断欠席、やむをえない事情以外の当日欠席は決して認めない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102414&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅳ(十五)：東洋史卒業論文作成

山崎 岳

後期 金曜日 3時限 B216

東洋史の卒業論文を作成する。

卒業論文の完成を見すえ、以下の三点について、議論を通じて理解を深める。一、特定の研究主題を選んで発表する。二、東洋史の文献を輪読する。三、研究の前提となる技術的な事項を講義する。

発表内容、および平時の授業への取り組みによる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102415&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(十六)：中央・西南アジア史の諸問題

宮本 亮一

後期 水曜日 4時限 B316

卒業論文を完成させる

以下の3つの作業を中心に行い、上記の目標の達成を目指します：

- ①受講者による研究発表
- ②研究発表を踏まえた議論
- ③関連する史料・文献の講読

関連する史料・文献については、受講者の希望、語学力などを考慮に入れて決定します。

発表内容、授業への取り組みから判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102416&opi=se0020&syw=1

教科書



史学演習Ⅳ(十八)：西洋古代中世史の研究

足立 広明

後期 金曜日 4時限 A312

各人の設定したテーマに関して、国内の邦語文献を完全に消化して他の人に伝えることができるようになるのが第一目標。これがクリアできる人は、海外の研究文献や原史料を用いた研究論文の水準を目指す。

西洋古代中世史を卒論テーマとする人の演習。卒論作成のための発表とレポート作成を行う。授業は毎回の発表と質疑応答が中心となる。質問などで明らかとなった不十分な点を次回発表までに補強し、先行研究や史料に基づいた歴史研究と呼べるものに近づけていく。前期の研究を踏まえ、最終的に卒業論文を完成させる。

発表とレポート、それに他の人の発表回における質疑応答、コメント記入などにより総合的に判断する。発表とレポートは先行研究と史料をどれだけ取り入れられているか、論理的な構成でわかりやすくまとめられているかが基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102418&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに用いない。



史学演習Ⅳ(十九)：西洋近現代史の諸問題

山口 育人

後期 金曜日 4時限 A315

西洋近現代史にかかわる研究テーマを設定し、卒業論文の作成ができる。

西洋の歴史における諸問題について研究し、卒業論文を執筆することを目指す受講生を中心とする演習である。対象とするおもな時代は15世紀末から近世、近代、現代である。授業では、受講生それぞれの研究構想、テーマと論点、卒論作成について報告してもらい、全体で報告について討論を行う。

報告内容の適切さと質疑応答への参加度合で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102419&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史学演習Ⅳ(二十)：西洋現代史をめぐる諸問題

高橋 博子

後期 金曜日 4時限 B305

卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作る。

卒業論文作成のためには、作成者の問題意識・視点・構想、先行研究の把握、文献・史料収集、文献・史料分析、そして、先行研究を適切に参照し、適切に引用しつつ、論文を完成させる総合的な能力が必要である。また、ほかの受講者の報告や意見を聴いたうえで、建設的な議論を行うことは、論文の質を高めてゆくことにつながる。本演習はこうした卒業論文作成のための基本的な計画と構想を作ることを目的とする。

研究構想と文献・論文リストについてまとめたレポートによって評価する(70%)。演習での報告とほかの報告者に適切にコメントできるかどうか評価する(30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142102420&opi=se0020&syw=1

教科書 歴史学で卒業論文を書くために / 村上紀夫・創元社、2019・978-4-422-80041-7



卒業論文：大学における講義やその他の活動で修得した知見に基づき卒業論文を完成させる。

通年 その他 その他 その他

大学における講義やその他の活動で修得した知見を活用して、自身が選択した研究課題を分析・考察し、論理的な文章を執筆できるようになる。

卒業論文の執筆・提出を目的とし、各々の学生が選択したテーマに応じて、演習などにおいて指導する。

卒業論文および口述試問の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142090000&opi=se0020&syw=1

教科書



国際交流史基礎講義Ⅰ：環太平洋現代史：日米関係を中心に

高橋 博子

前期 金曜日 2時限 C202

環太平洋現代史への第二次世界大戦・冷戦の影響を理解する。

2026年は第二次世界大戦終結から81年の年である。「冷戦」とよばれる時代が続いたが、アジアにおいては朝鮮戦争、ベトナム戦争と熱戦が起こり、日米関係も変節してきた。本講座は第二次世界大戦から冷戦期にかけての日米関係について講義を行い、戦争と平和の問題について、さらに国際交流の意義について多角的に議論する。

中間確認レポートと期末確認レポートにて、基本的な知識を問う(60%)。また、コメントペーパーや授業への参加(40%)レポートの評価方法は以下の点を重視する。

- ・課題や授業内容を理解しているか
- ・自分の視点で論述しているか
- ・論拠を示し、説得力があるか
- ・歴史的探究心があるか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142111100&opi=se0020&syw=1

教科書



国際交流史基礎講義Ⅱ：海域世界からみた古代中世の日本

海津 一朗

後期 月曜日 4時限 C204

日本史の通史が、史料解説と論理的思考によって作られていることを理解できたか？毎回の講義で取り上げた争点について自分の意見(どちらが正しい？を主張できたか。高校の日本史関係教科書について国の教科書検定の意義が理解できたか

この授業では、教科書に書かれた通史叙述が、じつはいくつも異説(数学で言う別解のようなもの)があり、淘汰されて一本化されていることを理解する。講師の専門分野から、古代史・中世史(およそ秀吉の時代以前)、外交史を中心に学術論争(学説の争点)を紹介して、なぜ現在のような記述に落ち着いたのかを説明したい。たとえば、「弥生時代がいつ始まったのか」「天皇はいつできたか(初代天皇は誰か)」など、テキストに沿って時代順に講義したい。(現在の教科書記述が、次の教科書検定では変更されて新しい学説に変わるということも予想を込めて話そう)。高校時代の日本史関係教科書を持っているものは持参してほしい(履修して無い者もテキストから類推されたい)。地歴科の教員志望者は是非聞いてほしい

・毎回行う感想文・小テストと、15回のまとめで理解度をみて総合的に判断する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142111200&opi=se0020&syw=1

教科書 ここまで変わった日本史教科書

- / 高橋秀樹ほか
- ・ 吉川弘文館
- ・ 2016
- ・ 678464208299
- 増補 中世日本の内と外 / 村井章介
- ・ ちくま学芸文庫、2013・978448009522



国際交流史基礎講義Ⅲ：正倉院入門

杉本 一樹

前期 木曜日 2時限 C104

正倉院宝物を主たる素材として、「もの」と文字の多様なあり方についての理解を深め、この視点を通じて、奈良時代を中心とする日本古代史を学んでいく。

正倉院の文字資料について、概説の形で全般的に取り上げながら、日本古代で「文字を使う」ことの意味と、その広がりについて、講義を進めていこうと考えています。

毎回、リアクションペーパーの提出を求め、授業内容理解を把握するための参考とする。評価は、平常点および最終授業日に実施する学習到達度確認(筆記による)に基づいて行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142111300&opi=se0020&syw=1

教科書 《日本史リブレット》074.正倉院宝物の世界 / 杉本一樹・山川出版社、2010年・978-4-634-54686-8



国際交流史基礎講義Ⅳ：15～19世紀における列島の交流史

村上 紀夫

後期 水曜日 1時限 C101

高校までの一国史としての「日本史」ではない、交流史の視点で政治史・文化史を考える視点を理解し、国境にしばられない歴史について自分の言葉で説明できるようになる。

15世紀～19世紀(日本の時代区分でいえば中世後期から近代)の日本列島をとりまく文化・政治のなかで、日本の歴史・文化がどのような影響を受けてきたかを、中国・朝鮮・琉球・北方、西欧諸国との関係を重視して考える。なお、構成は変更する可能性がある。

レポート(100%)講義内容をふまえた交流史の理解度に加え、国境にしばられない視点で「歴史」を自分の言葉で説明できているかを重視。課題レポート作成にあたっては別添ファイル熟読のこと

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142111400&opi=se0020&syw=1

教科書 とくに使用しない



国際交流史基礎講義Ⅵ：モノからみるイギリス帝国の歴史的展開

山口 育人

前期 火曜日 1時限 C301

- ①近代・現代世界史における諸テーマについて理解する。
- ②歴史と現代社会のつながりを認識し、現在の世界の成り立ちを理解する。

モノに着目しながら近現代イギリス帝国史の歴史的諸相を検討します。また21世紀に生きる私たちが直面している問題について、世界的視点でもって理解することを目指します。

最終回授業において実施する学習到達度確認では、講義で取り上げた歴史事象を適切に説明できているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142111600&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



日本史基礎講義Ⅰ：奈良時代の人物伝

寺崎 保広

後期 火曜日 3時限 C105

奈良時代の主要な人物を取り上げ、その墓卒伝史料を中心に読みながら、人物像を考えるとともに、時代相、政治、社会、氏族なども合わせて講義し、それによって、歴史研究の基礎的な能力の向上を目指す。

講義形式で行う。『続日本紀』にみえる12人の墓卒伝史料を配布し、原則として、1回に一人を取り上げることとする。授業では、史料を読み進めながら、その人物の生涯を確認し、さらに関連する事項を別途資料にもとづき説明し、総合的に考えてゆくこととする。

平常点30%、最終週に実施する学習到達度確認試験70%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142113100&opi=se0020&syw=1

教科書 初回時に、プリントを配布する。



日本史基礎講義Ⅱ：「村」と「町」の近世・近代史

奥本 武裕

前期 月曜日 3時限 C203

人々の生活の基盤であり、国家による統治の基盤でもあった「村」「町」の歴史的変遷について理解するとともに、これからの地域社会のあり方について考察を深める。

「消滅可能性自治体」の問題と、その解決のための「地方創生」が叫ばれるなか、人々の生活の基盤であり、国家による統治の基盤でもあった「村」「町」の歴史的精確を正確に理解することは重要な課題である。この問題について奈良県域をフィールドに設定して、日本の近世・近代史をたどりながら考えてみたい。教職希望者には歴史教育を推進する力をつけてほしいので、担当者の高校教員としての経験も踏まえ、地域学習が必須となっている、今後の歴史教育のあり方についても視野に入れつつ授業を進める。

質問に対する応答、コメントシートの記述などから授業に対する積極性を評価する(30%)。期末レポートの提出を求め、問題意識や論理的な展開などを総合的に評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142113200&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者から資料を配付する



日本史基礎講義Ⅲ：「映画」を資料・手がかりにして学び・問う昭和史・平成史 森川 正則

前期 月曜日 2時限 C204

「昭和史・平成史には、どのようなテーマと問い・論点があるのか」を講義全体の主題とし、「映画」を利用して多様な角度から考え、日本現代史の学びと探究に活かす技能を習得する。

この科目は正確には「日本現代史」なかでも「昭和史・平成史」の基礎講義である。2019年に幕を閉じた平成は遠ざかり、昭和はますます遠くなった。では、昭和史・平成史において「探究するに値するテーマと問い」とは何か。そこで、手がかりとするのが「映画」である。優れた文学と同様、映画にも人間と社会、そして、歴史について鋭い洞察と問いかけを提示してくれる作品が数多くある。この授業では、文書・文献史料に基づく歴史の学び・探究にも豊かなヒントを与えてくれる映画を使い、テーマと問い・論点を考えていく。

授業内容に関連して教員からの問いかけに答えてもらう「質問回答ペーパー」(40%)と「期末レポート」(60%)を総合評価する。レポートは「指定された構成と注意点に従っているか」を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142113300&opi=se0020&syw=1

教科書 授業ではプリントを配布



日本史基礎講義Ⅳ：文献史料論の基礎

外岡 慎一郎

前期 火曜日 2時限 C205

文献史料(文書、記録、編纂物、著作物)を歴史研究の素材として活用していくための基本知識を身につけること。

文献史料を、その形態・様式・機能によって分類し、分類された史料ごとにその特質を逐次論じていく。下記に示す授業計画はおおよそその分類に対応している。

対面授業と並行してe-learningに各回課題を掲示する。その総合点(素点合計)により成績評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142113400&opi=se0020&syw=1

教科書 各回pptデータを用意する



日本史基礎講義Ⅴ：国際社会におけるデモクラシーの形成と近代日本

長澤 一恵

後期 水曜日 5時限 C203

- ①日本現近代史の基礎的な知識や流れを学ぶ。
 ②大正デモクラシー期に展開した民主主義・国際主義について、明治憲法体制及び国際社会との関わりのなかで理解する。
 ③戦後に継承される民主主義や平和の意義について理解を深める。

明治維新後の開国により近代国家として出発した日本は、大日本帝国憲法のもとで大正デモクラシー期には民衆の社会要求や権利意識の高まりを背景として多彩な言論や社会運動を展開し、政党政治の成立へと結実するとともに、一方では差別や植民地支配、戦争、移民問題など複雑で多面的な課題を抱える社会であった。講義では、こうした内外の問題を広く捉えながら、近代日本ではどのような「社会」の実現が目差されたのかを明治憲法体制および日本をとりまく国際社会との関わりから多角的に考察する。

戦争・植民地統治・ナショナリズムといった20世紀が抱えていた諸問題の解決を模索するなかで社会が追求してきた民主主義や平和の価値を見つめ直すことによって、これからの国際社会のあり方を考える手がかりにしたいと考える。

学習到達度確認40%（試験を行い、講義内容から知識問題、史料問題、論述問題など多角的に理解度を確認する）、授業中に提出する課題レポート30%（図書館・資料館・博物館およびWebアーカイブ調査などを利用して積極的に学習し幅広い知識と深い理解を得たうえでレポートを作成する）、平常点30%（講義内容をノートに取るなど集中して理解を深めること）、を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142113500&opi=se0020&syw=1

教科書 教科書は使用せず、授業プリントを配布します。



東洋史基礎講義Ⅰ：東洋文化の基礎知識

山崎 岳

後期 金曜日 4時限 C104

東洋諸国の文化を世界史的な観点から理解することをめざす。

飲食・服飾などの身近な文物から、仏教・儒教などの思想や倫理まで、毎回異なる主題を設定して講義する。日本を含む東アジアを中心とするが、それ以外の地域との関係性についても言及する。

平常点と筆記試験による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142115100&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史基礎講義Ⅱ：モンゴル帝国の形成とその定住民支配

川本 正知

前期 火曜日 3時限 C104

遊牧民の社会とはどういった特色を持つ社会であるのかを理解する。
 遊牧民の「国家」とはどういった構造をもつかということを理解する。
 遊牧民の帝国による定住民の支配の方法を理解する。

モンゴル人は、13世紀初頭に突如として現在のモンゴル国の地で活躍を始めた遊牧民である。チンギス・ハンによって12世紀の終わりから13世紀にかけて形成された大モンゴル・ウルスとよばれる遊牧民の「国家」はユーラシア大陸に未曾有の版図を有する大帝国を築き、程なく分裂し、解体してしまった。この帝国をモンゴル帝国とよぶ。その盛期はせいぜい1世紀であった。そしてモンゴル治下の諸民族は、例外なく、かつて経験したことのない試練に曝され、周辺部の諸民族も否応なしに、モンゴル勢力への対応を迫られた。

大モンゴル・ウルスは、彼ら遊牧民とは生き方がまったく異なる都市や農村にすむ定住民をどのように支配しようとしたのであろうか。筆者は10年ほど前にモンゴル帝国の定住民支配のやり方を扱った『モンゴル帝国の軍隊と戦争』山川出版社、2013を書いてこの問題への解答としたが残念ながらそれが今日定説になってはいないが、この授業ではこの書の内容を紹介していくことによってモンゴル帝国の形成の過程を明らかにしていく。

6月9日付変更

通常の試験期間中に行う持ち込み不可の記述式の試験60点以上。

試験問題はe-learning上にあげた指定の参考文献から出題。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142115200&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史基礎講義Ⅲ：朝鮮半島の歴史

安田 純也

後期 月曜日 2時限 C103

朝鮮半島の歴史の概要を習得する。

朝鮮半島の前近代の歴史を学ぶ。朝鮮半島では、中国大陆からの直接的な影響のもと、国家を形成し、展開してきた。日本とは同じ東アジア文化圏に属し、隣接する関係にある朝鮮半島の歴史を学ぶことは、日本の歴史をより深く理解することにもつながる。

授業では、具体的な文献や文物を取り上げつつ、朝鮮半島の歴史について論じる。

小テスト40%

2回行う。授業内容の理解度と説明能力を審査する

レポート課題20%

1回課す。指定の文献を踏まえ、まとめる能力などを審査する

上記以外40%

質問、宿題など

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142115300&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史基礎講義Ⅳ：イスラーム時代西アジア史

矢島 洋一

前期 金曜日 2時限 C103

イスラーム成立以降の西アジア史について基礎的な知識を得る。

7世紀から近現代にいたるイスラーム時代西アジア史を概観する。史実そのものより、その史実が史料上どのように記述されているかに重点をおきつつ解説する。必要に応じて、中央アジア・南アジア・北アフリカ等周辺諸地域との関係についても言及する。

授業課題 30%：毎回授業の最後に意見を求める。

定期試験 70%：授業内容の理解度を問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142115400&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



東洋史基礎講義Ⅴ：イスラームの多面的理解

矢島 洋一

後期 金曜日 2時限 C103

イスラーム世界を様々な角度から見ることによってその多様性を理解し、イスラームを多面的に理解できるようになる。一面的に理解されがちなイスラームを多面的にとらえるため、以下の三つの観点からイスラームとその歴史について検討する。

- (1) イスラームの教義
- (2) 現代イスラーム世界の諸国家
- (3) 日本とイスラーム世界との関わり史

授業課題 30%：毎回授業の最後に意見を求める。
定期試験 70%：授業内容の理解度を問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142115500&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



西洋史基礎講義Ⅰ：西洋古代末期におけるジェンダー観の変容

足立 広明

後期 金曜日 2時限 C101

地中海世界の古代末期におけるジェンダー観の変容について理解し、ほかの時代や地域に関しても主体的な問題意識をもって考察することができるようになる。

西洋とはギリシアローマの古典とキリスト教を文化の基層に有する世界と定義することができる。授業では、この現代まで続く西洋の文化の基層が確立した2-8世紀の古代末期と呼ばれる時代に起こったジェンダー観の変容に注目し、キリスト教女性聖人伝の分析を中心に非キリスト教女性哲学者や男性の在り方の変化にも目を向け、当時の人々がどのように自らのジェンダー観を主体的に形成していったかを考える。

小レポート、授業態度などによる平常点50%、最終授業時の到達度確認50%。小レポート、テストは授業内容の理解度、論理的な構成でわかりやすく書けているかが基準となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142117100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



西洋史基礎講義Ⅱ：近世イギリスにおける共同体と経済

久保 利永子

後期 金曜日 3時限 C104

18世紀のイングランドにおける民衆の生活世界に注目し、社会的事件の背景にある秩序とそれを支える経済の仕組み、価値観、社会通念を理解する。

18世紀のイングランドでは食糧暴動が頻発していた。穀物業者等に宛てた様々な脅迫状や民衆による市場の占拠や穀物輸送船の拿捕、穀物の略奪といった具体的な面から考えると、こうした騒擾は飢えた民衆による「暴動」と呼べそうだが、それは本当に飢餓で自暴自棄に陥った人々による無秩序な暴力の爆発だったのだろうか。本講義では工業化以前の民衆の生活世界を理解しながら、彼らの「集団行動」とその根底にある慣習的価値観やルールを考察し、人々の生活と市場（経済構造）の関係に対する理解を深める。

授業毎の課題等（70%）と期末レポート（30%）。課題は講義に取り組む姿勢や講義内容の理解などを重視し、期末レポートは必要かつ適切な情報に基づく議論を論理的に展開しているか評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142117200&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを適宜配布する



西洋史基礎講義Ⅲ：中世都市の形成と中世後期の都市社会

佐藤 専次

前期 水曜日 4時限 C101

中世都市の形成、中世後期ドイツの都市社会の構造ならびに都市市民の日常生活を理解する。

11,12世紀から16世紀にかけてのヨーロッパ、とくにドイツ都市を対象に、商人ギルド、都市共同体の形成、都市指導層、ツンフトと手工業者、都市市民の生活、乞食・娼婦などの周縁集団、都市における犯罪について論じる。

学習到達度確認80% 講義内容を的確に理解し、かつそれを正確に文章化できるかで判断する。

小テスト20% 講義内容について、感想・質問を書いてもらう。それによって講義をいかに理解できているかを判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142117300&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



西洋史基礎講義Ⅳ：古代ギリシアにおける「戦争」と歴史

山内 暁子

後期 水曜日 2時限 C202

古代ギリシア社会を学ぶことで自らを客観視する視座を獲得し、史料に基づいた歴史像を持つようになること

本講義では、古代ギリシアの神話的・歴史的な戦争について考察を試みる。歴史学の基本である文献史料だけでなく、遺物や遺跡、また図像などの「モノ」資料も使用する。それによって現段階で史料から読み取れることを考察し、さらなる展望について検討する。歴史学の基本的な史料解釈に始まり、現代的・学際的な研究手法についても目を向けながら、様々な歴史考察の可能性を考えてみたい。

授業中に出される課題2回（25点×2）と、最終課題（30点）を評価の中心とします。最終課題については、提出していない受講者は単位取得意思がないものとみなしますので、提出をお願いします。Google Classroomで質問や感想を受け付け、私が回答しつつ、ディスカッションになるようにしたいと考えています。Google Classroomへの「質問・感想」の書き込みも評価の対象（20点）となるので、頑張ってください。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142117400&opi=se0020&syw=1

教科書



西洋史基礎講義Ⅴ：古代ローマの文化と社会の歴史的形成過程

井福 剛

前期 月曜日 4時限 C104

古代ローマ史研究の現在の潮流を学習することで、古代ローマ史について基本的な知識を習得し、同時に歴史学の方法論について理解する。

本講義では、古代ローマ史研究の現在の潮流に関して学習することを通して、歴史学の史料の扱い方や解釈の方法と変遷について検討していく。そうすることで古代ローマの文化と社会について理解し、同時に歴史学の基礎的な方法論について理解を深めてもらいたい。

講義内容について問う毎回の小レポート 50% (講義内容を理解しているかどうかを評価)

学期末レポート 50% (適切に情報を収集し、論理的に考えをまとめられているかを評価)

出席日数(小レポートの提出)が3分の2に満たない場合は、原則として成績評価は行わない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142117500&opi=se0020&syw=1

教科書 各回資料送信



国際交流史特殊講義Ⅰ：核時代を検証する：日米関係を中心に

高橋 博子

前期 月曜日 3時限 C201

核時代における日米関係を歴史的に理解し、史料の検証方法について学ぶことができる。

本講義では広島・長崎の原爆投下や冷戦下で実施された米核実験について、米公文書(マンハッタン計画文書・米原子力委員会文書・米国務省文書など)と、被ばくした人々による証言に注目して検証する。また2017年7月に国連で採択され、2021年1月に発効した核兵器禁止条約など、核廃絶に向けての具体的な動向について取り上げる。さらに米国における原爆・核関連資料の状況について取り上げ、核の時代における日米関係を理解する。

原爆関連のレポート(30%)。「核時代を考える」についてのレポート(30%) そのほかコメント(40%)

レポートの評価方法は以下の点を重視する。

- ・課題を読んでいるか
- ・自分の視点で論述しているか
- ・論拠を示し、説得力があるか
- ・歴史的探究心があるか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142121100&opi=se0020&syw=1

教科書 核の戦後史 / 木村朗・高橋博子・創元社、2016年・9784422300542



国際交流史特殊講義Ⅱ：中央アジアの歴史－中央アジアにおける国民国家の成立－

川本 正知

後期 火曜日 3時限 C104

この講義は、中央アジアの民族、イスラム教、ロシア、中国による植民地化の諸相などの問題をあつかい、私たち日本人がそれにどのように向き合っていかなければならないかを考えるための基礎的な知識や情報を得ることを目標とする。

中央アジアとは歴史的にいかなる地域であるかをさまざまな角度から概説する。特に乾燥地帯としての生活の特徴、オアシスおよびオアシス都市のあり方、山間部および砂漠に住む遊牧民の生活、多くの宗教共同体の存在など、今日の中央アジアとその歴史を考える上において基礎的な知識をまず確認する。次に、それらの基礎的な地理的概念の上に、1991年に独立した5つの「国民国家」について国家、国民、民族、文化、伝統などの内容を明らかにしていく。次にこれらの基礎的知識を前提として、中国に属する新疆ウイグル自治区のウイグル人問題、フェルガナ盆地の原理主義イスラムといったような中央アジアをめぐる今日の問題を解説する。

6月9日付変更

通常の試験期間中に行う持ち込み不可の記述式の試験60点以上。

試験問題はe-learning上にあげた指定の参考文献から出題。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142121200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国際交流史特殊講義Ⅳ：植物を通してみる人とモノの交流史

久保 利永子

前期 金曜日 1時限 C104

植物というモノの移動を通して、そこに関わる人的交流、物質的交流を当時の社会状況との関係に照らして考察し、理解を深める。

啓蒙の時代(18世紀)のヨーロッパでは科学的関心によって国境を越えて結ばれた人的ネットワークが存在した。スウェーデンのカール・リンネは精力的に植物分類体系の構築に取り組み、彼の弟子たちは植物標本採集のために世界各地へ旅立った。植物園は最先端の科学研究の舞台となり、19世紀になると園芸業者やプラントハンター(植物採集者)が世界を舞台に活躍するようになる。本講義ではヨーロッパ、アジアなど異なる地域の人々が植物を通してつながり、モノやコトの交流が行われる様子を社会史的に考察する。

授業毎の課題等(70%)と期末レポート(30%)。課題は講義に取り組む姿勢や講義内容の理解などを重視し、期末レポートは必要かつ適切な情報に基づく議論を論理的に展開しているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142121400&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回、教材(プリント)を配布する



国際交流史特殊講義Ⅴ：「人の移動」よりみる近代日本

長澤 一恵

前期 水曜日 5時限 C203

- ①日本現近代史の基礎的な知識や流れを学ぶ。
- ②多様で重層的な社会構造や国際関係のなかで歴史を捉える相対化の視点を養う。
- ③現代社会の課題について、近代日本社会の形成とのつながりから理解する。

明治維新後の開国による日本の国際社会への参加は、常に「人の移動」をともなうものであった。とくに日本「帝国」の形成の過程では、欧米、東アジア、太平洋地域の諸社会との間で多くの人口が相互に移動し、移民、租界・租借地、植民地支配といったかたちでの様々な社会接触を経験することとなる。講義では、日本と深い関わりをもつ地域のうち、《中国大陸》を取り上げて、日本帝国の内外に移動する人々を通して戦前期のアジア・太平洋の国際関係について検討するとともに、「人の移動」とそれにとまなう国籍、土地所有権、教育権など諸権利の獲得や社会参加への取り組み、そして国際問題の解決について具体的に考察する。

2つの祖国、複数の社会の間で揺れ動く人々の法的権利やアイデンティティを探ることで、近代「国民国家」観念を相対化する視点をも養うことが出来るのではないかと考える。

学習到達度確認40%（試験を行い、講義内容から知識問題、史料問題、論述問題など多角的に理解度を確認する）、授業中に提出する課題レポート30%（図書館・資料館・博物館およびWebアーカイブ調査などを利用して積極的に学習し幅広い知識と深い理解を得たうえでレポートを作成する）、平常点30%（講義内容をノートに取るなど集中して理解を深めること）、を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142121500&opi=se0020&syw=1

教科書 教科書は使用せず、授業プリントを配布します。



日本史特殊講義Ⅰ：排除と包摂の地域史

奥本 武裕

前期 火曜日 3時限 C202

人間がつくる社会的関係のなかに現われる排除と包摂の様相について、その背景や歴史などを深く理解し、豊かな人権感覚を身につける。

容易に克服できない差別や排除の意識の歴史をたどる。近現代の部落問題に多くの時間をあてることになるが、その理解を深めるために、前近代の社会史にも視野を広げ、多角的に解明していく。そのうえで差別を克服する道筋について社会の持つ包摂という側面にも注視して学びを深めていきたい。なお、この科目は、実務経験のある教員が授業を担当する。担当教員が、企業や団体等の現場における人権啓発に従事した経験もふまえて授業を進めていく。

質問に対する応答、コメントシートの記述などから授業に対する積極性を評価する(30%)。期末レポートの提出を求め、問題意識や論理的な展開などを総合的に評価する(70%)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123100&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者より資料を配付する 授業中に適宜示す



日本史特殊講義Ⅱ：大元ウルス(元寇)と中世日本 国際関係と地域民衆の視 海津 一朗

前期 月曜日 2時限 C301

点から講義する

14世紀の日本は蒙古襲来による対外緊張の時代であり、国家存亡の危機の時代であった。天皇家の滅亡の可能性も含めて、日本列島全土で「悪党」の蜂起がおこるといふ日本史上最大の内戦の時代について、基礎的な事実を講義しつつ解明したい。

鎌倉時代の後期、13世紀末～14世紀前半の動乱について、歴史教科書に出てくるような史実、蒙古襲来・悪党蜂起・蝦夷叛乱・両統迭立・得宗専制・弘安徳政・永仁徳政令・元弘大地震などの史実を説明し、意義を問い直しつつ解明する。この時代には、現代の日本社会を生き抜くうえで不可欠な知恵と教訓が溢れている。日本史の学界では、なぜ鎌倉幕府が滅びたのか、説明できない未解決の謎になっている。このエニグマに迫ろう。

15回の講義は3つの視点から鎌倉時代を考えたものだが、外交・神戦・革命それぞれについての理解度、相互の関係について毎回授業の最後にリプライを行うので、その回答と日常の学習姿勢・熱意から総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123200&opi=se0020&syw=1

教科書



日本史特殊講義Ⅲ：近世日本の貧困から現代社会を考える

木下 光生

後期 月曜日 2時限 C104

貧困の問題を歴史的にとらえる視角と発想、実証方法を考えながら、現代社会に対する見方を鍛えあげる

21世紀の日本は、世界に冠たる「自己責任大好き」社会であり、貧困の公的救済に対して非常に冷たい社会となっている。その歴史的背景に何があるのかを、17世紀以来の長期的かつ比較史的な目線で検討し、貧困救済をめぐる現代日本社会の歴史的な位置を考察していきたい。

期末レポート

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123300&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布



日本史特殊講義Ⅴ：伊勢参りからみる近世社会

安田 真紀子

前期 月曜日 4時限 C204

史料を読み解く力を身につけ、伊勢参りの展開を通して、近世の社会構造に対する多角的な視点を養う。

江戸時代に爆発的に流行した伊勢参りに焦点をあて、具体的な史料から伊勢参りが発展した背景について考察し、近世庶民の社会観を見直す。

授業期間内に課すレポート70%（講義の内容を正確に把握し、問題意識を持って自分の考えを適切に論じることができているかを総合的に評価する）、授業中随時行う課題30%（基本的な語句の理解、史料内容の理解など講義内容の理解度を確認する）によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123500&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する



日本史特殊講義VI：近世近代移行期における政治社会の形成と「政党」 出水 清之助 前期 木曜日 2時限 C203

- ①19世紀における日本社会の変化について大まかな流れを理解できる。
②上記を通じて、現在の社会を歴史的な視座から考えるための視点を養う。

19世紀後半の日本で起こった明治維新は、身分制社会を解体するとともに、新たな政治社会の形成を促しました。この授業では、近世から近代にかけて、いかなる政治社会が模索されたのかについて、具体的な事例から検討していきます。その際、特に明治期における「政党」の形成過程に注目します。党派を忌避する観念の強い近世以来の日本社会に、西洋からもたらされた「政党」は、いかなる正当性を示しながら定着していったのでしょうか。移行期の日本社会の状況を踏まえながら、政党の存在を歴史的に問い直します。

- ①学期末レポートの提出(60%)

授業内容を踏まえつつ、自身の考えを論理的に説明できているかが評価のポイントとなります。

- ②コメントペーパーによる意見・質問の提出(40%)

興味深かった点、疑問に思った点、考えたことなどを、自身の言葉で書けているかが評価のポイントになります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123600&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布するため、使用しない。



日本史特殊講義VII：日本古代の国家と政治―到達点としての摂関政治― 吉江 崇 前期 水曜日 3時限 C201

日本古代史における正確で幅広い知識を獲得するとともに、これまでの研究の流れを自分の力で整理し、それらを客観的・批判的に把握して、自らの歴史像を組み立てるための技術を習得する。

日本における古代国家の様相を政治史という側面から把握し、古代日本の特質について理解することを目的とする。摂関政治の全盛期ともいえる10世紀後葉から11世紀前葉にかけての政治動向を取り上げ、先行学説を紹介するとともに批判的に検証を行う。こうした作業を通じて、国家の様相やその変遷を客観的に捉える視座を養うことを目指す。

平常点15%(授業への積極的な態度を重視)、小レポート25%(講義内容を自分の言葉でまとめる)、定期試験60%(講義内容の理解及びそれに関する自身の考えの獲得を論述形式で問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123700&opi=se0020&syw=1

教科書



日本史特殊講義VIII：発掘調査や木簡等から読み解く奈良時代史 山本 祥隆 後期 土曜日 2時限 C201

日本史の中における奈良時代史の位置付けを考える。また、発掘調査成果や木簡等を中心に据えた考察から生きた歴史像を構築し、理解することを目指す。

日本史の中において古代、特に奈良時代史はユニークかつ重要な位置を占め、研究対象として好適である。また、奈良時代史を考究することは他の時代や地域の歴史に対する理解の相対化や深化にも資する。本講義では、講師が実際に携わった発掘調査の成果や平城宮・京跡出土木簡等に基づき、より生き生きとした歴史像の構築を目指すことにより、奈良時代史に対する理解を深めることを目標とする。また、歴史の舞台となった奈良で学べる利点を活かすため、学外実習も積極的に行うことを計画している。

期末に、古代史に関するレポートの提出を課す。自ら課題を設定し必要な情報を収集できているか、自分の考えを展開できているかなど、オリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123800&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



日本史特殊講義IX：中世武家の法と裁判/鎌倉時代編 外岡 慎一郎 後期 火曜日 2時限 C205

中世武家法とこれに連動して進められたはずの武家裁判についての基本的理解を得ること。

中世武家法の端緒を開いた御成敗式目と、数ある鎌倉幕府法令のなかで(鎌倉時代もその後も、さらに今でも)もっとも著名な「徳政令」を素材に、武家法の「思想」と「実践」(裁判はその最たる場面)について、裁許状(判決文)などを駆使しながら立体的に論じていく。

e-learningに課題を掲示し、答案の採点(総計)を基準に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142123900&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



東洋史特殊講義I：高麗王朝の歴史を学ぶ 安田 純也 前期 月曜日 2時限 C103

- (1)韓国朝鮮史の研究動向と手法を習得する。(2)歴史を多角的にとらえる見方を身につける。

この授業では、朝鮮半島の歴史の形成、展開を振り返るが、今年度は高麗王朝を取り上げる。高麗は約500年の長きにわたって朝鮮半島を支配した王朝であり、朝鮮の伝統文化と中国から伝来した文化が調和をなした時代である。また、高麗の文化財の多くは日本列島各地に伝存しており、高麗は日本と関わりが深い王朝である。授業では、韓国、日本の学界における研究成果を踏まえつつ、高麗王朝の歴史について論じる。

小テスト40%

2回行う。理解度と説明能力を審査する

レポート20%

1回課す。指定の文献を踏まえ、まとめる能力などを審査する

上記以外40%

質問、宿題など

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142125100&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史特殊講義II：清朝史概説

葉 勝

前期 木曜日 3時限 C202

清朝歴史の概要を理解する

清は16世紀後半、満洲人を中心にマンチュリアから興った帝国で、中国最後の王朝である。1644年の北京占領から、溥儀が退位する1912年までが「清朝」と称される。今日の中国が保有する民族、領土、法律、風習、国境線などはすべて清国から受け継がれたものに基づいている。したがって、清朝の歴史は現代中国と密接に関わり、現在の中国の国家構造や民族の現状等を理解する上で重要な役割を果たす。本授業では、清朝史の基礎的知識を解説する。

平常点60% (授業の復習として、授業最後に問題を書いたコメントシートを配り、回答を記入してもらう。4点×15回。また質問など積極的な姿勢を評価する)
 期末試験40% (定期試験期間(16週目)に実施。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142125200&opi=se0020&syw=1

教科書



東洋史特殊講義III：東アジア世界をめぐるイエズス会士群像

阿久根 晋

後期 月曜日 4時限 C201

東アジア各地の政治・社会・交易状況を踏まえつつ、イエズス会のカトリック布教史を俯瞰的かつ多面的に捉える。テキストおよびヴィジュアル史料の成立背景、特色、アジア史研究への活用法を知る。

いわゆる「大航海時代」、ポルトガルとスペインがアフリカ・「新世界」(アメリカ)・アジアの各地で勢力拡大を図るなか、カトリックの諸修道会も海外ミッションの推進に努めた。なかでも新興のイエズス会は、活動領域の広がり、先駆的な布教戦略と通信システム、残した記録の豊かさなどの点でユニークな存在であった。本講義では、16・17世紀の東アジア世界におけるイエズス会士の多面的な活動を追いかけ、そこで見られた東西文化の接触・衝突・融和について探究する。

* 平常点40%…授業内課題の提出、授業への積極的参加(発問への応答など)
 * 期末レポート60%…独自のテーマ設定、課題解決に向けた適切な文献の活用、全体の構成・叙述面などの観点から評価

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142125300&opi=se0020&syw=1

教科書 配布資料とプレゼンテーションスライドを使用



東洋史特殊講義IV：13-14世紀の西アジア

谷口 淳一

後期 火曜日 2時限 C203

政治・軍事、国家体制、社会の諸相に目を配りながら、13-14世紀のエジプトとシリアを中心に西アジア史の基本的な流れを把握し、この時代の歴史的な位置づけを理解する。

西アジアでは、10世紀にアッバース朝国家が解体した後、新たな国家や社会のしくみが形成されていった。マムルーク朝時代の前半にあたる13世紀後半から14世紀は、その新たな国家体制と社会のしくみが一通り完成をみた時期にあたる。本講義では、この時期におけるエジプトとシリアの歴史を、政治、軍事、国家体制、社会など複数の側面から論じる。ただし、それ以前の時代との関係の理解を深めるために、最初の4回は、イスラームが創始された7世紀から13世紀に至る西アジア史の概略を説明する。

毎回の授業最後の10分間程度で実施する小論述で評価する(100%)。講義内容を正しく理解しているか、自分の考えや感じたことを記しているか、達意の文章となっているか等の観点から総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142125400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



西洋史特殊講義I：動力と運輸の発達からみる、社会と生活の変化

坂元 正樹

前期 火曜日 2時限 C301

動力技術の発達、社会や産業をどのように変化させ、人々の生活をどのように変えていったのかを学習する。

現代に生きる我々にとって、電気や自動車がないと生活は成り立たない当たり前の存在であるのと同じように、昔の人々にとっては水車や馬車が、そして後には蒸気機関が、生活において必要不可欠なものであった。この講義では、動力の発達という観点から、科学、技術、産業の発展について学習する。

過去の人々の生活について理解を深めると同時に、現代の社会や生活についても知識を広め、動力やエネルギーの将来についても考えていきたい。

レポート: 60%

平常点(毎回、簡単な課題や授業への感想、質問などをGoogle Formsで提出): 40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142127100&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布する。



西洋史特殊講義II：中世ヨーロッパにおける誓約団体の展開

佐藤 専次

後期 水曜日 4時限 C101

誓約団体の展開を通してヨーロッパ中世社会の特質を理解する。

ヨーロッパ中世に現れる多様な社会集団は、しばしば誓約を媒介して成立した。その初期においてはフランク王国の在地ギルド、中世盛期以降になると都市・農村のコミュニティ、教師・学生の共同体である大学も誓約団体であり、さらにスイスという国家そのものも誓約団体から始まっている。ヨーロッパ中世では、このような誓約団体(コンユラティオ)の広範囲な展開からギルド、都市共同体、大学、国家など独特な制度が生まれた。講義では、中世における誓約団体の展開について論じ、誓約とはヨーロッパ中世の人々にとって、どのような意味を持っていたのかについて述べる。

学習到達度確認80% 講義内容を的確に理解し、かつそれを正確に文章化できるかで判断する。

小テスト20% これによって、講義をいかに理解したかを判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142127200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



西洋史特殊講義Ⅲ：近代イギリスにおける探検の社会史

久保 利永子

後期 金曜日 1時限 C104

19世紀イギリス社会において熱狂的に支持されたふたつの探検(北極探検・アフリカ探検)の社会史的意味を理解する。

大きな変革を経験した19世紀、イギリス人は世界各地でさまざまな形の「探検」を行っていた。こうした探検は「文明化の使命」、「科学への貢献」といった美しいスローガンとともに圧倒的な社会的支持を獲得していた。本講義では、とくに北極探検とアフリカ探検に注目し、そのような探検事業の本質と社会的意味、それを支持した19世紀のイギリス社会について理解を深め、さらには科学と政治の関係、他者理解、ナショナリズム、帝国主義、ジェンダーといった今日的な問題についても言及する予定である。

授業毎の課題等(70%)と期末レポート(30%)。課題は講義に取り組む姿勢や講義内容の理解などを重視し、期末レポートは必要かつ適切な情報に基づく議論を論理的に展開しているか評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142127300&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布する



西洋史特殊講義Ⅳ：古代ギリシアにおける市民身分と祭祀

山内 暁子

前期 水曜日 2時限 C202

古代ギリシア社会を学ぶことで自らを客観視する視座を獲得し、史料に基づいた歴史像を持つようになること

本講義では、古代ギリシアのポリスにおける市民身分と祭祀について考察を試みる。歴史学の基本である文献史料だけでなく、遺物や遺跡、また図像などの「モノ」資料も使用する。それによって現段階で史料から読み取れることを考察し、さらなる展望について検討する。歴史学の基本的な史料解釈に始まり、現代的・学際的な研究手法についても目を向けながら、様々な歴史考察の可能性を考えてみたい。

授業中に出される課題2回(25点×2)と、最終課題(30点)を評価の中心とします。最終課題については、提出していない受講者は単位取得意思がないものとみなしますので、提出をお願いします。Google Classroomで質問や感想を受け付け、私が回答しつつ、ディスカッションになるようにしたいと考えています。Google Classroomへの「質問・感想」の書き込みも評価の対象(20点)となるので、頑張ってください。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142127400&opi=se0020&syw=1

教科書



史料研究I(一)：近世古文書の整理・保存と取り扱いを学ぶ

村上 紀夫

前期 水曜日 1時限 A312

- 1)実物資料に直接触れ、適切な取り扱い方を身につける。
- 2)古文書の目録作成の基本を身につける
- 3)くずし字で書かれた古文書の読解の基礎を身につける

資料の整理や展示作業を行う。大阪人権博物館での15年にわたる学芸員としての勤務経験に基づき、博物館などの文化財を扱う現場で必要とされる実践的な資料取り扱いのスキルを本学所蔵資料をつかって実習形式で学ぶ。

史料取り扱いの習熟度(60%)……適切な取り扱い方を身につけられたか、古文書の目録作成の基本が身につけられたか、くずし字で書かれた古文書の読解の基礎を身につけられたか の3点を受講態度(積極性)や実習における資料取り扱いの習熟度、授業中に作成したカードの完成度などによって評価する。

小テスト(40%)各回実施する復習の小テストの結果により、基本的事項がどの程度身につけているかで評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142050101&opi=se0020&syw=1

教科書 特に使用しない



史料研究I(二)：日本古代の木簡を読む

渡辺 晃宏

後期 月曜日 3時限 A312

日本古代の木簡について、文字の解読、および史料の読解力の向上のほか、資料としての木簡を総合的に理解できるようになることをめざす。

史学科所蔵の木簡レプリカ、及び木簡写真を用いた文字の解読や内容の検討、図版作成などを行います。本物の木簡は扱えませんが、実際に平城宮・京跡の発掘調査と木簡の整理・解読に従事してきた経験をふまえ、木簡の見方、調べ方、取り扱い方などについて、基礎的かつ実践的な授業を行います。4、5人ひと組の班ごとに実際に作業を行いつつ授業を進めます。教員の助言を得た自発的学習と、創意工夫に溢れる取組みに期待します。

受講態度、作業における積極性、提出物(第14・15回で作成する図版と解説文)の内容などに基づいて、総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142050102&opi=se0020&syw=1

教科書



史料研究Ⅱ：アラビア語入門

宮本 亮一

後期 水曜日 1時限 C203

アラビア文字を読み書きできるようになり、簡単なアラビア語文献を読解できるようになる

イスラームという宗教、そしてイスラーム時代の歴史や文化を理解するためには、アラビア語を学ぶ必要があります。また現在では、イスラーム時代以前の歴史を理解するためにも、イスラーム時代のアラビア語やペルシア語などの言語で書かれた史料が非常に重要であると認識されています。

この授業では、アラビア文字を習得するところから始め、基礎的な文法の学習へと進み、最後に、アラビア語で書かれた簡単な文章の読解に挑戦します。

世界中でアラビア語を話す人は4億人を超えており、国際社会においてこの言語を理解していることのメリットはとても大きいものです。歴史を勉強する学生だけでなく、言語に興味を持つ学生を広く歓迎します。

授業への取り組み(出席、予習、復習)、文字・文法の習熟度、テキストの理解度から総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142050200&opi=se0020&syw=1

教科書



史料研究Ⅲ(二) : 1900年頃のドイツ語のイラスト入り新聞・雑誌を読む 横山 香 前期 月曜日 3時限 B224

歴史的なメディア媒体を史料として用い、ドイツ語原書にあたって、読み、理解し、考察する力を身につけます。

19世後半、急激な近代化にともない、ドイツ語圏でもイギリスやフランスに見られるようなイラスト入り新聞や雑誌が流行し、当時の人々にとって極めて重要なメディアとなっていました。授業では1900年頃に発行された実際の雑誌(Das Buch für Alle, Sonntags-Zeitung für Deutschlands Frauen, Vom Fels zum Meer等)を用いて、記事や広告などから、当時の社会と文化について考察します。後期「史料研究Ⅲ(三)」とは異なる資料を用います。

授業時間内に「学びのポートフォリオ」を作成してもらいます。最終的に完成した「学びのポートフォリオ」、授業での取り組み(予習・復習、積極的な発言や質問など)、担当部分の発表(調査したか、史料を理解しているか、文献を読んでいるかなど)を総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142050302&opi=se0020&syw=1

教科書



史料研究Ⅲ(三) : 1900年頃のドイツ語のイラスト入り新聞・雑誌を読む 横山 香 後期 月曜日 2時限 B224

歴史的なメディア媒体を史料として用い、ドイツ語原書にあたって、読み、理解し、考察する力を身につけます。

19世後半、急激な近代化にともない、ドイツ語圏でもイギリスやフランスに見られるようなイラスト入り新聞や雑誌が流行し、当時の人々にとって極めて重要なメディアとなっていました。授業では1900年頃に発行された実際の雑誌(Das Buch für Alle, Sonntags-Zeitung für Deutschlands Frauen, Vom Fels zum Meer等)を用いて、記事や広告などから、当時の社会と文化について考察します。前期「史料研究Ⅲ(二)」とは異なる資料を用います。

授業時間内に「学びのポートフォリオ」を作成してもらいます。最終的に完成した「学びのポートフォリオ」、授業での取り組み(予習・復習、積極的な発言や質問など)、担当部分の発表(調査したか、史料を理解しているか、文献を読んでいるかなど)を総合的に判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142050303&opi=se0020&syw=1

教科書



基礎演習Ⅰ(一) : 大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 立澤 史郎 前期 月曜日 1時限 C306
滑に適應しよう。

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111013101&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習Ⅰ(二) : 大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 武田 一郎 前期 月曜日 1時限 C305
滑に適應しよう。

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111013102&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習Ⅱ : 地理学研究と社会との結びつきを理解する。 土平 博 後期 金曜日 3時限 A130

地理学研究の成果や方法が、どのように社会と結びついているかを理解するとともに、卒業後の進路について考える。また、目標とする進路に向けて、必要となる知識と技能を理解する。

さまざまな企業の関係者によるリレー方式の講義を受けるとともに、講師から提示された課題に取り組む。

毎回の授業で配布する「レポート用紙」の記述内容を基に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111013200&opi=se0020&syw=1

教科書



地理学入門：地理学の多様性について知る。

羽佐田 紘大・三木 理 前期 金曜日 3時限 A130
史・土平 博・稲垣 稜
木村 圭司・芝田 篤
紀・古関 喜之

各教員の研究内容を知り、大学在学中における研究テーマのイメージをつかむ。

都市農村・観光交通コース、地球環境・自然災害コース、歴史的まちなみ・景観文化コース、GIS・データサイエンスコースの4つのコースごとに、地理学科の教員らがそれぞれのコースの特徴やゼミについて紹介する。この授業を通して、大学4年間での研究テーマについてのイメージを持つ。

毎回の授業終了時に講義内容の理解度を確認するコメントシートを配布し、そのコメントシートの内容について評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143000100&opi=se0020&syw=1

教科書



地理学実習：地理学研究の基礎的な知識と技能

共同・三木 理・史・土平 通年 金曜日 2時限 地理資料室(A113)・通年 金曜日 2時限 地理実習室(A114)・通年 金曜日 2時限 地理実験室(A129)・通年 金曜日 2時限 A130
博・芝田 篤・紀

地理学研究にとって必要な基礎的な技能の習得をめざす。

地域の諸現象をとらえるために必要な地域の概念、地域の分類、地域的分布に関する基礎知識を理解しつつ、地理学研究において必要となる基礎的な技術・方法を習得する。(一)～(三)を3名の教員が担当する。また習得した技術や方法を応用して地域調査レポートに取り組む。

毎時間の授業時の取り組み状況と課題を総合して3名の担当者が評価する。説明内容にしたがって1年間履修すること。初回のガイダンスで具体的な評価方法を別途説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143000500&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地理学便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社、2017・9784860993153



地理学実習：地理学研究の基礎的な知識と技能

共同・三木 理・史・土平 通年 金曜日 2時限 地理資料室(A113)・通年 金曜日 2時限 地理実習室(A114)・通年 金曜日 2時限 地理実験室(A129)・通年 金曜日 2時限 A130
博・芝田 篤・紀

地理学研究にとって必要な基礎的な技能の習得をめざす。

地域の諸現象をとらえるために必要な地域の概念、地域の分類、地域的分布に関する基礎知識を理解しつつ、地理学研究において必要となる基礎的な技術・方法を習得する。(一)～(三)を3名の教員が担当する。また習得した技術や方法を応用して地域調査レポートに取り組む。

毎時間の授業時の取り組み状況と課題を総合して3名の担当者が評価する。説明内容にしたがって1年間履修すること。初回のガイダンスで具体的な評価方法を別途説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143000500&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地理学便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社、2017・9784860993153



地理学実習：地理学研究の基礎的な知識と技能

共同・三木 理・史・土平 通年 金曜日 2時限 地理資料室(A113)・通年 金曜日 2時限 地理実習室(A114)・通年 金曜日 2時限 地理実験室(A129)・通年 金曜日 2時限 A130
博・芝田 篤・紀

地理学研究にとって必要な基礎的な技能の習得をめざす。

地域の諸現象をとらえるために必要な地域の概念、地域の分類、地域的分布に関する基礎知識を理解しつつ、地理学研究において必要となる基礎的な技術・方法を習得する。(一)～(三)を3名の教員が担当する。また習得した技術や方法を応用して地域調査レポートに取り組む。

毎時間の授業時の取り組み状況と課題を総合して3名の担当者が評価する。説明内容にしたがって1年間履修すること。初回のガイダンスで具体的な評価方法を別途説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143000500&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地理学便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社、2017・9784860993153



人文地理学I：地域は多様な姿を見せているが、そうした様々な地域事象についての人文地理学的な見方を提示する

前期 水曜日 2時限 A130

私たちが生活している「地域」とは、一見、何の規則もなく存在しているように見えるが、その成り立ちにはさまざまな背景がある。そうした点を理解し、授業で得た知識や技能を柔軟に再構成して活用することができるようになる。

現代社会は、多様であると同時に共通性も持っている。こうした事象を理解しようとする、非常に多岐にわたる点を理解しなければならない。問口が広いといわれる地理学は、どこから入っていけばよいかにとまどう場合もあるが、この授業では、地理学に入門するにあたって、特に理解しておいた方がよいと思われるテーマを厳選し、基礎的な事象を中心に取り上げる。

「授業内での課題」、および「授業中(最終授業等)に実施する学習到達度確認(筆記等による学力確認)」をもとに総合的に評価する。「授業内での課題」とは、その授業内容の理解度を問う小テストである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143005000&opi=se0020&syw=1

教科書 現代社会の人文地理学 / 稲垣稜・古今書院、2014・9784772231626



人文地理学II：地域は多様な姿を見せているが、そうした様々な地域事象につ 稲垣 稜
いての人文地理学的な見方を提示する

後期 水曜日 2時限 A130

私たちが生活している「地域」とは、一見、何の規則もなく存在しているように見えるが、その成り立ちにはさまざまな背景がある。そうした点を理解し、授業で得た知識や技能を柔軟に再構成して活用することができるようになる。

現代社会は、多様であると同時に共通性も持っている。こうした事象を理解しようとする、非常に多岐にわたる点を理解しなければならない。間口が広いといわれる地理学は、どこから入っていけばよいかとまどう場合もあるが、この授業では、地理学に入門するにあたって、特に理解しておいた方がよいと思われるテーマを厳選し、基礎的な事象を中心に取り上げる。

「授業内での課題」、および「授業中(最終授業等)に実施する学習到達度確認(筆記等による学力確認)」をもとに総合的に評価する。「授業内での課題」とは、その授業内容の理解度を問う小テストである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143006000&opi=se0020&syw=1

教科書 都市と農山漁村の地理学 / 稲垣稜・古今書院, 2024. 9784772253581



自然地理学I：自然地理学の基礎の習得

羽佐田 紘大

前期 火曜日 2時限 C204

1. 地球表層環境の特徴を理解できる。
2. 自然と人間とのかかわりを考えることができる。

本講義は、地形、気候、水文、植生、土壌など、自然地理学の基本的事項を概説していく。講義中に多くの図や写真を示し、視覚的に理解できるように努める。

毎回の小課題(コメントシートまたは小テスト)30%(基本的な内容を理解しているかを確認)、学習到達度確認70%(講義内容を正確に把握できているかを確認)を基に総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143007000&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回教材をe-Learningで配布



自然地理学II：第四紀における自然環境の理解

羽佐田 紘大

後期 火曜日 2時限 C204

1. さまざまな地域の自然環境の成り立ちや特徴を把握し、人々との関係を理解できる。
2. 身近な自然環境について調べ、考察することができる。

本講義は、「自然地理学I」の内容(地形、気候、水文、植生、土壌など)を振り返りつつ、第四紀における自然環境の変化や成り立ち、人々の暮らしとの関係について紹介していく。講義中に多くの図や写真を示し、視覚的に理解できるように努める。

毎回の小課題(コメントシートまたは小テスト)30%(基本的な内容を理解しているかを確認)、レポート70%(文章表現がきちんとしているか、独創的であるか、正確に情報収集できているか、論理的に述べているかを重視)を基に総合的に評価する。レポートはe-learningを通じて第14回までに提出する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143008000&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回教材をe-Learningで配布



地誌学：地誌学の視点と方法論的特徴について学ぶ。日本の地域像につい 古閑 喜之
て理解を深め、地域の特性(地域性)を考える。

前期 火曜日 1時限 A130

1. 地誌学の視点と方法論について理解できるようになる。
2. フィールドワークの方法と意義について理解できるようになる。
3. 日本を地誌学的に理解できるようになる。

地誌学の方法論的特徴を学んだ後に、地誌学的学習の第1歩としてのフィールドワークの実践法について解説し、日本の地域性について総合的に学習する。内容は日本の地誌を中心とし、後半で地域による違い(地域差)を学ぶために同じ東アジアの中国を取り上げる。各地域の地誌では、人口、風土、自然、災害、文化、環境と生活を概観したのち、国土開発、生業と産業、余暇と観光、地域活性化を中心に地域の経済発展について論じる。講義では、映像資料を見せながら、受講生が具体的に講義テーマを理解できるように努める。

平常点50%(授業参加意欲、授業終了時の感想提出、授業内小テスト)、学習到達度確認50%(講義の内容を正確に把握しているかを論述形式で問う)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143023500&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



地図学基礎：地図利用に必要な基礎知識

土平 博

前期 金曜日 4時限 A130

地図に基礎用語の正しい理解と地図利用の際に気をつけなければならない最小限度の知識を正しく理解すること。

地図は、地理学を志す者にとって地域や空間を理解するための重要な資料である。まずは地図の概念を知ることからはじめる。そのうえでさまざまな地図があることを知り、利活用するために必要な知識を習得していく。これまでは、紙地図の知識を習得していれば良かったが、近年、地図作成の過程と成果物には大きな変化がみられる。私たちは、これまで膨大に蓄積されてきた紙地図と近年普及した電子地図をそれぞれ相互に利活用する必要がある。それぞれの基礎的な知識をもち、使い分けていく必要があろう。この講義は、作業を重視する「地理学実習」と関連づけながら、地図の基礎知識を学習していく内容である。

平常点30%(簡単な質問に対する回答や授業への積極的な取り組みを重視する。)、課題及び小テスト30%(基本的な用語や講義内容の理解度を確認する。)、学習到達度確認40%(地図活用にもつた基礎知識が正しく理解できているかどうかを評価するために基本概念や語句の理解を問い、かつ論述形式による総合的な理解を問う。)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143029500&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地域調査便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社, 2017年. 978-4-86099-315-3



地理学講読・調査法(一)：地理学に必要な基礎的スキルの習得

羽佐田 紘大

前期 火曜日 3時限 地理資料室(A113)

文献を探して読む、資・試料を分析・解析する、図表を作成する、成果を報告・発表する力を身につける。

地理学の文献の探し方や読み方、調査方法を学んでいく。また、文献紹介を通して、プレゼンテーション能力を養っていく。なお、前期または後期のどちらかで小巡検を実施する。

授業への参加度や発表、討論、課題など、日頃の取り組みを基に総合的に評価する。小巡検の参加を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011101&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配布



地理学講読・調査法(二)：地理学の文献の探し方や読み方、発表方法などを学ぶ。また、実際に論文を読んで理解し、説明できる力をつける。さらに、基本的な統計解析やGIS・リモートセンシング・現地調査手法といった、地理学を学ぶ上で基礎的な調査法を習得する。

前期 火曜日 3時限 地理実験室(A129)

地理学を研究する上で必要となる論文を探して読む力、GISやリモートセンシングの基礎的な利用方法、統計解析方法、発表など表現方法に関して体得する。

受講生と相談の上、対面ゼミだけでなくリアルタイムweb授業にすることもある。地理学の基礎的な内容の文献を講読することに加え、作図に必要なGISやリモートセンシングの利用、統計データの基礎的な処理方法を学ぶ。日帰りの小巡検を行い、フィールドワークの手法を学ぶ。

授業への参加度や取り組みなど日頃の取り組みと発表・レポートにより総合評価する。無断欠席・遅刻した場合には、単位を与えないことがある。特に発表日の無断欠席・遅刻は大幅な減点とする。また、発表を拒否した受講生や、小巡検に参加しなかった受講生は評価の対象としない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011102&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学講読・調査法(三)：地理学的調査のための基本的な手法、技術をマスターする。聞き取り調査、フィールドワーク、パソコンによる分析などを行う。

前期 月曜日 3時限 地理実験室(A129).前期 月曜日 3時限 J208

各自が問題意識をもち、自分で地理学的な問題解決ができるようにする。また、問題を正しく把握し認識する能力を身につけられるようにし、それを他人に対して正確に伝えられるようにする。

各自がテーマを設定し、それに関わる文献を収集し内容を整理し、最終的には現地調査とそのレポートを完成させていく。学術論文の精読、フィールドワーク、文献検索、パソコンの利用、統計の利用、調査手法についての演習を行う。特にフィールドワークと聞き取り調査は、地域の実態を理解するのに不可欠であり、主体的に取り組む必要がある。

授業への参加度、レポート等で評価する。授業への参加度とは、各自の発表の内容、プレゼンテーションの仕方、他の学生の発表に対する質疑応答などに、積極的に参加しているか、である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011103&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学講読・調査法(四)：農村・農業分野に軸足を置きつつ、人文地理学全般に関わる文献の探し方や読み方、発表方法を学ぶ。人文地理学の学術論文を取り上げ、読む力をつけるとともに調査法も学ぶ。

前期 火曜日 3時限 地理実習室(A114)

1. 地理学研究をするうえで必要となる論文を探して読む力、発表する力を体得することができる。
2. 地域調査のための調査法を体得することができる。

地理学の学術論文の探し方や読み方、発表方法を学ぶ。「論文・本やデータを読む力、読んだ内容をレジュメにまとめる力、まとめた内容をわかりやすく発表する力、議論する力」といった3年生以降のゼミや卒業論文を書くときに必要な技術を習得する。また、地域構造や地域特性把握のための基本的な地域調査法を学ぶ。

授業への参加度(議論に積極的に参加しているか)および発表の出来、提出されたレジュメの内容、課題・レポートなどを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011104&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



地理学講読・調査法(五)：文献収集と地域調査の方法

土平 博

前期 水曜日 3時限 地理資料室(A113)

文献の収集と講読、地域調査法の習得

地域調査時に必要な知識や技術を段階的に習得していく。まずは、対象地域の設定や地理的な基礎情報の入手方法、地図・空中写真の扱い方、文献の読み方やまとめ方を身につける。そのあと、現地で行う景観調査、アンケート・聞き取り調査の方法、地域統計の扱い方や留意点について知識や技能を高める。以下の通り実施する。

報告や討論、課題などによる日頃の取り組みと巡検の活動内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011105&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地域調査便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社、2017年・978-4-86099-315-3 C0025



地理学講読・調査法(六)：観光・交通分野に軸足を置きつつ、人文地理学全般に関わる文献検索の方法と、その活用を通じた報告の方法を修得する。

前期 水曜日 3時限 地理実習室(A114)

講読を通じたゼミ報告形式の修得と併せてコミュニケーション能力の上達に努め、PCを用いたサンプリングと調査法、質問票作成など地域調査の能力を身につける。自立的で意欲的な学習態度が必要。

文献取扱いの基礎を修得する。前期は論文作成法を輪読し、学術論文の選定と内容に関する報告を行う。そのなかで交通地理学に関わる地域間移動と相互作用、ネットワーク分析等にも言及する。小巡検の行き先は大阪市内で4～5月の連休期間中前後の予定である。

報告・討論(講義中での質問)を平常点として50%評価し、それにレポート50%の評価を加えて評価する。3分の2以上の出席を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011106&opi=se0020&syw=1

教科書 最新版 大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜康・講談社(現代新書), 2018年・9784065135020



地理学講読・調査法(八)：自然地理学、地理情報科学全般に関わる文献・情報 芝田 篤紀
報の収集方法と、その活用をふまえた地域調査

前期 火曜日 3時限 B216

文献の講読、紹介を通じて、論文を探して読む力と地域調査の基本的能力を身につける。

文献の利用についての知識や技能を学び、各自が収集した文献についての報告を中心に授業を進める。後半は地理情報を活用した地域調査法も学ぶ。

受講態度、発表内容、質疑応答への参加状況、提出課題の内容などにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011108&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学分析・表現法(一)：地理学に必要な基礎的スキルの習得

羽佐田 紘大

後期 火曜日 3時限 地理資料室(A113)

文献を探して読む、資料・試料を分析・解析する、図表を作成する、成果を報告・発表する力を身につける。

地図や空中写真、GISの活用に関する理解を深め、作図や表現方法について学習していく。さらに、成果報告を通して、プレゼンテーション能力を養っていく。なお、前期または後期のどちらかで小巡検を実施する。

授業への参加度や発表、討論、課題など、日頃の取り組みを基に総合的に評価する。小巡検の参加を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011201&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配布



地理学分析・表現法(二)：地理学の文献の読み方、発表方法などを学ぶ。また、実際に論文を読んで理解し、説明できる力をつける。さらに、基本的な統計解析やGIS・リモートセンシング・現地調査手法といった、地理学を学ぶ上で基礎的な調査法を習得する。

後期 火曜日 3時限 地理実験室(A129)

地理学を研究する上で必要となる論文を探して読む力、GISやリモートセンシングの基礎的な利用方法、統計解析方法、発表など表現方法に関して体得する。

地理学の基礎的な内容の文献を講読することに加え、作図に必要なGISやリモートセンシングの利用、統計データの基礎的な処理方法を学ぶ。また、小巡検を行い、フィールドワークの手法を習得する。

授業への参加度や取り組みなど日頃の取り組みと発表・レポートにより総合評価する。無断欠席・遅刻した場合や発表を拒否した場合には、単位を与えないことがある。特に発表日の無断欠席・遅刻は大幅な減点とする。前期(地理学講読・調査法(二))および本講義の両方で小巡検に参加できなかった受講生には、単位を与えないことがある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011202&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学分析・表現法(三)：地理学的調査のための基本的な手法、技術をマスターする。聞き取り調査、フィールドワーク、パソコンによる分析などを行う。

後期 月曜日 3時限 地理実験室(A129) 後期 月曜日 3時限 J208

各自が問題意識をもち、自分で地理学的な問題解決ができるようにする。また、問題を正しく把握し認識する能力を身につけられるようにし、それを他人に対して正確に伝えられるようにする。

各自がテーマを設定し、それに関わる文献を収集し内容を整理し、最終的には現地調査とそのレポートを完成させていく。学術論文の精読、フィールドワーク、文献検索、パソコンの利用、統計の利用、調査手法についての演習を行う。特にフィールドワークと聞き取り調査は、地域の実態を理解するのに不可欠であり、主体的に取り組む必要がある。

授業への参加度、レポート等で評価する。授業への参加度とは、各自の発表の内容、プレゼンテーションの仕方、他の学生の発表に対する質疑応答などに、積極的に参加しているか、である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011203&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学分析・表現法(四)：農村地域に軸足を置きつつ、地域構造把握のための基礎的手法を学ぶ。また、人文地理学の学術論文を取り上げ、読む力をつけるとともに調査法も学ぶ。

後期 火曜日 3時限 地理実習室(A114)

1. 地域構造や地域特性を分析し、理解・把握し、課題解決のための力を身につけることができる。
2. 地域構造や農村地域の研究に必要な論文を読む力を習得することができるようになる。

地域構造や地域特性把握のための基礎的手法を学び、地域および現代社会が直面する課題について考える。人文地理学分野の学術論文を読み、内容を理解し、報告・議論する。最後にこれらを通して、関心のあるテーマについてレポート作成ができるようにする。

授業への参加度(議論に積極的に参加しているか)および発表の出来、提出されたレジュメの内容、課題・レポートなどを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011204&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



地理学分析・表現法(五) : 地域調査に基づく地理学的な分析と表現法

土平 博

後期 水曜日 3時限 地理資料室(A113)

定性と定量的分析技術の習得

地域調査時に必要な知識や技術を段階的に習得していく。対象地域に関する観察や景観分析、聞き取り調査から得られる定性的な分析法、地域統計・アンケート調査などによる定量的な分析法について身につける。また、資料の扱い方や留意点についてもふれ、知識や技能を高める。

報告や討論、課題などによる日頃の取り組みと巡検の活動内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011205&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEOー地理学・地域調査便利帖ー / 野間晴雄ほか・海青社、2017年・978-4-86099-315-3 C0025



地理学分析・表現法(六) : 観光・交通分野に軸足を置きつつ、人文地理学全般に関わる文献講読の方法と、その活用を通じた報告方法を修得する。

三木 理史 後期 水曜日 3時限 地理実習室(A114)

文献講読を通じたゼミ報告形式の修得と併せてコミュニケーション能力の上達、PCを用いたサンプリングと調査法、質問票作成などの地域調査の基本的能力を修得し、意欲的学習態度を身につける。

文献取扱の基礎を修得する。前期の論文作成法の輪読、学術論文の選定と内容を踏まえて、地域間移動と相互作用、ネットワーク分析等にも言及する。また図表の作成についても許容時間の限りで実習する。そのため授業にはPCが必携である。

報告・討論(講義中での質問)を平常点として50%評価し、それにレポート50%の評価を加えて評価する。3分の2以上の出席を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011206&opi=se0020&syw=1

教科書 地理学入門ーマルチ・スケール・ジオグラフィ(改訂版) / 浮田典良・原書房、2010年・978-4562091393



地理学分析・表現法(八) : GISを活用した地域調査、分析と地図の表現

芝田 篤紀

後期 火曜日 3時限 B216

GISを用いた地理情報の分析方法、報告や発表など表現方法を身につける。また図表や主題図を適切に解釈し、また作成する能力を養う。

統計処理やGISの基礎など分析方法を学習し、地図の作成とそれらの表現方法についても学びを深める。

受講態度、発表内容、質疑応答への参加状況、提出課題の内容などにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143011208&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学地域調査演習(一) : 自然地理学に関する演習とフィールドワークの実施

羽佐田 紘大 通年 水曜日 4時限 地理資料室(A113).通年 水曜日 4時限 J201

自然地理学の研究に必要な、現地調査の計画・実施、得られた成果の整理、レポートの作成に関する技能を習得する。

発表や討論、フィールドワーク(大巡検、小巡検)を軸として授業を進めていく。その過程で、研究課題の設定、先行研究のレビュー、調査計画の立案、現地調査、資・試料の分析・解析、文章の構成、図表の作成・効果的な使い方について学んでいくとともに、プレゼンテーション能力も養っていく。さらに、さまざまな実践を通して、自身の興味関心を明確にしていき、卒論テーマを決定する。

授業への参加度や発表、討論など、日頃の取り組みを基に総合的に評価する。大巡検・小巡検の参加、報告書の作成を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012501&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配布



地理学地域調査演習(二) : 気候学・水文学を中心とする地理学の基礎演習と野外調査実習

木村 圭司 通年 火曜日 4時限 地理実習室(A129)

気候学・水文学を中心とする地理学の研究を進めるにあたって必要な、調査方法およびレポートの作成技能を修得する。

気候学・水文学を中心とする地理学の調査方法を習得するために、計画の立案・資料の収集と講読・現地調査・報告書の作成を実践していく。また、さまざまなスケールの地理学的現象を解析するために必要なコンピューターソフトウェアを使ったマッピング手法を学ぶ。大巡検時に調査を行った結果を進級論文としてまとめ、卒業研究の準備を行う。

授業への参加度や発表などにより総合評価する。無断欠席した場合には、単位を与えない。大巡検および小巡検に参加し、進級論文を期日までに提出することが、評価を行うための最低条件となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012502&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学地域調査演習(三)：フィールドワークに向けた準備。聞き取り調査、アンケート調査などの手法を理解する。さらに、現地を訪問し、自ら調査をする力を養う。

通年 金曜日 4時限 地理実
験室(A129).通年 金曜日 4
時限 J208

実習・フィールドワークを通じて独力で調査報告が行えるようにする。卒論への準備をする。また、問題を正しく把握し認識する能力を身につけられるようにし、それを他人に対して正確に伝えられるようにする。

卒論に向けて、各自が独力で統計データの活用、フィールドワークを行うことができるようにする。最終的には、この演習の期間内で卒論テーマを決定し、そのテーマに関する文献をレビューして発表してもらう。その卒論テーマを決定した理由や経緯もはっきりさせる必要がある。この授業のメインイベントはフィールドワーク(大巡検)である。それに向けて準備をし、各自が現地調査を行い、終了後、発表してもらう。

授業への参加度、レポート等で評価する。授業への参加度とは、各自の発表の内容、プレゼンテーションの仕方、他の学生の発表に対する質疑応答などに、積極的に参加しているか、である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012503&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学地域調査演習(四)：農村的地域でのフィールドワークを伴う地域調査を企画・実践し、一連の過程を体験することにより、独力で調査研究する力を養う。

通年 水曜日 4時限 地理実
験室(A129)

1. 文献・地図・空中写真・統計などを収集し、分析できる能力を身につけることができるようになる。
2. フィールドワークの立案・実施・データ整理の方法、レポートの書き方と口頭発表の方法を習得することができる。
3. フィールドワークに伴う一連の過程を通して、問題を正しく把握し認識する能力、論理的な思考力、コミュニケーション能力を身につけることができるようになる。

この授業では、地域調査(フィールドワーク)の方法について実践を通じて学ぶ。具体的には、フィールド調査を企画・実施し、その過程で研究課題の設定、先行研究のレビュー、資料の収集整理と分析、調査方法、調査計画の立案、現地調査、データの分析について学ぶとともに、成果をまとめて発表する。この演習の最終段階では、卒業論文のテーマの構想について発表してもらい、議論を経て確定する。

授業への参加度(議論に積極的に参加しているか)および発表の出来、提出されたレポート、フィールドワークでの積極性などを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012504&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



地理学地域調査演習(五)：歴史地理学の基礎演習と野外調査実習

土平 博

通年 火曜日 4時限 地理資
料室(A113)

野外調査の専門的知識と技能の習得。

歴史地理学の調査方法(デスクワークおよびフィールドワーク)を習得するために、調査計画の立案、史・資料の収集・整理、現地調査、報告書の作成について実践していく。歴史地理学にとって重要な史料の扱い方や景観調査を軸にした知識と技能から景観復原を試み、研究対象地域の地域文化について考察する。以下の通り実施する。

報告や討論、課題などによる日頃の取り組みを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012505&opi=se0020&syw=1

教科書 ジオ・パルNEO—地理学・地域調査便利帖— / 野間晴雄ほか、海青社、2017年、978-4-86099-315-3 C0025



地理学地域調査演習(六)：観光・交通分野に関心をもち学生を中心とした人文地理学に関する基礎演習を通じて、社会の倫理観や規範性をも身につける。

通年 水曜日 4時限 地理実
習室(A114).通年 水曜日 4
時限 J208

フィールドワークの企画、文献・地図・史資料の収集整理、調査項目の検討、フィールドワークの実施およびまとめの習得と同時に、コミュニケーション能力や自立的で意欲的な態度をも身につける。

人文地理学に関わる調査・研究法を、土地利用調査、地域構造、社会生活、経済活動、人口変化、地域文化に留意し、その過程で地形図の利用と作業、空間データの利用と作業から習得する。現地調査では景観調査、聞き取り調査、質問票調査を実施し、文献検索、地図化、報告書作成を一貫して指導する。学外研修の行き先は大阪市内、宿泊巡検の行き先は協議のうえ決定する。また問題発見・解決力を磨く一助とする。

報告・討論を平常点として評価し、それにレポートの評価を加えて評価する。3分の2以上の出席を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012506&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学地域調査演習(八)：地理情報を活用する自然地理学研究の演習とフィールドワークの実践

芝田 篤紀

通年 火曜日 4時限 B216

様々な地理情報を活用しつつ、各自が地理学としてのテーマを立案し、それに沿って研究を遂行する能力を身につける。またフィールドワークによって、地域調査の実践力も獲得する。

各自が調べた文献やデータ分析結果の報告と、討論を中心に授業を進める。地理情報、GISを適宜活用しながら、フィールドワークの企画・実施・まとめを行うとともに、各自の興味関心を明確にしていき、具体的な研究テーマを見つけ受講態度、発表内容、質疑応答への参加状況、提出課題の内容などにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143012508&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学演習(一)：自然地理学に関する演習と卒業論文の作成

羽佐田 紘大

通年 火曜日 5時限 地理資料室(A113)

各自が設定したテーマに基づき、卒業論文を作成する。

「地理学地域調査演習」で習得した知識や技術を基に研究し、卒業論文を完成させる。その過程で、研究課題の設定、先行研究のレビュー、調査計画の立案、現地調査、資・試料の分析・解析、文章の構成、図表の作成・効果的な使い方について学んでいく。さらに、プレゼンテーション能力も養っていく。

授業への参加度や発表、討論など、日頃の取り組みを基に総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016501&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配布



地理学演習(二)：気候学・水文学を中心とした地理学に関する演習と卒業論文の作成。 木村 圭司

通年 火曜日 5時限 地理実験室(A129)

各自のテーマに基づき、卒業論文を作成する。

「地理学地域調査演習」で修得した知識や技術を元に、自らの研究を進めていく。研究テーマに沿って、段階的に研究を進め、各自は進捗状況を発表予定に従って報告する。この過程を通じて、卒業論文の意義、構成、文章の組み立て方、図表や地図の作成とその効果的な使い方について指導する。

報告や討論、課題などによる日頃の取り組みを総合的に評価する。無断欠席した場合には、単位を与えない。卒論提出後に、ゼミ単位認定試験を行う場合がある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016502&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。



地理学演習(三)：卒業論文、各自の現地調査のための準備。地理学では、 稲垣 稜

通年 金曜日 5時限 地理実験室(A129)。通年 金曜日 5時限 J208

卒業論文の構成、調査の妥当性、結果の分析方法などを議論し、卒業論文を執筆できるようにする。また、問題を正しく把握し認識する能力を身につけられるようにし、それを他人に対して正確に伝えられるようにする。

卒業論文を作成するためには、収集した文献・資料を吟味し、テーマを明確にしていくことが不可欠である。この演習では、文献・資料等の収集方法、分析方法、調査方法についての指導を中心に行い、最終的に卒業論文を完成させることを目的とする。卒業論文執筆のための各種の取り組みを行う。ゼミ参加者全員での議論を通じて、問題意識を明確にする。

授業への参加度、レポート等で評価する。授業への参加度とは、各自の発表の内容、プレゼンテーションの仕方、他の学生の発表に対する質疑応答などに、積極的に参加しているか、である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016503&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学演習(四)：人文地理学研究に関する演習と卒業論文の作成。

古関 喜之

通年 火曜日 5時限 地理実習室(A114)

1. 各自のテーマに基づき卒業論文を完成させることができる。
2. 研究成果を発表するための準備ができるようになる。

3年次の「地理学地域調査演習」で習得した知識や技術をもとに、大学での勉強の集大成である、卒業論文を完成させる。個々の研究テーマについて、スケジュールに沿って段階的に研究を進め、適宜、途中経過を報告して全員で議論する。個々の進捗状況をふまえ、卒業論文について指導助言する。ゼミ内で卒論発表会を開催する。

授業への参加度や報告、討論など、日頃の取り組みを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016504&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



地理学演習(五)：歴史地理学に関する演習と卒業論文の作成

土平 博

通年 水曜日 5時限 地理資料室(A113)

各自のテーマに基づき卒業論文を作成していく。

各自、前年度の「地理学地域調査演習」で習得した知識や技術をもとに自らの研究を一層深めていく。研究テーマに沿って段階的に研究を進め、スケジュールにしたがって進捗状況を報告する。担当教員は、卒業論文の構成(文章の組み立て方、図表・地図の作成とその効果的な使い方)について指導する。

報告や討論、課題などによる日頃の取り組みを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016505&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配付する。



地理学演習(六)：観光・交通分野に関心をもつ学生を中心とした人文地理学 三木 理史

通年 水曜日 5時限 地理実習室(A114)。通年 水曜日 5時限 J208

研究の企画、文献・地図・史資料の収集整理、調査項目の検討、フィールドワークの方法習得を通じ、コミュニケーション能力を磨き、社会の倫理観・規範性を考え、問題発見・解決力も身につける。

人文地理学に関する卒業論文作成を通じて、地域構造、社会生活、経済活動、人口変化、に留意し、その過程で地形図の利用と作業、空間データの利用と作業にもさらなる磨きをかけ、現地調査では景観調査、聞き取り調査、質問票調査、地図化を一貫して指導する。テキストは2年次に購入した同名書がある場合には新たに購入する必要はない。

報告・討論を平常点として評価し、それにレポートの評価を加えて評価する。3分の2以上の出席を必須条件とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016506&opi=se0020&syw=1

教科書 最新版 大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜康・講談社(現代新書), 2018年・978-4065135020



地理学演習(七)：地理学卒業論文作成の指導

酒井 高正

通年 水曜日 5時限 地理実験室(A129)

受講生同士で切磋琢磨しながら卒業論文を完成させる

受講者による発表と討論、教員による作成法指導を並行して進め、前期に卒業論文作成の準備を行い、後期に完成を目指す。(1)受講者自身が設定した卒業論文のテーマに沿って、研究の進展状況に応じた発表と討論を行い、研究を深める。(2)卒業論文作成に必要なさまざまな技法を指導する。

平常点100%(受講態度の適切性、発表内容の適切性と充実度、質疑応答への参加状況、提出課題の適切性と充実度などにより評価する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016507&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じてe-Learningのデジタル教材または紙のハンドアウトを配布する。



地理学演習(八)：地理情報を活用する自然地理学研究の演習と卒業論文の作成。

通年 火曜日 5時限 B216

各自の研究テーマに沿って、卒業論文をまとめる。

各自の研究テーマに沿って、主体的に研究を進め、進捗状況を発表予定に従って報告する。また討論・議論を進める中で、卒業論文の構成や文章の組み立て方、図表や地図の作成などの技術・能力を習得する。

受講態度、発表内容、質疑応答への参加状況、提出課題の内容などにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143016508&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



卒業論文：大学における講義やその他の活動で修得した知見に基づき卒業論文を完成させる。

通年 その他 その他 その他

大学における講義やその他の活動で修得した知見を活用して、自身が選択した研究課題を分析・考察し、論理的な文章を執筆できるようになる。

卒業論文の執筆・提出を目的とし、各々の学生が選択したテーマに応じて、演習などにおいて指導する。

卒業論文および口述試問の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142090000&opi=se0020&syw=1

教科書



日本地誌概論：大学の所在する場所、そして近畿地方の理解からはじめて、日本全体の地域を概観する

後期 金曜日 4時限 A130

日本の各地方の特色と地理的意義を自然、人文の双方の知識を理解し、地域調査の基礎知識を習得する。地域的倫理観や規範性を基礎にした知識と自立的・意欲的な態度を身につける。

授業はテキストの内容にもとづき課題プリント(原則電子配信による)を仕上げるかたちで進める。日本全体をテキストを用いながら万遍なく講義し、演習系授業での自己テーマ決定の前提となる知識を習得することを目標にしている。そのため各章の第2節は原則自習とするが、許容時間によって対象とする場合もある。なお各回とも授業時間ないに終えるにはやや分量が超過気味のため、自習とする部分があることを承知のうえ受講すること。またノートテイクにおけるPCの使用は歓迎する。

授業試験(50点前後)と平常点を合計して100点で評価する。3分の2以上の課題提出を条件とする。ミニッツレポートを課すことで平常点とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143024500&opi=se0020&syw=1

教科書 日本の地誌 / 立正大学地理学教室編・古今書院、2007年・978-4772261029



世界地誌概論I：世界地誌のアジア、とりわけ日本と緊密な歴史的・文化的関係にある台湾を取り上げ、社会の成り立ちや人々の暮らし、文化について解説し、アジアにおける台湾の地域像、アジアの多様性と共通性を深く理解する。

前期 月曜日 2時限 C203

1. 台湾の社会の成り立ちと人々の暮らしや文化について理解し、説明することができる。
2. アジアにおける台湾の地域像について理解できる。
3. アジアの多様性と共通性を理解できるようになる。

本講義では、グローバル化の進展に伴い急速に変化し、世界の中でさらに重要な位置を占めつつあるアジアに着目し、日本と緊密な歴史的・文化的関係にあり、人的・文化的交流が盛んな台湾を取り上げ、社会の成り立ちや人々の暮らし、文化について解説する。内容は、学期の前半は台湾の地理的位置がもたらす自然環境・人文環境、地形、気候と暮らし、漢民族の入植など、後半では台湾原住民の伝統文化、日本による台湾統治、湾生からみた日本統治時代、日本時代の農業の近代化などを扱い、アジアにおける台湾の地域像、アジアの多様性と共通性を深く理解する。講義では、講師が調査地で撮影した写真や関連する映像資料を見せながら、受講生が具体的に講義テーマを理解できるように努める。

平常点50%(授業参加意欲、授業終了時の感想提出、授業内小テスト)、学習到達度確認50%(講義の内容を正確に把握しているかを論述形式で問う)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143025100&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



世界地誌概論Ⅱ：イタリアの地誌

木村 圭司

前期 水曜日 1時限 A130

イタリアの地誌を概観し、日本と比較することにより世界へ目を向けられるようにする

イタリアの地誌を事例とし、地誌学の基本的概念を理解する。そして、高等学校「地理」で教えるべき地誌の例を説明する。

毎回の授業で行う小テスト(50%)と、15回目の授業時に行う学習到達度試験(50%)により評価する。なお、学習到達度試験の時は、配布プリントと自筆の紙ノートのみ持ち込み可とする。
なお、評価対象は、9回以上授業に出席した受講生のみとする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143027100&opi=se0020&syw=1

教科書



測量学概論：測量全般の実務の基礎的知識を学ぶ。

貫渡 利行

前期 月曜日 5時限 C301

測量の歴史、法律を理解した上で基本的測量知識を身につける。

測量実務に携わる担当者が、毎回のテーマについて教科書を中心に説明します。又現在、担当者が実務で行っている測量の技術的な内容や測量する目的を要約し、講義します。又、外部講師を招き3DやUAV(ドローン)に写真測量等の最新技術等の解説を行います。

授業への参加及び学習到達度確認70%、授業に対する積極性(講義中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢)を重視する。

授業中の小テストやレポート30%、小テストでは授業終盤に基本的な語句の理解等講義内容の理解度を確認する。レポートでは授業内容で得た情報に対し自分の考えをどう展開できるかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143030100&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂3版 基礎測量学 / 長谷川昌弘・川端良和 他・電気書院, 2021. 978-4-485-30116-6



地理情報科学概論：地理情報やGISの基本的事項の理解

芝田 篤紀

前期 水曜日 3時限 A130

地理情報科学の概要について説明することができる。また、GISに関わる基礎的概念を説明することができる。

身近な地理情報からGISの基礎を学び、GISを扱う上で重要になる座標系や測地系、地図投影法、データ形式の種類などを学習する。WebGISの考え方、近年の動向についても学ぶ。

事例研究の回に提出するレポートと授業内課題(50%)、授業内容を基にした確認テスト(50%)にて理解度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143031100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



計量地理学概論：時空間を記載・解析するために数値により記載された情報を理解し、各自のWindows11ノートパソコン上のpythonで扱えるようにする。

木村 圭司

後期 水曜日 1時限 A130

計量地理学の基本となる概念を知るだけでなく、講義に沿った課題を進めることにより、実際の記載・解析をおこなう。本学では計量地理学に関する応用講義・実習が無いので、かなりハイレベルな内容までを含む。

計量地理学では時空間を記載・解析するために、数学や統計学を利用する。基礎的な数の知識から、数値による時空間の表現と解析を行っていく。毎回、Windows11上でpythonを使用した課題の期限内提出が必要となる。高校生(理系)レベルの数学については、予習の範囲に含む。予習として、関連したHPや本・資料を読んだ上で受講すること。宿題を進める上で、各自のWindowsパソコンにpythonの指定バージョンをインストールすることが必須となる。

毎回の授業時に出される課題(50%)と、期末レポート(50%)により評価する。

課題はすべてGoogle Classroom上で出題・提出を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143032100&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし

環境地理学概論：グローバル化した「食」の供給・消費の仕組みと世界の食料 古関 喜之
環境のあり方を考える。

後期 火曜日 1時限 A130

1. フードチェーンおよびその地理的投影という食料の地理学の基本的な考え方を理解し、説明することができる。

2. 食料の地理学の基本的な考え方をふまえ、食料にかかわる問題を読み解く能力を体得することができる。

3. グローバルな食料生産・流通構造の中で、農業現場の現状を説明できるようになる。

4. 現代世界のさまざまな食料問題、食料生産環境について関心を持つことができるようになる。

私たちが口にしている食料の生産地と獲得方法、消費のあり方を考えることを通じて、学生が現代世界のさまざまな食料問題、食料生産環境について関心を持ち、それを読み解く能力を体得することを目標とする。本講義は、「食」を通じた供給・消費の仕組み(フードチェーン)や、これに関わる、より広範囲な仕組み(フードシステム)について、地理学的な捉え方と身近な話題から学ぶ。食料の生産地と消費地を線で結ぶことで見えてくる流通の距離や流通量、そこに介在しているもの、そして「食」を起点とした持続可能な未来社会のあり方の手がかりと可能性について考える。講義では、講師が調査地で撮影した写真や関連するドキュメンタリー番組等を見せながら、受講生が具体的に講義テーマを理解できるように努める。

平常点50%(授業参加意欲、授業終了時の感想提出、授業内小テスト)、学習到達度確認50%(講義の内容を正確に把握しているかを論述形式で問う)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143033100&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



都市地理学：ここ数十年の間に都市地域において生じてきた構造的再編の解 稲垣 稜
明を行う。現在だけでなく、過去から現在にかけての変化に焦点を当てる。

前期 月曜日 1時限 A130

都市で生起しているさまざまな現象に対し、都市地理学的な考察力を身につけることを目標とする。都市のさまざまな側面を理解し、授業で得た知識や技能を柔軟に再構成して活用することができるようにする。



都市は、過去の諸事象の蓄積によってその構造が規定されていると言える。とくに戦後の経済成長やグローバル化は、現代都市地域に対して大きな影響を与えてきた。この授業では、これまでの都市地理学の研究成果をふまえ、都市地域で生じてきた現象を概説する。都市地理学に概要を説明したあと、都市システム、都市内部構造、商業、工業、交通、大都市圏などを取り上げる。

「授業内での課題」、および「授業中（最終授業等）に実施する学習到達度確認（筆記等による学力確認）」をもとに総合的に評価する。「授業内での課題」とは、その授業内容の理解度を問う小テストである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143035100&opi=se0020&syw=1

教科書 都市の人文地理学 / 稲垣稜・古今書院、2019年。

経済地理学：経済地理学の諸理論とさまざまな研究について包括的に紹介 土屋 純
し、経済地理学を体系的に理解する。

後期 月曜日 2時限 A130

1. 経済地理学の諸理論、立地論や集積論などを理解する。
2. 現代社会で生じている経済現象についてその仕組みを理解する。
3. 地域格差など現代社会の諸問題について理解する。



本講義は、経済地理学の理論を展開するとともに、現代社会で生じている様々な経済現象を理解することを目的としている。まずは、立地論など経済地理学の諸理論を理解する。そして、地域に展開する諸産業（工業、流通業、IT産業、コンテンツ産業、観光業など）の仕組みを理解するとともに、現代社会の諸問題（東京一極集中や地域格差の拡大、など）について学習していく。教科書『経済地理学への招待』を活用して授業を進めていく。

毎回の授業で、理解度を問う小テストを課す（授業最後の10分で、14回、1回の配点を5点、合計で70%、e-Learningシステムを利用して）

講義の全体に対する理解度を測る小レポートを課す（30%）

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143039100&opi=se0020&syw=1

教科書 経済地理学への招待 / 伊藤達也・小田宏信・加藤幸治・ミネルヴァ書房、2020。978-4-623-08691-7

村落地理学：国内外の農業環境および農村の問題に関する理解を深め、村 古関 喜之
落地域の役割について考える。

後期 月曜日 4時限 A130

1. 現在に至る日本農村の変貌と現代農村の特徴について理解し、説明することができる。
2. 現代社会における国内外の農業環境および農村の問題について理解することができる。
3. 村落地域のさまざまな役割について理解し、説明することができる。



農村の特徴について、経済、社会、文化など多面的に考察することを目標とする。本講義では、村落地域、特に現代農村の特徴と変容、農業環境、農村の環境問題、村落と都市の共生、中山間地域問題など、地理学的な視点と方法により学ぶ。学期の後半で、中国・台湾の農業環境と農業・農村問題を取り上げ、同じ東アジアの農村地域の問題背景や課題について比較検討する。講義では、講師が調査地で撮影した写真や関連する映像資料を見せながら、受講生が具体的に講義テーマを理解できるように努める。

平常点50%（授業参加意欲、授業終了時の感想提出、授業内小テスト）、学習到達度確認50%（講義の内容を正確に把握しているかを論述形式で問う）で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143036200&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし

歴史地理学：歴史地理学の考え方と方法論？

古関 大樹

前期 木曜日 2時限 C103

歴史地理学の考え方と方法論を学習し、研究の方向性を模索する。

地域・空間・環境・景観などのキーワードを重要視する地理学は、様々な学問領域と結びつきながら研究を深めます。このうち、歴史地理学は、過去の地表の現象、その変化や現代との結びつきを考える学問です。本講義では、都市や村落などを対象としながら歴史地理学の主な方法論を紹介し、理解を深めることを学習目標とします。？

授業の出席状況と不定期に出す課題（15%）。期末試験（85%）。期末試験は、配布資料とノートの持ち込み可なので、授業をしっかりと受けていれば、答えられます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143037100&opi=se0020&syw=1

教科書

観光・交通地理学：観光地理学に関わる内容をできるだけ幅広く紹介する。 三木 理史

前期 火曜日 1時限 C203

受講生は、地理学において観光がどのように取り上げられてきたのかを、観光学との関係も視野に入れつつ多様な学際的思考を身につけるようにする。

内容については系統地理学の一分野に位置づけられる観光地理学の基礎的事項をできるだけ幅広く講義して理解してもらう。授業はテキストを軸に講義形式で行うが、配布プリントも準備するが、事前にデータ版を配信するため、ノートテイクなどにPCを活用することを歓迎する。またミニッツペーパーを課す場合がある。

授業内試験または学期末レポート（50点前後）と平常点を合計して100点で評価する。3分2以上の課題提出が必須である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143044100&opi=se0020&syw=1

教科書 現代観光学地理学への誘い—観光地を読み解く視座と実践 / 神田孝治・森本泉・山本理佳編・ナカニシヤ出版、2021。9784779516054



人口地理学：人口地理学のあらましと世界の人口問題

酒井 高正

前期 水曜日 2時限 J201

人口地理学の基本的な諸概念と人口分析の技法【PCによる統計計算やGIS処理を含む】を理解するとともに、日本を含む世界の人口問題に関する知識を習得する。

まず、人口現象を地理学的な立場から扱う人口地理学の概要を紹介する。続いて、人口に関する諸情報の入手や分析方法について、GISの利用法も含めて学ぶ。さらに、地球の環境問題の根底にあるといわれる世界の人口爆発の問題や日本をはじめとする諸地域の人口問題についても、人口地理学の立場から学ぶ。

授業進行の都合上、各回の内容の順序や組み合わせは変更する場合がある。

【毎回の授業でPCを利用し、表計算やGISのアプリ等を駆使して様々なデータ処理を行い、時間内にe-Learningを通じて処理結果の回収と講評を行う。】

平常点100%(毎回授業での提出データ類の内容と受講態度の適切性、確認問題(小テスト)の解答内容などで評価する。10回以上の出席者を評価対象とするが、「出席点」の評価は行わない。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143043200&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じてe-Learningのデジタル教材または紙のプリントアウトを配布する。



地形学：地形に関する基本的な知識の習得

羽佐田 紘大

前期 金曜日 1時限 A130

1. 地形の種類とその形成過程についての知識を習得する。
2. さまざまな地形と自然災害、土地利用との関係を把握する。

本講義では、さまざまな地域、規模の地形を対象として、それらの特徴や形成過程、成因などについて解説していく。講義中に多くの図や写真を示し、視覚的に理解できるように努める。さらに、地形図などを用いながら、対象地域の地形の特徴と人々の暮らしとの関係を理解していく。

毎回の小課題(コメントシートまたは小テスト)30%(基本的な内容を理解しているかを確認)、学習到達度確認70%(講義内容を正確に把握しているかを確認)を基に総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143049100&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回教材をe-Learningで配布



気候学：気候学の基礎的事項を概観する

木村 圭司

前期 金曜日 4時限 C301

気候学の基礎概念を理解する。また、さまざまな時空間スケールにわたる気候と、それに関係する人間との関係を理解する。

気候学は、地球上の大気に関わる諸現象を理解しようとする地理学の一分野である。気候は、地球規模から地域・身の回りまで、さまざまな空間スケールで存在し、人間に多大な影響を与えている。また、気候は時を追って、周期的・非周期的な変化を示す。こうした気候のさまざまな側面を整理し、考察していく。

毎回講義中に行う確認テスト(50%)と、15回目に行う学習到達度調査(50%)を総合して評価する。

毎回の小テストの提出をもって出席扱いとする。毎回の小テストは、指示通り提出すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143051100&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



水文学：地下水をはじめとする水の動きや、調査方法、循環に関する知識を習得し、それに基づいて水に関わる諸問題に対する自らの考えを持つことができるようになることを目的とする。

大谷 侑也

前期 水曜日 5時限 J201

・上流から下流、さらには地球全体における水の動き(位置や速度、水収支)やその性質(硬度、化学特性)について説明できる。

・水環境の調査方法(流速の計算、地形図の読図、ダルシー式、放射性同位体による年代測定)を説明できる。

・科学的な背景から、人と水に関する文化を、地理的、地形的な背景から説明できる。

・水の適切な利用の在り方について、自らの考えを持ち説明することができる。

人が暮らししていく上で欠かせない水は、不均質で複雑な地形と地質を介して下流にもたらされる。本講義では、水がどのようにして私たちの元にもたらされるのか、調査方法を交えながら水循環のプロセスについて解説する。前半は、大気を含む地球全体での水循環について取り上げる。後半は、身近な水資源として河川や扇状地における水の動きを解説する。また、日本や西洋における水に関わる文化や伝統を通して、共有財としての地下水の利用の在り方について解説する。

不定期で実施する講義中に行う確認テスト(30%)と、学習到達度調査(30%)、毎回のコメントペーパーの内容(40%)を総合して評価する。

確認テストの実施は一週間前までに授業内で知らせる。コメントペーパーの提出をもって出席扱いとする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143053000&opi=se0020&syw=1

教科書



災害地理学(一)：自然地理学的視点からとらえる自然災害

羽佐田 紘大

前期 水曜日 5時限 C205

1. 自然災害にかかわる基本的知識を理解できる。
2. 自然災害と自身の暮らしとの関係を考えることができる。

本講義は、自然地理学(特に地形学)的視点から自然災害に関する基本的な事項を概説していく。講義中に多くの図や写真を示し、視覚的に理解できるように努める。

授業内課題50%(講義内容を基に考えることができているかを確認)、学習到達度確認50%(講義内容を正確に理解できているかを確認)を基に総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143055001&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回教材をe-Learningで配布



地理学特殊講義(二) : ArcGIS Proを使った、高度なGIS技術の修得

木村 圭司

後期 金曜日 5時限 地理実習室(A114)

ArcGIS Proを用いて、GISの基礎から応用まで使えるようにする。

各自が所有するWindows11のノートパソコンを持参し、ArcGIS Proをインストールした後、GISを使いこなせるようにしていく。毎回の授業で、課題が与えられ、期日までに提出することで、授業の理解を深め、技術を定着させる。GIS解析に関して、実践的で、かなり高度な内容を含む。

毎回だされる課題を期日までにGoogle Classroomに提出(50%)と、期末レポート(50%)を合算して評価する。毎回の課題提出者を出席者とし、出席が8回以下の受講生は評価の対象としない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048102&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



地理学特殊講義(三) : 日本の都市の特徴の考察

稲垣 稜

後期 月曜日 1時限 A130

都市の形成、現状、将来像を理解し、今後のあるべき姿を考えられるようにする。

現代の日本では、全人口の7~8割が都市に居住している。それゆえ、都市は、日本全体の中でもきわめて重要な位置にあるといえる。この授業では、都市の経済社会的な状況を理解したうえで、さまざまな地域の特性が把握できるようになることを目的とする。

授業内での小課題により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048103&opi=se0020&syw=1

教科書 日本の都市百選 第1集 / 牛垣雄矢ほか、古今書院、2023年、9784772261227



地理学特殊講義(五) : 近世城下町と「陣屋町」

土平 博

後期 火曜日 2時限 C403

近世城下町と「陣屋町」を対比しつつ、その類似点や相違点について理解する。

江戸期の城下町は全国各地に建設された代表的な近世都市といえる。まずは、城下町の成立、形態と構造に関する先行研究の成果を紹介していく。その一方で城下町に類似した陣屋町について紹介していく。その後、城・城下町ならびに陣屋・陣屋町を比較しながら、その相違を明らかにしていく。その際、とくに陣屋・陣屋町の特徴を見いだすことを目標とする。また、「陣屋町」の概念規定に取り組んできた先行研究をふまえて問題点を整理し、今後の研究課題についても検討する。さらに、町並み保存の対象になっている陣屋町についても紹介していく。以下の通り実施する。なお、オンラインでの実施を含む。

学習到達度確認(講義の内容を正確に把握しているかを論述形式で問う)60%と平常授業時の課題(授業に対する積極性ならびに基本的な語句の理解度等講義内容の理解度を確認する)40%によって評価する。オンラインで実施する内容を含む。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048105&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。



地理学特殊講義(六) : 交通地理学の位置づけや諸説をできるだけ幅広く、紹介し、地理学の交通研究を概説する。

後期 火曜日 1時限 C401

地理学での交通の取り上げや研究対象を活用して知識・技能を修得することを目指す。特に他の系統地理学分野や他学との関係を視野に入れつつ多様な学際的思考が身につくように配慮する。

系統地理学の一分野に位置づけられる交通地理学の基礎的事項をできるだけ幅広く講義して理解してもらう。講義では、まず青木栄一「交通地理学を考える(一)」を講読することで、その学制的成立を概観したうえで、これまでの研究内容をできるだけ幅広く概説する。またノートテイクにおけるPCの活用を歓迎する。

授業内試験または学期末レポート(50点前後)と平常点を合計して100点で評価する。3分2以上の出席を受験条件とする。また、平常点加算のために平常レポートを課すこともある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048106&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学特殊講義(九) : 人間活動と生物圏を中心とした環境との多様な関係性の説明。

前期 木曜日 1時限 A130

- ①生物と人間活動の歴史的・文化的な関係、生物と関わる人間活動の多様性を理解できる。
- ②野生生物の保護・増殖、および捕獲・有害駆除・資源管理の取り組みについて理解できる。
- ③畜産業・水産業の生産構造について理解できる。

人間は様々な生物を狩猟・採集の対象、家畜化・栽培化の対象、有害駆除の対象、保護の対象、信仰の対象などとして認識してきた。そして、それぞれの局面において人間は多様な文化を育んできた。

本講義では、①生物多様性はどのような人間活動のもとに維持されてきたか、②人間は生物資源との関わりのなかでどのような文化を生み出してきたのか、③現代社会のなかで、人間と生物の関係はどのように形成されているのか、などの観点から人間活動と生物との関係の諸相を検討していく。

評価方法: 講義内容を正確に把握しているかを問う論述形式の試験成績と平常成績により総合的に評価する。

評価の基準: 定期試験の成績を50%、平常成績のうち課題の提出状況を20%、授業中に実施する小テストの成績を20%、授業中に実施する小レポートを10%とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048109&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。担当者よりプリントを配布する。



地理学特殊講義(十二)：河川地形の発達過程を理解し、「これまでの生活」 宇津川 喬子
から「これからの生活」を考える

前期 木曜日 2時限 B224

- 1) 地形発達の理論を理解し、その内容を自分の言葉で説明することができる。
- 2) 自然現象と自然災害の違いを理解し、地域の特徴にあわせた自然災害への対策を思考することができる。
- 3) 流域をひとつの地域として捉え、その流域で育まれてきた生活や文化の背景を自然地理学的に捉えることができる。



私たちの生活基盤が広がる大地の多くは、かつて起きた地殻変動や地球環境の変化によって形成されてきたものです。大地の上で営まれている社会生活そのものや都市の発展あるいは自然災害などを地理学的に捉えるにあたり、地形発達や地質の諸要素を背景として踏まえることはとても重要です。特に、世界の中でも地殻変動の激しい島国・日本において、河川のはたらきを無視することはできません。本講義では、主に日本の河川に焦点を当て、各流域の地形発達を体系的に理解しながら、そこに住まう人々の暮らしとの関係を考えます。

授業内試験(60%)およびレポート1点(40%)で評価します。レポートの詳細は初回で説明します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143048112&opi=se0020&syw=1

教科書 e-learningで授業資料(教員自作)を配布 地図帳(指定なし)

測量技法：基本的な多角測量及び現況平面測量を行った後、製図作成まで 貫渡 利行

後期 その他 その他 その他

基準点測量、地形測量に使用する測量器械の据え付け方、操作方法等を習得する。

測量実務の専門家の指導のもと、6、7人で1班を形成し、大学構内敷地においてトータルステーションによる測量実習を行う。延べ7日間(土日)で集中しておこなう。基準点測量・水準測量・地形測量を実施し、その成果を利用し、現況平面図を作成する。又、GNSS測量のRTK測量観測の体験する。



実習修得度、受講態度70%、基本的な測量器械の操作方法の修得度及びグループで作業する協調性を重視する。測量成果、成果平面図、レポートにより総合的に評価30%、グループ作業の中での個人の理解度を確認するため、課題図面やレポートについて真摯に取り組む姿勢等を重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143073300&opi=se0020&syw=1

教科書 必要な資料は配付する

応用地図技法：GISを用いたデータ活用と主題地図作成

酒井 高正

後期 水曜日 2時限 J201

各種機関から提供される地図データと統計データを地域の調査や研究に活用するため、データの入手・加工・分析および地図表現の方法【PCによるGIS処理や統計計算を含む】を習得する。

まず、オンラインGISとデスクトップGISの代表的なシステムの操作を通じて、GISの基本技法を確認する。続いて、各種機関のWEBサイト等で提供される地図データや統計データをGIS等で活用できるようなかたちで入手する方法を学ぶ。さらに、それらのデータの基本的な分析と主題地図に加工して、地域の調査や研究に活用する方法を学ぶ。



授業進行の都合上、各回の内容の順序や組み合わせは変更する場合がある。

【毎回の授業でPCを利用し、表計算やGISのアプリ等を駆使して様々なデータ処理を行い、時間内にe-Learningを通じて処理結果の回収と講評を行う。】

平常点100%(毎回授業での提出データ類の内容と受講態度の適切性、確認問題(小テスト)の解答内容などで評価する。10回以上の出席者を評価対象とするが、「出席点」の評価は行わない。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143041100&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じてe-Learningのデジタル教材または紙のハンドアウトを配布する。

フィールドワーク技法：地域調査、フィールドワークによる地域理解

稲垣 稜

後期 金曜日 1時限 A130

地域調査、フィールドワークを通して地域について理解できる

地域における諸課題を検討するうえで、まずは地域を理解することが不可欠である。この授業では、地域調査、フィールドワークの手法を学ぶ。これを通じ、自ら地域調査、フィールドワークを行えるようになってほしい。



授業中に実施する小テスト100%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143042100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

リモートセンシング技法：地球を航空機や人工衛星から観測するリモートセンシングについて、講義で理解し、技法指導で使えるようにする

木村 圭司

前期 火曜日 2時限 J201

リモートセンシングについて理解し、Windowsパソコンのさまざまなソフトウェア(日本語版だけでなく、英語版を利用することもある)を利用して基礎的なデータ解析までできるようにする。

リモートセンシングの基礎的事項を学び、さまざまなソフトウェア(日本語版だけでなく英語版を使用することもある)を使用して基礎的なデータ解析をできるようにする。講義の後には、Windowsパソコンを使った作業(宿題)に取り組んでもらう。



受講者全員が毎回課題を期限内に提出する必要がある。

ソフトウェア・データとも、大きなファイルサイズになるため、これらのダウンロード・インストールは学内wifiを使うことが望ましい。英語版ソフトウェアは、エラーメッセージ等も英語であることに注意。

毎回の講義時に出される課題(50%)、期末レポート(50%)を合算する。なお、毎回の講義は、課題の提出により出席扱いとし、出席扱いの回数が8回以下の受講生は不可とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143067100&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし

GISデータ分析技法：GISと様々なデータ分析の理解・技法

芝田 篤紀

後期 水曜日 3時限 A130

GISを用いた分析の手法と分析工程の基礎を理解する。様々な課題に対してGISで分析する技能を習得する。

衛星画像解析、ドローンの画像処理などからラスターデータの分析方法を学び、後半はベクターデータを用いた空間解析や位置情報の取得、分析方法を学習する。またGNSSやLiDARの基本も学ぶ。

授業への参加度など受講態度(平常点:40%)、事例研究の回に提出するレポート(60%)にて、理解度・習熟度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143065100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布

海外巡検：台湾を訪問し、日本と異なる自然・人文・社会・文化を実体験する。古関 喜之・芝田 篤紀 通年 その他 その他 その他
事前学習・現地調査・事後学習を通して台湾と日本との共通性や違いを実体験し、国際的視野を身につける。

台湾の多くの地理的事象を観察する予定である。これらを現地で実体験し、国際社会への視野を広げる。

海外巡検に参加することを単位取得の要件とする。

事前学習への取り組み、報告書の内容などから総合的に評価する。

★この授業を選択できる学生は、①地理学科2年生以上、②過去に同じ講義名称の単位を修得していない、という2つの条件を両方満たす学生のみである。これ以外の学生は「海外研修(一)」を選択すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143068100&opi=se0020&syw=1

教科書 随時配布する。



文化財学研究法I：文化財の種類・研究分野、文化財の基本的な調査・研究方法を学ぶ

共同・魚島 純一・相原 嘉之・岩戸 晶子

前期 月曜日 5時限 C205.
前期 月曜日 5時限 C304.
前期 月曜日 5時限 C305.
前期 月曜日 5時限 C306

文化財研究の入門編である。(1)文化財の種類と研究分野、文化財保護の仕組みと活用(2)文化財研究における保存科学的研究法(3)博物館における文化財の活用・情報の引き出し方、の基本的な3テーマを学習し理解する。

文化財は過去の人々の営みを伝える貴重な財産(資料)である。ここでは、3つのテーマをクラス分けに従って受講し、文化財の基礎知識を学ぶ。(1)元文化財行政職の経験を生かして、遺跡や古墳、土器や石器、お寺や仏像等々の文化財の種類とその特徴、文化財保護の仕組みや社会的意義、活用などの文化財全般について解説する【相原】。(2)元徳島県立博物館学芸員の実務経験を生かして、自然科学的手法を用いた保存科学的調査・研究を紹介し、分析や保存処理も体験する。【魚島】(3)博物館の意義をおさえたうえで、博物館の活動から文化財に関する情報をいかに引き出すかについて解説する。【岩戸】。

期末における学習到達度確認において評価する。3つテーマの基本的な内容を把握しているかを論述形式で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144001100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財学研究法II：(豊島)考古資料の調査研究入門 (大河内)美術作品の調査研究入門 (吉川)文献史料の調査と研究

共同・吉川 敏子・豊島 直博・大河内 智之

後期 金曜日 4時限 B211.
後期 金曜日 4時限 C302.
後期 金曜日 4時限 C401.
後期 金曜日 4時限 C402

(豊島)考古資料の調査研究法を学ぶ (大河内)美術作品の調査研究方法を学ぶ (吉川)文献史料を読む方法を学ぶ

(豊島)考古学はどのような学問か。その歴史、研究方法、発掘調査について、元文化庁の埋蔵文化財担当調査官としての実績を生かした講義を行い、具体例をもとに学ぶ。

(大河内)美術史学は絵画や彫刻、工芸など造形芸術の歴史を明らかにする学問である。元学芸員の経験を元に地域に伝来する美術資料の調査研究法について学習する。

(吉川)史料学は、文字資料を正しく読解することから始まる。文献史料を研究するための基礎知識や、関係する辞書類と特徴、漢文の基礎などを学ぶ。

(豊島)講義の内容に関するレポート。A4、1枚程度。

(大河内)講義の内容に関するミニレポート。300字～500字程度。

(吉川)課題提出と小テストで評価する。配点は1:4

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144001200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

基礎演習I(一)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 竹田 芳則
滑に適應しよう。前期 木曜日 2時限 C403.
前期 木曜日 2時限 J201

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014101&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学、2022・978-4-9904606-5-5



基礎演習I(二)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 村上 正直
滑に適應しよう。

前期 月曜日 3時限 C304

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014102&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(三)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 床谷 文雄
滑に適應しよう。

前期 木曜日 2時限 C402.
前期 木曜日 2時限 I105

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014103&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(四)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 岩戸 晶子
滑に適應しよう。

前期 月曜日 3時限 C305

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014104&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(五)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 近江 俊秀
滑に適應しよう。

前期 月曜日 3時限 C306

大学での学びのスタイルに適應すること。

具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014105&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習Ⅱ：文化財とキャリア形成

共同:竹田 芳則.村上 正直.吉川 敏子.魚島 純一.豊島 直博.小林 青樹.相原 嘉之.杉山 智昭.大河内 智之.比佐 陽一郎.岩戸 晶子.米屋 優.米沢 玲.近江 俊秀

後期 金曜日 3時限 C302

自分の将来について具体的に考える。

文化財学科の教員が文化財に関係するキャリアについて語り、学生はそれを生かして自分のキャリア形成について考える。初回の注意事項をよくきくこと。各回、講義室移動がある場合は、ポータルにも掲示する。

各回の授業中に作成する課題の提出状況と完成度を総合的に評価する。課題の提出方法については講義中の注意をよくきくこと。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111014200&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財演習Ⅰ(一)：文化財のグループ研究

岩戸 晶子

前期 木曜日 1時限 C102.
前期 木曜日 1時限 L001

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002101&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財演習Ⅰ(二)：文化財のグループ研究

相原 嘉之

前期 木曜日 1時限 C102.
前期 木曜日 1時限 L002

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002102&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財演習Ⅰ(三)：文化財のグループ研究

吉川 敏子

前期 木曜日 1時限 C102.
前期 木曜日 1時限 C304

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002103&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財演習Ⅰ(四)：文化財のグループ研究

魚島 純一

前期 木曜日 1時限 B211.
前期 木曜日 1時限 C102

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見をおこなうが、各学生が巡見に先立つ情報収集をおこない、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査をおこなう。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションをおこなう。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002104&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財演習I(五) : 文化財のグループ研究

大河内 智之

前期 木曜日 1時限 C102.
前期 木曜日 1時限 C303

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002105&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



文化財演習II(一) : 文化財のグループ研究

杉山 智昭

後期 木曜日 1時限 B103.
後期 木曜日 1時限 C102

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002201&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財演習II(二) : 文化財のグループ研究

豊島 直博

後期 木曜日 1時限 C102.
後期 木曜日 1時限 L001

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002202&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財演習II(三) : 文化財のグループ研究

小林 青樹

後期 木曜日 1時限 B105.
後期 木曜日 1時限 C102

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

本演習は、班分け、巡見先、研究発表などの日程・内容・評価方法などが変更になる場合がある。事前に講義連絡を確認すること。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002203&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財演習II(四) : 文化財のグループ研究

米沢 玲

後期 木曜日 1時限 C102.
後期 木曜日 1時限 C305

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見を行うが、各学生が巡見に先立つ情報収集を行い、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査を行う。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションを行う。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできれば(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002204&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財演習Ⅱ(五)：文化財のグループ研究

比佐 陽一郎

後期 木曜日 1時限 C102.
後期 木曜日 1時限 C306

文化財について、仲間と協力しながら課題設定し、調査・検討した成果をまとめてプレゼンテーションする方法を身につける。

班ごとに研究テーマを設定し、グループワークにより学生同士で文化財学の学びの方法を体験的に習得していく。授業では現地の巡見をおこなうが、各学生が巡見に先立つ情報収集をおこない、巡見しながら意見交換して相互の気づきを共有し、巡見で得た知見や疑問を出発点として、グループごとにさらなる調査をおこなう。調査成果を整理し、グループごとに発表資料を作成してプレゼンテーションをおこなう。

発表準備シート①②の内容(配点各10点)、巡見への取り組み姿勢(40点)、発表準備への取り組み姿勢(20点)、発表のできばえ(20点)で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144002205&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に紹介する。



考古学講読Ⅰ(一)：遺跡に関する基礎文献の講読

小林 青樹

前期 水曜日 4時限 C401

考古学に関する遺跡や遺物の基礎的な用語や特徴など理解し、考古学の基礎を学ぶ。

主に日本と世界の遺跡に関する基礎的な文献を受講者が選択し、受講者全員で輪読する。文献選択者は、自分の選んだ文献についての小発表を行う。なお、考古学講読Ⅰ(一)・考古学講読Ⅱ(二)は同じ内容で開講しており、これらのうちから一つのみ受講すること(複数受講できない)。実施方法は、まず前週に資料を配布して受講者は事前に用語などを予習する。そして次の週に配布資料の遺跡について解説し、授業後に復習する。

発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103101&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学講読Ⅰ(二)：日本考古学の論文を読む

豊島 直博

前期 水曜日 4時限 C304

正しい論文の読み方を学び、問題点を見つける力を身につける。

おもに弥生時・古墳代の論文を輪読する。テキストは初回に指示するので、分担で人数分を用意する。発表資料を作成してもらった場合もある。

期末レポート(興味のある論文をよみ、内容をまとめる。B4で1枚程度)、授業中の質疑応答を加味する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103102&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学講読Ⅰ(三)：考古学の論文を読み解く

岩戸 晶子

前期 水曜日 4時限 C
206

学術論文を熟読し、その主題や論理展開、問題点を把握し、その内容をプレゼンテーションによって他者にわかりやすく伝えられるような発表を行う。

また、他者の発表を聞き、自分なりの疑問や意見を述べられる姿勢を養う。

関心のある分野の論文を選び、その内容を他の受講生が理解できるようプレゼンテーションします。

発表準備を通して、論文の内容だけでなく、先行研究に対する正しい評価や、結論に至るまでの論理展開の過程を理解し、自身の論文作成につながる基本的能力を身につけることを目指します。

また、この授業を通して、発表者は自分の知識や考えを相手にきちんと伝達するための適切なプレゼンテーション方法や討論の方法を、聞き手側は問題意識をもって批評する方法をそれぞれ習得していきます。

各自2回ずつ発表する(履修者数によって調整する場合がある)。

学習到達度60%(各自の研究発表内容)および授業への積極性40%で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103103&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学講読Ⅰ(四)：古代都城と地方官衙(1)

相原 嘉之

前期 水曜日 4時限 C303

古代都城・地方官衙等に関する考古学論文を読み解き、考古学の考え方・学術論文の構成・表現などを理解する。

古代都城・地方官衙に関する論文を読み、研究の現状を理解する。

そのために、プレゼンテーション・討論による相互理解を深める。

指定された論文の理解度、発表資料の完成度、プレゼンテーション及びヒアリングの内容によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103104&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学講読Ⅱ(一)：日本考古学の論文を読む

豊島 直博

後期 水曜日 4時限 C304

正しい論文の読み方を学び、問題点を見つける力を身につける。

おもに弥生時・古墳代の論文を輪読する。テキストは初回に指示するので、分担で人数分を用意する。発表資料を作成してもらった場合もある。

期末レポート(興味のある論文をよみ、内容をまとめる。B4で1枚程度)、授業中の質疑応答を加味する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103201&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学講読Ⅱ(二)：遺跡に関する基礎文献の講読

小林 青樹

後期 水曜日 4時限 C401

考古学に関する遺跡や遺物の基礎的な用語や特徴などを理解し、考古学の基礎を学ぶ。

主に日本と世界の遺跡に関する基礎的な文献を受講者が選択し、受講者全員で輪読する。文献選択者は、自分の選んだ文献についての小発表を行う。なお、考古学講読Ⅰ(一)・考古学講読Ⅱ(二)は同じ内容で開講しており、これらのうちから一つのみ受講すること(複数受講できない)。

実施方法は、まず前週に資料を配布して受講者は事前に用語などを予習する。そして次の週に配布資料の遺跡について解説し、授業後に復習する。

発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103202&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学講読Ⅱ(三)：考古学の論文を読み解く

岩戸 晶子

後期 水曜日 4時限 C206

学術論文を熟読し、その主題や論理展開、問題点を把握し、その内容をプレゼンテーションによって他者にわかりやすく伝えられるような発表を行う。

また、他者の発表を聞き、自分なりの疑問や意見を述べられる姿勢を養う。

関心のある分野の論文を選び、その内容を他の受講生が理解できるようプレゼンテーションします。

発表準備を通して、論文の内容だけでなく、先行研究に対する正しい評価や、結論に至るまでの論理展開の過程を理解し、自身の論文作成につながる基本的能力を身につけることを目指します。

また、この授業を通して、発表者は自分の知識や考えを相手にきちんと伝達するための適切なプレゼンテーション方法や討論の方法を、聞き手側は問題意識をもって批評する方法をそれぞれ習得していきます。

各自2回ずつ発表する(履修者数によって調整する場合がある)。

学習到達度60%(各自の研究発表内容)および授業への積極性40%で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103203&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学講読Ⅱ(四)：古代都城と地方官衙(2)

相原 嘉之

後期 水曜日 4時限 C303

古代都城・地方官衙等に関する考古学論文を読み解き、考古学の考え方・学術論文の構成・表現などを理解する。

古代都城・地方官衙に関する論文を読み、研究の現状を理解する。

そのために、プレゼンテーション・討論による相互理解を深める。

指定された論文の理解度、発表資料の完成度、プレゼンテーション及びヒアリングの内容によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103204&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学講読Ⅱ(五)：文化財保護関連法令等の講読

近江 俊秀

後期 水曜日 4時限 C106

文化財保護法の内容と実際の運用等に係る基礎的な知識を取得する。またそれを通じて、文化財保護行政の内容等について理解する。

法律を理解するために必要な基本的な事柄について解説したうえで、条文と関連する通知等について受講者全員で輪読する。実施方法は、第5回までは、法律を理解するために必要な知識を得るための講義を行い、6回目以降は前週に資料を配布して受講者は事前に用語などを予習する。そして次の週に配布資料のについて解説し、授業後に復習する。

平常点50%(講義中の質問など、積極的な態度を重視)、定期試験50%(文化財保護制度の基礎を正しく理解しているかどうかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144103205&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史講読Ⅰ(一)：『七大寺日記』を読む。

米沢 玲

前期 金曜日 1時限 C403

古記録、特に漢文講読の基本的な能力や仏教美術など用語の調べ方を身につける。

平安時代末期の『七大寺日記』を精読し、漢文の読み方を訓練しながら、そこに登場する古寺の建築や宝物について調べる。

授業ごとに到達度を測る簡単な課題を課す。60点×課題提出率、最終回で行う到達度確認(40点満点)の合計で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144104101&opi=se0020&syw=1

教科書 校刊美術史料 寺院篇 上巻 / 藤田経世編・中央公論美術出版、1972・480550031X



美術史講読Ⅰ(二)：くずし字の学習

仁方越 洪輝

前期 金曜日 4時限 B224

くずし字に慣れ、くずし字で書かれた文章を読めるようになる。

江戸時代の版本を取り上げ、くずし字解読の練習を行う。日本絵画の画題や画法を図入りで解説した橘守国著『絵本鶯宿梅』を中心に読み、適宜説明を加える。くずし字の学習とあわせて、日本絵画に登場するモチーフや故事への理解を深める機会としてほしい。

平常点60%(授業内での発表の充実度・授業中に課題に取り組む姿勢・くずし字の理解度を測る小テスト)、到達度確認テスト40%で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144104102&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配付



美術史講読Ⅱ(一)：美術史(特に仏教美術)に関連する史料の講読 大河内 智之 後期 金曜日 1時限 C301

寺院や仏像について書かれた文献を読み、仏像の制作背景や仏像に対する信仰を読み取る。専門用語の調べ方を習得する。文献の内容が美術史的にどのような意味を持つかを見出す。

この講義では『日本霊異記』を用いる。同書は平安時代初期の説話集で、古代における仏教受容の状況や当時の人々(特に庶民)の生き生きとした信仰の様子が描かれている。その中から仏像や仏教美術が登場する話を中心に選び、各回数数ずつ本文を読みながら、関連する仏教史や経典内容にも言及して読み解く。

学習到達度確認50%、平常点50%(課題に取り組む姿勢など)で評価

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144104201&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する



美術史講読Ⅱ(二)：飛鳥時代・奈良時代の仏教美術に関連する史料の講読 竹下 繭子 後期 水曜日 1時限 B224

日本古代の仏教美術に関する基礎知識、専門用語の調べ方、史料を読み解く力を習得することを目指す

奈良時代に作成された「伽藍縁起并流記資財帳」には、寺院の縁起と資財(財産)目録が書かれている。当時の寺院の様相を窺い知ることができるため、飛鳥・奈良時代の仏教美術を研究する上で貴重な史料である。

授業では元興寺、法隆寺、大安寺の資財帳を中心に、寺院の縁起を読み、仏像などの資財を見ていく。関連する『日本書紀』や『続日本紀』などの記載内容、経典、金石文なども紹介する。書き下し文を読むことから始め、白文を読むトレーニングを行う。

平常点(授業中の質問、取り組む姿勢など)、学習到達度確認(筆記による学力確認)をもとに総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144104202&opi=se0020&syw=1

教科書 寧楽遺文(プリントを配布)



史料学講読Ⅰ：日本古代の史料を読む 吉川 敏子 前期 水曜日 3時限 B211

本授業科目ではディプロマ・ポリシーの「1. 知識・技能の理解と活用」「2. 問題発見・解決力」「4. コミュニケーション能力」を重視する。漢文史料を正しく読解し理解する力を修得する。

正倉院に遺された文書、文書日本中世の文書・日本古代の法制史料を講読する。『大漢和辞典』やくずし字辞典、異体字辞典、歴史辞典などを用いて読み解きながら、史料読解の基本を修得する。史料を書き残した人々の意図を理解しようとする姿勢を身につけて欲しい。授業期間後半には、グループで史料について調べ発表する形式で進める。

発表内容10点、提出物10点、授業時間内に行う読解力の確認テスト80点(20、30、30)。予習の怠慢やレジュメの不配布、受講姿勢など、学修態度に問題がある場合は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144105100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布



史料学講読Ⅱ：『続日本紀』を読んで律令制下の国家の様相を考える 吉川 敏子 後期 水曜日 3時限 B211

本授業科目は本学が定めるディプロマ・ポリシーの「2. 問題発見・解決力」「3. 多様性の理解」「4. コミュニケーション能力」を重視する。漢文史料を読解し、調べ、考察し、口頭発表して文章表現する力を修得するとともに、ディスカッションによりコミュニケーション能力を養う。

『続日本紀』をテキストとして、史料分析の訓練を行う。同書は、六国史の第2番目として、697年から791年までを編年体で叙述する歴史書である。講読では、現代語訳をするだけでなく、当時の国家や社会がどのような状況にあったのかを、参考文献を読んで具体的に考え、洞察する努力をして欲しい。授業は、受講者に担当箇所を割り当て、輪読する形式で進める。

発表30点、期末レポート70点。発表は十分に調べ考察しているかを、レポートは史料を踏まえた立論を重視する。レジュメの事前配付の怠りや、度重なる遅刻・欠席などは減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144105200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布



保存科学講読Ⅰ(一)：日本の保存科学研究論文の講読と発表を通じて、理解 比佐 陽一郎 前期 水曜日 2時限 C103

保存科学関係の論文や報告書を読み、研究目的、研究方法、論旨を的確に理解する力や思考力を身につける。

日本の保存科学研究論文を各自が読破し、原文とその要旨、関連資料等まとめた資料を作成し、発表および討論をおこなう

各自の発表(論文の理解度、資料作成、発表、討論の充実度)、討論への参加の様子、およびレポートにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144106101&opi=se0020&syw=1

教科書 授業ごとに文献のプリントを配布。



保存科学講読Ⅰ(二)：文化財の保存科学に関連した文献の講読 杉山 智昭 前期 火曜日 3時限 C404

各種文献の講読をとおり保存科学研究分野に対する視野を広げ、専門知識を蓄積するとともに、学術論文の基本構成について学修する。研究課題を主体的に探索し、客観的な情報にもとづいた考察を展開するための能力を培う。

各自が分担、あるいは個人で文献を読み込み、その内容を整理・要約した資料を作成したうえで発表・全体討論を行う。

平常時の取り組み姿勢(30%)、基本概念の理解など課題の達成度(30%)、レポートのデータ整理や論理展開を評価(40%)し総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144106102&opi=se0020&syw=1

教科書 発表者が事前に提出したプレゼンテーション資料を配布



保存科学講読II(一)：日本の保存科学研究論文の講読と発表を通じて、理解力、思考力、発表力を高め、自身の研究スタイルの確立をめざす。

後期 水曜日 5時限 C301

保存科学関係の論文や報告書を読み、研究目的、研究方法、論旨を的確に理解する力や思考力を身につける。

日本の保存科学研究論文を各自が選んで読破し、原文とその要旨、関連資料等まとめた資料を作成し、発表および討論をおこなう。

各自の発表(論文の理解度、資料作成、発表、討論の充実度)、討論への参加のようすおよびレポート(マイ雑誌)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144106201&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学実習I：考古学の記録方法を学ぶ

豊島 直博.外部講師
(奈良市)

前期 火曜日 1時限 B105.
前期 火曜日 1時限 B211

測量技術を習得する

屋外調査に必要なレベル、平板、トータルステーションの使い方を学ぶ

授業中に作成する図面等の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202100&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学実習I：考古学の記録方法を学ぶ

豊島 直博.外部講師
(奈良市)

前期 火曜日 1時限 B105.
前期 火曜日 1時限 B211

測量技術を習得する

屋外調査に必要なレベル、平板、トータルステーションの使い方を学ぶ

授業中に作成する図面等の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202100&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学実習II：実践的な遺跡の測量と遺物の観察・記録方法をマスターする

小林 青樹.外部講師
(奈良市)

後期 火曜日 1時限 B105

前期に身につけた基礎を元に、実践的な技術を身につける。

この実習は、遺物の観察・記録方法を身につけるとともに、班に分かれて前半と後半に野外実習と室内実習を交代して実施する。班分けやスケジュールなどの詳細については初日のガイダンスで説明する。なお、本シラバスの内容については、随時、日程・実習内容・評価方法の変更を行場合がある。毎回、講義連絡に事前に講義に関する情報をアップする。

実習時間中に各自が作成した実測図のレポート70%(実習を通じて学んだ技術に基づいて図面などが作成できているか)、本実習に関するレポート30%(実習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202200&opi=se0020&syw=1

教科書 必要な場合、適宜配布します



考古学実習II：実践的な遺跡の測量と遺物の観察・記録方法をマスターする

小林 青樹.外部講師
(奈良市)

後期 火曜日 1時限 B105

前期に身につけた基礎を元に、実践的な技術を身につける。

この実習は、遺物の観察・記録方法を身につけるとともに、班に分かれて前半と後半に野外実習と室内実習を交代して実施する。班分けやスケジュールなどの詳細については初日のガイダンスで説明する。なお、本シラバスの内容については、随時、日程・実習内容・評価方法の変更を行場合がある。毎回、講義連絡に事前に講義に関する情報をアップする。

実習時間中に各自が作成した実測図のレポート70%(実習を通じて学んだ技術に基づいて図面などが作成できているか)、本実習に関するレポート30%(実習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202200&opi=se0020&syw=1

教科書 必要な場合、適宜配布します



考古学実習III：出土遺物の記録方法を学ぶ

豊島 直博.外部講師
(奈良市)

前期 火曜日 2時限 B105

出土遺物の図化ができるようになる

土器、石器、瓦の実測、レイアウト、トレースを学ぶ

授業中に作成する図面等の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202300&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学実習Ⅲ：出土遺物の記録方法を学ぶ

豊島 直博.外部講師
(奈良市)

前期 火曜日 2時限 B105

出土遺物の図化ができるようになる

土器、石器、瓦の実測、レイアウト、トレースを学ぶ

授業中に作成する図面等の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202300&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学実習Ⅳ：実践的な遺跡の測量と遺物の観察・記録方法をマスターする

小林 青樹.外部講師
(奈良市)

後期 火曜日 2時限 B105

前期に身につけた基礎を元に、実践的な技術を身につける。

この実習は、遺物の観察・記録方法を身につけるとともに、班に分かれて前半と後半に野外実習と室内実習を交代して実施する。班分けやスケジュールなどの詳細については初日のガイダンスで説明する。なお、本シラバスの内容については、随時、日程・実習内容・評価方法の変更を行場合がある。毎回、講義連絡に事前に講義に関する情報をアップする。

実習時間中に各自が作成した実測図のレポート70%(実習を通じて学んだ技術に基づいて図面などが作成できているか)、本実習に関するレポート30%(実習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202400&opi=se0020&syw=1

教科書 必要な場合、適宜配布します



考古学実習Ⅳ：実践的な遺跡の測量と遺物の観察・記録方法をマスターする

小林 青樹.外部講師
(奈良市)

後期 火曜日 2時限 B105

前期に身につけた基礎を元に、実践的な技術を身につける。

この実習は、遺物の観察・記録方法を身につけるとともに、班に分かれて前半と後半に野外実習と室内実習を交代して実施する。班分けやスケジュールなどの詳細については初日のガイダンスで説明する。なお、本シラバスの内容については、随時、日程・実習内容・評価方法の変更を行場合がある。毎回、講義連絡に事前に講義に関する情報をアップする。

実習時間中に各自が作成した実測図のレポート70%(実習を通じて学んだ技術に基づいて図面などが作成できているか)、本実習に関するレポート30%(実習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144202400&opi=se0020&syw=1

教科書 必要な場合、適宜配布します



美術史実習Ⅰ：美術工芸品の見学・調査

大河内 智之

前期 火曜日 1時限 B213

美術作品を見学し、実査することにより、作品を美術史的に理解する眼識を養う。彫刻・絵画・工芸作品の取り扱い方を理解する。作品の基礎データを収集し、調書が作成できるようになる。

美術史実習Ⅰ・Ⅲでは、総合して次の二種の実習を行う。①見学:美術館・博物館等の施設あるいは社寺等へ出かけ、美術品を実査する。なお、括弧内の見学先は従来の行き先を参考にした案であり、今年度については、4月以降、順次決定する。②調査:美術品(彫刻・工芸品など)の取扱および調査方法を習得する。

学外見学の場合は、レポートを提出(60%)。学内での作品調査の場合は調書の提出(20%)を求める。いずれも作品についての基本的な理解(作者・制作背景・技法等)ができているか。美術史上の位置が理解・提示できているか。的確な作品評価が記されているか等を基準に評価する。これに平常時の取り組み姿勢(20%)を加える。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144203100&opi=se0020&syw=1

教科書 その都度プリントを配布する



美術史実習Ⅱ：美術工芸品の見学・調査

大河内 智之

後期 火曜日 1時限 B213

美術作品を見学し、実査することにより、作品を美術史的に理解する眼識を養う。彫刻・絵画・工芸作品の取り扱い方を理解する。作品の基礎データを収集し、調書を作成できるようになる。

美術史実習Ⅱ・Ⅳでは、総合して次の二種の実習を行う。①見学:美術館・博物館等の施設あるいは社寺等へ出かけ、美術品を実査する。なお、括弧内の見学先は、従来の行き先を参考にした案であり、今年度については、9月以降、順次決定する。②調査:美術品(彫刻・絵画・工芸品など)の取扱および調査方法を習得する。

学外見学の場合は、レポートを提出(60%)。学内での作品調査の場合は調書の提出(20%)を求める。いずれも作品についての基本的な理解(作者・制作背景・技法等)ができているか。美術史上の位置が理解・提示できているか。的確な作品評価が記されているか等を基準に評価する。これに平常時の取り組み姿勢(20%)を加える。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144203200&opi=se0020&syw=1

教科書 その都度プリントを配布する



美術史実習Ⅲ：美術工芸品の見学・調査

米沢 玲

前期 火曜日 2時限 B213

美術作品を見学し、実査することにより、作品を美術史的に理解する眼識を養うことができる。彫刻・絵画・工芸作品の調書が作成できるようになる。

美術史実習Ⅰ・Ⅲでは、総合して次の二種の実習を行う。①見学:美術館・博物館等の施設あるいは社寺等へ出かけ、美術品を実査する。なお、括弧内の見学先は従来の行き先を参考にした案であり、今年度については、4月以降、順次決定する。②調査:美術品(彫刻・工芸品など)の取扱および調査方法を習得する。

提出物100%。見学のレポート、調査の場合は調書の提出を求める。提出物の基準については、講義中に配布する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144203300&opi=se0020&syw=1

教科書 その都度プリントを配布する



美術史実習Ⅳ：美術工芸品の見学・調査

米沢 玲

後期 火曜日 2時限 B213

美術史作品をより深く理解し、研究に活かすための実践力を身につける。絵画作品の調書が作成できるようになる。

美術史実習Ⅱ・Ⅳでは、総合して次の二種の実習を行う。①見学：美術館・博物館等の施設あるいは社寺等へ出かけ、美術品を実査する。なお、括弧内の見学先は従来の行き先を参考にした案であり、今年度については、9月以降、順次決定する。②調査：美術品（彫刻・工芸品など）の取扱および調査方法を習得する。

提出物100%。見学のレポート、調査の場合は調書の提出を求める。提出物の基準については、講義中に配布する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144203400&opi=se0020&syw=1

教科書 その都度プリントを配布する



保存科学実習Ⅰ：保存修復技術入門（装飾技術）

比佐 陽一郎・宇都宮 正紀

前期 火曜日 1時限 B103

日本の書画文化財がどのように修理され伝世してきたかを学び、またその倫理についての理解を目標とする。

文化財保存修復の基礎的技術として、書画の修復技術である「装飾修理技術」の基礎を体験学習する。装飾技術による書画文化財修理の概論を学び、分析や和紙を用いた補修、裏打等の装飾技術を実践する。

評価方法は課題の充実度を評価する。基準は平常時の姿勢（30%）、基本概念の理解や作業の習熟など課題の達成度（30%）、レポートのデータの整理や論理展開を評価（40%）し総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144204100&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に適宜プリント等の資料を配付する。



保存科学実習Ⅱ：文化財の保存環境管理のために求められる保存科学の知識と技術を修得する。

比佐 陽一郎・魚島 純

後期 火曜日 1時限 B103

文化財の保存環境管理法を理解し、知識と技術を修得する。

文化財を保存するためには、展示、収蔵等の環境管理・整備等をはじめとして、さまざまな保存科学技術の応用・実践が必要とされる。博物館で保存科学担当学芸員として従事した経験などをもとに、とくに文化財の保存に携わる現場で必要とされる知識、技術について学び修得できるよう指導する。

測定法等の理解度と技術修得度、授業への参加、実習態度およびレポートにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144204200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



保存科学実習Ⅲ：文化財の保存・修復技術

比佐 陽一郎・宇都宮 正紀

前期 火曜日 2時限 B103

さまざまな文化財の保存・修復技術の実践

文化財はさまざまな材質や技法で作られている。文化財の構造や材質・技法を科学的に調査し記録して保存する方法や技術を学ぶ。前期は木製遺物を対象に科学調査の計画立案から保存処理の実践・修復までの一連の作業を実践する。

評価方法は課題の充実度を評価する。基準は平常時の姿勢（30%）、基本概念の理解や作業の習熟など課題の達成度（30%）、レポートのデータの整理や論理展開を評価（40%）し総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144204300&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



保存科学実習Ⅳ：文化財の科学的調査と保存技術

比佐 陽一郎・魚島 純

後期 火曜日 2時限 B103

さまざまな文化財の科学的調査と保存技術の実践

文化財はさまざまな材質や技法で作られている。文化財の構造や材質・技法を科学的に調査し記録して保存する方法や技術を学ぶ。後期は金属遺物を対象に科学調査の計画立案から、実際の事前調査、保存処理・保管環境の維持までの一連の作業を実践する。行政で保存科学担当者として従事した経験などをもとに、とくに文化財の保存に携わる現場で必要とされる知識、技術について学び修得できるよう指導する。

評価方法は課題の充実度を評価する。基準は平常時の姿勢（30%）、基本概念の理解や作業の習熟など課題の達成度（30%）、レポートのデータの整理や論理展開を評価（40%）し総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144204400&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



考古学演習Ⅰ（一）：考古学の研究方法を学ぶ

豊島 直博

前期 火曜日 4時限 C305

考古学の研究方法を学びながら、卒業論文の主題を探す

遺構や遺物から人間の過去を解明する考古学では、あらゆる時代・地域の考古資料が研究対象となる。この演習では、各自が興味をもつ分野を探し、対象とする考古資料の概要を把握する。また、研究史を調べて課題を抽出し、独自の研究方法を探る。発表担当者は事前に1枚程度の資料を作成する。主題となる論文がある場合は事前に提示し、参加者は読んでおくこと。発表に基づき全員で議論し、考古学の研究方法を身に付ける。遺跡や博物館の見学も行い、考古資料の見方を学ぶ。

自分の研究内容をまとめたレポート（A4で1枚程度）、発表資料の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302101&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学演習I(二) : 考古学による歴史研究

相原 嘉之

前期 火曜日 4時限 M101

研究の基礎的方法の学習と卒業論文テーマの検討

この演習(3回生)では、受講生がおもに日本考古学(古代を中心)に関する分野から興味をもつテーマについて、研究の現状を確認しつつ、基礎的な研究方法の学習を行う。各自が選定した研究テーマについて発表し、それに関する討議により当該テーマの研究を確認する。この作業を通じて、各自の卒業論文の課題選定を進める。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302102&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する



考古学演習I(三) : 考古学の研究方法を学ぶ

小林 青樹

前期 火曜日 4時限 C303

考古学の基本的な方法を学びながら、卒業論文のテーマを考える。

この演習は、旧石器時代から弥生時代までの先史時代の考古学、祭祀の考古学などに興味をもつ学生に向けて開講します。研究史を調べて課題を決め、順番を決めて報告を行い、議論して、次のステップである卒業論文の構想を考えていきます。また、卒業論文に必要な資料の観察法や文献の探索法も合わせて学びつつ、折に触れて博物館などでの見学を行い、実践的な目を養います。

発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。オリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302103&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習I(四) : 文化財保護行政と考古学

近江 俊秀

前期 火曜日 4時限 C401

文化財保護行政に関する基礎的な知識の取得と卒業論文テーマの検討

この演習(3回生)では、受講生が主に埋蔵文化財保護行政に係る基礎知識の取得し、現状と課題を確認しつつ、考古学研究を行政に生かすために必要な視点と方法の学習を行う。担当教員が基本的な事項について講義を行い、それを参考として各自が研究テーマを設定し発表する。講義と発表を通じて、各自、卒業論文の課題選定を進める。テーマ設定は、文化財行政に係る内容とするが、考古学の知識を行政等の中で活かすことを目的としたものや、文化財行政に係る知識を土台として観光振興や地域活性化等に資する研究テーマも可とする。

演習における発表を各自1回実施(講義の内容に関する理解度とテーマ設定の視点を重視)、授業内での発表、レポート課題、学習到達度確認を基に総合的に評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302104&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習I(五) : 考古学の研究手法を学ぶ

岩戸 晶子

前期 火曜日 4時限 C306

研究したいと思うテーマを発見し、選んだテーマについて基礎的な知識を身につけ、それを効果的に他者に伝える能力を身につける。

この演習(3回生)では、受講生がおもに日本または東アジアの歴史考古学に関する分野から興味をもつテーマを選び、それぞれ基礎的な知識や先行研究を把握することを目指します。

自分の課題についてプレゼンテーションをおこない、さらにその内容について教員および学生全員で議論することを繰り返して、多角的な視点を意識して研究を深めましょう。

また、自分の知識や思考を他者に明確に伝えるプレゼンテーションや資料についてのブラッシュアップも目指していきます。

学習到達度60%(各自の研究発表内容)および授業への積極性40%で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302105&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習II(一) : 考古学の研究方法を習得し、卒業論文に備える

豊島 直博

後期 火曜日 4時限 C305

考古学の研究方法を学びながら、卒業論文の主題を決定する

考古学の研究を進めるためには、まず文献を参照して資料を集めなくてはならない。その方法を学び、実践する。集成が進めば、独自の観点から分析が可能となる。発表と議論を通じて分析の方法を探す。なお、新たな分析方法は実物資料を見なければ見いだせない場合が多い。遺跡や博物館見学を行い、モノを見る目を養う。発表は1回に2名ずつ行う。事前に資料を作成し、それに基づいて議論する。

自分の研究内容をまとめたレポート(A4で1枚程度)、発表資料の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302201&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学演習II(二) : 考古学による歴史研究

相原 嘉之

後期 火曜日 4時限 M101

研究方法の模索と卒業論文テーマの確定

この演習(3回生)では、受講生がおもに日本考古学(古代を中心)に関する分野から興味をもつテーマについて、研究の現状を確認しつつ、自己の研究方法を模索する。各受講者が前期の考古学演習Iにおいて選定したテーマについての研究発表を行う。発表では参加者相互の質疑応答を通じて、各自の卒業論文の課題の確定をめざす。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302202&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学演習Ⅱ(三) : 考古学研究法の習熟と発表・プレゼンの実践 小林 青樹 後期 火曜日 4時限 C303

考古学の方法を学びつつ、論文テーマでの発表・プレゼンの技術を磨く。

この演習は、旧石器時代から弥生時代までの先史時代の考古学、祭祀の考古学などに興味をもつ学生に向けて開講します。夏季休暇中の調査成果などをもとに発表を行います。また、考古学研究の方法を学びながら、研究テーマの発表の方法やそのプレゼンの技術を高めます。折に触れて博物館などでの見学を行い、実践的な目を養います。

発表(60%)とレポート(40%)で評価する。発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。オリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302203&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅱ(四) : 文化財保護行政と考古学 近江 俊秀 後期 火曜日 4時限 C401

文化財保護行政に関する基礎的な知識の取得と卒業論文テーマの検討

この演習(3回生)では、受講生が主に埋蔵文化財保護行政に係る基礎知識の取得し、現状と課題を確認しつつ、考古学研究を行政に生かすために必要な視点と方法の学習を行う。各受講者が前期の考古学演習Ⅰ(四)において選定したテーマについての研究発表を行う。発表では参加者相互の質疑応答を通じて、各自の卒業論文の課題の確定をめざす。

演習における発表70%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302204&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅱ(五) : 考古学の研究手法を学ぶ 岩戸 晶子 後期 火曜日 4時限 C306

研究したいと思うテーマを絞っていき、選んだテーマについて現状の課題や問題点を見出す。どのように研究を進めるか方向性を模索し、卒業論文の作成に備える。

この演習(3回生)では、考古学演習Ⅰ(五)での成果を踏まえ、自身のテーマについての研究の現状や問題点を把握することを目的とします。

自分の課題についてプレゼンテーションをおこない、それをふまえて教員および学生全員で議論することを繰り返し、自分のテーマを掘り下げていきましょう。また、自分の知識や思考を他者に明確に伝えるプレゼンテーションや資料についてのブラッシュアップもさらに目指していきます。

学習到達度60%(各自の研究発表内容)および授業への積極性40%で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302205&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅲ(一) : 卒業論文の作成 豊島 直博 前期 火曜日 5時限 C305

卒業論文を軌道に乗せる

考古学の論文は文章と図版から成り立っている。この演習では、1年間かけて卒業論文を完成できるよう、論文の書き方と図版の作り方を学ぶ。また、作業の途中経過を発表して相互に議論し、論文の質を高める。発表は1回に2名行う。事前に1枚程度の資料を作成し、それに基づいて全員で議論する。また、遺跡や博物館を見学し、考古資料への理解を深める。

自分の研究内容をまとめたレポート(A4で1枚程度)、発表資料の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302301&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学演習Ⅲ(二) : 考古学による歴史研究 相原 嘉之 前期 火曜日 5時限 M101

卒業論文の枠組みの確定

卒業論文の作成について演習(4回生)を通じて進める。各自の卒業論文のテーマに関して、研究史の現状、問題の所在、資料の提示、分析、歴史的位置付けなどについて報告・討論を重ねる。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302302&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学演習Ⅲ(三) : 考古学研究法の習熟と発表・プレゼンの実践 小林 青樹 前期 火曜日 5時限 C303

考古学の方法を学びつつ、論文テーマでの発表・プレゼンの技術を磨く。

この演習は、旧石器時代から弥生時代までの先史時代の考古学、祭祀の考古学などに興味をもつ学生に向けて開講します。夏季休暇中の調査成果などをもとに発表を行います。また、考古学研究の方法を学びながら、研究テーマの発表の方法やそのプレゼンの技術を高めます。折に触れて博物館などでの見学を行い、実践的な目を養います。

発表(60%)とレポート(40%)で評価する。発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。オリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302303&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅲ(四) : 文化財保護行政と考古学

近江 俊秀

前期 火曜日 5時限 C401

卒業論文の枠組みの確定

卒業論文の作成について演習(4回生)を通じて進める。各自の卒業論文のテーマに関して、文化財保護制度の内容と運用、考古学の知識を行政に活かすための視点や方法、これからの文化財保護行政のあり方などについて報告・討論を重ねる。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302304&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅲ(五) : 考古学研究によって新たな歴史的枠組みを明らかにする 岩戸 晶子

前期 火曜日 5時限 C306

卒業論文の骨組みを具体化させる

卒業論文とは、それまでの大学生活を通じて生まれたそれぞれの興味を深く掘り下げ、見つけた問題点を解決し、さらに誰が読んでも理解できるように論理的な文章と図版で具現化する作業によります。

この演習(4回生)では、テーマを定め、その現状の課題をみつけ、自身の着眼点を絞ることをめざします。

それぞれの発表やそれを踏まえて交わされる議論によってより良い成果になることを目指しましょう。

また、遺跡や博物館の見学を通して、考古資料への理解もさらに深めていきます。

学習到達度60%(各自の研究発表内容およびレポート)および授業への積極性40%で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302305&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅳ(一) : 卒業論文の作成

豊島 直博

後期 火曜日 5時限 C305

卒業論文を完成させる

前期の演習Ⅲの成果をもとに、卒業論文の完成を目指す。作業の途中経過を発表して相互に議論し、論文の質を高める。文章表現、注と参考文献、図版のキャプションなど論文の細部についても適宜指導する。発表は1回に2名ずつ行う。事前に1枚程度の資料を作成し、それに基づいて全員で議論する。論文提出後には事後指導を行う。また、遺跡や博物館を見学し、考古資料への理解を深める。

自分の研究内容をまとめたレポート(A4で1枚程度)、発表資料の完成度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302401&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学演習Ⅳ(二) : 卒業論文の作成

相原 嘉之

後期 火曜日 5時限 M101

卒業論文の完成

演習(4回生)を通じて卒業論文を作成する。各自は卒業論文の基本的な構成について報告する。各自が卒業論文の具体的な進行状況を報告しながら、討議を踏まえて、よりよい論文となるように努力する。論文の記載方法などの技術的な指導も行う。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302402&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学演習Ⅳ(三) : 卒業論文の作成

小林 青樹

後期 火曜日 5時限 C303

卒業論文を完成させる

この演習は、旧石器時代から弥生時代までの先史時代の考古学、祭祀の考古学などに関し、すでにこの分野での研究テーマが決まっている学生を対象とします。本演習では、章立てをチェックし、途中経過を発表します。そして、具体的な卒論の書き方を学び、随時、途中経過を発表し、完成させます。折に触れて博物館などでの見学を行い、実践的な目を養います。

発表60%(発表内容の充実度を重視する)、レポート40%(演習を通じて学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。オリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302403&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅳ(四) : 卒業論文の作成

近江 俊秀

後期 火曜日 5時限 C401

卒業論文の完成

演習(4回生)を通じて卒業論文を作成する。各自は卒業論文の基本的な構成について報告する。各自が卒業論文の具体的な進行状況を報告しながら、討議を踏まえて、よりよい論文となるように努力する。論文の記載方法などの技術的な指導も行う。

演習における発表50%(課題についての独自性・充実度を重視)、平常点50%(発表に関する質問など積極的な姿勢を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302404&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学演習Ⅳ(五) : 考古学研究によって新たな歴史的枠組みを明らかにする 岩戸 晶子

後期 火曜日 5時限 C306

卒業論文を完成させる。

この演習(4回生)では、前期の演習Ⅲの成果をもとにより良い卒業論文の完成を目指します。各自が論文作成の途中経過を発表し、その内容について教員および学生全員で相互に議論することで論文内容の質を高めていきます。その時々自分の立ち位置や方向性を客観的に見定めつつ、論文完成を目指しましょう。発表の合間に論文に必要な知識の講義も適宜実施します。

また、遺跡や博物館の見学を通して、文化財や考古資料への理解を深めます。

学習到達度60%(各自の研究発表内容および提出課題)および授業への積極性40%で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144302405&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史演習Ⅰ(一) : 美術史研究入門

大河内 智之

前期 火曜日 3時限 B211

研究とはどのような視点、方法で進めるのかを理解し、自らの研究テーマを見出して、解決へのプロセスを構築する。自らの研究や与えられた課題について、時間内でプレゼンテーションする方法を習得する

美術史演習Ⅰ～Ⅳの最終目標は卒業論文作成であり、そのために美術史研究に必要な事柄を習得する必要がある。Ⅰは入門編として、美術史についての基礎的な知識を習得しつつ、各自が発表を行う。自らの卒業論文を意識しながら、いろんな研究に接して、これまで興味のなかった分野の資料にも積極的にアプローチして視野を広げられるようにする。美術資料を相互に比較することで、時代の違い、作者の違い、技法の違いなどが理解できるようにしながら、順番を決めて発表する。

発表内容(40%)、質疑応答への参加状況(30%)、随時提出を求めるコメントシート等の内容(30%)により評価する。総じて、自らの研究テーマが明確化しているが、確実に進捗しているかを評価する。個々のテーマが異なるので、平常時の教員との質疑応答も重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303101&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



美術史演習Ⅰ(二) : 美術史研究方法の習得

米沢 玲

前期 火曜日 3時限 B213

研究テーマを設定し、研究方法を把握する。その問題点を整理しながら、研究方法を修得する。

美術史演習Ⅰ～Ⅳでは、卒業論文作成を最終目標とし、そのために必要な事柄を習得する。Ⅰでは、各自の研究テーマ(やりたいこと)を設定し、その研究の方向性を把握することに努める。本ゼミの卒論題目は中世絵画を中心とした日本美術史としており、幅広い視野を持ちつつ自身のテーマについて探究すること。

討議への参加度50%(出席点ではない)、発表と発表資料50%(形式の整備と内容による)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303102&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史演習Ⅱ(一) : 美術史研究の方法

大河内 智之

後期 火曜日 3時限 B211

研究とはどのような視点、方法で進めるのかを理解し、自らの研究テーマを見出して、解決へのプロセスを構築する。自らの研究や与えられた課題について、時間内でプレゼンテーションする方法を習得する

美術史演習Ⅰ～Ⅳの最終目標は卒業論文作成であり、そのために美術史研究に必要な事柄を習得する必要がある。Ⅱは方法編として、入門編に引き続き美術史についての基礎的な知識を習得しつつ、各自が発表を行う。自らの卒業論文を意識しながら、いろんな研究に接して、これまで興味のなかった分野の資料にも積極的にアプローチして視野を広げられるようにする。美術資料を相互に比較することで、時代の違い、作者の違い、技法の違いなどが理解できるようにしながら、順番を決めて発表する。

発表内容(40%)、質疑応答への参加状況(30%)、随時提出を求めるコメントシート等の内容(30%)により評価する。総じて、自らの研究テーマが明確化しているが、確実に進捗しているかを評価する。個々のテーマが異なるので、平常時の教員との質疑応答も重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303201&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



美術史演習Ⅱ(二) : 美術史研究方法の習得

米沢 玲

後期 火曜日 3時限 B213

研究テーマを設定し、研究方法を把握する。その問題点を整理しながら、研究方法を修得する。

美術史演習Ⅰ～Ⅳでは、卒業論文作成を最終目標とし、そのために必要な事柄を習得する。Ⅱでは、Ⅰで設定した各自の研究テーマを卒業論文を作成するように専門化してゆく。各自の研究テーマは便宜的に1～6としているが、テーマは自由である。本ゼミでは、Ⅱの発表を卒論作成の重要なポイントとしており、夏休み中に十分な準備をすることが望まれる。

討議への参加度50%(出席点ではない)、発表と発表資料50%(形式の整備と内容による)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303202&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史演習Ⅲ(一)：卒業論文の構想と先行研究の把握、プレゼンテーション 大河内 智之

前期 火曜日 4時限 B211

卒業論文で取り上げるテーマを確定し、論文作成に向けて構成(章立て)を決めるとともに、問題点を顕在化させ、今後の執筆計画を決める。

①卒業論文作成に向けてテーマの設定と論文の構成(章立て)を考えるために必要なポイントを整理する。②すでに収集した関連論文をリストアップして取捨選択し、疑問点を解決した上で、研究史を明確にする。③卒業論文で取り上げるべき問題点を抽出し、教員と相談の上、調査・研究・執筆の計画を立てる。④必要な資料、図版、現地調査などを行う。上記の内容に沿って授業を行うが、進捗状況を随時発表する機会も設ける。各自が最低2回の発表を行う。

発表内容(50%)、平常時の取り組み(50%)などを加え総合的に評価する。総じて問題点を実証的に解決するためのプロセスの適格性、研究の推進力、発表・討議の際のコミュニケーション能力等を評価のポイントとする。個々のテーマが異なるので、平常時の教員との質疑応答も重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303301&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



美術史演習Ⅲ(二)：美術史研究の実践・卒論作成

米沢 玲

前期 火曜日 4時限 B213

卒業論文の題目を決定し、全体構想を練る。

美術史演習Ⅰ～Ⅳでは、卒業論文作成を最終目標とし、そのために必要な事柄を習得する。Ⅲでは、3年次に設定した各自の研究テーマについて、問題点を抽出するために順次発表を行い、全員で討議する。6月末までに卒業論文の題目を決定し、全体構想を練りながら目次を考える。各自発表を行う(ゼミ人数により6回に分けて行う)。7月に中間発表会を行い、夏休み中の研究に向けての準備をする。

十分に教員と相談するなどして題目を検討し提出すること40%、アウトラインの作成40%、中間発表20%。評価基準については講義中に配付する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303302&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史演習Ⅳ(一)：論文の作成と問題点の確認

大河内 智之

後期 火曜日 4時限 B211

実証的な論文作成の方法を習得し、美術史の論文にふさわしい専門用語(術語)を理解して、論文を完成させる。

論文完成に向けた計画を作成し、それに基づいて引き続き論文作成を進める。毎回授業計画に示した項目をチェックしながら、その中で最低2回の中間発表を行い、その都度、指摘された問題点を修正して論文を完成させる。最終的に本文、注、図版、年表、図表等が適切な記述・指示・配置となっているかを確認し、過不足の部分があれば補正する作業を行う。

研究報告の取り組み姿勢と内容(50%)、成果発表(50%)をもとに評価する。問題点解決へのプロセスの適格性、研究推進力、発表・討議の際の姿勢を評価のポイントとする。時間外の教員との質疑応答も重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303401&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



美術史演習Ⅳ(二)：美術史研究の実践―卒業論文の作成

米沢 玲

後期 火曜日 4時限 B213

卒業論文を作成する途上での問題点を発表、討議により、修正してゆく。

卒業論文を作成する途上での問題点を発表、討議により、修正してゆく。

中間稿50パーセント、成稿の形式・内容修正が行われているか50パーセント。評価基準は講義中に配付する「日本語表現チェックリスト」による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144303402&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料学演習Ⅰ：史料学の諸問題

吉川 敏子

前期 火曜日 4時限 B317

本授業科目では、本学が定める6つのディプロマ・ポリシーのすべてを重視する。史料の読解に取り組み、問題点を見出す力をつける。

歴史や文物に関する卒業論文を書く学生を対象とし、史料読解に取り組みながら、史料が持つ問題点を考える。史料講読と並行して、興味のあるテーマについての参考文献を読み、テーマに関わる史料の読解にも取り組む。自主的にテーマや課題を見つけることが求められる。

発表内容40点、期末レポート(400字換算10枚程度)60点。発表は十分な理解と出来栄え、レポートは十分な学習・考察を行っているかを重視する。不真面目な受講姿勢は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144304100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配付



史料学演習Ⅱ：史料学の諸問題

吉川 敏子

後期 火曜日 4時限 B317

本授業科目では、本学が定める6つのディプロマ・ポリシーのすべてを重視する。各自の研究テーマに関する問題点を把握し、史資料を分析する力をつける。

文献史料、文字資料を使って、歴史や文物に関する卒業論文を書く学生を対象とし、各自の発表を基礎に論文作成の方法を指導する。興味のあるテーマについて、専門的な学術書や論文、史資料を読み、輪番で発表を行う。テーマを自主的に見つけ、積極的に課題解決に取り組むことが求められる。発表担当者となる学生が、用意したレジュメに沿って発表し、メンバー全員で質疑応答を行う。

発表内容40点、期末レポート(400字換算15枚程度と論文目録)60点。発表・レポートとも、十分な学習と考察を重視する。レジュメの事前配付や、不真面目な受講姿勢は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144304200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料学演習Ⅲ：史料学の諸問題

吉川 敏子

前期 火曜日 5時限 B317

本授業科目では、本学が定める6つのディプロマ・ポリシーのすべてを重視する。卒業論文の題目を決定し、論文構成を組み立てる。

文献史料、文字資料を使って、歴史や文物に関する卒業論文を書く学生を対象とし、論文作成の方法を指導する。研究テーマを最終的に決め、論文の構成を考えながら、輪番で研究発表を行う。発表と討論に積極的に参加することが求められる。担当者が用意したレジュメに沿って発表し、履修生全員で質疑応答を行う。

発表内容40点、期末レポート(400字換算15枚程度)60点。遅刻・欠席や不真面目な受講姿勢は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144304300&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料学演習Ⅳ：史料学の諸問題

吉川 敏子

後期 火曜日 5時限 B317

本授業科目では、本学が定める6つのディプロマ・ポリシーのすべてを重視する。卒論の構成を確定し、執筆し、成果を発表する。

文献史料、文字資料を使って、歴史や文物に関する卒業論文を書く学生を対象とし、論文作成の方法を指導する。卒論の題目に沿って論文を組み立て、章ごとのまとまりを考えながらレジュメを作成し、輪番で研究発表を行う。発表と討論に積極的に参加することが求められる。発表担当者は、用意したレジュメに沿って発表することとし、メンバー全員で質疑応答を行う。

各回の発表内容を総合して評価する(100%)。卒論テーマについての十分な学習と理解、考察を重視する。ただし、遅刻・欠席や不真面目な受講姿勢は減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144304400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



保存科学演習Ⅰ(一)：保存科学研究の実践・発表を通じて自己の研究を深める

比佐 陽一郎

前期 火曜日 4時限 B224

自己の研究の基盤形成と深化をめざす

1・2年次での文化財学研究法・保存科学概論・保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして研究対象文化財の実地調査などを行い各自の研究テーマを決定する。調査・実験・思考を繰り返しながら研究を深めその成果を発表する。4回生との合同演習も行う。

評価方法は、研究発表・課題の充実度・レポートを総合的に評価する。評価基準は平常時の取り組み姿勢(30%)・研究課題の達成度(20%)・提出されたレポート(50%)として総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305101&opi=se0020&syw=1

教科書 授業内で紹介する。



保存科学演習Ⅰ(二)：保存科学研究を実践し、研究発表およびディスカッションを行う。

魚島 純一

前期 火曜日 4時限 C304

保存科学研究の実践と研究発表を通じて、自身の研究テーマの確立をめざす。

1・2年次での文化財学研究法、保存科学概論、保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして、研究対象文化財の実地調査などをおこない、各自の研究テーマを決定する。調査、実験、考察を繰り返しながら研究を進め、その成果を発表し、自身の研究を確立する。

日常の研究態度、研究発表前に配布されるレジュメ、研究発表、研究発表後のレポート、および学期末の論文形式のレポート(25枚レポート)を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305102&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学演習Ⅰ(三)：保存科学研究の実践・プレゼンテーション・討論を通じて自身の研究を深める。

杉山 智昭

前期 火曜日 4時限 C404

自身の研究に対する基盤形成とテーマの確立をめざす。

1・2年次での文化財学研究法、保存科学概論、保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして、研究対象文化財の実地・文献調査などを行い、各自の研究テーマを決定する。調査、実験、考察を繰り返しながら研究を進め、その成果を発表するとともにディスカッションをつうじて自身の研究を深化させていく。

研究発表・討論(提出されたプレゼンテーション資料、発表内容、演習への取り組み姿勢)50%、提出されたレポート50%として総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305103&opi=se0020&syw=1

教科書 発表者が事前に提出したプレゼンテーション資料を配布



保存科学演習Ⅱ(一)：保存科学研究の実践・発表を通じて自己の研究を深める

比佐 陽一郎

後期 火曜日 4時限 B224

自己の研究の深化と完成をめざす

1・2年次での文化財学研究法・保存科学概論・保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして研究対象文化財の実地調査などを行い各自の研究テーマを決定する。調査・実験・思考を繰り返しながら研究を深めその成果を発表する。4回生との合同演習も行う。

評価方法は、研究発表・課題の充実度・レポートを総合的に評価する。評価基準は平常時の取り組み姿勢(30%)・研究課題の達成度(20%)・提出されたレポート(50%)として総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305201&opi=se0020&syw=1

教科書 授業内で適宜紹介する。



保存科学演習Ⅱ(二)：保存科学研究を実践し、研究発表およびディスカッションをおこなう。 魚島 純一

後期 火曜日 4時限 C304

保存科学研究の実践と研究発表を通じて、自身の研究テーマの確立をめざす。

各自、調査、実験、考察を繰り返しながら研究を進めて、その研究成果を発表し、自身の研究を確立する。

日常の研究態度、研究発表前に配布されるレジメ、研究発表、研究発表後のレポート、および学期末の論文形式のレポート(25枚レポート)を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305202&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学演習Ⅱ(三)：保存科学研究の実践・プレゼンテーション・討論を通じて自身の研究を深める。 杉山 智昭

後期 火曜日 4時限 C404

自身の研究に対する基盤形成とテーマの確立をめざす。

1・2年次での文化財学研究法、保存科学概論、保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして、研究対象文化財の実地・文献調査などを行い、各自の研究テーマを決定する。調査、実験、考察を繰り返しながら研究を進め、その成果を発表するとともにディスカッションをつうじて自身の研究を深化させていく。

研究発表・討論(提出されたプレゼンテーション資料、発表内容、演習への取り組み姿勢)50%、提出されたレポート50%として総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305203&opi=se0020&syw=1

教科書 『発表者が事前に提出したプレゼンテーション資料を配布』



保存科学演習Ⅲ(一)：保存科学研究の実践・発表を通じて自己の研究を深め 比佐 陽一郎

前期 火曜日 5時限 B224

卒業論文の作成を目標に自己の研究の深化と完成をめざす

1・2年次での文化財学研究法・保存科学概論・保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして研究対象文化財の実地調査などを行い各自の研究テーマを決定する。3年時の研究を元に、調査・実験・思考を繰り返しながら研究を深めその成果を発表する。3年生との合同演習も行う。

評価方法は、研究発表・課題の充実度・レポートを総合的に評価する。評価基準は平常時の取り組み姿勢(30%)・研究課題の達成度(20%)・提出されたレポート(50%)として総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305301&opi=se0020&syw=1

教科書 授業内で適宜紹介する。



保存科学演習Ⅲ(二)：保存科学研究を実践し、研究発表およびディスカッションをおこなう。 魚島 純一

前期 火曜日 5時限 C304

保存科学研究の実践と研究発表を通じて、自身の研究の完成をめざす。

各自の研究テーマについて調査、実験、考察し卒業論文を視野に研究を深め、研究成果を発表する。

日常の研究態度、研究発表前に配布されるレジメ、研究発表、研究発表後のレポート、および学期末の論文形式のレポート(25枚レポート)を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305302&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学演習Ⅲ(三)：保存科学研究の実践・プレゼンテーション・討論を通じて自身の研究を深める。 杉山 智昭

前期 火曜日 5時限 C404

卒業論文の作成を目標に、自身の研究の深化と完成をめざす。

これまでの履修してきた講義、実習、演習などで得た知識と研究法を基礎にして、研究対象文化財の実地調査などを行い、各自の研究テーマを決定する。調査、実験、考察を繰り返しながら研究を深め、卒業論文の作成を視野にその成果を発表する。

研究発表・討論(提出されたプレゼンテーション資料、発表内容、演習への取り組み姿勢)50%、提出されたレポート50%として総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305303&opi=se0020&syw=1

教科書 『発表者が事前に提出したプレゼンテーション資料を配布』



保存科学演習Ⅳ(一)：保存科学研究の実践・発表を通じて自己の研究を深め 比佐 陽一郎

後期 火曜日 5時限 B224

卒業論文の作成を目標に自己の研究の深化と完成をめざす

1・2年次での文化財学研究法・保存科学概論・保存科学講読などで得た知識と研究法を基礎にして研究対象文化財の実地調査などを行い各自の研究テーマを決定する。調査・実験・思考を繰り返しながら研究を深めその成果を発表する。3年生との合同演習も行う。

評価方法は、研究発表・課題の充実度・レポートを総合的に評価する。評価基準は平常時の取り組み姿勢(30%)・研究課題の達成度(20%)・提出されたレポート(50%)として総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305401&opi=se0020&syw=1

教科書 授業内で適宜紹介する。



保存科学演習Ⅳ(二)：保存科学研究を实践し、研究発表およびディスカッションをおこなう。 魚島 純一

後期 火曜日 5時限 C304

保存科学研究の实践と研究発表を通じて、自身の研究の完成をめざす。

各自の研究テーマについて調査、実験、考察し卒業論文を視野に研究を深め、研究成果を発表する。

日常の研究態度、研究発表前に配布されるレジメ、研究発表、研究発表後のレポート、および学期末のレポート(論文の内容を英文に要約したAbstractの作成)を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305402&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学演習Ⅳ(三)：保存科学研究の实践・プレゼンテーション・討論を通じ 杉山 智昭

後期 火曜日 5時限 C404

卒業論文の作成を目標に、自身の研究の深化と完成をめざす。

これまでの履修してきた講義、実習、演習などで得た知識と研究法を基礎にして、研究対象文化財の実地調査などを行い、各自の研究テーマを決定する。調査、実験、考察を繰り返しながら研究を深め、卒業論文の作成を視野にその成果を発表する。

研究発表・討論(提出されたプレゼンテーション資料、発表内容、演習への取り組み姿勢)50%、提出されたレポート50%として総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144305403&opi=se0020&syw=1

教科書 『発表者が事前に提出したプレゼンテーション資料を配布』



卒業論文：大学における講義やその他の活動で修得した知見に基づき卒業 共同

通年 その他 その他 その他

大学における講義やその他の活動で修得した知見を活用して、自身が選択した研究課題を分析・考察し、論理的な文章を執筆できるようになる。

卒業論文の執筆・提出を目的とし、各々の学生が選択したテーマに応じて、演習などにおいて指導する。

卒業論文および口述試問の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_142090000&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学概論Ⅰ：考古学はどのような学問か

相原 嘉之

前期 水曜日 2時限 C205

考古学の目的と基本的な方法の理解

日本では埋蔵文化財保護の一環で遺跡の発掘調査が行われており、考古学は歴史研究において大きな役割を果たしている。この講義では、奈良文化財研究所・滋賀県・明日香村の各機関で埋蔵文化財調査や文化財保護行政に携わった実績を生かし、考古学本来の目的やその基本的な研究法、さらには現代社会における考古学の役割について学ぶ。

複数回実施するレポート作成において、講義の内容を正確に理解しているかについて問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144403100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学概論Ⅱ：考古学による日本列島史

相原 嘉之

後期 水曜日 2時限 C205

考古学によって明らかにされた日本史を学び、時代ごとの特徴と現代につながる人びとの歴史について理解する。

前期の考古学概論Ⅰに続いて、奈良文化財研究所・滋賀県・明日香村の調査機関・文化財保護行政での実績を生かして、遺跡の発掘調査により明らかにされた旧石器時代から中近世までの具体的な通史を学ぶ。現代の地域社会は過去の歴史の蓄積のもとに成立しているものであり、時代ごとの考古資料のあり方を理解することが重要である。

複数回実施するレポート作成において、講義の内容を正確に理解しているかを問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144403200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



美術史概論Ⅰ：日本美術史の成立と美術史の方法論

大河内 智之

前期 水曜日 3時限 C205

近代期における文化財保護と日本美術史の成立、そして美術史の方法論についての基礎的な知識を獲得し、美術史の基本的な専門用語を理解するとともに、これら内容を通じて自らの文化的背景について考える教養を身につける。

近代における文化財保護の歴史を確認することを通じて日本美術史の成立過程を把握し、文化財学としての美術史のあり方を理解する。その上で特に教美術の観点から、注目される作品・事象を取り上げ、美術史の方法論について検討する。学芸員として多様な美術工芸資料に接してきた立場から、彫刻資料(仏像・神像)を中心としつつ、適宜絵画・工芸資料も取り上げて講義を進め、文化財が持つ豊かな情報を美術の視点から読み取る方法を学ぶ。テキストは美術史概論Ⅱと共通である。

講義時に実施する学習到達度確認50%、レポート50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144404100&opi=se0020&syw=1

教科書 増補新装 カラー版日本美術史 / 辻 惟雄・美術出版社、2003・978-4568400656 適宜プリントを配布する



美術史概論Ⅱ：美術史学とは何かを学び、古代から近代にいたる日本美術史 米沢 玲

後期 水曜日 3時限 C205

1. 作品をよく観察し、客観的に記述できるようになる。 2. 作品をよく理解するために様式論、図像学に関する基礎的な知識を得る。

美術史学の基本的な知識を得るために、e-learningにより簡単なクイズを繰り返し知識の定着を試みる。同時に、綿密な観察と客観的な記述が必要であることを文章作成指導を通じて学ぶ。美術史学とは美術に関するトリビアルな知識を学んだり、感想文を書くものではないことを理解する。講義内容は見学すべき展覧会の会期によって前後する場合があります。

講義中の課題100%。講義と教科書で学んだ基礎知識を穴埋め問題や選択肢問題で数値化して評価する。論述課題の場合の評価基準は講義中に配付する「日本語表現チェックリスト」に従う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144404200&opi=se0020&syw=1

教科書 増補新装 カラー版日本美術史 / 辻 惟雄・美術出版社、2003・978-4568400656



史料学概論Ⅰ：日本古代の編纂物と古文書

吉川 敏子

前期 水曜日 1時限 C205

本授業科目は本学が定めるディプロマ・ポリシーの1・3を重視する。編纂物・古文書の概念と史料性格を学び、文化財学における史料学の意義を理解する。

歴史を書くための材料である史料には、さまざまな種類があるが、なかでも重要なのは、情報量に優る文献史料である。この講義では、日本古代の文献史料の中から、編纂物と古文書とを取り上げて、そこから読み取れる情報や問題点を解説し、史料学とは何かということを考える。

授業中に理解度を確認する小テストを3回行い評価する。配点は1回目と2回目が30点、3回目が40点。私語をする、無関係なことをして授業の雰囲気悪くするなどなどの行為が見られる場合は、減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144405100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



史料学概論Ⅱ：物品に記された日本古代の文字

吉川 敏子

後期 水曜日 1時限 C205

本授業科目は本学が定めるディプロマ・ポリシーの1・3を重視する。木簡・金石文・絵図の史料性格を理解する。

歴史を書くための材料である史料には、さまざまな種類があるが、なかでも重要なのは、情報量に優る文献史料である。この講義では、日本古代の文献史料の中から、金石文・絵図・木簡を例にとりながら、その具体的な価値や問題点を解説し、史料学とは何かを考える。

授業中に理解度を確認する小テストを3回行い評価する。配点は1回目と2回目が30点、3回目が40点。私語をする、無関係なことをして授業の雰囲気悪くするなどなどの行為が見られる場合は、減点対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144405200&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



保存科学概論Ⅰ：保存科学研究の歴史

魚島 純一

前期 水曜日 4時限 C205

日本の保存科学研究の形成とその理念を学ぶ

法隆寺金堂壁画の保存方法の研究にはじまった保存科学研究の歴史をたどり、現状と新たに提起される課題、そして保存科学のこれからについて考える。保存科学担当学芸員として博物館に勤務した経験に基づき、文化財の現場での保存科学についても講義する。

日常の授業態度(授業に対する積極性、講義中の質問などを重視)および授業中に実施する学習到達度確認(講義の内容を正確に把握できているか)等により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144406100&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学概論Ⅱ：保存科学研究の成果と現状を学び、課題を考える。

比佐 陽一郎

後期 水曜日 4時限 C205

文化財保存科学の基礎を知るとともに、文化財研究に多様な役割を果たす保存科学研究を理解する。

文化財を後世に伝えるためには、保存技術や材料のみならず、文化財の材質、構造、製作技法、年代、製作地、劣化のメカニズムを調べるとともに、適切な保存環境を整える必要がある。また、文化財のもつ価値を知り、確固とした理念のもとに保存しなければならない。民間企業や文化財行政での勤務経験をもとに、保存科学の諸分野の研究成果を紹介し、研究の基本と応用、課題などについて最新の話題を交えながら講義する。

日常の授業態度(授業に対する積極性、講義中の質問などを重視)および授業中に実施する学習到達度確認(講義の内容を正確に把握できているか)等により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144406200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



考古学特殊講義(一)：弥生・古墳時代鉄製武器の研究

豊島 直博

前期 金曜日 3時限 C202

鉄製武器を通じて弥生・古墳時代の政治、社会を理解する

弥生時代と古墳時代の遺跡から出土した鉄製武器を手がかりに、当時の政治と社会を考える

授業の内容に関するレポート(A4で1枚程度)、授業中の質疑応答によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502001&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学特殊講義(二)：倭人の祭祀考古学

小林 青樹

後期 月曜日 4時限 C101

縄文・弥生時代を中心とした時代における祭祀考古学の基本的な方法について考える。

縄文時代と弥生時代における人々の祭祀・儀礼・宗教・信仰といった精神世界、心の世界を研究する認知考古学や祭祀考古学の基本的な方法について解説する。そして、古墳時代にいたる日本の先史時代の祭祀・儀礼の意味を考える。

小レポート30%(毎回の講義内容を把握しているか)、レポート70%(学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502002&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(三)：縄文文化と弥生文化

小林 青樹

前期 月曜日 4時限 C202

縄文時代と弥生時代の遺跡や遺物から当時の人々生活や社会を復元する基本的な方法について考える。また自らの研究を進める上で、縄文文化と弥生文化に関する知識の向上を目指す。

縄文時代と弥生時代の遺跡や遺物から、どのように縄文人の生活や社会の復元ができるのか。土器の見方、動植物考古学など、縄文文化と弥生文化に関する基本的な方法について取り上げる。

小レポート30%(毎回の講義内容を把握しているか)、レポート70%(学んだ課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、必要な情報を収集し自分の考えを展開できるか)。特にオリジナリティを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502003&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(四)：古墳時代の葬制からみた社会と思想

岡林 孝作

後期 水曜日 4時限 C301

古墳時代の主要な葬制要素(埋葬施設・棺・葬制秩序・葬送儀礼)を体系的に理解する。葬制分析を通じて、当時の社会および死生観について、先行研究を踏まえた自らの見解を論理的に論述できる。

古墳時代の葬制を対象とした考古学的分析を通じて、当該時代の社会構造、権力構造、死生観の実態を考察する。具体的には、竪穴式石室・横穴式石室などの埋葬施設、木棺・石棺の諸類型、副葬品配列やモガリ儀礼といった葬送儀礼を主たる分析対象とし、階層性・地域性・時期的変遷に着目した比較検討を行う。考古資料の検討を基盤としつつ、文献史学、文化人類学、文化財科学との接点も意識し、古墳時代葬制の総合的理解を目指すとともに、資料読解力および論理的思考力の深化を図る。

授業への積極性など平常点(40%)、授業の内容に関するレポート(到達目標に照らし、考古資料の理解度および論理的思考力・表現力を総合的に評価)(60%)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502004&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



考古学特殊講義(五)：日本における須恵器生産の開始と展開

植野 浩三

後期 木曜日 3時限 C301

須恵器生産の開始と展開について、東アジアや古墳時代の歴史、手工業生産史の視点から理解を深める。

日本の窯業生産、特に須恵器生産の始まりや展開について、4～6世紀を中心に紹介する。須恵器研究に関連する編年や年代論、製作技術、手工業生産についての研究史を紐解いて解説し、地方窯の成立と展開(拡散)にいたるまでの研究成果を論じる。また、須恵器の源流である韓国の窯業生産や陶質土器についても講義し、海外との関係についても紹介する。

100%学習到達度確認による評価。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502005&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(六)：埋蔵文化財行政学 史跡指定と専門知識

近江 俊秀

前期 水曜日 3時限 C103

重要な遺跡の調査から史跡指定に至るまでの流れを理解するとともに、史跡指定にあたり専門職員に求められるスキルや能力を理解することを目標とする。

重要な遺跡を制度によって保護する方法として文化財保護法第109条による史跡指定がある。史跡指定のために必要な調査と、史跡として価値づけを行うために必要な調査について実際に教員が担当した遺跡を例にあげ、必要な調査と遺跡の評価の仕方について学ぶ。特に、考古学に加え文献史料等、遺跡の評価を多角的に行う必要がある寺院跡など古代の遺跡の史跡指定を例として取り上げる。

平常点50%(講義中の質問など、積極的な態度を重視)、レポート50%(遺跡保護のために必要な専門知識についての理解度、専門職員が果たすべき役割についての理解度を評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502006&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(七)：埋蔵文化財行政学 史跡指定と専門知識

近江 俊秀

後期 月曜日 5時限 B224

重要な遺跡の調査から史跡指定に至るまでの流れを理解するとともに、史跡指定にあたり専門職員に求められるスキルや能力を理解することを目標とする。

重要な遺跡を制度によって保護する方法として文化財保護法第109条による史跡指定がある。史跡指定のために必要な調査と、史跡として価値づけを行うために必要な調査について実際に教員が担当した遺跡を例にあげ、必要な調査と遺跡の評価の仕方について学ぶ。特に、考古学に加え文献史料等、遺跡の評価を多角的に行う必要がある城跡など中世以降の遺跡の史跡指定を例として取り上げる。

平常点50%(講義中の質問など、積極的な態度を重視)、レポート50%(遺跡保護のために必要な専門知識についての理解度、専門職員が果たすべき役割についての理解度を評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502007&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(八)：古代都城の考古学的研究とその保存活用

岩戸 晶子

前期 水曜日 5時限 C
206

一つの遺跡について古代から現代に至る歴史について学び、その特質や意義について自分なりの考えを持つ。

奈良大学のすぐ近くにある平城宮跡は世界遺産に登録され、特別史跡にも指定されています。平城宮跡は、その保存過程や保存状態でも特筆すべき遺跡です。文化財が現存する意味と、それを護り伝えていくためのシステムや保存活用についても考えます。

学習到達度60%および授業への積極性40%で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502008&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学特殊講義(九)：城郭考古学入門

千田 嘉博

後期 その他 その他 C102

城郭考古学から歴史を考えてまちづくりに活かす。

城郭考古学は、現在もっとも求められている考古学の分野である。しかし発掘調査だけでなく、遺構の地表面観察資料、絵図・地図資料、文字史料など多様な資料群を適切に取り扱い、研究を進めることが必要になる。この講義では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の城を中心に引き上げ、城から歴史を究明し、城を守って、これからの社会に活かす方法を論じる。

講義内に行う講義アンケート(講義内に提出)によって、平常時の取り組みと理解を評価する(評価比率30%)。最終の講義時間内に学習到達度確認を行い、城郭考古学の理解度を基準に評価する(評価比率70%)。信長・秀吉・家康の城を資料として、歴史をどう考えるかについてを問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144502009&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史特殊講義(一)：仏教絵画を見る

米沢 玲

後期 金曜日 4時限 C205

平安・鎌倉時代の代表的な仏教絵画について、画題や技法、絵画様式、思想背景などを学び、仏教絵画の基礎的な鑑賞・研究方法を身につける。

仏教絵画の代表的な作品の内容、絵画様式、制作の状況などを講説する。順番は入れ替わる可能性がある。e-learningにより資料配付、参考サイトの掲示も行う。e-learningの登録コードは講義開始前にポータルで掲示する。

平常e-learning課題60% レポート40%(レポートの評価基準は、講義中に配付する「日本語表現チェックリスト」の基準に従う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144503001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史特殊講義(二)：正倉院と正倉院宝物

関根 俊一

前期 月曜日 1時限 C301

・正倉院および宝物の伝来や由緒・歴史等が理解できる ・様々な工芸技法、加飾技法が理解できる ・宝物の源流、制作地および「世界性(国際性)」が理解できる ・正倉院の宝物の伝来を文化財の保存という視点で理解できる

正倉院の歴史、建物(校倉)を概観し、ここに伝来した宝物について様々な視点から考察する。毎回プリントを配布し、パワーポイントで画像を提示しながら、講義形式で進めるが、随時、コメントシートの提出を求め受講者の理解度を確認する。必要に応じて正倉院宝物以外の工芸品についても言及する。「モノ」から情報を読み取る力が身につくよう配慮しながら進める。「カラー印刷」した配布プリントは、画像が細部まで必ずしも明瞭でないため、必要に応じて「参考書」等に掲載の画像で確認しておくこと。

学習到達度確認(50%)、コメントシート等(35%)、授業への取り組み姿勢(15%)で総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144503002&opi=se0020&syw=1

教科書



美術史特殊講義(三)：日本・東洋美術制作論

米屋 優

後期 金曜日 2時限 C204

日本や東洋の美術に係わる重要な言説をおさえ、その歴史的な意義を理解する。

古代から近代に至る東洋、日本の美術の制作に関する言説を読みながら、当時の人々が美術を如何に捉えていたか、美術を制作することの意味をどのように考えていたかを探る。そのことを通じて、日本における近代的な自我を持った美術家が誕生する過程を検証する。

毎回、授業時間中に小テストを行い、学習到達度確認を行う。以上の平常点と最終授業日に実施する学習到達度確認により成績を評価する。出席数が不足していた(6回以上の欠席)場合は評価できない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144503003&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回資料を配布する



美術史特殊講義(四)：江戸時代のやまと絵について

宮崎 もも

前期 水曜日 2時限 C301

主に以下の三点を目標とします。

- ①江戸時代の絵画史に関する基本事項を習得すること。
- ②やまと絵に関する理解を深めること。
- ③江戸時代の絵画を自らの基準をもって鑑賞し、考察・論述できるようになること。

江戸時代のやまと絵の展開について注目する授業です。

江戸時代のやまと絵系の流派—土佐派・住吉派・琳派・復古やまと絵派—を中心にとりあげます。

江戸時代の絵画史の概要をおさえつつ、やまと絵系の絵師たちの代表的作品を詳しく観察し、その表現の特色や制作背景について考察します。

授業ごとの小問題への対応 30点

定期試験の点数 70点

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144503004&opi=se0020&syw=1

教科書



美術史特殊講義(五)：東アジアの壁画—文化財学としての視点による壁画 岡田 健

前期 月曜日 2時限 C202

以下の2点を目標とする。

- ①東アジア全域を包含する美術史として壁画芸術を理解する。
- ②壁画材料と絵画技法に関するアプローチによって、文化財を構造的・復元的に見る方法を理解する。

従来の壁画研究は、考古学・美術史・宗教学・歴史学・保存科学・修復技術の各分野が個別にその成果を出してきた。しかし壁画芸術がその主題を図像と様式によって表現できるのは、それを実現するための壁画材料と絵画技法があったからである。また、壁画は埋葬空間や宗教空間に配置され、被葬者や副葬品、仏像・仏具などとともにその機能を果たしたことを理解する必要がある。いっぽう古代の壁画はすべてが著しく劣化しており、これを復元的に見ることができない。

本講義では、長年にわたる敦煌莫高窟をはじめとする中国壁画の調査研究を实践し、高松塚古墳壁画・キトラ古墳壁画の保存修復事業、法隆寺金堂壁の保存活用事業に関わった経験等を活かし、文化財学としての総合的な視点を持って壁画芸術を見ることを論じる。

最終的にレポートによって15回の授業の理解度を評価して成績を判定する。他の概説書やAIなどを引用するだけのレポートには厳しい評価をする。出席数が不足していたり(6回以上の欠席)、レポートの未提出がある場合は評価できない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144503005&opi=se0020&syw=1

教科書



史料学特殊講義：日本古代の馬と牧について考える

吉川 敏子

前期 金曜日 1時限 B211

本授業は、本学の定めるディプロマ・ポリシーのうち、「2.問題発見・解決力」に重点を置く。積極的に歴史上の問題点を見出し、史料に基づき、考える力を身につける。

馬の伝来からはじめて、律令国家による馬の統制や、制度の変遷などについて、史学や考古学の先行研究もふまえて講義する。配付される史料や参考文献を用いて考察し、期末レポートとしてまとめることを課す。

期末レポートで評価する。レポートでは史料を用いて考察し、正しい文章で論理的に叙述することを求めるので、受講や読書を通じて、史料の読解力や思考力を養い、十分な推敲をすることが求められる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144504000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



保存科学特殊講義(一)：これから文化財保全に関わる方々の基礎的素養として、文化財を「科学の目」で捉える視点を養います。各材質の劣化プロセスを科学的に理解するだけでなく、最新の分析技術と保存倫理、さらには伝統技法と科学的知見の融合について、実地研修を含めた多角的な視点から講義を行います。

後期 火曜日 3時限 C203

- ①文化財を構成する材料ごとの劣化現象を、自然科学的(客観的)に記述できる。
- ②「情報の獲得」と「資料の保存」のバランスを、保存倫理の観点から論理的に考察できる。
- ③伝統的な修理技法と最新の科学的知見を組み合わせる意義について、具体例を挙げて説明できる。

本授業では、参考テキストやスライドを用いた座学を中心に、文化財資料を構成する材料の特性や劣化のメカニズムについて科学的な視点から学びます。講義では劣化した資料の画像や具体的な事例を多く提示し、劣化要因の特定や分析手法について考察を深めます。

また教室での学びに加え、実際に文化財の修理・保全が行われている現場での学外研修を実施します。本物を直接見て、専門家の解説を聞くことで、伝統技法と最新科学の融合や保存倫理のあり方を体感的に理解することを目指します。

これらの過程を通じ、文化財の保存に関わる基礎的な思考力・判断力を養い、最終的なレポート課題において自らの考えを論理的に記述できる能力を身につけます。

- 1 出席(出席票)
- 2 レポート課題の提出

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144505001&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学特殊講義(二)：日本の書画文化財を守るための保存科学とその役割 金 旻貞

前期 月曜日 1時限 C202

書画文化財に関連する基本的な用語を習得し、保存科学がどのように書画文化財の保存に関わるかを理解する。具体的な視点を持ち、実践的な保存方法を考える能力を養う。

本講義では、紙、絹、木などの自然素材からレーヨンなどの工業製品まで、多様な素材で作られた書画文化財の保存方法について学ぶ。特に書画文化財に焦点を当て、保存科学の視点を取り入れた授業を通じて、文化財保存の重要性和技術を深めることを目的としている。保存科学が文化財保護において果たす役割を理解し、理論だけでなく実践的な保存方法を学ぶことで、学生は保存科学の実務的な意義を実感できるようになる。

レスポンスカード: 45%

各回の授業後に提出するレスポンスカードは、授業内容に対する理解を深め、学びを定着させるための重要な評価項目である。評価は3点×15回=45点で、全体の45%を占める。

定期試験: 55%

16週目の前期試験期間に実施される定期試験は、最終評価の55%を占める。試験内容は授業で学んだ内容に基づくが、レポート課題に変更される場合があるため、その際は事前に案内がある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144505002&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学特殊講義(三)：文化財の自然科学的調査の目的や方法に関する 渡辺 智恵美

後期 水曜日 3時限 C301

さまざまな自然科学的調査の概要を理解し、それぞれの文化財に適切な調査方法を提案できるようになること、調査により得られたデータや情報を考察することができるようになることを目標とする。

自然科学的手法を用いて文化財を調査する文化財科学という分野を理解するために、材質や産地、損傷状況や製作技法などの目的に応じた調査方法について、事例をあげながら講義する。また、文化財分野への応用の歴史や今後の方向性、調査の理念についても理解できるようにする。あわせて、調査用機器を見学し、機器操作や試料の作製方法等についてもより理解を深める。

授業への取り組み方(一例：予習用に出された課題の内容と提出状況、質問など)、授業中に実施する学習到達度小テスト、および期末レポートにより評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144505003&opi=se0020&syw=1

教科書



保存科学特殊講義(四)：考古学における科学的調査研究と保存科学

今津 節生

後期 月曜日 3時限 C301

ディプロマ・ポリシーに従い、主体的に活躍できる有為の人材育成を目的とする。具体的には、①考古学研究における科学調査や保存科学の方法と基礎理論について説明できること。②科学的調査や保存科学的研究について、理論に基づきながら説明できること。

考古学研究の中でも科学的な調査方法の開発によって次々に新しい研究が蓄積されている。また保存科学の発達によって多くの遺物が保存されている。講義では遺構や遺物の科学的調査と保存の理論と実務について学ぶ。具体的には、国宝藤ノ木古墳や重要文化財黒塚古墳、国史跡 鷹島神崎海底遺跡をはじめ遺構・遺物の科学的調査や保存処理の実務経験を通して得た理論を、様々な発掘現場でどのように応用・活用されているかを講義する。授業内で基礎的な実験や討論も行う。

ディプロマ・ポリシーに従い、主体的に活躍できる有為の人材を育成するために必要な基礎的理論の習得を基準とする。毎回の授業について指示した3項目のポイントに関する振り返りコメントを各100字で記述して提出する(14回)。課題の充実度を知るために、予習課題・自分の意見・自主研究レポートを各100字で記述し提出する。評価基準は記述の適切さ(50%)指示された形式・字数の厳守(50%)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144505004&opi=se0020&syw=1

教科書 自作の資料と視聴覚コンテンツ(PPT)を使用する



文化財情報学：埋蔵文化財に係る様々な情報発信

近江 俊秀

前期 月曜日 5時限 C204

埋蔵文化財の価値を広く一般に知らせるため、各地で行われている情報発信等の取り組みを知ることを通じて、埋蔵文化財の活用の必要性和方法について理解する。

様々な活用の方法に触れ、多くの方々に埋蔵文化財の価値を理解してもらうためのアイデアを受講者同士の討論を通じて生み出す。

授業内での発表、レポート課題、学習到達度確認を基に総合的に評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144606000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財修景学：史跡・名勝などの記念物、文化財建造物・重要伝統的建造物 講師(文化財修景学) 後期 火曜日 2時限 C103
群保存地区、重要文化的景観の保存・活用

不動産の文化財の保存・活用の理念についての基礎知識を身に付け、これに伴う実務的な事業(整備や修景)の在り方を具体例を通じて学ぶ。

史跡等整備の歴史、理念、事業の流れ、管理・運営、公開・活用というマネジメントや、文化財建造物、重要伝統的建造物群保存地区、名勝、重要文化的景観の保存と活用について、奈良文化財研究所の各専門分野の実務者から学ぶ。また身近な特別史跡であり、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産である平城宮跡について座学および臨地講義を通じて学ぶ。

試験成績と現地見学の参加状況で評価する。座学での出欠は、受験資格を有しているか(授業回数の3分の2以上の出席)の確認のためにおこなう。試験では講義で触れた語句等の基本的理解を問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144607000&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財分析学：文化財の保存・調査に利用されるさまざまな科学的分析手法 魚島 純一
とその調査からわかることについて学ぶ

後期 水曜日 2時限 C203

文化財を科学的に分析することの意義について理解する

文化財の調査に応用される科学的分析法は数多くあり、特徴を理解した上で使い分けが必要である。

文化財に応用される分析法について、その原理をはじめ、何がわかり、そして何がわからないのかを具体例をもとに学ぶ。

保存科学担当学芸員として博物館に勤務した経験に基づき、実際の現場における文化財分析の考え方についても講義する。

日常の授業態度(授業に対する積極性、講義中の質問などを重視)および授業中に実施する学習到達度確認(講義の内容を正確に把握できているか)等により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144608000&opi=se0020&syw=1

教科書



文化財環境学：文化財の保存に適した環境とその環境を維持する方法につ 高畑 誠
いて、文化財保存の現場で取り組まれている事例をもとに学ぶ。

前期 水曜日 5時限 C301

文化財を保存するために現場で実践されている調査や処置の実態について把握し、文化財に適した環境の維持管理について理解する。

博物館など文化財を保管している現場では、文化財を保存するためにどういった取り組みが行なわれているのか、正倉院事務所における事例とともに、文化財に対して適切な保存環境を構築するための取り組みについて学ぶ。

平常点、学習到達度を総合的に評価する。評価基準は平常点40%(授業に関する質問など積極的な態度を重視)、各授業後の学習到達度確認60%(各授業内容を正しく理解しているかを評価)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144609000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



文化財修復学：文化財防災の方法—文化財に関する総合的な理解と防災の 岡田 健
ための実践的方法論

前期 月曜日 4時限 C301

文化財を災害から守るための方法を体系的に学び、将来文化財に関係する職業に就き、あるいは一市民として暮らす中で、それぞれの立場において地域の文化財防災に関与し、貢献する人材となることを目指すため、その基礎を身につける。

文化財研究・文化財保護に関する多様な実務経験をもとに授業を行う。文化財が現代社会において、「地域の文化財」として保護される意味を理解し、その保護に関する制度的・体系的・論理的な方法を正しく認識する。これを基盤として、災害発生に備えた防災・減災のための有効な対策を講じ、災害発生時の迅速かつ有効な救出と保全活動を実現するための基本的な知識を身に付ける。数回程度レポート提出を課し、各自へのコメントを通じて、理解度を高める方式をとる。

出席50%、課題レポートの内容50%(正確性、客観性、論理性)による評価を行う。6回以上欠席した者、60%以上課題の提出を怠った者には単位を認めない。レポートの課題は、授業時に直接伝達する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144610000&opi=se0020&syw=1

教科書



考古学研究法：考古学研究の基礎的実践

相原 嘉之

後期 月曜日 1時限 B224

考古学の基礎的な調査・研究方法を理解する

考古学研究は、遺跡の発掘調査を的確に行い、出土した遺構・遺物を整理して、報告書を作成することにより遂行することができる。ここでは考古学概論と考古学実習の間をつなぐ授業で、座学・学外授業・整理作業によって、考古学の調査・研究方法を学ぶものである。

レポートと、授業における作業への関わり方により評価する。
レポートは期間中に不定期に複数回実施する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144611000&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



先史考古学：古墳から読み解く古墳時代社会

岡林 孝作

前期 水曜日 2時限 C201

古墳の構造や副葬品などに関する基礎的知識を習得し、古墳時代の社会構造やその変化をめぐる考古学的議論の概要を説明できるようになる。また、考古資料の性格や制約を踏まえ、考古学的手法にもとづいて歴史を解釈する基礎的能力を身につける。

本授業では、古墳を単なる墓としてではなく、当時の社会や権力のあり方を示す資料として取り上げ、古墳時代の社会像を考える。古墳の形や構造、埴輪や副葬品、対外交渉などを具体的に検討しながら、古墳が果たした社会的な役割とその変化、古代国家形成へと至る過程を学ぶ。博物館見学も行い、実物資料の観察を通じて考古学的な考え方への理解を深める。

授業への積極性など平常点(40%)、授業の内容に関するレポート(到達目標に照らし、考古資料の理解度および論理的思考力・表現力を総合的に評価)(60%)によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144612000&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



歴史考古学：東アジアにおける日本中世沿海部の低地開発

小山田 宏一

後期 水曜日 5時限 C202

中国・朝鮮半島の事例と比較して、日本中世沿海部でおこなわれた低地開発の技術系譜と、海でつながる東アジアの技術交流についての理解を深める。

発掘調査成果、文献、絵図などを総合的に扱う。日本・中国・朝鮮半島の沿海部における低地開発方式は、多くの共通点があること、また各地に共通する開発方式が生まれた歴史的背景について理解を深める。

授業中に実施する学習到達度確認による。学習到達度確認では、①低地開発にかかわる基本概念や語句の理解、②講義内容を正確に把握しているかを問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144613000&opi=se0020&syw=1

教科書



仏教考古学：仏教に関わる遺跡・遺構・遺物について、考古学的に概説する。 狭川 真一

前期 木曜日 2時限 C105

仏教伝来以来、日本の文化には深く仏教が関わってきたため、遺跡や遺物にも仏教の影響下によるものが多い。身近に存在するもののなかに仏教の影響を見出すことができるようになること。

仏教に関わる遺跡・遺構・遺物について、一般的な概説ではなく、各回毎にテーマを設定し、詳細に解説を行う。日本人にとって仏教はかなり身近な宗教であり、日本文化の中に深く染み込んでいる。そのことに気づくこともこの授業の重要性である。

通常時：出席カードの空欄に毎回短いまとめを書き、最終回の学習到達度確認と合わせて評価します。オンデマンド授業：通常の授業をやむを得ず休講した場合にその代替授業として実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144614000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



世界考古学：海外の考古学

岩戸 晶子

後期 水曜日 3時限 C101

特にアジアの考古学の成果について知識を深め、主に日本との交流について理解を深める

韓国やベトナムの考古学について各時代ごとに都城・寺院、古墳、その他遺物に関するトピックを取り上げ、日本を含めたアジア全体の交流を考古学的な視点で把握する。

学外見学のレポート課題、学習到達度の確認をします。
その評価及び授業への積極性をあわせて評価します。https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144615000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



東洋美術史：東洋美術史の一環として中国美術を取り上げ概観する。

西尾 歩

後期 水曜日 4時限 C202

中国美術の造形作品を美術史的に理解する。

東アジアの中心的役割を担ってきた中国の美術(主に絵画)を美術史的に考察する。具体的には、中国古代から近世まで、各時代の代表的・特徴的な作品(あるいは文献)を取り上げて説明する。また授業全体として通史的に概観し、中国美術の大きな流れを確認する。講義では、画像のプロジェクターによる映写を含め、視覚教材を活用して中国美術についての理解を深めたい。

期末試験100%:授業内容が理解できているかどうかをみて評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144616000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし。



日本彫刻史：日本彫刻史の諸相

大河内 智之

前期 金曜日 4時限 C203

日本文化の核となる宗教文化の表象である宗教美術のうち、彫刻資料についての基礎的な知識を獲得し、自らの文化的背景について考える教養を身につける。

この講義では日本彫刻史について、仏像・神像・仮面などさまざまな種類の資料を取り上げる。特に仏像については奈良という地域の特徴を踏まえ、鎌倉時代の仏師運慶の出現にいたる仏像様式の変遷について取り上げる。神像や仮面についても、美術資料と地域史という観点を重視し、美術史的方法論による作品の資料化と歴史叙述の実践的方法について教授する。

講義時に実施する学習到達度確認50%、レポート50%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144617000&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜プリントを配布する



日本絵画史：日本絵画史上の代表作個別解説

米沢 玲

前期 水曜日 1時限 C203

各時代の代表作の特徴を理解し説明できるようになる。

日本絵画の主題・素材・技法・形式を概観した後、奈良時代から江戸時代まで、各時代の特徴を最もよく表す作品を数点ずつとりあげ、その特質を論じる。

授業中に実施する学習到達度確認60% レポート40%(レポートの評価基準は、講義中に配付する「チェックリスト」に従う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144618000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



工芸史：日本陶磁史

善田 のぶ代

後期 木曜日 2時限 C105

陶磁器についての基礎知識を身につける。陶磁史では日本独自の様式が築かれた中・近世の陶磁器を中心に、美術史的な視点のみならず技術的な側面も併せて理解する。

陶磁器の基礎知識を解説する。陶磁史を概観し、とくに日本独自の様式が築かれた桃山時代以降の陶磁器については文化史的な背景を踏まえて、伝世品だけでなく、考古学の分野における資料も採り入れて授業を進める。また日本の陶磁器の大半は中国、朝鮮半島からの技術移入によって成り立っているため、それらの影響について考える。授業は講義形式で行ない、また作品の理解を深めるためにパワーポイントなどの映像資料を活用する。

学期末に課すレポートと平常点(授業に積極的に参加しているかなど)を総合的に判断して評価する。レポートは課題をいくつか提示するので、その中から最も興味を抱いた課題を選び、積極的に資料等を調べて作成すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144619000&opi=se0020&syw=1

教科書



文献史料学：古代・中世古文書の読解

青木 貴史

後期 水曜日 5時限 C104

古代・中世の古文書に記されたくずし字を正確に読解し、記載内容を理解するとともに、古文書の様式・機能など基礎的な知識を身につける。

古文書を正確に読解する能力は、日本史研究を行うためには身につけなければならない能力の一つである。本講義では、鎌倉～戦国期の古文書を取り上げ、その熟読を通じてくずし字を正確に解読する能力を身につけるとともに、その記載内容や様式、機能などを考察する。

平常点40%(講義で取り上げるテキストの読解に対する積極的な態度を重視)、学習到達度確認60%(古文書を読解するための基本的な能力を有しているかどうかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144620000&opi=se0020&syw=1

教科書



宗教文化史：人の「死」に関わる日本の宗教文化(特に墓)を題材に、それぞれ 狭川 真一
れの時代に生きた人々が「死」について如何に考えていたかを考察する。

後期 木曜日 2時限 C205

社会的地位、経済的格差などを超越して「死」は必ずやってくる。過去の人々が考えた死後の世界観について物質文化を通じて学び、現代社会における人の生と死について考える機会とする。

「死」を認識し、死者を弔うことのできる生物は人間だけである。墓の造営・葬送儀礼・墓石建立・先祖供養などの事例を通じて、日本人の古代から近世における死生観を「墓」に題材を求め、考古学的手法を中心に用いて、当時の人々の心に迫る。

通常時：出席カードの空欄に毎回短いまとめを書き、最終回に学習到達度確認で評価します。オンデマンド授業：通常の授業をやむを得ず休講した場合にさおの代替授業として実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144621000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



世界遺産学：世界遺産はなぜ人類に、地域に必要なのか。その仕組みや事例を題材に、世界遺産を守り、活用し、次世代へ継承する意味を学びます。

前期 土曜日 1時限 C203

文化財に関わる専門職になる、ならないに関わらず、かけがいのない文化遺産を次世代に継承するために必要な基本的な知識の習得と、意義を理解できる人材となることを目指していただきます。

世界遺産の魅力に触れ、まずは知的好奇心を刺激しましょう。講義では資料を配布しますが、さまざまな世界遺産の様子を紹介することから、基本的にプレゼンテーションソフトによる画面投影により、授業を進めます。投影した画像に口頭でのみ説明することが多くなる場合もありますので、その都度、筆録するように心がけてください。

海外の世界遺産の資産1つを選択し、まとめたレポートの提出(テーマ設定・中間レポート・最終レポートの3回を予定)による講義内容の理解度の評価を主とし、質問や発言などの受講態度の積極性の有無などを加味します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144621500&opi=se0020&syw=1

教科書



建築史：日本建築の古代から近世までの歴史を、技術的な側面と、文化的側面に着目しながら理解してもらう。

前期 月曜日 1時限 C203

日本建築を歴史の様々な現象と結びつけて理解すること。また歴史的建造物の特質と意義を自らの目で見て判断できるようになること。

日本建築の構造・形式・意匠の変遷を、その社会的・文化的背景を踏まえつつ、時代順に講義する。

レポートによる。講義内容の理解、関連学術書の学習、実際の建物の見学などの状況を見て、評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144622000&opi=se0020&syw=1

教科書 日本建築史図集



心理学概論：人の心の基本的な仕組みと働き

林 郷子

前期 火曜日 3時限 C105

心理学における基礎的な知識を修得する。

心理学とは、人のこころの動きや、そこから生じる行動について探求しようとする学問である。しかし、その領域は多岐にわたり、どのようにこころに接近し、とらえようとするかについては、さまざまな考え方がある。本講義では、主要な領域における代表的な研究を紹介しながら、心理学全般について概観する。

授業ごとに行う課題(講義内容の理解度)と、授業のまとめとして行う到達度確認(基本的概念の理解度)により、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152001500&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



社会心理学概論：社会心理学の代表的な理論や研究例を概観し、社会心理学的な考え方を理解する。

後期 火曜日 4時限 C204

- (1)対人関係や社会における人間の心理や行動への理解を深める。
- (2)社会における諸問題を社会心理学的に捉える視点を身につける。

日常生活において、私たちは身近な他者や集団などの社会的な環境からの影響を常に受けて思考し、判断し、行動している。私たちの心の働きに社会的環境がどのように影響しているのかに関して、代表的な理論や研究例を中心に概観し、社会心理学の基礎的な知識を習得する。

授業内小課題(40%程度)(各回の授業内容の理解度を評価)、筆記試験(60%程度)(社会心理学の基礎的な概念理解を評価)によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152002000&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



臨床心理学概論：臨床心理学に関する概説

鈴木 孝

前期 水曜日 4時限 C203

臨床心理学の理論、支援方法、問題について理解し説明できる。

- ①臨床心理学の基礎
- ②臨床心理学の理論と実際
- ③心理的障害の理解と支援

理解度確認テスト(60%)、コメントシートの記載内容や受講態度(40%)で評価する。コメントシートは授業の終わりに毎回記載してもらう。第15回の授業に理解度確認テストを実施する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152003000&opi=se0020&syw=1

教科書



基礎演習I(一)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 岡部 純子
滑に適應しよう。

前期 水曜日 3時限 C304

大学での学びのスタイルに適應すること。
具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015101&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(二)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 村上 幸史
滑に適應しよう。

前期 水曜日 3時限 C303

大学での学びのスタイルに適應すること。
具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015102&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習I(三)：大学における学びの姿勢と技法を習得し、大学生活に早く円 太田 仁
滑に適應しよう。

前期 水曜日 3時限 C306

大学での学びのスタイルに適應すること。
具体的には、資料活用、レポート作成、プレゼンテーション(口頭発表)ができるようになることを目指します。

大学生活にスムーズに適應するには、高校までの勉強と大学での学びとの違いを理解した上で、意欲的に学ぶ姿勢を持ち、学びの技法を習得することが求められます。大学の学びにおいては、自ら問題を発見し批判的に考える、自律的な態度が重要です。本授業では、このような姿勢を自らの内に作り、学びを深めるための様々な技能を習得することを目指します。具体的な授業内容は下記の通りで、後半では2回のレポート作成・提出を求め、添削による指導を行います。また最後にプレゼンテーションの機会を設けます。

授業態度、レポート(資料収集、論理的な構成、事実と意見の区別、文章表現で評価)、プレゼンテーション(レポートに準じた評価項目に加え、効果的発表への工夫・努力で評価)を総合的に判断して到達度を評価します。毎回出席しなければ、本学での学びの技法を、しっかりと身につけることはできません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015103&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生の表現技法 / 初年次教育を考える会・奈良大学, 2022. 978-4-9904606-5-5



基礎演習II(一)：心理学を学ぶ上で必要となる学びの基礎的態度和び技法 岡部 純子
を習得する。

後期 水曜日 3時限 C202

後期 水曜日 3時限 C304

心理学で必要とされる学びのスタイルに適應する。よりアカデミックな「モノの考え方、モノの書き方、モノの伝え方」を知り、実践する。

さまざまなテーマについて考えながら、心理学を学ぶ上で必要となる学びの技法を身につける。

レポート・発表(わかりやすく、論理的に自分の考えを展開できているかを評価する。)、授業態度(課題に積極的に取り組む姿勢を重視する。)を総合的に勘案して到達度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015201&opi=se0020&syw=1

教科書 担当教員の指示に従う



基礎演習II(二)：心理学を学ぶ上で必要となる学びの基礎的態度和び技法 村上 幸史
を習得する。

後期 水曜日 3時限 C202

後期 水曜日 3時限 C303

心理学で必要とされる学びのスタイルに適應する。よりアカデミックな「モノの考え方、モノの書き方、モノの伝え方」を知り、実践する。

さまざまなテーマについて考えながら、心理学を学ぶ上で必要となる学びの技法を身につける。

レポート・発表(わかりやすく、論理的に自分の考えを展開できているかを評価する。)、授業態度(課題に積極的に取り組む姿勢を重視する。)を総合的に勘案して到達度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015202&opi=se0020&syw=1

教科書 担当教員の指示に従う



基礎演習Ⅱ(三)：心理学を学ぶ上で必要となる学びの技法を習得する。 太田 仁 後期 水曜日 3時限 C202.
後期 水曜日 3時限 C306

心理学で必要とされる学びのスタイルに適応する。よりアカデミックな「モノの考え方、モノの書き方、モノの伝え方」を知り、実践する。

さまざまなテーマについて考えながら、心理学を学ぶ上で必要となる学びの技法を身につける。

レポート・発表(わかりやすく、論理的に自分の考えを展開できているかを評価する。)、授業態度(課題に積極的に取り組む姿勢を重視する。))を総合的に勘案して到達度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111015203&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを使用する。



臨床心理学演習Ⅰ(一)：発達臨床心理学の研究のための基礎演習(Ⅰ) 磯部 美也子 前期 月曜日 4時限 B318

卒業研究をするための生涯発達、および発達臨床心理学の基礎知識の習得をする。参考文献を読んで、その要旨を理解してまとめ、発表する。グループワークを通して自己開示やカウンセリング・マインドを学ぶ。

胎生期から老年期まで人が生涯発達する過程においては、それぞれに課題や様々な危機がある。そういったものに直面しながら各自の発達は個性化し、生活世界を広げていく。この発達過程における課題とその支援について臨床心理学的見地から学び、卒業研究のテーマを決める。また、演習における発表と討議、グループワークを通して要約力、発表力、意見表明の力を培う。

授業中の平常点、積極的に演習に参画しているか、意見表明、討議、質問や考察をしているかを評価(40%)、レポート(テーマに沿った完成度、発表の充実度を評価)(60%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301101&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅰ(二)：臨床心理学における研究手法の調査。 星野 修一 前期 月曜日 4時限 B120

臨床心理学に関する文献の講読とディスカッションを通して、臨床心理学における知見や研究方法についての理解を深める。

臨床心理学に関する文献や研究論文の講読と、その検討を通して、臨床心理学への関心と理解を深め、自身の研究テーマを見出す足掛かりとする。

授業への参加状況、発表やディスカッションの態度などから、総合的に評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301102&opi=se0020&syw=1

教科書



臨床心理学演習Ⅰ(三)：臨床心理学に関する卒業論文作成に向けての予備的研究指導 鈴木 孝 前期 月曜日 4時限 B118
-2

実証的な臨床心理学研究(質的・量的)を行うために、臨床心理学の諸知見・モデル・研究方法に関する理解を深める。卒業論文を作成するための基礎力を身につける。

- ①臨床心理学で用いられる研究手法に関する検討
- ②主たる研究領域の先行研究の探索と学習
- ③自分の研究テーマに関する先行研究の探索とプレゼンテーション

平常点60%(授業への参加だけでなく、質問などの積極的な態度、ディスカッションへの関与も評価する)、発表資料および発表の内容40%(問題の整理、リサーチクエスチョンや仮説の設定、研究方法の適切性により評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301103&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅰ(四)：司法・犯罪心理学研究のための基礎演習(1) 今井 由樹子 前期 月曜日 4時限 B316

司法・犯罪心理学領域研究に関する理解を深める。興味のある研究テーマを探す。

司法・犯罪心理学領域の研究を行うための基礎的な知識を学習する。関連する文献の探索と整理を学ぶ。関連するテーマについてグループディスカッションを行う。

課題への取り組み態度、積極的なディスカッション、研究テーマの探索・講読・整理等の授業に対する積極性を総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301104&opi=se0020&syw=1

教科書 ステップアップ心理学シリーズ 心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで / 板口 典弘、山本 健太郎：講談社、2017. 978-4061548091



臨床心理学演習Ⅰ(五)：臨床心理学研究の実践(1) 林 郷子 前期 月曜日 4時限 B119

臨床心理学研究に関する方法論になじむ。

文献の講読と発表を通して、臨床心理学研究の方法論になじむことを目的とする。思春期・青年期の心理的課題、教育臨床、表現療法等を題材として取り上げながら、臨床心理学に関する文献を読む力を付け、全般的な研究の進め方を理解することを目指す。

平常の授業への参加状況(発表内容や討議への主体的・積極的な態度等)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301105&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する。



社会心理学演習I(一)：現象を捉えることに結び付く社会心理的なアプローチ 村上 幸史
を再確認し、自らが関心ある事象を見つけ出し、知見を深めていく橋渡しとする。

前期 月曜日 4時限 B305

データを測定して、それを元に報告型の論文を書くスキルを養います。また同時に、自分自身で研究テーマを立てて、卒業論文に向けた準備を整えることを目指します。

具体的なデータを収集して分析することと、関心を深めるための文献購読を通して、現象と研究をつなぐ社会心理的なアプローチについて再確認します。

講義内の発表内容と発表への取組具合から評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302101&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。参考資料や文献は適宜紹介する。



社会心理学演習I(二)：産業・組織心理学の研究テーマを理解し、研究の視点を見いだす。 與久田 巖

前期 月曜日 4時限 B317

- 1) 産業・組織にかかわる心理学的な先行研究の概要・方法論・課題・問題を理解し、自己の見解を持つ。
- 2) 自己の研究テーマを意識化・明確化する。

まず、オリエンテーションを行い、構成的グループエンカウンターやアサーション・トレーニングを実施して演習の際の準備を行う。次に、自己のキャリア形成、自己のキャリアと研究との関係について考える。その後、先行研究の概要の発表、方法論や課題・問題の討論などを行う。それらを通して自己の研究テーマを意識化・明確化していき、暫定的な研究テーマを確定する。

課題40%：指示を適切に理解した内容か、評価する。

発表20%：自己の見解を論理的に展開しているか、評価する。

学期末レポート40%：興味・関心のある研究テーマをまとめる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302102&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



社会心理学演習I(三)：社会心理学の社会制度・政策への応用

ト部 敬康

前期 月曜日 4時限 B216

社会心理学を社会制度・政策へ応用することの意義について理解し、その考え方を習得すること。その前提として、社会制度の改善について自由に論ずる態度を有することが必要となるが、その涵養のために、①タブーについても論じられる力をつけることと、②学問の自由の精神を身につけることも到達目標に含める。

諸君が心理学科において主に学んでいる社会心理学および臨床心理学の知見をどのように応用することができるかについて、テキストの輪読と研究発表を通して考える。特に、この演習においては「応用」をできる限り幅広く捉える。心理学の知見を用いた個人の行動や認知の変容を「心理学の応用」と考えることが一般的であるが、この演習では、心理学の研究成果を用いて私たちの生活の前提となっている社会制度や政策を考え直すことも「心理学の応用」に含めるものとする。3年次前期の本演習においてはまず、基礎知識についての講義とテキストの輪読を行い、心理学を社会制度へ応用する視点を涵養したい。それと並行して、受講生の関心に応じた話題について自由な討議を重ねることで、日常的な疑問を学問的に考える習慣をつけることを目指したい。そうした作業を通して、自分が何に興味をもっているかを明確化するとともに、自己と他者の相違点を知ることにより、人間の多様性への理解を深めたい。それをふまえて、どのような制度が人間を幸福にするかについて考える。毎回の内容は以下の記述にかかわらず、諸君との相談で柔軟に変更する(ことは本来、言うまでもないが)。

発表内容と議論への参加の積極性を平常評価とレポートによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302103&opi=se0020&syw=1

教科書 常識の社会心理：あたりまえは本当にあたりまえか / ト部敬康・林理(編)・北大路書房、2002年。ほんとはこわい「やさしさ社会」 / 森真一・ちくまプリマー新書、2008年。



社会心理学演習I(四)：心理学研究の進め方と社会的認知研究の知識獲得 村上 史朗

前期 月曜日 4時限 B118
-1

社会的認知を中心とした社会心理学研究の知識習得と研究の流れについて理解する

演習 I では、以下の各項を達成することを目標とする。(1)社会的認知研究の最新トピックの理解、(2)関連文献の探し方とレビューの方法、(3)論理的な議論の仕方の習得

課題への取り組み(20%：提出課題の評価に基づく)、発表(40%：発表内容の構成の評価に基づく)、ディスカッションへの参加(40%：議論への積極性と発言内容の評価に基づく)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302104&opi=se0020&syw=1

教科書 心の中のブラインド・スポット / M.R.バナージ、A.G.グリーンワルド・北大路書房、2015。978-4-7628-2903-1



社会心理学演習I(六)：社会心理学的な視点の養成

太田 仁

前期 月曜日 4時限 M105

社会心理学の心理臨床的支援への応用研究を目指し、日常生活、家庭、職場、心理臨床的支援に役立つ研究成果をまとめる。

私たちの日常は他者との交流なしには成立しない。他者との交流は、換言すれば各々の有する「資源」の交換であり、日常的な表現では「支えあう」ことである。個人が有する資源は限られているが資源を持ち寄ることで社会が構成され人類はここまで存続した。以上の観点に立ち日常の対人行動を詳細に観察し、これまでの社会心理学における研究成果と対照させながら受講者の研究課題を明らかにし、卒論の端緒となる課題の研究計画および研究方法を策定する。

グループワークの意義を理解した積極的参加20%+絵日記の社会心理学的考察20%+配布資料の理解度20%+心理学専門用語を的確に理解した論文概観20%+簡潔明瞭な発表20%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302106&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に資料を配布する



臨床心理学演習Ⅱ(一)：発達臨床心理学の研究のための基礎演習(Ⅱ) 磯部 美也子 後期 月曜日 4時限 B318

人の発達、および発達臨床に関する研究の中から関心のあるテーマを見つけ、卒業研究へ方向付けをしていく。

各自の卒業研究のテーマの決定に向け、参考文献を収集し、研究方法も決定していく。絶えず課題意識を高め、ディスカッションを通して、各自研究ビジョンを立案する。また、演習を通して課題発見能力、課題解決能力、スピーチ力、プレゼンテーションの能力、コミュニケーション力、討論の能力等を身につける。

授業中の平常点、積極的に演習に準備、参画しているか、意見表明、討議、質問や考察をしているかを評価(40%)、レポート(テーマに沿った完成度、文献発表、グループワークの充実度を評価)(60%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301201&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅱ(二)：臨床心理学における研究手法の実施と習得。 星野 修一 後期 月曜日 4時限 B120

調査研究を実施し、臨床心理学の研究手法を習得する。

前期の内容をふまえ、調査研究を実施する。研究テーマを設定し、先行研究の収集と検討、調査を進める。その後、全体でのプレゼンテーションを行い、卒業論文作成に繋がる力を身につける。

授業での発表内容や、ディスカッションなどから総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301202&opi=se0020&syw=1

教科書



臨床心理学演習Ⅱ(三)：臨床心理学に関する卒業論文作成に向けての予備 鈴木 孝 後期 月曜日 4時限 B118
的研究指導 -2

実証的な臨床心理学的研究(質的・量的)を行うために、臨床心理学の諸知見・モデル・研究方法に関する理解を深める。4年次に卒業論文を作成できる基礎を身につける。

- ①研究テーマに関する検討
- ②主たる研究領域の先行研究の探索と学習
- ③パイロットスタディの実施とまとめ
- ④プレゼンテーション

平常点60%(授業への参加だけでなく、質問などの積極的な態度、プレゼンテーション、ディスカッションへの関与も評価する)、パイロットスタディの報告書40%(問題の設定、研究方法、結果、考察の適切性により評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301203&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅱ(四)：司法・犯罪心理学研究のための基礎演習(2) 今井 由樹子 後期 月曜日 4時限 B316

司法・犯罪心理学領域研究に関するのなかから関心のあるテーマについてグループによる事前研究を行い、自身の研究の方向付けを行う。

グループに分れて卒論作成に向けた事前研究を行う。

- ①研究テーマに関する検討。
- ②先行研究の収集と整理。
- ③研究の「問題と目的」の作成。

課題への取り組み態度、積極的なディスカッション、研究テーマの探索・講読・整理、研究計画の作成等の授業に対する積極性を総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301204&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



臨床心理学演習Ⅱ(五)：臨床心理学的研究の実践(2) 林 郷子 後期 月曜日 4時限 B119

調査研究を実施し、臨床心理学的研究の方法を修得する。

前期の学修内容をふまえて、実際に調査研究を行う。個人もしくはグループで研究テーマを設定し、資料の検索・収集および調査を行う。全体での討議を通して理解を深めつつ進める。研究方法の確認とともに、自分の関心のあるテーマの模索を行い、次年度の卒業研究へのステップとしたい。

平常の授業への参加状況(発表内容や討議への主体的・積極的な態度等)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301205&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する。



社会心理学演習Ⅱ(一)：現象を捉えるような社会心理的なアプローチを再確認し、自らが関心ある事象を見つけ出し、知見を深めていく橋渡しとする。 村上 幸史 後期 月曜日 4時限 B305

データを測定して、それを元に報告型の論文を書くスキルを養います。また同時に、自分自身で研究テーマを立てて、卒業論文に向けた準備を整えることを目指します。

文献購読(主として研究発表や論文)を通して、自らが関心あるテーマを探してもらい、最終的に具体的な研究テーマの立案を行ってもらいます。

講義内の発表内容と発表への取組具合から評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302201&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。参考資料や文献は適宜紹介する。



社会心理学演習Ⅱ(二)：研究テーマの確定と研究計画書の完成

與久田 巖

後期 月曜日 4時限 B317

自己の興味・関心に沿って先行研究をレビューし、それを踏まえて研究テーマを確定し、研究計画書を完成させる。

まず、キャリアと研究の位置づけ、および探求した研究テーマの確認を行う。次に、各自の興味・関心に沿って先行研究を検索・収集・レビューしていき、先行研究の問題・課題を抽出していくとともに、研究仮説を生成し、研究計画書を完成させる。

課題40%：指示を適切に理解した内容か評価する。

発表20%：ディスカッションを踏まえて自己の見解を論理的に展開しているか評価する。

学期末レポート40%：研究計画書をまとめる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302202&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



社会心理学演習Ⅱ(三)：社会心理学の社会制度・政策への応用

ト部 敬康

後期 月曜日 4時限 B216

社会心理学を社会制度・政策へ応用することの意義について理解し、その考え方を習得すること。その前提として、社会制度の改善について自由に論ずる態度を有することが必要となるが、その涵養のために、①タブーについても論じられる力をつけることと、②学問の自由の精神を身につけることも到達目標に含める。

諸君が心理学科において主に学んでいる社会心理学および臨床心理学の知見をどのように応用することができるかについて、テキストの輪読と研究発表を通して考える。特に、この演習においては「応用」をできる限り幅広く捉える。心理学の知見を用いた個人の行動や認知の変容を「心理学の応用」と考えることが一般的であるが、この演習では、心理学の研究成果を用いて私たちの生活の前提となっている社会制度や政策を考え直すことも「心理学の応用」に含めるものとする。3年次後期の本演習においては、テキストの輪読と並行して、受講生の関心に応じて毎回適当なテーマを設定し、あらかじめ定めた話題提供者による発表ないし問題提起を行う。毎回の発表とそれに対する議論を通して、各自が普段からもっている漠然とした関心を卒業研究論文のテーマに練り上げることを目指す。それと並行して、奈良・京都・大阪などの近隣のさまざまな場所に出かけ、町歩きをしながら現代日本社会の問題点を発見するとともに、各自の発見をふまえた議論をおこなう。なお、毎回の内容は以下の記述にかかわらず、諸君との相談で柔軟に変更すること（は本来、言うまでもないが）。

発表内容と議論への参加の積極性を平常評価とレポートによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302203&opi=se0020&syw=1

教科書 常識の社会心理：あたりまえは本当にあたりまえか / ト部敬康・林理（編）．北大路書房，2002年．ほんとはこわい「やさしさ社会」 / 森真一．ちくまプリマー新書，2008年．



社会心理学演習Ⅱ(四)：社会心理学研究の立案と実施

村上 史朗

後期 月曜日 4時限 B118
-1

社会心理学研究を立案・実施・報告する

個人、あるいはグループ単位で、社会心理学研究について研究計画を立案する。

作業等への取り組み（30%：提出内容と取り組み姿勢を評価）や、発表（40%：発表内容を評価）・ディスカッション（30%：参加と発言内容を評価）を通じて総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302204&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会心理学演習Ⅱ(六)：社会心理学的な視点の養成

太田 仁

後期 月曜日 4時限 M105

個人内の対人関係の関心事に対して社会心理学的な分析視点を持つ。基礎的な研究過程に沿った研究スキルを身につける

社会心理学的な研究を行う際に求められる基礎的な研究スキルを養う。演習は、グループワークを中心に行う。メンバー間の協働を前提とし、卒業研究につながる研究計画をグループ毎に立案し、発表する。

キャリアデザインと研究との関連性の熟考吟味の程度(20%)+卒論提出までのスケジュールの実行可能性(10%)+卒論計画における関連研究の概観、研究の独自性+実行可能な方法の選択(50%)+科学的に手法による質問紙の作成(20%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302206&opi=se0020&syw=1

教科書 授業中に資料を配布する



臨床心理学演習Ⅲ(一)：発達臨床心理学演習、卒業研究、論文作成

礪部 美也子

前期 月曜日 5時限 B318

今までの演習のまとめをする中で、新しい視点から研究テーマを決定し、研究論文を書く準備をしてデータの収集をする。前期のうちにデータ収集を終了しておくことが望ましい

今まで講読した研究をまとめ、各自の研究テーマに沿った研究方法を決め、情報を収集し、分析方法を決定する。メンバーの発表について意見発表・討議に積極的に参加する。卒業研究の中間発表をする。

授業中の平常点、積極的に演習に準備、参画しているか、意見表明、討議、質問や考察をしているかを評価(40%)、レポート(テーマに沿った完成度、発表の充実度を評価)(60%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301301&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅲ(二)：臨床心理学における卒業論文のための研究

星野 修一

前期 月曜日 5時限 B120

3回生までに調査してきた研究の理解をさらに深め、自身の研究テーマを設定し、研究に当たっての計画を立てる。

先行研究の調査と整理し、自身の研究テーマを明確にする。調査内容や研究テーマに関してプレゼンテーションを行う。自身の発表や他者の発表、そこでのディスカッションを通して、さらに理解を深める。

授業への参加状況、プレゼンテーションやディスカッションに対する積極的参与、研究テーマに関する調査状況、作成物などから総合的に評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301302&opi=se0020&syw=1

教科書



臨床心理学演習Ⅲ(三) : 臨床心理学に関する卒業論文の研究指導

鈴木 孝

前期 月曜日 5時限 B118
-2

先行研究をレビューし、研究テーマを明確化するとともに、卒業論文を作成するための学力を涵養する。

- ①研究テーマに関する検討
- ②主たる研究領域の先行研究の探索と学習
- ③予備調査の実施とまとめ
- ④プレゼンテーション

平常点60%(授業への参加だけでなく、質問などの積極的態、プレゼンテーション、ディスカッションへの関与も評価する)、予備調査報告書40%(問題の設定、研究方法、結果、考察の適切性により評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301303&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅲ(四) : 司法・犯罪心理学に関する卒業研究(1)

今井 由樹子

前期 月曜日 5時限 I105

研究計画にそって調査方法を決定し、調査を実施する。

グループ討議を行い、①研究計画の作成 ②調査方法の決定 ③調査の実施を進める。

課題への取組み態度、積極的なディスカッション、研究計画の作成、調査の実施等の授業に対する積極性を総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301304&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



臨床心理学演習Ⅲ(五) : 臨床心理学に関する卒業研究(1)

林 郷子

前期 月曜日 5時限 B119

研究テーマを設定し、卒業研究にあたっての研究計画を立てる。

3年次の演習で学んできたことをふまえて、各自の研究に取り組む。まずは関心のある研究テーマを設定し、関連領域の資料講読やレビューを行う。問題設定、仮説設定を行い、検証するための研究計画を立てる。メンバー相互による発表と討議を重ねる中で、理解を深めつつ進めていきたい。

平常の授業への参加状況(発表内容や討議への主体的・積極的態等)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301305&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する。



社会心理学演習Ⅲ(一) : 社会心理学研究の立案と計画

太田 仁

前期 月曜日 5時限 M105

卒業研究に向け、社会心理学研究を立案・計画する

卒業研究に向け、社会心理学研究を立案・計画する。今学期は研究方法まで含めた詳細な研究計画書を作成し、後期開始と同時に研究実施に移れるよう準備する。

発表(70%:発表内容を評価)およびディスカッション(30%:参加と発言内容を評価)を通じて総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302301&opi=se0020&syw=1

教科書 三訂版 心理学論文の書き方---卒業論文や修士論文を書くために / 松井豊・河出書房新社, 2022.
9784309254494



社会心理学演習Ⅲ(二) : 社会心理学研究の実施

與久田 巖

前期 月曜日 5時限 B317

研究計画に基づいて、先行研究のレビュー、仮説の設定、質問票の作成、調査を実施する。

3年後期に作成した研究計画を確認、発表する。関連先行研究をレビューして仮説を設定する。その後、調査票を作成し、調査を実施する。演習では発表とディスカッションを行い、その都度、研究の方向性について確認していく。

課題40%: 指示を適切に理解した内容か評価する。
ディスカッション40%: 自己の見解を論理的に展開しているか評価する。
発表20%: 発表内容によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302302&opi=se0020&syw=1

教科書 心理学レポート・論文の書き方: 演習課題から卒論まで / 坂口典弘、山本健太郎・講談社, 2017.



社会心理学演習Ⅲ(三) : 社会心理学の社会制度・政策への応用

ト部 敬康

前期 月曜日 5時限 B216

社会心理学を社会制度・政策へ応用することに関する各自の研究テーマを設定し、研究に着手すること

諸君が心理学科において主に学んでいる社会心理学および臨床心理学の知見をどのように応用することができるかについて、テキストの輪読と研究発表を通して考える。特に、この演習においては「応用」をできる限り幅広く捉える。心理学の知見を用いた個人の行動や認知の変容を「心理学の応用」と考えることが一般的であるが、この演習では、心理学の研究成果を用いて私たちの生活の前提となっている社会制度や政策を考え直すことも「心理学の応用」に含めるものとする。4年次における本演習では、3年次の演習における議論などを通して各自が設定した卒業研究テーマにしたがって研究をすすめる。適宜中間報告の機会を与え、各自の研究内容の精緻化と研究方法の共有に役立てたい。なお、毎回の内容は以下の記述にかかわらず、諸君との相談で柔軟に変更する(ことは本来、言うまでもないが)。

発表内容と議論への参加の積極性を平常評価とレポートによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302303&opi=se0020&syw=1

教科書 ほんとはこわい「やさしさ社会」 / 森真一・ちくまプリマー新書, 2008年・常識の社会心理 / ト部・林(編著)・北大路書房,



社会心理学演習Ⅲ(四)：社会心理学研究の立案と計画

村上 史朗

前期 月曜日 5時限 B118
-1

卒業研究に向け、社会心理学研究を立案・計画する

卒業研究に向け、社会心理学研究を立案・計画する。今学期は研究方法まで含めた詳細な研究計画書を作成し、後期開始と同時に研究実施に移れるよう準備する。

発表(70%:発表内容を評価)およびディスカッション(30%:参加と発言内容を評価)を通じて総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302304&opi=se0020&syw=1教科書 三訂版 心理学論文の書き方――卒業論文や修士論文を書くために / 松井豊・河出書房新社, 2022.
9784309254494

社会心理学演習Ⅲ(五)：社会的認知(心の理論)の進化・発達・障害

金澤 忠博

前期 月曜日 5時限 B116

国内外の最新の文献を購読し、①関連する分野の研究テーマ、②実験・観察・調査の方法論やデータ解析の方法、について学ぶ。特に、視覚認知機能の解明に役立つ方法として、注視時間法やアイトラッカーを用いた視線計測の実践について、実習を通じて学ぶ。さらに、自分の興味に従い研究テーマや研究方法を選択し、ゼミでの討論を経て、研究計画を作成し、予備研究を行う

社会的認知(心の理論)とは、他者の行動や心的状態を予測し、観察し、解釈する能力である(Striano & Reid, 2009)。社会的認知は、ヒトのみに備わる能力とされ、その前駆体として共同注意の獲得がある。自閉症の中核には社会的認知や共同注意の障害があるとされる。演習では、社会的認知の進化・発達・障害に加えて、「なぜ錯視は生じるのか?」「なぜ赤ちゃんは可愛いのか?」「なぜ大きな目は魅力的なのか?」「なぜ人は恋をするのか?」といったヒトの知覚・認知・行動の特徴を進化的適応の観点から究明する。

作業への取り組み30%、発表40%、討論への参加30%(それぞれの程度を発言や提出物の内容により評価)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302305&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅳ(一)：発達臨床心理学演習 卒業論文の完成

礒部 美也子

後期 月曜日 5時限 B318

今までの演習のまとめを行い、様々な講義や実習で得た知識や技能を参考にして、各自の研究テーマに沿った研究論文を書きあげ、それを発表する。

今までの研究をまとめ、研究論文に仕上げるためにディスカッションを重ねながら論文を推敲していく。研究論文ができ上がった後に研究発表を行う。

授業中の平常点、積極的に演習に準備、参画しているか、意見表明、討議、質問や考察をしているかを評価(40%)、レポート(テーマに沿った完成度、発表の充実度を評価)(60%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301401&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅳ(二)：臨床心理学における卒業論文のための研究 2

星野 修一

後期 月曜日 5時限 B120

研究計画を元に調査を実施し、卒業論文を完成させる。

前期に立てた研究を各自進め、調査を実施し、結果を整理する。研究の進捗については随時プレゼンテーションを行い、自身の発表や他者の発表、そこでのディスカッションを通して、研究テーマについての理解を深める。研究について、卒業論文を作成する。

授業への参加状況、プレゼンテーションやディスカッションに対する積極的参与、研究テーマに関する調査状況、作成物などから総合的に評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301402&opi=se0020&syw=1

教科書



臨床心理学演習Ⅳ(三)：臨床心理学に関する卒業論文の研究指導

鈴木 孝

後期 月曜日 5時限 B118
-2

卒業論文を作成する

- ①研究テーマに関する検討
- ②主たる研究領域の先行研究の探索と学習
- ③本調査の実施とまとめ
- ④プレゼンテーション

平常点40%(出席だけでなく、質問などの積極的態度、プレゼンテーション、ディスカッションへの関与も評価する)、卒業論文60%(問題の設定、研究方法、結果、考察の適切性により評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301403&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



臨床心理学演習Ⅳ(四)：司法・犯罪心理学に関する卒業研究(2)

今井 由樹子

後期 月曜日 5時限 I105

調査結果を分析し、卒業論文を完成させる。

グループ討議を行いながら進めていく。①調査資料の整理の作成 ②データの分析 ③結果と考察の作成 ④論文完成

課題への取り組み態度、積極的なディスカッション、論文作成、プレゼンテーション等の授業に対する積極性を総合的に判断する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301404&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



臨床心理学演習IV(五) : 臨床心理学に関する卒業研究(2)

林 郷子

後期 月曜日 5時限 B119

研究計画を実行し、卒業論文を完成させる。

前期に引き続き、各自の研究を進め、発展させる。前期に立てた研究計画に沿って進めるが、中間発表を行いメンバー相互による討議を重ねる中で、問題設定や研究方法、考察内容について吟味と修正を行っていく。最終的には卒業論文としてまとめる。

平常の授業への参加状況(発表内容や討議への主体的・積極的態度等)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152301405&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する。



社会心理学演習IV(一) : 卒業研究の実施と報告

太田 仁

後期 月曜日 5時限 M105

社会心理学研究を実施・報告する

卒業研究を実施し、論文作成、報告のプロセスを学ぶ。

発表(70%:発表内容を評価)およびディスカッション(30%:参加および発言内容を評価)を通じて総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302401&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会心理学演習IV(二) : 社会心理学研究の論文作成

與久田 巖

後期 月曜日 5時限 B317

前期に取得したデータを解析し、図表の作成を経て研究論文の執筆を行い、研究論文を完成させる。

前期に取得した調査データを用いて仮説検証のための解析を行う。その後、図表にまとめる作業を行い、研究論文の執筆を行う。演習では各自、進捗状況を報告、その都度、ディスカッションを行いながら、研究論文を完成させる。

課題40%:指示を適切に理解した内容か評価する。

ディスカッション40%:自己の見解を論理的に展開しているか、評価する。

発表20%:発表内容によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302402&opi=se0020&syw=1

教科書 心理学レポート・論文の書き方:演習課題から卒論まで / 坂口典弘、山本健太郎・講談社、2017。



社会心理学演習IV(三) : 社会心理学の社会制度・政策への応用

ト部 敬康

後期 月曜日 5時限 B216

社会心理学の応用に関する卒業論文を完成させる

諸君が心理学科において主に学んでいる社会心理学および臨床心理学の知見を応用することについて、幅広く考える。特に、この演習においては「応用」をできる限り幅広く捉える。すなわち、心理学の研究成果から私たちの生活の前提となっている制度や政策を考え直すことまでを「心理学の応用」と考えることとする。4年次における本演習では、3年次の演習における議論などを通して各自が設定した卒業研究テーマにしたがって研究をすすめる。適宜中間報告の機会を与え、各自の研究内容の精緻化と研究方法の共有に役立てたい。また、卒業研究の成果は合宿形式で行う卒業研究発表会で発表してもらう。なお、毎回の内容は以下の記述にかかわらず、諸君との相談で柔軟に変更すること(は本来、言うまでもないが)。

発表内容と議論への参加の積極性を平常評価とレポートによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302403&opi=se0020&syw=1

教科書 ほんとはこわい「やさしさ社会」 / 森真一・ちくまプリマー新書、2008年・常識の社会心理 / ト部・林(編著)・北大路書房、2002。



社会心理学演習IV(四) : 社会心理学研究の立案と実施

村上 史朗

後期 月曜日 5時限 B118
-1

社会心理学研究を立案・実施・報告する

個人、あるいはグループ単位で、社会心理学研究について研究計画を立案する。

作業等への取り組み(30%:提出内容と取り組み姿勢を評価)や、発表(40%:発表内容を評価)・ディスカッション(30%:参加と発言内容を評価)を通じて総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302404&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会心理学演習IV(五) : 社会的認知(心の理論)の進化・発達・障害

金澤 忠博

後期 月曜日 5時限 B116

社会的認知に関連する研究の立案と実施、卒業論文の作成

前期の社会心理学演習Iで選択した各自のテーマに従い、従来の社会的認知に関連する分野の実証研究を参考に研究計画を立て、本観察や本実験を行い、得られたデータを分析し卒論にまとめる

作業への取り組み30%、発表40%、討論への参加30%(それぞれの程度を発言や提出物の内容により評価)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152302405&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



卒業論文:大学での学修によって獲得した知見を総合し、集大成としての卒業論文を完成させる。

通年 その他 その他 その他

これまで受講した科目を通じて得られた知識や技術、論理的思考力を用いて、自身が選択した研究課題の分析・考察ができるようになる。また、学修の集大成としての論文を執筆できるようになる。

卒業論文の作成、提出を目指し、各自のテーマに応じて演習等において指導する。

卒業論文および口述試問(卒論発表会)の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152390200&opi=se0020&syw=1

教科書



心理学研究法：心理学の研究方法を学ぶ。

與久田 巖

前期 金曜日 3時限 C203

心理学の研究に必要な研究の知識と研究方法および研究倫理の基礎を身につける。

まず、心理学的研究とは何か、科学的アプローチとは何かについて概説する。その後、研究方法として、観察法、面接法、検査法、実験法、検査法についてとりあげる。また研究を行う際の仮説生成と仮説検定、相関関係と因果関係、定性的研究と定量的研究について学ぶ。そして論文の盗用、ねつ造、改ざん、法令等遵守などの研究不正の禁止について学ぶ。

毎授業毎の課題58%:講義内容の正確な理解を問う。

学期末レポート42%:講義内容を正確に理解し、研究目的に応じて適切な研究方法を選択出来るか論述で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152101500&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



心理学統計法I：心理学に必要な統計学の基礎を学ぶ。

村上 幸史

後期 金曜日 4時限 C203

統計学の基礎を学び、実験や調査の分析に使えるスキルを身につける。統計リテラシーを理解し、かつ活用できるようになる。

データを測定して集計したり、また結果からデータに内在する誤差を考慮して報告を行う際には統計学の知識を用います。また自ら測定するだけでなく、提示された集計結果などを読み取るという統計リテラシーを身に付ける必要があります。本講義では、このような統計学の基礎を身につけることを目指します。

小テスト(各30%)、各回の課題(10%)。小テストおよび各回の課題では、説明した概念が正しく理解されているのか、また計算問題に解答し、結論まで正しく述べられているのかを判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152101900&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回レジュメを配布する。教科書は指定しないが、必ず何らかの統計学のテキストを手に入れて参考図書として手元においておくこと。



心理学実験：心理学の実験法に関する基礎的スキルの習得と研究レポートの作成

共同.今井 由樹子.村上 幸史.内田 善久.東山 篤規

 後期 水曜日 1時限 B116.
 後期 水曜日 1時限 B119.
 後期 水曜日 1時限 B318.
 後期 水曜日 1時限 C103.
 後期 水曜日 1時限 C106

心理学における基礎的な実験ができるようになること。

具体的には、①実験の計画を立てられること、②実験データの収集と適切な分析を行うことができること、③実験結果を適切に解釈してレポートが作成できること、の3点である。

この科目は実習科目であり、4種類の実験を実習する。古典的学習実験、認知心理学実験、知覚心理学実験、集団社会心理にかかわる実験実習を行う。受講者を4グループに分け4人の教員が順次担当するので、順番はグループにより異なる。

なお、実習中にパソコンを用いてデータ分析を行いレポートを作成する。ExcelとWordを使えることを前提とするため、この科目の履修に先立って、基本操作を自修しておくこと。

提出された4つのレポートを総合して評価する。実験・実習に1つでも参加していない場合は単位を修得できないので注意すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152102000&opi=se0020&syw=1

教科書 教科書使用なし。適宜、資料を配布する。



臨床心理学基礎実習(一)：心理学事象への基本的アプローチである観察法・検査法・面接法の基礎を学ぶ。

共同.磯部 美也子.今井 由樹子

 前期 月曜日 3時限 B118
 -1.前期 月曜日 3時限 B119.
 前期 月曜日 3時限 B120

観察法・検査法・面接法について、基礎的知識と技法を身につける。

観察法、検査法、面接法について、理論・実施方法・情報の収集及び分析方法について、受講生はグループに分かれて実習方式で学ぶ。学生がそれぞれ臨床心理学の基礎的技法について学べるようにする。

平常点とレポートにより総合的に評価する。授業に対する積極性(講義中の質問、グループワークでのリーダーシップ、課題に真摯に取り組む姿勢など)を重視する。実習レポートにおいては、実習内容に基づき自分の考察、疑問に思ったことが論理的に書かれていること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152201501&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜、プリント資料を配布する。



臨床心理学基礎実習(二)：心理学事象への基本的アプローチである観察法・検査法・面接法の基礎を学ぶ。

共同.鈴木 孝.星野 修一

 後期 月曜日 3時限 B118
 -1.後期 月曜日 3時限 B119.
 後期 月曜日 3時限 B120

観察法・検査法・面接法について、基礎的知識と技法を身につける。

観察法、検査法、面接法について、理論・実施方法・情報の収集及び分析方法について、受講生はグループに分かれて実習方式で学ぶ。学生がそれぞれ臨床心理学の基礎的技法について学べるようにする。

平常点とレポートにより総合的に評価する。授業に対する積極性(講義中の質問、グループワークでのリーダーシップ、課題に真摯に取り組む姿勢など)を重視する。実習レポートにおいては、実習内容に基づき自分の考察、疑問に思ったことが論理的に書かれていること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152201502&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜、プリント資料を配布する。



社会心理学基礎実習(一)：社会心理学における実証的研究に関する実習 共同.ト部 敬康.村上 前期 月曜日 3時限 I105
史朗.與久田 巖

社会心理学における仮説生成と質問紙調査法に関する基礎的技術を習得する

社会心理学で用いられる研究法を学び、実際に自らデータを収集・分析することを通して、実証的研究の方法を習得する。

実習における授業内課題(30%：ディスカッションへの参加と仮説及び質問項目の構成)、発表(10%：班ごとの最終成果発表)、最終レポート(60%：個人ごとの最終レポート)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152202501&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会心理学基礎実習(二)：社会心理学における実証的研究に関する実習 共同.ト部 敬康.村上 後期 月曜日 3時限 I105
史朗.與久田 巖

社会心理学における仮説生成と質問紙調査法に関する基礎的技術を習得する

社会心理学で用いられる研究法を学び、実際に自らデータを収集・分析することを通して、実証的研究の方法を習得する。

実習における授業内課題(30%：ディスカッションへの参加と仮説及び質問項目の構成)、発表(10%：班ごとの最終成果発表)、最終レポート(60%：個人ごとの最終レポート)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152202502&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



知覚・認知心理学I：人間の感覚・知覚・認知についての概説 東山 篤規 後期 火曜日 2時限 C105

知覚心理学における基礎的な知識を習得します。

本講義では、人間の感覚・知覚・認知について、視知覚を中心に概説します。心の入り口である感覚・知覚がどのように機能しているのか、精神物理学、神経生理学などの知見も踏まえて説明します。

出席回数と平常点(第1～14回でときどき行う確認テスト)によって評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152405500&opi=se0020&syw=1

教科書



学習・言語心理学：(1)レスポデント条件づけとオペラント条件づけ 内田 善久 前期 木曜日 4時限 C201
(2)言語の習得

ヒトを含む動物の行動を条件づけの観点から説明できるようになること。

我々ヒトという種も含め、動物の行動は経験によって変容していく。「学習心理学」は、このような現象—経験による行動変容—が示す法則性を科学的に明らかにしようとする学問である。「言語心理学」については、言語の習得に関する基礎的知見を紹介する。

毎週e-Learningのコース内で公開される課題を解いてオンライン提出。100%(専門用語を正しく使えているかを重視する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152406500&opi=se0020&syw=1

教科書 行動と学習の心理学 / 伊藤正人、昭和堂、2005、9784812204320



神経・生理心理学：人間の行動・心理に関わる知覚・記憶・情動等とその障害 八十島 安伸 後期 木曜日 1時限 C301
等の脳・生理基盤について神経科学・生理心理学から理解する。

- ・記憶・感情・意識等の調節に関連する脳神経系の構造・機能・物質的基盤の概要を説明できる。
- ・記憶障害・失語・失認などの高次脳機能障害等の病態や原因の概要を説明できる。

人間の心と行動の理解には、心理学的な知識のみならず、その背景にある生物学的な機序、ならびに生物機能と心理的機能との関連を理解することが役立つ。本講義では、ヒトの心理と行動の生物学的基盤について、特に、神経科学・心理学・神経心理学等から得られた知見に基づいて解説し、基本的な知識と考え方の理解を目指す。受講生は、それらの知識や学びから、物質的存在である脳と心の関係や、心身と身体との関係性の概要を理解することに取り組む。毎回の講義では、小課題への解答提出を求めることで講義内容への学びを深める。

- ・毎回の授業に対応する小課題(30%)(毎回の授業内容の理解を問う)
- ・読書レポート(20%)(神経・生理心理学に関わる書籍を一冊精読し、その内容を要約することができるか、その内容を批判的に考察できるかを問う)
- ・到達度確認のための授業内テスト(50%)(神経・生理心理学の専門用語を理解し、心的活動と脳・神経系の関係性を理解しているのかを問う)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152415500&opi=se0020&syw=1

教科書



発達心理学：発達心理学の基礎知識の習得、および主な発達理論、ヒトの一 礪部 美也子 前期 水曜日 4時限 C202
生における発達課題の理解

誕生から高齢期まで、発達心理学の基礎的知識、理論を習得し、生涯発達の基本的な考え方を理解する。

発達初期・胎児期から幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期(中年期、高齢期)までの発達の様相・特徴について、種々の実験や研究知見から基本的な知識を学習する。発達心理学の研究手法、発達理論(発達観、発達段階、発達の原理など)について理解する。児童相談所心理判定員や障害児の療育事業の発達相談員、児童養護施設のセラピストとして発達相談や心理支援をしてきた経験や知見を活かしながら講義を行う。

授業中のミニ課題および受講態度などの平常点(約30%)、最終回の 学習到達度確認(講義内容の基本事項を理解しているかを問うテスト)(約70%)で評価する。6回以上の欠席があれば、評価外とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152404500&opi=se0020&syw=1

教科書



教育・学校心理学：教育における諸問題および臨床心理学的支援

林 郷子

後期 火曜日 3時限 C202

学校における子どもの「問題行動」について、臨床心理学的観点から理解を深めるとともに、心理学的支援の実際について学ぶ。

学校教育の場において、不登校やいじめなど、様々な問題が生じている。本講義では、いわゆる「不適応」「問題行動」とされる子どもの状態について、臨床心理学的な観点からその意味や可能性を検討する。また、教育現場における課題を検討するとともに、スクールカウンセリングなどに代表される支援の実践活動について紹介する。なお、この科目は、担当教員が心理臨床の現場にて従事した経験に基づき授業を実施する。



授業ごとに行う課題(講義内容の理解度およびテーマを掘り下げて考える姿勢)、最終授業で行う学習到達度確認(問題行動の意味を理解し、適切な支援を考えられているか)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152407500&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。

社会・集団・家族心理学：公認心理師の職責を全うするために必要な家族および身近で日常的な対人関係や集団の心理学を学ぶ。

後期 金曜日 3時限 C203

対人関係や集団、家族関係について、応用的な立場から捉え直しを行い、理解できるようになる。

自己と社会との関わりを考えた場合には、対人関係や集団、家族関係について、心理学的な視点から改めて考える必要がある。本講義ではこれらの関係について応用的に捉えなおすことを目的とする。

期末レポート(70%)、講義内での課題(30%)で評価します。レポートと課題ともに、適切な事例が選ばれており、それについてきちんと考察されているのかを判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152403500&opi=se0020&syw=1

教科書 各回でレジュメを配布します



応用社会心理学：【オンデマンド配信によるWeb授業】社会心理学の研究知見・理論の日常への応用

與久田 巖

後期 金曜日 5時限 C201

【オンデマンド配信によるWeb授業】日常の諸問題の理解と解決に応用されてきた社会心理学の研究知見・理論について知識を深め、諸問題について自分なりの見解をもつことができるようになる。

【オンデマンド配信によるWeb授業】社会心理学の研究から得られた知見・理論について、日常生活におけるテーマ・諸問題についてとりあげる。具体的には、装い、化粧、消費、食、病気、健康、交通・運輸、カルト集団、裁判、政治、環境といったテーマ・諸問題についてとりあげて、社会心理学の応用的側面について理解を深める。

課題58%【Google Formsへ提出】：講義内容の正確な理解を問う。

学期末レポート42%【Google Formsへ提出】：講義で取り上げたテーマ・諸課題について、授業内容について触れつつ、各自の見解を論述で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152403700&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



感情・人格心理学：個人を特徴づける「感情」「人格」は、ともに心理学の重要分野である。その多様な理論・概念の理解を深めることをテーマとする。

後期 火曜日 1時限 C203

感情の概念・理論、生起する過程、様々な影響などについて理解する。人格の概念・理論、類型・特性などを理解するとともに、その病理についても理解する。

テキストは指定しない。毎回の配布資料を基に授業を進めていく。資料については、E-Learning上にもアップする。参考文献等は適宜授業内で紹介していくので、個々で活用することが望まれる。

毎回の授業後には、理解を深めるため及び問題意識を深めるための質問等のミニレポートの提出を推奨する。

中間レポートの期限内の提出・定期テスト60点以上の2つを単位取得の条件とする

「中間レポート」－ 50%

定期テスト－ 50%

にて評価

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152402200&opi=se0020&syw=1

教科書



青年心理学：青年期の心理、社会、生物学的発達を理解する

今井 由樹子

前期 水曜日 1時限 C104

青年期の心理を多面的に理解するとともに、自分の青年期について見つめなおし、自己理解を深める。

臨床心理士・公認心理師としてのスクールカウンセラー勤務の経験に基づき授業を展開する。人間の発達のなかの青年期について心理学的視点からの理論を学ぶ。社会との接点での様々な現象や課題について考察し、自分を見つめなおすことで自己理解を深め、他者理解を促していく。

対話を通して自己と他者について見つめなおしを促進するため、小グループでのディスカッションと発表を多く実施する。

レポート課題により講義内容の理解と問題意識を問う。

小レポート計3回(各25点満点)と積極的態度(25点満点)で100%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152413000&opi=se0020&syw=1

教科書 青年心理学 / 高橋 一公・サイエンス社, 2020. 978-4-7819-1474-9



進化心理学：進化の産物としてのヒトの心を理解する。

新井 さくら

後期 水曜日 5時限 C401

進化がどういうプロセスか、また進化の産物であるヒトの心がどんな特徴を持っているかを説明できる。

【Zoomを利用したリアルタイムでのリモート授業です】

ヒトの心は他の器官と同じく、自然淘汰の結果生まれた進化の産物である。進化心理学はこの理解に基づき、進化史を通じてヒトが直面してきた課題を分析し、課題によって自然淘汰されてきた心の特徴を明らかにするアプローチである。本講義では、進化とは何か、自然淘汰の働きを理解することからはじめ、協力や配偶者選択など様々な適応課題に応じて進化してきたヒトの心の特徴について学ぶ。

E-learning上で実施する各回の小テスト(30%)と第15回の学習到達度確認(60%)、および平常点(授業中のコメントシート、取り組み姿勢など)(10%)で評価する。小テストは各回の、学習到達度確認は全部の回の授業について、概念や理論、仮説検証の方法やその結果など包括的理解を問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152425000&opi=se0020&syw=1

教科書 進化と人間行動 第3版 / 長谷川寿一・長谷川眞理子・大槻久・齋藤 慈子・香田 啓貴・東京大学出版会、2026. 978-4-13-062237-0



応用心理学：心理学の社会制度・政策への応用：現代日本の「生きづらさ」の改善に向けた心理学の応用 ト部 敬康

後期 火曜日 4時限 C103

心理学の知識を社会制度ないし政策に応用する視点を身につける

無力感・多忙感を自覚しながら生きる人が多いことや毎年2万人前後が自殺していること、などといった、現代日本の「生きづらさ」を社会心理学の視点(少し社会学を含む)から考察する。例えば、情報化によって高度にシステム化された社会が人間の精神活動にもたらす負の影響(身近なところでは、以下のような「授業計画のコマ切れ表記の義務づけ」が全体的な授業趣旨を伝わりにくくすることなども、これに含まれる)などを挙げる事ができる。上記の講義概要に即した話をするが、以下のような「コマ切れの授業計画表記」は誤解を与えるため、初回の授業で詳しく全体の授業趣旨を説明する。また、「予習や復習」は各人の内発的な問題意識に導かれるべきものであるから、以下の記載に関わらず、自らが課題を見つけて取り組んでいただきたい。

細かい知識の暗記は要求せず、大局的な考え方についての理解度を重視する。したがって、期末レポートのみで評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152414000&opi=se0020&syw=1

教科書 常識の社会心理：あたりまえは本当にあたりまえか / ト部敬康・林理(編)・北大路書房、2002年。



集団力学：集団行動の理論と応用

ト部 敬康

前期 水曜日 1時限 C103

集団と人間の関わりについて基礎的な視点が身につくこと

一般に「3人寄れば文殊の知恵」と言われるように、集団は単なる個人の寄せ集めではない。複数の人間が集まって集団を形成することによって、個々人の能力の総和を超えた成果が生まれることもある。一方、集団で物事を進めたばかりに個々人のもつ能力が発揮されず、「3人寄ればサル知恵」(もちろん、格言として正しくは「船頭多くして船、山に登る」)となることもある。どのような理由で両者の違いが生ずるのだろうか。講義では、こうした疑問に答えるべく集団力学の重要な知見を紹介する。以下のような順序で集団力学の基礎を概説しながら、いじめ・差別問題・企業犯罪などの発生メカニズムとその解決のための視点を提供したい。

なお、以下に示す「予習・復習」は、本来、各人の内発的な問題意識に導かれるべきものであるから、この記述に囚われる必要はない。

細かい知識の暗記は要求しない。大局的な考え方についての理解度を重視する。したがって、期末レポートによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152409000&opi=se0020&syw=1

教科書



対人社会心理学：社会心理学の知見を通して、社会における人の行動の理解を深める。 村上 幸史

前期 金曜日 1時限 C301

社会的な意味を持つ人の行動について、興味を持ち、理解できるようになること

われわれは思う以上に多くの人と接しており、そのことが自分自身の態度、行動を決めているとは言い過ぎでしょうか。自己と社会との関わりを私から私たちへその範囲を拡大して見ていくことで、社会とそこで暮らす人についての理解を試みます。

定期試験(70%)、講義内の課題(30%)で評価します。定期試験は定期試験期間(第16回)に試験を実施します。定期試験は講義内で取り扱った理論や概念がきちんと理解されているのかを選択形式、及び簡単な論述で問います。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152425300&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回レジュメを配布します



産業・組織心理学：産業・組織における行動と心理、人事・評価および消費行動について学ぶ。 與久田 巖

前期 火曜日 2時限 C103

産業・組織心理学の理論、知見、課題について理解し、それぞれについて自分なりの解をもつこと。

まず、組織・集団における心理や行動、ワーク・モチベーション、キャリア形成・発達、グループダイナミクスなど、組織における行動と心理を学ぶ。次に作業能率、疲労・過労、ストレスとストレス・マネジメントについて学ぶ。さらにそれら産業・組織における人事・評価などについて学び、産業・組織心理学の理論と知見に関する理解を深める。

毎授業毎の課題58%: 講義内容の正確な理解を問う。

学期末レポート42%: 講義で取り上げたテーマ・諸課題について、授業内容について触れつつ、各自の見解を論述で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152425700&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配布する



文化心理学：文化による心理的傾向の違い

村上 史朗

前期 火曜日 4時限 C202

文化心理学の考え方と基礎的知見の理解

こころの働きは、世界中どこでも同じというわけではない。生活する国・地域や所属する集団などによって、当たりまえとされることが違い、こころの働きもまた異なる。私たちのこころの働きが文化によってどのような影響を受けているのかを考えていく。

毎回の授業時の小課題(30%:各回の主要概念の理解度を評価)と到達度の確認(70%:文化心理学の基礎的知識と理論の理解)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152424000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



障害者・障害児心理学：障害の種類、その概要と支援について知る。

磯部 美也子

後期 水曜日 3時限 C103

障害に関する正しい知識を得るとともに、支援について考えられるようになる。また、権利擁護、権利保障の問題として理解する。

まず障害に対する考え方を提示する。各障害について学び、心理とその支援について考えていく。障害児療育、発達相談、特別支援教育などの臨床経験や心理支援の経験を通して得た知見をもとに、現場の課題も提示しながら障害への理解をする。また、障害受容や家族への支援も取り上げる。視覚教材を用いる。

授業への参加状況、ミニレポート提出による平常評価(約30%)、学習到達度確認(講義内容の基本事項を理解しているかを問うテスト)(約70%)とします。6回以上の欠席は、出席不足で評価外です。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152417200&opi=se0020&syw=1

教科書 障害者心理学 / 柿沢敏文編・北大路書房、2018・978-4-7628-2984-0



福祉心理学：福祉現場の課題・制度等と心理支援について

磯部 美也子

後期 水曜日 4時限 C103

福祉現場における問題と課題を理解し、その解決のための社会資源の活用及び心理支援の方法について理解する。

福祉現場で扱われる問題、課題や制度について概説する。児童相談所、児童養護施設、障害児通園施設等の福祉現場で相談・心理支援に携わってきた経験をもち、事例を交えながら講義する。福祉現場における心理支援についてその実態を知り、心理職の役割について学んでいく。

最終回の学習到達度確認テスト(講義内容の基本事項を理解しているかを問うテスト)(約70%)、および平常授業におけるミニ課題の提出や受講態度など(約30%)で行う。6回以上課題の提出がない場合、出席不足で評価外とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152420700&opi=se0020&syw=1

教科書 福祉心理学 第2版 / 中島健一(編)・遠見書房、2018・9784866160672



心理学的支援法I：心理学的支援法概論

林 郷子

後期 火曜日 1時限 C301

心理療法やカウンセリングについての主要な理論・方法論を中心として、心理学支援全般について学ぶ。

心理学的支援とは、心理学の知見を主に使って、こころの問題からくる心身に生じる症状や苦しみを改善しようとする方法の総称で、臨床心理学の実践において中心的な位置を占めるものである。心理学的支援にも様々な方法があるが、本講義では、心理療法・カウンセリングの代表的な理論の紹介を行うとともに、基本的な支援のあり方について検討する。なお、この科目は、担当教員が心理臨床の現場に従事した経験に基づき授業を実施する。

授業ごとに行う課題(講義内容の理解度)や、最終授業で行う学習到達度確認(心理学的支援の基本的な考え方を事例に適切に応用できているか)により、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152416200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。



心理学的支援法II：心理学的支援の全体像を理解し、その一つである精神分析の基礎理論や、精神力動的視点からの見立て、精神力動的な心理療法の基礎を学ぶ。

星野 修一

後期 水曜日 3時限 C201

精神力動的な心理療法は、精神分析学の理解に基づく心理臨床的アプローチであり、人間理解とその支援に有効な力を発揮する。本講義では、最初に心理学的支援の全体像を理解し、その後、精神分析の基礎理論や、精神力動的な心理療法の基礎的な理解を学ぶことを目指す。

心理学的支援の多様なアプローチのなかで、精神分析もしくは精神力動的な心理療法にまつわる基礎的な理解を文献講読と、ディスカッションを中心に行う。

講義への参加状況、小レポート(30%)、レポート課題(70%)で評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152419200&opi=se0020&syw=1

教科書



司法・犯罪心理学：非行・犯罪行動に関する理論。司法領域の心理学の実践。加害者と被害者の心理と支援。

今井 由樹子

後期 金曜日 2時限 C104

非行・犯罪行動理論の基礎と概観を理解し、心理的介入方法等の実践を知る。社会現象としての犯罪に問題意識を持つ。

少年警察補導職員及び臨床心理士・公認心理師の経験に基づき授業を展開する。非行・犯罪の実態を知り、司法・犯罪心理学の基礎的な理論を学ぶ。様々な視点、及び、臨床場面でのどのようなアセスメントや教育プログラムが行われているかを理解し、加害と被害の関係を考える。

各回授業で行う知識理解と定着度を問うコメントシート60%、講義態度とグループワークへの積極的参加40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152411200&opi=se0020&syw=1

教科書 教科書使用なし。資料を配布する。



健康・医療心理学：健康・医療心理学に関する概説

鈴木 孝

後期 水曜日 1時限 C204

保健・医療領域における心理的課題を理解しその内容を説明できる。

- ①保健医療の健康心理学
- ②健康心理学と公衆衛生
- ③医療の健康心理学的側面について概説する。

健康の定義、社会保障制度、健康保健政策、地域保健、障害受容、受療行動、感染症、精神障害、嗜癖、自殺などのテーマを取り上げる。

受講態度および討論への参加度、コメントシート(40%)と理解度確認テストの成績(60%)にて評価する。理解度確認テストは最終週(15週目)に実施するため、必ず出席すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152422200&opi=se0020&syw=1

教科書 健康・医療心理学 / 岸太一、藤野秀美、ナカニシヤ出版、2017、9784779512070



精神疾患とその治療：主要な精神疾患について、その疾患概念、心理的な患者理解、治療、患者支援について学ぶ。

前期 水曜日 3時限 C202

主要な精神疾患について、その全体像、疾患概念、心理的な患者理解、治療、患者支援について理解すること。

精神疾患を、DSM-5に沿って学習する。毎回テーマとする疾患について、対話形式を取り入れつつ講義し、理解を深めるために小テストを行う。小テストは、具体的な症例を提示して回答を求める形とし、実際の患者さんに接することができないことによる疾患イメージの形成困難を補うようなものとする。

小テストの結果と受講態度によって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152418200&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布します。



人体の構造と機能及び疾病(一)：健康に生きるためには、肉体的にも、精神的にも、社会的にも健全であることが必要です。そのためには、病気になった後の早期発見・早期治療だけでなく、病気になる前の予防・健康づくりや病気から回復した後の再発防止が重要です。本講義では、まず医学・医療の基本や・診断・治療について学びます。ついで、予防医学や公衆衛生学・健康づくりをまなび、最後に医療法や規や医療経済を学びます。

前期 木曜日 2時限 C205

- ・医学と医療の現状について説明できること。
- ・文科系学生として、医療の多職種連携について説明できること。

教科書(医学概論:南江堂 中島 泉)にそって授業をすすめます。毎回、授業素材は提供いたしますので、医療についての理解を深めて頂き、毎授業ごとに課題を提示しますので、ミニレポートを記載して提出してください。教科書による予習→授業の聴講→ミニレポートによる復習のサイクルを確立しましょう。

ミニレポートの内容で合否を判定します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152418401&opi=se0020&syw=1

教科書 医学概論:医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島 泉、南江堂、2015年、978-4-524-26751-4 50のキーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子、丸善出版、2026年、978-4-621-31228-5



人体の構造と機能及び疾病(二)：健康に生きるためには、肉体的にも、精神的にも、社会的にも健全であることが必要です。そのためには、病気になった後の早期発見・早期治療だけでなく、病気になる前の予防・健康づくりや病気から回復した後の再発防止が重要です。本講義では、まず医学・医療の基本や・診断・治療について学びます。ついで、予防医学や公衆衛生学・健康づくりをまなび、最後に医療法や規や医療経済を学びます。

後期 木曜日 3時限 C205

- ・医学と医療の現状について説明できること。
- ・文科系学生として、医療の多職種連携について説明できること。

教科書(医学概論:南江堂 中島 泉)にそって授業をすすめます。毎回、授業素材は提供いたしますので、医療についての理解を深めて頂き、毎授業ごとに課題を提示しますので、ミニレポートを記載して提出してください。教科書による予習→授業の聴講→ミニレポートによる復習のサイクルを確立しましょう。

ミニレポートの内容で合否を判定します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152418402&opi=se0020&syw=1

教科書 医学概論:医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島 泉、南江堂、2015年、978-4-524-26751-4 50のキーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子、丸善出版、2026年、978-4-621-31228-5



臨床心理学特殊講義(一)：精神分析学に基づく人間理解について習得する。星野 修一

前期 水曜日 5時限 C202

精神分析は人間を深く理解するための一手法であり、その中で得られた知見により構築されたのが精神分析学である。本講義では、心理臨床に活用し得る精神分析学の基礎知識(技法ではない)や、臨書現場での実践について学び、自己や対人関係を見つめ直す視点を獲得する。

精神分析理論の概観や、精神力動的な心理療法の実践、臨床現場での実践について学び、ディスカッションを行う。本授業はオンラインでの開催とする。

講義への参加状況、小レポート(30%)、レポート課題(70%)で評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152432501&opi=se0020&syw=1

教科書 配布資料が中心となる。適宜、紹介する。



臨床心理学特殊講義(二) : アンガーコントロール

今井 由樹子

前期 金曜日 2時限 B224

怒りと攻撃行動について理解する。自己分析を行い対処法と予防について考える。

日常生活のなかで感じる怒りと攻撃行動の理論を学ぶ。自己分析とグループワークにより、実践可能な対処法と予防を学ぶ。

各回課題30%、コメントシート30%、積極的態度40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152432502&opi=se0020&syw=1

教科書 教科書使用なし。資料を配布する。



社会心理学特殊講義(一) : リスクの社会心理学

村上 史朗

後期 水曜日 4時限 C203

リスク、安全、安心に関連する社会心理学および周辺領域の知識を得て、社会的問題に関するリスクの過大視・過小視やリスクの低減策について自分なりに考察できるようになる。

私たちのあらゆる選択にはリスクが伴う。しかし、私たちはリスクとリターンの評価を合理的にできている場面は少なく、多くのケースでバイアスが見られる。しかも、そのバイアスは誰もが「同じように」持っているのではなく、自分のポジション(立場や所属集団)によっても異なっている。この授業では、リスクの心理的性質の理解を中心に、社会心理学の枠を少しはみ出して隣接領域の知見も参照しながら、社会生活においてうまくリスクとつきあう視座を考えていく。

毎週提出の課題30%(授業内容の理解度を確認)と最終レポート70%(授業内容を理解した上で、社会問題について適切な考察ができるかを問う)により評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152441001&opi=se0020&syw=1

教科書 配付資料を用いる。



社会心理学特殊講義(二) : 社会心理学に必要な社会学的なモノの見方を身につける

ト部 敬康

前期 火曜日 4時限 C103

さまざまな社会現象を解釈する際に、一方的な心理過程還元主義に陥ることなく、社会と人間の関わりについて考えることができるようになる。

「心理学科」に入学した諸君は、ひょっとすると「社会心理学は心理学の一部分である」とあたりまえに思っているのかもしれない。しかし、社会心理学の成り立ちを考えると、必ずしもそうではない。心理学や社会学、文化人類学、社会言語学など、社会と人間の関わりを研究するいろいろな学問の交差点として、社会心理学は発展した。

しかし、残念なことに、社会心理学を「心理学の一部」として矮小化する捉え方が多くを占めるようになり、社会心理学を学ぶ学生に社会学の理論や考え方を紹介することが、かつてより少なくなってしまう。

そこで、本講義では、社会心理学を学ぶ学生にとって必須と思われる社会学の理論ないし考え方を平易に紹介することを通して、人間の「こころ」が、社会制度の産物であることを理解してもらう。

細かな知識の暗記は要求しない。大局的な考え方の理解の深さを評価するため、期末レポートのみで評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152441002&opi=se0020&syw=1

教科書 非行のリアリティ / 大村英昭・世界思想社、2002年。



社会心理学特殊講義(四) : 心理主義社会に生きる人間の生きづらさ

ト部 敬康

後期 水曜日 5時限 C103

心理主義社会についての理解を通して、個人の生きづらさの背後には、それをもたらす社会的な構造が必ず存在していることを理解する。

現代の日本の特徴の一つに、心理主義を挙げることができる。心理主義を簡単にいえば「個人のこころを重視する社会」ということである。「こころを重視する」と言えば聞こえが良さそうだが、それが個人の「生きづらさ」の原因となりがちである。諸君の身近なところでいえば、SNSに依存したコミュニケーションが主流となったことも、心理主義と大いに関係がある。

この講義では、心理主義の特徴を解説したうえで、現代日本の若い人々のコミュニケーションないし友人関係ないし恋愛関係の特徴を述べ、それらの関係を考察し、心理主義が人間どうしのつながりを推奨しつつ阻害するように作用していることを示す。それらを通して、心理主義社会の生きづらさを理解し、そこからの脱却の方向性を模索する。

細かい知識の暗記は要求せず、大局的な考え方についての理解度を重視する。したがって、期末レポートのみによって評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152441004&opi=se0020&syw=1

教科書 ほんとはこわい「やさしさ社会」 / 森真一・ちくまプリマー新書、2008年。



社会心理学特殊講義(八) : ストレスを知り、ストレスをマネジメントしてレジリエンスを高める

後期 火曜日 2時限 C201

ストレスの理解、ストレスへの気づき、ストレスへの対処を通してストレスのマネジメントを身につけ、レジリエンスを高める。

授業では、ストレスを理解し、ストレスへの認知、ストレスへの対処、ストレスの自己コントロールを身につけ、受講生自らのレジリエンスを高めることを目的とする。授業はアクティブ・ラーニングの手法を活用するため、受講生自らの主体的取り組みが必要である。

課題58%、学期末レポート42%、合計100%で評価する。

課題では、講義内容の正確な理解を論述で問う。

学期末レポートでは、講義で取り上げたテーマ・諸課題について授業内容に触れつつ各自の見解を論述で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152440600&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会心理学特殊講義(九)：運と心理学の関わりについて学ぶ。

村上 幸史

前期 金曜日 2時限 C301

日常生活における運について知識を深め、解釈できるようになる。

私たちは普段の日常生活で運という言葉をよく用いています。その内容を考えてみると、人の判断や対人関係と深く関わっていることが分かります。本講義では、社会心理学や応用心理学の知見を生かして、日常生活における運から、運に関する研究まで広く知識を深め、それを解釈することを目的とします。

期末レポート(70%)、講義内での課題(30%)で評価します。レポートと課題ともに、適切な事例が選ばれており、それについてきちんと考察されているのかを判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152441009&opi=se0020&syw=1

教科書 各回にレジュメを配布する



心理学統計法II：心理学の研究で用いる代表的な統計解析手法に関する知識とスキルを習得する。

村上 史朗

前期 水曜日 4時限 I105

(1)心理学の研究論文で用いられる統計解析結果を読み取り、解釈できるようになる。(2)統計解析ソフトを使用して分析することができるようになる。

心理学研究では、研究目的やデータの測定方法に応じた適切な統計解析手法を選択した上で、分析結果を解釈・報告することが必要となる。本講では、データの性質ごとにどのような分析が必要とされるのかを確認した上で、それぞれの分析手法を具体的なデータを用いて実習形式で学習する。

授業内の実習課題(40%:授業内容の理解度の確認)とレポート(60%:授業で扱った統計的手法を各自の判断で活用できるかの確認)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152404900&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



関係行政論：対人援助(特に心理業務)を行う上で必要な施策や法律、制度、小山 秀之

後期 水曜日 2時限 C301

学生が各領域における施策や法律、制度等に理解し、公認心理師が多職種連携を行う上での必要な知識を身に付ける。

講師は公認心理師、臨床心理士、社会福祉士の有資格者で、認知行動理論、家族システム理論、ストレングスモデル、エコロジカルアプローチなどの理論に基づいて医療・教育・福祉・産業等の現場で実践を重ねてきた。公認心理師は他職種との連携を行う際、各領域における施策や法律、制度等を理解しておく必要がある。本授業では、様々な領域の事例に触れながら、施策や法律、制度及び心理支援について学んでいく。

授業中(最終授業等)に実施する学習到達度確認で行う(配布資料及び自身で作成した自筆ノートのみ持込可)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152432700&opi=se0020&syw=1

教科書



公認心理師の職責：公認心理師の職責に関する概説

鈴木 孝

前期 水曜日 2時限 C203

公認心理師の職責や業務内容に関し、法的、倫理的、臨床心理学的観点から理解し説明できる。

公認心理師の役割、法的義務、安全性の確保、プライバシー保護について概説し、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野における公認心理師の業務に関する講義を行う。また公認心理師としての生涯学習の必要性や多職種連携についても言及する。

受講態度、コメントシート(40%)と到達度確認のための理解度確認テストの成績(60%)によって評価する。理解度確認テストは最終授業(第15回)にて行うため、必ず出席すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152425900&opi=se0020&syw=1

教科書 公認心理師の職責 第二版 / 野島一彦(編)・遠見書房、2023・9784866161662



心理実践演習(心理実習)：心理支援活動の実践

共同.林 郷子.磯部
美也子.今井 由樹子.
鈴木 孝.星野 修一

通年 その他 その他 その他

心理支援を必要とする者等に対するチームアプローチや多職種連携、地域連携等、心理支援の実践を行うための基本的な知識や技能を修得し、公認心理師としての法的義務や職業倫理を理解する。

学外実習施設において実習を行う。施設見学や支援活動の見学、グループ支援への参加等を通して、心理支援を要する者等の理解を深め、心理支援に必要なコミュニケーション技能を修得するとともに、多職種連携や地域連携について体験し、その意義を学び、公認心理師としての法的義務や職業倫理を理解する。検討会を通して活動内容について適宜振り返りを行う。各担当教員の心理学的支援の経験をふまえて指導を行う。

実習への参加状況や実習記録、検討会への参加態度等により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152426200&opi=se0020&syw=1

教科書



心理的アセスメントⅠ：代表的な心理テストの目的・内容の理解と実施、およびアセスメントの意義について学ぶ。	共同.林 郷子.磯部 美也子.星野 修一	前期 金曜日 1時限 B120. 前期 金曜日 1時限 B316. 前期 金曜日 1時限 B317
--	----------------------	---

代表的な心理テストについてその理論を理解し、実習を通して、心理アセスメントについて学習する。臨床心理学を修得する者にとって必要最低限の心理アセスメントの技法と倫理的配慮を体得する。

心理アセスメントとは、面接や心理テストなどを通して、対象者を様々な視点から理解し、支援につなげようとするものである。本実習では、心理テストを中心に心理アセスメント技法で代表的なものをとりあげる。臨床心理士として、相談機関等で実際にアセスメントをしてきた実務経験のある教員が、その知見をもとに、その概要、実施法、解釈法等の基礎について、実際に検査を体験して学習できるようにしている。

授業中の平常点、積極的に実習に参画しているか、意見、質問や考察をしているかを評価(50%)、レポート(講義・実習内容の基本事項を理解しているかを問う)(50%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152426800&opi=se0020&syw=1

教科書



心理的アセスメントⅡ：投映法を中心とした心理アセスメント実習	共同.鈴木 孝.星野 修一	後期 金曜日 1時限 B120. 後期 金曜日 1時限 B316. 後期 金曜日 1時限 B317
--------------------------------	---------------	---

投映法による心理検査には様々なものがあるが、その中でも代表的なTAT、ロールシャッハテストの概要を理解すると共に、実施法や解釈法を実習を通して身につける。

臨床現場に訪れる来談者のこころを深く理解し、より良い心理臨床的援助を提供するためには、パーソナリティ全体に関わる的確な心理アセスメントがその前提となる。本科目では、ロールシャッハテストに基づくアセスメント、TATに基づくアセスメントを中心に、その概要と実施法、さらに解釈について体験的に学習する。

平常点(主体的・積極的に取り組む姿勢)とレポート(検査結果の適切な解釈)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152426900&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント資料を配布する。



心理演習(カウンセリング)Ⅰ：心理学的支援の基本的な知識及び技能の修得	共同.林 郷子.磯部 美也子.鈴木 孝	前期 金曜日 2時限 B120. 前期 金曜日 2時限 B316. 前期 金曜日 2時限 B317
-------------------------------------	---------------------	---

コミュニケーションのあり方、心理検査、心理面接、地域支援など、対象者の理解及び関係構築に関する知識と技法について、基本的な水準の修得を目的とする。

具体的な場面を想定し、ロールプレイングを行い、かつ、事例検討で取り上げることにより、対象者の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、対象者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携に関する知識と技法について学び、心理職としての職業倫理及び法的義務への理解を深める。授業は、3名の担当教員がローテーションで実施するが、それぞれの心理学的支援の経験をふまえた内容を盛り込むこととする。

各回の振り返りおよびレポートにより総合的に評価する。各回でのレポートの観点は、授業時に伝える。課題を正確に理解し、求められている点について、授業で学んだことを中心に、論点をわかりやすく記述すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152427500&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する



心理演習(カウンセリング)Ⅱ：心理学的支援に関する諸理論および諸技能の修得	共同.林 郷子.星野 修一	後期 金曜日 2時限 B120. 後期 金曜日 2時限 B316. 後期 金曜日 2時限 B317
---------------------------------------	---------------	---

各種の心理学的支援法について、支援を実践するための知識および技能を獲得する。

心理演習(カウンセリング)Ⅰで学んだ心理学的支援の基本的知識および技能を前提として、より応用的な心理学的支援の方法について、ロールプレイング等を通して実践的に学ぶ。担当者の心理学的支援の現場における経験をふまえた内容を盛り込むこととする。

各回における取り組みと、授業過程において課すレポートをもとにして総合的に評価する。各回での振り返りのポイントは授業時に示す。レポートは、課題を的確に把握し、各課題についての理解が示されていること、授業で学んだ知識や技術を基に作成されていることにより、評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152427600&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料などを配布します



社会心理学実験演習：社会心理学実験の立案と実施	共同.ト部 敬康.村上 史朗.與久田 巖.村上 幸史	前期 月曜日 2時限 B116. 前期 月曜日 2時限 B118 -1.前期 月曜日 2時限 B118-2.前期 月曜日 2時限 B119
-------------------------	----------------------------	---

社会心理学における実験の計画・実施・分析・発表の流れを習得する

社会心理学研究において、実験法はもっとも標準的な手法のひとつである。受講者は班ごとに設定されたテーマに沿った実験を計画し、実験材料作成、実験の実施、データ分析、成果発表の一連の流れを経験、実験を用いた研究への理解を深めることを目的とする。

毎回の課題の達成度(30%:ディスカッションへの参加及び研究計画作成への参加)、成果発表(15%:班ごとの最終成果発表)、最終レポート(55%:個人ごとの最終レポート)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152427800&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



基礎演習I(一) : 総合社会学科スタートアップI

島本 太香子

前期 月曜日 4時限 M
101.前期 月曜日 4時限
M102.前期 月曜日 4時限
オープンプレゼンスペース

総合社会学科で学修を進めていくために必要な姿勢と技術を、実践的な取り組みを通して身につけること

[思考力][コミュニケーション力]

総合社会学科では「リサーチオリエンテッド」の精神のもと、自ら問題を発見し、解決していくための姿勢と技術を身につけ、現実の問題にアプローチしていくことを重視している。この授業ではそのために必要な姿勢と技術を、実習による具体的な経験を積むことで身につけることを目指している。すべての課題を達成したとき、2年生以降のより実践的で専門的な学修の支えになることが期待される。

レポート作成、読解、発表、ディスカッションの基本技能それぞれの向上度から、総合的に到達度を評価する。
発表、ディスカッションにおいては、積極的に参加する姿勢が重視される。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111016101&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



基礎演習I(二) : 総合社会学科スタートアップI

吉田 光次

前期 月曜日 4時限 M
103.前期 月曜日 4時限
M104.前期 月曜日 4時限
オープンプレゼンスペース

総合社会学科で学修を進めていくために必要な姿勢と技術を、実践的な取り組みを通して身につけること

[思考力][コミュニケーション力]

総合社会学科では「リサーチオリエンテッド」の精神のもと、自ら問題を発見し、解決していくための姿勢と技術を身につけ、現実の問題にアプローチしていくことを重視している。この授業ではそのために必要な姿勢と技術を、実習による具体的な経験を積むことで身につけることを目指している。すべての課題を達成したとき、2年生以降のより実践的で専門的な学修の支えになることが期待される。

レポート作成、読解、発表、ディスカッションの基本技能それぞれの向上度から、総合的に到達度を評価する。
発表、ディスカッションにおいては、積極的に参加する姿勢が重視される。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111016102&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



基礎演習II(一) : 総合社会学科スタートアップII

島本 太香子

後期 月曜日 4時限 M
101.後期 月曜日 4時限
M102.後期 月曜日 4時限
オープンプレゼンスペース

総合社会学科で学修を進めていくために必要な姿勢と技術を、実践的な取り組みを通して身につけること

[思考力][コミュニケーション力]

総合社会学科では「リサーチオリエンテッド」の精神のもと、自ら問題を発見し、解決していくための姿勢と技術を身につけ、現実の問題にアプローチしていくことを重視している。この授業ではそのために必要な姿勢と技術を、実習による具体的な経験を積むことで身につけることを目指している。すべての課題を達成したとき、2年生以降のより実践的で専門的な学修の支えになることが期待される。

レポート作成、読解のほか、グループでのディスカッションへの貢献が重視される。積極的な参加姿勢を勧奨しつつ、総合的に到達度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111016201&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



基礎演習II(二) : 総合社会学科スタートアップII

吉田 光次

後期 月曜日 4時限 M
103.後期 月曜日 4時限
M104.後期 月曜日 4時限
オープンプレゼンスペース

総合社会学科で学修を進めていくために必要な姿勢と技術を、実践的な取り組みを通して身につけること

[思考力][コミュニケーション力]

総合社会学科では「リサーチオリエンテッド」の精神のもと、自ら問題を発見し、解決していくための姿勢と技術を身につけ、現実の問題にアプローチしていくことを重視している。この授業ではそのために必要な姿勢と技術を、実習による具体的な経験を積むことで身につけることを目指している。すべての課題を達成したとき、2年生以降のより実践的で専門的な学修の支えになることが期待される。

レポート作成、読解のほか、グループでのディスカッションへの貢献が重視される。積極的な参加姿勢を勧奨しつつ、総合的に到達度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111016202&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



社会調査概論 : 社会調査入門

尾上 正人

前期 火曜日 2時限 C104

社会調査データを正しく利用するためのスキル、望ましい社会調査を実施するための方法や倫理観を身に付けることが、本講義の目標である。

[問題解決力][情報処理力]

どのような社会調査が存在し、それぞれがいかなる特徴を持っており、どのような点に注意すべきなのかという点について、実際におこなわれた調査を題材にしながら講義していく。

平常点10%(講義中に指名した時の発言など、積極的な態度を重視)、課題提出20%(課題に見合った回答が、十分な量書けているかを重視)、学習到達度確認70%(社会調査の基礎知識が身についているか、またそれを基にデータを読むことができるかを重視) https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/image/btn/btn_plan_input13.gif

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156001000&opi=se0020&syw=1

教科書 入門・社会調査法[第5版] / 轟亮・杉野勇 / 法律文化社、2026 / 9784589044730



社会学基礎：社会学的分析のおもしろさを知る

尾上 正人

前期 水曜日 1時限 C302

社会学の基礎知識を得るだけでなく、激動する今の社会を主体的に生き抜いてゆくための洞察力を身につけてゆくことを目標とする。

[思考力][情報処理力]

身近な日常生活に潜む不思議な現象に着目することから出発して、次第に鳥瞰図のように社会を眺める視点を獲得してゆく。各テーマごとに、そこで培われた社会学の基礎理論を紹介してゆくので、講義全体を通して社会学の諸学説をほぼ網羅的に学習することができる。

平常点30%(講義中に指名した時の発言など、積極的な態度を重視)、学習到達度確認70%(社会学の基礎的な知識が得られているか、またそれをもとに資料・データを読みこなす力があるかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156101600&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



社会調査法：計量的社会調査(social survey)に関する基礎知識の習得

吉村 治正

後期 火曜日 2時限 C104

計量的社会調査の実施および分析に必要な基本的知識の習得

[問題解決力][思考力]

計量的社会調査(social survey)の根幹は効率性と正確性、すなわちよりコストを抑え、より正確な情報を収集することにある。本科目では、社会調査の手順だけでなく、実際の社会調査で陥りやすい失敗や実施の各場面で生じやすいミスとその結果としての誤差の発生について学ぶ。これによって、精度の高いデータを得るための知識を修得してもらう。

毎週の授業で課題を与える。一回の課題を理解度に応じて0～3点、合計で45点とし、これに学期末試験の点数(55点満点)を加えて成績評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156002000&opi=se0020&syw=1

教科書 社会調査における非標本誤差 / 吉村治正・東信堂、2017・978-4-7989-1413-8



経済学：現代社会と経済学

唐津 周平

後期 火曜日 1時限 C104

- ・経済学の基本的な考え方を理解する。
- ・その考え方を参考にして、経済社会の諸現象を説明できる。

[思考力][情報処理力]

この講義では、経済学の基本的な考え方を現代社会の事例を交えながら学習する。まず、経済学の起源や歴史、学問としての特徴などを学んだ上で、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」といった基礎理論の理解も深める。それらを通じて、現代社会の仕組みを理解し、分析等の思考力を養う。

学習到達度確認60%+期末レポート40%

学習到達度確認の評価基準：各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

期末レポートの評価基準：経済学の基本的な考え方を理解したかどうかを確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156103400&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



情報学：情報の基礎を通して、社会にどのように利活用されているのかを学ぶ。 正司 哲朗

後期 火曜日 3時限 C302

情報理論の基礎、ハードウェア、ネットワークなどの基礎知識を学び、これらの技術がどのように社会で利活用されているのかを正しく理解することを目指す。

[思考力][情報処理力]

授業の前半では、情報技術の基本的な仕組みについて解説する。後半では、前半で説明した情報技術が、現代社会にどのように活用されているのかを、原理も含めて事例を紹介する。

成績評価は、各回で出題する小レポートで評価する。評価基準は、各回で説明した内容が正しく理解しているかどうかを判断する。小レポート課題の配点は、第1回4点、第2回から第11回まで各6点、第12回から第14回まで各10点、第15回は6点とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156105000&opi=se0020&syw=1

教科書 Web教材



社会体験実習：大学での学びを実社会に還元し、実社会での経験を大学での 共同:尾上 正人,中原

通年 水曜日 2時限 B120.

学びにつなげる

洪二郎,倉 光巖,唐

通年 水曜日 2時限 B224.

津 周平

通年 水曜日 2時限 B316.

通年 水曜日 2時限 B317.

通年 水曜日 2時限 C302

本実習では、学外での実践的活動を通じて、現実社会が抱える課題を具体的に理解し、それに主体的に関与する能力を養うことを目的とする。

PBLを通じて、課題設定、協働、実行、振り返りのプロセスを経験し、自身の学びを社会的文脈の中に位置づけられるようになることを目指す。

また、学外講師による講演を通じて、多様な社会的実践のあり方を理解し、自らの活動を相対化しながら考察できるようになることを到達目標とする。

[実行力][コミュニケーション力][問題解決力]本授業は、PBLを中心とした社会体験型実習である。

受講生は、地域社会、公共機関、民間企業、NPO等における学外活動を通じて、現実社会に存在する具体的課題に向き合い、その解決や改善に向けた実践を行う。

授業内では、プロジェクトの進捗共有、課題整理、活動方針の検討を行い、必要に応じて教員が助言を行う。

また、学外講師による講演会を4回実施し、実社会における多様な実践事例に触れることで、受講生自身の活動を理論的かつ社会的に位置づける視点を養う。

PBLへの取り組み状況、学外活動の内容、成果物、最終報告会での発表内容、および期末レポートを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156201000&opi=se0020&syw=1

教科書



演習I(一)：ゼミ生の経営学に関する基礎学力を築くため、経営学の主要な 倉 光巖
テーマである「経営管理論」、「経営戦略論」、「会計学」を学ぶ。

前期 火曜日 4時限 B318

「経営管理論」、「経営戦略論」、「会計学」の基本テーマや基礎用語や基本的な考え方を理解する。経営学の本を通読する読書力を養い、来年の卒業論文作成のテーマ決めや執筆力の基礎を作る。ケーススタディや企業分析のディスカッションを通じて経営学の理解を深める。



[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

経営学の文献をゼミ生で輪読し基礎に触れてゆく。

また、ケーススタディや企業分析を通じて経営学への理解を深める。

課題レポート作成を通じて卒業論文の書き方を3年次に指導する。

また、卒業論文のテーマの見つけ方を学ぶ。

ケーススタディにおいてはディスカッションを行う予定なので、発言回数や発言内容から理解の深さを評価する。組織論や経営戦略論での項目についてレポート提出を求める。レポートは、テーマの重要性、論旨が明確なこと、論理性の高さ、誤字脱字のないことが評価のポイントになる

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301501&opi=se0020&syw=1

教科書 経営学関連の書籍を選択する。

演習I(二)：ビジネスモデルを考える

尾上 正人

前期 火曜日 4時限 B120

具体的な企業の経営状態や戦略が読み取れるようになる。

[問題解決力][コミュニケーション力]

堤清二という稀代の異形経営者の卓越したビジョン、大成功と大失敗の事例に学びながら、現代に求められるビジネスモデルについて考える。次に、自分で選んだ企業の財務状態・経営戦略・ビジネスモデルを研究し、発表する。さらに、その企業が位置する業界の特性・歴史等を学ぶ。



授業中の発表の内容60%(文献を読みこなした上での確かな意見・論点を付け加えているか)、授業に対する積極性40%(講義中の質問、他の発表者に対する意見表明などを積極的に行っているかどうか)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301502&opi=se0020&syw=1

教科書 セゾン 堤清二が見た未来 / 鈴木哲也、日経BP 日本経済新聞出版、2024、978-4296118533 会社四季報 2026年2集春号 / 東洋経済新報社、東洋経済新報社、2026。

演習I(四)：インターネットコミュニケーションの分析

吉村 治正

前期 火曜日 4時限 B116

「炎上」「荒らし」「ネトウヨ」など、インターネット上で見られる特異なコミュニケーションを分析する。

[思考力][コミュニケーション力]

ネットにおける攻撃的なコミュニケーションに関する主要な文献を全員で輪読、ディスカッションすることで、社会的コミュニケーションについて分析を進める。指定文献(5冊程度)は開講時に指示する。各回ごとに発表者を割り当て、レジュメの提出と内容の報告を求める。



課題の報告に加え、課題図書ごとにレポートを課す。授業への貢献度(課題報告のプレゼンテーションとディスカッション)を最高60点、レポートの合計得点を最高40点として成績評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301504&opi=se0020&syw=1

教科書

演習I(五)：働き方と経済社会学【導入編】

唐津 周平

前期 火曜日 4時限 M106

演習を通じて、(1)「スタディスキル」の向上、(2)研究倫理の理解、(3)発表やディスカッション等を通じたPDCAサイクルの定着を目指す。

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

日本国内の職業を分類すると、約18,000の職業があると言われている(独立行政法人 労働政策研究・研修機構2022年作成)。この授業では経済社会の構造変化とともに「仕事内容」も変化することを踏まえて、「新しい働き方」や「新たな職業」への理解を深める。そのために、「正社員」や「派遣社員」といった「就業形態」に関する知識と関連して、社会保険制度や家族形態、地域、組織の規模など「働き方」を多角的な視点で捉える思考が重要である。導入編では、このような視点を身につけ、研究を進めていくための土台づくりを行う。



成績は「研究分野の学習」「研究テーマの検討」「研究発表」「次年度に向けたディスカッション」それぞれで指定した課題への取り組みを総合的に評価する。評価の観点には到達目標を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301505&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する

演習I(六)：地域活性化と地域ブランド研究

中原 洪二郎

前期 火曜日 4時限 C
206

地域活性化と地域ブランド研究における十分な理論的理解を踏まえた上で、具体的な地域の問題を再発見し、改善に向けた提案および実地の行動が出来るようにする。

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力][思考力][情報処理力]

この授業では、地域活性化と地域ブランディングについて、実地での取り組みを通して学ぶ。主なフィールドは奈良およびその近隣地域。授業として具体的な対象地域を定め、その地域が抱える様々な問題を読み解きながら、問題解決のためにどのようなことが出来るのか、ただ机上の空論としてではなく、実地の取り組みを進めていく。



課題が与えられた題目に沿っていること、レジュメ・スクリーン提示・口頭のバランスがとれたプレゼンテーション、批判的視点を持った議論参加、スケジュールの遵守を特に重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301506&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する

演習I(十)：現代社会の問題点を見出し、論理的思考を身につけ、研究に必要な基礎能力の向上を目指す。 正司 哲朗

前期 火曜日 4時限 B309

情報技術の観点から現代社会の問題点を解決・改善するために必要な知識を身につけ、論文のまとめ方やプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

[情報処理力][思考力][問題解決力]

情報技術の観点から現代社会における問題点を探り、改善・解決するための方法を見つける。各自の研究テーマを設定し、関連する研究論文を調査・要約することで、論文のまとめ方を学ぶ。また、プレゼンテーションを通じて、論理的思考を養う。さらに、研究テーマに応じた入力・処理・出力の関係性を明確にする。その中で、問題点を解決するアイデアを考案し、卒業研究の方向性を考え、最後に研究発表を行う。

成績は、関連研究の発表(30点)、研究テーマ発表(30点)、レポート課題(40点)で評価する。各課題は、研究背景・目的、関連研究、考察が論理的に記述されているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301510&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



演習II(一)：ゼミ生の経営学に関する基礎学力を築くため、経営学の主要な倉 光巖
テーマである「経営管理論」、「経営戦略論」、「会計学」を学ぶ。卒業論文執筆
の準備を行う。

後期 火曜日 4時限 B318

「会計学」の基礎用語や基本的な考え方を理解する。ケーススタディや企業分析のディスカッションを通じて経営学の理解を深める。来年の卒業論文作成のテーマ決めや執筆力の基礎を作る。

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

ケーススタディや企業分析を通じて経営学への理解を深める。

4年生で執筆する卒業論文の書き方やテーマの見つけ方などを3年次に指導する。

ケーススタディにおいては、ディスカッションを行う予定なので、発言回数や発言内容から理解の深さを評価する。ケーススタディについてレポート提出を求める。レポートは、ケースの内容を十分把握していること、論旨が明確なこと、論理性の高さ、誤字脱字のないことが評価のポイントになる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301601&opi=se0020&syw=1

教科書



演習II(二)：マーケティング・商品開発の実際について学ぶ

尾上 正人

後期 火曜日 4時限 B120

企画・提案能力、プレゼンテーション能力を養う。

[問題解決力][コミュニケーション力]

マーケティング・商品開発についての本を輪読した後、各自あるいはグループで具体的な商品開発計画を立案する。最終的には、開発したい商品についての説明会を実施し、架空の出資者に対する説得作業を行なう。

授業中の発表の内容60%(文献を読みこなした上での確かな意見・論点を付け加えているか)、授業に対する積極性40%(講義中の質問、他の発表者に対する意見表明などを積極的に行なっているかどうか)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301602&opi=se0020&syw=1

教科書 顧客経験価値を創造する商品開発入門 / 高橋 透・中央経済グループパブリッシング, 2023. 978-4502462115



演習II(四)：インターネットコミュニケーションの分析

吉村 治正

後期 火曜日 4時限 B116

ネット上で見られる暴力的コミュニケーションを社会学・社会心理学・政治学の知識を用いて分析する。

[思考力][コミュニケーション力]

インターネットコミュニケーションについての主要な文献を全員で輪読、ディスカッションを行う。指定文献は以下の通り。各回ごとに発表者を割り当て、レジュメの提出と内容の報告を求める。

課題の報告に加え、課題図書ごとにレポートを課す。授業への貢献度(課題報告のプレゼンテーションとディスカッション)を最高60点、レポートの合計得点を最高40点として成績評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301604&opi=se0020&syw=1

教科書



演習II(五)：働き方と経済社会学【実践編】

唐津 周平

後期 火曜日 4時限 M106

・演習を通じて、(1)「社会人基礎力」の向上、(2)卒業論文の執筆に向けたプロジェクトマネジメント思考の定着を目指す。

・働き方と経済社会学の関連性を理解し、オリジナリティのある研究テーマ(問い)を導き出す。

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

日本国内の職業を分類すると、約18,000の職業があると言われている(独立行政法人 労働政策研究・研修機構2022年作成)。この授業では経済社会の構造変化とともに「仕事内容」も変化することを踏まえて、「新しい働き方」や「新たな職業」への理解を深める。そのために、「正社員」や「派遣社員」といった「就業形態」に関する知識と関連して、社会保険制度や家族形態、地域・組織の規模など「働き方」を多角的な視点で捉える思考が重要である。実践編では、各々の関心に基づき、自ら考え、自ら行動する実践的な研究を進めていく。その過程の中で「リアルな働き方」に出会い、「体験から学ぶ」ことも意識する。

成績は「研究分野の学習」「プロジェクト学習」「研究テーマの発表」「後期に向けたディスカッション」それぞれで指定した課題への取り組みを総合的に評価する。評価の観点は到達目標を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301605&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



演習Ⅱ(六)：地域活性化と地域ブランド研究

中原 洪二郎

後期 火曜日 4時限 C
206

地域活性化と地域ブランド研究における十分な理論的理解を踏まえた上で、具体的な地域の問題を再発見し、改善に向けた提案および実地の行動が出来るようにする。

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力][思考力][情報処理力]

この授業では、地域活性化と地域ブランディングについて、実地での取り組みを通して学ぶ。主なフィールドは奈良およびその近隣地域。授業として具体的な対象地域を定め、その地域が抱える様々な問題を読み解きながら、問題解決のためにどのようなことが出来るのか、ただ机上の空論としてではなく、実地の取り組みを進めていく。

課題が与えられた題目に沿っていること、レジュメ・スクリーン提示・口頭のバランスがとれたプレゼンテーション、批判的視点を持った議論参加、スケジュールの遵守を特に重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301606&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



演習Ⅱ(十)：現代社会の問題点を見出し、論理的思考を身につけ、研究に必要な実装能力の向上を目指す。

後期 火曜日 4時限 B309

情報技術の観点から現代社会の問題点を解決・改善するための提案手法を考え、従来手法と比較するとともに、自らシステムを実装できる能力の向上を目指す。

[情報処理力][思考力][問題解決力]

各自の研究テーマに関連する論文を調査し、従来研究と提案手法との比較を行う。また、研究テーマにおいて、全体のシステム概要を考える。次に、各自の研究テーマで用いるセンサーについて、入力、処理、出力の方法についての解説を行い、それに応じた実装方法を説明する。さらに、各自のシステムにおいて、入力、処理、出力の関係性を明確にした上で、実装を行う。

成績は、各自の研究テーマ発表(50点)、レポート課題(50点)で評価する。なお、各課題は、分かりやすさ、研究背景、研究目的、関連研究などが論理的な記述になっているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301610&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



演習Ⅲ(一)：卒業論文執筆の指導と経営学トピックス解説

倉 光巖

前期 火曜日 5時限 B318

到達目標は卒業論文の完成。

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

卒業論文を完成させるために個人別指導を行う。

論文のテーマ決定、ゼミ生の興味および問題意識の表現方法、必要な資料やデータ収集の方法、論理構成、学術論文の書式・体裁などを個人ごとに指導する。

経営学のトピックを適宜講義する。

卒業論文の完成度、講義での応答内容による理解度、授業の参加態度等を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301701&opi=se0020&syw=1

教科書



演習Ⅲ(二)：ビジネス・産業・労働から現代社会をみる

尾上 正人

前期 火曜日 5時限 B120

ビジネス・産業・労働から現代社会を見ることで、自らの将来を客観的に展望する力を身につける。

[問題解決力][コミュニケーション力]

受講者各自の問題関心にしたがって、ビジネス・産業・労働等を中心とした切り口で現代社会(政治・経済)を分析してゆく。

授業中の発表の内容(文献を読みこなし上での確かな意見・論点を付け加えているか)60%、授業に対する積極性40%(講義中の質問、他の発表者に対する意見表明などを積極的に行っているかどうか)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301702&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



演習Ⅲ(四)：卒業論文の作成に向けた個人指導

吉村 治正

前期 火曜日 5時限 B116

卒業論文の作成

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力]

卒業論文の作成に向けた個人指導を行う。

学期末に作成した卒論作成計画を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301704&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



演習Ⅲ(六)：地域活性化と地域ブランド研究

中原 洪二郎

前期 火曜日 5時限 C
206

地域活性化と地域ブランド研究における十分な理論的理解を踏まえた上で、具体的な地域の問題を再発見し、改善に向けた提案および実地の行動が出来るようにする。

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力][思考力][情報処理力]

この授業では、地域活性化と地域ブランディングについて、実地での取り組みを通して学ぶ。主なフィールドは奈良およびその近隣地域。授業として具体的な対象地域を定め、その地域が抱える様々な問題を読み解きながら、問題解決のためにどのようなことが出来るのか、ただ机上の空論としてではなく、実地の取り組みを進めていく。

課題が与えられた題目に沿っていること、レジュメ・スクリーン提示・口頭のバランスがとれたプレゼンテーション、批判的視点を持った議論参加、スケジュールの遵守を特に重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301706&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



演習Ⅲ(十)：卒業研究に必要な論理的思考を身につけ、様々なデータ分析、 正司 哲朗
問題発見ができる能力を身につける。

前期 火曜日 5時限 B309

各自の研究テーマに対して、現代社会の問題を理解し、その問題を調査するために必要なデータの収集・分析できる能力を身につけることを目標としている。

[情報処理力][思考力][問題解決力]

卒業研究のテーマを確定し、それに基づいて関連研究・分野との比較、必要なデータを収集・分析する方法を教え、卒業研究をまとめていく。さらに、各自の研究テーマに関する発表を行い、ゼミ内で情報共有を行う。

成績は、各自の研究テーマ発表(30点)×2回、レポート課題(40点)で評価する。なお、各課題は、分かりやすさ、研究背景、研究目的、関連研究などが論理的な記述になっているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301710&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



演習Ⅳ(一)：卒業論文執筆の指導

倉 光巖

後期 火曜日 5時限 B318

到達目標は卒業論文の完成。

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

卒業論文を完成させるために個人別指導を行う。

論文のテーマ決定、ゼミ生の興味および問題意識の表現方法、必要な資料やデータ収集の方法、論理構成、学術論文の書式・体裁などを個人ごとに指導する。

経営学のトピックを適宜講義する。

卒業論文の指導内容の理解度、論文のクオリティの高さ、授業の参加態度等を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301801&opi=se0020&syw=1

教科書



演習Ⅳ(二)：ビジネス・産業・労働から現代社会をみる

尾上 正人

後期 火曜日 5時限 B120

ビジネス・産業・労働から現代社会を見ることで、自らの将来を客観的に展望する力を身につける。

[問題解決力][コミュニケーション力]

受講者各自の問題関心にしたがって、ビジネス・産業・労働等を中心とした切り口で現代社会(政治・経済)を分析してゆく。

授業中の発表の内容(文献を読みこなした上での確かな意見・論点を付け加えているか)60%、授業に対する積極性40%(講義中の質問、他の発表者に対する意見表明などを積極的に行っているかどうか)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301802&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



演習Ⅳ(四)：卒業論文作成の個人指導

吉村 治正

後期 火曜日 5時限 B116

学術的根拠を明確にした説得力のある卒業論文の作成を目指す

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力]

卒業論文の完成に向けた個人指導を行う。

進捗状況を正確に報告できているか、各回での指導および指摘を次の報告までに適切に反映できているかを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301804&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



演習Ⅳ(六)：地域活性化と地域ブランド研究

中原 洪二郎

後期 火曜日 5時限 C
206

地域活性化と地域ブランド研究における十分な理論的理解を踏まえた上で、具体的な地域の問題を再発見し、改善に向けた提案および実地の行動が出来るようにする。

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力][思考力][情報処理力]

この授業では、地域活性化と地域ブランディングについて、実地での取り組みを通して学ぶ。主なフィールドは奈良およびその近隣地域。授業として具体的な対象地域を定め、その地域が抱える様々な問題を読み解きながら、問題解決のためにどのようなことが出来るのか、ただ机上の空論としてではなく、実地の取り組みを進めていく。

課題が与えられた題目に沿っていること、レジュメ・スクリーン提示・口頭のバランスがとれたプレゼンテーション、批判的視点を持った議論参加、スケジュールの遵守を特に重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301806&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



演習Ⅳ(十)：研究に必要なプレゼンテーション能力、論理的思考を身につけ、 正司 哲朗
卒業研究を通じて、論文をまとめる。

後期 火曜日 5時限 B309

卒業研究を通じて、現代社会の問題点を探求し、情報技術を用いて、問題点を改善・解決するアイデアを提案できる能力を身につけ、卒業論文を完成させる。

[情報処理力][思考力][問題解決力]

各自のテーマに従って、必要なデータを収集し、分析した上で、評価を行い、問題点を考え、改善させる。また、研究目的、関連研究、調査方法、分析結果、考察、今後の課題を卒業論文として、まとめられるように指導する。さらに、論理的思考を身につけ、研究課題を共有するための研究発表を行う。

成績は、研究概要発表(50点)、研究発表(50点)で評価する。各課題は、研究背景、目的、方法、考察などが、論理的にまとまっているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156301810&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



卒業論文：大学での学修によって獲得した知見を総合し、集大成としての卒業論文を完成させる。

通年 その他 その他 その他

これまで受講した科目を通じて得られた知識や技術、論理的思考力を用いて、自身が選択した研究課題の分析・考察ができるようになる。また、学修の集大成としての論文を執筆できるようになる。

卒業論文の作成、提出を目指し、各自のテーマに応じて演習等において指導する。

卒業論文および口述試問(卒論発表会)の内容によって総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152390200&opi=se0020&syw=1

教科書

政治学：政治学の概説

竹中 浩

前期 火曜日 3時限 C203

政治学の基本的な考え方を身に付け、政治学的な議論のスタイルに慣れるとともに、現代の政治現象に対するパランスのとれた見方ができるようにする。

[思考力][情報処理力]

政治について氾濫する情報の中から適切に取捨選択し、正しい判断に到達することができるよう、この授業では、広く社会科学を学ぶうえで必要な、政治学の基本事項について解説する。特に、経済学や社会学との違いに焦点を合わせ、社会科学の一部門としての政治学がもつ特質について学ぶ。

基本的に2回の課題レポートによって授業の理解度及び自主学習の進捗度を評価する(1回目40%、2回目60%)。授業の最後に小テストを行い、その提出によって出席を確認するが、出席状況の良好な人については評価の際に考慮する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156401500&opi=se0020&syw=1

教科書 政治学(第2版) / 川出良枝・谷口将紀編・東京大学出版会、2022年・978-4130322355

経営学：経営学の主要なテーマである「経営管理論」や「経営戦略論」をもとに 倉 光巖
経営学を学ぶ。

前期 金曜日 1時限 C205

経営学のベースとなるテーマを学んで経営の実際や企業行動を理解する。受講することにより、思考力・コミュニケーション力・情報処理力などを身につける。

[思考力][コミュニケーション力][情報処理力][総合力]を身につける。

半導体製造装置・液晶製造装置・印刷製版機器メーカーにおいて「ものづくり」に30年、「調達業務統括」に10年、物流企業の経営者として4年携わってきたキャリアを生かして、経営学の基本的な考え方を経営現場と理論の両面から講義する。企業を取り巻く外部環境の変化が、経営戦略および組織改革などの企業行動、とくに経営の資源であるヒト・モノ・カネ・情報・時間の使い方にどのようにつながるかを考える。

受講者の講義内容に関する理解をベースにした見解について提出されたコメントを評価し総合評価を行う。場合によっては毎回コメントの代わりにレポート提出を求め、これを評価対象にすることもある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156103800&opi=se0020&syw=1

教科書 自作レジュメを使用する。

家政学：ライフプランニング実現に必要な知識を学ぶ。
人生設計、投資というテーマで、知識を身に付ける内容である。

坂本 勝

後期 木曜日 3時限 C105

最終目標は、生涯で必要となる資金を具体的に把握し、そのために必要な手立てが行える能力を身につけるレベルです。各回の講義は、そのための基本知識習得です。

[問題解決力][思考力]

こだわりのライフスタイルには、「自己責任」の認識が必要です。

人生の損得は、選択した「ライフプランニング」の巧拙で大きく変わります。

生涯に必要な金額を見積れる知識、年金・保険の仕組みを日常生活の事例で解説します。

講義はFP有資格者で、実務相談を行っている教員が担当し、相談事例をモデルケースとして参照しながら、国家資格「FP技能士3級」の受験科目「ライフプランニング」「リスク管理」「金融資産運用」の検定試験の合格水準を目指す。

講義中に行なう確認テスト(60%)と定期試験(40%)

確認テストは前回講義内容をもとに語句の説明や理解度を把握する。

定期試験は、国家資格試験と同等レベルとする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156436300&opi=se0020&syw=1

教科書 担当者が実費配布

地域社会学：地域社会の問題解決に挑戦する

中原 洪二郎

前期 月曜日 4時限 C203

1. 地域社会学における主要概念(コミュニティ、社会関係資本、地域的愛着など)を説明できる
2. 地域社会の課題を、個人・集団・制度の関係として分析できる
3. 理論的枠組みを用いて、具体的な地域事例を社会的に解釈できる

[問題解決力][情報処理力][実行力]

本講義では、地域社会を単なる地理的集合体としてではなく、人々の関係性、制度、経済活動、象徴的意味の重なり合いとして捉える社会学的視点を学ぶ。

地域社会学の基礎理論を踏まえた上で、人口減少、過疎化、都市化、地域経済、地域ブランディングなど現代的課題を分析し、地域社会がいかに再構成されるのかを検討する。

各回の理解度確認(75%)および最終課題(25%)による総合評価

・理解度確認: 講義で扱った概念を正確に説明できているか

・最終課題: 理論概念を用いて地域社会を一貫して分析できているか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156405000&opi=se0020&syw=1

教科書

家族社会学：社会・家族・規範・ルール

中田 奈月

前期 金曜日 3時限 C103

- ・家族をめぐるさまざまな社会現象を複眼的に捉えることができる。
- ・家族をめぐるさまざまな社会事象を社会学の概念を用いて説明できる。

[問題解決力][思考力][コミュニケーション力]

社会学の考え方を基盤として家族をめぐるさまざまな事象をとらえることを目的とする。家族をめぐる、私たちが暗黙のうちに従っているルールとは何か、そこに何があるのかを検討する。

用語確認(50点):

- ・重要な知識の修得度を判断する。

グループワークおよび報告(50点):

- ・テーマを理解してテーマに沿って報告できる形に仕上げる過程について、グループ以外の受講者による報告評価およびグループ内の相互評価で評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156406000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国際政治学：国際政治学の基礎

竹中 浩

後期 火曜日 2時限 C301

国際政治学の基本的な概念や考え方について理解する。

[思考力][情報処理力]

国際関係について氾濫する情報の中から適切に取捨選択し、正しい判断に到達することができるよう、この授業では、国際政治の歴史や、国際政治に対する基本的な見方について解説する。前半で17世紀から今日にいたるまでの国家間関係の歴史を概観し、後半で、国際政治を理解するための基本的な概念や考え方について説明する。特に、冷戦終焉の後、国際政治がどのように変化しつつあるかという点に注目する。

基本的に2回の課題レポートによって授業の理解度及び自主学習の進捗度を評価する(1回目40%、2回目60%)。授業の最後に小テストを行い、その提出によって出席を確認するが、出席状況の良好な人については評価の際に考慮する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156421100&opi=se0020&syw=1

教科書 国際政治学をつかむ 第3版 / 村田晃嗣他・有斐閣, 2023. 978-4641177314



現代社会と哲学(一)：生活と文化の思想

丸田 健

前期 月曜日 2時限 C102

生活文化(特に生きることに人々と物との関わり)への関心を喚起し、物の具体性を手掛かりに人間存在について考えることを目標とします。

[思考力][実行力]

日常生活から出発して人間を考えます。特に生活の基本道具から見えてくる様々な連関を掘り下げていきます。哲学(生活文化論、風土論)、民俗学(アチックミュージアム、洪沢敬三、宮本常一)、工芸論(ウィリアム・モリス、民藝運動)等にも言及しつつ、物に映し出される人間の姿を捉える予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156424101&opi=se0020&syw=1

教科書



現代社会と哲学(二)：生活と文化の思想

丸田 健

後期 水曜日 1時限 C102

生活文化(特に生きることに人々と物との関わり)への関心を喚起し、物の具体性を手掛かりに人間存在について考えることを目標とします。

[思考力][実行力]

日常生活から出発して人間を考えます。特に生活の基本道具から見えてくる様々な連関を掘り下げていきます。哲学(生活文化論、風土論)、民俗学(アチックミュージアム、洪沢敬三、宮本常一)、工芸論(ウィリアム・モリス、民藝運動)等にも言及しつつ、物に映し出される人間の姿を捉える予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156424102&opi=se0020&syw=1

教科書



現代社会と倫理(一)：「人と物」について論じる

丸田 健

前期 金曜日 2時限 C302

物が人間に対して持つ様々な意味を取り出し、考察することを目指します。特に原型的な道具的な物の意味理解を通じて、世界や人間への関心を広げることを目指します。

[思考力][コミュニケーション力]

「ホモ・ファベル」という人間規定もありますが、人間が自然から素材を得て、手で物を作り出す行為は現在も続いています。そのような営為、またそれによって生み出される物が、人間にとって持つ意味は何でしょうか。道具の機能性、記号性、身体性、美の観点から、それを考えます。後半は、具体例を検討する予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度、中間の学習到達度確認、等)と、最後のレポート課題60%程度(必要な情報を自分の言葉でまとめられているか等)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156425101&opi=se0020&syw=1

教科書 手仕事の日本 / 柳宗悦・岩波書店, 1985. 978-4003316924 生きることの人間論 / 伊藤・丸田・島本・市川・ナカニシヤ出版, 2016. 978-4-7795-1033-5



現代社会と倫理(二) : 「人と物」について論じる

丸田 健

後期 月曜日 2時限 C205

物が人間に対して持つ様々な意味を取り出し、考察することを目指します。特に原型的な道具的な物の意味理解を通じて、世界や人間への関心を広げることが目標とします。

[思考力][コミュニケーション力]

「ホモ・ファベル」という人間規定もありますが、人間が自然から素材を得て、手で物を作り出す行為は現在も続いています。そのような営為、またそれによって生み出される物が、人間にとって持つ意味は何でしょうか。道具の機能性、記号性、身体性、美の観点から、それを考えます。後半は、具体例を検討する予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度、中間の学習到達度確認、等)と、最後のレポート課題60%程度(必要な情報を自分の言葉でまとめられているか等)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156425102&opi=se0020&syw=1

教科書 手仕事の日本 / 柳宗悦・岩波書店、1985・978-4003316924 生きることの人間論 / 伊藤・丸田・島本・市川・ナカニシヤ出版、2016・978-4-7795-1033-5



社会統計学I : 統計と統計学:「読み方」と「使い方」

唐津 周平

前期 水曜日 3時限 C203

社会統計学の基礎的な知識と、統計と統計学を活用するために必要な態度を身につけること。

[思考力][情報処理力] この講義では、社会調査データが現実の社会でどのように使われているか、それをどのように読み解けばよいか、という「利用者」としての視点と、調査を実施し、それをどのように伝えればよいか、という「分析者」としての視点の両方について学ぶ。

学習到達度確認50%+定期試験50%

学習到達度確認の評価基準: 各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

定期試験の評価基準: 社会統計学の基礎的な知識と、統計と統計学を活用するために必要な態度を確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156003000&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



社会統計学II : 推測統計学の基礎

中原 洪二郎

後期 月曜日 4時限 B224

推測統計のしくみと確率・相関係数の概念を理解し、与えられたデータを用いて適切な手法による推定・検定を行えるようになることが目標である。

[思考力][情報処理力]

本講義では、社会調査データの分析に必要な統計的知識のうち、主として推測統計学についての基礎的な事項を講義する。まず記述統計量の平均と標準偏差についてのおさらいからはじめ、確率論の基礎と正規分布・二項分布、母集団推定と仮説検定の基礎へと学びを進める。

理解度確認50%+定期試験50%

理解度確認の評価基準: 各回で明示するポイントを理解できているか

定期試験の評価基準: (1) 与えられたデータ、数値を統計学的に正しく取り扱うことができているか (2) 社会統計学の概念を総合的に理解できているか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156402000&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配付する



デジタルアーカイブ概論 : 情報技術を活用した有形・無形文化財のデジタル化 正司 哲朗

前期 月曜日 3時限 C103

に関する基礎知識の習得と応用力を養う。

有形・無形文化財に対するデジタル化に関する基礎知識を学び、様々な計測手法の利点と欠点を正しく理解し、計測対象によって、計測手法を選択できることを身につける。

[情報処理力][思考力]

国内外で実施されているデジタルアーカイブ、本学で実施しているモンゴル国のデジタルアーカイブを紹介する。また、デジタルアーカイブの基本となるカメラの原理や違いについて解説する。さらに、デジタルアーカイブで利用する画像計測、およびレーザ計測についての原理を概説する。最後にデジタルデータを出力できる3Dプリンタの原理について解説する。

成績評価は、各回で出題する小レポートで評価する。評価基準は、各回で説明した内容が正しく理解しているかどうかを判断する。小レポート課題の配点は、第1回から第14回まで各6点、最終レポート課題は16点とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433500&opi=se0020&syw=1

教科書 Web教材



文化情報論 : 「情報」の観点から現代社会の諸問題や著作権法を学び、正しく 正司 哲朗

後期 金曜日 1時限 C103

情報を伝え、応用するための知識を習得する。

情報技術の発展の歴史を踏まえ、SNSの長所と短所、インターネットにおける著作権法などを正しく理解するとともに、IoTやAIが社会にどのように利活用されているかを理解する。

[情報処理力][思考力]

情報技術の発展からSNS(ソーシャルネットワークサービス)の歴史、課題などを解説する。また、動画共有サービスと著作権問題について考える。さらに、近年、テレビの視聴率が下がってきていると言われていたが、それはなぜ起こるのか、視聴率調査の問題点、インターネットを利用した動画配信サービス、SNSとテレビ放送が融合したソーシャルテレビなどについて概説する。最後に、身近になったモノのインターネット(IoT)の原理やAIに紹介する。

成績評価は、各回で出題する小レポートで評価する。評価基準は、各回で説明した内容が正しく理解しているかどうかを判断する。小レポート課題の配点は、第1回は4点、第2回から第11回まで各6点、第12回から第14回まで各10点、第15回は6点である。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433700&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



国際社会学：国際社会の多水準分析

中原 洪二郎

後期 月曜日 2時限 C203

1. 国際社会を複数の分析水準から説明できる
2. 人種・民族・文化・経済といった概念を理論的に理解できる
3. 自身の生活や経験を、国際社会の構造との関係で相対化できる

[コミュニケーション力][思考力]

本講義では、国際社会を国家間関係に限定せず、民族集団、企業、NGO、そして個人を含む多層的な社会関係として捉える。

国家・非国家アクター・個人という複数の水準から国際社会を分析することで、グローバルな構造と日常生活との結びつきを理解し、現代世界における不平等や対立、協働の可能性を社会的に考察する。

各回の理解度確認(75%)および最終課題(25%)による総合評価

・理解度確認: 概念や理論を用いて現象を説明できているか

・最終課題: 自身の経験や関心を、国際社会の構造と関連づけて論理的に考察できているか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156408000&opi=se0020&syw=1

教科書



産業社会学：日本の企業とそこでの組織や労働の特徴的なあり方について、尾上 正人

後期 水曜日 3時限 C203

日本の産業社会に関して客観的・実証的な知見を得、将来従事すべき職業や労働に対して主体的に研究できるようにすることを目標とする。

[思考力][情報処理力]

本講義では、産業社会学の概念枠組と方法論を学史的に遡って確定した後に、サブテーマごとにこうした特徴ある日本産業社会の実態を、歴史的・国際比較的に見てゆく。また、グローバル化の中で、こうした日本の特質がどのように変容を迫られてゆくかについても展望する。

平常点30%(授業中の質問など積極的な態度を重視)、学習到達度確認70%(日本産業社会の特質について基礎的な知識が得られているか、またそれをもとに資料・データを読みこなす力があるかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156407000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



情報社会学：情報という視点から現代社会の構図を読み解く

吉村 治正

前期 水曜日 4時限 C301

情報流通の仕方に着目することで、混迷する現代社会を合理的に理解する

[問題解決力][思考力]

昭和の常識は令和の非常識と言われるように、社会に対する理解は世代によって大きく異なっている。これは、技術革新によって社会の中で情報の流れ方が大きく変わってきていることから生じていると考えて良い。本科目では、情報をキーワードに、現代社会を合理的に理解することを学んでもらう。

各回の授業が終了するとその回の課題がオンラインで提示される。これに回答すると各回の課題点が与えられる。この課題点の合計点を50%、学期末に行う学習到達度試験の点数を50%として評価点を算出する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156410000&opi=se0020&syw=1

教科書



環境社会学：様々な環境課題の領域と展開について、環境社会学という視点 山本 素世

後期 水曜日 4時限 C104

自然環境、生活環境などの環境に関するさまざまな課題を、社会的視点からとらえ、これからの環境と市民生活について考え、自分はどう行動すればいいか考えられる。

[思考力][情報処理力]

環境課題の歴史的経緯、自然環境、社会環境など環境について多角的に学び、環境社会学のアプローチと分析手法を知り、環境に関する情報を整理し、考察してもらう。これまでNPOやボランティアで環境教育、SDGsガイド、温暖化防止、まちづくりに取り組んできた現場の経験や実際の事例、調査で得た知見を活用し、地域の人々や諸団体の環境課題への取り組みを解説する。適時ワークシートやアクティビティを活用する予定。ミニレポートでは、事例を調査し、情報を処理し考察する。

講義での発言やワークシート課題、講義終了時のコメント提出、ミニレポートなどで評価する。定期試験はレポート試験で、提出必須、提出がなければ試験を受けていないとみなし、単位を認定しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156409000&opi=se0020&syw=1

教科書 よくわかる環境社会学第2版 / 鳥越皓之・帯谷博明・ミネルヴァ書房, 2017. 978-4-623-07934-6



ジェンダーとライフコース：人間のライフステージを通じたジェンダーの諸課題 島本 太香子

後期 金曜日 3時限 C102

ジェンダーの視点から先端医療と生命科学研究の最前線を概観し、性差の医学的な背景と科学が提起する新しい社会的諸問題を理解して、生涯を通じて主体的に考えて行動する姿勢を身につける。

本講では人間のライフステージを通じたジェンダーの「生命科学的な基盤」と「社会、文化的要因」の関わりを考察する。近年の生命科学や医療技術の進歩はめざましく、古来の生殖や家族についての価値観が問い直されている。講義では産婦人科医師として患者の治療や医療行政に従事した経験を踏まえて、現代社会のジェンダーをめぐる様々な課題を発生学、発達心理学、性差医療、母子保健、生命倫理学等の観点から多角的に考察し、広く世界に目を向け他文化圏の状況と日本を比較、必要に応じて今日的な話題を取り入れ理解を深める。

最終授業での学習到達確認20%(ジェンダーをめぐる現代社会の実情への理解、将来に向けて独自の課題意識を総合的に評価する)と授業中のミニレポート80%(講義内容の理解の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156422000&opi=se0020&syw=1

教科書 生きることの人間論 / 島本太香子 他・ナカニシヤ出版, 2016. 50のキーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子編著・丸善出版, 2026. 9784621312285



経営管理論：講義の1/3の時間は組織論や経営戦略論をもとに経営管理論 倉 光巖
を講義する。講義の2/3はビジネスケースを元にディスカッションを行う。

後期 金曜日 1時限 C202

経営学の主要なテーマを学んで企業の組織や経営行動を理解する。受講することにより、思考力・コミュニケーション力・情報処理力などが培われる。

[思考力][コミュニケーション力][情報処理力][総合力]を養う。

半導体製造装置・液晶製造装置・印刷製版機器メーカーにおいて「ものづくり」に30年、「調達業務統括」に10年、物流企業の経営者として4年携わってきたキャリアを生かして、組織の行動理論の基礎を経営現場と理論の両面から講義する。講義のうち2/3をケーススタディやグループディスカッションを行う。シラバスにはケースの順番を記載しているが、授業の途中で変更の可能性もあるので留意されたい。変更内容は講義中に連絡する。

受講者の講義内容に関する理解をベースにした見解について提出されたコメントを評価し総合評価を行う。
場合によっては毎回コメントの代わりにレポート提出を求め、これを評価対象にすることもある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156414700&opi=se0020&syw=1

教科書 ビジネスモデル研究
自作レジュメ



産業と技術の発展：近代日本の産業・技術の発展を概観する

尾上 正人

後期 金曜日 2時限 C105

人や事件を軸にした歴史とは異なった、連続性と断層の織り交じった技術史を知ること、科学的・客観的な歴史観・社会観を身に付けてもらうことを目標とする。

[思考力][情報処理力]

日本は戦後、特に「産業立国」「技術立国」として国際的地位の飛躍的な向上を成し遂げた。しかし、90年代以降のグローバル化する経済の中で、日本はいくつかの産業技術分野において新興諸国の後塵を拝するようになってきている。日本が「技術立国」としての地位を回復するために必要なことは何であろうか。

平常点30%(授業中の質問など積極的な態度を重視)、学習到達度確認70%(産業と技術の発展の歴史について基礎知識がある、また近年の諸国の経済・産業事情について理解しているかどうかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156417000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



知的財産管理論：知的財産の基礎を学び、知的財産管理技能検定3級(国家 伊吹 秀之
資格)に合格できるだけの知識を習得する。

後期 金曜日 2時限 B224

知的財産管理技能検定3級に合格する。

[問題解決力][実行力]

近年、ビジネスにおいて特許、実用新案、意匠、商標(ブランド)、著作権などの知的財産の保護・活用が重要になっており、企業経営においても知的財産戦略が重要になっています。このような状況に対応できる人材育成を目的として、中小企業診断士として経営コンサルタントに従事してきた経験を踏まえ、知的財産に関する基礎的知識を事例を挙げながら学んでいきます。

定期試験期間(16週目)に定期試験を実施する。

定期試験60%(販売に関する基本的概念や語句の理解を問う、講義の内容を理解して具体的事例等に応用できるかを問う)

平常点40%(講義中の授業態度、発言、理解度など)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156435000&opi=se0020&syw=1

教科書 知的財産管理技能検定3級テキスト(改定15版) / 知的財産教育協会・株式会社アップロード, 2024. 978-4909189608



企業行動分析：企業行動についてケーススタディを通じて理解する。

倉 光巖

後期 金曜日 2時限 C202

企業行動のケースを学習することで企業行動の実際を理解する。受講することにより、思考力・コミュニケーション力・情報処理力などが培われる。

[思考力][コミュニケーション力][情報処理力][総合力]を養う。

半導体製造装置・液晶製造装置・印刷製版機器メーカーにおいて「ものづくり」に30年、「調達業務統括」に10年、物流業の経営者として4年携わってきたキャリアを生かして講義する。受講生の理解に応じて進捗度合いを勘案する。シラバスにはケースの順番を記載しているが、授業の途中で変更の可能性もあるので留意されたい。

受講者の講義内容に関する理解をベースにした発言やレポートを評価対象にする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156414000&opi=se0020&syw=1

教科書 ビジネスモデル研究 / 倉 光巖, . . .



企業倫理と消費者：企業倫理の概念、ガバナンスの方法論および企業が抱える倉 光巖
るリスクについて講義する。企業不祥事・不正問題などを学問的に追究する。

前期 水曜日 3時限 C301

社会変化・経済変化に対応していく企業のガバナンス手法を理解する。発生する企業の不祥事に対して、ガバナンスをどのように効かせるかも研究する。企業が想定するリスクについても理解を深める。受講することにより、思考力・コミュニケーション力・情報処理力などが培われる。

[思考力][コミュニケーション力][情報処理力][総合力]を養う。

半導体製造装置・液晶製造装置・印刷製版機器メーカーにおいて「ものづくり」に30年、「調達業務統括」に10年、「LOGISTICS企業」の社長として4年携わってきたキャリアを生かして、企業の理念や倫理の概念、そしてガバナンスの方法論および企業が抱えるリスクについて講義する。想定したリスクに対応した経験についても講義を行う。

受講者の講義内容に関する理解をベースにした見解について提出されたコメントを評価し総合評価を行う。
場合によっては毎回コメントの代わりにレポート提出を求め、これを評価対象にすることもある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156423000&opi=se0020&syw=1

教科書 自作レジュメを使用する。



量的分析法：統計データを用いた社会分析

吉村 治正

前期 月曜日 4時限 I105

計量的社会分析の基本手法である相関分析および回帰分析の基本発想と統計学的な特性、ならびに実用場面で注意すべき点などを学ぶ。

[問題解決力][思考力][情報処理力]

実際の社会調査データを用い、社会調査データをどのように分析し、どのような知見を引き出すかを体験的に学習してもらう。

授業課題(100点)。授業のたびにデータ分析の課題を与える。各回で提出された課題に対して理解度に応じて得点を与え、その合計点で成績を判定する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156403000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



プログラミング言語I：Webプログラミングを用いて、独自のWebアンケートシステムを設計・実装できる技術を身につける。

正司 哲朗

前期 金曜日 2時限 J201

Webプログラミングに必要なHTML言語、PHP言語、データベースの基礎知識を学び、簡単なWebアンケートが設計・実装できる技術を身につける。

[情報処理力][思考力]

ホームページで使われているHTML言語について解説する。また、サーバとクライアントの関係について説明し、作成したHTMLファイルを公開する方法について説明する。次に、データベースの基礎、PHP言語からデータベースを扱う方法について説明する。最後に、独自にWebアンケートを設計、それをHTML言語、PHP言語を使って実装し、回答結果をデータベースに蓄積する方法を解説し、簡単な集計処理方法について説明する。

成績は、HTML言語(20点)、PHP言語・データベース(20点)、Webアンケートに関する各課題(20点)、および最終レポート課題(独自アンケートの設計・データ分析)(40点)で評価する。各課題は、基本文法が正しく理解でき、プログラムが機能しているかを評価する。データ分析課題は、回答データを正しく解釈できているかどうかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433100&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



プログラミング言語II：動的なウェブページ作成に使われるJavaScriptの初歩を理解しよう。

吉田 光次

後期 金曜日 1時限 J201

HTML,CSS,JavaScriptによるウェブページの仕組みを理解し、動的なウェブページを作成する。また、閲覧可能なウェブサイト上で、動作を確認する。

[情報処理力][思考力]

本科目は、単に文章や画像を表示するのみのウェブページではなく、ユーザーのクリックに反応したり、条件によって異なる表示をしたり、動的な挙動をするウェブページを作成する仕組みとして、JavaScriptの初歩を学習する。JavaScriptは、プログラミング言語の一種であり、通常の制御構造を有するので、それらを理解したうえで、ウェブ上での実装を実現する。学生自身のPCを使い、プログラミングを行うので、毎回PCを持参しなければならない。

授業中にプログラムを作成し、提出する。また、事後学習としていくつか課題を作成する。それらのプログラムの完成度を評価の基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



社会調査実習(一)：計量的社会調査の実習

吉村 治正・正司 哲朗

後期 月曜日 1時限 B116.
後期 月曜日 1時限 B119.
後期 月曜日 2時限 B116.
後期 月曜日 2時限 B119

計量的社会調査を実施するための基礎知識および技能の習得

[問題解決力][実行力][コミュニケーション力][情報処理力]

本実習では、実際に調査票を用いた社会調査を実施することで、調査企画・個人情報の管理・調査倫理・調査票の作成・集計・コーディング・エラーチェック・統計的分析・報告書の作成といった社会調査全般の技術と、調査に臨む姿勢を学ぶ。なお、本年度はインターネットを用いた調査(ウェブ調査)を行う。

授業への貢献度および調査報告書へ寄稿されたデータ分析の内容を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156203001&opi=se0020&syw=1

教科書 大学生のためのウェブ調査入門：社会科学からみた設計と実装 / 吉村治正・増田真也・正司哲朗・慶応義塾大学出版会、2025. 978-4-7664-3012-7



総合社会学特殊講義(一)：ベンチャー・ビジネス論

尾上 正人

後期 火曜日 3時限 B224

現代の日本・世界の経済社会においてベンチャー・ビジネスが果たしている役割と、ベンチャー・ビジネスが抱えている諸問題についての理解を深める。

[思考力][情報処理力]

ソニーもホンダもソフトバンクも楽天も、そしてGAFAMもテスラも、かつてはベンチャー・ビジネスだった。起業・成長し、一国の経済さらには世界経済すら動かすほどに大きくなっていったベンチャー・ビジネスにはどのような特徴や意義があるのだろうか。企業体そのものと、それを起ち上げた企業家の双方にスポットを当てながら迫りたい。

平常点30%(講義中に指名した時の発言など、積極的な態度を重視)、学習到達度確認70%(ベンチャー・ビジネスに関する基礎知識が身についているか、またそれを基に議論を展開することができるかを重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



総合社会学特殊講義(二)：販売に対する高度な知識を学び、リテールマーケ
ティング(販売士)1級試験に合格できるだけの知識を習得する。

前期 金曜日 3時限 B224

リテールマーケティング(販売士)1級試験に合格する。

[問題解決力][思考力][実行力]

1級販売士および中小企業診断士として経営コンサルタントに従事してきた経験を踏まえ、小売業を中心に経営者の視点でマネジメントできるよう、リテールマーケティング3級および2級の知識を前提に、経営者の視点で実践的な知識を勉強していきます。本講座では1級の中でマーケティング、販売経営管理について勉強していきます。本学が全国に先駆けて開発した「奈良大方式」と呼ばれるプログラムにより、通常の授業を受けながら資格合格の力を養うことができます。

定期試験期間(16週目)に定期試験を実施する。

定期試験60%(販売に関する基本的概念や語句の理解を問う、講義の内容を理解して具体的事例等に応用できるかを問う)

平常点40%(講義中の授業態度、発言、理解度など)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156439200&opi=se0020&syw=1

教科書 実費配布(変更の可能性あり)



総合社会学特殊講義(三)：行動の集積は社会をどこへ連れていくのか—合 中原 洪二郎
理的な選択が「儲からない社会」を生むメカニズム

前期 水曜日 3時限 B224

1. 個人の行動と社会的結果のあいだに生じるズレを説明できる
2. 「意図せざる結果」という視点から社会現象を分析できる
3. 地域や経済に関する問題を、個人の責任論に還元せず構造的に理解できる

[思考力][問題解決力][情報処理力]

本講義では、社会を「誰かが設計した仕組み」としてではなく、個々人の行動や選択が積み重なった結果として生じる現象として捉える視点を学ぶ。

人々がそれぞれ合理的に行動しているにもかかわらず、なぜ社会全体としては望ましくない結果が生じるのか。この問いを出発点として、行動科学・社会学の理論を用いながら、地域衰退、農業、地域経済、ブランディングといった具体的事例を分析する。

本講義の目的は、社会問題の「犯人探し」や単純な解決策の提示ではなく、行動の集積がどのように社会構造を生み出すのかを理解し、現実をより精緻に考えるための思考枠組みを身につけることである。

各回の理解度確認(75%)および最終課題(25%)による総合評価

・理解度確認: 講義で扱った考え方をを用いて現象を説明できているか

・最終課題: 特定の社会現象について、行動の集積と構造の観点から一貫した分析ができているか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156439300&opi=se0020&syw=1

教科書



総合社会学特殊講義(四)：人口減少時代における経済社会学

唐津 周平

前期 火曜日 3時限 B224

- ・経済社会学の概念を理解する
- ・経済社会の構造や力学について理解を深め、多角的な視点を獲得する
- ・「社会問題」に対する理解を深め、対応策の視野を広げる

[問題解決力][思考力]

経済社会学とは、諸説あるが経済学、社会学その他の社会諸科学のいずれもが十分に解明しえないような社会現象の複雑な相互関係を研究範囲と位置づけている。本授業では、そのような考え方を土台にしつつ、現代社会における諸問題をいくつか取り上げながら、経済社会の構造や力学を学ぶ。それらを通じて、「社会問題」に対する理解を深め、社会問題とは誰がどのように解決するべきものなのか、社会政策論や経済社会思想の観点も取り入れて展開する。また、今後の課題となる人口減少時代を見据えた経済社会学を意識する。

学習到達度確認60%+期末レポート40%

学習到達度確認の評価基準: 各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

期末レポートの評価基準: 提示された課題を正確に理解しているか確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440400&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



総合社会学特殊講義(五)：キャリアデザインと経済社会学

唐津 周平

前期 金曜日 4時限 C306

- ・経済社会学的な視点を身につけ「キャリアデザイン」や「就活」を多面的に捉える
- ・「自分」と「社会」をつなげる「社会学的想像力」の思考を養う
- ・自ら考え、自ら行動する「自律的な学び」の姿勢を身につける

[問題解決力][思考力][実行力][コミュニケーション力]

キャリアデザインとは、自らの将来を主体的に描き、その実現に向けた方法論や視野を獲得する実践的な学問である。従って、「自己理解」や「社会理解」が必要となるため、本授業は「働き方」や「就活」をテーマにした経済社会学とも言える。それらを通じて「自分」と「社会」をつなげる「社会学的想像力」の思考を養い、自ら考え、自ら行動する「自律的な学び」の姿勢を身につける。

学習到達度確認70%+期末レポート30%

学習到達度確認の評価基準: 各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

期末レポートの評価基準: 提示された課題を正確に理解しているか確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440500&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



総合社会学特殊講義(六)：地域社会のサステナビリティを考える

唐津 周平

後期 金曜日 3時限 C306

- ・サステナビリティ学の基本体系を理解する
- ・地域社会の諸問題を学習するとともに、関連する社会保障や政策及びその背景にある理念や哲学等を理解する
- ・「Think Globally, Act Locally」な思考を身につけ、実践に結びつける

[問題解決力][思考力]

私たちはこれからどのような社会をつくり、生きていくのか。それを考える際の重要なキーワードとして「サステナビリティ(持続可能性)」がある。本授業では、サステナビリティ学の先行研究を参考にしつつ、「地域社会」に焦点を当てたサステナビリティ論を展開する。そのため、個別のトピックや事例を扱う一方で、地域社会のサステナビリティに欠かさない社会保障や政策も学習する。そして、その背景にある理念や哲学等を理解するとともに、「Think Globally, Act Locally」な思考を身につけることを目指す。

学習到達度確認60%+期末レポート40%

学習到達度確認の評価基準：各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

期末レポートの評価基準：提示された課題を正確に理解しているか確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440600&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する



総合社会学特殊講義(七)：働き方の多様化と社会保障

唐津 周平

後期 金曜日 4時限 C306

- ・働き方にまつわる多様な選択肢が広がる背景について「需要と供給」の視点から理解する
- ・多様な働き方、社会保障財政、コミュニティ等の関連性と経済社会への影響について理解する

[問題解決力][思考力]

現代社会ではリモートワークや週休3日制、兼業副業、フリーランスなど多様な働き方が広がっている。本授業では、働き方にまつわる多様な選択肢が広がる背景について「需要と供給」の視点から考察する。そして、それらが経済社会にどのような影響を及ぼすのか社会保障制度や財政との関連性についても紹介する。さらに、社会保障財政に影響を及ぼすことは地域社会の維持や公共サービス等にも波及するため、「コミュニティ」の視点も欠かせない。以上のような学習を通じて、働き方の多様化と社会保障に関する総合的な視点を身につけることを目指す。

学習到達度確認60%+期末レポート40%

学習到達度確認の評価基準：各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。

期末レポートの評価基準：提示された課題を正確に理解しているか確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440700&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する

総合社会学特殊講義(八)：企業が外部の利害関係者に対して報告する目的
で実施している財務会計に親しむ。

倉 光巖

前期 火曜日 2時限 B224

財務会計の基礎レベルを講義して財務諸表を理解できる基礎を作る。それにより企業の経営成績や財政状態の理解に努める。

外部の利害関係者に対して、企業が行う情報提供機能を果たす財務会計について、基礎的な内容を講義する。

講義期間中に行う試験を評価対象とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156440800&opi=se0020&syw=1

教科書 自作レジュメを使用する。



哲学・思想I(一)：西洋哲学への入門

丸田 健

前期 月曜日 3時限 C302

西洋哲学の基礎的な諸説・諸議論を知り、哲学的思考の基本に馴染むことを目標とします。

哲学は、人間の普遍的な関心事について、筋道立てて根本から考えようとする分野です。様々な論理的可能性も考慮しつつ、理性を用いて問題を掘り下げる哲学は、独特な仕方による人間の自己探究です。授業では主に近代以降の西洋哲学の展開(特にデカルト哲学、ヴィトゲンシュタイン哲学への言及が多くなる)を手掛かりに、心、他者、知識とは何か等について、代表的な考え方を学びます。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160019601&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



哲学・思想I(二)：西洋哲学への入門

丸田 健

後期 金曜日 1時限 C105

西洋哲学の基礎的な諸説・諸議論を知り、哲学的思考の基本に馴染むことを目標とします。

哲学は、人間の普遍的な関心事について、筋道立てて根本から考えようとする分野です。様々な論理的可能性も考慮しつつ、理性を用いて問題を掘り下げる哲学は、独特な仕方による人間の自己探究です。授業では主に近代以降の西洋哲学の展開(特にデカルト哲学、ヴィトゲンシュタイン哲学への言及が多くなる)を手掛かりに、心、他者、知識とは何か等について、代表的な考え方を学びます。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160019602&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



哲学・思想Ⅱ(一)：哲学・思想への入門

丸田 健

前期 金曜日 3時限 C302

古今東西の多様な思想の概観を通じ、人間を広く理解するための教養を身につけることを目標とします。

古今東西の宗教、哲学、芸術、文化等を題材にしたテキストを用い、多様な思想を紹介します。タマフリの思想、ギリシャ思想、中国思想、キリスト教思想、仏教思想、実存主義思想などがトピックになります。授業全体を通して、人間の存在について広く深く考えるための基本的な関心・感受性を養います。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_166019701&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



哲学・思想Ⅱ(二)：哲学・思想への入門

丸田 健

後期 月曜日 3時限 C105

古今東西の多様な思想の概観を通じ、人間を広く理解するための教養を身につけることを目標とします。

古今東西の宗教、哲学、芸術、文化等を題材にしたテキストを用い、多様な思想を紹介します。タマフリの思想、ギリシャ思想、中国思想、キリスト教思想、仏教思想、実存主義思想などがトピックになります。授業全体を通して、人間の存在について広く深く考えるための基本的な関心・感受性を養います。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_166019702&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



宗教学(一)：世界の諸宗教

加藤 希理子

前期 水曜日 3時限 C302

人間と宗教の関わりは、きわめて長い歴史を持ち、時代・地域によって多様な姿をとっている。本科目では、諸宗教の歴史、教義、儀礼を学び、宗教が人間と文化、社会の形成において果たす役割に対する理解を深めることを目的とする。受講者各々が宗教に対する広い視点を培い、宗教の意義を考え、それぞれの宗教観を形成していった欲しい。

世界における古今の宗教形態の考察を通して、宗教の営みについての理解を深めたい。宗教は、歴史的・社会的制約を免れないが、その一方で、宗教が文化・社会の動きに及ぼした影響もまた度外視できない。本講義では、ユダヤ教・キリスト教、イスラーム、仏教という長い歴史を持つ伝統的諸宗教を、その歴史の相の下で取り上げるとともに、そうした諸宗教と現代社会との関係を分析し、現代における宗教の風潮や現代を生きる人間と宗教の関係について考察する。

各回(1～14回)に課す小レポートおよび最終授業(15回)で実施する学習到達度確認による総合評価。いずれも講義の内容を正確に把握しているか、さらにそれを踏まえたうえで自分の考えを展開できているかを問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160020601&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。毎回資料を配布する。



宗教学(二)：世界の諸宗教

加藤 希理子

後期 水曜日 4時限 C302

人間と宗教の関わりは、きわめて長い歴史を持ち、時代・地域によって多様な姿をとっている。本科目では、諸宗教の歴史、教義、儀礼を学び、宗教が人間と文化、社会の形成において果たす役割に対する理解を深めることを目的とする。受講者各々が宗教に対する広い視点を培い、宗教の意義を考え、それぞれの宗教観を形成していった欲しい。

世界における古今の宗教形態の考察を通して、宗教の営みについての理解を深めたい。宗教は、歴史的・社会的制約を免れないが、その一方で、宗教が文化・社会の動きに及ぼした影響もまた度外視できない。本講義では、ユダヤ教・キリスト教、イスラーム、仏教という長い歴史を持つ伝統的諸宗教を、その歴史の相の下で取り上げるとともに、そうした諸宗教と現代社会との関係を分析し、現代における宗教の風潮や現代を生きる人間と宗教の関係について考察する。

各回(1～14回)に課す小レポートおよび最終授業(15回)で実施する学習到達度確認による総合評価。いずれも講義の内容を正確に把握しているか、さらにそれを踏まえたうえで自分の考えを展開できているかを問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160020602&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない。毎回資料を配布する。



倫理学(一)：倫理学入門

丸田 健

前期 水曜日 1時限 C102

道徳哲学の基本的考えの理解を通じ、道徳的観点からの様々な思考に馴染むことを目標とします。

日常的事象について、道徳的観点から多角的かつ深く考えることができるようにするために、道徳教育の歴史を振り返るとともに、倫理学の三部門である①メタ倫理、②規範倫理、③応用倫理のそれぞれについて、そこに含まれる基本的諸事項・諸見解の解説をします。(教職に対応した内容を一部含みます。)

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160020101&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



倫理学(二)：倫理学入門

丸田 健

後期 水曜日 3時限 C302

道徳哲学の基本的考えの理解を通じ、道徳的観点からの様々な思考に馴染むことを目標とします。

日常的事象について、道徳的観点から多角的かつ深く考えることができるようにするために、道徳教育の歴史を振り返るとともに、倫理学の三部門である①メタ倫理、②規範倫理、③応用倫理のそれぞれについて、そこに含まれる基本的諸事項・諸見解の解説をします。(教職に対応した内容を一部含みます。)

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160020102&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



日本史I(一) : 古代から現代にいたる日本史の理解を深める

木下 光生

前期 月曜日 2時限 C205

中学・高校の歴史・日本史教科書の内容を深く理解し、各時代の特徴を、長期的な目線と世界史的な視野でとらえる。

中学・高校で歴史を教えていくうえで、教科書の内容を深く理解しておくことは絶対条件である。本講義では、現行および過去の中学・高校の歴史・日本史教科書を利用して、古代～現代における各時代の政治、経済、文化の特徴を検討し、それが通史的・世界史的にもつ意味合いを考えていく。

期末レポート

講義内容について、自由な観点から、思う存分、批判を書いてもらう。

自分で独自に探してきた論文、学術書、史料、データなどにもとづいて批判できたら、一番素晴らしい。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016601&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布



日本史I(二) : 古代から現代にいたる日本史の理解を深める

木下 光生

後期 月曜日 1時限 C205

中学・高校の歴史・日本史教科書の内容を深く理解し、各時代の特徴を、長期的な目線と世界史的な視野でとらえる。

中学・高校で歴史を教えていくうえで、教科書の内容を深く理解しておくことは絶対条件である。本講義では、現行および過去の中学・高校の歴史・日本史教科書を利用して、古代～現代における各時代の政治、経済、文化の特徴を検討し、それが通史的・世界史的にもつ意味合いを考えていく。

期末レポート

講義内容について、自由な観点から、思う存分、批判を書いてもらう。

自分で独自に探してきた論文、学術書、史料、データなどにもとづいて批判できたら、一番素晴らしい。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016602&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回プリントを配布



日本史II(一) : 日本史の基礎知識

河内 将芳

前期 月曜日 1時限 C205

中学校社会・高等学校地理歴史の教員免許取得に対応できる日本史の基礎的な知識を身につけることめざす。

この講義では、中学校社会・高等学校地理歴史の教員免許取得に対応できる日本史の基礎的な知識を身につけるため、主に高等学校の日本史の教科書に出てくることごとについて、その内容を掘り下げて講義を展開する。資料・史料をもちいて、ことごとの具体的なようすを講義していく。

平常点(10%、出席および授業に対する積極的な参加度合い)、期末レポート(90%、400字詰め換算で10～15枚以上予定)で評価。課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、日本史史料についてどのような問題意識を持っているかを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016701&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



日本史II(二) : 日本史の基礎知識

河内 将芳

後期 火曜日 1時限 C204

中学校社会・高等学校地理歴史の教員免許取得に対応できる日本史の基礎的な知識を身につけることめざす。

この講義では、中学校社会・高等学校地理歴史の教員免許取得に対応できる日本史の基礎的な知識を身につけるため、主に高等学校の日本史の教科書に出てくることごとについて、その内容を掘り下げて講義を展開する。資料・史料をもちいて、ことごとの具体的なようすを講義していく。

平常点(10%、出席および授業に対する積極的な参加度合い)、期末レポート(90%、400字詰め換算で10～15枚以上予定)で評価。課題の文献を正確に読めているか、また論理的な展開をしているか、日本史史料についてどのような問題意識を持っているかを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016702&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



外国史I : 文化・社会的視点から見たヨーロッパ世界の歴史的形成過程

井福 剛

後期 月曜日 4時限 C104

ヨーロッパ文化・社会を歴史的に検討することによって、ヨーロッパ地域の文化に関して理解を深める。

ヨーロッパ文化はとりわけ近代以降、世界の諸地域に大きな影響を与え、その文化の一部は現代の我々の生活や価値観にも深く根付いている。本講義では、そのようなヨーロッパ文化を歴史的に検討することによって、ヨーロッパ地域の文化に関して理解を深めてもらいたい。

講義内容について問う毎回の小レポート 50%(講義内容を理解しているかどうかを評価)

学期末レポート 50%(適切に情報を収集し、論理的に考えをまとめられているかを評価)

出席日数(小レポートの提出)が3分の2に満たない場合は、原則として成績評価は行わない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160017100&opi=se0020&syw=1

教科書 各回資料送信



外国史Ⅱ：イスラムの誕生と「アラブの大征服」

川本 正知

前期 火曜日 4時限 C104

イスラム教とはどのような宗教であるかを知る。唯一神への信仰を基礎として形成された預言者ムハンマドの原初イスラム教団とアラブの大征服後に成立したイスラム法共同体との相違を実感することが特に重要である。前者は「信仰」がキーワードであるとすれば後者は「法制度」である。また、イスラム化とはイスラムの法制度がある地域に定着していくことであり、西アジア・中央アジアにおいては8世紀の中頃から10世紀にかけて徐々に進展していった現象であることを理解する。



イスラム教は現在のアラビア半島西部のメッカという町に生まれた一神教である。イスラム教徒たちによれば、「預言者ムハンマド」が610年頃に「唯一の神」から受けるようになった「啓示」の内容はすべて聖典コーランに記録されており、その教えをもとに創造された宗教がイスラム教であるという。唯一の神とは、預言者とは、啓示とはなんだろうか。それらの宗教的概念を説明しながら、メッカおよび622年のヒジュラ（聖遷）後にムハンマドが居住したメディナ・オアシスの住民とがムハンマドの周りに一つの教団を形成していく過程を追っていく。

つぎに、632年にムハンマドが亡くなった後、後継者のカリフたちに率いられたアラブと呼ばれる遊牧民からなる軍隊による大規模な征服活動、それによりイスラム教団がカリフ帝国とよばれる巨大な国家に発展していく過程を追ってみよう。この「アラブの大征服」は大規模な軍事征服にすぎないが、これがイスラム化の端緒になり、以降10世紀には西アジア・中央アジアのあちこちにイスラム教徒共同体すなわちイスラム社会が出現することになる。この過程は軍事征服された広大な地域全体で進行した。

6月9日付変更

通常の試験期間中に行う持ち込み不可の記述式の試験60点以上。

試験問題はe-learning上にあげた指定の参考文献から出題。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160017200&opi=se0020&syw=1

教科書

文学：性と政治の『源氏物語』桐壺巻を読む～誤読と思い込みを解体する～ 櫻井 清華

後期 木曜日 3時限 C102

『源氏物語』の読解を通して物語の本質を理解できるようにする。また平安文学を読むに際して必要な基礎情報、基礎教養を身に着けることも目指したい。最終的には自分自身が問題意識をもって物語を読めるようになることを到達点とする。



『源氏物語』は（実は）刺激的で面白い！をテーマに講義を進める。指定したテキストを読み、『源氏物語』冒頭の桐壺巻への理解を深める。それが後に続く物語全体への理解を補強するからである。物語の解釈に必要な平安社会の構造や政治のしくみ、生活や宮廷の習慣については適宜解説していく。

小テスト4回、到達度確認テストを総合して評価します

小テストの実施は実施の前週の講義時に告知します

小テスト20%、到達度確認テスト80%

まず講義時に口頭で話した部分ごとの解説についてきちんと理解、記憶しているか。

次に講義時に扱った作品の全体的内容と、物語が生み出された社会的背景と作者について正確な知識を得ているか。

最期に講義で扱った作品の問題点について自分なりに思考し、回答を得ているか。

この三点を主軸に評価します。

出席点はありせん

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160050000&opi=se0020&syw=1

教科書 『源氏物語』〈一〉桐壺～末摘花 / 柳井滋 他・岩波文庫、2017・9784003510155

心理学：人の心の基本的な仕組みと働き

林 郷子

前期 火曜日 3時限 C105

心理学における基礎的な知識を修得する。

心理学とは、人のこころの動きや、そこから生じる行動について探求しようとする学問である。しかし、その領域は多岐にわたり、どのようにこころに接近し、とらえようとするかについては、さまざまな考え方がある。本講義では、主要な領域における代表的な研究を紹介しながら、心理学全般について概観する。



授業ごとに行う課題（講義内容の理解度）と、授業のまとめとして行う到達度確認（基本的概念の理解度）により、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152001600&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布する。

心理学：心理学とは何か

中原 洪二郎

後期 火曜日 3時限 C204

1. 心理学が対象とする現象と説明の枠組みを理解できる
2. 主要な心理学的概念を用いて人間の行動や経験を説明できる
3. 日常的な「心」の理解を心理学的視点から相対化できる

[コミュニケーション力][問題解決力]



本講義では、「こころ」を目に見えない実体として扱うのではなく、人間の行動や経験を説明するための概念的枠組みとして捉える心理学の基本的な考え方を学ぶ。

感覚・学習・記憶・言語・感情・発達などの主要領域を通じて、心理学がどのように人間理解を試みてきたのかを整理し、日常的理解と学問的説明の違いを理解することを目的とする。

各回の理解度確認(75%)および最終課題(25%)による総合評価

1. 理解度確認: 概念や理論を用いて現象を説明できているか
2. 最終課題: 日常的事象を心理学的概念を用いて一貫して解釈できているか

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156427100&opi=se0020&syw=1

教科書

社会学(一)：社会学の基礎知識の修得

吉村 治正

前期 月曜日 1時限 C204

社会学の全体的なイメージをつかむことで、社会学の各論および隣接諸社会科学について学ぶための準備を整える。

社会学とは、現実の社会の仕組みを解明し、社会問題の解決を目指す科学である。我々の生きている社会は決して理想社会ではあり得ない。実際の社会は貧困や犯罪、差別や不平等などの様々な社会問題に満ちている。こうした諸問題を解決するために、現実の社会はといったどのような仕組みで成立しているのかを適切に理解しようというのが社会学の目標である。

毎回の授業が終了する度に授業内容の理解を問う課題を課す。この授業課題はGoogleのClassroomを通じて提出してもらう。この授業課題の合計点を40点満点とし、これと学期末試験(筆記試験)の得点を60点満点として、この2つの合計点で評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160019101&opi=se0020&syw=1

教科書



社会学(二)：社会学の基礎知識の修得

吉村 治正

後期 水曜日 2時限 C104

社会学の全体的なイメージをつかむことで、社会学の各論および隣接諸社会科学について学ぶための準備を整える。

社会学とは、現実の社会の仕組みを解明し、社会問題の解決を目指す科学である。我々の生きている社会は決して理想社会ではあり得ない。実際の社会は貧困や犯罪、差別や不平等などの様々な社会問題に満ちている。こうした諸問題を解決するために、現実の社会はといったどのような仕組みで成立しているのかを適切に理解しようというのが社会学の目標である。

毎回の授業が終了する度に授業内容の理解を問う課題を課す。この授業課題はGoogleのClassroomを通じて提出してもらう。この授業課題の合計点を40点満点とし、これと学期末試験(筆記試験)の得点を60点満点として、この2つの合計点で評価を行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160019102&opi=se0020&syw=1

教科書



教育学(一)：教育学の基本的な理論を学ぶ。

鈴木 伸尚

後期 土曜日 2時限 C204

到達目標は、主に下記の三点である。

- ① 教育を考える上でその土台となる社会・歴史的背景や基本的な概念を理解する。
- ② 教育実践の今日的動向を把握する。
- ③ ①、②を踏まえて、それぞれの経験から想定される教育的営みを改めて問い直す視点を身につける。

「教育」という営みについての基本的な理念、歴史、実践について理解することで、現代の日本の教育を理解する基礎となる認識枠組みを身に付け、批判的に検討する知的な力を養う。

学期末レポートによる。

レポートでは、現代の日本の教育事象を対象として、授業内容の理解の度合い、文献をもとに論理的な文章が書けているかどうかを基準とする。

ただし授業に対するコミットメントの度合い(質問、感想等)についても考慮する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160050501&opi=se0020&syw=1

教科書



教育学(二)：教育学研究の基礎

辻 寛司

後期 月曜日 4時限 C301

人の成長にとって最も重要な教育に関する諸問題を理論と実証の両面から追究することにより、自身の成長に責任ある態度を身につける。

高校教員として、中等教育現場で教育実践にあたってきた経験を踏まえて、教育を「受ける立場」から、主体的にかつ広い視野で教育を考えることができる立場にたつ学生を育成するために、社会の動きや時事的かつ身近な教育課題等も取り上げながら教育を捉えなおす機会をもつ。

授業中の『小レポート』(授業内容の理解度と課題意識)と『課題レポート』(与えられた課題にどう向き合い、自身の見解を明確に示し、深め、論理的に説明しているか)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160050502&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配付する講義関係資料



現代史：「映画」を手がかりにして学び・問う20世紀の歴史、21世紀の今

森川 正則

後期 火曜日 5時限 C105

現代史(20世紀～21世紀)上のいくつかのテーマを取りあげて、それらについて「映画」を手がかり(教材)にして、学び・問い・考え、探究する作法を身につけることです。

「現代史」と題する授業で中心的に扱うのは「20世紀の歴史」です。その導入・前提という位置づけとなるのが、第1～2回授業です。続いて、第3～14回授業では、5本または6本の映画をそれぞれ2回または3回ずつ取りあげて、現代史の学びと問い・探究という点で重要な見どころやポイントを説明していきます。

学期中の「質問回答ペーパー」(授業内容に関連して教員からの問いかけに回答)と「期末レポート」を総合して評価します。質問回答ペーパーは「適切・的確な回答かどうか」、レポートは「指示された注意点に従っているか」を評価基準とします。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160006500&opi=se0020&syw=1

教科書 授業用教材プリントと関連プリントを配布します。



民俗学：民俗学は伝統的な慣習・行事などから日本人の生活文化を解明する 平松 典晃
学問である。フィールドワークで収集した伝承をもとに歴史民俗学の立場から
の分析を試みる。本講義では民俗に関する儀礼を取り上げる。

前期 金曜日 1時限 C204

民俗学の基礎的な知識と研究方法を身に着ける。民俗調査をすることでコミュニケーション能力を養う。

年中行事は正月と盆を中心に一年の節々に催されるハレの行事である。人生儀礼は一生のうち、誕生・成人・婚姻・死などの節目において、その緊張する時期を無事に通過させ、以後の安寧をはかるために行う通過儀礼ともいう。また日本の民俗宗教の中核をなすのが神社祭祀、祖先信仰、自然崇拝である。年中行事と通過儀礼、民俗宗教の諸相から日本人の人生観・宗教観・霊魂観を明らかにする。

平常点10%＋学習到達度確認(筆記による学力確認)90%

民俗事例を分析する力があるか、自ら民俗調査を実施し報告することができる力が身についているかを評価するため筆記による学力確認を授業内で実施する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160010800&opi=se0020&syw=1

教科書



政治学(一)： 政治学概論

竹中 浩

前期 火曜日 2時限 C105

政治学の基本概念を身に着け、政治の制度や思想について基礎的な理解を得る。

この授業では、民主政治に関する諸問題を中心に、政治学の基本的な概念や考え方について解説する。政治にはさまざまなアクターが登場し、自らの利益や目的価値を実現しようとして行動する。利益も目的価値も人によって異なり、時とともに変化するから、政治的な問題に唯一絶対の解決はなく、一旦なされた解決も、時代とともにたえず見直しを迫られる。そうした持続的な営みとしての政治の特質について学ぶ。

基本的に2回の課題レポートによって授業の理解度及び自主学習の進捗度を評価する(1回目40%、2回目60%)。授業の最後に示す問題に対する解答によって出席を確認する。出席状況の良好な人については評価の際に考慮する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160018101&opi=se0020&syw=1

教科書 政治学(第2版) / 川出良枝・谷口将紀編・東京大学出版会、2022年・978-4130322355



政治学(二)： 政治学概論

竹中 浩

後期 火曜日 3時限 C205

政治学の基本概念を身に着け、政治の制度や思想について基礎的な理解を得る。

この授業では、民主政治に関する諸問題を中心に、政治学の基本的な概念や考え方について解説する。政治にはさまざまなアクターが登場し、自らの利益や目的価値を実現しようとして行動する。利益も目的価値も人によって異なり、時とともに変化するから、政治的な問題に唯一絶対の解決はなく、一旦なされた解決も、時代とともにたえず見直しを迫られる。そうした持続的な営みとしての政治の特質について学ぶ。

基本的に2回の課題レポートによって授業の理解度及び自主学習の進捗度を評価する(1回目40%、2回目60%)。授業の最後に示す問題に対する解答によって出席を確認する。出席状況の良好な人については評価の際に考慮する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160018102&opi=se0020&syw=1

教科書 政治学(第2版) / 川出良枝・谷口将紀編・東京大学出版会、2022年・978-4130322355



法学(一)：人が形成する社会・集団のなかで、人と人との関係が問題となる 村上 正直
場合に機能する法について、その基礎的な内容を学ぶ。

前期 月曜日 2時限 C104

人は多種多様な法に取り囲まれて生活をしている。この法の世界の一端を知り、社会における法の役割と重要性を理解すること。

人の社会生活のあらゆる場面において法は存在している。法は、人間が社会生活を円滑に送ることができるようにするためのものであり、起こりうる紛争を予防し、起こった紛争を解決するためのルールである。この授業では、特に憲法や民法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法などの基本的な内容を学び、考える。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(法学の基本用語や条文、裁判例の理解、思考力、答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160017601&opi=se0020&syw=1

教科書 はじめての法律学(第7版) / 松井・松宮・曾野・有斐閣、2025年・978-4-641-22250-2



法学(二)：人が形成する社会・集団のなかで、人と人との関係が問題となる 村上 正直
場合に機能する法について、その基礎的な内容を学ぶ。

後期 金曜日 2時限 C302

人は多種多様な法に取り囲まれて生活をしている。この法の世界の一端を知り、社会における法の役割と重要性を理解すること。

人の社会生活のあらゆる場面において法は存在している。法は、人間が社会生活を円滑に送ることができるようにするためのものであり、起こりうる紛争を予防し、起こった紛争を解決するためのルールである。この授業では、特に憲法や民法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法などの基本的な内容を学び、考える。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(法学の基本用語や条文、裁判例の理解、思考力、答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160017602&opi=se0020&syw=1

教科書 はじめての法律学(第7版) / 松井・松宮・曾野・有斐閣、2025年・978-4-641-22250-2



法学(三)：人が形成する社会・集団のなかで、人と人との関係が問題となる 村上 正直
場合に機能する法について、その基礎的な内容を学ぶ。

後期 水曜日 2時限 C204

人は多種多様な法に取り囲まれて生活をしている。この法の世界の一端を知り、社会における法の役割と重要性を理解すること。

人の社会生活のあらゆる場面において法は存在している。法は、人間が社会生活を円滑に送ることができるようにするためのものであり、起こりうる紛争を予防し、起こった紛争を解決するためのルールである。この授業では、特に憲法や民法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法などの基本的な内容を学び、考える。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(法学の基本用語や条文、裁判例の理解、思考力、答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160017603&opi=se0020&syw=1

教科書 はじめての法律学(第7版) / 松井・松宮・曾野・有斐閣, 2025年・978-4-641-22250-2



日本国憲法(一)：現代社会における日本国憲法の意義と概要

村上 正直

前期 月曜日 4時限 C105

日本国憲法の成り立ちと法体系の基本法としての憲法の役割、その基本的な内容を理解することができること。

日本国憲法についての基本的な知識を修得し、社会における日本国憲法の役割を理解することができるように、具体的な事例や問題を通して、基本的人権や国家の作用、三権分立などの基本について解説する。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(憲法の条文の理解、基本用語の知識、憲法に関する裁判の理解、思考力及び答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160022001&opi=se0020&syw=1

教科書 いちばんやさしい憲法入門第7版 / 初宿・高橋・米沢・棟居・有斐閣, 2025年・978-4-641-22252-6



日本国憲法(二)：現代社会における日本国憲法の意義と概要

村上 正直

前期 金曜日 1時限 C105

日本国憲法の成り立ちと法体系の基本法としての憲法の役割、その基本的な内容を理解することができること。

日本国憲法についての基本的な知識を修得し、社会における日本国憲法の役割を理解することができるように、具体的な事例や問題を通して、基本的人権や国家の作用、三権分立などの基本について解説する。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(憲法の条文の理解、基本用語の知識、憲法に関する裁判の理解、思考力及び答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160022002&opi=se0020&syw=1

教科書 いちばんやさしい憲法入門第7版 / 初宿・高橋・米沢・棟居・有斐閣, 2025年・978-4-641-22252-6



日本国憲法(三)：現代社会における日本国憲法の意義と概要

村上 正直

後期 月曜日 2時限 C102

日本国憲法の成り立ちと法体系の基本法としての憲法の役割、その基本的な内容を理解することができること。

日本国憲法についての基本的な知識を修得し、社会における日本国憲法の役割を理解することができるように、具体的な事例や問題を通して、基本的人権や国家の作用、三権分立などの基本について解説する。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(憲法の条文の理解、基本用語の知識、憲法に関する裁判の理解、思考力及び答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160022003&opi=se0020&syw=1

教科書 いちばんやさしい憲法入門第7版 / 初宿・高橋・米沢・棟居・有斐閣, 2025年・978-4-641-22252-6



日本国憲法(四)：現代社会における日本国憲法の意義と概要

村上 正直

後期 水曜日 1時限 C104

日本国憲法の成り立ちと法体系の基本法としての憲法の役割、その基本的な内容を理解することができること。

日本国憲法についての基本的な知識を修得し、社会における日本国憲法の役割を理解することができるように、具体的な事例や問題を通して、基本的人権や国家の作用、三権分立などの基本について解説する。

①授業の中で課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)と②最終授業で行う到達度確認(憲法の条文の理解、基本用語の知識、憲法に関する裁判の理解、思考力及び答案構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160022004&opi=se0020&syw=1

教科書 いちばんやさしい憲法入門第7版 / 初宿・高橋・米沢・棟居・有斐閣, 2025年・978-4-641-22252-6



地理学I：地理学の方法および地理的事象にかかわる基本的テーマの検討を 岡橋 秀典
通じて、地理学全般について学習する。

前期 火曜日 3時限 A130

地理学の歴史および基本的な考え方を習得した上で、現代日本及び世界の地域システムについて学習する。今日のグローバル化時代に不可欠な空間的視点を養うことを目標とする。

最初に地理学の歴史と方法論、地理学の発展とその考察の特徴を把握し、そのうえで、日本の地域の変貌、地域システムの変化、世界の地域の変貌について、理論・実証両面から考察する。高校の地理教科書を適宜参照し、地理教育にも配慮した授業にしたい。

小テスト・課題30%(基本的な語句の理解等講義内容の理解度を確認する)、定期試験70%(地理学を理解するための基本的概念を正しく理解している、もしくは、基本的概念を用いて適切に論じることができるかどうかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160015800&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



地理学Ⅱ：自然環境と人間社会とのつながりを自然地理学の視点から考える 宇津川 喬子

後期 木曜日 2時限 A130

多面的な視野をもって自然地理学的観点から「世界のなかの日本」を能動的に捉えられるように
 ・地理的思考(グローバルスケールから地域的視野まで認識する空間を変化させて物事を捉える力、時間を変化させて物事を捉える力)
 ・「自然の原理」と「人間の生活の営み」を関連づける思考力を養うことを目指します。



自然地理学は、地理学のなかでも地学(地球科学)に近い分野です。しかし“自然の原理”だけではなく、それと“人間の生活の営み”を関連づける視点は自然地理学ならではのものです。本講義では、主に地形学と気候学の観点から「自然環境と人間社会とのつながり」に目を向け、自然地理学に関する基礎知識と教養を身につけます。
 授業内では地図やグラフ、写真の読み取りを行う他、インターネット上の資料や映像を適宜使用しながら進めます。

16週目に実施する定期試験(100%)で評価します。
 自由課題を提出した人には適宜加点をします(初回授業で説明)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160015900&opi=se0020&syw=1

教科書 e-learningで授業資料(教員自作)を配布 地図帳(指定なし)

地誌学Ⅰ：地誌学的な地域の見方・とらえ方を考える。

角 克明

前期 金曜日 2時限 C105

地誌学的な地域の見方・とらえ方を通して、地誌学的な考え方・ものの見方の習得をめざす。
 日本や世界の諸地域について、その地域的特色や地域の課題などを多面的・多角的に考察し理解すること(分析方法や考え方を含む)。



※基本的には、授業内容の把握と理解を目標とする。

この講義では、地誌学の基礎を学ぶ。授業計画は以下のとおり。地理学や地誌学の基礎を学習したうえで、事例としていくつかの地域の地誌をとりあげる。教職課程においては中学校や高等学校で教授するための「地理的な基礎」のうちの「地誌」を学ぶ。なお、授業計画には未記載であるが、地形図の読図などの地理的技能に関する取り組みも実践する。また、都道府県に関する読み上げ問題を題とし、解答する過程で日本の地誌的な要素を蓄積したい。最終的には、基礎的な知識だけではなく、地誌的な考え方・ものの見方の習得をめざしたい。

最終回に実施する学修到達度確認(筆記による講義内容の理解度：テーマや到達目標にあげたことからの理解とそれらを説明・表現できる力の有無)と授業進行にあわせて、学修内容を確認する「授業後の質問」(例えば、第3回授業後に第3回授業の内容が理解できているかどうかを確認するもので、これらの蓄積が最終回の学修到達度確認へむすびつくもの)の成果によって総合評価する。

※詳細は第1回目の講義時に説明する予定であるため、必ず出席してきくこと。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016300&opi=se0020&syw=1

教科書 帝国書院編集部編『新詳高等地図』、帝国書院、2025年。ISBN 978-4807167999 ※【注意】すでに『地図帳』(書名、出版年次、出版社は問わない)を持っている場合はそれで代用してもよい。ただし、主題図などで異なる場合があり、多少の障害が発生することを承知されたい。不安な場合は第1回目の授業で担当者に相談してください。必要に応じてプリントを配付。※【注意】プリントは基本的に次回以降の講義で再配付しないが、余分がある場合に限って提供する。最近では以下のオンライン配信の方法によるものが多数を占める。必要に応じて授業資料をオンライン(グーグルクラスルーム利用)で配信することがある。

地誌学Ⅱ：「日本と世界の諸地域について理解を深める」

出田 和久

後期 火曜日 2時限 A130

日本の国土を正しく認識し、日本国民としての基礎的資質と現代世界の地理的認識を養うとともに、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に考察し、地誌的理解を深める。

日本および世界の諸地域を各々いくつか取り上げ、歴史的背景にも留意しながら地域の特徴・特質について解説し、大小様々な地域が部分と全体とを構成し、重層の関係にあるという点を踏まえた地誌的理解を深める。その際、できるだけ地域の特質解明に関わる事項についても説明することにより、地域調査の方法の一端にふれ、フィールドワークなどの基本的方法を理解できるようにする。また、地域調査のために必要な地図類、史料、統計資料、画像資料などの利用や使用上の問題についても適宜解説を加える。



定期試験60%(地誌や地域の基本概念、講義内容の理解度を論述式と客観式の両形式で問う)、小レポート(適切な問題意識をもち、文献を正確に読み、地誌的に思考し論理的に展開できているかを評価する)20%、小テスト(理解の確認)20%の予定である。比率は目安であり、若干の変更もありうる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160016400&opi=se0020&syw=1

教科書 特に使用しない

経済学：現代社会と経済学

唐津 周平

前期 火曜日 1時限 C104

・経済学の基本的な考え方を理解する。
 ・その考え方を参考にして、経済社会の諸現象を説明できる。

[思考力][情報処理力]

この講義では、経済学の基本的な考え方を現代社会の事例を交えながら学習する。まず、経済学の起源や歴史、学問としての特徴などを学んだ上で、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」といった基礎理論の理解も深める。それらを通じて、現代社会の仕組みを理解し、分析等の思考力を養う。



学習到達度確認60%+期末レポート40%

学習到達度確認の評価基準：各回のコメントシート等を通じて理解度を確認する。
 期末レポートの評価基準：経済学の基本的な考え方を理解したかどうかを確認する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160018600&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布する

生物進化学(一) : 【evolution】なぜ私たちはここにいて、なぜ生物多様性が大 立澤 史郎
切なのか？

前期 火曜日 1時限 C302

- 1) 生物の進化の歴史とそのしくみを簡潔に説明することができる。
- 2) 生物の進化や多様化を保障することがなぜ人類にとって重要なのか説明することができる。

生物種の多様性が大切だとよく言われますが、それはなぜでしょうか？多くの生物がいた方が楽しいから、というだけ
が理由ではありません。多くの種がいることで、生物は進化し、より多様化し、そしてその環境(系)は安定化するの
です。

この授業では、生物種の多様性をもたらす進化(evolution)のしくみと歴史を概観し、とくに私たちヒトを含む哺乳類の
進化と絶滅の事例を学び、そして人類や地球にとってなぜ生物多様性や環境の保全が必要なのかを具体的に考えま
す。

受講評価(50%:授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%:期間内に課
すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160003601&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



生物進化学(二) : 【evolution】なぜ私たちはここにいて、なぜ生物多様性が大 立澤 史郎
切なのか？

後期 水曜日 3時限 C105

- 1) 生物の進化の歴史とそのしくみを簡潔に説明することができる。
- 2) 生物の進化や多様化を保障することがなぜ人類にとって重要なのか説明することができる。

生物種の多様性が大切だとよく言われますが、それはなぜでしょうか？多くの生物がいた方が楽しいから、というだけ
が理由ではありません。多くの種がいることで、生物は進化し、より多様化し、そしてその環境(系)は安定化するの
です。

この授業では、生物種の多様性をもたらす進化(evolution)のしくみと歴史を概観し、とくに私たちヒトを含む哺乳類の
進化と絶滅の事例を学び、そして人類や地球にとってなぜ生物多様性や環境の保全が必要なのかを具体的に考えま
す。

受講評価(50%:授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%:期間内に課
すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160003602&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



生態学(一) : 【ecology】人と自然のつながりを科学の目で見てみよう

立澤 史郎

前期 月曜日 3時限 C105

- 1) 身の回りの自然を3つの生態学的視点(個体群、群集、生態系)から理解し説明できる。
- 2) 身近な環境問題の原因と解決策を生態学の観点から考察できる。

生物はさまざまな「かわり」(関係性)の中で生きています。この関係性は多層的で客観的に調べる方法はたくさん
ありますが、生物同士の関係性を「集団」や「食う-食われる」の視点から理解し応用するのが生態学(ecology)です。

この授業では、前半で生態学の基本的な考え方(自然の見方)を「個体群」「群集」「生態系」という3つの観点から解説
し、後半ではその応用としての野生生物や生活環境の保全(特に野生動物と地域社会の関係)の事例を紹介します。

受講評価(50%:授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%:期間内に課
すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160051001&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



生態学(二) : 【ecology】人と自然のつながりを科学の目で見てみよう

立澤 史郎

後期 火曜日 2時限 C302

- 1) 身の回りの自然を3つの生態学的視点(個体群、群集、生態系)から理解し説明できる。
- 2) 身近な環境問題の原因と解決策を生態学の観点から考察できる。

生物はさまざまな「かわり」(関係性)の中で生きています。この関係性は多層的で客観的に調べる方法はたくさん
ありますが、生物同士の関係性を「集団」や「食う-食われる」の視点から理解し応用するのが生態学(ecology)です。

この授業では、前半で生態学の基本的な考え方(自然の見方)を「個体群」「群集」「生態系」という3つの観点から解説
し、後半ではその応用としての野生生物や生活環境の保全(特に野生動物と地域社会の関係)の事例を紹介します。

受講評価(50%:授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%:期間内に課
すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160051002&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



情報学 : 情報の基礎を通して、社会にどのように活用されているのかを学 正司 哲朗
ぶ。

後期 火曜日 3時限 C302

情報理論の基礎、ハードウェア、ネットワークなどの基礎知識を学び、これらの技術がどのように社会で活用されてい
るのかを正しく理解することを目標としている。

[思考力][情報処理力]

授業の前半では、情報技術の基本的な仕組みについて解説する。後半では、前半で説明した情報技術が、現代社会
にどのように活用されているのかを、原理も含めて事例を紹介する。

成績評価は、各回で出題する小レポートで評価する。評価基準は、各回で説明した内容が正しく理解しているかどうか
を判断する。小レポート課題の配点は、第1回4点、第2回から第11回まで各6点、第12回から第14回まで各10点、第15
回は6点とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156105100&opi=se0020&syw=1

教科書 Web教材



人間学I(一) : 生活と文化の思想

丸田 健

前期 月曜日 2時限 C102

生活文化(特に生きることに伴う人と物との関わり)への関心を喚起し、物の具体性を手掛かりに人間存在について考えることを目標とします。

[思考力][実行力]

日常生活から出発して人間を考えます。特に生活の基本道具から見えてくる様々な連関を掘り下げていきます。哲学(生活文化論、風土論)、民俗学(アチックミュージアム、渋沢敬三、宮本常一)、工芸論(ウィリアム・モリス、民藝運動)等にも言及しつつ、物に映し出される人間の姿を捉える予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052101&opi=se0020&syw=1

教科書



人間学I(二) : 生活と文化の思想

丸田 健

後期 水曜日 1時限 C102

生活文化(特に生きることに伴う人と物との関わり)への関心を喚起し、物の具体性を手掛かりに人間存在について考えることを目標とします。

[思考力][実行力]

日常生活から出発して人間を考えます。特に生活の基本道具から見えてくる様々な連関を掘り下げていきます。哲学(生活文化論、風土論)、民俗学(アチックミュージアム、渋沢敬三、宮本常一)、工芸論(ウィリアム・モリス、民藝運動)等にも言及しつつ、物に映し出される人間の姿を捉える予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度を重視)と、学習到達度確認60%程度(基本概念の理解、授業内容についての独自の考察等を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052102&opi=se0020&syw=1

教科書



人間学II(一) : 「人と物」について論じる

丸田 健

前期 金曜日 2時限 C302

物が人間に対して持つ様々な意味を取り出し、考察することを目指します。特に原型的な道具的な物の意味理解を通じて、世界や人間への関心を広げることを目指します。

[思考力][コミュニケーション力]

「ホモ・ファベル」という人間規定もありますが、人間が自然から素材を得て、手で物を作り出す行為は現在も続いています。そのような営為、またそれによって生み出される物が、人間にとって持つ意味は何でしょうか。道具の機能性、記号性、身体性、美の観点から、それを考えます。後半は、具体例を検討する予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度、中間の学習到達度確認、等)と、最後のレポート課題60%程度(必要な情報を自分の言葉でまとめられているか等)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052201&opi=se0020&syw=1

教科書 手仕事の日本 / 柳宗悦・岩波書店, 1985. 978-4003316924 生きることの人間論 / 伊藤・丸田・島本・市川・ナカニシヤ出版, 2016. 978-4-7795-1033-5



人間学II(二) : 「人と物」について論じる

丸田 健

後期 月曜日 2時限 C205

物が人間に対して持つ様々な意味を取り出し、考察することを目指します。特に原型的な道具的な物の意味理解を通じて、世界や人間への関心を広げることを目指します。

[思考力][コミュニケーション力]

「ホモ・ファベル」という人間規定もありますが、人間が自然から素材を得て、手で物を作り出す行為は現在も続いています。そのような営為、またそれによって生み出される物が、人間にとって持つ意味は何でしょうか。道具の機能性、記号性、身体性、美の観点から、それを考えます。後半は、具体例を検討する予定です。

成績評価の割合は、平常点40%程度(コメント記入の充実度、中間の学習到達度確認、等)と、最後のレポート課題60%程度(必要な情報を自分の言葉でまとめられているか等)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052202&opi=se0020&syw=1

教科書 手仕事の日本 / 柳宗悦・岩波書店, 1985. 978-4003316924 生きることの人間論 / 伊藤・丸田・島本・市川・ナカニシヤ出版, 2016. 978-4-7795-1033-5



考古学I : 考古学の基本的な事項(方法論・調査法・遺跡・遺構・遺物など)について概説する。

近江 俊秀

前期 火曜日 3時限 C205

日本考古学は歴史学の一翼を担っているため、日本史の流れの中で学ぶことを心がけて欲しい。時代の変化を遺跡や遺構、遺物から学び、考える方法を取得する。

考古学が扱う主要な対象物は遺跡、遺構、遺物である。これらは正しく調査されてさえいれば、その土地に確かに存在したものだ。資料を正確に研究することで、事実に基づいた歴史構築が可能になる学問である。授業ではその方法論、調査法を学んだうえで、各時代の考古学的な概要を解説する。

通常時:出席カードの空欄に毎回短いまとめを書き、最終回に学習到達度確認で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144403300&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



考古学Ⅱ：古墳時代から鎌倉時代にかけて重要なテーマを抽出し、詳述する。近江 俊秀
考古学的成果を日本の歴史の中に位置づける。

後期 月曜日 2時限 C204

日本考古学は歴史学の一翼を担っているため、日本史の流れの中で学ぶことを心がけて欲しい。時代の変化を遺跡や遺構、遺物から学び考える方法を取得する。

考古学がこれまで蓄積してきた成果は大きく、日本の歴史研究に大きく寄与してきた。この授業では時代を代表するテーマを選び出し、これまでの研究成果を踏まえながら日本の歴史の中に考古学の成果を位置付けながら概説する。

通常時：出席カードの空欄に毎回短いまとめを書き、最終回に学習到達度確認で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144403400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



美術史Ⅰ：西洋美術史概論（古代から16世紀までの通史）

大熊 夏実

前期 火曜日 4時限 C205

古代から16世紀までの西洋美術史を概観し、基本的な知識を習得します。また、美術作品を丁寧に観察し、その造形的特徴を自らの言葉で表現する力を養います。

古代から16世紀までの西洋美術史の通史を概説し、主要な作家や作品を紹介します。その過程で、図像学、様式展開、素材や技法、作品の機能、受容史、思想的・社会的背景など、美術史研究の多様なアプローチに触れてもらいます。教材として、毎回授業プリントを配付します。

・各回のコメントシート50%：授業内で作品記述などの小課題を実施し、授業後に提出してもらいます。
・期末試験（第16回に実施）50%：各時代の芸術の特徴や基本用語に関する理解を問います。また、簡単な論述問題を出す可能性もあります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144404300&opi=se0020&syw=1

教科書



美術史Ⅱ：西洋美術史概論（17世紀から20世紀までの通史）

大熊 夏実

後期 火曜日 4時限 C205

17世紀から20世紀までの西洋美術史を概観し、基本的な知識を習得します。また、美術作品を丁寧に観察し、その造形的特徴を自らの言葉で表現する力を養います。

17世紀から20世紀までの西洋美術史の通史を概説し、主要な作家や作品を紹介します。その過程で、図像学、様式展開、素材や技法、作品の機能、受容史、思想的・社会的背景など、美術史研究の多様なアプローチに触れてもらいます。教材として、毎回授業プリントを配付します。

・各回のコメントシート50%：授業内で作品記述などの小課題を実施し、授業後に提出してもらいます。
・期末試験（第16回に実施）50%：各時代の芸術の特徴や基本用語に関する理解を問います。また、簡単な論述問題を出す可能性もあります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_144404400&opi=se0020&syw=1

教科書



差別・人権問題論：近現代以降続く日本の植民地主義・歴史修正主義からどう脱却するか？ 藤井 幸之助

後期 火曜日 4時限 C302

ヘイトスピーチからヘイトクライムへと深刻化する中、誰もが暮らしやすい社会にするためには何が必要か考える力をつける。自分が得た情報を鵜呑みにしないで、検証する姿勢を身につける。

朝鮮と日本の間には長い友好親善の歴史があった。ところが、近現代に入り、その関係を損なうできごとがあった。35年にわたる朝鮮植民地支配である。また、2026年は関東大震災朝鮮人・中国人虐殺から103年。これらに対する正確な知識・理解の欠如が、現代日本に生きる私たちにどんな影響を及ぼしているかを検討する。そして、テーマにあげた“日本の植民地主義からどう脱却するか？”に対して、大学生のみならずとともに行うことは何かを探る。

平常点20% 授業への積極的な参加を評価する。学期末レポート80% 講義内容に関連し、テーマを設定し、いかに自分に引き付けて論じられているか。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160023000&opi=se0020&syw=1

教科書



奈良文化論：奈良の文化と伝統芸能

笠置 慎一

前期 金曜日 3時限 C102

奈良の文化における「芸能」を正しく理解し、その良き理解者として、伝統を次世代に保存・継承しようとする姿勢を身に付ける。

古来より奈良に受け継がれてきた芸能、特に神事芸能としての「雅楽」を中心に、各地で受け継がれる儀式・しきたりを紐解きながら、伝統芸能の理解者・芸術文化の保全者としての意識を芽生えさせる。重要無形民俗文化財「春日若宮おん祭の神事芸能」を軸に、奈良の歴史と伝統を多角的に考察する。

提出されたレポート（計3回）の内容を主とし、授業への参画姿勢（対話カード等）を総合的に判断する。レポートでは、資料収集、分析、考察、持論等が適切に展開できているか（課題に真摯に取り組む姿勢など）を重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160023800&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



国際関係論(二)：国際社会のグローバル化に伴い、国境を越えた活動が相互に影響を及ぼし合う現代の国際関係では、地球規模の課題もますます複雑化しています。そのような現代社会に生きる私たちの生活や行動がいかにグローバル・イシューと結びついているかを学び、正解のない課題に対して解決策を思考し行動変容につなげていくことが本講義のテーマです。

井上 良子 前期 木曜日 2時限 C202

- (1) 地球規模のグローバル・イシューに関心を持ち、多角的な視点から考える素養を身につけること
- (2) グローバル・イシューと国内問題や各アクターとの関連性を理解し、自分事として捉える姿勢をもつこと
- (3) 正解のない課題に対しても、持続可能な社会に向けて、自ら思考し解決策を導く、柔軟な課題解決力を養うこと

● 授業の前半では、総論として国際関係を読み解く多角的な視点を身につけるための、国際政治、国際経済、国際法の基本的な流れと主なトピックを学ぶ

● 授業の中盤では、現代の国際関係における国家、国際機構、NGO/NPOの各アクターの役割と活動について、具体的な事例の中で理解を深める

● 授業の後半では、地球規模課題が集約されている国連の持続可能な開発目標(SDGs)をベースに、グローバルとローカルの各レベルで具体的な取り組みを学ぶ中で、自分の日頃の行動と結びつけながら課題解決の思考を身につけていく

● 各回の授業後に実施するWeb上のレポート(70%)と第15回目に実施する学習到達度確認のための試験(30%)により評価します。

・ Web上のレポート: 時事問題とも絡めながら基本的な概念やトピック等の理解を確認します。

・ 学習到達度確認のための試験: 講義内容の理解度を確認するために、選択形式及び論述形式で試験を行います。

※詳細については、第1回目のイントロダクションにおいて説明を行います。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052502&opi=se0020&syw=1

教科書



国際関係論(三)：米国の外交政策

田淵 有美

前期 火曜日 4時限 C203

米国の外交政策から国際関係を理解する視点を得る。

本講義は、建国期から現在に至るアメリカ合衆国の歴史を主に外交という観点から考察する、講義形式の授業である。

学期内に実施する小課題(回数・形式未定)40%と、学期末レポート60%。前者は講義内容の基本的理解、後者はそれに加え論理的な思考力と文章力を総合的に問うもの。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052503&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国際関係論(四)：途上国と米国の政治問題と国際関係

田淵 有美

後期 火曜日 4時限 C203

・途上国の抱える様々な問題について、理解できるようになる。

・米国の抱える様々な課題について、理解できるようになる。

・民族や人種、アイデンティティ、格差といった「多様性」と結びつく政治現象について整理することで、国際関係を考察する入門的な講義形式の授業である。前半部では主に途上国が抱える問題について考察する。後半部では先進国(米国)が抱える課題について考察する。

学期内に数回実施する小課題30%(回数・形式未定)と、学期末レポート70%。前者は講義内容の基本的理解、後者はそれに加え論理的な思考力・文章力を総合的に問うもの。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052504&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



国際関係論(五)：グローバル社会における人権問題は、武力紛争、貧困や飢餓、気候変動などの環境問題、移民・難民、強制労働・児童労働といった多岐にわたる形で深刻化しています。中でも、近年とくに国際的なルールづくりが進んでいる「ビジネスと人権」を取り上げ、身近な問題や具体的な事例を通して社会と人権の関わりを考察を深め、人権が保障される社会に向けて一人一人の行動変容につなげていくことが本講義のテーマです。

井上 良子

後期 木曜日 2時限 C202

- (1) グローバル社会における人権問題に関心を持ち、多角的な視点から考える素養を身につけること
- (2) グローバル社会における人権問題と各アクターとの関連性を理解し、自分事として捉える姿勢をもつこと
- (3) 正解のない課題に対しても、持続可能な社会に向けて、自ら思考し解決策を導く、柔軟な課題解決力を養うこと

● 授業の前半では、総論においてグローバル社会における人権問題を概観したうえで、各論として具体的な人権トピックを学ぶ

● 授業の中盤からは、国際的な人権保障の仕組みを理解したうえで、国境を越える企業活動が社会や人に与える影響を理解する

● 授業の後半では、2011年に国連で採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」の特徴を踏まえ、国家・企業・市民社会が果たすべき役割について理解を深める

● 各回の授業後に実施するWeb上のレポート(70%)と第15回目に実施する学習到達度確認のための試験(30%)により評価します。

・ Web上のレポート: 時事問題とも絡めながら基本的な概念やトピック等の理解を確認します。

・ 学習到達度確認のための試験: 講義内容の理解度を確認するために、選択形式及び論述形式で試験を行います。

※詳細については、第1回目のイントロダクションにおいて説明を行います。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160052505&opi=se0020&syw=1

教科書



現代社会と法(一)：キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなか 村上 正直
で作用する法について、いくつかのテーマをとりあげ、解説し、考える。

前期 金曜日 3時限 C104

授業でとりあげたテーマについて、その基本的な内容を理解し、考えをめぐらした上で、自分の意見をもつことができること。

キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなかでは様々な法をめぐる問題が生じ、議論されている。この授業では、そのうち現代的な諸問題を含めて、いくつかのテーマについて解説し、検討を加える。授業では、そのテーマに関する基本事項を説明した後に、特定のテーマを取りあげる。1つのテーマについて授業2回をあてることを基本とする。教科書は用いず、レジュメや資料を配付する。なお、時間に余裕のある場合には、他のテーマの追加も考える。

授業の中で複数回課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160053001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



現代社会と法(二)：キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなか 村上 正直
で作用する法について、いくつかのテーマをとりあげ、解説し、考える。

後期 月曜日 3時限 C302

授業でとりあげたテーマについて、その基本的な内容を理解し、考えをめぐらした上で、自分の意見をもつことができること。

キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなかでは様々な法をめぐる問題が生じ、議論されている。この授業では、そのうち現代的な諸問題を含めて、いくつかのテーマについて解説し、検討を加える。授業では、そのテーマに関する基本事項を説明した後に、特定のテーマを取りあげる。1つのテーマについて授業2回をあてることを基本とする。教科書は用いず、レジュメや資料を配付する。なお、時間に余裕のある場合には、他のテーマの追加も考える。

授業の中で複数回課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160053002&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



現代社会と法(三)：キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなか 村上 正直
で作用する法について、いくつかのテーマをとりあげ、解説し、考える。

前期 水曜日 3時限 C101

授業でとりあげたテーマについて、その基本的な内容を理解し、考えをめぐらした上で、自分の意見をもつことができること。

キャンパスから国際社会まで、人々の社会や集団のなかでは様々な法をめぐる問題が生じ、議論されている。この授業では、そのうち現代的な諸問題を含めて、いくつかのテーマについて解説し、検討を加える。授業では、そのテーマに関する基本事項を説明した後に、特定のテーマを取りあげる。1つのテーマについて授業2回をあてることを基本とする。教科書は用いず、レジュメや資料を配付する。なお、時間に余裕のある場合には、他のテーマの追加も考える。

授業の中で複数回課すレポート(講義に関連する問題への理解度と思考力、文章構築力を評価する)への回答の評価を基本とする。詳しくは、最初の授業で説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160053003&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



自然の保護(一)：【conservation】人と自然の関係の過去・現在・未来を考えよ 立澤 史郎
う！

前期 火曜日 2時限 C302

- 1) 人と自然の関係の変遷(自然利用の歴史)、および環境保全の法制度の歴史について、概要を説明できる。
- 2) 具体的な環境問題についてその経緯・現状・課題を文理両面から説明することができる。

あなたは生きものをみて、カワイイ！とかキレイ！と思いますか？その思いは大切ですが、それだけでは自然を守れません。自然を守る(保護する)理由と方法は多々ありますが、ここではとくに、保全(環境保全、野生生物保全)という考え方を学びます。

そのためにまず、人と自然(とくに野生動物)の関係の歴史を紐解き、保全(conservation)という考え方が生まれた経緯、それを実現するための制度とその課題について学習します。また授業を通じて、自然の保護や保全という行為が、自然科学(進化学=縦系と生態学=横系)と人文社会学(Human Dimensions)が融合した人類生存の術であることを学びます。

受講評価(50%：授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%：期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160053501&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



自然の保護(二)：【conservation】人と自然の関係の過去・現在・未来を考えよ 立澤 史郎
う！

後期 水曜日 4時限 C105

- 1) 人と自然の関係の変遷(自然利用の歴史)、および環境保全の法制度の歴史について、概要を説明できる。
- 2) 具体的な環境問題についてその経緯・現状・課題を文理両面から説明することができる。

あなたは生きものをみて、カワイイ！とかキレイ！と思いますか？その思いは大切ですが、それだけでは自然を守れません。自然を守る(保護する)理由と方法は多々ありますが、ここではとくに、保全(環境保全、野生生物保全)という考え方を学びます。

そのためにまず、人と自然(とくに野生動物)の関係の歴史を紐解き、保全(conservation)という考え方が生まれた経緯、それを実現するための制度とその課題について学習します。また授業を通じて、自然の保護や保全という行為が、自然科学(進化学=縦系と生態学=横系)と人文社会学(Human Dimensions)が融合した人類生存の術であることを学びます。

受講評価(50%：授業中の態度・質疑内容・積極性、リアクションペーパーの内容等)とレポート評価(50%：期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160053502&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



環境科学I(一)：天然記念物「奈良のシカ」の生態を調べてみよう！(春夏編) 立澤 史郎

前期 水曜日 3時限 B301.
前期 水曜日 4時限 B301.
前期 その他 その他 B301

- 1:天然記念物「奈良のシカ」について、その歴史と生態学的特徴について理解し説明することができる。
- 2:天然記念物「奈良のシカ」について、自ら生態学的調査を企画・実施し結果をまとめることができる。

都市公園「奈良公園」に生息する天然記念物「奈良のシカ」について、基本的な知識・情報を得たうえで、実際に生態の科学的な調査を企画・実施し、その現状と課題を考察します(授業期間の前半は座学・調べ学習、後半はグループワークによる調査の企画・実施・まとめとなり、実際の調査は奈良公園で行います)。

なお、同じ曜日の3時間目(環境科学Ⅰ)と4時間目(環境科学Ⅱ)の授業は、両者で一体となる形で連続して開講します。このため、環境科学Ⅰ(一)を履修する人は必ず、同じ曜日の4時間目に開講される環境科学Ⅱ(一)も登録・履修してください。(一)と(二)は、どちらかしか履修できません。

授業評価(50%:授業中の態度、授業中に行う調査・発表や質疑の内容・積極性の評価)とレポート評価(50%:期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160054101&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



環境科学I(二)：天然記念物「奈良のシカ」の生態を調べてみよう！(秋冬編) 立澤 史郎

後期 月曜日 3時限 B301.
後期 月曜日 4時限 B301.
後期 その他 その他 B301

- 1:天然記念物「奈良のシカ」について、その歴史と生態学的特徴について理解し説明することができる。
- 2:天然記念物「奈良のシカ」について、自ら生態学的調査を企画・実施し結果をまとめることができる。

都市公園「奈良公園」に生息する天然記念物「奈良のシカ」について、基本的な知識・情報を得たうえで、実際に生態の科学的な調査を企画・実施し、その現状と課題を考察します(授業期間の前半は座学・調べ学習、後半はグループワークによる調査の企画・実施・まとめとなり、実際の調査は奈良公園で行います)。

なお、同じ曜日の3時間目(環境科学Ⅰ)と4時間目(環境科学Ⅱ)の授業は、両者で一体となる形で連続して開講します。このため、環境科学Ⅰ(二)を履修する人は必ず、同じ曜日の4時間目に開講される環境科学Ⅱ(二)も登録・履修してください。(一)と(二)は、どちらかしか履修できません。

受講評価(50%:授業中の態度、授業中に行う調査・発表・質疑の内容や積極性の評価)とレポート評価(50%:期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160054102&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



環境科学II(一)：天然記念物「奈良のシカ」の生態を調べてみよう！(春夏編) 立澤 史郎

前期 その他 その他 B301

- 1:天然記念物「奈良のシカ」について、その歴史と生態学的特徴について理解し説明することができる。
- 2:天然記念物「奈良のシカ」について、自ら生態学的調査を企画・実施し結果をまとめることができる。

都市公園「奈良公園」に生息する天然記念物「奈良のシカ」について、基本的な知識・情報を得たうえで、実際に生態の科学的な調査を企画・実施し、その現状と課題を考察します(授業期間の前半は座学・調べ学習、後半はグループワークによる調査の企画・実施・まとめとなり、実際の調査は奈良公園で行います)。

なお、同じ曜日の3時間目(環境科学Ⅰ)と4時間目(環境科学Ⅱ)の授業は、両者で一体となる形で連続して開講します。このため、環境科学Ⅱ(一)を履修する人は必ず、同じ曜日の3時間目に開講される環境科学Ⅰ(一)も登録・履修してください。(一)と(二)は、どちらかしか履修できません。

受講評価(50%:授業中の態度、授業中に行う調査・発表・質疑の内容や積極性の評価)とレポート評価(50%:期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160054201&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



環境科学II(二)：天然記念物「奈良のシカ」の生態を調べてみよう！(秋冬編) 立澤 史郎

後期 その他 その他 B301

- 1:天然記念物「奈良のシカ」について、その歴史と生態学的特徴について理解し説明することができる。
- 2:天然記念物「奈良のシカ」について、自ら生態学的調査を企画・実施し結果をまとめることができる。

都市公園「奈良公園」に生息する天然記念物「奈良のシカ」について、基本的な知識・情報を得たうえで、実際に生態の科学的な調査を企画・実施し、その現状と課題を考察します(授業期間の前半は座学・調べ学習、後半はグループワークによる調査の企画・実施・まとめとなり、実際の調査は奈良公園で行います)。

なお、同じ曜日の3時間目(環境科学Ⅰ)と4時間目(環境科学Ⅱ)の授業は、両者で一体となる形で連続して開講します。このため、環境科学Ⅰ(二)を履修する人は必ず、同じ曜日の4時間目に開講される環境科学Ⅱ(二)も登録・履修してください。(一)と(二)は、どちらかしか履修できません。

受講評価(50%:授業中の態度、授業中に行う調査・発表・質疑の内容や積極性の評価)とレポート評価(50%:期間内に課すレポートの内容の評価)をあわせて総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160054202&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、授業中にプリント等を配布します。



言語学：言語学入門

渋谷 勝己

前期 水曜日 2時限 C101

- ・日本語を例にして、言語学に関する基本的な知識を身につける。
- ・言語の諸側面について他の人に説明できる。

日本語の音声・音韻、アクセント、文法について体系的に概説すると同時に、他言語(とくに英語)と日本語の異同について確認する。

- ・平常点55点(積極性を重視する)
- ・達成点45点(理解確認のための小テスト。毎回実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141014300&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



経営学：経営学の主要なテーマである「経営管理論」や「経営戦略論」をもとに 倉 光巖
経営学を学ぶ。

前期 金曜日 1時限 C205

経営学のベースとなるテーマを学んで経営の実際や企業行動を理解する。受講することにより、思考力・コミュニケーション力・情報処理力などを身につける。

[思考力][コミュニケーション力][情報処理力][総合力]を身につける。

半導体製造装置・液晶製造装置・印刷製版機器メーカーにおいて「ものづくり」に30年、「調達業務統括」に10年、物流企業の経営者として4年携わってきたキャリアを生かして、経営学の基本的な考え方を経営現場と理論の両面から講義する。企業を取り巻く外部環境の変化が、経営戦略および組織改革などの企業行動、とくに経営の資源であるヒト・モノ・カネ・情報・時間の使い方にどのように影響するかを考える。

受講者の講義内容に関する理解をベースにした見解について提出されたコメントを評価し総合評価を行う。
場合によっては毎回コメントの代わりにレポート提出を求め、これを評価対象にすることもある。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156103900&opi=se0020&syw=1

教科書 自作レジュメを使用する。



販売管理論I：販売に対する基礎を学び、リテールマーケティング(販売士)3 伊吹 秀之
級試験に合格できるだけの知識を習得する。

前期 金曜日 2時限 C204

リテールマーケティング(販売士)3級試験に合格する。

[問題解決力][思考力][実行力]

本講座では1級販売士および中小企業診断士として経営コンサルタントに従事してきた経験を踏まえ、「なぜあの店は売れるのか、なぜあの店は売れないのか」といったことを理論立てて具体的な事例を挙げながら勉強していきます。本学が全国に先駆けて開発した「奈良大方式」と呼ばれるプログラムにより、通常の授業を受けながら資格合格の力を養うことができます。

定期試験期間(16週目)に定期試験を実施する。

定期試験60%(販売に関する基本的概念や語句の理解を問う、講義の内容を理解して具体的事例等に応用できるかを問う)

平常点40%(講義中の授業態度、発言、理解度など)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156434100&opi=se0020&syw=1

教科書 実費配布(変更の可能性あり)



販売管理論II：リテールマーケティング(販売士)2級検定試験レベルの知識習 太田 一樹
得

後期 その他 その他 C101

リテールマーケティング(販売士)2級検定試験に要求される知識や能力を養うことを目的とする。

流通業における販売技術に焦点を当て、これからの流通業に必要とされる様々な知識や技術について詳しく説明していく。リテールマーケティング(販売士)2級資格を取得したい学生を対象に授業を進めていく(毎年、奈良大学生の2級の合格率は高い)。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によるが、原則、対面授業を実施する。

* 中小企業診断士としてコンサルティングに従事していた知識や経験を活かした実践的な授業を展開していく。

毎回の小テストの点数とプレゼン姿勢で評価する。評価基準については以下のとおりである。

①小テストは、授業内容の理解度を確認するために授業の区切りごとに実施する(8回程度)。

②小テストの解答内容を、毎回プレゼンしてもらう。積極性(宿題の取り組み状況、質問の応対、授業に対する姿勢)を重視する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156434200&opi=se0020&syw=1

教科書 販売士2級試験に準拠したテキストを使用する



販売管理論III：販売に対する高度な知識を学び、リテールマーケティング(販 伊吹 秀之
売士)1級試験に合格できるだけの知識を習得する。

後期 金曜日 3時限 B224

リテールマーケティング(販売士)1級試験に合格する。

[問題解決力][思考力][実行力]

1級販売士および中小企業診断士として経営コンサルタントに従事してきた経験を踏まえ、小売業を中心に経営者の視点でマネジメントできるよう、リテールマーケティング3級および2級の知識を前提に、経営者の視点で実践的な知識を勉強していきます。本講座では1級の中で小売業の類型、マーチャндаイジング、ストアオペレーションについて勉強していきます。

本学が全国に先駆けて開発した「奈良大方式」と呼ばれるプログラムにより、通常の授業を受けながら資格合格の力を養うことができます。

定期試験期間(16週目)に定期試験を実施する。

定期試験60%(販売に関する基本的概念や語句の理解を問う、講義の内容を理解して具体的事例等に応用できるかを問う)

平常点40%(講義中の授業態度、発言、理解度など)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156434300&opi=se0020&syw=1

教科書 実費配布(変更の可能性あり)



メディア学：歴史資料としての漫画—生活文化史の観点から

木田 隆文

前期 月曜日 3時限 C104

(1)漫画の持つ歴史・文化資料としての可能性を考えることができる

(2)文化研究の基礎的な方法を学ぶことができる

(3)戦後日本の生活史を理解することができる

本講義は、歴史資料としての漫画の可能性を考察するものである。

具体的には長谷川町子「サザエさん」を事例に、毎時作品内に現れる歴史的事象(特に生活史)を1つとりあげ、その表現方法について歴史的背景とともに考察する。こうした事例研究を積み重ねることで、漫画を歴史資料としてとらえなおす視点や手法、問題点を確認してゆきたい。

平常点(10%)、小課題(30%)、期末試験(60%)の総合評価。

平常は毎時の授業参加度を、小課題・期末試験は講義内容の理解度と、独自の解釈の有無を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141031800&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントで配布



数学：数学はただの計算の道具ではなく、それぞれの時代背景を反映して発展した経緯があります。これら先人の数学研究にまつわる苦闘と人間ドラマを振り返りながら、数学的な考え方と日常生活との関わりを学びます。

前期 金曜日 5時限 C203

主な数学分野とその代表的な数学者について説明できる。数学的な考え方と日常生活との関わりが説明できる。数式、数値、グラフや図を用いた解析ができる。

主な数学分野と各分野で活躍した数学者達の紹介を行います。各分野の始まりから日常生活において数学の考え方がどのように関わっているかを議論します。さらに、数式、数値、グラフや図を用いた解析法について学びます。現在の数学分野で行われている色々な研究についても紹介します。

授業ごとに演習問題を出題し、これを解いてレポート提出する。レポートは各6点とし、さらに、質問回数等積極的な参加態度を10点で評価する。以上の合計が60点以上を合格とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160001100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布(教務システムにも掲示します)



化学：化学の基礎原理を、私たちの生活・社会・環境に関連する具体例を通じ吉村 倫一
て理解し、化学的な視点から現代の問題や現象を読み解く力を養う。

後期 金曜日 1時限 C204

本授業では、化学の基礎的な考え方や概念を学ぶとともに、衣食住をはじめとする私たちの身近な生活や、環境・エネルギー・健康など現代社会が直面するさまざまな課題に関わる物質や現象について、化学的な視点から理解することを目的とする。具体的には、日常生活や社会の中で見られる現象を化学的に捉え、その背後にある原理や物質の役割を理解することで、化学が私たちの暮らしや環境とどのように関わっているかを説明できるようになることを目標とする。

本授業は、化学の基礎理論とともに、生活や社会に関連する具体的なテーマを取り上げ、化学を学んでいない学生でも理解しやすい形で「化学的な見方・考え方」を身につけることを目的とする。

平常点：25%（質問など、積極的な態度を重視）、3回のレポート：75%（授業の内容を正しく理解しているか、それに基づいた意見を論理的に述べているかを基準にする）。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160003100&opi=se0020&syw=1

教科書 みんなの環境 くらしと環境の科学 / 芝崎誠司・三共出版、2025・978-4-7827-0838-5



物理学：物理学は対象とする事柄よりもその手法に特徴があり、哲学や宗教
の影響を強く受けた時代から始まり、ガリレオやニュートンの時代に大きな転換
期をむかえました。先人の物理研究にまつわる苦闘と人間ドラマを振り返りな
がら、物理法則と我々の日常生活との関わりを学びます。

後期 木曜日 5時限 C203

主な物理分野とその代表的な物理学者について説明できる。物理法則と我々の日常生活との関わりが説明できる。物理法則を利用した解析ができる。

主な物理分野と各分野で活躍した物理学者達の紹介を行います。それぞれの時代背景を踏まえ、我々の生活と物理法則がどのように関わってきたか、最近の例を挙げれば、SDGsと物理の関わりなどについても議論します。時間があれば、数式、数値、グラフや図を用いて、物理法則に基づいた具体的な解析も行なっていきたいと思います。また、現在物理分野で行われている色々な研究について説明します。

授業ごとに演習問題を出題し、これを解いてレポート提出する。レポートは各6点とし、さらに、質問回数等積極的な参加態度を10点で評価する。以上の合計が60点以上を合格とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160004100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリント配布(教務システムに掲示します)



人と防災(一)：自然地理学的視点からとらえる自然災害

羽佐田 紘大

前期 水曜日 5時限 C205

1. 自然災害にかかわる基本的知識を理解できる。
2. 自然災害と自身の暮らしとの関係を考えることができる。

本講義は、自然地理学(特に地形学)的視点から自然災害に関する基本的な事項を概説していく。講義中に多くの図や写真を示し、視覚的に理解できるように努める。

授業内課題50%(講義内容を基に考えることができるかを確認)、学習到達度確認50%(講義内容を正確に理解できているかを確認)を基に総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143055101&opi=se0020&syw=1

教科書 毎回教材をe-Learningで配布



世界の人口問題：世界の人口問題と地域情報

酒井 高正

前期 水曜日 2時限 J201

日本を含む世界の人口問題に関する諸知識を学ぶとともに、人口統計を含む地域に関するさまざまな情報の扱い方【PCによる統計計算やGIS処理を含む】を習得する。

まず、人口地理学の基礎的な枠組みを紹介することを通じて、地域に関するさまざまな情報の入手や基本的な分析の方法を学ぶ。さらに、地球の環境問題の根底にあるといわれる世界の人口爆発の問題や日本をはじめとする諸地域の人口問題を、人口地理学の立場から学ぶ。

授業進行の都合上、各回の内容の順序や組み合わせは変更する場合がある。
【毎回の授業でPCを利用し、表計算やGISのアプリ等を駆使して様々なデータ処理を行い、時間内にe-Learningを通じて処理結果の回収と講評を行う。】

平常点100%(毎回授業での提出データ類の内容と受講態度の適切性、確認問題(小テスト)の解答内容などで評価する。10回以上の出席者を評価対象とするが、「出席点」の評価は行わない。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143043300&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じてe-Learningのデジタル教材または紙のハンドアウトを配布する。



比較文化論：平安文学における漢詩文の受容

北井 佑実子

後期 金曜日 4時限 C201

平安朝の古典文学作品を正しく読み、漢詩文の受容を考えながら、日本文学と中国文学の関係を理解する。

平安朝の古典文学作品を読み、中国文学から受けた影響と、そこから作り上げられた独自の日本文学・日本文化の世界について考える。

講義内容は以下の通りであるが、受講生の理解度や興味によって、どこに重点を置くかを決めるので、以下の予定は目安と考えてほしい。

第15回には、到達度確認テストを行う。

平常点10% (授業への参加度)

小レポート40% (授業中の課題)

第15回到達度確認テスト50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_141038500&opi=se0020&syw=1

教科書



海外研修(一)：台湾を訪問し、日本と異なる自然・人文・社会・文化を実体験 古関 喜之・芝田 篤紀 通年 その他 その他 その他

事前学習・現地調査・事後学習を通して台湾と日本との共通性や違いを実体験し、国際的視野を身につける。

台湾の多くの地理的事象を観察する予定である。これらを現地で実体験し、国際社会への視野を広げる。

海外研修に参加することを単位取得の要件とする。

事前学習への取り組み、報告書の内容などから総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160025200&opi=se0020&syw=1

教科書 随時配布する。



海外研修(三)：イギリス海外研修

杉山 智昭・エリック
マーティン

後期 その他 その他 その他

現地で生の文化や歴史に触れ、国際人としての教養を身につける。また実践的な英会話を通じて、コミュニケーション能力を養成するとともに、集団生活のなかで協調性・リーダーシップを涵養する。

この授業は、事前研修・現地研修・事後研修の3つのパートから構成されます。事前研修では、訪問国の歴史、文化、日常生活、マナー等を学び、現地研修に備えます。10日間程度(予定)の現地研修では、エジンバラ市内をはじめ、その他地域(スターリング・ロンドンなどを予定)にある世界遺産や著名な博物館・美術館などを見学したり、現地の学芸員によるセミナーを受けたりします。事後研修では、プレゼンテーションで振り返りをおこないます。現地研修のみの参加は不可です。

事前研修(40%)・現地研修(30%)・事後研修(30%)で評価します。授業中における取り組み姿勢・参加の態度、振り返りやプレゼンテーション・ディスカッションの内容を評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160025103&opi=se0020&syw=1

教科書



プロジェクト：地域の未来づくりに大学生が出来ることを、奈良市議会、奈良市 島本 太香子
等の自治体、奈良県警察、奈良市保健所、福祉・スポーツ団体等との連携で現
場で学び、課題解決策を企画、実施する。

後期 水曜日 5時限 オープン
プレゼンスペース

地域の安全と安心を守る警察活動、市政運営、健康、スポーツや福祉団体の地域活性化活動を各現場で学び、大学生が実践できる地域の課題解決に向けた活動を考察、企画、実施し、関係者に報告する。

前半はセミナー形式で①日常生活で起こり得る危機事象や犯罪の実情、安全と安心を守る警察活動(奈良県警察)、②身近な市政の運営(奈良市議会・市男女共同参画室等)③地域活性化とスポーツ振興(奈良クラブ)④地域福祉(公民館活動・赤い羽根共同募金)⑤地域の健康啓発(奈良市保健所)を学ぶ。後半は①～⑤各班で、科捜研や現場を見学し、地域の課題を見出し、解決に向けた活動を企画し実施する。例として①安全啓発動画や安全マップ作成、附属幼稚園児への啓発劇、①②③④⑤関連イベントやシンポジウムの開催、パンフレットの作成、SNSでの啓発など。これらの実体験を、自らのキャリア形成へ活かす。

各テーマに沿った企画と実践への積極的な参画状況、関係機関の担当者を交えた報告会でのプレゼンテーションなどから総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160054500&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜資料を配布



オーラルコミュニケーション初級I(一)：Oral English (Basic)

エリック マーティン

前期 月曜日 3時限 C303

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112101&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級I(二)：Oral English (Basic)

エリック マーティン

前期 火曜日 2時限 C401

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112102&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級I(三) : Oral English (Basic)

ハットン グレゴリー

前期 木曜日 3時限 C404

Building everyday conversation skills at a basic level

授業では、基本的なスピーキングパターンを練習し、それをベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。

英語を使う力 50%, 宿題 10%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 20%

授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業にいることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112103&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 1 (5th Edition) Student Book 1A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 . 9781009040648



オーラルコミュニケーション初級I(四) : Oral English (Basic)

ハットン グレゴリー

前期 木曜日 4時限 C404

Building everyday conversation skills at a basic level

授業では、基本的なスピーキングパターンを練習し、それをベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。

英語を使う力 50%, 宿題 20%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 10%

授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業にいることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112104&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 1 (5th Edition) Student Book 1A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 . 9781009040648



オーラルコミュニケーション初級I(五) : Oral English (Basic)

ジェフリー クラフォード

前期 木曜日 2時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week learners will have ample opportunity to review and practice English using activities in different daily situations that commonly occur in English speaking environments. Pair work and group collaboration will be expected in every lesson, as well as a prudent attention during listening practice. Learners will also prepare and perform several roleplays and be required to give presentations in different formats. This course will be taught in English.

Grades for this course are based on active participation and effort in class (20%); written and listening homework (20%); numerous speaking assessments (40%); two graded presentations based on class survey results (20%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful and thorough preparation and active participation in classroom activities.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112105&opi=se0020&syw=1

教科書 NEW Conversations in Class / Richmond and Vannieu . Alma , 2025 . 9784905343356



オーラルコミュニケーション初級I(六) : Oral English(Basic)

クリスファー ルーデンクラウ

前期 火曜日 1時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112106&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight 3rd Edition Starter / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT , 2021 . 978-1-78547-077-6



オーラルコミュニケーション初級I(七) : Oral English (Basic)

クリスファー ルーデンクラウ

前期 火曜日 3時限 C402

Building everyday conversation skills at a basic level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112107&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight 3rd Edition Starter / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT , 2021 . 978-1-78547-077-6



オーラルコミュニケーション初級I(八) : Oral English (Basic)

エリック マーティン

前期 水曜日 1時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112108&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級I(九) : Oral English (Basic)

ジェフリー クラフォート

前期 火曜日 5時限 CALL
教室

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week learners will have ample opportunity to review and practice English using activities in different daily situations that commonly occur in English speaking environments. Pair work and group collaboration will be expected in every lesson, as well as a prudent attention during listening practice. Learners will also prepare and perform several roleplays and be required to give presentations in different formats. This course will be taught in English.

Grades for this course are based on active participation and effort in class (20%); written and listening homework (20%); numerous speaking assessments (40%); two graded presentations based on class survey results (20%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful and thorough preparation and active participation in classroom activities.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112109&opi=se0020&syw=1

教科書 New Conversation in Class / Richmond and Vannieu . Alma , 2025 . 9784905343356



オーラルコミュニケーション初級I(十) : Oral English (Basic)

山根 キャサリン

前期 水曜日 2時限 C305

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week the students will have many opportunities to practice using English actively in different situations. We will do a lot of pair and group work in every lesson, as well as listening practice. Students will also prepare several short presentations. This course will be taught in English.?

Your grade for this course will be based on: active participation in class and effort (30%); written and speaking homework (30%); speaking and listening quizzes (40%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful preparation of written and oral homework and active participation in classroom speaking and listening activities.?

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112110&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight (Starter) / A. Graham-Marr . Abax , 2019 . 978-1-78547-077-6



オーラルコミュニケーション初級I(十一) : Oral English (Basic)

エリック マーティン

後期 月曜日 4時限 C303

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112111&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級II(一) : Oral English (Basic)

エリック マーティン

後期 月曜日 3時限 C303

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112201&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級II(二) : Oral English (Basic)

エリック マーティン

後期 火曜日 2時限 C401

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112202&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級Ⅱ(三) : Oral English (Basic)

ハットン グレゴリー

後期 木曜日 3時限 C404

Building everyday conversation skills at a basic level

授業では、基本的なスピーキングパターンを練習し、それをベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。Active English Speaking!

Speaking English is important! 英語を使う力 40%, 宿題 20%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 20%
授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業にいることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112203&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 1 (5th Edition) Student Book 1A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 .
9781009040648



オーラルコミュニケーション初級Ⅱ(四) : Oral English (Basic)

ハットン グレゴリー

後期 木曜日 4時限 C404

Building everyday conversation skills at a basic level

授業では、基本的なスピーキングパターンを練習し、それをベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。Active English Speaking!

Speaking English is important! 英語を使う力 40%, 宿題 20%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 20%
授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業にいることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112204&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 1 (5th Edition) Student Book 1A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 .
9781009040648



オーラルコミュニケーション初級Ⅱ(五) : Oral English (Basic)

ジェフリー クラフォード

後期 木曜日 2時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week learners will have ample opportunity to review and practice English using activities in different daily situations that commonly occur in English speaking environments. Pair work and group collaboration will be expected in every lesson, as well as a prudent attention during listening practice. Learners will also prepare and perform several roleplays and be required to give presentations in different formats. This course will be taught in English.

Grades for this course are based on active participation and effort in class (20%); written and listening homework (20%); numerous speaking assessments (40%); two graded presentations based on class survey results (20%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful and thorough preparation and active participation in classroom activities.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112205&opi=se0020&syw=1

教科書 New Conversations in Class / Richmond and Vannieu . Alma , 2025 . 9784905343356



オーラルコミュニケーション初級Ⅱ(六) : Oral English (Basic)

クリストファー ルーデンクラウ

後期 火曜日 1時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112206&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , . 978-1-78547-078-3



オーラルコミュニケーション初級Ⅱ(七) : Oral English (Basic)

クリストファー ルーデンクラウ

後期 火曜日 3時限 C402

Building everyday conversation skills at a basic level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112207&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , . 978-1-78547-078-3



オーラルコミュニケーション初級II(八) : Oral English (Basic)

エリック マーティン

後期 水曜日 1時限 C306

Building everyday conversation skills at a basic level

The focus of this course is on communicating accurately, reviewing and expanding upon the fundamentals of English. Students will engage in conversations and listening activities to become confident users of fundamental English.

Assessments (30%); Quizzes (30%); In-class participation (40%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112208&opi=se0020&syw=1

教科書 Conversations in Class / Jerry Talandis Jr., Bruno Vannieu . Alma , 2015 . 978-4-905343-12-7



オーラルコミュニケーション初級II(九) : Oral English (Basic)

ジェフリー クラフト

後期 火曜日 5時限 CALL 教室

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week learners will have ample opportunity to review and practice English using activities in different daily situations that commonly occur in English speaking environments. Pair work and group collaboration will be expected in every lesson, as well as a prudent attention during listening practice. Learners will also prepare and perform several roleplays and be required to give presentations in different formats. This course will be taught in English.

Grades for this course are based on active participation and effort in class (20%); written and listening homework (20%); numerous speaking assessments (40%); two graded presentations based on class survey results (20%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful and thorough preparation and active participation in classroom activities.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112209&opi=se0020&syw=1

教科書 New Conversations in Class / Richmond and Vannieu . Alma , 2025 . 9784905343356



オーラルコミュニケーション初級II(十) : Oral English (Basic)

山根 キャサリン

後期 水曜日 2時限 C305

Building everyday conversation skills at a basic level

Each week the students will have many opportunities to practice using English actively in different situations. We will do a lot of pair and group work in every lesson, as well as listening practice. Students will also prepare several short presentations. This course will be taught in English.

Your grade for this course will be based on: active participation in class and effort (30%); written and speaking homework (30%); speaking and listening quizzes (40%). Students are expected to show progress in their English communication skills through careful preparation of written and oral homework and active participation in classroom speaking and listening activities.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120112210&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight (Starter) / A. Graham-Marr . Abax , 2019 . 978-1-78547-077-6Talk



実践英語初級I(一) : 実践英語初級

ECC講師

前期 月曜日 2時限 CALL 教室

TOEICテスト問題の基本的な内容を理解することができる。
正しい英語の発音方法を身につけることができる。
異文化理解を深めることができる。

TOEIC®L&Rテストの教材を用いて、実践的な英語力を養成する。
また授業では、ペアワークなどの活動を通じて、英語の正しい発音方法を学ぶ。語学習得、特にスピーキング力の向上は、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加を歓迎する。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113101&opi=se0020&syw=1

教科書 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST 1 GOAL500 [4th Edition] / Mark D. Stafford . 桐原書店 , 2017 . 978-4-342-55262-5



実践英語初級I(二) : 実用英語(初級)

高島 葉子

前期 火曜日 2時限 C304

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

大学生にとって身近なトピックを題材としたテキストを使う。Unitごとに基礎的な語彙や文法の確認を行うとともに、リスニングとリーディングの基礎を養成する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113102&opi=se0020&syw=1

教科書 Power-Up College English[Remedial] / JACETリスニング研究会 . 南雲堂 , 2025年 . 978-4-523-17979-5



実践英語初級I(三) : 実用英語(初級)

山内 信幸

前期 金曜日 1時限 C303

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEIC L&R (Listening & Reading) Test のスコアアップ(目標:400~450)を図るため、TOEIC L&R の出題形式に慣れ、語彙力・文法力の向上を目指すとともに、読解力・聴解力の養成を目指す。

定期試験は行わず、授業中に実施する学習到達度の確認などの平常評価(①授業時に行う学習到達度確認のテスト(50%)・②授業時に行う割り当て部分の理解度を確認する小テスト(30%)・③毎回の提出物・クラスでの貢献度や発表(20%))によって、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113103&opi=se0020&syw=1

教科書 Totally TOEIC L&R Test: Challenge 400 / Terry O'Brien et. al. . 南雲堂 , 2018 . 978-4-523-17895-8 C0082



実践英語初級I(四) : 実用英語(初級)

橋本 貴

前期 火曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の基礎力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど) 40%として総合的に評価する。

定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113104&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 2: Trekking

/ Teruhiko Kadoyama, Live ABC Interactive Corporation. 成美堂, 2021. 9784791972227



実践英語初級I(五) : 実用英語(初級)

高島 葉子

前期 水曜日 1時限 C404

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

大学生にとって身近なトピックを題材としたテキストを使う。Unitごとに基礎的な語彙や文法の確認を行うとともに、リスニングとリーディングの基礎を養成する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢) 40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113105&opi=se0020&syw=1

教科書 Power-Up College English[Remedial] / JACETリスニング研究会. 南雲堂, 2025年. 978-4-523-17979-5



実践英語初級I(六) : 実用英語(初級)

古木 圭子

前期 月曜日 1時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

基礎的な英語の語彙・表現を習得する。TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようにする。

平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、課題の達成度、授業に真摯に取り組む姿勢などを評価)、復習テスト(60%:授業内容の理解度を確認)により総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113106&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R Test / Robert Hickling. 金星堂, 2023. 9784764741829



実践英語初級I(七) : 実用英語(初級)

古木 圭子

前期 水曜日 2時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

基礎的な英語の語彙・表現を習得する。TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようにする。

平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、課題の達成度、授業に真摯に取り組む姿勢などを評価)、復習テスト(60%:授業内容の理解度を確認)により総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113107&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R Test / Robert Hickling. 金星堂, 2023. 9784764741829



実践英語初級I(八) : 実用英語(初級)

高島 葉子

前期 火曜日 1時限 C304

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

大学生にとって身近なトピックを題材としたテキストを使う。Unitごとに基礎的な語彙や文法の確認を行うとともに、リスニングとリーディングの基礎を養成する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢) 40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113108&opi=se0020&syw=1

教科書 Power-Up College English[Remedial] / JACETリスニング研究会. 南雲堂, 2025年. 978-4-523-17979-5



実践英語初級I(九) : 実用英語(初級)

古木 圭子

前期 金曜日 4時限 C303

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

基礎的な英語の語彙・表現を習得する。TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようにする。

平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、課題の達成度、授業に真摯に取り組む姿勢などを評価)、復習テスト(60%:授業内容の理解度を確認)により総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113109&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R Test / Robert Hickling. 金星堂, 2023. 9784764741829



実践英語初級II(一)：実践英語初級

ECC講師

後期 月曜日 2時限 CALL
教室

TOEICテスト問題の基本的な内容を理解することができる。
正しい英語の発音方法を身につけることができる。
異文化理解を深めることができる。

TOEIC®L&Rテストの教材を用いて、実践的な英語力を養成する。
また授業では、ペアワークなどの活動を通じて、英語の正しい発音方法を学ぶ。語学習得、特にスピーキング力の向上は、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加を歓迎する。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113201&opi=se0020&syw=1

教科書 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST 1 GOAL500 [4th Edition] / Mark D. Stafford . 桐原書店 , 2017 . 978-4-342-55262-5



実践英語初級II(二)：実践英語(初級)

高島 葉子

後期 火曜日 2時限 C304

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEICのリーディングとリスニングの形式の問題を題材に、文法の復習を行い、実践的な日常英語における状況に応じた英語表現を習得する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113202&opi=se0020&syw=1

教科書 Best Practice for the TOEIC L&R Test--Basic-- / 吉塚 弘/ Graham Skerritt . 成美堂 , 2021 . 978-4-7919-4831-4



実践英語初級II(三)：実用英語(初級)

山内 信幸

後期 金曜日 1時限 C303

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEIC L&R (Listening & Reading) Test のスコアアップ(目標:400~450)を図るため、TOEIC L&R の出題形式に慣れ、語彙力・文法力の向上を目指すとともに、読解力・聴解力の養成を目指す。

定期試験は行わず、授業中に実施する学習到達度の確認などの平常評価(①授業時に行う学習到達度確認のテスト(50%)・②授業時に行う割り当て部分の理解度を確認する小テスト(30%)・③毎回の提出物・クラスでの貢献度や発表(20%))によって、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113203&opi=se0020&syw=1

教科書 Score Booster for the TOEIC L&R Test: Pre-Intermediate / 溝口優美子・柳田真知子 . 金星堂 , 2018 . 978-4-7647-4089-1



実践英語初級II(四)：実用英語(初級)

橋本 貴

後期 火曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の基礎力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど)40%として総合的に評価する。

定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113204&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 2: Trekking / Teruhiko Kadoyama, LiveABC Interactive Corporation . 成美堂 , 2021 . 9784791972227



実践英語初級II(五)：実践英語(初級)

高島 葉子

後期 水曜日 1時限 C404

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEICのリーディングとリスニングの形式の問題を題材に、文法の復習を行い、実践的な日常英語における状況に応じた英語表現を習得する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113205&opi=se0020&syw=1

教科書 Best Practice for the TOEIC L&R Test--Basic-- / 吉塚 弘/ Graham Skerritt . 成美堂 , 2021 . 978-4-7919-4831-4



実践英語初級II(六)：実用英語(初級)

古木 圭子

後期 月曜日 1時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

「実践英語初級 I」に引き続き、TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようになる。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113206&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R TEST / Robert Hickling . 金星堂 , 2023 . 9784764741829



実践英語初級II(七) : 実用英語(初級)

古木 圭子

後期 水曜日 2時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

「実践英語初級 I」に引き続き、TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようになる。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113207&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R TEST / Robert Hickling . 金星堂 , 2023 . 9784764741829



実践英語初級II(八) : 実践英語(初級)

高島 葉子

後期 火曜日 1時限 C304

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEICのリーディングとリスニングの形式の問題を題材に、文法の復習を行い、実践的な日常英語における状況に応じた英語表現を習得する。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113208&opi=se0020&syw=1

教科書 Best Practice for the TOEIC L&R Test--Basic-- / 吉塚 弘/ Graham Skerrett . 成美堂 , 2021 . 978-4-7919-4831-4



実践英語初級II(九) : 実用英語(初級)

古木 圭子

後期 金曜日 4時限 C303

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

「実践英語初級 I」に引き続き、TOEIC形式の問題を題材に、英語文法の復習を行い、状況に応じた英語表現を習得する。リスニングとリーディングにおいて会話や文章内に知らない語句が使われていても、全体の概要を把握できるようになる。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120113209&opi=se0020&syw=1

教科書 FIRST TRY FOR THE TOEIC L&R TEST / Robert Hickling . 金星堂 , 2023 . 9784764741829



英語読解初級I(一) : 総合英語(初級)

岡部 純子

前期 金曜日 4時限 C403

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

身近で興味深いトピックを扱うテキストを読み、英語文法の基本事項の確認と基本的な英文の読解を中心にリスニング、ライティング等の活動を行う。

15週目に学習到達度確認を行う。Review Test40%、途中の学習到達度テスト50%、小テストを含めた平常点10%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111101&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Changing Worlds / Joan McConnell . Seibido , 2020 . 9784791972074



英語読解初級I(三) : 総合英語(初級)

福地 浩子

前期 水曜日 2時限 C404

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

中学や高校で学習した基本文法を使って、日常的な場面で英語で簡単なコミュニケーションをとる練習を行う。テキストは、ニューヨークに留学中の日本人学生Daichiが遭遇する、様々な日常的場面が取り上げられている。彼の現地の人との会話や、また日本に住む家族とのメールのやり取りが、リスニング&リーディングの題材になっている。平易な語彙を使っているので、英語に苦手意識をもつ学生さんも理解でき、中級レベルの学生さんも英語表現力を上げられる内容である。

このテキストは、音読練習や、ペアでのスピーキング活動、ライティングなど、発信を伴う多くのエクササイズが含まれている。クラスメートと積極的にコミュニケーションをとりながら、英語表現力を高めてもらいたい。

平常点(授業中の発言など、積極的な態度を重視)40%、提出物15%、単語・文法テスト30%、到達度確認テスト15%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111103&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Bridge: Building Skills for Effective Speaking and Writing / Ryoya Kobayashi他著 . 金星堂 , 2026 . 978-4-7647-4245-1



英語読解初級I(四) : 総合英語(初級)

ECC講師

前期 火曜日 3時限 C304

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。
英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。



英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111104&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling . 金星堂 , 2025 . 9784764742161

英語読解初級I(五) : 総合英語(初級)

後藤 朗子

前期 金曜日 1時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

科学は産業技術や宇宙開発分野だけでなく、私たちの身近な日常生活や健康に深く関わりがある。「日常における科学」を題材にした基本的な英文を丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。基本文法を確認し、語彙・表現を習得する。英文理解にとどまらず、扱われている科学のテーマについて自分なりの疑問や興味をもつことを心がける。



15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、提出課題50%(授業中に取り組み、終了後に提出)、小テスト40%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111105&opi=se0020&syw=1

教科書 Asking why? The Science of Everyday Life 日常の科学 Q&A / 中津川雅宣ほか . 金星堂 , 2012 . 978-4-7647-3945-1

英語読解初級I(六) : 総合英語(初級)

後藤 朗子

前期 金曜日 2時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

科学は産業技術や宇宙開発分野だけでなく、私たちの身近な日常生活や健康に深く関わりがある。「日常における科学」を題材にした基本的な英文を丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。基本文法を確認し、語彙・表現を習得する。英文理解にとどまらず、扱われている科学のテーマについて自分なりの疑問や興味をもつことを心がける。



15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、提出課題50%(授業中に取り組み、終了後に提出)、小テスト40%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111106&opi=se0020&syw=1

教科書 Asking why? The Science of Everyday Life 日常の科学 Q&A / 中津川雅宣ほか . 金星堂 , 2012 . 978-4-7647-3945-1

英語読解初級I(七) : 総合英語(初級)

川田 伸道

前期 木曜日 1時限 C401

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。またその文法知識を活用し短い英文を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。



・平常点(40%: 授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)
・テスト(60%: 確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111107&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Leader / Ribert Hickling . 金星堂 , 2024 . 978-4-7647-4188-1

英語読解初級I(九) : 総合英語(初級)

山内 信幸

前期 金曜日 2時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

このテキストは、日米文化論に位置づけられるものではあるが、日本の大学生の実情に精通したアメリカ人の著者による平易な英語で書かれたものである。授業では、英文の正確な読解を中心に、頻出の構文や熟語を確認しながら、英問英答形式や和文英訳形式で、英語による発信力の養成を目指す。詳細は、第1回目の授業で説明・確認する。



定期試験は行わず、授業中に実施する学習到達度の確認などの平常評価(①授業時に行う学習到達度確認の復習テスト(50%)・②授業時に行う割り当て部分の理解度を確認する小テスト(30%)・③毎回の提出物・クラスでの貢献度や発表(20%))によって、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111109&opi=se0020&syw=1

教科書 Young Pop Cultures: Japanese and Americans / 石黒昭博・W. Essig・山内信幸・宇田千春 . 郁文堂 , 1996 . 4-261-02023-8 C1082 P1751E

英語読解初級I(十) : 総合英語(初級)

ECC講師

前期 水曜日 1時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。
英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。

英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111110&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling . 金星堂 , 2025 . 9784764742161



英語読解初級I(十一) : 総合英語(初級)

古木 圭子

前期 金曜日 3時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

英文法と語彙を復習し、読解およびリスニングの確認問題を通じてこれらの知識を定着させる。文法的に正しい英文を書くための課題を課し、短い文章を正しく「読む」訓練をする。さらに、学習した英文法と語彙が、日常のコミュニケーションにどのように使われているかを豊富な例文を通じて学び、文法的に正しい英文を自ら作り出すことができるようになる。リスニングについては付属の音声ダウンロードして復習、予習を行う。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111111&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Leader / Robert Hickling . 金星堂 , 2024 . 978-4-7647-4188-1



英語読解初級I(十二) : 総合英語(初級)

古木 圭子

前期 水曜日 3時限 C305

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

英文法と語彙を復習し、読解およびリスニングの確認問題を通じてこれらの知識を定着させる。文法的に正しい英文を書くための課題を課し、短い文章を正しく「読む」訓練をする。さらに、学習した英文法と語彙が、日常のコミュニケーションにどのように使われているかを豊富な例文を通じて学び、文法的に正しい英文を自ら作り出すことができるようになる。リスニングについては付属の音声ダウンロードして復習、予習を行う。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111112&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Leader / Robert Hickling . 金星堂 , 2024 . 978-4-7647-4188-1



英語読解初級I(十四) : 総合英語(初級)

高島 葉子

前期 月曜日 3時限 C403

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎を養成する。

220から250ワードのわかりやすい英文をもとに英文の読解演習を主としながら、語彙問題、内容理解問題、英文要訳問題、文法事項の説明、文法問題、会話文リスニングなどの演習を通して、総合的な英語力の向上をめざす。各Chapterごとに確認すべき文法事項が設定されているので、これを確実に身につけるようにする。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111114&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Chaging Worlds 2 / Joan McConnell/山内 圭 . 成美堂 , 2026 . 978-4-7919-7339-2



英語読解初級I(十五) : 総合英語(初級)

岡部 純子

前期 月曜日 2時限 C404

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

身近で興味深いトピックを扱うテキストを読み、英語文法の基本事項の確認と基本的な英文の読解を中心にリスニング、ライティング等の活動を行う。

15週目に学習到達度確認を行う。Review Test40%、途中の学習到達度テスト50%、小テストを含めた平常点10%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111115&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Changing Worlds / Joan McConnell . Seibido , 2020 . 9784791972074



英語読解初級I(十七) : 総合英語(初級)

ECC講師

後期 月曜日 4時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。
英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。



英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111117&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling . 金星堂 , 2025 . 9784764742161

英語読解初級I(十九) : 総合英語(初級)

川田 伸道

前期 木曜日 2時限 C401

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。またその文法知識を活用し短い英文を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。

- ・平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)
- ・テスト(60%:確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111119&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Leader / Robert Hickling . 金星堂 , 2024 . 978-4-7647-4188-1

英語読解初級II(一) : 総合英語(初級)

岡部 純子

後期 金曜日 4時限 C403

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

300語程度の基本的な英文のリーディング、リスニング、ライティング等の活動を行う。実際に英語を使って自分の意見を表現する活動を毎時間行う。

学習到達度テスト50%。確認テスト40%、平常点(小テスト、出席、参加度等)10%、



https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111201&opi=se0020&syw=1

教科書 Read well, Write better / Joan McConnell, Shuichi Takeda, Kiyoshi Yamauchi . Seibido , 2022 . 978-4-7919-4787-4

英語読解初級II(三) : 総合英語(初級)

福地 浩子

後期 水曜日 2時限 C404

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

前期に続き、中学や高校で学習した基本文法を使って、日常的な場面で英語で簡単なコミュニケーションをとる練習を行う。テキストは、ニューヨークに留学中の日本人学生Daichiが遭遇する、様々な日常的場面が取り上げられている。彼の現地の人との会話や、また日本に住む家族とのメールのやり取りが、リスニング&リーディングの題材になっている。平易な語彙を使っているため、英語に苦手意識をもつ学生さんも理解でき、中級レベルの学生さんも英語表現力を上げられる内容である。



後期は、Unit 8から再開する。前期と同様、教科書以外にも隔週で映画『Harry Potter-賢者の石』を場面ごとに視聴し、イギリス英語に触れて頂く。イギリス英語の発音の特徴や言い回しを学び、使える表現を身につけてもらいたい。

平常点(授業中の発言など、積極的な態度を重視)40%、提出物15%、単語・文法テスト30%、到達度確認テスト15%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111203&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Bridge: Building Skills for Effective Speaking and Writing / Ryoya Kobayashi他著 . 金星堂 , 2026 . 978-4-7647-4245-1

英語読解初級II(四) : 総合英語(初級)

ECC講師

後期 火曜日 3時限 C304

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。



英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111204&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling . 金星堂 , 2025 . 9784764742161

英語読解初級Ⅱ(五) : 総合英語(初級)

後藤 朗子

後期 金曜日 1時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

科学は産業技術や宇宙開発分野だけでなく、私たちの身近な日常生活や健康に深く関わりがある。「日常における科学」を題材にした基本的な英文を、前期に引き続き、丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。基本文法を確認し、語彙・表現を習得する。英文理解にとどまらず、扱われている科学のテーマについて自分なりの疑問や興味をもつことを心がける。

15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、提出課題50%(授業中に取り組み、終了後に提出)、小テスト40%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111205&opi=se0020&syw=1

教科書 Asking Why? The Science of Everyday Life 日常の科学 Q&A / 中津川雅宣ほか・金星堂, 2012. 978-4-7647-3945-1



英語読解初級Ⅱ(六) : 総合英語(初級)

後藤 朗子

後期 金曜日 2時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

科学は産業技術や宇宙開発分野だけでなく、私たちの身近な日常生活や健康に深く関わりがある。「日常における科学」を題材にした基本的な英文を、前期に引き続き、丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。基本文法を確認し、語彙・表現を習得する。英文理解にとどまらず、扱われている科学のテーマについて自分なりの疑問や興味をもつことを心がける。

15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、提出課題50%(授業中に取り組み、終了後に提出)、小テスト40%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111206&opi=se0020&syw=1

教科書 Asking Why? The Science of Everyday Life 日常の科学 Q&A / 中津川雅宣ほか・金星堂, 2012. 978-4-7647-3945-1



英語読解初級Ⅱ(七) : 総合英語(初級)

川田 伸道

後期 木曜日 1時限 C401

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。またその文法知識を活用し短い英文を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。

- ・平常点(40%: 授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)
- ・テスト(60%: 確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111207&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Changing Worlds 2 / Joan McConnell . 成美堂, 2026 . 978-4-7647-4188-1



英語読解初級Ⅱ(九) : 総合英語(初級)

山内 信幸

後期 金曜日 2時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

このテキストは、日米文化論に位置づけられるものではあるが、日本の大学生の実情に精通したアメリカ人の著者による平易な英語で書かれたものである。授業では、英文の正確な読解を中心に、頻出の構文や熟語を確認しながら、英問英答形式や和文英訳形式で、英語による発信力の養成を目指す。詳細は、第1回目の授業で説明・確認する。

定期試験は行わず、授業中に実施する学習到達度の確認などの平常評価(①授業時に行う学習到達度確認の復習テスト(50%)・②授業時に行う割り当て部分の理解度を確認する小テスト(30%)・③毎回の提出物・クラスでの貢献度や発表(20%))によって、総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111209&opi=se0020&syw=1

教科書 Young Pop Cultures: Japanese and Americans / 石黒昭博・W. Essig・山内信幸・宇田千春・郁文堂, 1996. 4-261-02023-8 C1082 P1751E



英語読解初級Ⅱ(十) : 総合英語(初級)

ECC講師

後期 水曜日 1時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。

英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111210&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling . 金星堂, 2025. 9784764742161



英語読解初級Ⅱ(十一) : 総合英語(初級)

古木 圭子

後期 金曜日 3時限 C303

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

「英語読解初級Ⅰ」に引き続き、英文法と語彙を復習し、読解およびリスニングの確認問題を通じてこれらの知識を定着させる。文法的に正しい英文を書くための課題を課し、短い文章を正しく「読む」訓練をする。さらに、学習した英文法と語彙が、日常のコミュニケーションにどのように使われているかを豊富な例文を通じて学び、文法的に正しい英文を自ら作り出すことができるようになる。リスニングについては付属の音声ダウンロードして復習、予習を行う。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111211&opi=se0020&syw=1

教科書 A Healthy Life for Today and Tomorrow / 田嶋倫雄(監修)・朝日出版社, 2021. 978-4-255-15670-5



英語読解初級Ⅱ(十二) : 総合英語(初級)

古木 圭子

後期 水曜日 3時限 C305

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

「英語読解初級Ⅰ」に引き続き、英文法と語彙を復習し、読解およびリスニングの確認問題を通じてこれらの知識を定着させる。文法的に正しい英文を書くための課題を課し、短い文章を正しく「読む」訓練をする。さらに、学習した英文法と語彙が、日常のコミュニケーションにどのように使われているかを豊富な例文を通じて学び、文法的に正しい英文を自ら作り出すことができるようになる。リスニングについては付属の音声ダウンロードして復習、予習を行う。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111212&opi=se0020&syw=1

教科書 A Healthy Life for Today and Tomorrow / 田嶋倫雄(監修)・朝日出版社, 2021. 978-4-255-15670-5



英語読解初級Ⅱ(十四) : 総合英語(初級)

高島 葉子

後期 月曜日 3時限 C403

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎を養成する。

前期のテキストの後半を使用する。220から250ワードのわかりやすい英文をもとに英文の読解演習を主としながら、語彙問題、内容理解問題、英文要訳問題、文法事項の説明、文法問題、会話文リスニングなどの演習を通して、総合的な英語力の向上をめざす。各Chapterごとに確認すべき文法事項が設定されているので、これを確実に身につけるようにする。

学習到達度テスト(中間テスト、期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111214&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Chaging Worlds 2 / Joan McConnell/山内 圭・成美堂, 2026. 978-4-7919-7339-2



英語読解初級Ⅱ(十五) : 総合英語(初級)

岡部 純子

後期 月曜日 2時限 C404

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する

300語程度の基本的な英文のリーディング、リスニング、ライティング等の活動を行う。実際に英語を使って自分の意見を表現する活動を毎時間行う。

学習到達度テスト50%。確認テスト40%、平常点(小テスト、出席、参加度等)10%、

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111215&opi=se0020&syw=1

教科書 Read well, Write better / Joan McConnell, Shuichi Takeda, Kiyoshi Yamauchi・Seibido, 2022. 978-4-7919-4787-4



英語読解初級Ⅱ(十七) : 総合英語(初級)

ECC講師

前期 月曜日 4時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

英検3級程度(中学3年レベル)の習得を到達目標とする。

英語の発音能力を高める。

英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。到達レベルは英検3級程度とし、英語が苦手な学生のみを対象とする。文法の学習は、be動詞や一般動詞などの復習から始まるので、英検準2級程度(高校1年程度)までを概ね理解できている学生は中級以上を履修すること。授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111217&opi=se0020&syw=1

教科書 English Spark! / Robert Hickling・金星堂, 2025. 9784764742161



英語読解初級II(十九) : 総合英語(初級)

川田 伸道

後期 木曜日 2時限 C401

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。またその文法知識を活用し短い英文を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。

- ・平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)
- ・テスト(60%:確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120111219&opi=se0020&syw=1

教科書 Changing Times, Changing Worlds 2 / Joan McConnell . 成美堂 , 2026 . 978-4-7919-7339-2



オーラルコミュニケーション中級I(一) : Oral English (Intermediate)

エリック マーティン

前期 火曜日 3時限 C401

Development of conversation skills at a more challenging level

In this class, students expand upon the fundamentals of English communication to have discussions about modern topics. Students in this class should be prepared to participate actively with other students.

Quizzes (25%); Presentations (25%); Homework (25%); Assessments (25%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122101&opi=se0020&syw=1

教科書 On-Task 2 / Justin Harris & Paul Leeming . Abax , 2021 . 978-1-78547-07201



オーラルコミュニケーション中級I(二) : Oral English (Intermediate)

エリック マーティン

前期 水曜日 2時限 C306

Development of conversation skills at a more challenging level

In this class, students expand upon the fundamentals of English communication to have discussions about modern topics. Students in this class should be prepared to participate actively with other students.

Quizzes (25%); Presentations (25%); Homework (25%); Assessments (25%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122102&opi=se0020&syw=1

教科書 On-Task 2 / Justin Harris & Paul Leeming . Abax , 2021 . 978-1-78547-07201



オーラルコミュニケーション中級I(四) : Oral English (Intermediate)

ハットン グレゴリー

前期 木曜日 2時限 C404

Development of conversation skills at a more challenging level

授業では、教科書にある情報をベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。Active English speaking!

Speaking English is important! 英語使う50%, 宿題 10%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 20%
授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業に出席していることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122104&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 2 (5th Edition) Student Book 2A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 . 9781009040709



オーラルコミュニケーション中級I(五) : Oral English (Intermediate)

クリストファー ルーデンクラウ

前期 火曜日 2時限 C306

Development of conversation skills at a more challenging level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122105&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , 2021 . 978-1-78547-078-3



オーラルコミュニケーション中級I(六) : Oral English (Intermediate)

クリストファー ルーデンクラウ

前期 火曜日 4時限 C402

Development of conversation skills at a more challenging level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122106&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , 2021 . 978-1-78547-078-3



オーラルコミュニケーション中級Ⅱ(一) : Oral English (Intermediate) エリック マーティン 後期 火曜日 3時限 C401

Development of conversation skills at a more challenging level

In this class, students expand upon the fundamentals of English communication to have discussions about modern topics. Students in this class should be prepared to participate actively with other students.

Quizzes (25%); Presentations (25%); Homework (25%); Assessments (25%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122201&opi=se0020&syw=1

教科書 On-Task 2 / Justin Harris & Paul Leeming . Abax , 2021 . 978-1-78547-07201



オーラルコミュニケーション中級Ⅱ(二) : Oral English (Intermediate) エリック マーティン 後期 水曜日 2時限 C306

Development of conversation skills at a more challenging level

In this class, students expand upon the fundamentals of English communication to have discussions about modern topics. Students in this class should be prepared to participate actively with other students.

Quizzes (25%); Presentations (25%); Homework (25%); Assessments (25%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122202&opi=se0020&syw=1

教科書 On-Task 2 / Justin Harris & Paul Leeming . Abax , 2021 . 978-1-78547-07201



オーラルコミュニケーション中級Ⅱ(四) : Oral English (Intermediate) ハットン グレゴリー 後期 木曜日 2時限 C404

Development of conversation skills at a more challenging level

授業では、教科書にある情報をベースに新しい情報を付け加えたり、入れ替えたりし、その会話の内容を自分のものにするための練習をクラスメートや担当教員と行います。授業は、テキストやスピーキングの宿題をベースに進めます。それぞれが自分から積極的に英語を使うようになる事が授業の目的であり、授業中は日本語ではなく、英語を話すことが求められます。

各授業は英語を実際に話す貴重なチャンスです。ですから、毎回、英語を話すつもりで授業に挑んでください。Active English speaking!

Speaking English is important! 英語を使う協力40%, 宿題 20%, 試験(小テスト含めて) 20%, プレゼンテーション 20%
授業で英語を話すことは大変重要であり、授業の評価(成績)は授業に出席していることとともに、授業にどれほど積極的に英語で参加するかをみて評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122204&opi=se0020&syw=1

教科書 Interchange 2 (5th Edition) Student Book 2A with Digital Pack / Jack C Richards . Cambridge , 2021 . 9781009040709



オーラルコミュニケーション中級Ⅱ(五) : Oral English (Intermediate) クリストファー ルーデンクラウ 後期 火曜日 2時限 C306

Development of conversation skills at a more challenging level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122205&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , . 978-1-78547-078-3



オーラルコミュニケーション中級Ⅱ(六) : Oral English (Intermediate) クリストファー ルーデンクラウ 後期 火曜日 4時限 C402

Development of conversation skills at a more challenging level

Students will be encouraged to develop skills that enable them to be functional and competent in analyzing and conveying information in conversation, including exchanging basic opinions on different topics and negotiating meaning. This course will be taught in English.

Assessment is based on participation, assignments, quizzes, speaking tests and midterm and end of term tests. Students will be expected to do extra work outside of class. Accomplished and accessed tasks 40%, Commitment and Participation 30%, Quizzes and in class tests 30%.

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120122206&opi=se0020&syw=1

教科書 Communication Spotlight High Beginner / Alastair Graham-Marr . ABAX ELT Publisher , . 978-1-78547-078-3



実践英語中級Ⅰ(一) : 実用英語(中級) ECC講師 前期 水曜日 2時限 C303

実用的・実践的な英語運用能力の基礎力を養成する。

TOEIC®L&R テストの中級レベルの教科書を用いて、実践的な英語力を養成する。
また授業では、ペアワークなどの活動を通じて、英語の正しい発音方法を学ぶ。語学習得、特にスピーキング力の向上は、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加を歓迎する。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123101&opi=se0020&syw=1

教科書 Step-Up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 2nd edition / Yasuyuki Kitao 他 . 朝日出版社 , 2025 . 9784255157375



実践英語中級I(四) : 実用英語(中級)

福地 浩子

前期 水曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

リスニングとリーディングを通して、十分な英語のインプットを行い、音読を繰り返すことで、身近な話題について英語で発信する練習をする。本テキストは、現代の大学生が興味をもつと思われるトピックが並んでいる。「SNSで自分の大切なものについて紹介する」「モーニングルーティングを紹介する」「おすすめのレストランを紹介する」「レビューサイトでお気に入りの映画を紹介する」などである。これらのトピックについて、インプットとなる練習をした後、アウトプットとなる活動として、各自スピーチを作成し、発表して頂く。
テキストは前期・後期と継続して使用する。並行して、TOEIC読解問題やアニメドラマ『チャロ』のリスニング・ロールプレイに取り組む。



受講状況30% 到達度確認40% スピーチ原稿20% 予習・授業貢献10%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123104&opi=se0020&syw=1

教科書 Speaking Steps / 臼倉美里、他・金星堂、2022・978-4-7647-4151-5

実践英語中級I(五) : 実用英語(中級)

橋本 貴

前期 火曜日 2時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど) 40%として総合的に評価する。
定期試験は実施しない。


https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123105&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 3: Summit

/ Teruhiko Kadoyama, Live ABC Interactive Corporation. 成美堂、2022・9784791972432

実践英語中級I(六) : 実用英語(中級)

橋本 貴

前期 火曜日 4時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど) 40%として総合的に評価する。
定期試験は実施しない。


https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123106&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 3: Summit

/ Teruhiko Kadoyama, Live ABC Interactive Corporation. 成美堂、2022・9784791972432

実践英語中級I(七) : 実用英語(中級)

後藤 朗子

前期 金曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

科学は、日常生活や健康に深い関わりがあるだけでなく、技術や宇宙など世界の未来について想像が膨らむ分野である。「健康」「自然」「資源」「技術」「宇宙」など、多岐にわたる科学を題材にした英文を丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。文法・語彙力を養いながらも、科学に関する各テーマについて考え、自分なりの疑問や意見をもつことを心がける。

15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、小テスト60%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)、提出課題30%(e-Learningにて実施)


https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123107&opi=se0020&syw=1

教科書 SCIENCE MATTERS! 暮らしを変える最新科学 / 野崎嘉信ほか・金星堂、2015・978-4-7647-4006-8

実践英語中級II(一) : 実践英語中級

ECC講師

後期 水曜日 2時限 C303

TOEICテスト問題の中級レベルの内容を理解することができる。

正しい英語の発音方法を身につけることができる。

異文化理解を深めることができる。

TOEIC®L&R テストの中級レベルの教科書を用いて、実践的な英語力を養成する。

また授業では、ペアワークなどの活動を通じて、英語の正しい発音方法を学ぶ。語学習得、特にスピーキング力の向上は、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加を歓迎する。



授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123201&opi=se0020&syw=1

教科書 Step-Up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 2nd edition / Yasuyuki Kitao 他・朝日出版社、2025・9784255157375

実践英語中級II(四)：実用英語(中級)

福地 浩子

後期 水曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

リスニングとリーディングを通して、十分な英語のインプットを行い、音読を繰り返すことで、身近な話題について英語で発信する練習をする。本テキストは、現代の大学生が興味をもつと思われるトピックが並んでいる。「あったらいいなと思うアプリの機能を説明する」「データをもとにヒット商品の新しい味を提案する」「ビジネス界の偉人を紹介する」「くすくす笑える小噺をする」などである。これらのトピックについて、インプットとなる練習をした後、アウトプットとなる活動として、各自スピーチを作成し、発表して頂く。

テキストは前期のものを継続して使用する。並行して、TOEIC読解問題やアニメドラマ『チャロ』のリスニング・ロールプレイに取り組む。



受講状況30% 到達度確認40% スピーチ原稿20% 予習・授業貢献10%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123204&opi=se0020&syw=1

教科書 Speaking Steps / 臼倉美里、他・金星堂、2022・978-4-7647-4151-5

実践英語中級II(五)：実用英語(中級)

橋本 貴

後期 火曜日 2時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど)40%として総合的に評価する。

定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123205&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 3: Summit

/ Teruhiko Kadoyama, LiveABC Interactive Corporation.・成美堂、2022・9784791972432

実践英語中級II(六)：実用英語(中級)

橋本 貴

後期 火曜日 4時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

学習者が毎日遭遇するような状況や課題に焦点を当てたテキストを用いて、英語運用能力の向上を目指す。

毎授業ごとの予習課題の評価、授業への取り組みなどを60%、学習到達度確認(各授業内で学習した文法事項、語句などについての小テストなど)40%として総合的に評価する。

定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123206&opi=se0020&syw=1

教科書 Live Escalate Book 3: Summit

/ Teruhiko Kadoyama, LiveABC Interactive Corporation.・成美堂、2022・9784791972432

実践英語中級II(七)：実用英語(中級)

後藤 朗子

後期 金曜日 3時限 CALL
教室

実用的・実践的な英語運用能力を養成する。

科学は、日常生活や健康に深い関わりがあるだけでなく、技術や宇宙など世界の未来について想像が膨らむ分野である。「健康」「自然」「資源」「技術」「宇宙」など、多岐にわたる科学を題材にした標準的な英文を、前期に引き続き、丁寧に読む。辞書を引きながら、自力で英文を読めるようにする。文法・語彙力を養いながらも、科学に関する各テーマについて考え、自分なりの疑問や意見をもつことを心がける。



15週授業を通しての総合評価:

(内訳)平常点10%(授業中の発表と学習への取り組み)、小テスト60%(基本的語句・文法・表現・内容の理解度)、提出課題30%(e-Learningにて実施)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120123207&opi=se0020&syw=1

教科書 SCIENCE MATTERS! 暮らしを変える最新科学 / 野崎嘉信ほか・金星堂、2015・978-4-7647-4006-8

英語読解中級I(一)：総合英語(中級)

川田 伸道

前期 木曜日 3時限 C401

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。ある程度の長さの英語を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。



・平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)

・テスト(60%:学修成果確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121101&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Base, New Edition / Lorraine C. Smith他・センゲージ、2024・979-8-214-17719-9

英語読解中級I(五) : 総合英語(中級)

ECC講師

前期 火曜日 1時限 CALL
教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。
英検準2級程度(高校1?2年レベル)の習得を到達目標とする。
英語の発音能力を高める。

英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。
授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121105&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Link / Robert Hickling . 金星堂 , 2020 . 9784764741003



英語読解中級I(七) : 総合英語(中級)

高島 葉子

前期 火曜日 3時限 C306

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

ミステリー・ストーリーを題材にしたテキストを使用し、文法知識を確実なものにして語彙や表現を「覚える」だけでなく、考えながら読む力を養うことを目指す。また、リーディングの強化を主としながら、練習問題を解くことで、ライティング、リスニング、スピーキングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

学習到達度テスト(小テストを含む)60%と平常点(授業中の質疑応答、授業に取り組む姿勢等)40%で総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121107&opi=se0020&syw=1

教科書 Kickoff English Mystery / Terry O'brien 他 . 南雲堂 , 2019 . 978-4-523-17876-7



英語読解中級I(八) : 総合英語(中級)

高島 葉子

前期 月曜日 4時限 C403

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

ミステリー・ストーリーを題材にしたテキストを使用し、文法知識を確実なものにして語彙や表現を「覚える」だけでなく、考えながら読む力を養うことを目指す。また、リーディングの強化を主としながら、練習問題を解くことで、ライティング、リスニング、スピーキングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

学習到達度テスト(小テストを含む)60%と平常点(授業中の質疑応答、授業に取り組む姿勢等)40%で総合的に評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121108&opi=se0020&syw=1

教科書 Kickoff English Mystery / Terry O'brien 他 . 南雲堂 , 2019 . 978-4-523-17876-7



英語読解中級I(十) : 総合英語(中級)

岡部 純子

前期 金曜日 2時限 C304

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

今日的でなおかつ議論が分かれるトピックに関する英文を読み、理解し、自分の言葉で英作文をするという活動を基本的には繰り返してゆきます。受け身で理解してゆくというよりもアクティブに理解し発信する活動を行います。

最終到達度テスト50%、中間テスト及び平常点(作文等)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121110&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Cycle / 卯城祐司 他 . 金星堂 , . 978-4-7647-4024-2



英語読解中級I(十一) : 総合英語(中級)

古木 圭子

前期 月曜日 3時限 CALL
教室

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。ある程度の長さの英文を読み、おおよその内容を把握することができるようになる。

平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、課題の達成度、授業に真摯に取り組む姿勢などを評価)、復習テスト(60%:授業内容の理解度を確認)により総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121111&opi=se0020&syw=1

教科書 TARGET ! (pre-intermediate) / Akira Morita / Makio Lio 他 . 金星堂 , 2023 . 9784764740174



英語読解中級I(十二) : 総合英語(中級)

古木 圭子

前期 金曜日 1時限 C305

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。

毎回の授業参加状況(発言・応答など)、課題提出および到達度(計40%)および授業の内容を理解しているかどうかを判定する授業内試験(60%)により総合的に評価します。総合点で59点以下の場合、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121112&opi=se0020&syw=1

教科書 TARGET ! (pre-intermediate) / Akira Morita / Makio Lio 他 . 金星堂 , 2023 . 9784764740174



英語読解中級I(十六) : 総合英語(中級)

岡部 純子

前期 月曜日 1時限 C404

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

今日的でなおかつ議論が分かれるトピックに関する英文を読み、理解し、自分の言葉で英作文をするという活動を基本的には繰り返してゆきます。受け身で理解してゆくというよりもアクティブに理解し発信する活動を行います。

最終到達度テスト50%、中間テスト及び平常点(作文等)50%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121116&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Cycle / 卯城祐司 他・金星堂, . 978-4-7647-4024-2



英語読解中級I(十八) : 総合英語(中級)

岡部 純子

後期 水曜日 2時限 C206

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

原本How I met Myself (Cambridge University Press)をやや平易な英語で書いたTo Be Continuedを毎回読み進め、基本的な表現を確認し語彙を増強してゆきます

理解度テスト(40%)、到達度テスト(50%)、平常点(授業時確認テスト、質疑、出席態度)10%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121118&opi=se0020&syw=1

教科書 To Be Continued...Let's Solve a Mystery! / Atsuko Uemura, Miwako Yamashita, Chie Tsurii . Asahi Press, 2019 . 978-4-255-15445-9



英語読解中級II(一) : 総合英語(中級)

川田 伸道

後期 木曜日 3時限 C401

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。ある程度の長さの英語を理解できるようになり、また単語量を増やすことを目標とする。

・平常点(40%:授業中に行う質問に対する返答、授業に取り組む姿勢などを評価)

・テスト(60%:確認テスト60% それぞれ授業内容の理解度を確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121201&opi=se0020&syw=1

教科書 Healthy Habits for a Better Life / Joan McCoenll . 成美堂, 2021 . 978-4-7919-7229-6



英語読解中級II(五) : 総合英語(中級)

ECC講師

後期 火曜日 1時限 CALL教室

読解を主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

英検準2級程度の習得を到達目標とする。

英語の発音能力を高める。

英語総合教材を用いて、実践的な英語力を養成する。

授業では、ペアワークなどの活動を通じて、スピーキング力の向上を目指すため、学習者の積極的な姿勢が求められる。言語に限らず、授業で人と話すことに抵抗がある学生は、履修しないこと。人と話すことが好き、または、苦手だが克服したいという学生の参加は歓迎する。履修を決定する前に、このシラバスにある「履修上の注意」を必ず読んでおくこと。

授業参加点 30%、小テスト20%、課題20%、学期末試験30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121205&opi=se0020&syw=1

教科書 Reading Link / Robert Hickling . 金星堂, 2020 . 9784764741003



英語読解中級II(七) : 総合英語(中級)

高島 葉子

後期 火曜日 3時限 C306

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

前期に引き続き、ミステリー・ストーリーを題材にしたテキストの後半を使用する。文法知識を確実なものにして語彙や表現を「覚える」だけでなく、考えながら読む力を養うことを目指す。また、リーディングの強化を主としながら、練習問題を解くことで、ライティング、リスニング、スピーキングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

学習到達度テスト(期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121207&opi=se0020&syw=1

教科書 Kickoff English Mystery / Terry O'Brien 他・南雲堂, 2019 . 978-4-523-17876-7



英語読解中級II(八) : 総合英語(中級)

高島 葉子

後期 月曜日 4時限 C403

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

前期に引き続き、ミステリー・ストーリーを題材にしたテキストの後半を使用する。文法知識を確実なものにして語彙や表現を「覚える」だけでなく、考えながら読む力を養うことを目指す。また、リーディングの強化を主としながら、練習問題を解くことで、ライティング、リスニング、スピーキングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

学習到達度テスト(期末テスト)60%。平常点(授業中の質疑応答、課題の達成度、授業に取り組む姿勢)40%。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121208&opi=se0020&syw=1

教科書 Kickoff English Mystery / Terry O'Brien 他・南雲堂, 2019 . 978-4-523-17876-7



英語読解中級II(十) : 総合英語(中級)

岡部 純子

後期 金曜日 2時限 C304

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

毎時間、短いビデオを観て理解する、単語と文法を確認する、類似の文章を読む、自分の意見を発信するという作業を行い、基本的な英語を使えるようになる練習をします。

平常点および途中の確認テスト40%、到達度テスト60%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121210&opi=se0020&syw=1

教科書 Global Gate Basic / Shoma Aota他 . Seibido , 2024 . 9784791972814



英語読解中級II(十一) : 総合英語(中級)

古木 圭子

後期 月曜日 3時限 CALL
教室

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

「英語読解中級 I」に引き続き、文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。イギリス文化について学ぶ。ある程度の長さの英文を読み、おおよその内容を把握することができる。

テキストに出ている基本的な内容を理解しているかどうかをみる到達度確認テスト70%、授業態度、発表の際の予習の度合いなどの平常点30%で総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121211&opi=se0020&syw=1

教科書 A Taste of English: Food and Fiction フィクションにみる食文化 / Fiona Wall Minami . 朝日出版社 , 2013 . 978-4-255-15528-9 プリント



英語読解中級II(十二) : 総合英語(中級)

古木 圭子

後期 金曜日 1時限 C305

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

「英語読解中級 I」に引き続き、文法知識を確実なものにし、実際のコミュニケーションにおいて使えるように導く。文法事項を、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能に活用する。イギリス文化について学ぶ。ある程度の長さの英文を読み、おおよその内容を把握することができる。

テキストに出ている基本的な内容を理解しているかどうかをみる到達度確認テスト70%、授業態度、発表の際の予習の度合いなどの平常点30%で総合的に評価します。なお、全授業回数の3分の2以上の出席がなかった場合は59点以下の不合格となります。ただしこれは、3分の2以上の出席があった場合は、必ず合格するという意味ではありません。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121212&opi=se0020&syw=1

教科書 A Taste of English: Food and Fiction フィクションにみる食文化 / Fiona Wall Minami . 朝日出版社 , 2013 . 978-4-255-15528-9 プリント



英語読解中級II(十六) : 総合英語(中級)

岡部 純子

後期 月曜日 1時限 C404

読解を主にして標準的な文法を確認し、英語運用能力を養成する。

毎時間、短いビデオを観て理解する、単語と文法を確認する、類似の文章を読む、自分の意見を発信するという作業を行い、基本的な英語を使えるようになる練習をします。

平常点および途中の確認テスト40%、到達度テスト60%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120121216&opi=se0020&syw=1

教科書 Global Gate Basic / Shoma Aota他 . Seibido , 2024 . 9784791972814



上級英語I(二) : 総合英語(上級)

岡部 純子

前期 月曜日 3時限 C
206

より高度な英文を読み、内容を理解する。またテキストをただ読むだけではなく、英語を使ってトピックに関する内容理解を深めることを楽しむことを目標とする

毎回1名の世界の偉人やチェンジメーカーに焦点をあてます。予習としてテキストを一読しわからない単語は各自調べてきてください。授業ではメインテキストを理解し、語彙力を高め、内容についてビデオや資料を用いて理解を深めてゆきます。

最終試験50点、平常評価点(予習、授業参加、課題等の評価)20点、レビューテスト30点

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120134102&opi=se0020&syw=1

教科書 Aiming for the Top / Masakazu Someya et al . Sanshusha , .



上級英語I(四) : General English (Advanced)

エリック マーティン

前期 月曜日 2時限 C401

Development of advanced English language skills

In this class you will learn English expressions, vocabulary, and compensatory skills to actively participate in group discussions in English. Students will proactively use expressions to discuss academic topics, using academic language.

Speaking Activities (40%); Homework (30%); Vocabulary and Grammar Quizzes (30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120134104&opi=se0020&syw=1

教科書 Materials are provided by the teacher.



上級英語II(二) : 総合英語(上級)

岡部 純子

後期 月曜日 3時限 C
206

より高度な英語運用能力を養成する。

毎回1名の世界の偉人やチェンジメーカーに焦点をあてます。予習としてテキストを一読しわからない単語は各自調べてきてください。授業ではメインテキストを理解し、語彙力を高め、内容について意見を口語もしくは作文で発信してゆきます。

最終試験50点、平常評価点(予習、授業参加、課題等の評価)20点、レビューテスト30点

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120134202&opi=se0020&syw=1

教科書 Aiming for the Top / Masakazu Someya et al. . Sanshusha , .



上級英語II(四) : General English (Advanced)

エリック マーティン

後期 月曜日 2時限 C401

Development of advanced English language skills

In this class you will learn English expressions, vocabulary, and compensatory skills to actively participate in group discussions in English. Students will proactively use expressions to discuss academic topics, using academic language.

Speaking Assessments (40%); Homework (30%); Vocabulary and Grammar Quizzes (30%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_120134204&opi=se0020&syw=1

教科書



ドイツ語初級I(一) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。 横山 香

前期 月曜日 4時限 C404

文法・語彙・読解については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)、聞く・話す・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)レベルの能力養成を目指す。

授業では文法事項や発音について解説したあと、たくさん練習問題をこなしていきます。また、各テーマの学習が終わったあと遠隔授業を取り入れ、自学により学びを深めます。遠隔授業の後にはアチーブメントテストを行い、学習成果を確認します。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「ドイツ語初級I(三)」と異なり、文法中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物およびアチーブメントテストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131101&opi=se0020&syw=1

教科書 名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング / 横山 香 . 語研 , 2022 . 978-4-87615-378-7



ドイツ語初級I(二) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。 横山 香

前期 火曜日 1時限 C404

文法・語彙・読解については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)、聞く・話す・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)レベルの能力養成を目指す。

授業では文法事項や発音について解説したあと、たくさん練習問題をこなしていきます。また、各テーマの学習が終わったあと遠隔授業を取り入れ、自学により学びを深めます。遠隔授業の後にはアチーブメントテストを行い、学習成果を確認します。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「ドイツ語初級I(三)」と異なり、文法中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物およびアチーブメントテストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131102&opi=se0020&syw=1

教科書 名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング / 横山 香 . 語研 , 2022 . 978-4-87615-378-7



ドイツ語初級I(三) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。 横山 香

前期 水曜日 3時限 C404

文法・読解・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)、聞く・話す・語彙については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。

この授業では聞く・話す・語彙を中心に、たくさん練習問題をこなしていきます。遠隔授業では、聞く・話す力を中心に自学にて学習を深めます。遠隔授業の後には、学習効果を確認するため確認テストを行います。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「初級I(一)(二)」と異なり、コミュニケーション・会話・ワーク中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物および確認テストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131103&opi=se0020&syw=1

教科書 ドイツ語インパクト Ver. 3 / 三宅恭子・Michaela Koch . 三修社 , 2026 . 978-4-384-12316-6 C 1084



ドイツ語初級I(六) : ドイツ語の表現と文法を基礎から学び、日常会話に必要 なコミュニケーション能力を養います。 石田 喜敬

前期 木曜日 2時限 M
103.前期 木曜日 2時限
M104

この科目では、自己紹介や趣味、買い物や飲食店での注文、道案内、過去の出来事や休暇中の予定等、日常生活の様々なテーマについて、自分の意思をドイツ語で表現する能力を身に付けることが目標です。

ペアワークやグループワークを主として行い、実践的なコミュニケーション能力を身に付けていきます。これと並行して、ドイツ語の運用に必要な基礎文法の習得も行います。教科書には、ドイツ語圏の都市・建造物やゆかりのある人物などの情報も掲載されていますので、ドイツの文化事情も知ることができます。外国語を学ぶことは、視野を広げ、教養を育み、国際的な感覚を養うことにつながります。積極的・意欲的に学習に取り組んでください。

平常点50%(積極的な授業参加、授業中の課題・宿題への取り組み、教員への質問)、定期試験50%(コミュニケーションに必要な会話や聞き取りができているか、基本的な文法を理解しているか)で総合的に評価します。口頭試験は各学期15週目に実施し、筆記試験は、定期試験期間中(各学期16週目)に実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131106&opi=se0020&syw=1

教科書 ブーメラン・エルエー 第2版 / 小野寿美子・中川明博・西巻丈児 朝日出版社, 2024 . 9784255254807



ドイツ語初級I(七) : ドイツ語の表現と文法を基礎から学び、日常会話に必要 なコミュニケーション能力を養います。 石田 喜敬

前期 木曜日 3時限 M
103.前期 木曜日 3時限
M104

この科目では、自己紹介や趣味、買い物や飲食店での注文、道案内、過去の出来事や休暇中の予定等、日常生活の様々なテーマについて、自分の意思をドイツ語で表現する能力を身に付けることが目標です。

ペアワークやグループワークを主として行い、実践的なコミュニケーション能力を身に付けていきます。これと並行して、ドイツ語の運用に必要な基礎文法の習得も行います。教科書には、ドイツ語圏の都市・建造物やゆかりのある人物などの情報も掲載されていますので、ドイツの文化事情も知ることができます。外国語を学ぶことは、視野を広げ、教養を育み、国際的な感覚を養うことにつながります。積極的・意欲的に学習に取り組んでください。

平常点50%(積極的な授業参加、授業中の課題・宿題への取り組み、教員への質問)、定期試験50%(コミュニケーションに必要な会話や聞き取りができているか、基本的な文法を理解しているか)で総合的に評価します。口頭試験は各学期15週目に実施し、筆記試験は、定期試験期間中(各学期16週目)に実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131107&opi=se0020&syw=1

教科書 ブーメラン・エルエー 第2版 / 小野寿美子・中川明博・西巻丈児 朝日出版社, 2024 . 9784255254807



ドイツ語初級II(一) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。 横山 香

後期 月曜日 4時限 C404

文法・語彙・読解については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)、聞く・話す・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)レベルの能力養成を目指す。

この授業は「ドイツ語初級I」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、たくさん練習問題をこなしていきます。また、各テーマの学習が終わったあと遠隔授業を取り入れ、自学により学びを深めます。遠隔授業の後にはアチーブメントテストを行い、学習成果を確認します。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「ドイツ語初級II(三)」と異なり、文法中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物およびアチーブメントテストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131201&opi=se0020&syw=1

教科書 名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング / 横山 香 語研, 2022 . 978-4-87615-378-7



ドイツ語初級II(二) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。 横山 香

後期 火曜日 1時限 C404

文法・語彙・読解については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)、聞く・話す・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)レベルの能力養成を目指す。

この授業は「ドイツ語初級I」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、たくさん練習問題をこなしていきます。また、各テーマの学習が終わったあと遠隔授業を取り入れ、自学により学びを深めます。遠隔授業の後にはアチーブメントテストを行い、学習成果を確認します。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「ドイツ語初級II(三)」と異なり、文法中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物およびアチーブメントテストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131202&opi=se0020&syw=1

教科書 名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング / 横山 香 語研, 2022 . 978-4-87615-378-7



ドイツ語初級II(三) : ドイツ語の発音や文法を基礎から学び、基本的な運用能力を身につけるとともに、コミュニケーション能力や国際感覚を涵養する。

後期 水曜日 3時限 C404

文法・読解・書く力については独検5級(ヨーロッパ言語共通参照枠A1)、聞く・話す・語彙については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。

この授業では聞く・話す・語彙を中心に、たくさん練習問題をこなしていきます。遠隔授業では、聞く・話す力を中心に自学にて学習を深めます。遠隔授業の後は、学習効果を確認するため確認テストを行います。遠隔授業のスケジュールについてはシラバスから予定が変更される可能性があるため、かならず授業中およびポータルサイト・Google Classroomで確認すること。なおこの授業は「初級II(一)(二)」と異なり、コミュニケーション・会話・ワーク中心の授業になります。

- ・授業での取り組み(授業中の態度・発言・質問、遠隔授業での取り組みなど)40%
- ・提出物および確認テストの評価 30%
- ・学期末のテスト(基本的な理解および応用力を問う)30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131203&opi=se0020&syw=1

教科書 ドイツ語インパクト Ver. 3 / 三宅恭子・Michaela Koch . 三修社 , 2026 . 978-4-384-12316-6 C 1084



ドイツ語初級II(六) : ドイツ語の表現と文法を基礎から学び、日常会話に必要なコミュニケーション能力を養います。

後期 木曜日 2時限 M
103.後期 木曜日 2時限
M104

この科目では、自己紹介や趣味、買い物や飲食店での注文、道案内、過去の出来事や休暇中の予定等、日常生活の様々なテーマについて、自分の意思をドイツ語で表現する能力を身に付けることが目標です。

ペアワークやグループワークを主として行い、実践的なコミュニケーション能力を身に付けていきます。これと並行して、ドイツ語の運用に必要な基礎文法の習得も行います。教科書には、ドイツ語圏の都市・建造物やゆかりのある人物などの情報も掲載されていますので、ドイツの文化事情も知ることができます。外国語を学ぶことは、視野を広げ、教養を育み、国際的な感覚を養うことにつながります。積極的・意欲的に学習に取り組んでください。

平常点50%(積極的な授業参加、授業中の課題・宿題への取り組み、教員への質問)、定期試験50%(コミュニケーションに必要な会話や聞き取りができているか、基本的な文法を理解しているか)で総合的に評価します。口頭試験は各学期15週目に実施し、筆記試験は、定期試験期間中(各学期16週目)に実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131206&opi=se0020&syw=1

教科書 ブーメラン・エルエー / 小野寿美子・中川明博・西巻文児 . 朝日出版社 , 2015 . 978-4-255-25380-0



ドイツ語初級II(七) : ドイツ語の表現と文法を基礎から学び、日常会話に必要なコミュニケーション能力を養います。

後期 木曜日 3時限 M
103.後期 木曜日 3時限
M104

この科目では、自己紹介や趣味、買い物や飲食店での注文、道案内、過去の出来事や休暇中の予定等、日常生活の様々なテーマについて、自分の意思をドイツ語で表現する能力を身に付けることが目標です。

ペアワークやグループワークを主として行い、実践的なコミュニケーション能力を身に付けていきます。これと並行して、ドイツ語の運用に必要な基礎文法の習得も行います。教科書には、ドイツ語圏の都市・建造物やゆかりのある人物などの情報も掲載されていますので、ドイツの文化事情も知ることができます。外国語を学ぶことは、視野を広げ、教養を育み、国際的な感覚を養うことにつながります。積極的・意欲的に学習に取り組んでください。

平常点50%(積極的な授業参加、授業中の課題・宿題への取り組み、教員への質問)、定期試験50%(コミュニケーションに必要な会話や聞き取りができているか、基本的な文法を理解しているか)で総合的に評価します。口頭試験は各学期15週目に実施し、筆記試験は、定期試験期間中(各学期16週目)に実施します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121131207&opi=se0020&syw=1

教科書 ブーメラン・エルエー / 小野寿美子・中川明博・西巻文児 . 朝日出版社 , 2015 . 978-4-255-25380-0



ドイツ語中級I(一) : ドイツ語圏の文化・歴史・地理に関するテキストを用いて 横山 香
中級レベルのドイツ語能力育成を目指し、教養や国際感覚を涵養する。

前期 火曜日 2時限 C404

文法・語彙・読解については独検3~4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2~B1)、聞く・話す・書く力については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。

この授業は「ドイツ語初級」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、読む・書く・話す・聞くの能力をまんべんなく伸ばすための練習問題をこなしていきます。遠隔授業やプレゼンテーションなども取り入れます。初級からステップアップするので、主体的な自学自習は欠かせません。Google Classroomに資料を出すので、予習復習に役立てること。

- ・授業での取り組み(積極的な参加、教員への質問等)40%
- ・提出物・遠隔授業での取り組み・小テストおよびレポートの成績 30%
- ・学習到達度確認および口頭テストの成績(中級レベルの技能が基準以上であるか) 30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121133101&opi=se0020&syw=1

教科書 Landeskunde Deutsch / 永井 達夫 . 白水社 , 2025 . 9784560064443



ドイツ語中級I(二) : ドイツ語圏の文化・歴史・地理に関するテキストを用いて 横山 香
中級レベルのドイツ語能力育成を目指し、教養や国際感覚を涵養する。

前期 水曜日 4時限 C404

文法・語彙・読解については独検3~4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2~B1)、聞く・話す・書く力については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。

この授業は「ドイツ語初級」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、読む・書く・話す・聞くの能力をまんべんなく伸ばすための練習問題をこなしていきます。遠隔授業やプレゼンテーションなども取り入れます。初級からステップアップするので、主体的な自学自習は欠かせません。Google Classroomに資料を出すので、予習復習に役立てること。

- ・授業での取り組み(積極的な参加、教員への質問等)40%
- ・提出物・遠隔授業での取り組み・小テストおよびレポートの成績 30%
- ・学習到達度確認および口頭テストの成績(中級レベルの技能が基準以上であるか) 30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121133102&opi=se0020&syw=1

教科書 Landeskunde Deutsch / 永井 達夫 . 白水社 , 2025 . 9784560064443



ドイツ語中級II(一) : ドイツ語圏の文化・歴史・地理に関するテキストを用いて 横山 香
中級レベルのドイツ語能力育成を目指し、教養や国際感覚を涵養する。

後期 火曜日 2時限 C404

文法・語彙・読解については独検3～4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2～B1)、聞く・話す・書く力については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。



この授業は「ドイツ語初級」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、読む・書く・話す・聞くの能力をまんべんなく伸ばすための練習問題をこなしていきます。遠隔授業やプレゼンテーションなども取り入れます。初級からステップアップするので、主体的な自学自習は欠かせません。Google Classroomに資料を出すので、予習復習に役立てること。

- ・授業での取り組み(積極的な参加、教員への質問等)40%
- ・提出物・遠隔授業での取り組み・小テストおよびレポートの成績 30%
- ・学習到達度確認および口頭テストの成績(中級レベルの技能が基準以上であるか) 30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121133201&opi=se0020&syw=1

教科書 Landeskunde Deutsch / 永井 達夫・白水社, 2025. 9784560064443

ドイツ語中級II(二) : ドイツ語圏の文化・歴史・地理に関するテキストを用いて 横山 香
中級レベルのドイツ語能力育成を目指し、教養や国際感覚を涵養する。

後期 水曜日 4時限 C404

文法・語彙・読解については独検3～4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2～B1)、聞く・話す・書く力については独検4級(ヨーロッパ言語共通参照枠A2)レベルの能力養成を目指す。



この授業は「ドイツ語初級」の履修を前提とします。授業では文法事項や発音について解説したあと、読む・書く・話す・聞くの能力をまんべんなく伸ばすための練習問題をこなしていきます。遠隔授業やプレゼンテーションなども取り入れます。初級からステップアップするので、主体的な自学自習は欠かせません。Google Classroomに資料を出すので、予習復習に役立てること。

- ・授業での取り組み(積極的な参加、教員への質問等)40%
- ・提出物・遠隔授業での取り組み・小テストおよびレポートの成績 30%
- ・学習到達度確認および口頭テストの成績(中級レベルの技能が基準以上であるか) 30%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121133202&opi=se0020&syw=1

教科書 Landeskunde Deutsch / 永井 達夫・白水社, 2025. 9784560064443

フランス語初級I(一) : 日常生活を中心にした場面に基づいて、基礎文法を学 各務 奈緒子
び、フランス語会話、聞き取りを練習します。

前期 水曜日 1時限 C304

フランス語の読み・書き・話す・聞くという4技能をバランスよく学びます。フランス語を学ぶことで視野を広げ、国際的な感覚を養います。



基礎文法を説明・復習した後、挨拶、自己紹介、食事などのさまざまなシチュエーションでのフランス語会話を練習します。読み・書き・話す・聞くという言語の4技能をバランスよく学び、フランス及びフランス語圏の日常生活や現代文化についても触れます。フランス語を学ぶことで、視野を広げ、国際的な感覚を養ってください。

平常点平常点(小テスト、課題、コメントシート、授業中の積極的な発言や質問、グループワークでの取り組み)40%、学習到達度確認60%の基準で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231101&opi=se0020&syw=1

教科書 ア・ピエ! —フランス語初級文法

/ 西部 由里子・朝日出版社, 2022. 978-4-255-35326-5

フランス語初級I(二) : フランス語文法の基礎を理解する

丸瀬 康裕

前期 金曜日 2時限 C305

文法のしくみを理解することで、平易なフランス語文を読み、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーションできる会話のベースを身につける。



日常的な場面に沿ったフランス語会話の中から、文法の要点を拾って、基本事項を学んでいきます。性数による変化や動詞の活用などに、語彙と慣用的表現を併せて、フランス語のしくみを理解し簡単な日常会話に発展していきます。解説はていねいに段階的に進めていきます。

平常点50%(指名されての黒板での発表や音読など)、各課終了ごとにおこなう小テスト50%(单元ごとの文法内容や語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231102&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン1 基礎からわかるフランス語改訂版 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社, 2024. 978-4-255-35359-3

フランス語初級I(三) : フランス語文法の基礎を理解する

丸瀬 康裕

前期 金曜日 3時限 C305

文法のしくみを理解することで、平易なフランス語文を読み、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーションできる会話のベースを身につける。



日常的な場面に沿ったフランス語会話の中から、文法の要点を拾って、基本事項を学んでいきます。性数による変化や動詞の活用などに、語彙と慣用的表現を併せて、フランス語のしくみを理解し簡単な日常会話に発展していきます。解説はていねいに段階的に進めていきます。

平常点50%(指名されての黒板での発表や音読など)、各課終了ごとにおこなう小テスト50%(单元ごとの文法内容や語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231103&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン1 基礎からわかるフランス語改訂版 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社, 2024. 978-4-255-35359-3

フランス語初級I(四)：日常生活を中心にした場面に基づいて、基礎文法を学 各務 奈緒子
び、フランス語会話、聞き取りを練習します。

前期 水曜日 2時限 C304

フランス語の読み・書き・話す・聞くという4技能をバランスよく学びます。フランス語を学ぶことで視野を広げ、国際的な感覚を養います。

基礎文法を説明・復習した後、挨拶、自己紹介、食事などの様々なシチュエーションでのフランス語会話を練習します。読み・書き・話す・聞くという言語の4技能をバランスよく学び、フランス及びフランス語圏の日常生活や現代文化についても触れます。フランス語を学ぶことで、視野を広げ、国際的な感覚を養ってください。

平常点平常点(小テスト、課題、コメントシート、授業中の積極的な発言や質問、グループワークでの取り組み)40%、学習到達度確認60%の基準で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231104&opi=se0020&syw=1

教科書 ア・ピエ！ ―フランス語初級文法

/ 西部 由里子・朝日出版社、2022・978-4-255-35326-5



フランス語初級II(一)：日常生活を中心にした場面に基づいて、基礎文法を学 各務 奈緒子
び、フランス語会話、聞き取りを練習します。

後期 水曜日 1時限 C304

フランス語の読み・書き・話す・聞くという4技能をバランスよく学びます。フランス語を学ぶことで視野を広げ、国際的な感覚を養います。

基礎文法を説明・復習した後、挨拶、自己紹介、食事などの様々なシチュエーションでのフランス語会話を練習します。読み・書き・話す・聞くという言語の4技能をバランスよく学び、フランス及びフランス語圏の日常生活や現代文化についても触れます。フランス語を学ぶことで、視野を広げ、国際的な感覚を養ってください。

平常点平常点(小テスト、課題、コメントシート、授業中の積極的な発言や質問、グループワークでの取り組み)40%、学習到達度確認60%の基準で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231201&opi=se0020&syw=1

教科書 ア・ピエ ―フランス語初級文法 / 西部 由里子・朝日出版社、2022・978-4-255-35326-5



フランス語初級II(二)：フランス語文法の基礎を理解する

丸瀬 康裕

後期 金曜日 2時限 C305

文法のしくみを理解することで、平易なフランス語文を読み、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーションできる会話のベースを身につける。

日常的な場面に沿ったフランス語会話の中から、文法の要点を拾って、基本事項を学んでいきます。性数による変化や動詞の活用などに、語彙と慣用的表現を併せて、フランス語のしくみを理解し簡単な日常会話に発展していきます。解説はていねいに段階的に進めていきます。

平常点50%(授業中の音読、練習問題の解答、学生同士の会話練習など)、各課終了後に実施する小テスト50%(各単元の文法内容と語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231202&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン1 基礎からわかるフランス語 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社、2024・978-4-255-35359-3



フランス語初級II(三)：フランス語文法の基礎を理解する

丸瀬 康裕

後期 金曜日 3時限 C305

文法のしくみを理解することで、平易なフランス語文を読み、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーションできる会話のベースを身につける。

日常的な場面に沿ったフランス語会話の中から、文法の要点を拾って、基本事項を学んでいきます。性数による変化や動詞の活用などに、語彙と慣用的表現を併せて、フランス語のしくみを理解し簡単な日常会話に発展していきます。解説はていねいに段階的に進めていきます。

平常点50%(授業中の音読、練習問題の解答、学生同士の会話練習など)、各課終了後に実施する小テスト50%(各単元の文法内容と語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231203&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン1 基礎からわかるフランス語 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社、2024・978-4-255-35359-3



フランス語初級II(四)：日常生活を中心にした場面に基づいて、基礎文法を学 各務 奈緒子
び、フランス語会話、聞き取りを練習します。

後期 水曜日 2時限 C304

フランス語の読み・書き・話す・聞くという4技能をバランスよく学びます。フランス語を学ぶことで視野を広げ、国際的な感覚を養います。

基礎文法を説明・復習した後、挨拶、自己紹介、食事などの様々なシチュエーションでのフランス語会話を練習します。読み・書き・話す・聞くという言語の4技能をバランスよく学び、フランス及びフランス語圏の日常生活や現代文化についても触れます。フランス語を学ぶことで、視野を広げ、国際的な感覚を養ってください。

平常点平常点(小テスト、課題、コメントシート、授業中の積極的な発言や質問、グループワークでの取り組み)40%、学習到達度確認60%の基準で評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121231204&opi=se0020&syw=1

教科書 ア・ピエ ―フランス語初級文法 / 西部 由里子・朝日出版社、2022・978-4-255-35326-5



フランス語中級I(一) : フランス語にいっそう親しむ 丸瀬 康裕 前期 金曜日 4時限 C305

発音に慣れ、旅行や日常の暮らしにつかえるフランス語を身につける。

平易な日常会話をとおして文法を理解し、よく音声を聴いて発音しながら、練習問題を解いて、すこしずつ知識をひろげていきます。

平常点50%(授業中の音読、練習問題の解答、学生同士の会話練習など)、各課終了後に実施する小テスト50%(各単元の文法内容と語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121233101&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン2 もっと知りたいフランス語改訂版 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社、2025年・978-4-255-35376-0



フランス語中級II(一) : フランス語にいっそう親しむ 丸瀬 康裕 後期 金曜日 4時限 C305

文法のしくみを理解しながら、平易なフランス語文を読み、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーションできる会話のベースを身につける

日常的な場面に沿ったフランス語会話の中から、文法の要点を拾って、基本事項を学んでいきます。性数による変化や動詞の活用などに、語彙と慣用的表現を併せて、フランス語のしくみを理解するとともに簡単な日常会話へ発展できるようにします。解説はていねいに段階的に進めていきます。

平常点50%(授業中の音読、練習問題の解答、学生同士の会話練習など)、各課終了後に実施する小テスト50%(各単元の文法内容と語句の確認)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121233201&opi=se0020&syw=1

教科書 クロワッサン2 もっと知りたいフランス語改訂版 / 松村博史、バンドロム・エディ・朝日出版社、2025・978-4-255-35376-0



中国語初級I(一) : 初級中国語 山本 恭子 前期 木曜日 2時限 CALL 教室

中国語の基本文法の理解。正確な発音を身につける。

中国語は「簡体字」という画数の少ない中国独自の漢字を用います。発音は「ピンイン」というアルファベットで表記されます。また、漢字にはそれぞれ「声調」という4種類の音の高低アクセントがあります。ピンインと声調をしっかり把握して、まず正確な発音を身につけましょう。次に中国人とコミュニケーションするために、目・口・耳・手を使って、基本的な表現をくり返し練習します。歓迎パーティーに出席したり、ホテルに宿泊したり、私たちが中国へ行って出会う場面の会話が教材です。美しい中国語を耳元で何度も聞いてから、自分の発音を録音し、聞き比べます。そして聞き取り練習へ進みます。隣の席の人と会話練習もします。中国語のしくみを理解するために、例文は書いて覚えます。中国の風俗習慣にも触れます。少しずつ着実に身につけましょう。

学習到達度確認(50%)、平常点(50%)。平常点は、課題の提出状況、授業中積極的な態度、ペアワークの到達度で判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331101&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂版 しゃべっていいとも中国語 / 陳淑梅・劉光赤・朝日出版社、2024年・978-4-255-45388-0



中国語初級I(二) : 初級中国語 村上 幸造 前期 金曜日 1時限 C402

ピンインを発音でき、簡体字の意味を知って、簡単な日常会話ができ短文が綴れること。このことにより日中の文化の違いを知り、中国人と意欲的にコミュニケーションが取れるようになること。

毎回、発音練習を行い、基本的語法(=文法)を順次学んでいく。簡体字の意味とそれに対応する日本漢字との意味や用法のずれ、また共通点に注意すること。聞き取り、短文の翻訳や作文により授業を進める。習った表現で自分自身を主張しよう。

学習到達度の確認(筆記等による、第8、15回の、計2回、基本的語彙が発音でき模範例文の意味が理解でき短文が綴れること)80%、授業中の発表や提出物20%として評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331102&opi=se0020&syw=1

教科書 日中いぶこみ交差点 エssenシャル版 / 相原茂 陳淑梅 飯田敦子・朝日出版社、2019・978-4-255-45314-9



中国語初級I(三) : 初級中国語 劉 慶 前期 月曜日 1時限 C304

「中国語初級II」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331103&opi=se0020&syw=1

教科書 <新版> できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級I(四)：初級中国語

イ冬 華

前期 火曜日 1時限 C305

「中国語初級Ⅱ」と併せて中国語検定試験準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話することができることを到達目標とする。

この授業はまずピンインの勉強からスタートし、その習得は約3回を必要とし、その後授業は約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り込む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331104&opi=se0020&syw=1

教科書 『中国語はじめの一步』 / 竹島金吾監修、尹景春他著・白水社、2022年・978-4-560-06925-7



中国語初級I(五)：初級中国語

劉 慶

前期 月曜日 2時限 C304

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331105&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級I(六)：初級中国語

イ冬 華

前期 火曜日 2時限 C305

「中国語初級Ⅱ」と併せて中国語検定試験準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話することができることを到達目標とする。

この授業はまずピンインの勉強からスタートし、その習得は約3回を必要とし、その後授業は約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り込む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331106&opi=se0020&syw=1

教科書 『中国語はじめの一步』 / 竹島金吾監修、尹景春他著・白水社、2022年・978-4-560-06925-7



中国語初級I(七)：初級中国語

柴 格朗

前期 月曜日 3時限 C401

ピンインが正確に読めること。簡単な文を理解し、また書けること。

中国語は漢字で表記されていますが、かなりの数の漢字が日本の漢字と字形が異なります。次に厄介なのが漢字の発音を覚えることです。Iでは発音の習得が中心となります。始めは発音編として漢字の発音を表す中国式のルビ(ピンイン)の読み練習を行います。

学期末に行う「筆記等による学力確認」(50%)。その外に平素の課題も参考にします(50%)。授業で発音(教科書の音読)やドリルの回答、課題プリントの作成状態などが評価の基準となります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331107&opi=se0020&syw=1

教科書 二訂版 鈴木君の中国生活 / 柴 格朗・駿河台出版社、2023・9784411031556



中国語初級I(八)：初級中国語

柴 格朗

前期 月曜日 4時限 C401

ピンインが正確に読めること。簡単な文を理解し、また書けること。

中国語は漢字で表記されていますが、かなりの数の漢字が日本の漢字と字形が異なります。次に厄介なのが漢字の発音を覚えることです。Iでは発音の習得が中心となります。始めは発音編として漢字の発音を表す中国式のルビ(ピンイン)の読み練習を行います。

学期末に行う「筆記等による学力確認」(50%)。その外に平素の課題も参考にします(50%)。授業で発音(教科書の音読)やドリルの回答、課題プリントの作成状態などが評価の基準となります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331108&opi=se0020&syw=1

教科書 二訂版 鈴木君の中国生活 / 柴 格朗・駿河台出版社、2023・9784411031556



中国語初級I(九)：初級中国語

劉 慶

前期 火曜日 3時限 C305

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331109&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級I(十一)：初級中国語

劉 慶

前期 火曜日 5時限 C402

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。



15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331111&opi=se0020&syw=1

教科書 《新版》できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1

中国語初級I(十二)：初級中国語

劉 慶

前期 金曜日 2時限 C306

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331112&opi=se0020&syw=1

教科書 《新版》できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級I(十四)：初級中国語

羅 東耀

前期 木曜日 1時限 M
101.前期 木曜日 1時限
M102

「中国語初級Ⅱ」と併せて中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話ができることを到達目標とする。

この授業はまずピンインの勉強からスタートし、その習得は約3回を必要とし、その後授業は約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)を加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331114&opi=se0020&syw=1

教科書 会話と文法を学ぶ初級中国語表現 / 羅東耀他著・白帝社、2023年・9784863982314



中国語初級I(十五)：初級中国語

羅 東耀

前期 水曜日 1時限 C305

「中国語初級Ⅱ」と併せて中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話ができることを到達目標とする。

この授業はまずピンインの勉強からスタートし、その習得は約3回を必要とし、その後授業は約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)を加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331115&opi=se0020&syw=1

教科書 会話と文法を学ぶ初級中国語表現 / 羅東耀他著・白帝社、2023年・9784863982314



中国語初級I(十六)：初級中国語

劉 慶

前期 金曜日 3時限 C304

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331116&opi=se0020&syw=1

教科書 《新版》できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(一)：初級中国語

山本 恭子

後期 木曜日 2時限 CALL
教室

中国語の基本文法の理解。正確な発音を身につける。初歩的な会話ができるようになる。

中国語は「簡体字」という中国独自の漢字を用います。発音は「ピンイン」というアルファベットで表記します。漢字には「声調」という4種類の音の高低アクセントがあります。まず正確な発音を身につけましょう。

次に目・耳・口・手を用いて、基本的な表現をくり返し練習します。ホテルに宿泊したり、料理を注文したり、私たちが中国へ行って出会う場面の会話が教材です。美しい中国語を耳元で何度も聞いて、朗読練習します。学生同士、会話練習もします。着実に進んでいきましょう。

学習到達度確認(50%)、平常点(50%)。平常点は、課題の提出状況、授業中積極的な態度、ペアワークの到達度で判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331201&opi=se0020&syw=1

教科書 改定版 しゃべっていいとも中国語 中西君と一緒に中国へ行こう！ / 陳淑梅・劉光赤・朝日出版社、2024年・978-4-255-45388-0



中国語初級Ⅱ(二)：初級中国語

村上 幸造

後期 金曜日 1時限 C402

ピンインを発音でき、簡体字の意味を知って、簡単な日常会話ができ短文が綴れること。このことにより日中の文化の違いを知り、中国人と意欲的にコミュニケーションが取れるようになること。

中国語初級Ⅰの続き。毎回、発音練習を行い、基本的語法(＝文法)を順次学んでいく。簡体字の意味とそれに対応する日本漢字との意味や用法のずれ、また共通点に注意すること。聞き取り、短文の翻訳や作文により授業を進める。習った表現で自分自身を主張しよう。

学習到達度の確認(筆記等による、第8、15回の計2回、基本的語彙が発音でき模範例文の意味が理解でき短文が綴れること)80%、授業中の発表や提出物20%として評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331202&opi=se0020&syw=1

教科書 日中いぶこみ交差点 エssenシャル版 / 相原茂 陳淑梅 飯田敦子・朝日出版社、2019・978-4-255-45314-9



中国語初級Ⅱ(三)：初級中国語

劉 慶

後期 月曜日 1時限 C304

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級相当の語彙および文法を習得し、初歩的な中国語による会話ができるようになることを到達目標とする。

本授業では、前期に学んだピンイン、語彙、文法を復習しながら、2週間に1課のペースで進める。文の読解を重視するとともに、朗読や会話にも力を入れる。中国語の習得には、履修者による予習・復習が不可欠である。目安として、90分の授業に対し、1時間程度の予習と復習を行うことが望ましい。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331203&opi=se0020&syw=1

教科書 <新版> できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(四)：初級中国語

イ冬 華

後期 火曜日 1時限 C305

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話することができることを到達目標とする。

この授業は前期で学んだピンイン、語彙および文法などを復習しながら、2週間1課のペースで進めていく。文の読解は重要であるが、授業はそれだけではなく、朗読や会話などにも力を入れる。中国語をマスターしようとするには履修者の予習と復習が欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平常点(40点)を加味して評価する。平常点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331204&opi=se0020&syw=1

教科書 中国語ははじめの一步 / 竹島金吾監修、尹景春他著・白水社、2022年・978-4-560-06925-7



中国語初級Ⅱ(五)：初級中国語

劉 慶

後期 月曜日 2時限 C304

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級相当の語彙および文法を習得し、初歩的な中国語による会話ができるようになることを到達目標とする。

本授業では、前期に学んだピンイン、語彙、文法を復習しながら、2週間に1課のペースで進める。文の読解を重視するとともに、朗読や会話にも力を入れる。中国語の習得には、履修者による予習・復習が不可欠である。目安として、90分の授業に対し、1時間程度の予習と復習を行うことが望ましい。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331205&opi=se0020&syw=1

教科書 <新版> できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(六)：初級中国語 イ冬 華 後期 火曜日 2時限 C305

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って会話することができることを到達目標とする。

この授業は前期で学んだピンイン、語彙および文法などを復習しながら、2週間1課のペースで進めていく。文の読解は重要であるが、授業はそれだけではなく、朗読や会話などにも力を入れる。中国語をマスターしようとするには履修者の予習と復習が欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平常点(40点)加味して評価する。平常点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り込む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331206&opi=se0020&syw=1

教科書 中国語はじめの一步 / 竹島金吾監修、尹景春他著、白水社、2022年、978-4-560-06925-7



中国語初級Ⅱ(七)：初級中国語 柴 格朗 後期 月曜日 3時限 C401

ピンインが正確に読め、音読できること、また短いフレーズが聞き取れること。簡単な文を理解し、簡体字で書けること。

Iでの発音指導は不十分なものが出てきますから、後期授業の初めにも発音の復習をします。発音は大切なもので、また対面授業でなければ習得し辛いものですから、極力欠席は避けるようにして下さい。IIでは文法の解説が中心になります。前期期間にかなり詳しい文法解説を配りますが、常に以前の課を見直ししながら進んで欲しいです。

学年末に行う「筆記等による学力確認」(50%)。そのほかに平素の課題も参考にします(50%)。授業で発音(教科書の音読)やドリルの回答、課題プリントの作成状態などが評価の基準となります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331207&opi=se0020&syw=1

教科書 二訂版 鈴木君の中国生活 / 柴 格朗、駿河台出版社、2023、9784411031556



中国語初級Ⅱ(八)：初級中国語 柴 格朗 後期 月曜日 4時限 C401

ピンインが正確に読め、音読できること、また短いフレーズが聞き取れること。簡単な文を理解し、簡体字で書けること。

Iでの発音指導は不十分なものが出てきますから、後期授業の初めにも発音の復習をします。発音は大切なもので、また対面授業でなければ習得し辛いものですから、極力欠席は避けるようにして下さい。IIでは文法の解説が中心になります。前期期間にかなり詳しい文法解説を配りますが、常に以前の課を見直しながら進んで欲しいです。

学年末に行う「筆記等による学力確認」(50%)。そのほかに平素の課題も参考にします(50%)。授業で発音(教科書の音読)やドリルの回答、課題プリントの作成状態などが評価の基準となります。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331208&opi=se0020&syw=1

教科書 二訂版 鈴木君の中国生活 / 柴 格朗、駿河台出版社、2023、9784411031556



中国語初級Ⅱ(九)：初級中国語 劉 慶 後期 火曜日 3時限 C305

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級相当の語彙および文法を習得し、初歩的な中国語による会話ができるようになることを到達目標とする。

本授業では、前期に学んだピンイン、語彙、文法を復習しながら、2週間に1課のペースで進める。文の読解を重視するとともに、朗読や会話にも力を入れる。中国語の習得には、履修者による予習・復習が不可欠である。目安として、90分の授業に対し、1時間程度の予習と復習を行うことが望ましい。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331209&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智、白水社、2024年、978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(十一)：初級中国語 劉 慶 後期 火曜日 5時限 C402

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級相当の語彙および文法を習得し、初歩的な中国語による会話ができるようになることを到達目標とする。

本授業では、前期に学んだピンイン、語彙、文法を復習しながら、2週間に1課のペースで進める。文の読解を重視するとともに、朗読や会話にも力を入れる。中国語の習得には、履修者による予習・復習が不可欠である。目安として、90分の授業に対し、1時間程度の予習と復習を行うことが望ましい。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331211&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智、白水社、2024年、978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(十二)：初級中国語 劉 慶 後期 金曜日 2時限 C306

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級相当の語彙および文法を習得し、初歩的な中国語による会話ができるようになることを到達目標とする。

本授業では、前期に学んだピンイン、語彙、文法を復習しながら、2週間に1課のペースで進める。文の読解を重視するとともに、朗読や会話にも力を入れる。中国語の習得には、履修者による予習・復習が不可欠である。目安として、90分の授業に対し、1時間程度の予習と復習を行うことが望ましい。

15回目の授業で学習到達度確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331212&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智、白水社、2024年、978-4-560-06943-1



中国語初級Ⅱ(十四)：初級中国語

羅 東耀

後期 木曜日 1時限 M
101.後期 木曜日 1時限
M102

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って簡単な会話ができることを到達目標とする。

この授業は前期と同じく約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)を加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331214&opi=se0020&syw=1

教科書 会話と文法を学ぶ初級中国語表現 / 羅東耀他著・白帝社、2023年・9784863982314



中国語初級Ⅱ(十五)：初級中国語

羅 東耀

後期 水曜日 1時限 C305

「中国語初級Ⅰ」に引き続き、中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、また初歩的な中国語を使って簡単な会話ができることを到達目標とする。

この授業は前期と同じく約2週間1課のペースで進めていく。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。そのため、履修者の予習と復習は欠かせない。その目安として90分の授業を受ければ、90分の復習を必要とする。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に平均点(40点)を加味して評価する。平均点とは、授業中の質問、課題に真摯に取り組む姿勢および宿題の完成度などである。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331215&opi=se0020&syw=1

教科書 会話と文法を学ぶ初級中国語表現 / 羅東耀他著・白帝社、2023年・9784863982314



中国語初級Ⅱ(十六)：初級中国語

劉 慶

後期 金曜日 3時限 C304

「中国語初級Ⅱ」と併せて、中国語検定準4級相当の語彙・文法を習得し、初歩的な中国語による会話能力の獲得を目標とする。

本授業は、まずピンインの学習から開始し、その習得にはおおよそ3回の授業を要する。その後は、約2週間で1課のペースで進行する。授業は教員による一方的な講義ではなく、双方向型で行うことを原則とするため、履修者には十分な予習および復習が求められる。目安として、90分の授業に対して凡そ1時間程度の予習、復習時間が必要である。

15回目の授業で学習到達確認を実施し、その成績(60点)に平常点(40点)と総合的に評価する。平常点は、授業中の発言や質問、課題への取り組み姿勢、宿題の完成度、小テストの成績等を基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121331216&opi=se0020&syw=1

教科書 <新版>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語中級Ⅰ(一)：中級中国語

山本 恭子

前期 木曜日 3時限 CALL
教室

基本的な文法を理解し、それを用いて簡単な会話や作文ができるようになる。

中国の子供の生活を題材にした教材を用います。中国文化を詳しく紹介するコラムと、中国のイラストレーターによるかわいいイラストが特徴です。1年生で身につけた中国語の基本を復習しながら、実際に使える例文を自分の手で写します。そして、くり返し耳元で何度も自然な発音を聞きます。自分でもくり返し大きな声で発音してみます。そうすればいつの間にか、その文はあなたの中に住み着いて、少しずつ育っていきます。自分の中の小さな芽を大切に育てるつもりで、練習を積み重ねましょう。それぞれのペースで、今日はこの3文、次回はがんばって5文と着実に身につけましょう。

学習到達確認(50%)、平常点(50%)。平常点は、課題の提出状況・授業中積極的な態度・ペアワークの到達度で判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333101&opi=se0020&syw=1

教科書 中国語入門 きらきらの童年 / 相原茂・殷文怡・朝日出版社、2013年・978-4-255-45221-0 C1087



中国語中級Ⅰ(三)：中級中国語

劉 慶

前期 月曜日 4時限 C304

中国語検定4級レベルの単語や文法を身につけ、中国語で簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。

この授業では、初級の授業よりもレベルを上げて、より広く、より深く中国語でコミュニケーションをする力や、文章を読む力を身につけることを目指す。そのために、朗読・会話・リスニング・読解をバランスよく繰り返し学習すること。前期には中国語検定準4級の模擬試験を、後期には中国語検定4級の模擬試験を行う。授業は、先生の説明を聞くだけでなく、学生のみなさんが参加する双方向型の形式で進める。授業で学んだ中国語をしっかりと身につけるためには、予習と復習が大切で、目安として、90分の授業に対して、1時間程度の復習が必要である。

学期末に、学習の到達度を確認するテストを行う。そのテストの点数(60点)に、平常点(40点)を加えて成績を評価する。平常点には、授業中の発言や質問、課題への取り組み方、宿題の完成度などが含まれる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333103&opi=se0020&syw=1

教科書 <新版>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語中級I(四) : 中級中国語

村上 幸造

前期 金曜日 2時限 C402

中国語の簡単な文章が理解できること。それを通して日中の文化の違いを知り、中国人と意欲的にコミュニケーションが取れること。

毎回、発音練習を行い、未習の語法(=文法)を順次学んでいく。短文の翻訳や作文により授業を進める。中国語のより複雑な表現を身に着け、また中国に対する理解をより深めていけるように。

学習到達度の確認80%(筆記等による、第8、15の計2回)授業中の発表や提出物20%を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333104&opi=se0020&syw=1

教科書 カレント中国 初級から中級へ / 遠藤光暁・衛榕群・汪暁京・朝日出版社、2018年・978-4-255-45302-6



中国語中級II(一) : 中級中国語

山本 恭子

後期 木曜日 3時限 CALL 教室

基本的な文法を理解し、それを用いて簡単な会話や作文ができるようになる。

中国の子供の生活を題材にした教材を用います。中国文化を詳しく紹介するコラムと、中国のイラストレーターによるかわいいイラストが特徴です。1年生で身につけた中国語の基本を復習しながら、実際に使える例文を自分の手で写します。そして、くり返し耳元で何度も自然な発音を聞きます。自分でもくり返し大きな声で発音してみます。そうすればいつの間にか、その文はあなたの中に住み着いて、少しずつ育っていきます。自分の中の小さな芽を大切に育てるつもりで、練習を積み重ねましょう。それぞれのペースで、今日はこの3文、次回はがんばって5文と着実に身につけましょう。

学習到達度確認(50%)、平常点(50%)。平常点は、課題の提出状況・授業中積極的な態度・ペアワークの到達度で判断します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333201&opi=se0020&syw=1

教科書 中国語入門 きらきらの童年 / 相原茂・殷文怡・朝日出版社、2013年・978-4-255-45221-0 C1087



中国語中級II(三) : 中級中国語

劉 慶

後期 月曜日 4時限 C304

「中国語中級 I」に引き続き、中国語検定準4級レベルに相当する語彙と文法を身につけ、さらに初歩的な中国語を使って会話ができることを到達目標とする。

この授業は、初級と比べてより幅広く、より深い中国語のコミュニケーション能力と読解力の養成を目指す。その目標を達成するために、授業では朗読、会話、リスニング、読解の学習を繰り返す。さらに、中国語検定4級の模擬試験も2回実施する。授業は決して教員からの一方的なものではなく、双方向型での実施を原則とする。授業で学んだ中国語を確実に身につけるためには、履修者の予習と復習が欠かせない。その目安として、90分の授業に対して、1時間程度復習が必要となる。

学期末に学習到達確認を実施する。その成績(60点)に、平均点(40点)を加味して評価する。平均点とは、授業中の質問や課題への取り組み姿勢、宿題の完成度などを指す。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333203&opi=se0020&syw=1

教科書 <<新版>>できる・つたわるコミュニケーション中国語 / 岩井伸子 胡興智・白水社、2024年・978-4-560-06943-1



中国語中級II(四) : 中級中国語

村上 幸造

後期 金曜日 2時限 C402

中国語の簡単な文章が理解できること。それを通して日中の文化の違いを知り、中国人と意欲的にコミュニケーションが取れること。

中国語中級 I (四)の続き。毎回、発音練習を行い、未習の語法(=文法)を順次学んでいく。短文の翻訳や作文により授業を進める。中国語のより複雑な表現を身に着け、また中国に対する理解をより深めていけるように。

学習到達度の確認80%(筆記等による、第8、15の計2回)授業中の発表や提出物20%を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121333204&opi=se0020&syw=1

教科書 カレント中国 初級から中級へ / 遠藤光暁・衛榕群・汪暁京・朝日出版社、2018年・978-4-255-45302-6



韓国語初級I(一) : 韓国語の基礎を学ぶ。文字と発音から始まり、基礎文法を学びます。

前期 木曜日 2時限 C303

前期では文字を発音出来るようになり、韓国語のハンミダ体の文体を学びます。

韓国語の文字を見た事があると思います。記号のように見えるかも知れないね。授業では、分かり易いように、日本語と対比しながら、説明していきます。

最初は発音から入りますが、日本語話者にとって分かりにくい所がありますが、心配せずに受講して下さい。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431101&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社、2020・978-4-86398-406-6



韓国語初級I(二)：文字(ハングル)や発音を学習し、韓国語学習の基礎づくり 平井 清実
をします。また簡単な挨拶や自己紹介の表現などについて学習します。

前期 水曜日 3時限 C402

学生が韓国語の文字や発音についてしっかり理解し、読み書きができるようにします。また学生が基礎的な単語や構文等を使い、日常の挨拶や簡単な自己紹介が韓国語でできるようにします。

授業は講義形式となりますが、一方的な講義とはならず、随時学生に質問したり、一緒に声を出して読んだり、板書させたりする授業となります。また、韓国の社会・文化等、韓国事情についても随時、紹介していきます。可能であれば、画像や映像も時々使用したいと思います。特に日本人が間違えやすい発音や表現などもチェックしながら、授業の雰囲気としてはいつも楽しく、そしてしっかりと学んでいけるようにしていきたいと考えています。

平常点+定期試験(16週目に実施)による評価。内訳:平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※ 小テスト:主に单元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(3~4回程度実施)。定期試験:学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度:授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431102&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂版・韓国語の世界へ 入門編 / 李潤玉・酒匂康裕他・朝日出版社, 2024年・978-4-255-55710-6



韓国語初級I(三)：韓国語の基礎を学ぶ。文字と発音から始まり、基礎文法を 許 聖一
学びます。

前期 木曜日 5時限 C303

前期では文字を発音出来るようになり、韓国語のハンミダ体の文体を学びます。

韓国語の文字を見た事があると思います。記号のように見えるかも知れないね。授業では、分かり易いように、日本語と対比しながら、説明していきます。

最初は発音から入りますが、日本語話者にとって分かりにくい所がありますが、心配せずに受講して下さい。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431103&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社, 2020・978-4-86398-406-6



韓国語初級I(四)：韓国語学習をとおりて韓国文化を知ると同時に外国語習 朴 恩珠
得の楽しさを味わう。

前期 火曜日 2時限 C402

1. 韓国語の文字の読み書きができる。2. 自己紹介や日常生活における簡単な会話ができる。3. 韓国文化を知る。

文字の理解や韓国を知るための入門講座である。文字の学習においては、会話や歌、及び学習アプリを利用して発音と綴りを正確に習得していく。「読む・聞く・書く・話す」という4つ技能を使ってコミュニケーション能力を向上していく。K-POPや韓国ドラマなどをとおして韓国の大衆文化を紹介する。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431104&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラネ 韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社, 2022年・978-4-86398-456-1



韓国語初級I(五)：韓国語学習をとおりて韓国文化を知ると同時に外国語習 朴 恩珠
得の楽しさを味わう。

前期 水曜日 2時限 C401

1. 韓国語の文字の読み書きができる。2. 自己紹介や日常生活における簡単な会話ができる。3. 韓国文化を知る。

文字の理解や韓国を知るための入門講座である。文字の学習においては、会話や歌、及び学習アプリを利用して発音と綴りを正確に習得していく。「読む・聞く・書く・話す」という4つ技能を使ってコミュニケーション能力を向上していく。K-POPや韓国ドラマなどをとおして韓国の大衆文化を紹介する。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431105&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラネ 韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社, 2022年・978-4-86398-456-1



韓国語初級I(六)：韓国語の基礎を学ぶ。文字と発音から始まり、基礎文法を 許 聖一
学びます。

前期 木曜日 4時限 C303

前期では文字を発音出来るようになり、韓国語のハンミダ体の文体を学びます。

韓国語の文字を見た事があると思います。記号のように見えるかも知れないね。授業では、分かり易いように、日本語と対比しながら、説明していきます。

最初は発音から入りますが、日本語話者にとって分かりにくい所がありますが、心配せずに受講して下さい。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431106&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社, 2020・978-4-86398-406-6



韓国語初級I(八)：文字(ハングル)や発音を学習し、韓国語学習の基礎づくり 平井 清実
をします。また簡単な挨拶や自己紹介の表現などについて学習します。

前期 水曜日 5時限 C402

学生が韓国語の文字や発音についてしっかり理解し、読み書きができるようにします。また学生が基礎的な単語や構文等を使い、日常の挨拶や簡単な自己紹介が韓国語でできるようにします。

授業は講義形式となりますが、一方的な講義とはならず、随時学生に質問したり、一緒に声を出して読んだり、板書させたりする授業となります。また、韓国の社会・文化等、韓国事情についても随時、紹介していきます。可能であれば、画像や映像も時々使用したいと思います。特に日本人が間違えやすい発音や表現などもチェックしながら、授業の雰囲気としてはいつも楽しく、そしてしっかりと学んでいけるようにしていきたいと考えています。

平常点＋定期試験(16週目に実施)による評価。内訳：平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※小テスト：主に単元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(3～4回程度実施)。定期試験：学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度：授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431108&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂版・韓国語の世界へ 入門編 / 李潤玉・酒匂康裕他・朝日出版社、2024年・978-4-255-55710-6



韓国語初級II(一)：韓国語初級Iの続きの講義である。

許 聖一

後期 木曜日 2時限 C303

基礎文法の習得

教科書に沿って講義する。講義は文法中心に行う。特に読む練習を課す。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431201&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社、2020・978-4-86398-406-6



韓国語初級II(二)：文法・文型を中心に韓国語の基礎を総合的に学習します。初級韓国語の基礎固めをします。

平井 清実

後期 水曜日 3時限 C402

学生が韓国語の文の構造をしっかり理解し、読み書きの基礎づくりをします。初級の単語や構文を使い、簡単な日常表現を韓国語できちんと「読む、書く、聞く、話す」ことができるようにします。

授業は講義形式となりますが、一方的な講義とはならず、随時学生に質問したり、読み書きや板書させたりする授業となります。また、韓国の社会・文化等、韓国事情についても随時、紹介していきます。可能であれば、画像や映像も時々使用したいと思います。特に日本人が間違えやすい発音や表現などもチェックしながら、授業の雰囲気としては楽しくしっかりと学んでいけるようにしていきたいと考えています。

平常点＋定期試験(16週目に実施)による評価。内訳：平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※小テスト：主に単元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(3～4回程度実施)。定期試験：学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度：授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431202&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂版・韓国語の世界へ 入門編 / 李潤玉・酒匂康裕他・朝日出版社、2024年・978-4-255-55710-6



韓国語初級II(三)：韓国語初級Iの続きの講義である。

許 聖一

後期 木曜日 5時限 C303

基礎文法の習得

教科書に沿って講義する。講義は文法中心に行う。特に読む練習を課す。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431203&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社、2020・978-4-86398-406-6



韓国語初級II(四)：韓国語学習をとおして韓国文化を知ると同時に外国語習得の楽しさを味わう。

朴 恩珠

後期 火曜日 2時限 C402

1. 日常生活における簡単な話ができ、相手の話を聞き取ることができる。2. 韓国で買い物や注文ができる。

韓国語の読み書きができる学生を対象に簡単な会話表現を学ぶための初級講座である。会話練習においては、ペアやグループを組んで練習を行う。テキストの語彙や会話表現を用いて実用的な韓国語を覚え、コミュニケーション能力を向上していく。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431204&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラ韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社、2022年・978-4-86398-456-1



韓国語初級II(五)：韓国語学習をとおして韓国文化を知ると同時に外国語習得の楽しさを味わう。

朴 恩珠

後期 水曜日 2時限 C401

1. 日常生活における簡単な話ができ、相手の話を聞き取ることができる。2. 韓国で買い物や注文ができる。

韓国語の読み書きができる学生を対象に簡単な会話表現を学ぶための初級講座である。会話練習においては、ペアやグループを組んで練習を行う。テキストの語彙や会話表現を用いて実用的な韓国語を覚え、コミュニケーション能力を向上していく。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431205&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラ韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社、2022年・978-4-86398-456-1



韓国語初級Ⅱ(六)：韓国語初級Ⅰの続きの講義である。

許 聖一

後期 木曜日 4時限 C303

基礎文法の習得

教科書に沿って講義する。講義は文法中心に行う。特に読む練習を課す。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431206&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社, 2020. 978-4-86398-406-6



韓国語初級Ⅱ(八)：文法・文型を中心に韓国語の基礎を総合的に学習します。初級韓国語の基礎固めをします。

平井 清実

後期 水曜日 5時限 C402

学生が韓国語の文の構造をしっかり理解し、読み書きの基礎づくりをします。初級の単語や構文を使い、簡単な日常表現を韓国語できちんと「読む、書く、聞く、話す」ことができるようにします。

授業は講義形式となりますが、一方的な講義とはならず、随時学生に質問したり、読み書きや板書させたりする授業となります。また、韓国の社会・文化等、韓国事情についても随時、紹介していきます。可能であれば、画像や映像も時々使用したいと思います。特に日本人が間違えやすい発音や表現などもチェックしながら、授業の雰囲気としては楽しくしっかりと学んでいけるようにしていきたいと考えています。

平常点+定期試験(16週目に実施)による評価。内訳：平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※小テスト：主に単元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(3~4回程度実施)。定期試験：学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度：授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121431208&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂版・韓国語の世界へ 入門編 / 李潤玉・酒匂康裕 他・朝日出版社, 2024年. 978-4-255-55710-6



韓国語中級Ⅰ(一)：初級程度の韓国語で書かれた文章や会話フレーズ等を学 平井 清実

前期 水曜日 4時限 C402

習しながら韓国事情についても理解を深める。

1. 学生が韓国語の文法力・表現力を向上させ、初級程度の韓国語の文章を十分読解できるようにする。
2. 学生が韓国事情(社会・文化)を学び、隣国への理解を深めることができるようにする。

授業は概ね講義、解説、練習問題、表現学習、読解発表、音読練習等となる。読解においては、あらかじめ一人一人に割り当てた部分を準備し、発表する。ちょうど英語のリーダーのような形となる。読解文は韓国の社会や文化をテーマとして書かれているが、初級学習者でも学習できるよう基礎的な韓国語で書かれている。また授業内容を補うためプリント資料や写真、時には映像メディアなども可能な限り積極的に取り入れて解説する予定である。

平常点+定期試験(16週目に実施)による評価。内訳：平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※小テスト：主に単元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(2~3回程度実施)。定期試験：学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度：授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433101&opi=se0020&syw=1

教科書 授業時のプリント教材配布、その他。



韓国語中級Ⅰ(二)：韓国語の初級Ⅱの続きの講義である。

許 聖一

前期 木曜日 3時限 C303

韓国語の中級の講義である。

初級Ⅰ・Ⅱを終えた学生を対象にしています。基礎文法の習得。

基礎で習った教科書に沿って、プリント配布する。講義は文法中心に行う。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433102&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社, 2020. 978-4-86398-406-6



韓国語中級Ⅰ(三)：韓国語学習をとおして韓国文化を知る。韓国語の語彙力 朴 恩珠

前期 水曜日 3時限 C401

や表現力を向上させ、ニュースや新聞の内容が理解できるようになる。

1. 韓国語で作文ができる。2. 一人で韓国に行っても困らないレベルの会話ができる。
3. 韓国語TOPIKⅡの合格を目指す。

ニュースや新聞が理解できるための中級講座である。学習においては、語彙や表現を学習しながら、小道具を利用して様々な状況を設定し、それに応じた会話表現を習得していく。より自然な韓国語コミュニケーション能力を向上していく。K-POPや韓国ドラマなどをとおして韓国の大衆文化について話し合いながら他国の文化に対する理解を深めていく。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433103&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラネ 韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社, 2022年. 978-4-86398-456-1



韓国語中級Ⅱ(一)：初級～中級程度の韓国語で書かれた文章や会話フレーズ等を学習しながら韓国事情についても理解を深める。 平井 清実

後期 水曜日 4時限 C402

1. 学生が韓国語の文法力・表現力を向上させ、初級～中級程度の韓国語の文章を読解できるようにする。
2. 学生が韓国事情(社会・文化)に対し、より一層理解を深めることができるようにする。

授業は概ね講義、解説、練習問題、表現学習、読解発表、音読練習等となる。読解においては、あらかじめ一人一人に割り当てた部分を準備し、発表する。ちょうど英語のリーダーのような形となる。読解文は韓国の社会や文化をテーマとして書かれているが、初級学習者でも学習できるよう基礎的な韓国語で書かれている。また授業内容を補うためプリント資料や写真、時には映像メディアなども可能な限り積極的に取り入れて解説する予定である。

平常点＋定期試験(16週目に実施)による評価。内訳：平常点50%(小テスト20%、課題および学習態度等30%)および定期試験50% ※小テスト：主に単元ごとの基本的学習内容の定着度を評価する(2～3回程度実施)。定期試験：学期内の学習全般の総合的な習得度を評価する。課題および学習態度：授業や課題に対し、真摯に積極的に取り組む態度、姿勢を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433201&opi=se0020&syw=1

教科書 授業時のプリント教材配布、その他。



韓国語中級Ⅱ(二)：韓国語の中級Ⅰの続きの講義である。

許 聖一

後期 木曜日 3時限 C303

基礎文法の習得。

教科書に沿って講義する。講義は文法中心に行う。特に読む練習を課す。

平常点30点。(予習の取り組みなど授業に臨む姿勢を見る)

定期試験70点。(授業の内容を正しく理解しているか)総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433202&opi=se0020&syw=1

教科書 ことばの架け橋 精選版 / 生越直樹・白帝社、2020. 978-4-86398-406-6



韓国語中級Ⅱ(三)：韓国語学習をとおして韓国文化を知る。韓国語の語彙力や表現力を向上させ、ニュースや新聞の内容が理解できるようになる。 朴 恩珠

後期 水曜日 3時限 C401

1. 韓国語で作文ができる。2. 一人で韓国に行っても困らないレベルの会話ができる。
3. 韓国語TOPIKⅡの合格を目指す。

ニュースや新聞が理解できるための中級講座である。学習においては、語彙や表現を学習しながら、小道具を利用して様々な状況を設定し、それに応じた会話表現を習得していく。より自然な韓国語コミュニケーション能力を向上していく。K-POPや韓国ドラマなどをとおして韓国の大衆文化について話し合いながら他国の文化に対する理解を深めていく。

評価の基準は小テスト(筆記)25%、実技テスト(口頭発表)25%、平常点(宿題&課題や授業参加度など)20%、学習到達度確認テスト30%の割合で成績評価をする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121433203&opi=se0020&syw=1

教科書 チュクチュクチャラネ 韓国語初級 / 朴恩珠・森類臣・権世美・白帝社、2022年. 978-4-86398-456-1



日本語Ⅰ：総合日本語Ⅰ

キャンベル 早川 久美子 前期 水曜日 4時限 C306

総合的な日本語コミュニケーション能力の向上

大学で求められる日本語力を総合的に取り上げ、タスクを通して実践力をつける。具体的には大学生活のさまざまな場面を取り上げ、情報を聞く、読む、理解する受信型スキルと、話す、書く発信型スキルを身につけることを目指す。

学習到達度確認テスト(50%)、平常点(50%)で総合的に評価する。平常点とは、小テスト、課題、取り組み姿勢・意欲を含む授業参加度とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500100&opi=se0020&syw=1

教科書 大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ[音声ダウンロード版] / 佐々木瑞枝他・The Japan Times, 2023. 9784789018739



日本語Ⅱ：総合日本語Ⅱ

キャンベル 早川 久美子 後期 水曜日 4時限 C306

総合的なコミュニケーション能力の向上

日本語Ⅰに引き続き、大学で求められる日本語力を総合的に取り上げ、タスクを通して実践力をつける。具体的には大学でのさまざまな場面での受信型スキルおよび発信型スキルを体験的に学習する。

学習到達度確認テスト(50%)、平常点(50%)で総合的に評価する。平常点とは、小テスト、課題(プレゼンテーション・模擬討論等を含む)、授業参加度とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500200&opi=se0020&syw=1

教科書 大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ[音声ダウンロード版] / 佐々木瑞枝他・The Japan Times, 2023. 9784789018739



日本語Ⅲ：日本語文法(N1)

キャンベル 早川 久美子 前期 水曜日 5時限 C306

実際の言語生活に役立つ文法形式の理解と日本語運用能力の養成

テキストは、N1試験対策問題集を用いるが、単にN1事項の習得のみではなく、文章表現全般を扱うことによって、幅広い場面への対応を含む。授業は文法事項の説明をしたのち、問題演習で進める。加えて、適宜、小テーマによるディスカッションを行う。

学習到達度確認テスト(40%)、平常点(60%)で総合的に評価する。平常点とは、宿題・課題・授業参加度とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500300&opi=se0020&syw=1

教科書 新完全マスター文法日本語能力試験 N1 / 友松悦子他・スリーエーネットワーク、2011. 9784883195640



日本語Ⅳ：日本語文法(N1)

キャンベル 早川 久美子 後期 水曜日 5時限 C306

N1レベルの文法形式の理解と日本語運用能力の向上

単にN1レベルの習得を目指すのではなく、表現全般を扱うことによって、さまざまな場面に対応できる運用力を培う。授業は文法事項の確認の後、問題演習で進める。加えて、適宜小テーマによるディスカッションを行う。

学習到達度確認テスト(40%)、平常点(60%)で総合的に評価する。平常点とは、小テスト(20%)、プレゼンテーション(20%)、宿題・課題(10%)、授業参加度(10%)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500400&opi=se0020&syw=1

教科書 新完全マスター文法日本語能力試験 N1 / 友松悦子他・スリーエーネットワーク, 2011. 978488319564



日本語Ⅴ：内容志向の上級読解

谷山 徹

前期 木曜日 4時限 C402

文脈をたどりながら、様々な日本語の文章が読めるようになることを目指す。

教科書に収録されている作品の中から、エッセイや評論など前寄りの5つを取り上げる。読み方としては、言語項目よりも内容把握に重点を置く。

学習到達度確認50%(授業内容の理解度及び提出物の内容的完成度)、平常点50%(授業に対する姿勢及び積極性)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500500&opi=se0020&syw=1

教科書 日本文化を読む / (公財)京都日本語教育センター・アルク, 2018年. 978-4-7574-1473-0



日本語Ⅵ：内容志向の上級読解

谷山 徹

後期 木曜日 4時限 C402

文脈をたどりながら、様々な日本語の文章が楽しんで読めるようになることを目指す。

教科書に収録されている作品の中から、児童文学や評論など後ろ寄りの4つを取り上げる。読み方としては、内容把握に加え、内容を味わい楽しむことにも重点を置く。

学習到達度確認50%(授業内容の理解度及び提出物の内容的完成度)、平常点50%(授業に対する姿勢及び積極性)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500600&opi=se0020&syw=1

教科書 日本文化を読む / (公財)京都日本語教育センター・アルク, 2018年. 978-4-7574-1473-0



日本語Ⅶ：作文力の向上

谷山 徹

前期 木曜日 5時限 C402

普通体で、ある程度の長さの文章が書けるようになることを目指す。

教科書の第Ⅰ部を取り上げ、書き言葉としての語彙や表現形式を増やす。合わせて作文指導を行う。

学習到達度確認50%(授業内容の理解度及び提出物の内容的完成度)、平常点50%(授業に対する姿勢及び積極性)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500700&opi=se0020&syw=1

教科書 アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習 / 鎌田 美千子 仁科 浩美・スリーエーネットワーク, 2018年. 978-4-88319-681-4



日本語Ⅷ：作文力の向上

谷山 徹

後期 木曜日 5時限 C402

ある程度の長さの論理的な文章が書けるようになることを目指す。

教科書の第Ⅱ部と第Ⅲ部文を取り上げ、書き言葉としての簡潔な表現を学ぶ。併せて作文指導を行う。

学習到達度確認50%(授業内容の理解度及び提出物の内容的完成度)、平常点50%(授業に対する姿勢及び積極性)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_121500800&opi=se0020&syw=1

教科書 アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習 / 鎌田 美千子 仁科 浩美・スリーエーネットワーク, 2018年. 978-4-88319-681-4



スポーツ実技Ⅰ(一)：現代社会における運動の必要性への理解を深め、正しく 津田 真一郎

前期 月曜日 2時限 体育館

実践する力を養うことにより、生涯スポーツへの展望をひらく

・仲間とからだを動かすことにより得られる言葉を越えたコミュニケーション感覚を体験する ・スポーツマンシップやリーダーシップを習得する ・運動・スポーツの意義や楽しさを理解し、継続的に実践できる

現代人は、ストレス社会の中で生活することを余儀なくされ、近代化より運動不足病とも呼ばれる生活習慣病を患うケースが多くなってきている。最近の研究では、適度な運動実施により身体的な健康の維持・増進を図ることが可能であるだけでなく、メンタルヘルスの向上にも効果があることが報告されている。本科目では、レクリエーション・スポーツを行うことにより、生涯スポーツの意義とその方法について学習する。

積極性70%(取組み姿勢)、スポーツマンシップ・リーダーシップ20%、技能上達の度合い10%により評価する。尚、出席は最低条件とし、全講義回数の2/3以上の出席のない場合は「評価なし」とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011001&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない、必要に応じて資料等を配付する。



スポーツ実技I(二)：現代社会における運動の必要性への理解を深め、正しく 津田 真一郎
実践する力を養うことにより、生涯スポーツへの展望をひらく

後期 月曜日 2時限 体育館

・仲間とからだを動かすことにより得られる言葉を超えたコミュニケーション感覚を体験する ・スポーツマンシップやリーダーシップを習得する ・運動・スポーツの意義や楽しさを理解し、継続的に実践できる



現代人は、ストレス社会の中で生活することを余儀なくされ、近代化より運動不足病とも呼ばれる生活習慣病を患うケースが多くなってきている。最近の研究では、適度な運動実施により身体的な健康の維持・増進を図ることが可能であるだけでなく、メンタルヘルスの向上にも効果があることが報告されている。本科目では、レクリエーション・スポーツを行うことにより、生涯スポーツの意義とその方法について学習する。

積極性70%(取組み姿勢)、スポーツマンシップ・リーダーシップ20%、技能上達の度合い10%により評価する。尚、出席は最低条件とし、全講義回数の2/3以上の出席のない場合は「評価なし」とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011002&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない、必要に応じて資料等を配付する。

スポーツ実技I(三)：現代社会における運動(スポーツ)の重要性を学び、自 坂手 比呂志
律的かつ主体的に楽しむ。

前期 火曜日 4時限 体育館

自律的かつ積極的に「運動と健康」「仲間づくり」などの心構えができる。



現代人に多い運動不足を起因とする生活習慣病やストレスフルな社会における対応策の一助として、現代社会ではスポーツを習慣化できることが求められている。その「きっかけづくり」として、本授業で展開するスポーツ種目(多種目)に必要な「基礎技術や主なルール」を学び、さらに各々がグループ活動と試合を楽しめるよう「自律的かつ積極的」に実践できる心構えが必要になる。

さらに言えば、今後もスポーツを習慣化させるための「きっかけ」をつかむべく、良好なコミュニケーション力の向上、仲間づくり、協調性、挑戦意欲や学習意欲の高揚などについて理解し、各々に求められる人格形成に寄与できる「能力や態度」を身につけることを目標に実施する。

授業への積極的参加度30%、授業への取り組み方25%、授業中の記録等45%を総合的に判断し評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011003&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて紹介する。

スポーツ実技I(四)：現代社会における運動(スポーツ)の重要性を学び、自 坂手 比呂志
律的かつ主体的に楽しむ。

後期 火曜日 4時限 体育館

自律的かつ積極的に「運動と健康」「仲間づくり」など心構えができる。



現代人に多い運動不足を起因とする生活習慣病やストレスフルな社会における対応策の一助として、現代社会ではスポーツを習慣化できることが求められている。その「きっかけづくり」として、本授業で展開するスポーツ種目(多種目)に必要な「基礎技術や主なルール」を学び、さらに各々がグループ活動と試合を楽しめるよう「自律的かつ積極的」に実践できる心構えが必要になる。

さらに言えば、今後もスポーツを習慣化させるための「きっかけ」をつかむべく、良好なコミュニケーション力の向上、仲間づくり、協調性、挑戦意欲や学習意欲の高揚などについて理解し、各々に求められる人格形成に寄与できる「能力や態度」を身につけることを目標に実施する。

授業への積極的参加度30%、授業への取り組み方25%、授業中の記録等45%を総合的に判断し評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011004&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて紹介する。

スポーツ実技I(六)：現代社会における運動の必要性への理解を深め、正しく 津田 真一郎
実践する力を養うことにより、生涯スポーツへの展望をひらく

前期 月曜日 3時限 体育館

・仲間とからだを動かすことにより得られる言葉を超えたコミュニケーション感覚を体験する ・スポーツマンシップやリーダーシップを習得する ・運動・スポーツの意義や楽しさを理解し、継続的に実践できる



現代人は、ストレス社会の中で生活することを余儀なくされ、近代化より運動不足病とも呼ばれる生活習慣病を患うケースが多くなってきている。最近の研究では、適度な運動実施により身体的な健康の維持・増進を図ることが可能であるだけでなく、メンタルヘルスの向上にも効果があることが報告されている。本科目では、レクリエーション・スポーツを行うことにより、生涯スポーツの意義とその方法について学習する。

積極性70%(取組み姿勢)、スポーツマンシップ・リーダーシップ20%、技能上達の度合い10%により評価する。尚、出席は最低条件とし、全講義回数の2/3以上の出席のない場合は「評価なし」とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011006&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない、必要に応じて資料等を配付する。

スポーツ実技I(九)：スポーツの楽しさを学ぶことと、競技力向上を目的とす 田中 奏一
る。また、チームスポーツを通してコミュニケーションスキルを習得する。

前期 金曜日 1時限 体育館

積極的に身体を動かし課題にチャレンジするようになる。各スポーツの基本的な技術を習得する。チームで解決する習慣を身につける。



本授業は、複数種目のスポーツを体験し、その魅力、楽しさについて学ぶと共に、競技力向上を目指すことを目的とする。チームメイトと共に協力して勝利を目指すために技術と戦術、コミュニケーションスキルを習得する。スポーツクラブでのコーチ経験を基に、スポーツを楽しむための基本的な技術の向上から、戦術までを実践する。また、生涯スポーツとしてスポーツを捉え、健康的な生活に寄与する考え方を養う。

授業への積極的な参加を重点的に評価する。その他、ルールの理解、基本的技術とコミュニケーション上達度など総合的に評価する。遅刻は減点の対象となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131011009&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用しない。

スポーツ実技Ⅱ(一)：文化としてのスポーツの重要性を学び、ゲームを主体的に楽しめるようになること。 坂手 比呂志

前期 火曜日 3時限 体育館

卓球の競技特性を知り基礎練習を繰り返すことにより、生涯にわたってゲームを楽しむことができる。

人間形成を図る教育効果が期待されるスポーツには、個人・対人及び集団の中で「遊び」「競争」「全身運動」の三要素が包括的に含まれている。このスポーツの本質を経験し、自己の発見(他者との差異など)に気づくことができる。また、その局面では、互いの存在意義や存在価値を理解することによって、認め合い、信頼し、助け合う精神が醸成される。これらを共通意識としてコミュニケーション力の向上とともに、下記内容でスポーツ実技を実施する。種目は卓球であり、卓球の理論と実際について実施する。



授業への積極的参加度30%、授業への取り組み方25%、授業中の記録等45%を総合的に判断し評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012001&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて紹介する。

スポーツ実技Ⅱ(二)：文化としてのスポーツの重要性を学び、ゲームを主体的に楽しめるようになること。 坂手 比呂志

後期 火曜日 3時限 体育館

バドミントンの競技特性を知り基礎練習を繰り返すことにより、生涯にわたってゲームを楽しむことができる。

人間形成を図る教育効果が期待されるスポーツには、個人・対人及び集団の中で「遊び」「競争」「全身運動」の三要素が包括的に含まれている。このスポーツの本質を経験し、自己の発見(他者との差異など)に気づくことができる。また、その局面では、互いの存在意義や存在価値を理解することによって、認め合い、信頼し、助け合う精神が醸成される。これらを共通意識としてコミュニケーション力の向上とともに、下記内容でスポーツ実技を実施する。種目はバドミントンであり、バドミントンの理論と実際について実施する。



授業への積極的参加度30%、授業への取り組み方25%、授業中の記録等45%を総合的に判断し評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012002&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて紹介する。

スポーツ実技Ⅱ(七)：ゴール型スポーツの楽しさを学ぶことと、競技力向上を目的とする。また、チームスポーツを通してコミュニケーションスキルを習得する。 田中 奏一

前期 金曜日 2時限 体育館

積極的に身体を動かし課題にチャレンジするようになる。ゴール型スポーツの基本的な技術を習得する。チーム戦術を理解する。チームで解決する習慣を身につける。

本授業は、3種目のゴール型スポーツを体験し、その魅力、楽しさについて学ぶと共に、競技力向上を目指すことを目的とする。チームメイトと共に協力して「ゴール」という1つの目標を達成するために技術と戦術、コミュニケーションスキルを習得する。プロサッカー選手として長く活動してきた経験に基づき、ゴール型スポーツを楽しむため必要な基本的な技術の向上から、「ゴールを奪う」や「ゴールを守る」ための初歩的なチーム戦術を実践する。また、生涯スポーツとしてゴール型スポーツを捉え、健康的な生活に寄与する考え方を養う。



授業への積極的な参加を重点的に評価する。その他、ルールの理解、基本的技術とコミュニケーション上達度など総合的に評価する。遅刻は減点の対象となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012007&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用しない。

スポーツ実技Ⅱ(十)：硬式テニスを通じて運動の必要性への理解を深め、生涯スポーツへの展望をひらく 津田 真一郎

後期 月曜日 3時限 体育館

・仲間とからだを動かすことにより得られる言葉を超えたコミュニケーション感覚を体験する・スポーツマンシップやリーダーシップの習得・運動・スポーツの意義や楽しさを理解し、継続的に実践できる

本科目では、性別を問わず、子供から高齢者までの幅広い世代で気楽に楽しめる硬式テニスを行なうことにより、生涯スポーツへのきっかけとし、ルールやマナー、技術の習得、体力の維持・増進を図ることを目標とする。さらに、スポーツ活動を通じたコミュニケーション能力を養うことにより、より良い人間性の育成を目指す。



積極性70%(取組み姿勢)、スポーツマンシップ・リーダーシップ20%、技能上達の度合い10%により評価する。尚、出席は最低条件とし、全講義回数の2/3以上の出席のない場合は「評価なし」とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012010&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない、必要に応じて資料等を配付する。

スポーツ実技Ⅱ(十一)：健康生活をおくるために、身体活動の重要性を、スポーツを通して理解する。 高橋 哲以

前期 水曜日 1時限 体育館

自主性や個性を養うと同時に、体を動かす楽しみを感じ、運動を習慣化できるような基礎を確立する。

初めてバドミントンを経験する者も、基本技術を練習過程により身につけ、ゲームを楽しむ。また、ダブルスゲームや団体戦を通して、仲間を信頼することや協調性を育む。



技能(ゲーム対戦成績)、授業態度(積極的な授業参加率・自発的なゲーム対戦・他者とのコミュニケーションを図り、受け身ではない行動を考え実行する)を総合評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012011&opi=se0020&syw=1

教科書

スポーツ実技Ⅱ(十二)：健康生活をおくるために、身体活動の重要性を、ス 高橋 哲以 後期 水曜日 2時限 体育館
ポーツを通して理解する

自主性や個性を養うと同時に、体を動かす楽しみを感じ、運動を習慣化できるような基礎を確立する

初めてバドミントンを経験する者も、基本技術を練習過程により身につけ、ゲームを楽しむ。また、ダブルスゲームや団体戦を通して、仲間を信頼することや協調性を育む。

技能(ゲーム対戦成績)、授業態度(積極的な授業参加率・自発的なゲーム対戦・他者とのコミュニケーションを図り、受け身ではない行動を考え実行する)を総合評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_131012012&opi=se0020&syw=1

教科書



健康科学Ⅰ(一)：本講義では、医学の基本や診断・治療について学びます。次 元根 正晴 前期 木曜日 2時限 C205
に予防医学や公衆衛生学を学び、最後に医療経済を学びます。

- ・医学と医療の現状について説明できること。
- ・文科系学生として、医療の多職種連携について説明できること。

教科書(医学概論:南江堂 中島 泉)にそって授業をすすめます。毎回、授業素材は提供いたしますので、医療についての理解を深めて頂き、毎授業ごとに課題を提示しますので、ミニレポートを記載して提出してください。教科書による予習→授業の聴講→ミニレポートによる復習のサイクルを確立しましょう。

本講義では、医学の基本や診断・治療について学びます。次に予防医学や公衆衛生学を学び、最後に医療経済を学びます。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_132031001&opi=se0020&syw=1

教科書 医学概論:医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島 泉・南江堂, 2015年. 978-4-524-26751-4 50の
キーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子・丸善出版, 2026年. 978-4-621-31228-5



健康科学Ⅰ(二)：本講義では、医学の基本や診断・治療について学びます。次 元根 正晴 後期 木曜日 3時限 C205
に予防医学や公衆衛生学を学び、最後に医療経済を学びます。

- ・医学と医療の現状について説明できること。
- ・文科系学生として、医療の多職種連携について説明できること。

教科書(医学概論:南江堂 中島 泉)にそって授業をすすめます。毎回、授業素材は提供いたしますので、医療についての理解を深めて頂き、毎授業ごとに課題を提示しますので、ミニレポートを記載して提出してください。教科書による予習→授業の聴講→ミニレポートによる復習のサイクルを確立しましょう。

ミニレポートの内容で可否を判定します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_132031002&opi=se0020&syw=1

教科書 医学概論:医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島 泉・南江堂, 2015年. 978-4-524-26751-4 50の
キーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子・丸善出版, 2026年. 978-4-621-31228-5



健康科学Ⅱ(一)：「健やかに生きる力を支える健康科学(健康・生命と社会の 島本 太香子 前期 金曜日 3時限 C105.
関わりを知る)」 前期 金曜日 3時限 体育館

健康を守り支えるための社会的基盤および生命科学からみた人間の生死について多角的に学び、将来の健やかな生き方のために自ら選択し行動する力を養います。

健康科学Ⅰでは個体レベルでの健康を中心にとりあげますが、健康科学Ⅱでは、健康を守る社会的な取り組みと生命科学からみた人間の生死について総合的に学びます。授業は医師として患者の治療や医療行政に従事した経験を踏まえ、医療技術の最前線と人間の生と死に人為的介入が可能となったことで揺らぎ始めたのちに関する価値観を生命倫理学の立場から講義します。さらに健康を守る社会の仕組みを公衆衛生学の視点から講義し、学生が生涯を通じて健やかに生きる上で自ら適切に選択、行動する力を身につけることを目指します。

最終授業での学習到達確認20%(生命科学からみた人間、公衆衛生学的な健康に対する理解、将来の自分の健康に対する適切な課題意識を総合的に評価する)と授業中のミニレポート80%(毎回の授業内容の理解度を確認する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_132032001&opi=se0020&syw=1

教科書 50のキーワードで学ぶ健康科学 / 島本太香子編著・丸善出版, 2026. 9784621312285 生きることの人間論 / 島本太香子他・ナカニシヤ出版, 2016. 9784779510335



健康科学Ⅱ(四)：生涯の健康について自ら考え理解する。 坂手 比呂志 前期 水曜日 2時限 C204.
前期 水曜日 2時限 体育館

自律的かつ積極的に、健康についての心構えを身につける。

現代人に多い運動不足を起因とする生活習慣病やストレスフルな社会における対応策の一助として、現代社会では運動(スポーツ)習慣を身につけることが求められている。言いかえると長い人生の中で「心と身体」を健康的に営んでいくために、各々の生活の中に運動(スポーツ)を積極的に取り入れ、生き活きとした活力ある「ライフステージ」を創造できることが求められていると考えることができる。

その「きっかけづくり」として、本講義では「健康と運動(スポーツ科学)」を結びつけるための「運動と生活習慣病」「運動と重力(地球)および無重力(宇宙)の関係」「運動と森林セラピー」「運動と心拍数」「運動と体力・健康づくり」「運動と骨」「運動と筋肉」「運動と栄養」などについて学び、生涯の「ライフステージ」を考える入門講義とする。

授業への積極的参加度30%、毎回の課題45%、レポート提出25%を総合的に判断し評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_132032004&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて紹介する。



健康科学II(五)：運動・栄養・教育心理・脳科学コーチングの観点から、健康 高橋 哲以
的で幸せな生活を送るための知識と技術を得る

後期 木曜日 2時限 C104.
後期 木曜日 2時限 体育館

健康の維持、増進に必要な、運動・メンタルヘルス・栄養の知識を習得し、社会生活に活かす基礎を確立する。
脳科学コーチングの観点から、自己実現する為のロジックと方法論を学ぶ。

実技と座学の両面から、社会生活における健康の維持、増進に繋がる知識と経験を得る

授業内レポート60%(授業内容を正しく理解しているか)
実技発表30%(発表内容の充実度と対象者の満足度)
最終レポート10%(授業を理解し自らの考えを織り込む)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_132032005&opi=se0020&syw=1

教科書



情報倫理(一)：インターネット社会で生きるために！

横田 浩

前期 月曜日 3時限 C204

功罪両面をもつインターネットを、節度をもって利用するための知識と倫理観を身につける。

本科目は、現代の情報(インターネット)社会で活動する上で必要な最低限の知識を解説する。現在の情報社会には光と影がある。この影の部分に焦点を当て、情報社会を「秩序ある社会」にするにはどのようにすればよいかを、技術的側面、法的側面、倫理的側面から考える。

小テスト・課題60%(項目ごとの理解度を確認する)、定期試験40%(筆記による試験で、情報倫理に関する基本的概念や知識を有し、実践面に応用できる能力を身につけているかを問う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111002501&opi=se0020&syw=1

教科書 インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版 / 情報教育学会(IEC)・情報倫理教育研究グループ
[編]・実教出版、2018年・978-4-407-34621-3



情報倫理(二)：インターネット社会で生きるために！

横田 浩

前期 水曜日 4時限 C302

功罪両面をもつインターネットを、節度をもって利用するための知識と倫理観を身につける。

本科目は、現代の情報(インターネット)社会で活動する上で必要な最低限の知識を解説する。現在の情報社会には光と影がある。この影の部分に焦点を当て、情報社会を「秩序ある社会」にするにはどのようにすればよいかを、技術的側面、法的側面、倫理的側面から考える。

小テスト・課題60%(項目ごとの理解度を確認する)、定期試験40%(筆記による試験で、情報倫理に関する基本的概念や知識を有し、実践面に応用できる能力を身につけているかを問う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111002502&opi=se0020&syw=1

教科書 インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版 / 情報教育学会(IEC)・情報倫理教育研究グループ
[編]・実教出版、2018年・978-4-407-34621-3



情報倫理(三)：情報社会で生きるために！

吉田 光次

前期 火曜日 4時限 C302

功罪両面をもつインターネットを節度をもって利用する知識・技術と倫理観を身につける。

本科目は、現代の情報社会で活動する上で必要な最低限の知識を解説する。インターネットはいまや、積極的・主体的に社会と関わっていく上で欠かせないコミュニケーションツールである。しかし、多くの人が、現在の情報社会には光と影があることを感じている。この影の部分に光を当て、情報社会を「秩序ある社会」にするにはどのようにすればよいかを、技術的側面、法的側面、倫理的側面から考える。

e-Learning内で実施する小テストの成績50点、試験期間中の筆記試験の成績50点を合計して評価する。ネット社会での実践的な知識を問う。小テストは授業期間中に随時実施するので、授業中の指示に注意すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111002503&opi=se0020&syw=1

教科書 インターネット社会を生きるための情報倫理 / 情報教育学会・情報倫理教育研究グループ・実教出版、
2018・978-4-407-34621-3



情報倫理(四)：インターネット社会で生きるために！

横田 浩

後期 金曜日 4時限 C105

功罪両面をもつインターネットを、節度をもって利用するための知識と倫理観を身につける。

本科目は、現代の情報(インターネット)社会で活動する上で必要な最低限の知識を解説する。現在の情報社会には光と影がある。この影の部分に焦点を当て、情報社会を「秩序ある社会」にするにはどのようにすればよいかを、技術的側面、法的側面、倫理的側面から考える。

小テスト・課題60%(項目ごとの理解度を確認する)、定期試験40%(筆記による試験で、情報倫理に関する基本的概念や知識を有し、実践面に応用できる能力を身につけているかを問う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111002504&opi=se0020&syw=1

教科書 インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版 / 情報教育学会(IEC)・情報倫理教育研究グループ
[編]・実教出版、2018年・978-4-407-34621-3



情報倫理(五)：情報社会で生きるために！

吉田 光次

後期 火曜日 4時限 C105

功罪両面をもつインターネットを節度をもって利用する知識・技術と倫理観を身につける。

本科目は、現代の情報社会で活動する上で必要な最低限の知識を解説する。インターネットはいまや、積極的・主体的に社会と関わっていく上で欠かせないコミュニケーションツールである。しかし、多くの人が、現在の情報社会には光と影があることを感じている。この影の部分に光を当て、情報社会を「秩序ある社会」にするにはどのようにすればよいかを、技術的側面、法的側面、倫理的側面から考える。

e-Learning内で実施する小テストの成績50点、試験期間中の筆記試験の成績50点を合計して評価する。ネット社会での実践的な知識を問う。小テストは授業期間中に随時実施するので、授業中の指示に注意すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111002505&opi=se0020&syw=1

教科書 インターネット社会を生きるための情報倫理 / 情報教育学会・情報倫理教育研究グループ・実教出版、
2018・978-4-407-34621-3



情報リテラシー(一)：情報処理や分析に必要なデータの取扱いの基本を学ぶ 横田 浩

前期 金曜日 2時限 C101

データを読み理解し、加工できるようになる。表やグラフを読み理解し、データから表やグラフを作成できるようになる。データとグラフを組み合わせ、適切な分析ができるようになる。

情報処理の実習授業の準備として、データの種類や活用方法にどのようなものがあるかを知り、理解することが目的である。そのためには講義を聴くだけでは不十分であり、毎回の授業で課題に取り組む形式で進める。さらに、主として項目ごとにe-Learningを用いた小テスト・課題で理解度の再確認を行う。自分で考える習慣を身に付けることが重要である。問題文や指示を正しく理解することも情報リテラシーである。

毎回の授業中の課題75%(内容の理解度や自分で考えているかを評価する)、適宜実施する小テスト・課題25%(課題をやり直すなど理解を深める努力をしているかを確認する)。定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111003001&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、毎回プリントを配付する



情報リテラシー(二)：情報処理に必要なデータの取扱いの基本を学ぼう

吉田 光次

前期 金曜日 4時限 C105

データを読み理解し、加工できるようにする。グラフを読み理解し、データからグラフを作成できるようにする。データとグラフを組み合わせ、適切な分析とプレゼンテーションができるようにする。

情報処理の実習授業を受講する準備として、データにどのようなものがあるのか、データのまとめ方にどのようなものがあるのかを知り、理解する。授業時間中に計算などの作業を行い、毎回提出する。

毎回提出する問題への回答や数回実施される復習問題で、理解度や自ら考える態度を判定する。正しい回答も評価されるが、自身でよく考えることが重要であり、独自性のある回答には加点をして評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111003002&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



情報リテラシー(三)：情報処理に必要なデータの取扱いの基本を学ぼう

吉田 光次

前期 月曜日 2時限 A130

データを読み理解し、加工できるようにする。グラフを読み理解し、データからグラフを作成できるようにする。データとグラフを組み合わせ、適切な分析とプレゼンテーションができるようにする。

情報処理の実習授業を受講する準備として、データにどのようなものがあるのか、データのまとめ方にどのようなものがあるのかを知り、理解する。授業時間中に計算などの作業を行い、毎回提出する。

毎回提出する問題への回答や数回実施される復習問題で、理解度や自ら考える態度を判定する。正しい回答も評価されるが、自身でよく考えることが重要であり、独自性のある回答には加点をして評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111003003&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



情報リテラシー(四)：情報処理や分析に必要なデータの取扱いの基本を学ぶ 横田 浩

後期 月曜日 2時限 C101

データを読み理解し、加工できるようになる。表やグラフを読み理解し、データから表やグラフを作成できるようになる。データとグラフを組み合わせ、適切な分析ができるようになる。

情報処理の実習授業の準備として、データの種類や活用方法にどのようなものがあるかを知り、理解することが目的である。そのためには講義を聴くだけでは不十分であり、毎回の授業で課題に取り組む形式で進める。さらに、主として項目ごとにe-Learningを用いた小テスト・課題で理解度の再確認を行う。自分で考える習慣を身に付けることが重要である。問題文や指示を正しく理解することも情報リテラシーである。

毎回の授業中の課題75%(内容の理解度や自分で考えているかを評価する)、適宜実施する小テスト・課題25%(課題をやり直すなど理解を深める努力をしているかを確認する)。定期試験は実施しない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111003004&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、毎回プリントを配付する



情報リテラシー(六)：情報処理に必要なデータの取扱いの基本を学ぼう

吉田 光次

後期 金曜日 3時限 C301

データを読み理解し、加工できるようにする。グラフを読み理解し、データからグラフを作成できるようにする。データとグラフを組み合わせ、適切な分析とプレゼンテーションができるようにする。

情報処理の実習授業を受講する準備として、データにどのようなものがあるのか、データのまとめ方にどのようなものがあるのかを知り、理解する。授業時間中に計算などの作業を行い、毎回提出する。

毎回提出する問題への回答や数回実施される復習問題で、理解度や自ら考える態度を判定する。正しい回答も評価されるが、自身でよく考えることが重要であり、独自性のある回答には加点をして評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111003006&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



コンピュータ基礎論：情報・データ、コンピュータおよびインターネットの基礎を学ぶ 横田 浩

前期 金曜日 1時限 C101

コンピュータおよびネットワーク、特にインターネットを活用するにあたって知っておくべき基礎を理解する。

コンピュータおよびネットワーク、特にインターネットを活用するために必要な知識として、情報処理技術者試験のテクニカル系の内容をとりあげる。この授業では、ITパスポート試験のレベル(試験のレベル1)を想定して解説を行う。情報・データの表現方法やファイル形式、ならびにコンピュータのしくみ、インターネットのしくみやサービス等の基礎を詳しく解説をする。なお、情報セキュリティ関連は、必須科目の情報倫理で扱うので省略する。適宜、小テストや課題を実施し、理解度を確認しながら進める。

小テスト・課題60%(テーマ毎に授業内容の理解度を問う)。定期試験40%(情報・データ、コンピュータ、インターネットに関する語句や基礎を正しく理解し、活用できるかを評価する)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160011600&opi=se0020&syw=1

教科書 これだけは知っておこう！ 情報リテラシー(改訂第5版) / noa出版・株式会社ワークアカデミー、2024年。



プログラミング基礎：プログラミングを通じて、論的思考を学ぶ

正司 哲朗

後期 月曜日 4時限 J201

授業で使うプログラムの文法を理解し、簡単なプログラムを書くことができる。

近年、人工知能が盛んに世の中で使われているが、人工知能でよく利用されているプログラミング言語はPythonである。この授業では、自分自身で持ち込んだノートPCを利用して、プログラミングの基礎を学ぶ。プログラミングで使う変数、四則演算、繰り返し処理、標準ライブラリなどを利用し、基礎的・応用的なプログラムを作成する。

成績は、毎回のプログラミング課題(15回)を出題する。配点は1回から14回までの課題は各5点、15回目のレポート課題は30点とする。各課題は、基本文法が正しく理解でき、プログラムが機能しているかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160012100&opi=se0020&syw=1

教科書 Web教材



情報処理(一)：コンピュータを活用できるようになる

横田 浩

前期 月曜日 1時限 I105

コンピュータを活用するための基礎を理解し、(表計算ソフトを中心に)パソコンの操作法と活用のための知識を習得する。

パソコンの代表的なソフトである表計算ソフトを中心に基本操作を学習する。コンピュータを道具として利用し、情報関連科目以外の授業でも活用できるよう技量向上を目指す(単なる操作技術だけではない)。簡単なウィンドウズ・コンピュータの操作経験があるものを対象とする。なお、授業は情報処理センターのWing-netを活用し、各自の理解度を把握しながら進める。パソコンのある教室を想定しているが、パソコンのない教室の場合は、各自が持参したパソコンで実施する(有償版Officeが必要)。

最終課題40%(基礎を踏まえ要求された内容を実行できているかを重視)、および積極的な授業への取組・提出物等60%(授業に真摯に取り組む姿勢、毎回の提出課題の理解度、完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160021801&opi=se0020&syw=1

教科書 30時間でマスター Word&Excel2021 / 実教出版企画開発部[編]・実教出版, 2022年・978-4-407-35939-8



情報処理(二)：WordとExcelとPowerPointの初歩からより高いレベルのスキル 榎本 光世

前期 金曜日 3時限 I102

を習得する。

他講義のレポート・論文などの作成に役立てることはもちろん、卒業後の実務や日常生活でも十分に役立つスキルを習得する。

到達目標に達するため。基本的なところから学修を始め、与えられた課題を解くために十分なスキルを習得する。その際この時間で説明されたスキルはほぼ完全に習得しなければならない。学修者はいつでも質問できるが、不明な所が発生したと同時に質問しなくてはならない。その際授業の進行が止まるのは、あらかじめそのことを見越してスケジュールしてあるので全く問題がない。

平常点(実習時間内が期限の課題に取り組む態度及び到達度)、宿題や課題の提出率で評価する。なおその際の評価ポイントについては授業中に説明する。一見同じような結果に見えても正しい操作をしなければ、要件を満たせない。ので、必ず授業中に説明した操作法を理解し実行すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160021802&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜印刷物を配布する



情報処理(三)：WordとExcelとPowerPointの初歩からより高いレベルのスキル 榎本 光世

前期 金曜日 4時限 I102

を習得する。

他講義のレポート・論文などの作成に役立てることはもちろん、卒業後の実務や日常生活でも十分に役立つスキルを習得する。

到達目標に達するため。基本的なところから学修を始め、与えられた課題を解くために十分なスキルを習得する。その際この時間で説明されたスキルはほぼ完全に習得しなければならない。学修者はいつでも質問できるが、不明な所が発生したと同時に質問しなくてはならない。その際授業の進行が止まるのは、あらかじめそのことを見越してスケジュールしてあるので全く問題がない。

平常点(実習時間内が期限の課題に取り組む態度及び到達度)、宿題や課題の提出率で評価する。なおその際の評価ポイントについては授業中に説明する。一見同じような結果に見えても正しい操作をしなければ、要件を満たせない。ので、必ず授業中に説明した操作法を理解し実行すること。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160021803&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜印刷物を配布する



情報処理(四)：コンピュータを主体的に活用する

吉田 光次

後期 火曜日 2時限 I105

多くの練習問題をこなして実践的活用力を養い、高いレベルで役立てることが出来る力を身につける。

パソコンの代表的なソフトである表計算ソフトExcelの基本操作を学習する。コンピュータを道具として利用し、情報関連科目以外の授業でも活用できるよう技量向上を目指す。

授業中の提出課題、および、最後に実施する学習到達度確認によって評価する。Excelの基本スキルを実践問題に応用できる理解度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160021804&opi=se0020&syw=1

教科書 30時間でマスター Word&Excel2021 / 実教出版企画開発部[編]・実教出版, 2022年・978-4-407-35939-8



情報処理(五) : コンピュータを活用できるようになる

横田 浩

後期 水曜日 3時限 I105

コンピュータを活用するための基礎を理解し、(表計算ソフトを中心に)パソコンの操作法と活用のための知識を習得する。

パソコンの代表的なソフトである表計算ソフトを中心に基本操作を学習する。コンピュータを道具として利用し、情報関連科目以外の授業でも活用できるよう技量向上を目指す(単なる操作技術だけではない)。簡単なウィンドウズ・コンピュータの操作経験があるものを対象とする。なお、授業は情報処理センターのWing-netを活用し、各自の理解度を把握しながら進める。パソコンのある教室を想定しているが、パソコンのない教室の場合は、各自が持参したパソコンで実施する(有償版Officeが必要)。

最終課題40%(基礎を踏まえ要求された内容を実行できているかを重視)、および積極的な授業への取組・提出物等60%(授業に真摯に取り組む姿勢、毎回の提出課題の理解度、完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160021805&opi=se0020&syw=1

教科書 30時間でマスター Word&Excel2021 / 実教出版企画開発部[編] . 実教出版, 2022年 . 978-4-407-35939-8



画像編集(一) : 画像の編集・加工・作成の基本を学ぶ

吉田 光次

前期 火曜日 2時限 I105

文書作成やプレゼン資料、およびWeb作成の中で必要とする写真の加工、作図をマスターする。

ワープロソフトなどで、写真・図を利用したり、ポスター、パンフレット、チラシを作成することを想定し、いくつかのフリーソフトを利用し、画像加工・作図を行う。

作成した課題の出来を評価・判定する。

画像編集で学んだレイヤーマスクの理解は必須であり、基本スキルを組み合わせた作業での実践力がチェックされる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160012601&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



画像編集(二) : 画像の編集・加工・作成の基本を学ぶ

吉田 光次

後期 火曜日 1時限 I105

文書作成やプレゼン資料、およびWeb作成の中で必要とする写真の加工、作図をマスターする。

ワープロソフトなどで、写真・図を利用したり、ポスター、パンフレット、チラシを作成することを想定し、いくつかのフリーソフトを利用し、画像加工・作図を行う。

作成した課題の出来を評価・判定する。

画像編集で学んだレイヤーマスクの理解は必須であり、基本スキルを組み合わせた作業での実践力がチェックされる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160012602&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



動画編集(一) : 動画を活用し情報を発信する(プレゼンテーションにおける動画の活用)

横田 浩

後期 水曜日 1時限 I105

動画やアニメーションGIF等の編集・加工の基礎と技術を習得する。さらに、作成した動画をプレゼンテーションで活用するための基礎と技術を習得し、実際にプレゼンテーションを実践する。

動画・フォトムービー・GIFアニメーションの編集・加工およびプレゼンテーション等で活用するための基礎ならびに作成方法の解説を行う。実際に作業を行いながら、授業を進めていく。最後に、各自が選んだテーマに沿った動画を含むスライド(プレゼン資料)、又は、ナレーション付き紹介動画を作成し、実際にプレゼンテーションを行ってもらう(発表者は、投票で選ぶ)。なお、パソコンがない教室の場合は、持参したパソコンに動画編集ソフトをインストールして実施する。動画編集ソフトはShutcutを使用する。

最終課題とプレゼン40%(内容の完成度と動画を活用しているかを重視)、積極的な授業への取組・小テスト・提出課題60%(実習や課題に真摯に取り組む姿勢、理解度や課題の完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160012701&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、適宜プリントを配付する



動画編集(二) : 動画を活用し情報を発信する(プレゼンテーションにおける動画の活用)

横田 浩

後期 月曜日 4時限 I105

動画やアニメーションGIF等の編集・加工の基礎と技術を習得する。さらに、作成した動画をプレゼンテーションで活用するための基礎と技術を習得し、実際にプレゼンテーションを実践する。

動画・フォトムービー・GIFアニメーションの編集・加工およびプレゼンテーション等で活用するための基礎ならびに作成方法の解説を行う。実際に作業を行いながら、授業を進めていく。最後に、各自が選んだテーマに沿った動画を含むスライド(プレゼン資料)、又は、ナレーション付き紹介動画を作成し、実際にプレゼンテーションを行ってもらう(発表者は、投票で選ぶ)。なお、パソコンがない教室の場合は、持参したパソコンに動画編集ソフトをインストールして実施する。動画編集ソフトはShutcutを使用する。

最終課題とプレゼン40%(内容の完成度と動画を活用しているかを重視)、積極的な授業への取組・小テスト・提出課題60%(実習や課題に真摯に取り組む姿勢、理解度や課題の完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160012702&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用せず、適宜プリントを配付する



データ分析法I : GISと様々なデータ分析の理解・技法

芝田 篤紀

後期 水曜日 3時限 A130

GISを用いた分析の手法と分析工程の基礎を理解する。様々な課題に対してGISで分析する技能を習得する。

衛星画像解析、ドローンの画像処理などからラスターデータの分析方法を学び、後半はベクターデータを用いた空間解析や位置情報の取得、分析方法を学習する。またGNSSやLiDARの基本も学ぶ。

授業への参加度など受講態度(平常点:40%)、事例研究の回に提出するレポート(60%)にて、理解度・習熟度を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_143065200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



データ分析法Ⅱ：行動科学系の研究で用いる代表的な統計解析手法に関する 村上 史朗
知識とスキルを習得する。

前期 水曜日 4時限 I105

(1)行動科学系の研究論文で用いられる統計解析結果を読み取り、解釈できるようになる。(2)統計解析ソフトを使用して分析することができるようになる。

行動科学系の量的研究では、研究目的やデータの測定方法に応じた適切な統計解析手法を選択した上で、分析結果を解釈・報告することが必要となる。本講では、データの性質ごとにどのような分析が必要とされるのかを確認した上で、それぞれの分析法を具体的なデータを用いて実習形式で学習する。例示は心理学が中心だが、他の行動科学系の統計解析にも共通する内容である。

授業内の実習課題(40%:授業内容の理解度の確認)とレポート(60%:授業で扱った統計的手法を各自の判断で活用できるかの確認)を総合して評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_152404800&opi=se0020&syw=1

教科書 資料を配付する



WebプログラミングⅠ：Webプログラミングを用いて、独自のWebアンケートシス 正司 哲朗
テムを設計・実装できる技術を身につける。

前期 金曜日 2時限 J201

Webプログラミングに必要なHTML言語、PHP言語、データベースの基礎知識を学び、簡単なWebアンケートが設計・実装できる技術を身につける。

ホームページで使われているHTML言語について解説する。また、サーバとクライアントの関係について説明し、作成したHTMLファイルを公開する方法について説明する。次に、データベースの基礎、PHP言語からデータベースを扱う方法について説明する。最後に、独自にWebアンケートを設計、それをHTML言語、PHP言語を使って実装し、回答結果をデータベースに蓄積する方法を解説し、簡単な集計処理方法について説明する。

成績は、HTML言語(20点)、PHP言語・データベース(20点)、Webアンケートに関する各課題(20点)、および最終レポート課題(独自アンケートの設計・データ分析)(40点)で評価する。各課題は、基本文法が正しく理解でき、プログラムが機能しているかを評価する。データ分析課題は、回答データを正しく解釈できているかどうかを評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433300&opi=se0020&syw=1

教科書 web教材



WebプログラミングⅡ：動的なウェブページ作成に使われるJavaScriptの初歩 吉田 光次
を理解しよう。

後期 金曜日 1時限 J201

HTML,CSS,JavaScriptによるウェブページの仕組みを理解し、動的なウェブページを作成する。また、閲覧可能なウェブサイト上で、動作を確認する。

本科目は、単に文章や画像を表示するのみのウェブページではなく、ユーザーのクリックに反応したり、条件によって異なる表示をしたり、動的な挙動をするウェブページを作成する仕組みとして、JavaScriptの初歩を学習する。JavaScriptは、プログラミング言語の一種であり、通常の制御構造を有するので、それらを理解したうえで、ウェブ上での実装を実現する。学生自身のPCを使い、プログラミングを行うので、毎回PCを持参しなければならない。

授業中にプログラムを作成し、提出する。また、事後学習としていくつか課題を作成する。それらのプログラムの完成度を評価の基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_156433400&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントなどを配付



キャリアデザイン(一)：自分の将来を考え「10年後のなりたい姿」を描くために 講師(キャリア)
必要となる知識を身につける。

前期 水曜日 2時限 C104

現在の自分から将来像を描くために「自分はどのような人間か」「社会に出て何ができるのか」「そのために大学生活をどう過ごせばよいのか」を確認し、大学生活で行うこと、学ぶことを明確にして、実行計画を立案できるようにする。

大学生活は将来への重要なステップである。この授業では、将来希望するキャリアを実現させるため、実務家であるキャリアコンサルタントが実社会で行っているキャリアデザインの内容を、学べる授業である。また併せて、社会で求められる社会人基礎力も育成していく。

授業での個人ワークへの取り組み方、中間レポート、最終レポートの提出の有無とその内容。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111008001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



キャリアデザイン(二)：自分の将来を考え「10年後のなりたい姿」を描くために 講師(キャリア)
必要となる知識を身につける。

前期 水曜日 2時限 C105

現在の自分から将来像を描くために「自分はどのような人間か」「社会に出て何ができるのか」「そのために大学生活をどう過ごせばよいのか」を確認し、大学生活で行うこと、学ぶことを明確にして、実行計画を立案できるようにする。

大学生活は将来への重要なステップである。この授業では、将来希望するキャリアを実現させるため、実務家であるキャリアコンサルタントが実社会で行っているキャリアデザインの内容を、学べる授業である。また併せて、社会で求められる社会人基礎力も育成していく。

授業での個人ワークへの取り組み方、中間レポート、最終レポートの提出の有無とその内容。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111008002&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



キャリアデザイン(三)：自分の将来を考え「10年後のなりたい姿」を描くために 講師(キャリア)
必要となる知識を身につける。

前期 水曜日 3時限 C104

現在の自分から将来像を描くために「自分はどのような人間か」「社会に出て何ができるのか」「そのために大学生活をどう過ごせばよいのか」を確認し、大学生活で行うこと、学ぶことを明確にして、実行計画を立案できるようにする。

大学生活は将来への重要なステップである。この授業では、将来希望するキャリアを実現させるため、実務家であるキャリアコンサルタントが実社会で行っているキャリアデザインの内容を、学べる授業である。
また併せて、社会で求められる社会人基礎力も育成していく。

授業での個人ワークへの取り組み方、中間レポート、最終レポートの提出の有無とその内容。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111008003&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



キャリアデザイン(四)：自分の将来を考え「10年後のなりたい姿」を描くために 講師(キャリア)
必要となる知識を身につける。

前期 水曜日 3時限 C105

現在の自分から将来像を描くために「自分はどのような人間か」「社会に出て何ができるのか」「そのために大学生活をどう過ごせばよいのか」を確認し、大学生活で行うこと、学ぶことを明確にして、実行計画を立案できるようにする。

大学生活は将来への重要なステップである。この授業では、将来希望するキャリアを実現させるため、実務家であるキャリアコンサルタントが実社会で行っているキャリアデザインの内容を、学べる授業である。
また併せて、社会で求められる社会人基礎力も育成していく。

授業での個人ワークへの取り組み方、中間レポート、最終レポートの提出の有無とその内容。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111008004&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



キャリアデザイン(五)：自分の将来を考え「10年後のなりたい姿」を描くために 講師(キャリア)
必要となる知識を身につける。

前期 水曜日 4時限 C104

現在の自分から将来像を描くために「自分はどのような人間か」「社会に出て何ができるのか」「そのために大学生活をどう過ごせばよいのか」を確認し、大学生活で行うこと、学ぶことを明確にして、実行計画を立案できるようにする。

大学生活は将来への重要なステップである。この授業では、将来希望するキャリアを実現させるため、実務家であるキャリアコンサルタントが実社会で行っているキャリアデザインの内容を、学べる授業である。
また併せて、社会で求められる社会人基礎力も育成していく。

授業での個人ワークへの取り組み方、中間レポート、最終レポートの提出の有無とその内容。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_111008005&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



インターンシップ概論：インターンシップへの参加を通じて、就業について考え 坂本 勝
る。

後期 木曜日 4時限 C102

2・3年次の就業体験(インターンシップ)に先立ちインターンシップの目的を明確にし社会人として働くことの意義を理解し就業意識を高める。

インターンシップとは将来の職業選択や就職後の職業への適応力を高めることを目的とした就業体験である。
翌年次の実習の準備段階としてキャリアセンターと連携し、企業人をゲストに招き、授業内で講話や指導を通じ、働くことの意義を深く考える。

この科目は、実務経験のある教員による授業科目となります。
企業や団体等の現場にて従事した経験に基づき授業を実施し、
社会人に求められるスキルや資質を育成する。

授業毎のレポートの提出および内容を重視する。

評価方法・レポート課題提出80%、レポート内容評価点20%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_160032500&opi=se0020&syw=1

教科書 キャリアデザインテキスト第5版 / 専修大学キャリアデザインセンター編・専修大学出版社, 2025. 978-4-88125-402-8



生涯学習概論(一)：生涯学習の歴史・理論・実践について学ぶ。

近藤 凜太郎

前期 月曜日 5時限 C302

「生涯学習」にかんする基礎知識を吸収する。また、生涯学習について、歴史的・理論的・実践的に考える力を身につける。

「生涯学習」にかんして歴史的・理論的・実践的に学ぶ。そのために以下二つの課題に取り組む。

- ①「生涯学習」を歴史的、人間学的、社会学的、心理学的な観点から理論的に検討する。
- ②「生涯学習」の現状、問題点、可能性について検討する。

・授業中の小レポート(講義内容の理解度を確認)30%

・期末レポート(論理性と独自性を重視)70%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



生涯学習概論(二) : 生涯学習に関する歴史・理論・実践について学ぶ。 中戸 義雄 後期 金曜日 2時限 C205

生涯学習について生涯発達を中心とした多様な視点から考察し、理解できるようにする。生涯学習の概念が確立する前後で、「学び」の意味や位置づけがどのように変容したのかを適切に説明できることが目標。

1. 生涯学習・社会教育の理念と歴史 2. 生涯発達と学習課題 3. 生涯学習・社会教育の内容と方法 4. 生涯学習と家庭教育・学校教育 5. 生涯学習の今後の可能性

授業中の小レポート30%(授業内容の理解度)、プレゼンテーション20%(事前準備の程度)、課題レポート50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021002&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



教育原理(一) : 教育を支える原理の考察。教育の基本的な概念を理解し、今日の多様な教育現象やこれまでの教育の歴史・思想を検討する。 中戸 義雄 前期 金曜日 2時限 C104

自らがもつ教育観も踏まえ、多様な教育的事象を確認しつつ視野を広げながら、自分なりの教育観を自覚・形成していくことをめざす。その際には教育の基本的な概念、教育の歴史の変遷、教育に関わるさまざまな思想を理解し、それらの相互の関係性についての認識を深めていく。現代の教育・学校がもつ問題点とその可能性を的確に説明できるようになることが目標。

現代社会の急激な変化の中で、学校教育に代表される教育のあり方もその転換を余儀なくされている。人間の素朴な営みであった教育が社会システムとして巨大化し、その全体像を見極めることは今日では容易ではない。この授業では、こうした教育という営みを原理的・歴史的・思想的に問い直し、必要に応じて個別的な諸問題も取り上げながら考察していきたい。

授業中の小レポート 50%(各授業内容の理解度と問いの設定の仕方を重視)、課題レポート 50%(自分なりの問題設定とそれについての調査・探究の程度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171022101&opi=se0020&syw=1

教科書 探究・教育原論 / 田井康雄・中戸義雄編・学術図書出版社, 2005. 978-4873617824



教育原理(二) : 教育を支える原理の考察。教育の基本的な概念を理解し、今日の多様な教育現象やこれまでの教育の歴史・思想を検討する。 中戸 義雄 後期 土曜日 3時限 C203

自らがもつ教育観も踏まえ、多様な教育的事象を確認しつつ視野を広げながら、自分なりの教育観を自覚・形成していくことをめざす。その際には教育の基本的な概念、教育の歴史の変遷、教育に関わるさまざまな思想を理解し、それらの相互の関係性についての認識を深めていく。現代の教育・学校がもつ問題点とその可能性を的確に説明できるようになることが目標。

現代社会の急激な変化の中で、学校教育に代表される教育のあり方もその転換を余儀なくされている。人間の素朴な営みであった教育が社会システムとして巨大化し、その全体像を見極めることは今日では容易ではない。この授業では、こうした教育という営みを原理的・歴史的・思想的に問い直し、必要に応じて個別的な諸問題も取り上げながら考察していきたい。

授業中の小レポート 50%(各授業内容の理解度と問いの設定の仕方を重視)、課題レポート 50%(自分なりの問題設定とそれについての調査・探究の程度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171022102&opi=se0020&syw=1

教科書 探究・教育原論 / 田井康雄・中戸義雄編・学術図書出版社, 2005. 978-4873617824



教職論(一) : 価値ある教育専門家をめざす資質・態度の育成 大西 英人 前期 土曜日 3時限 C204

教職の性格、教職の専門性の理解と、確かな教育観を形成する態度・能力を身につける。教職についての基本的な知識を取得する。

教職の専門性、教師文化、教育制度改革等の考察を通して教職の意義及び教員の役割、職務内容、学校運営等について理解を深める。授業では、具体的な学校現場の事例を踏まえ、教育の今日的な課題に迫りながら教員・教職とは何かを考えることにより、教職を目指すための基本的な力量を育む。

対話カード・講義内レポート(20%)=講義に関する質問、関心・意欲・態度を評価
課題レポート(80%)=授業の理解度、考察力、表現力等を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171021001&opi=se0020&syw=1

教科書 適時配付する資料



教職論(二) : 価値ある教育専門家をめざす資質・態度の育成 大西 英人 後期 土曜日 2時限 C101

教職の性格、教職の専門性の理解と確かな教育観を形成する態度・能力を身につける。教職についての基本的知識を取得する。

教職の専門性、教師文化、教育制度改革等の考察を通して教職の意義及び教員の役割、職務内容、チーム学校としての学校運営等について理解を深める。授業では、具体的な学校現場の事例に照らし、教育の今日的な課題に迫りながら教員・教職とは何かを考えることにより、教職を目指すための基本的な力量を育む。

対話カード・講義内レポート(20%)=講義内容に関する質問、関心・意欲・態度を評価
課題レポート(80%)で授業の理解度、考察力、表現力等を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171021002&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配付する講義関係資料



教職論(三)：価値ある教育専門家をめざす資質・態度の育成

堀川 忠道

後期 土曜日 3時限 その他

教職の性格、教職の専門性の理解と確かな教育観を形成する態度・能力を身につける。

教職の専門性、教師文化、教育制度改革等の考察を通して教職の意義及び教員の役割、職務内容、チーム学校としての学校運営等について理解を深める。授業では、具体的な学校現場の事例に照らし、教育の今日的な課題に迫りながら教員・教職とは何かを考えることにより、教職を目指すための基本的な力量形成を図る。

対話カード・レポート課題・学習到達度確認を基に総合的に評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171021003&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配付する講義関係資料



教育行政・制度論(一)：教育現場の現状を踏まえ、教育法規、教育行政、学校教育の基本的な枠組み等についての理解を深める。

前期 月曜日 2時限 C201

教育現場の実際を知り、教育についての組織や制度に関する基本的な理解を深め、それを基に教育上の課題を自分なりに考えることができる力量を養う。同時に、教職に関する関心・意欲を高める。

学校教育の状況を踏まえ、教育法規、教育行政、学校教育制度等について、基本的な事項を体系的に解説し、理解させる。諸外国の状況等についても触れ、教育の在り方について多角的に考察させる。

対話カード(10%)で意欲、関心、態度等を評価する。

課題レポート(50%)で考察力、表現力等を評価する。

試験(40%)で教育行政・制度についての知識、理解度を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171025001&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



教育行政・制度論(二)：教育現場の現状を踏まえ、教育法規、教育行政、学校教育の基本的な枠組み等について理解を深める。

後期 金曜日 5時限 C203

教育現場の実際を知り、教育行政並びに教育制度の根本を理解する。

学校教育の状況を踏まえ、教育法規、教育行政、学校教育制度等について解説し、理解させる。

対話カード・レポート課題・学習到達度確認を基に総合的に評価する

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171025002&opi=se0020&syw=1

教科書 特になし



教育心理学(一)：人の学びを心理学の視点から理解・支援する「教育心理学」の知識を得て、実践的・体験的な学習を通してその多彩な世界に触れる。

武藤 百合

前期 水曜日 4時限 C204

教職に就いた際の学習指導に役立つ、乳幼児期・児童期・青年期などの発達や学びのメカニズム、教育実践や特別な支援、心理的支援についての基本的知識や実践的な技術を身につける。

授業は講師が作成した配布プリント(あるいは出版予定の教科書)をテキストとして進めます。毎回の授業の合間に授業内容に関する感想レポートの作成を行い、自分自身の感想や意見をまとめ、発表する機会を設けます。また、必要に応じてグループワークを行い、グループでの話し合いやロールプレイングを通して、実践的・体験的に学んでいただきます。

毎回(15回)の授業内容についての感想レポート(60点)と

第15回の講義終了時に1回出す予定の長めのレポート(40点)の合計点(100点)。オリジナリティのある内容を評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171023001&opi=se0020&syw=1

教科書 みんなで学ぶ楽しい教育心理学(*出版が遅れる場合は配布プリントによって学習します)/武藤百合・DTP出版、2026年。



教育心理学(二)：人の学びを心理学の視点から理解・支援する「教育心理学」の知識を得て、実践的・体験的な学習を通してその多彩な世界に触れる。

武藤 百合

後期 水曜日 5時限 C201

教職に就いた際の学習指導に役立つ、乳幼児期・児童期・青年期などの発達や学びのメカニズム、教育実践や特別な支援、心理的支援についての基本的知識や実践的な技術を身につける。

授業は講師が作成した配布プリント(あるいは出版予定の教科書)をテキストとして進めます。毎回の授業の合間に授業内容に関する感想レポートの作成を行い、自分自身の感想や意見をまとめ、発表する機会を設けます。また、必要に応じてグループワークを行い、グループでの話し合いやロールプレイングを通して、実践的・体験的に学んでいただきます。

毎回(15回)の授業内容についての感想レポート(60点)と

第15回の講義終了時に1回出す予定の長めのレポート(40点)の合計点(100点)。オリジナリティのある内容を評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171023002&opi=se0020&syw=1

教科書 みんなで学ぶ楽しい教育心理学(*出版が遅れる場合は配布プリントによって学習します)/武藤百合・DTP出版、2026年。



特別支援教育(一)：共生社会の実現を目指した教育

中川 貴明

前期 木曜日 5時限 C203

・インクルーシブ教育の理念や背景を理解するとともに、近年の特別支援教育の現状の把握とその在り方について考えることができる。
・知的障害や発達障害を含む様々な障害についての基礎知識を身につけるとともに、様々な教育的ニーズについて理解する。
・特別支援教育のカリキュラムや指導・支援の方法について理解するとともに、多様な指導・支援に必要な基本的知識や態度を身につける。

共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システムの推進が今日的課題になっている。本授業では、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、多様な指導・支援を行うために必要な知識と態度の定着を目指す。そのために、障害特性と個性の理解・発達の視点の理解・生活実態の理解を柱にした的確な実態把握の重要性とそれに基づく適切な支援の在り方を学ぶ。そして、障害とは何かを深く理解し、困難を抱える当事者・家族の視点に立って自立生活へ向けた支援を行うために必要な態度とは何かを考えていく。

平常点30%(講義中の姿勢や質問などの積極性)

講義毎のミニレポート30%(各講義の学びの内容と自身の考えを論じることが出来ているか)

期末レポート40%(講義全体を通しての現状と課題を理解できているか、そして、諸課題の推進に向けて自身の考えを論じることができているかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171024501&opi=se0020&syw=1

教科書



特別支援教育(二)：共生社会の実現を目指した教育

中川 貴明

後期 月曜日 5時限 C204

・インクルーシブ教育の理念や背景を理解するとともに、近年の特別支援教育の現状の把握とその在り方について考えることができる。
・知的障害や発達障害を含む様々な障害についての基礎知識を身につけるとともに、様々な教育的ニーズについて理解する。
・特別支援教育のカリキュラムや指導・支援の方法について理解するとともに、多様な指導・支援に必要な基本的知識や態度を身につける。

共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システムの推進が今日的課題になっている。本授業では、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、多様な指導・支援を行うために必要な知識と態度の定着を目指す。そのために、障害特性と個性の理解・発達の視点の理解・生活実態の理解を柱にした的確な実態把握の重要性とそれに基づく適切な支援の在り方を学ぶ。そして、障害とは何かを深く理解し、困難を抱える当事者・家族の視点に立って自立生活へ向けた支援を行うために必要な態度とは何かを考えていく。

平常点30%(講義中の姿勢や質問などの積極性)

講義毎のミニレポート30%(各講義の学びの内容と自身の考えを論じることが出来ているか)

期末レポート40%(講義全体を通しての現状と課題を理解できているか、そして、諸課題の推進に向けて自身の考えを論じることができているかを評価する)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171024502&opi=se0020&syw=1

教科書



教育課程論(一)：教育課程の理論と構造とその編成の実践を学ぶ

中戸 義雄

前期 土曜日 1時限 C204

教育課程の構造と諸概念を理解し、学習指導要領のあり方も確認しながら、教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントを行う基礎力を養うことをめざす。学習内容を踏まえ、独自に設定したテーマでの学習指導案の作成が目標。

教育課程(カリキュラム)の構造と諸概念を概観する。総合的な学習の時間の実施などにもみられるように、これからの学校・教師にはこれまで以上にカリキュラム編成の能力が求められるようになってきた。そこでこの授業では、カリキュラムの構造を理解し、その編成の実践についても考えていきたい。

授業中の小レポート、グループワーク50%(各授業内容の理解度とグループワークへの積極性を重視)、課題レポート50%(学習指導案の独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171026001&opi=se0020&syw=1

教科書



教育課程論(二)：教育課程の理論と構造を学ぶ

水谷 友香

後期 土曜日 2時限 C202

①教育課程の基本的な考え方を学んだうえで、その歴史と編成を考察する。②学習指導要領のあり方や変遷について理解する。③教育・学習活動をマネジメントする力を養う。

現代日本の教育状況において、教育課程の基本的な考え方を身につけることが必要不可欠となっている。本授業では、教育課程ないしカリキュラムの理論や歴史について学んだうえで、実践的な学習を通じて教育・学習活動をマネジメントする力を養う。講義に加え、ディスカッションやグループワークも行う。

ディスカッションやグループワークなど授業内活動への参加と各回のワークシート・課題の完成度について、学習到達度確認をもとに総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171026002&opi=se0020&syw=1

教科書 ワークで学ぶ 教育課程論(増補改訂版) / 尾崎博美・井藤元・ナカニシヤ出版, 2024. 978-4-7795-1824-9 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 / 文部科学省, HPダウンロード, . 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 / 文部科学省, HPダウンロード, .



道徳教育論(一)：道徳教育実践のための原理的・実践的考察

中戸 義雄

前期 土曜日 3時限 C203

道徳の意義や原理を踏まえ、道徳教育の柱となる道徳科の目標や内容や指導計画などを理解する。これらをもとに、児童生徒が自らの生き方を考えられる道徳教育・道徳授業を構成・実践できる基礎力を身につけることをめざす。道徳科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。



「道徳的」ということは堅苦しく融通の利かないイメージとしてとらえられることが多い。しかし道徳は自分自身、他者そして社会などと自分とのかかわりのあり方をとらえたものであり、その点からも動的であることが理解される。本授業では、まず道徳の本質やそのあり方を理解し、学校教育における道徳教育が目指すものを考察していく。そのうえで、学校の教育活動全体を通して実践される必要のある道徳教育のあり方を多面的に考察し、その実践への基礎を身につけていく。

授業中の小レポート 30%(授業内容の理解度)、プレゼンテーション・研究発表 20%(事前の準備と独自性を重視)と自作の学習指導案 50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171035501&opi=se0020&syw=1

教科書 道徳教育の可能性 / 中戸義雄他編・ナカニシヤ出版、2005・978-4888489546 中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編 / 文部科学省・HPダウンロード、

道徳教育論(二)：道徳教育実践のための原理的・実践的考察

中戸 義雄

後期 金曜日 4時限 C202

道徳の意義や原理を踏まえ、道徳教育の柱となる道徳科の目標や内容や指導計画などを理解する。これらをもとに、児童生徒が自らの生き方を考えられる道徳教育・道徳授業を構成・実践できる基礎力を身につけることをめざす。道徳科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。



「道徳的」ということは堅苦しく融通の利かないイメージとしてとらえられることが多い。しかし道徳は自分自身、他者そして社会などと自分とのかかわりのあり方をとらえたものであり、その点からも動的であることが理解される。本授業では、まず道徳の本質やそのあり方を理解し、学校教育における道徳教育が目指すものを考察していく。そのうえで、学校の教育活動全体を通して実践される必要のある道徳教育のあり方を多面的に考察し、その実践への基礎を身につけていく。

授業中の小レポート 30%(授業内容の理解度)、プレゼンテーション・研究発表 20%(事前の準備と独自性を重視)と自作の学習指導案 50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171035502&opi=se0020&syw=1

教科書 道徳教育の可能性 / 中戸義雄他編・ナカニシヤ出版、2005・978-4888489546 中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編 / 文部科学省・HPダウンロード、

特別活動・総合的な学習の時間の指導法(一)：「特別活動」のあるべき姿の理解とその指導法、「総合的な学習の時間」を効果的に指導する力量を育成する。

前期 土曜日 4時限 C204

「特別活動」「総合的な学習の時間」の目標を達成する指導理論と実践の基礎を身につける。

「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の基本的な知識を得ると共に、各々の教育活動の指導で果たす教員の役割などについて理解する。授業では、学習指導要領の解説に基づき、理論と実践(ワークショップ)を展開するとともに、この教育活動の性質を踏まえ、グループワークやプレゼンテーションの機会を取り入れる。



対話カード(20%)で関心・意欲・態度、理解度を評価する

「課題レポート」で授業の理解度、考察力、表現力等を総合的に評価(80%)する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171036501&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領解説 特別活動編 / 文部科学省・HPダウンロード、 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 / 文部科学省・HPダウンロード、

特別活動・総合的な学習の時間の指導法(二)：「望ましい集団活動を通して」という方法原理を軸にしながら、特別活動のあるべき姿とその指導法、また各教科学習及び教育活動で育まれる見方・考え方を総合的に活用して実社会で生きる力や知識・技能を獲得するための指導法を探究する。

後期 木曜日 3時限 C304

「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の目標を達成する指導理論と実践の基礎を身につける。

「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の基本的な知識を得るとともに、各々の教育活動の指導で果たす教員の役割などについて理解する。授業では、学習指導要領の解説に基づき、理論と実践(演習・事例研究等)を展開するとともに、その性質を踏まえて演習を盛り込み、学生の発表・質疑を適宜取り入れる。



学習到達度確認(50%)、授業中の課題発表、各指導案の作成等(50%)により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171036502&opi=se0020&syw=1

教科書 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 / 文部科学省・HPダウンロード、 高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間 / 文部科学省・HPダウンロード、

教育方法・技術論(ICTの活用含む)(一)：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業のデザインとそのためのICTの活用

前期 金曜日 4時限 C202.
前期 金曜日 4時限 C206

授業デザインに必要な要素を理解するとともに、ICTの機能を理解し、学習指導の展開に応じて効果的に活用できるスキルを身につける。

社会で求められる人材が多様化するなかで、学校教育においても生徒の興味・関心を高め、個性を生かした主体的な授業の有り様が求められている。本講座では、授業デザインの基礎理論を学ぶとともに、電子黒板やタブレット端末、生成AIを含むICTツールを学習活動に生かす実践的スキルを習得する。これらを通じて、次代を生きる子どもたちの資質・能力を育むための教育方法を考案する。



毎回の授業で提示する課題および探究レポートの内容に基づき評価する。レポートにおいては、資料収集の適切さ、多角的な分析、論理的な考察、および独自の視点(持論)が展開されているかを重視する。また、課題に対して真摯に取り組む姿勢も評価の対象となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171037501&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用しない。Web上の必見サイトや探究サイトを随時紹介する。

教育方法・技術論(ICTの活用含む)(二)：「主体的・対話的で深い学び」の実 笠置 慎一
現に向けた授業のデザインとそのためのICTの活用

後期 金曜日 3時限 C202.
後期 金曜日 3時限 C
206

授業デザインに必要な要素を理解するとともに、ICTの機能を理解し、学習指導の展開に応じて効果的に活用できるスキルを身につける。

社会で求められる人材が多様化するなかで、学校教育においても生徒の興味・関心を高め、個性を生かした主体的な授業の有り様が求められている。本講座では、授業デザインの基礎理論を学ぶとともに、電子黒板やタブレット端末、生成AIを含むICTツールを学習活動に生かす実践的スキルを習得する。これらを通じて、次代を生きる子どもたちの資質・能力を育むための教育方法を考案する。

毎回の授業で提示する課題および探究レポートの内容に基づき評価する。レポートにおいては、資料収集の適切さ、多角的な分析、論理的な考察、および独自の視点(持論)が展開されているかを重視する。また、課題に対して真摯に取り組む姿勢も評価の対象となる。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171037502&opi=se0020&syw=1

教科書 テキストは使用しない。Web上の必見サイトや探究サイトを随時紹介する。



生徒指導論(一)：生徒の「自己指導能力」獲得への指導・援助と生徒指導の 辻 寛司
在り方の探究

前期 土曜日 2時限 C204

生徒理解の定義や生徒指導上の課題について理解するとともに、学校教育活動全体を通じた指導と校内外の連携も含めた組織的・体系的な指導・援助の在り方について理解し、実践的指導力を身につける。

生徒指導は、問題行動等への指導などに限定されるものではなく、学校教育活動全体を通じてその役割を果たすものである。本講座では、テキストや配付資料を基に生徒指導の基本的理論を理解するとともに、今日的な生徒指導上の諸課題に対して生徒指導実践の検討(事例演習)を通して生徒理解に基づく生徒指導やキャリア教育の在り方を探究する。

授業終了時に作成する『小レポート』(授業内容の理解度と課題意識)と『課題レポート』(テーマとどう向き合い、自身の見解を明確に示し、深め、論理的に説明しているか)等により総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171038001&opi=se0020&syw=1

教科書 生徒指導提要(改訂版) 適宜講義関係資料を配付する。



生徒指導論(二)：生徒の「自己指導能力」の育成を目指した実践につながる 大西 英人
生徒指導論の探究

後期 木曜日 2時限 C403

生徒理解の上に立って、計画的・組織的な指導・援助・支援が図れる実践的な態度・資質を身につける。

生徒指導にかかる今日的課題に沿って、生徒指導の基本的事項(理論、考え方等)をおさえること並びにこの教育活動の性質を踏まえ、事例演習を通してプレゼンテーションを積極的に取り入れる。

対話カード(10%)で関心、意欲、態度等を評価する。

課題レポート及び事例演習(90%)で考察力、表現力等を総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171038002&opi=se0020&syw=1

教科書 生徒指導提要(改訂版) / 文部科学省・東洋館出版社、2023・978-4491051758 適宜講義関係資料を配付する。



教育相談心理学(一)：将来教員を目指す学生が、子どもたちの心に向き合い 武藤 百合
ながらより良い教育相談活動を実践していくための知識や技術を体験的に学

前期 水曜日 3時限 C204

ぶ。

現代社会における教育相談の意義を理解し、様々なワークを通して教育相談をすすめる際に必要な基礎的知識や、実践的スキルを身につける。

授業は講師が作成した配布プリント(または出版予定の教科書)をテキストとして進めます。毎回の授業の合間に授業内容に関する感想レポートの作成を行い、自分自身の感想や意見をまとめ、発表する機会を設けます。また、必要に応じてグループワークを行い、グループでの話し合いやロールプレイングを通して、実践的・体験的に学んでいただきます。

毎回(15回)の授業内容についての感想レポート(60点)と

第15回の講義終了時に1回出す予定の長めのレポート(40点)の合計点(100点)。オリジナリティのある内容を評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171039001&opi=se0020&syw=1

教科書 楽しく学ぶみんなの教育相談心理学(*出版が遅れる場合は配布プリントによって学習します) / 武藤百合・DTP出版、2026。



教育相談心理学(二)：将来教員を目指す学生が、日々子どもたちの心に向き 武藤 百合
合いながらより良い教育相談活動を実践・展開できるよう、必要な知識を学ぶ。

後期 水曜日 4時限 C201

現代社会における教育相談の意義を理解し、様々なワークを通して教育相談をすすめる際に必要な基礎的知識や、実践的スキルを身につける。

授業は講師が作成した配布プリント(あるいは出版予定の教科書)をテキストとして進めます。毎回の授業の合間に授業内容に関する感想レポートの作成を行い、自分自身の感想や意見をまとめ、発表する機会を設けます。また、必要に応じてグループワークを行い、グループでの話し合いやロールプレイングを通して、実践的・体験的に学んでいただきます。

毎回(15回)の授業内容についての感想レポート(60点)と

第15回の講義終了時に1回出す予定の長めのレポート(40点)の合計点(100点)。オリジナリティのある内容を評価します。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171039002&opi=se0020&syw=1

教科書 楽しく学ぶみんなの教育相談心理学(*出版が遅れる場合は配布プリントによって学習します) / 武藤百合・DTP出版、2026。



国語科教育法I：言語の教育及び基幹教科としての国語科教育において「何を 元根 俊孝
どのように学ばせるのか」を探究する。

前期 木曜日 1時限 C201.
前期 木曜日 1時限 C
206

①国語教育の動向と課題、目指すべき国語科教育の方向性について理解する。②国語科授業で、「何をどのように学ばせるのか」という確かなイメージを持つ。③国語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用、教材開発及びその効果的な活用方法を理解する。

学習指導要領に準拠して、国語科の領域ごとに指導内容や方法を学ぶと共に、具体的に学習指導案を作成し、教材研究及び模擬授業・授業研究等を行うことで、国語科教育の本質に迫る。

授業における取り組み姿勢、課題レポート、授業における各種レポートや学習指導案等の提出物及び対話カードにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_171027100&opi=se0020&syw=1

教科書 「高等学校学習指導要領解説 国語編」/ 文部科学省・東洋館出版社、平成31年。



国語科教育法II：現代の国語科教育の課題をとりあげながら、目標・構造・指 増田 正子
導過程・実践につながる具体的指導のあり方を考える。

後期 木曜日 2時限 C201

国語科の今日の課題を理解し、課題意識を持って教材研究・授業研究をすすめることができる人材を養成する。

課題意識を持った教材研究・授業研究の方法を学び、各ジャンルの教材について教材研究を行う。また授業を構想し学習指導案を作成すること、さらに模擬授業とその振り返りとしての授業分析によって、よりよい授業へと改善していくことを目標とする。

・平常点(積極的な参加)30%

・授業中の課題(指導案作成 30%・模擬授業 40%)70%

課題意識を持って教材研究を行い、学習指導案を作成し、模擬授業に取り組むこと。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_171027200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



社会科教育法I(一)：社会科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を 山本 雅一
踏まえて社会科の指導法を探究する。

前期 木曜日 1時限 C101

社会科の目標・内容を理解するとともに、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業設計を行う方法や教科指導力の基礎を身に付ける。

社会科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業場面を想定した授業設計と学習指導案を作成する。学習指導案の作成と実際の授業を検証するとともに、授業研究を通して社会科の指導法を探究する。

期末レポート(50% 学習指導案の作成:授業形態、指導方法、授業展開など総合的に評価する。) 平常点(50% 授業への意欲、課題への取組、発表等、授業に対する積極性を重視する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_171028101&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領解説 社会編 / 文部科学省・HPダウンロード、



社会科教育法I(二)：社会科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を 山本 雅一
踏まえて社会科の指導法を探究する。

後期 木曜日 2時限 C304

社会科の目標・内容を理解するとともに、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業設計を行う方法や教科指導力の基礎を身に付ける。

社会科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業場面を想定した授業設計と学習指導案を作成する。学習指導案の作成と実際の授業を検証するとともに、授業研究を通して社会科の指導法を探究する。

期末レポート(50% 学習指導案の作成:授業形態、指導方法、授業展開など総合的に評価する。) 平常点(50% 授業への意欲、課題への取組、発表等、授業に対する積極性を重視する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EJ&sk=2026_2_171028102&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領解説 社会編 / 文部科学省・HPダウンロード、



社会科教育法Ⅱ(一)：生きる力にむびつく社会科のための教育法研究と実践。社会科教員としての授業実践力を、学習指導計画(授業計画)・模擬授業を経験し考える。

角 克明

後期 金曜日 2時限 C106

社会科教育法Ⅰや社会科教育研究Ⅰの内容も踏まえながら、授業を構成・実践できる力を身につけることを目標とする。

社会科教員志望者の基本として、地理的分野・歴史的分野・公民的分野のそれぞれの存在意味と、その相互の関連性について①②③の順に考察していく。

①科目としての社会科の役割を理解する。

②学習指導計画(授業計画)の作成について学ぶ。

③全員が模擬授業を行い、相互に評価する。

学習指導計画(授業計画)作成と模擬授業については、丁寧な助言や改善点をアドバイスする。これらを通して教育実習(教育実践)への心構えと実践力を高めることをめざす。以上を通して総合的に社会科教員の指導法を探究する。

★第1回授業までに履修登録が完了(履修することが確定)していること。また、第1回授業には必ず参加し、説明内容や決定事項を把握すること。

★この科目の教科書に指定されていない検定教科書(歴史的分野、公民的分野)についても、必要に応じて購入、または閲覧できるようにしておくことがのぞましい。

①学習指導計画(授業計画)の作成・発表(模擬授業)・レポート【自分の授業実践に関する評価】 60%

②授業への参加(教育法に関する課題・授業参観での質疑やコメントなどを含む)【授業や教材の作成への実践・他者の授業実践への見方や考え方などに関する評価・協調性など】 40%

※詳細は第1回授業等で通知する予定。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171028201&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 ★【注記】ほかの科目で購入済みの場合はそのまま使用可。/ 文部科学省・東洋館出版社、社会科中学生の地理 世界の姿と日本の国土 (文部科学省検定済教科書 中学校社会科用) 中学校社会科地図 (文部科学省検定済教科書 中学校社会科用) / 帝国書院編集部編・帝国書院、



社会科教育法Ⅱ(二)：生きる力にむびつく社会科のための教育法研究と実践。社会科教員としての授業実践力を、学習指導計画(授業計画)・模擬授業を経験し考える。

角 克明

後期 金曜日 3時限 C106

社会科教育法Ⅰや社会科教育研究Ⅰの内容も踏まえながら、授業を構成・実践できる力を身につけることを目標とする。

社会科教員志望者の基本として、地理的分野・歴史的分野・公民的分野のそれぞれの存在意味と、その相互の関連性について①②③の順に考察していく。

①科目としての社会科の役割を理解する。

②学習指導計画(授業計画)の作成について学ぶ。

③全員が模擬授業を行い、相互に評価する。

学習指導計画(授業計画)作成と模擬授業については、丁寧な助言や改善点をアドバイスする。これらを通して教育実習(教育実践)への心構えと実践力を高めることをめざす。以上を通して総合的に社会科教員の指導法を探究する。

★第1回授業までに履修登録が完了(履修することが確定)していること。また、第1回授業には必ず参加し、説明内容や決定事項を把握すること。

★この科目の教科書に指定されていない検定教科書(歴史的分野、公民的分野)についても、必要に応じて購入、または閲覧できるようにしておくことがのぞましい。

①学習指導計画(授業計画)の作成・発表(模擬授業)・レポート【自分の授業実践に関する評価】 60%

②授業への参加(教育法に関する課題・授業参観での質疑やコメントなどを含む)【授業や教材の作成への実践・他者の授業実践への見方や考え方などに関する評価・協調性など】 40%

※詳細は第1回授業等で通知する予定。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171028202&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 ★【注記】ほかの科目で購入済みの場合はそのまま使用可。/ 文部科学省・東洋館出版社、社会科中学生の地理 世界の姿と日本の国土 (文部科学省検定済教科書 中学校社会科用) 中学校社会科地図 (文部科学省検定済教科書 中学校社会科用) / 帝国書院編集部編・帝国書院、



地理歴史科教育法(一)：地理歴史科の意義・目標・内容について理解し、授業展開の基本を習得する。

元田 茂充

前期 木曜日 2時限 A130

①教育現場で高等学校地理歴史科の学習指導ができるようになる。

②社会科・地理歴史科教育の現状と課題を踏まえ、社会の変化に対応する教育者としての基礎的素養を多方面から養成する。

本講義では高等学校の地理歴史科の教育法を指導する。学習指導要領の意義・内容を理解した上で、学習指導案の作成、教材研究、模擬授業などに実践的に取り組み、授業を行うために必要な知識と技能や、教員としての心構えを習得していく。

※模擬授業は受講生全員が行うため、受講生の人数次第で授業内容が変更される場合がある。

※テキストの「1」「2」は高等学校での販売が優先されるので、大学への入荷は4月後半以降となる。

方法: 模擬授業の出来栄、課題・レポートの提出状況、授業への取り組み方などを総合的に評価する。

基準: 模擬授業を45%、課題を45%、授業中の小レポートを10%とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171029001&opi=se0020&syw=1

教科書 地理総合 世界に学び地域へつなぐ 改訂版(地総801-901) / 菊地 俊夫(代表者)、山川出版社、2026、シラバス入力時点で未公開 歴史総合 近代から現代へ 改訂版(歴総081-901) / 岸本 美緒・鈴木 淳 ほか、山川出版社、2026、シラバス入力時点で未公開 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編 (ダウンロード版) / 文部科学省、2019、https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf



地理歴史科教育法(二)：地理歴史科の意義・目標・内容について理解し、授 元田 茂充
業展開の基本を習得する。

後期 木曜日 1時限 C203

- ①教育現場で高等学校地理歴史科の学習指導ができるようになる。
②社会科・地理歴史科教育の現状と課題を踏まえ、社会の変化に対応する教育者としての基礎的素養を多方面から養成する。

本講義では高等学校の地理歴史科の教育法を指導する。学習指導要領の意義・内容を理解した上で、学習指導案の作成、教材研究、模擬授業などに実践的に取り組み、授業を行うために必要な知識と技能や、教員としての心構えを習得していく。

※模擬授業は受講生全員が行うため、受講生の人数次第で授業内容が変更される場合がある。

※テキストの「1」「2」は高等学校での販売が優先されるので、大学への入荷は4月後半以降となる。

方法：模擬授業の出来栄え、課題・レポートの提出状況、授業への取り組み方などを総合的に評価する。

基準：模擬授業を45%、課題を45%、授業中の小レポートを10%とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171029002&opi=se0020&syw=1

教科書 地理総合 世界に学び地域へつなぐ 改訂版(地総801-901) / 菊地 俊夫(代表者)・山川出版社, 2026. シラバス入力時点で未公開 歴史総合 近代から現代へ 改訂版(歴総081-901) / 岸本 美緒・鈴木 淳 ほか・山川出版社, 2026. シラバス入力時点で未公開 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編(ダウンロード版) / 文部科学省, 2019. https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf



公民科教育法：公民科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を踏まえ 山本 雅一
て公民科の指導法を探究する。

前期 木曜日 2時限 C101

公民科の目標・内容を理解するとともに、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業設計を行う方法や教科指導力の基礎を身に付ける。

公民科の目標・内容を理解し、様々な学習指導理論を踏まえ、具体的な授業場面を想定した授業設計と学習指導案を作成する。学習指導案の作成と実際の授業を検証するとともに、授業研究を通して公民科の指導法を探究する。

期末レポート(50% 学習指導案の作成：授業形態、指導方法、授業展開など総合的に評価する。) 平常点(50% 授業への意欲、課題への取組、授業に対する積極性を重視する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171030000&opi=se0020&syw=1

教科書 高等学校学習指導要領解説 公民編 / 文部科学省, HPダウンロード, .



国語科教材研究I：言語の教育及び基幹教科としての国語科教育における「よ 元根 俊孝
りよい授業づくり」はどう在るべきかを探究する。

後期 木曜日 1時限 C201.
後期 木曜日 1時限 C
206

- ①豊かで確かな言語生活を支える国語科の授業づくりの手法を会得する。②各教材の価値を掌握し、学びの過程と課題意識の視点を持って授業を構築・展開できるようになる。③国語科の特性に応じた情報機器及び教材の活用方法を創意工夫する姿勢・手法を体得する。

「国語科教育法I」の学習成果を礎に、国語科におけるよりよい授業づくりのための教材研究の在り方を実践的に学ぶ。模擬授業を通して、授業者・学習者の立場でよりよい授業づくりのための教材研究はいかにに行い、具体化していくかを実践的に学ぶ。

授業における取り組み姿勢、課題レポート、授業における各種提出物、及び対話カードにより総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171031100&opi=se0020&syw=1

教科書 「高等学校学習指導要領解説 国語編」 / 文部科学省, 東洋館出版社, 平成31年.



国語科教材研究II：中・高等学校国語教育の内容・方法に関わり、具体的に 増田 正子
教材研究・授業研究を行ない、よりよい「授業作り」を実践的に探究する。

前期 木曜日 2時限 C201

教材についてグループおよび個人で教材研究を行い、授業を構想し学習指導案を作成することができる。さらに模擬授業とその振り返りとしての授業分析ができる。

国語科教材研究Iの応用・発展として、教材についてグループおよび個人で教材研究を行い、授業を構想し学習指導案を作成すること、さらに模擬授業とその振り返りとしての授業分析によって、よりよい授業へと改善していくことを目標とする。

平常点(授業への積極的な参加)30% 授業中の課題(指導案作成 30%・模擬授業40%)70%

教材研究・授業研究を行い、学習指導案を作成し模擬授業に取り組むことができるか。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171031200&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配布



社会科教材研究I：中学生の社会認識力を養うための教材研究

中戸 義雄

前期 月曜日 3時限 C202

中学社会科が目指す目標とその学習内容を理解し、実際に社会科教材を作成し、それをもとに授業を構成・実践できる基礎力を身につける。社会科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。

中学校社会科(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)の授業を構成していく上で、教材をどのように選択し、研究・開発していくことが必要なのかを考察していく。社会への関心が乏しいとされる今日の生徒に、広義の社会認識力を養うことが一つの目標となる。社会科授業でのICT活用も検討していく。

小レポート20%(授業内容の理解)、授業内でのプレゼンテーション・研究発表30%(事前準備の程度と独自性を重視)と自作の学習指導案50%(独自性と完成度を重視)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171032100&opi=se0020&syw=1

教科書



社会科教材研究Ⅱ：中学校社会科、高等学校地歴科、公民科の教科教育の 大西 英人
基礎となる理論と実践的な知識・スキルを学ぶ。

後期 月曜日 3時限 C304

中学校社会科、高等学校地歴科、公民科の教員として必要な知識及び教授方法の基本を身につけ、生徒への学習指導が出来る。

中学校社会科・高等学校地歴科・公民科分野での授業について、指導内容と方法を実践的に学ぶ事を目的としている。そのため、学習指導案の作成と模擬授業を中心として授業を展開する。模擬授業を行う校種、科目等をあらかじめ考えて受講すること。他者の授業を評価する観点についても学ぶ。教員に求められる専門性、実践的指導力の養成を目指している。

学習指導案の提出・模擬授業の実施、振り返りレポート(2回分)の内容(80%)
授業観察・評価表の提出(20%)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171032200&opi=se0020&syw=1

教科書 中学校学習指導要領解説 社会編 / 文部科学省 . HPダウンロード , . 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 / 文部科学省 . HPダウンロード , . 高等学校学習指導要領 公民編 / 文部科学省 . HPダウンロード , .



地理歴史科教材研究：地理歴史科が目指す目標とその内容を理解し、生徒・ 中戸 義雄
教師がともに興味・関心をもちうる教材研究、授業設計を行う。

後期 月曜日 2時限 C202

地理歴史科が目指す目標とその学習内容を理解し、実際に地理歴史教材を作成し、それをもとに授業を構成・実践できる基礎力を身につける。地理歴史科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。

地理・歴史分野への興味・関心を高め、地理的視点、歴史的視点を獲得していくための教材のあり方を考える。その際に、教師自身が興味・関心をもちうるものであることが一つの重要な条件となるだろう。高等学校で実際に地理・歴史科の授業ができる学習指導案を作成することが最終課題である。地理・歴史科授業でのICT活用も検討していく。

小レポート20%(授業内容の理解度)授業内でのプレゼンテーション・研究発表30%(事前準備の程度と独自性を重視)と自作の学習指導案50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171033000&opi=se0020&syw=1

教科書 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 / 文部科学省 . HPダウンロード , .



公民科教材研究：公民科の教材研究・教材開発の基礎的な方法論を踏まえ 山本 雅一
て、豊かで深い授業づくりを探究する。

後期 木曜日 1時限 C304

公民科の教材研究・教材開発の基礎的な方法を理解し、教材設定と教材の効果的な活用、及び豊かで深い授業づくりの方法を身に付ける。

公民科の目標を達成するための教材研究や教材開発の基礎的な方法を理解し、教材設定と教材の効果的な活用方法を探究するとともに、豊かで深い授業づくりや指導事例研究を行う。

期末レポート(50% 授業設計案:教材研究と教材開発、教材設定と教材活用など総合的に評価する。) 平常点(50% 授業への意欲、課題への取組、発表等、授業に対する積極性を重視する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171034000&opi=se0020&syw=1

教科書 高等学校学習指導要領解説 公民編 / 文部科学省 . HPダウンロード , .



教育実習指導(一)：教育実習の事前指導

中戸 義雄・大西 英
人・辻 寛司

通年 木曜日 4時限 C301.
通年 木曜日 4時限 C302.
通年 木曜日 5時限 C301.
通年 木曜日 5時限 C302

次年度の教育実習を、立派に実践できる力を身につける。

教育実習は、学生が教育実践に携われる初めての機会である。短期間であるが、実習校で一般教職員として教育実習をすることになるのであるから、その責任は極めて重大である。現在の教育界の動向を見据えながら、教職員としての自覚、意欲や学校、教職員、生徒のあり方等を把握し、次年度の教育実習を前向きに確実に実践できるように、下記の内容について講義を進め、また模擬授業を通じて理解を深めさせる。教育実習ガイダンスにて配付する「教職課程日程表」のとおり。

レポート(学習指導案等)、模擬授業の出来ばえ及び参加態度等を総合評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171040100&opi=se0020&syw=1

教科書 プリントを配付する



教育実習指導(二)：教育実習の直前および事後の指導

中戸 義雄・大西 英
人・辻 寛司

通年 木曜日 5時限 C301.
通年 木曜日 5時限 C302

事前段階では教育実習の準備を十分行なうこと。事後では教育実習を振り返り今後の課題を整理検討すること。

教育実習直前の指導としてガイダンスを行なう。教育実習生としての心構え、服務内容の概略、教科指導、生徒指導、学級運営、校務分掌などに関わる留意事項や注意点について理解を深める。また実習後は、実習報告会への参加や体験記の執筆を通して、自己評価、自己点検を行なう。

上記に関わる提出物、報告会等への参加態度による総合評価とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171040002&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



教育実習Ⅰ：学校現場における教育実習

中戸 義雄・大西 英人 通年 その他 その他 その他

1 教職に対する自覚を深めること 2 十分な教材研究をもとにした授業を展開できること 3 生徒理解、生徒指導を積極的におこなうこと 4 学校運営にかかわる事務処理を適切に遂行すること

教職課程の総仕上げとして、中学校において教師になるための実習を行なう。この実習には、それまでに専門科目、教養科目、教職科目を通して学んだ知識や技術、また、培ってきた「ものの見方・考え方」が反映されることとなる。同時に、この実習によって、それぞれの専門領域の研究について再吟味され、自己の生き方に新たな目を開く契機ともなるだろう。準備段階からの注意事項など詳細については『教職課程ハンドブック』に記載されているので、それをよく読んで理解しておくこと。そして前もって(3年生の間に)実習予定校に実習受け入れのお願いをしておくことが必要である。また実習が始まる前に実習校を訪問し、指導教諭の指示を受けて、授業の参観や教材研究などに早めに取りかかっておくことが望ましい。なお、実習は4週間、教育実習校において従事する。実習中は勤務と同じである。したがって非常事態でないかぎり、無遅刻無欠勤であること。指導教諭の指示のもと、生徒理解や教材研究について積極的な姿勢を示すことが必要である。教育実習ガイダンスにて配付する「教職課程日程表」のとおり。

実習校からの成績が中核をなすが、加えて実習日誌を確認するとともに、実習に関する提出物等をもとに総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171041100&opi=se0020&syw=1

教科書

教育実習Ⅱ：学校現場における教育実習

中戸 義雄・大西 英人 通年 その他 その他 その他

1 教職に対する自覚を深めること 2 十分な教材研究をもとにした授業を展開できること 3 生徒理解、生徒指導を積極的におこなうこと 4 学校運営にかかわる事務処理を適切に遂行すること

教職課程の総仕上げとして、実際の教育現場(高等学校)において教員になるための実習を行なう。この実習には、それまでに専門科目、教養科目、教職科目を通して学んだ知識や技術、また、培ってきた「ものの見方・考え方」が反映されることとなる。同時に、それぞれの専門領域の研究についても、「教える」という場面を通じて再吟味でき、さらには自己の生き方に新たな目を開く契機ともなるだろう。準備段階からの注意事項など詳細については『教職課程ハンドブック』をよく読んで理解しておくこと。ついては、事前に(3年次の間に)実習予定校に実習受け入れをお願いしておくことが必要である。また、実習が始まる迄に実習校を訪問し、指導教諭の指示を受けるなどして、授業の参観や教材研究等早めに準備に取りかかっておくことが望ましい。なお、2週間の実習であっても、実習期間中は勤務と同じである。非常時でないかぎり無遅刻無欠勤であることはもちろんのこと、指導教諭の指導のもと、生徒理解や教材研究について積極的な姿勢で臨むことが肝要である。教育実習ガイダンスにて配付する「教職課程日程表」のとおり。

実習校からの成績が中核をなすが、加えて実習日誌を確認するとともに、実習に関する提出物等をもとに総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171041200&opi=se0020&syw=1

教科書

教職実践演習(中・高)：大学での学びや教育実習・教員採用試験等の体験をもとに自己の課題を把握し、自らがめざすべき教師像を確認するとともに、教職専門職として求められる資質・能力を磨く。

後期 月曜日 5時限 C301.
後期 月曜日 5時限 C303.
後期 月曜日 5時限 C304.
後期 月曜日 5時限 C305.
後期 月曜日 5時限 C306

教師として必要な基礎的資質の形成について、以下の項目について確認していく。① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情をもっていること。② 生徒の成長に寄与し、教職員や保護者と連携していくための社会性やコミュニケーション能力を身につけていること。③ 生徒理解や学級経営等に関する能力の基礎を身につけていること。④ 教科に関する十分な知識や指導力の基礎を形成していること。

受講生がこれまでの教職課程および教育実習で学び、経験してきた内容事項を確認しながら、グループ討論や事例研究などを行っていく。とくに今日困難の増している生徒指導については、事例研究と並んでロールプレイを取り入れることでより実践的な検討を重ねていく。また、各教科の指導についてもモデル授業の検討や模擬授業の実施によって基礎的能力の充実を図っていく。

各授業時に提出する小レポート等 50%(授業内容の理解度、実践への応用的視点を重視)、模擬授業に関する指導案及びその模擬授業 50%(指導案の完成度と模擬授業準備の程度を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171042000&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する予定

教職実践演習(中・高)：大学での学びや教育実習・教員採用試験等の体験をもとに自己の課題を把握し、自らがめざすべき教師像を確認するとともに、教職専門職として求められる資質・能力を磨く。

後期 月曜日 5時限 C301.
後期 月曜日 5時限 C303.
後期 月曜日 5時限 C304.
後期 月曜日 5時限 C305.
後期 月曜日 5時限 C306

教師として必要な基礎的資質の形成について、以下の項目について確認していく。① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情をもっていること。② 生徒の成長に寄与し、教職員や保護者と連携していくための社会性やコミュニケーション能力を身につけていること。③ 生徒理解や学級経営等に関する能力の基礎を身につけていること。④ 教科に関する十分な知識や指導力の基礎を形成していること。

受講生がこれまでの教職課程および教育実習で学び、経験してきた内容事項を確認しながら、グループ討論や事例研究などを行っていく。とくに今日困難の増している生徒指導については、事例研究と並んでロールプレイを取り入れることでより実践的な検討を重ねていく。また、各教科の指導についてもモデル授業の検討や模擬授業の実施によって基礎的能力の充実を図っていく。

各授業時に提出する小レポート等 50%(授業内容の理解度、実践への応用的視点を重視)、模擬授業に関する指導案及びその模擬授業 50%(指導案の完成度と模擬授業準備の程度を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171042000&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する予定

教職実践演習(中・高)：大学での学びや教育実習・教員採用試験等の体験をもとに自己の課題を把握し、自らがめざすべき教師像を確認するとともに、教職専門職として求められる資質・能力を磨く。	中戸 義雄・大西 英人・山本 雅一・辻 寛	後期 月曜日 5時限 C301. 後期 月曜日 5時限 C303. 後期 月曜日 5時限 C304. 後期 月曜日 5時限 C305. 後期 月曜日 5時限 C306
---	-----------------------	---

教師として必要な基礎的資質の形成について、以下の項目について確認していく。① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情をもっていること。② 生徒の成長に寄与し、教職員や保護者と連携していくための社会性やコミュニケーション能力を身につけていること。③ 生徒理解や学級経営等に関する能力の基礎を身につけていること。④ 教科に関する十分な知識や指導力の基礎を形成していること。



受講生がこれまでの教職課程および教育実習で学び、経験してきた内容事項を確認しながら、グループ討論や事例研究などを行っていく。とくに今日困難の増している生徒指導については、事例研究と並んでロールプレイを取り入れることでより実践的な検討を重ねていく。また、各教科の指導についてもモデル授業の検討や模擬授業の実施によって基礎的能力の充実を図っていく。

各授業時に提出する小レポート等 50%(授業内容の理解度、実践への応用的視点を重視)、模擬授業に関する指導案及びその模擬授業 50%(指導案の完成度と模擬授業準備の程度を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171042000&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する予定

教職実践演習(中・高)：大学での学びや教育実習・教員採用試験等の体験をもとに自己の課題を把握し、自らがめざすべき教師像を確認するとともに、教職専門職として求められる資質・能力を磨く。	中戸 義雄・大西 英人・山本 雅一・辻 寛	後期 月曜日 5時限 C301. 後期 月曜日 5時限 C303. 後期 月曜日 5時限 C304. 後期 月曜日 5時限 C305. 後期 月曜日 5時限 C306
---	-----------------------	---

教師として必要な基礎的資質の形成について、以下の項目について確認していく。① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情をもっていること。② 生徒の成長に寄与し、教職員や保護者と連携していくための社会性やコミュニケーション能力を身につけていること。③ 生徒理解や学級経営等に関する能力の基礎を身につけていること。④ 教科に関する十分な知識や指導力の基礎を形成していること。



受講生がこれまでの教職課程および教育実習で学び、経験してきた内容事項を確認しながら、グループ討論や事例研究などを行っていく。とくに今日困難の増している生徒指導については、事例研究と並んでロールプレイを取り入れることでより実践的な検討を重ねていく。また、各教科の指導についてもモデル授業の検討や模擬授業の実施によって基礎的能力の充実を図っていく。

各授業時に提出する小レポート等 50%(授業内容の理解度、実践への応用的視点を重視)、模擬授業に関する指導案及びその模擬授業 50%(指導案の完成度と模擬授業準備の程度を重視)とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171042000&opi=se0020&syw=1

教科書 必要に応じて資料を配布する予定

人権教育の研究(一)：人権が尊重され擁護される社会を築く「人権文化の創造」を目指した人権教育の推進	大西 英人	前期 金曜日 5時限 C202
---	-------	-----------------

人権尊重の視点に立った学校づくりを推進するための確かな理論とスキルの習得

人権教育を通じて育てたい資質・能力・感性を明らかにし、「生きる力」として人権問題を考え、解決に取り組もうとする意思と意欲を醸成するための教育及び啓発の進め方を探究する。また、この教育活動の性質を踏まえ、演習においては、グループワークやプレゼンテーションを積極的に取り入れる。

対話カード(10%)で関心、意欲、態度等を評価する。
課題レポート及び学習指導案作成(90%)で考察力、表現力等を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171043001&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配付する講義関係資料



人権教育の研究(二)：人権が尊重され擁護される社会を築く「人権文化の創造」を目指した人権教育の推進	深瀬 重雄	後期 月曜日 4時限 C202
---	-------	-----------------

人権尊重の視点に立った学校づくりを推進するための確かな理論とスキルの習得

人権教育を通じて育てたい資質・能力・感性を明らかにし、「生きる力」として人権問題を考え、解決に取り組もうとする意思と意欲を醸成するための教育及び啓発の進め方を探究する。また、この教育活動の性質を踏まえ、演習においては、グループワークやプレゼンテーションを積極的に取り入れる。

対話カード(10%)で関心、意欲、態度等を評価する。
課題レポート及び学習指導案作成(90%)で考察力、表現力等を評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171043002&opi=se0020&syw=1

教科書 適宜配付する講義関係資料



道德教育論(一)：道德教育実践のための原理的・実践的考察	中戸 義雄	前期 土曜日 3時限 C203
------------------------------	-------	-----------------

道德の意義や原理を踏まえ、道德教育の柱となる道德科の目標や内容や指導計画などを理解する。これらをもとに、児童生徒が自らの生き方を考えられる道德教育・道德授業を構成・実践できる基礎力を身につけることをめざす。道德科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。

「道德的」ということは堅苦しく融通の利かないイメージとしてとらえられることが多い。しかし道德は自分自身、他者そして社会などと自分とのかかわりのあり方をとらえたものであり、その点からも動的であることが理解される。本授業では、まず道德の本質やそのあり方を理解し、学校教育における道德教育が目指すものを考察していく。そのうえで、学校の教育活動全体を通して実践される必要のある道德教育のあり方を多面的に考察し、その実践への基礎を身に付けていく。

授業中の小レポート 30%(授業内容の理解度)、プレゼンテーション・研究発表 20%(事前の準備と独自性を重視)と自作の学習指導案 50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171035501&opi=se0020&syw=1

教科書 道德教育の可能性 / 中戸義雄他編、ナカニシヤ出版、2005、978-4888489546 中学校学習指導要領解説 特別の教科道德編 / 文部科学省、HPダウンロード、



道徳教育論(二)：道徳教育実践のための原理的・実践的考察

中戸 義雄

後期 金曜日 4時限 C202

道徳の意義や原理を踏まえ、道徳教育の柱となる道徳科の目標や内容や指導計画などを理解する。これらをもとに、児童生徒が自らの生き方を考えられる道徳教育・道徳授業を構成・実践できる基礎力を身につけることをめざす。道徳科の学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行えることが目標。



「道徳的」ということは堅苦しく融通の利かないイメージとしてとらえられることが多い。しかし道徳は自分自身、他者そして社会などと自分とのかかわりのあり方をとらえたものであり、その点からも動的であることが理解される。本授業では、まず道徳の本質やそのあり方を理解し、学校教育における道徳教育が目指すものを考察していく。そのうえで、学校の教育活動全体を通して実践される必要のある道徳教育のあり方を多面的に考察し、その実践への基礎を身につけていく。

授業中の小レポート 30% (授業内容の理解度)、プレゼンテーション・研究発表 20% (事前の準備と独自性を重視) と自作の学習指導案 50% (独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_171035502&opi=se0020&syw=1

教科書 道徳教育の可能性 / 中戸義雄他編・ナカニシヤ出版、2005・978-4888489546 中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編 / 文部科学省・HPダウンロード、

生涯学習概論(一)：生涯学習の歴史・理論・実践について学ぶ。

近藤 凜太郎

前期 月曜日 5時限 C302

「生涯学習」にかんする基礎知識を吸収する。また、生涯学習について、歴史的・理論的・実践的に考える力を身につける。



「生涯学習」にかんして歴史的・理論的・実践的に学ぶ。そのために以下二つの課題に取り組む。

①「生涯学習」を歴史的、人間学的、社会的、心理学的な観点から理論的に検討する。

②「生涯学習」の現状、問題点、可能性について検討する。

・授業中の小レポート(講義内容の理解度を確保)30%

・期末レポート(論理性と独自性を重視)70%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし

生涯学習概論(二)：生涯学習に関する歴史・理論・実践について学ぶ。

中戸 義雄

後期 金曜日 2時限 C205

生涯学習について生涯発達を中心とした多様な視点から考察し、理解できるようにする。生涯学習の概念が確立する前後で、「学び」の意味や位置づけがどのように変容したのかを適切に説明できることが目標。



1. 生涯学習・社会教育の理念と歴史 2. 生涯発達と学習課題 3. 生涯学習・社会教育の内容と方法 4. 生涯学習と家庭教育・学校教育 5. 生涯学習の今後の可能性

授業中の小レポート30% (授業内容の理解度)、プレゼンテーション20% (事前準備の程度)、課題レポート50% (独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021002&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない

博物館概論：博物館に関する基礎的知識の習得。

杉山 智昭

前期 月曜日 2時限 C302

博物館とは何か、博物館の定義・目的、博物館の基本的機能、仕組み、関連法規、博物館発達史等の基礎を学習し、今日の博物館事情等を整理して博物館のあるべき姿を考える。



1. 博物館の定義 2. 博物館の種類 3. 博物館学とは何か 4. 博物館の基本的機能と学芸員の役割 5. 博物館の組織と学芸員 6. 博物館関係法規 7. 博物館の歴史 8. 現代社会での博物館、博物館の現状と課題

講義中に課される小レポートの合計(50%)、講義最終日の到達度確認レポート(50%)で総合的に成績評価を行う。最終日の到達度確認には自作のノート以外、資料等の持ち込みは一切不可。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172030100&opi=se0020&syw=1

教科書 新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編・芙蓉書房出版、2015。

博物館経営論：博物館経営論

瀬口 眞司・堀 真人

前期 水曜日 5時限 C302

経営とは何かを考え、博物館経営を支える理論的基盤、行財政制度、評価法やマーケティング・広報・連携をはじめとする諸々の手法とシステムなどを学習し、事例を踏まえた上で博物館経営に関する基本的な考え方、知識、手法の習得を目標とする。



1. 博物館経営の定義・意味 2. 博物館の行動規範 3. 博物館教育の理論 4. 博物館の経営基盤 5. 経済的側面から見た博物館経営 6. 指定管理者制度 7. 事業評価の手法とシステム 8. 展示評価と学習評価 9. マーケティングと利用者調査 10. 博物館の広報活動 11. 博物館における連携 12. 博物館の危機管理

第15週に「学習到達度確認」を行う。「学習到達度確認」50%、第14回の講義後に提出するレポート(事前課題提示)50%で評価。ともに講義内容を正確に把握しているかを論述形式で問う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172031000&opi=se0020&syw=1

教科書

博物館資料論：博物館資料の種類から活用法にいたる基礎知識の習得。

杉山 智昭

前期 月曜日 4時限 C302

博物館資料の種類を理解し、収集、整理保管、取り扱い等の理論や方法に関する知識、技術を習得し、博物館資料の調査研究活動の学習を通じて、博物館資料に関する基礎を学ぶ。



1. 博物館資料の概念 2. 博物館資料の収集・整理、保管 3. 博物館資料の調査研究 4. 博物館資料の見方と取り扱い 5. 博物館資料と情報 6. 博物館資料の保存と修復と制作 7. 博物館資料の活用法

講義中に課される小レポートの合計(50%)、講義最終日の到達度確認レポート(50%)で総合的に成績評価を行う。最終日の到達度確認には自作のノート以外、資料等の持ち込みは一切不可。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172031300&opi=se0020&syw=1

教科書 新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会・芙蓉書房出版、2015。

博物館資料保存論：博物館資料の種類から活用法にいたる基礎知識の習得。 杉山 智昭 後期 月曜日 4時限 C302

博物館資料の種類を理解し、収集、整理保管、取り扱い等の理論や方法に関する知識、技術を習得し、博物館資料の調査研究活動の学習を通じて、博物館資料に関する基礎を学ぶ。

1.博物館資料の概念 2.博物館資料の収集・整理、保管 3.博物館資料の調査研究 4.博物館資料の見方と取り扱い
5.博物館資料と情報 6.博物館資料の保存と修復と制作 7.博物館資料の活用法

講義中に課される小レポートの合計(50%)、講義最終日の到達度確認レポート(50%)で総合的に成績評価を行う。最終日の到達度確認には自作のノート以外、資料等の持ち込みは一切不可。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172031600&opi=se0020&syw=1

教科書 新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会・芙蓉書房出版、2015。



博物館展示論：展示を実施するうえでの空間や設備、鑑賞支援の方法等、実践技術について 森本 徹 後期 土曜日 2時限 C102

学芸員の専門性を高めるうえで、展示の知識及び研究能力・実践技術が必要とされる。展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養う。また、今日の現状を把握して、あるべき姿を考える。

1. 博物館展示の意義・役割(展示の政治性と社会性、調査研究の成果の提示)、2. コミュニケーションとしての展示(教育活動)、3. 展示と展示論の歴史、4. 展示の諸形態、5. 博物館展示の実際(展示の制作、関係者との協力)、6. 展示の評価と改善・更新、7. 鑑賞支援の解説活動(解説パネル、人による解説、機器による解説)、8. 展示解説書のありかた、9. 展示の現状と課題

定期試験期間(16週目)に試験を実施する。講義の内容を正確に把握しているかを用語の選択形式および論述形式で問う。試験の採点結果に従って評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172031900&opi=se0020&syw=1

教科書 新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本支部・芙蓉書房出版、2012。978-4-8295-0551-9



博物館教育論：博物館における教育活動 米屋 優 後期 月曜日 2時限 C302

博物館における教育活動の意義と理念を理解し、博物館教育の方法に関する知識を習得するとともに各種学習プログラムの開発や評価を行うための基礎的能力を身につける。

1. 博物館教育の意義
2. 博物館教育の歴史
3. 博物館教育の方法
4. 博物館教育の実践
5. 博物館教育の課題と展望

というテーマについて、博物館学芸員として経験をもとに授業を行う。

毎回、授業時間中に小テストを行い、学習到達度確認を行う。以上の平常点と最終授業日に実施する学習到達度確認により成績を評価する。出席数が不足していた(6回以上の欠席)場合は評価できない。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172032200&opi=se0020&syw=1

教科書 博物館教育論 第2版 学芸員の現場で役立つ基礎と実践 / 黒澤浩・講談社、2025。978-4-06-538014-7



博物館情報・メディア論：博物館情報・メディアとは何か 江浦 洋 前期 木曜日 2時限 C102

博物館における情報の意義と活用方法、および情報発信の課題などについて理解し、博物館で扱う情報の提供と活用等に関する基礎的な能力を養う。

博物館で扱う情報・メディアの意義内容と理論、およびその実際的な運用の現状と課題について講じ、IT社会における情報公開・発信や知的財産権等についての知識と理解をはかる。

【レポート】授業内容を理解しているか、論理的に展開しているかなどを総合的に評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172032500&opi=se0020&syw=1

教科書



博物館実習I：多様な博物館の実態を理解する。 共同.杉山 智昭.米屋 優 前期 土曜日 3時限 C102.
前期 土曜日 4時限 C102

実習をととして博物館学芸員課程の講義科目において学んだ知識・技術・理論を基に人文科学系博物館に関する基礎知識と学芸員としての基本的な素養を身に付ける。

博物館実習Iでは、見学実習と博物館関係者による講演会を行う。見学実習は教員が引率をして4館を見学(引率見学)し、さらに各自が自主的に3館を選択して見学する(自主見学)。講演会は博物館関係者を招いて3回講演を行う。

配点は「授業への積極的参加(65%)」と「提出物(35%)」とし、定期試験は行わない。提出物の評価基準は「3段階(A:目標以上, B:目標達成, C:あと少し)」と「基準に満たないもの(×:不合格)」で評価する。授業欠席・提出物未提出・規定枚数不足など、いい加減な提出物は不合格とし減点対象。詳細はガイダンス時に説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172032800&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



博物館実習Ⅱ：博物館資料の取扱いや記録の技術を習得する。

米屋 優

後期 土曜日 3時限 C102
後期 土曜日 4時限 C102

実習をととして博物館資料の文化財としての意義や構造を理解し、資料の整理・保存・展示に関する技術や方法を実践的に身に付ける。

博物館実習Ⅱでは、文献史料・美術資料・考古資料・民俗資料・梱包の各分野にわたる実務(実技)実習を少人数の班にわかれて行う。

また、当年度に博物館実習Ⅲにおいて館園実習を受けた先輩諸氏の体験を聞くことで、翌年度に受講する館園実習に備えた事前指導の一環とする。

配点は「授業への積極的参加(65%)」と「提出物(35%)」とし、定期試験は行わない。提出物の評価基準は「3段階(A:目標以上, B:目標達成, C:あと少し)」と「基準に満たないもの(×:不合格)」で評価する。授業欠席・提出物未提出・規定枚数不足など、いい加減な提出物は不合格とし減点対象。詳細はガイダンス時に説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172033100&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



博物館実習Ⅲ：博物館資料の収集、保管、展示、整理、調査研究、教育普及等の学芸員の業務と博物館運営の実態を、実務を体験することによって理解する。博物館の実務体験によって、大学で学んできた博物館像を確認する。

米屋 優 通年 その他 その他 その他

博物館における実務体験をととして学芸員の役割や博物館運営の実情を理解し、学芸員としての職務遂行に必要な知識と技能を身に付ける。

博物館実習Ⅲでは、博物館学芸員課程の講義科目等で学んだ博物館のあらゆる機能および業務内容について、実際に運用されている館で学芸員のもとに実習する。主な内容は次のとおり。①博物館運営一般に関する理論と実践②学内実習で習得した基礎的な知識や技術の実践③その他実習館で計画された事項。各実習館で5日間以上の実習体験。実習1箇月前に「実施要項」の発表。

配点は実習ノート100%、基準は100点満点で評価する。定期試験は行わない。館園実習の欠席は「出席不足」、実習ノート未提出は「試験欠席」の評価とする。館園実習ガイダンス欠席・館園実習体験発表会欠席は減点対象。詳細はガイダンス時に説明する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172033400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



生涯学習概論(一)：生涯学習の歴史・理論・実践について学ぶ。

近藤 凜太郎

前期 月曜日 5時限 C302

「生涯学習」にかんする基礎知識を吸収する。また、生涯学習について、歴史的・理論的・実践的に考える力を身につける。

「生涯学習」にかんして歴史的・理論的・実践的に学ぶ。そのために以下二つの課題に取り組む。

①「生涯学習」を歴史的、人間学的、社会学的、心理学的な観点から理論的に検討する。

②「生涯学習」の現状、問題点、可能性について検討する。

・授業中の小レポート(講義内容の理解度を確認)30%

・期末レポート(論理性と独自性を重視)70%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021001&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



生涯学習概論(二)：生涯学習に関する歴史・理論・実践について学ぶ。

中戸 義雄

後期 金曜日 2時限 C205

生涯学習について生涯発達を中心とした多様な視点から考察し、理解できるようにする。生涯学習の概念が確立する前後で、「学び」の意味や位置づけがどのように変容したのかを適切に説明できることが目標。

1. 生涯学習・社会教育の理念と歴史 2. 生涯発達と学習課題 3. 生涯学習・社会教育の内容と方法 4. 生涯学習と家庭教育・学校教育 5. 生涯学習の今後の可能性

授業中の小レポート30%(授業内容の理解度)、プレゼンテーション20%(事前準備の程度)、課題レポート50%(独自性と完成度を重視)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_172021002&opi=se0020&syw=1

教科書 使用しない



図書館概論(一)：現代社会と図書館を考える際に必要な基礎知識全般を理解する。

竹田 芳則

前期 土曜日 1時限 C202

法律や各種の基準、館種ごとの機能など図書館員の役割等の基礎知識を理解する。

図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を解説する。

平常点のみ・評価基準：授業に対する積極性60%(課題発表への取り組み姿勢等)、学習到達度確認40%(図書館の機能や社会における意義や役割についての理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173000101&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館概論(二)：現代社会と図書館を考える際に必要な基礎知識全般を理解する。

竹田 芳則

後期 土曜日 3時限 C204

法律や各種の基準、館種ごとの機能など図書館員の役割等の基礎知識を理解する。

図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を解説する。

平常点のみ・評価基準：授業に対する積極性60%(課題発表への取り組み姿勢等)、学習到達度確認40%(図書館の機能や社会における意義や役割についての理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173000102&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館制度・経営論(一)：公共図書館の経営及び図書館に関わる自治体行政の仕組みについて理解する。 竹田 芳則

前期 金曜日 4時限 C104

図書館の制度・経営について、近年図書館法及び関連法規の改正が行われたことに鑑み、多くの変革・可能性を内包するようになってきた。図書館経営にも、新しい概念や考え方の導入を図りながら、住民の暮らしや文化の向上に資することが使命であることを確認した上で、現代に即した管理・運営法を体得する。

図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。

平常点のみ・評価基準：授業に対する積極性60%(授業後のアンケート提出等)、学習到達度確認40%(図書館に関わる法令、制度、諸政策、図書館を維持・発展させるための経営上の観点等についての理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010101&opi=se0020&syw=1

教科書 図書館情報学基礎資料 第6版 / 今まど子・小山憲司 編著・樹村房, 2026 . 9784883674121



図書館制度・経営論(二)：公共図書館の経営及び図書館に関わる自治体行政の仕組みについて理解する。 竹田 芳則

後期 土曜日 1時限 C204

図書館の制度・経営について、近年図書館法及び関連法規の改正が行われたことに鑑み、多くの変革・可能性を内包するようになってきた。図書館経営にも、新しい概念や考え方の導入を図りながら、住民の暮らしや文化の向上に資することが使命であることを確認した上で、現代に即した管理・運営法を体得する。

図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。

平常点のみ・評価基準：授業に対する積極性60%(授業後のアンケート提出等)、学習到達度確認40%(図書館に関わる法令、制度、諸政策、図書館を維持・発展させるための経営上の観点等についての理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010102&opi=se0020&syw=1

教科書 図書館情報学基礎資料 第6版 / 今まど子・小山憲司 編著・樹村房, 2026 . 9784883674121



図書館情報技術論(一)：「図書館」の可能性を追求するのに必要な基礎技術を知る。 福井 雄大

前期 土曜日 1時限 C104

私たちを取り巻く情報技術はまさに日進月歩である。そのような中でも特に図書館業務における情報技術に焦点を当て、基礎的な知識を習得することを目指す。

図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説する。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%

いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010401&opi=se0020&syw=1

教科書 3訂 図書館と情報技術 / 田窪直規編・樹村房, 2023年 . 978-4-88367-374-2



図書館情報技術論(二)：「図書館」の可能性を追求するのに必要な基礎技術を知る。 福井 雄大

後期 金曜日 5時限 C104

私たちを取り巻く情報技術はまさに日進月歩である。そのような中でも特に図書館業務における情報技術に焦点を当て、基礎的な知識を習得することを目指す。

図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説する。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%

いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010402&opi=se0020&syw=1

教科書 3訂 図書館と情報技術 / 田窪直規編・樹村房, 2023年 . 978-4-88367-374-2



図書館サービス概論(一)：図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供や情報サービスをはじめとした各種図書館サービスについて概説する。 竹田 芳則

前期 水曜日 5時限 C204

図書館サービスの基本的な内容をふまえ、利用対象に応じた図書館サービスや図書館サービスの歴史的変遷、また新たなサービスの取り組みについて理解することができる。

図書館サービスの概要とともに資料提供サービス、情報サービス、利用者別の図書館サービスに大別して、それらの内容と方法について解説する。各種の図書館サービスについて、具体的な実践例を示し、必要に応じて映像も取り入れながら授業を進める。

各種の図書館サービスの内容や特徴について理解すること。評価は授業への積極的な取り組み60%(授業内の課題提出)と、最終授業日に実施する学習到達度確認(図書館サービスの基本的な考え方や取組についての理解)40%によって行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010701&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館サービス概論(二)：図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供や情報サービスをはじめとした各種図書館サービスについて概説する。 竹田 芳則

後期 水曜日 4時限 C204

図書館サービスの基本的な内容をふまえ、利用対象に応じた図書館サービスや図書館サービスの歴史的変遷、また新たなサービスの取り組みについて理解することができる。

図書館サービスの概要とともに資料提供サービス、情報サービス、利用者別の図書館サービスに大別して、それらの内容と方法について解説する。各種の図書館サービスについて、具体的な実践例を示し、必要に応じて映像も取り入れながら授業を進める。

各種の図書館サービスの内容や特徴について理解すること。評価は授業への積極的な取り組み60%(授業内の課題提出)と、最終授業日に実施する学習到達度確認(図書館サービスの基本的な考え方や取組についての理解)40%)によって行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173010702&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



情報サービス論(一)：図書館における各種の情報サービスについて総合的に概説する。 福井 雄大

前期 金曜日 5時限 C104

図書館で行われる情報サービスの概要について理解するとともに、情報サービスの方法を考えるうえで参考図書(レファレンスブック)や各種データベースの活用について意識できる。

図書館全般において情報サービスを実施する上で必要かつ基本的なレファレンスサービスと、情報検索サービスに関わるサービス提供方法の融合化を目指す。各種の情報サービスの理論や実際に触れ、情報サービス演習の概説としての説明を行う。従来の参考図書や新しい情報源に対する知識を深め、様々な質問に総合的かつ実践的に対応できる情報サービスについて解説する。また学校図書館によるレファレンスサービスを通じた探求的な学習の支援のあり方についても説明する。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%
いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011001&opi=se0020&syw=1

教科書 情報サービス論(JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 5) / 小田光宏編著・日本図書館協会、2012.
9784820412113



情報サービス論(二)：図書館における各種の情報サービスについて総合的に概説する。 福井 雄大

後期 土曜日 3時限 C104

図書館で行われる情報サービスの概要について理解するとともに、情報サービスの方法を考えるうえで参考図書(レファレンスブック)や各種データベースの活用について意識できる。

図書館全般において情報サービスを実施する上で必要かつ基本的なレファレンスサービスと、情報検索サービスに関わるサービス提供方法の融合化を目指す。各種の情報サービスの理論や実際に触れ、情報サービス演習の概説としての説明を行う。従来の参考図書や新しい情報源に対する知識を深め、様々な質問に総合的かつ実践的に対応できる情報サービスについて解説する。また学校図書館によるレファレンスサービスを通じた探求的な学習の支援のあり方についても説明する。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%
いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011002&opi=se0020&syw=1

教科書 情報サービス論(JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 5) / 小田光宏編著・日本図書館協会、2012.
9784820412113



児童サービス論(一)：地域とつながる公共図書館の児童サービスを中心に、サービスの意義と実際、国や自治体の子ども読書活動推進の動き等を理解する。 井尻 みや子

前期 木曜日 2時限 C204

サービス対象である子どもを知り、児童資料を知り、子どもと資料を結びつける方法・技術を理解し修得できる。子どもの発達と学習における読書の重要性を理解する。

- ・配布資料とパワーポイントを使って、テキストに沿って授業を進める。
- ・乳幼児から中高生にあたる年齢層までの子どもたちを対象とするサービスの現状や課題について、児童サービス担当者の専門性、学校や地域諸機関との連携、ボランティアとの協働を含めて概説する。
- ・児童サービスの基本となる絵本や児童文学や知識の本などの資料を紹介する。授業や演習で実際に児童資料に触れる機会を持つ。

課題・小テスト・期末レポート課題を実施する。授業への参加態度、授業内容の理解度を含め総合的に評価する。
平常点：60%(授業の参加態度、課題、小テスト、演習)、期末レポート課題：40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173003001&opi=se0020&syw=1

教科書 児童サービス論 新訂版 JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 / 堀川照代／編著・日本図書館協会、2020. 978-4-8204-1909-9



児童サービス論(二)：地域とつながる公共図書館の児童サービスを中心に、井尻 みや子
サービスの意義と実際、国や自治体の子ども読書活動推進の動き等を理解する。

後期 木曜日 1時限 C204

サービス対象である子どもを知り、児童資料を知り、子どもと資料を結びつける方法・技術を理解し修得できる。子どもの発達と学習における読書の重要性を理解する。

- ・配布資料とパワーポイントを使って、テキストに沿って授業を進める。
- ・乳幼児から中高生にあたる年齢層までの子どもたちを対象とするサービスの現状や課題について、児童サービス担当者の専門性、学校や地域諸機関との連携、ボランティアとの協働を含めて概説する。
- ・児童サービスの基本となる絵本や児童文学や知識の本などの資料を紹介する。授業や演習で実際に児童資料に触れる機会を持つ。

課題・小テスト・期末レポート課題を実施する。授業への参加態度、授業内容の理解度を含め総合的に評価する。
平常点：60%（授業の参加態度、課題、小テスト、演習）、期末レポート課題：40%

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173003002&opi=se0020&syw=1

教科書 児童サービス論 新訂版 JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 / 堀川照代／編著・日本図書館協会、2020. 978-4-8204-1909-9



情報サービス演習(一)：図書館(主に公立図書館)における、レファレンス サービスやパスファインダー作成など、様々な情報サービスについての演習。 福井 雄大

通年 土曜日 4時限 C104

多様な情報源の理解及び、適切な情報源の選択、正確な情報を収集するスキル・知識を身に付ける。

メディアの多様化により、あらゆる情報源を活用する能力が求められる。この科目では、前半では信頼性の高いレファレンスブックの活用を、後半ではインターネット上の有益な情報を取得できるよう演習を行う。

平常点50%、演習成果物50%

いずれにおいても授業内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011301&opi=se0020&syw=1

教科書 とくになし



情報サービス演習(二)：レファレンス質問への回答を模した情報検索の演習 や主題書誌等の作成によって発信型情報サービスを実践できる能力を身につける。 福西 敏文

通年 金曜日 4時限 C103
通年 金曜日 4時限 I105

- ・参考図書の特徴を理解して調査に活用することができる。・インターネット情報資源から確かな情報を探し出す知識と技術を身に付ける。・調査内容を口頭と文書で丁寧に伝えることができる。

春学期のはじめに、情報サービスの設計から評価に至る各種の業務や、レファレンスサービス・情報検索の概要を解説する。続いて大学図書館と情報処理室を使った演習により実際のレファレンスツールに接し、その特徴を理解する。春学期の後半から秋学期の前半は主に大学図書館を使って、レファレンス質問に回答する調査(情報検索)に実践的に取り組む。秋学期後半は、各自テーマを設定してパスファインダーや主題書誌を作成しその成果を発表する。授業全体を通じて発信型の情報サービスに係る実践的な能力を養成する。

- ・期末課題提出と発表：40%(問題意識を持って情報を収集しているかどうか)・演習課題提出と発表：40%(課題に真摯に取り組む姿勢を重視する)・小テスト：20%(基本語句の理解)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011302&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂 情報サービス演習 / 原田 智子・樹村房、2025. 978-4-88367-407-7



情報サービス演習(三)：情報提供サービスにあたって必要な情報源の知識 や運用の実際について、レファレンス質問例に即した演習を行う。 村岡 和彦

通年 土曜日 1時限 I105

多様な情報源の理解を得ることができる。質問文から、その趣旨・意図を判読する可能性を広げることができる。調査内容と質問者の思いを繋げるための回答文を作成することができる。

様々な情報源の基本的な理解を進めると共に、レファレンスの先行事例に触れながら、実際に回答行動を試行する。これを、当学図書館での蔵書を通じて、またPCを使ったインターネット検索を通じて、実施する。演習結果は、その都度レスポンスを返し、クラス全員で成果と課題を共有し、お互いの理解を深める。

なお、受講生のレスポンスを見ながら、適宜進行を調整しながら進める。

平常点50%、演習課題提出物50%。いずれも授業への取組の姿勢として評価する。演習課題の評価は単純な○×ではなく、講師からの講評とその理解のプロセスとして評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011303&opi=se0020&syw=1

教科書 四訂 情報サービス演習 / 原田智子編著・樹村房、2025. 978-4-88367-407-7



図書館情報資源概論(一)：図書館にとって重要な情報である図書館情報資源(図書館資料)を理解し使いこなす。 福井 雄大

前期 土曜日 3時限 C104

図書館の情報資源であるさまざまな資料について、その知識を獲得し、それぞれの特徴を知る。そしてこの図書館の情報資源がどのように組織化され、コレクションとして形成・保持されているかについて理解する。さらに近年の動向として、電子資料やネットワーク資源についても検討し、その実態や現代的な課題について認識していく。できるだけ現物資料を提示しつつ授業を進める。

粘土板文書からデジタル出版物まで、出版には長い歴史がある。図書館は印刷・出版の技術と同伴しながら、資料を収集しコレクションを形成しつつ保存につとめ、図書館情報資源を組織化してきた。この授業では、それら図書館に収蔵されるさまざまな資料の種類と特徴を概説し、その収集・選択・保存について検討していく。また収集・選択にあたって不可欠な知識である出版流通のしくみや、図書館情報資源の活用としての展示、情報資源の保持・管理のための除籍や蔵書点検の重要性についてもふれていく。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%

いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011601&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂 図書館情報資源概論 / 岸田和明・樹村房、2020. 9784883673384



図書館情報資源概論(二)：図書館にとって重要な情報である図書館情報資源(図書館資料)を理解し使いこなす。 福井 雄大

後期 土曜日 1時限 C104

図書館の情報資源であるさまざまな資料について、その知識を獲得し、それぞれの特質を知る。そしてこの図書館の情報資源がどのように組織化され、コレクションとして形成・保持されているかについて理解する。さらに近年の動向として、電子資料やネットワーク資源についても検討し、その実態や現代的な課題について認識していく。できるだけ現物資料を提示しつつ授業を進める。



粘土板文書からデジタル出版物まで、出版には長い歴史がある。図書館は印刷・出版の技術と同伴しながら、資料を収集しコレクションを形成しつつ保存につとめ、図書館情報資源を組織化してきた。この授業では、それら図書館に収蔵されるさまざまな資料の種類と特質を概説し、その収集・選択・保存について検討していく。また収集・選択にあたって不可欠な知識である出版流通のしくみや、図書館情報資源の活用としての展示、情報資源の保持・管理のための除籍や蔵書点検の重要性についてもふれていく。

平常点及び小課題50%、最終授業時に実施する学習到達度確認50%
いずれにおいても講義内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011602&opi=se0020&syw=1

教科書 改訂 図書館情報資源概論 / 岸田和明・樹村房, 2020. 9784883673384

情報資源組織論(一)：図書館情報資源の組織化の「意義と目的、方法」を学ぶ。 槻本 正行

前期 金曜日 4時限 C204

図書館情報資源の組織化の理論と技術について説明する。情報資源組織演習のための基礎的知識を習得することを目的とする。さらに、情報資源組織化の展望についても解説する。



書誌ユーティリティの急速な発展により、書誌情報を入手できる環境ができていった。また、図書館ネットワークが充実して、個々の図書館が作成した書誌情報が共有される。印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化について、具体的に書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用方法を解説する。

レポート課題40点(目録と分類の理論の理解度を評価)＋ 学習内容把握の確認テスト60点(目録と分類の理解度、表現力、説明力、文章力を評価)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011901&opi=se0020&syw=1

教科書 『情報資源組織論』第2版(ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 ; 3) / 榎本裕希子、石井大輔、名城邦孝著 . 学文社, 2019. 9784762028892

情報資源組織論(二)：図書館情報資源の組織化の「意義と目的、方法」を学ぶ。 槻本 正行

後期 木曜日 3時限 C201

図書館情報資源の組織化の理論と技術について説明する。情報資源組織演習のための基礎的知識を習得することを目的とする。さらに、情報資源組織化の展望についても解説する。



書誌ユーティリティの急速な発展により、書誌情報を入手できる環境ができていった。また、図書館ネットワークが充実して、個々の図書館が作成した書誌情報が共有される。印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化について、具体的に書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用方法を解説する。

レポート課題40点(目録と分類の理論の理解度を評価)＋ 学習内容把握の確認テスト60点(目録と分類の理解度、表現力、説明力、文章力を評価)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173011902&opi=se0020&syw=1

教科書 『情報資源組織論』第2版(ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 ; 3) / 榎本裕希子、石井大輔、名城邦孝著 . 学文社, 2019. 9784762028892

情報資源組織演習(一)：図書館情報資源の組織化としての「資料目録法」と「資料分類法」の知識と技術を学ぶ。 福井 雄大

通年 金曜日 3時限 C204

多様な情報資源に関する書誌データは、インターネットを介して広く公開されている。これらの資料に対して、一定の規則に基づいて書誌データを作成する技術を習得する。



印刷資料、非印刷資料、電子資料、その他の資料やネットワーク情報資源は、それぞれに必要な書誌情報が異なる。それらの資料について、書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの活用等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。書誌データ作成は日本目録規則(NCR)、分類作業は日本十進分類法(NDC)を使用し、オンライン目録の演習も行う。

平常点50%、演習成果物50%
いずれにおいても授業内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173012201&opi=se0020&syw=1

教科書

情報資源組織演習(二)：図書館情報資源の組織化としての「資料目録法」と「資料分類法」の知識と技術を学ぶ。 福井 雄大

通年 土曜日 2時限 C104

多様な情報資源に関する書誌データは、インターネットを介して広く公開されている。これらの資料に対して、一定の規則に基づいて書誌データを作成する技術を習得する。



印刷資料、非印刷資料、電子資料、その他の資料やネットワーク情報資源は、それぞれに必要な書誌情報が異なる。それらの資料について、書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの活用等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。書誌データ作成は日本目録規則(NCR)、分類作業は日本十進分類法(NDC)を使用し、オンライン目録の演習も行う。

平常点50%、演習成果物50%
いずれにおいても授業内容の理解度と、考察の論理性・的確性・独自性を評価基準とする。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173012202&opi=se0020&syw=1

教科書

図書館基礎特論：図書館における様々な取り組みから図書館の目指す方向 竹田 芳則

後期 水曜日 3時限 C204

「図書館概論」「図書館制度・経営論」「図書館サービス概論」で学んだことを基礎として、図書館の現状と様々な取り組みについて理解する。実務的な理解とともに図書館の目指す方向性を考える。

「図書館概論」「図書館制度・経営論」「図書館サービス概論」で扱われたいくつかの重要なトピックスを素材とし、図書館が直面する現状とそれに対する具体的な取り組みについて解説する。それぞれの事例から図書館のあり方についての理解を深め、図書館として求められることを考察する。

授業日程前半においては、講義形式で、最近話題になっている図書館をめぐる課題の様々なトピックスを紹介して、問題提起を行う。日程後半において、各自が一つ課題を選択し、口頭での発表を行う。評価は授業時の取り組み(積極的発言等)60%と、課題発表内容(40%)により行う。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173012500&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館情報資源特論：地域資料サービスで用いるさまざまな情報資源について 竹田 芳則

後期 金曜日 1時限 C201

必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から図書館情報資源に関する領域のなかから、地域資料の特性ならびに地域資料を活用したサービスの可能性を理解する。

各図書館独自の図書館情報資源として、地域資料の重要性について学び、地域資料を活用したサービスについての実践を紹介する。また、地域資料のデジタル化の取り組みを進展させた、オープンデータ化や地域住民との協働によるデジタルアーカイブの可能性について解説する。

平常点のみ・評価基準:授業に対する積極性60%(授業後のアンケート提出等)、学習到達度確認40%(地域資料の特性ならびに地域資料を活用したサービスの可能性についての理解度)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173012800&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書・図書館史：図書館の歴史は「知」のダイナミズム史

槻本 正行

前期 金曜日 5時限 C204

図書館の歴史を学ぶことは、人類の「知」がどう伝播し、拡大していったかを知るのと同義である。知は受け継がれ開花し、我々の知的生活を支え続けてきた、この基本的な図書館の歴史概念を学ぶ。

世界史的観点から見ると、知の継承はほとんど奇跡的と言えるような経過をたどった。古代から現代まで切れ目なく図書館が存在し、それぞれの時代にバトンを渡すことができたその過程を詳らかにし、図書館が自由と民主主義の確立に欠かせない重要な施設であることの理由を授業を通して学ぶ。合わせて現代の生活に図書館が必須である理由を考える。

授業参画度(発言、コメントシート記入)10点、レポート課題40点(資料の探索調査スキルとレポートの表現力など)、学習内容の確認テスト50点(基本的な用語、固有名詞の理解度など)による。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173013100&opi=se0020&syw=1

教科書 図書・図書館史(JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ) / 小黒浩司編著・日本図書館協会, 2013. 9784820412182



図書館施設論：公共図書館を主として、図書館の建築・施設・平面・サイン・書架計画などについて学ぶ。

後期 木曜日 2時限 C103

地域における図書館サービス、図書館計画の考え方や図書館施設が地域の学びの拠点としてどのように造られているか理解する。

必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館活動・サービスが展開される場としての図書館施設について、公共図書館の立地、単館の建築計画から地域の図書館計画まで、また図書館施設内部の平面計画の考え方から、書架・サイン等の製作まで、その構成要素について解説する。

平常点のみ

評価基準:授業に対する積極性30%(質問、発言等)、中間のレポート提出40%(中間課題)、学習到達度確認30%(図書館施設のつくりかたの理解度、小テストを2回行う)。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173013400&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館総合演習：司書課程の中で学んできたことを総合し、浮かび上がる問題点を、ひとりひとりが掘り下げて考える。

前期 金曜日 5時限 C206

必修の各科目で学んだ内容を掘り下げて学習し、理解を深める観点から、口頭ならびに論文発表あるいは実地調査等を実施して、現代社会における図書館について考える。

本科目については、司書の就職志望者の履修が望ましい。その他、履修条件は下の注意事項を確認のこと。また研究発表や長文のレポート提出に向けての指導や、図書館の実地調査など総合的な演習を行う。また各自のノートPCで実習を行うことがある。その場合、事前に具体的に指示する。

- ・ほぼ毎回の授業で研究テーマについて、レジュメを作成し、口頭で発表を求める。
- ・実地調査の取組姿勢や討議における発言なども「授業参加度」として評価する。
- ・自主ゼミ(図書館情報学研究会)への参加も積極姿勢として評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173013700&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館実習：図書館の現場での実務に携わることで、司書の仕事を深く理解 竹田 芳則
する。また司書としての自己の適性について認識する。

通年 その他 その他 J208.
通年 その他 その他 M106

・公共図書館の現場に実習生として出向き、図書館業務の実践(館務実習)を通じて公共図書館業務の基本を理解する。
・館務実習を通じて、司書としての自己の適性を把握する。

・本科目については、司書の就職を第一志望とする者に限り履修することができる。実習に向けての事前指導(ガイダンス等)、5日間の図書館実習、実習終了後の指導(反省会等)よりなる。ただし、希望により、2館、10日間以上の実習とすることがある。その他、履修条件については、下の注意事項をよく確認すること。

・5日間の図書館実習に参加し、実習ノートを提出することは評価の必須条件である。・図書館実習への取り組みを主として実習ノートにより評価する。・事前ガイダンスや実習後の報告会の取組状況も評価の対象とする。・自主ゼミ(図書館情報学研究会)への参加も積極姿勢として評価する。

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173014000&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



図書館サービス特論：図書館サービスの一つとして、学校図書館の様々な 福西 敏文
サービスを取り上げ、多岐にわたる活動の基本について解説する。

後期 金曜日 1時限 C203

学校図書館における児童生徒及び教職員へのサービスの考え方や各種サービス活動についての理解を図る。

読書活動を推進しつつ教育課程を支えるという学校図書館の役割を考えたとき、こうしたサービスの充実を求める声はますます広がっていくであろう。本科目では、学校図書館サービスの基本的な考え方の理解を図り、資料提供、情報提供、地域・他団体・機関等との連携・協力、課題解決支援、コミュニケーション及び学校図書館行事についての基本を解説する。

学習到達度確認(テスト):70% ・授業参加度:30%(授業中に課す諸課題の充実度、授業に真摯にとりくむ姿勢などを授業参加度として総合的に評価する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_173014500&opi=se0020&syw=1

教科書 学校司書のための学校図書館サービス論 / 学校図書館問題研究会・樹村房, 2021. 9784883673490



学校経営と学校図書館：学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項に 福西 敏文
ついての理解を図る。

後期 金曜日 2時限 C203.
後期 金曜日 2時限 I105

・学校図書館の歴史と理念及び教育的意義について理解する。・学校図書館経営の基本と司書教諭の役割について理解する。

前半の講義では、学校図書館の理念と機能を理解するため、教育行政・学校経営と学校図書館に関わる重要法規や図書館・学校図書館等に関する国連・ユネスコ等の宣言を、学校図書館の歴史を踏まえて解説する。後半では、望ましい学校図書館経営のあり方について解説する。本授業を通じて、学校教育における学校図書館の存在意義と司書教諭の役割についての理解を深めることができるはずである。なお各自の学校図書館利用体験の発表と交流及び学校図書館関係のDVDを視聴し、学校図書館についての共通理解をはかる。

・学習到達度確認(テスト):70% ・授業参加度:30%(授業中に課す諸課題の充実度、授業に真摯にとりくむ姿勢などを授業参加度として総合的に評価する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_174000100&opi=se0020&syw=1

教科書 学校経営と学校図書館 / 中村百合子編・樹村房, 2022.2. 9784883673612



学校図書館メディアの構成：学校図書館メディアの構成に関する基本的知識 西浦 富美子
の獲得及び実務能力の育成を図る。

前期 木曜日 3時限 C203.
前期 木曜日 3時限 I105

学校図書館メディアの種類と特性、コレクション構築のプロセスを理解し、選択・収集等の実務能力を身につける。組織化の目的・意義を踏まえて、基本的な目録作業や分類・件名の付与ができる。

学期の前半では、高度情報社会における学習環境の変化にともなう学校図書館メディアの教育的意義と役割について調査し、児童生徒や教員の利用に有効なコレクション構築について考察する。司書教諭が直面するメディア構成上の諸問題に対応できるよう、文献・インターネット情報源等を参照し、注文書やファイル資料を作成する。後半では、組織化の目的・意義を踏まえ、NDC等の参考図書を用いて目録や分類などの作業能力を磨く。最終回を除き、授業は講義と演習を組み合わせて実施する。

・平常点10%(授業に対する積極性)
・小課題50%(学校図書館メディアの構成・組織化に関する知識・技能)
・学習到達度確認テスト40%(学校図書館メディアの構成・組織化に関する知識・技能及び思考・判断・表現力)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_174000300&opi=se0020&syw=1

教科書 学校図書館メディアの構成 / 「探究学校図書館学」編集委員会編著・全国学校図書館協議会, 2020. 9784793322754



学習指導と学校図書館：学習指導における学校図書館メディアの活用について 西浦 富美子
での理解を図る。

後期 木曜日 3時限 C203.
後期 木曜日 3時限 I105

- ・学校図書館メディアの活用に関する基礎知識と技能を習得する。
- ・学校図書館を活用した探究型学習のプロセスを理解し、情報活用能力等を育成する学習事例を考案できる。

探究型学習は学校図書館を活用する学習場面で既に行われているが、改めてその意義・方法を教育課程の中に位置付け展開していくことは、司書教諭の主導するところである。その任に当たるため、学習基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成に関わる学校図書館の役割について学び、情報サービスの提供に必要な情報検索・収集等のスキルを習得する。それと並行して探究型学習に取り組むことによって、児童生徒の情報探索行動を理解し、効果的な支援法を含めた探究型学習事例を考案する。

- ・平常点10%(積極性・協調性を重視)
- ・授業内課題50%(情報活用能力を重視)
- ・探究型学習事例の発表20%(課題の発見、典拠の明示)
- ・学習習熟度確認テスト20%(授業内で説明)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_174000600&opi=se0020&syw=1

教科書 学習指導と学校図書館(探究学校図書館学 第3巻)
/「探究学校図書館学」編集委員会・編著
・全国学校図書館協議会
・2020
・9784793322761



読書と豊かな人間性：児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法 西浦 富美子
への理解を図る。

後期 木曜日 4時限 C203.
後期 木曜日 4時限 I105

- ・読書の意義と発達段階に応じた読書指導法について考察できる。
- ・種々の読書活動を支援するスキルを身につけ、読書イベントを企画・実施できる。

本科目は、学校図書館司書教諭資格取得のための一科目である。司書教諭の担う読書指導とは、児童生徒に読書材を紹介することをはじめ、児童生徒自ら適書を選択する力と本を活用し評価する力等を育成することや、読書の喜びを共有する場を設定することにも及ぶ。その任に当たるため、読書教育の理念と読書指導の方法について演習を交えながら学ぶ。

- ・読書記録10%(幼児期から小中高校、大学までの読書をふりかえる)
- ・読書活動70%(聞き手に伝わったか、チーム活動ができたか)
- ・期末レポート20%(図書展示の企画・リスト作成)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_174000900&opi=se0020&syw=1

教科書 なし



情報メディアの活用：高度情報通信社会における学校図書館において、活用 福西 敏文
すべきさまざまな情報メディアの特性と活用方法を理解する。

前期 金曜日 2時限 C203.
前期 金曜日 2時限 I105

- ・学校図書館が提供する情報メディアの特性を理解し活用することができるようになる。・情報メディアを活用するために必要な基礎的知識を、情報倫理をも踏まえて説明できるようになる。

学校図書館が備えるべき情報メディアの種類と特性、情報メディアの歴史及び情報化時代の倫理(著作権法等)等について解説する。後半には大学図書館と情報処理室を利用し、パスファインダー・図書館便り等を実際に作成する。本授業を通じて、学校図書館が情報センターとしての機能を発揮するのに必要な知識と技能について、理解を深めることができるはずである。

- ・学習到達度確認(テスト):70% ・授業参加度:30%(授業中の諸課題提出及び小テスト、授業にとりくむ真摯な姿勢を授業参加度として総合的に評価する。)

https://portal.nara-u.ac.jp/aa_web/syllabus/se0030.aspx?me=EU&sk=2026_2_174001200&opi=se0020&syw=1

教科書 情報メディアの活用(探求 学校図書館学;5) /「探求 学校図書館学」編集委員会編・全国学校図書館協議会, 2021. 978-4-7933-2278-5

